

令和4年度（2022年度）

高齢福祉・介護保険サービス意向調査

報告書

令和5年（2023年）3月

中野区

はじめに

令和7年（2025年）には、いわゆる団塊の世代のすべての人が後期高齢者（75歳以上）となり、中野区においても高齢化率が上昇することが予想されるため、さらに創意工夫をした高齢者支援のあり方が求められています。

本調査は、令和3年（2021年）3月に策定した中野区高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画が改定時期を迎えるため、高齢者の健康福祉サービスの利用実態や今後の利用意向を把握するために実施したものです。

今回の調査結果につきましては、計画の改定のみならず、今後の健康福祉に関する区の事業や施策の見直し、改善に反映させるなど、活用を図っていきたいと考えています。

最後になりましたが、本調査にご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

令和5年（2023年）3月
中野区健康福祉部
中野区地域支えあい推進部

目次

I 調査の概要

1. 調査の目的.....	3
2. 調査の内容.....	3
3. 調査の設計.....	4
4. 報告書を読む際の留意点.....	4

II 調査結果の分析

高齢者調査

1. 回答者の属性.....	9
1.1. アンケートの回答者.....	9
1.2. 居住地.....	10
1.3. 性別.....	11
1.4. 年齢.....	11
1.5. 家族構成.....	12
1.6. 要支援認定.....	12
1.6.1. 介護・介助の必要性.....	13
1.6.2. 介護・介助が必要になった主な原因.....	14
1.6.3. 介護、介助を行っている人.....	15
1.7. 世帯の昨年の合計収入.....	16
1.7.1. 現在の預貯金額.....	17
1.7.2. 暮らしの状況.....	21
1.8. 居住形態.....	23
2. からだを動かすことについて.....	25
2.1. 機能評価.....	25
2.1.1. 運動器機能.....	25
2.1.2. 転倒リスク.....	26
2.1.3. 閉じこもり傾向.....	27
2.2. 外出の回数.....	29
2.2.1. 外出が減っている理由.....	30
2.3. 外出する際の移動手段.....	31
3. 食べることについて.....	32
3.1. 機能評価.....	32
3.1.1. 低栄養.....	32
3.1.2. 口腔機能.....	33
3.2. 歯磨きの状況.....	35

3.3. 歯の数と入れ歯の利用状況.....	36
3.3.1. 噛み合わせの状況.....	37
3.3.2. 毎日入れ歯の手入れをしているか.....	38
3.4. 食事をとにもする機会.....	39
4. 毎日の生活について.....	41
4.1. 機能評価.....	41
4.1.1. 認知機能.....	41
4.1.2. IADL（手段的自立度）.....	43
4.1.3. 知的能動性.....	45
4.1.4. 社会的役割.....	47
4.2. 趣味の有無.....	49
4.3. 生きがいの有無.....	50
5. 地域での活動について.....	51
5.1. 会・グループ等への参加頻度.....	51
5.1.1. 地域活動に参加していない理由.....	52
5.2. 地域住民の有志による活動に参加者として参加してみたいか.....	53
5.3. 地域住民の有志による活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいか.....	54
5.4. 地域のひとから頼りにされているか.....	55
6. たすけあいについて.....	56
6.1. 心配事や愚痴を聞いてくれる人.....	56
6.2. 心配事や愚痴を聞いてあげる人.....	57
6.3. 看病や世話をしてくれる人.....	58
6.4. 看病や世話をしてあげる人.....	59
6.5. 何かあったときに相談する相手.....	60
6.6. 友人・知人と会う頻度.....	62
6.7. 1か月間、何人の友人・知人と会ったか.....	64
6.8. よく会う友人・知人との関係.....	65
7. 健康について.....	66
7.1. 健康状態.....	66
7.2. 幸福度.....	68
7.3. 毎日の生活に充実感がない.....	69
7.4. これまで楽しんでやれていたことが楽しめない.....	70
7.5. 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる.....	71
7.6. 自分が役に立つ人間だとは思えない.....	72
7.7. わけもなく疲れたような感じがする.....	73
7.8. 機能評価.....	74
7.8.1. うつ傾向.....	74
7.9. 飲酒の状況.....	75
7.10. 喫煙の状況.....	76

7.11. 現在治療中、または後遺症のある病気.....	77
8. 認知症にかかる相談窓口の把握について.....	79
8.1. 家族を含めた認知症の症状の有無.....	79
8.2. 認知症の相談窓口を知っているか.....	80
9. 成年後見制度について.....	81
9.1. 成年後見制度の認知度.....	81
9.1.1. 成年後見制度の利用意向.....	83
9.1.2. 成年後見制度を利用したくない理由.....	85
10. その他.....	88
10.1. 健康福祉行政全体への意見・要望（自由回答）.....	88

介護サービス利用調査

1. 要支援・要介護認定者本人について.....	95
1.1. アンケートの回答者.....	95
1.2. 居住地域.....	96
1.3. 家族構成.....	97
1.3.1. 家族の人数.....	97
1.3.2. 同居家族の内訳.....	97
1.3.3. 日中、ひとりになることの有無.....	98
1.4. 性別.....	99
1.5. 年齢.....	99
1.6. 要介護度.....	99
1.6.1. 介護・介助が必要になった原因.....	100
1.7. 住まいの種類.....	102
1.7.1. 生活する部屋は2階以上にあるか.....	103
1.7.2. エレベーターの設置.....	105
1.8. 介護を受けたい場所.....	106
1.8.1. 施設等への入所・入居の検討状況.....	108
1.8.2. 施設等への入所・入居を検討した理由.....	109
1.9. 現在抱えている傷病.....	110
1.10. 内容を知らない又はわからない介護保険サービス.....	112
1.11. 介護保険サービス利用の有無（令和4年10月）.....	113
1.12. 介護保険サービス.....	115
1.12.1. 介護保険サービスの利用状況（令和4年10月）.....	115
1.12.2. ケアプランへの不満.....	117
1.12.3. 介護保険サービスを利用していない理由.....	119
1.13. 現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービス.....	121
1.14. 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス.....	123
1.15. 訪問診療の利用の有無.....	124

1. 16. 訪問歯科診療、訪問薬剤師の利用の有無.....	125
1. 17. 地域包括支援センターへの相談の有無.....	126
1. 18. 家族・親族からの介護の頻度.....	127
2. 主な介護者について.....	129
2. 1. 主な介護者.....	129
2. 2. 主な介護者の性別.....	129
2. 3. 主な介護者の年齢.....	130
2. 4. 介護を理由として、過去1年間の間に仕事を辞めた介助者の有無.....	131
2. 5. 主な介護者が行っている介護.....	132
2. 6. 主な介護者が不安に感じる介護.....	134
2. 7. 主な介護者の現在の勤務形態.....	135
2. 8. 主な介護者の就労形態の調整.....	137
2. 9. 仕事と介護の両立に効果がある支援.....	139
2. 10. 今後の介護の見通し.....	142

ケアマネジャー調査

1. 回答者の属性.....	145
1. 1. 所属する事業所の所在地.....	145
1. 2. 所属する事業所が提供するサービス（複数回答）.....	145
1. 3. 勤務体系.....	151
1. 4. ケアマネジャーとしての従事期間.....	151
1. 5. ケアマネジャー受験資格と当該職種の従事年数.....	152
1. 6. 過去3年間で、所属事業所を変わった回数.....	154
1. 7. 給付管理件数.....	154
1. 8. 作成する居宅サービス計画の件数.....	155
1. 9. 介護予防サービス計画の受託または作成人数.....	155
2. ケアプラン・介護予防について.....	156
2. 1. 作成するケアプランの件数について.....	156
2. 2. 現行の介護サービスが要介護者等の自立支援に果たす役割.....	157
2. 3. 地域の自主グループをどのくらい知っているか.....	158
2. 4. ケアプランに地域資源を盛り込んでいるか.....	159
2. 5. ケアプランに盛り込んでいる地域資源.....	160
2. 6. ケアプランに地域資源を盛り込む上での課題（自由回答）.....	161
2. 7. 供給不足のため、利用者に提供できないサービス.....	162
2. 8. 供給不足以外に必要なサービスが提供できない場合.....	165
2. 9. 介護保険サービスが家族の介護負担軽減につながっているか.....	166
2. 10. 家庭生活を維持するために役立つと思う生活支援事業.....	167
2. 11. 生活に張りを持ってもらうために効果的なもの.....	168
2. 12. ケアマネジメントを行う際に工夫していること（自由回答）.....	169

2. 13. 要介護者等が自宅や地域で暮らし続けるために必要な支援	170
3. 連携について	172
3. 1. 地域包括支援センターとの連携	172
3. 2. 信頼できる地域包括支援センターの有無	173
3. 3. 主治医との連携	174
3. 4. 在宅医療を進めるうえで、不足する医療資源	175
3. 5. 区の障害者施策の相談窓口とのサービス調整等の連携	176
3. 6. サービス担当者会議を開催する上での問題点	177
4. 困難な事例への対応について	178
4. 1. ケアマネジメントを行う際、対応に苦慮するケース	178
4. 2. 要介護者や家族からの相談への対応	179
4. 3. 相談への対応に苦慮した時の相談先	180
4. 4. 高齢者等への虐待が疑われるケースの発見や相談の件数	181
4. 5. 高齢者虐待対応について強化すべきこと	182
5. 介護予防について	183
5. 1. 充実すべき区の介護予防事業	183
6. 成年後見制度について	185
6. 1. 成年後見制度が必要と思われるが使っていない人数	185
6. 2. 成年後見制度を活用する上での課題	186
7. 認知症に関する課題について	187
7. 1. 「認知症に関する家族介護教室」への参加のすすめ	187
7. 2. 認知症高齢者に関して必要な施策	188
8. 人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）について	190
8. 1. 人生会議（ACP）という言葉や意味を知っているか	190
8. 2. 人生会議（ACP）を活用した支援を行った経験の有無	191
8. 3. 人生会議（ACP）を実践する上で難しいと思う点	192
9. 在宅介護の可能性の拡大について	193
9. 1. 要介護者等が居宅や地域での生活を続けるために充実すべき点	193
10. 業務遂行上の問題について	195
10. 1. 業務遂行上の問題について	195
10. 2. 小規模多機能型居宅介護サービスの活用しづらさについて	197
11. その他	198
11. 1. 介護保険制度に関する意見（自由回答）	198

Ⅲ 調査票と単純集計

I 調査の概要

1. 調査の目的

高齢者、要支援・要介護認定者の健康福祉・介護保険サービスの利用実態や今後の利用意向等及び、ケアマネジャーの実態や業務遂行状況等を把握することを目的とする。

2. 調査の内容

① 高齢者調査

- (1) 回答者の属性
- (2) からだを動かすことについて
- (3) 食べることについて
- (4) 毎日の生活について
- (5) 地域での活動について
- (6) たすけあいについて
- (7) 健康について
- (8) 認知症にかかる相談窓口の把握について
- (9) 成年後見制度について
- (10) 自由回答

② 介護サービス利用調査

- (1) 要支援・要介護認定者本人について
- (2) 主な介護者について

③ ケアマネジャー調査

- (1) 回答者の属性
- (2) ケアプラン・介護予防について
- (3) 連携について
- (4) 困難な事例への対応について
- (5) 介護予防について
- (6) 成年後見制度について
- (7) 認知症に関する課題について
- (8) 人生会議について
- (9) その他
- (10) 自由回答

3. 調査の設計

調査は、以下の①～②は、郵送による配布・回収、③は郵送による配布・回収とインターネットによる回答を併用して実施した。

① 高齢者調査

- ・調査対象：基準日（令和4年10月1日）現在で65歳以上の区民（介護予防・日常生活支援総合事業対象者及び要支援1・2認定者を含む）。ただし、要介護認定者を除く。
- ・調査地域：中野区全域
- ・調査標本数：3,000人
- ・有効回収数：1,652人（回収率55.1%）
- ・抽出方法：無作為抽出
- ・調査期間：令和4年11月15日～12月6日

② 介護サービス利用調査

- ・調査対象：要支援1から要介護5までの認定を受けている区民。ただし、施設入所者を除く。
- ・調査地域：中野区全域
- ・調査標本数：3,000人
- ・有効回収数：1,344人（回収率44.8%）
- ・抽出方法：無作為抽出
- ・調査期間：令和4年11月15日～12月6日

③ ケアマネジャー調査

- ・調査対象：区内及び隣接区の居宅介護支援事業所で区民のケアプランを10件以上扱っている事業所に所属するケアマネジャー
- ・調査地域：中野区全域及び隣接区
- ・調査標本数：250人
- ・有効回収数：138人（回収率55.2%）
- ・抽出方法：無作為抽出
- ・調査期間：令和4年11月15日～12月6日

4. 報告書を読む際の留意点

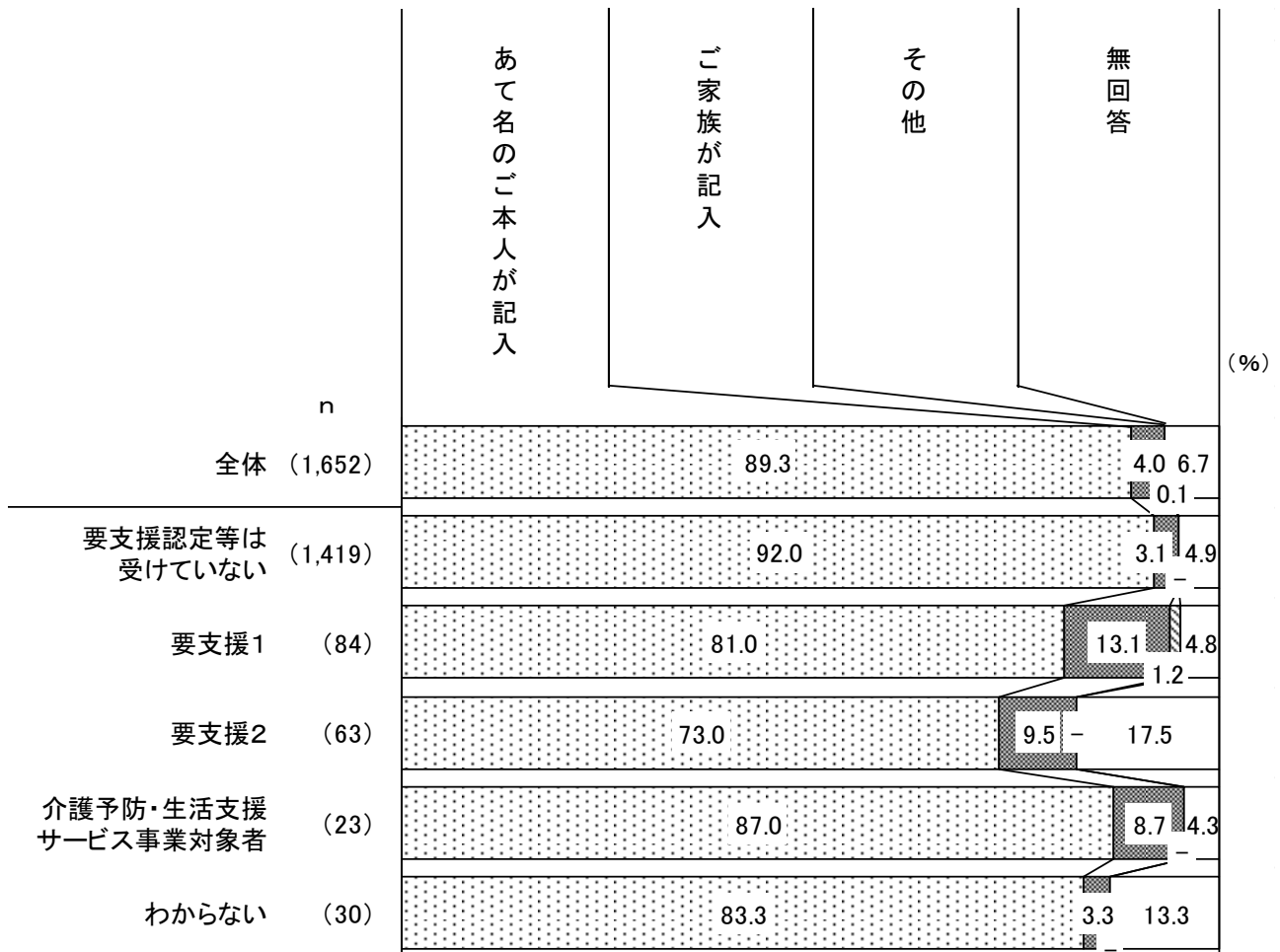
- 調査結果の比率は、その質問の回答者数を基数として、小数第2位を四捨五入して算出している。なお、単数回答形式の場合、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。
- アンケート選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがある。
- グラフ中の「n」とは、その質問への回答者数を表す。
- 分析軸に使用した属性項目は、無回答を除いてあるため、各属性の件数の合計が全体件数と一致しないことがある。

Ⅱ 調査結果の分析

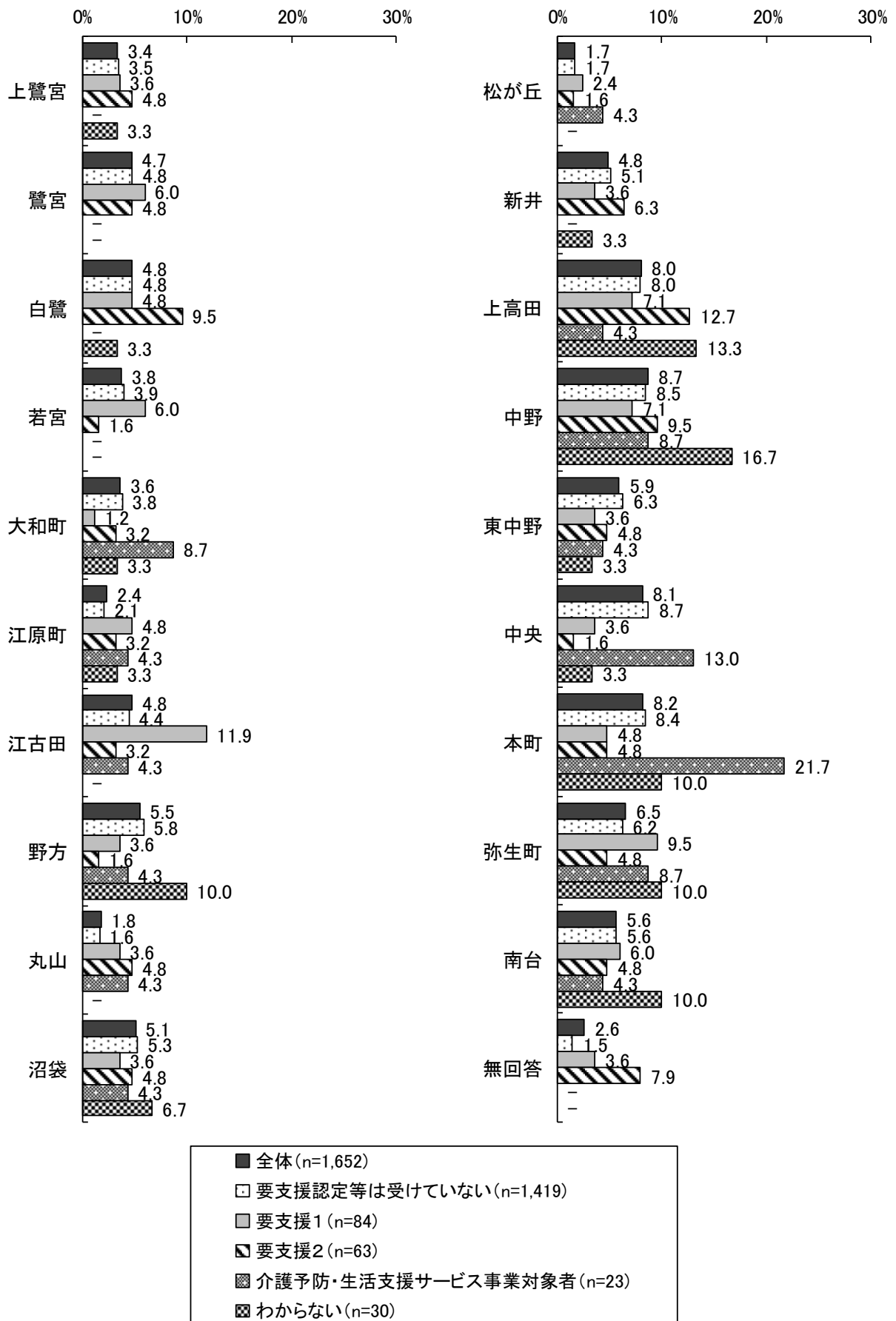
高齢者調査

1. 回答者の属性

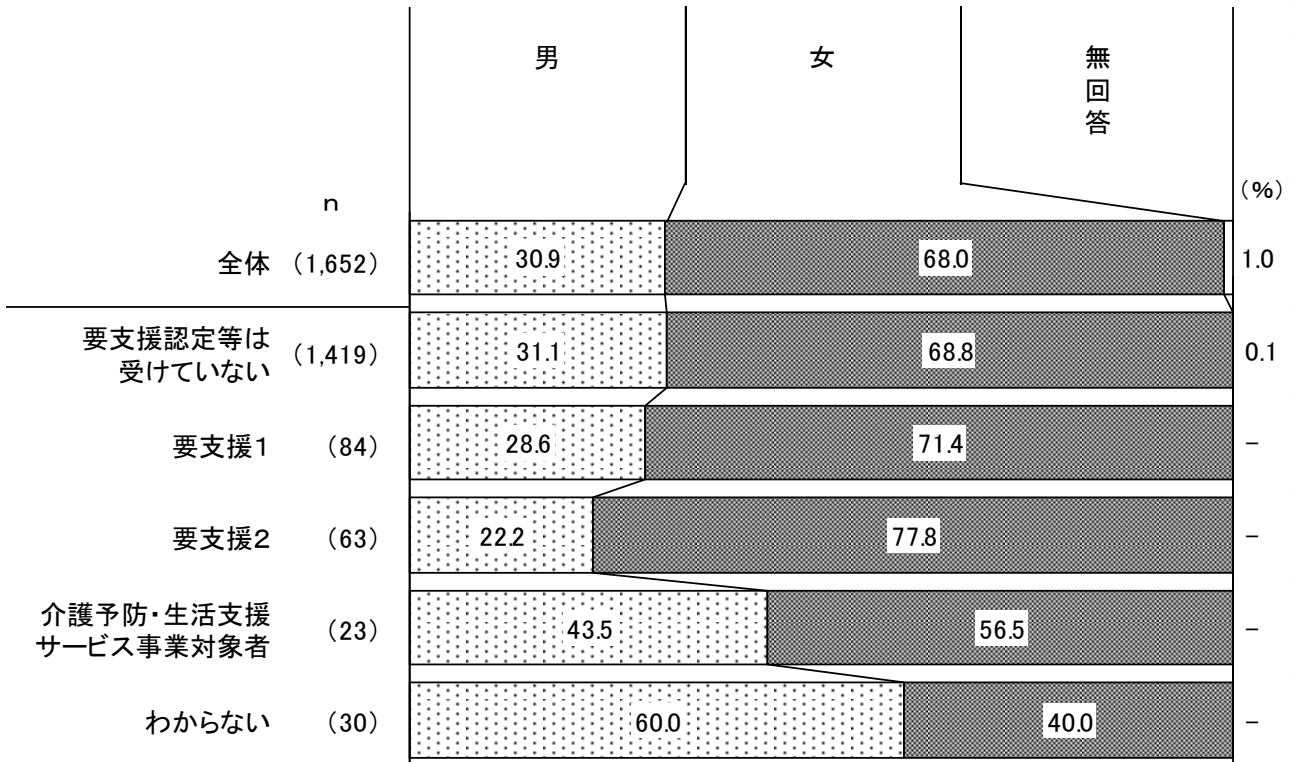
1.1. アンケートの回答者



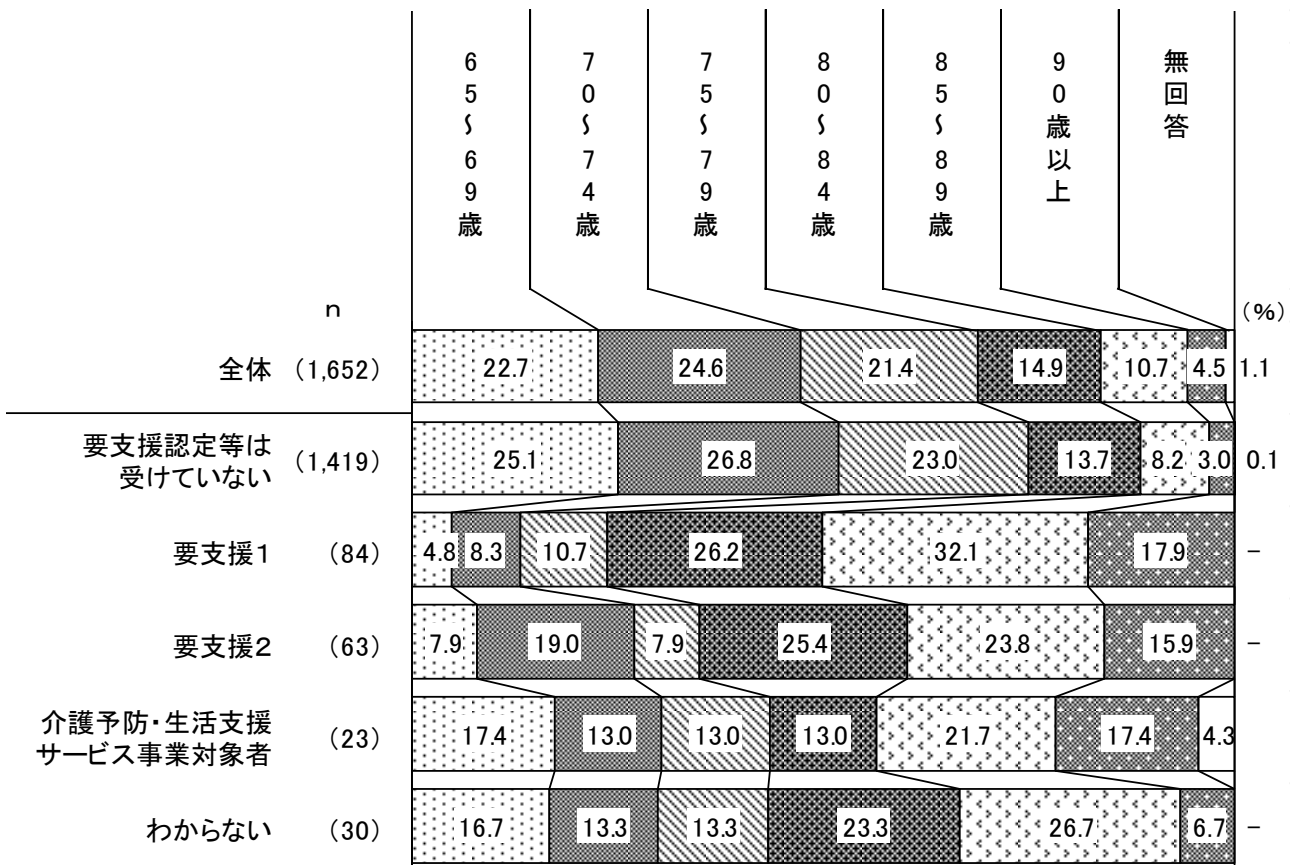
1.2. 居住地域



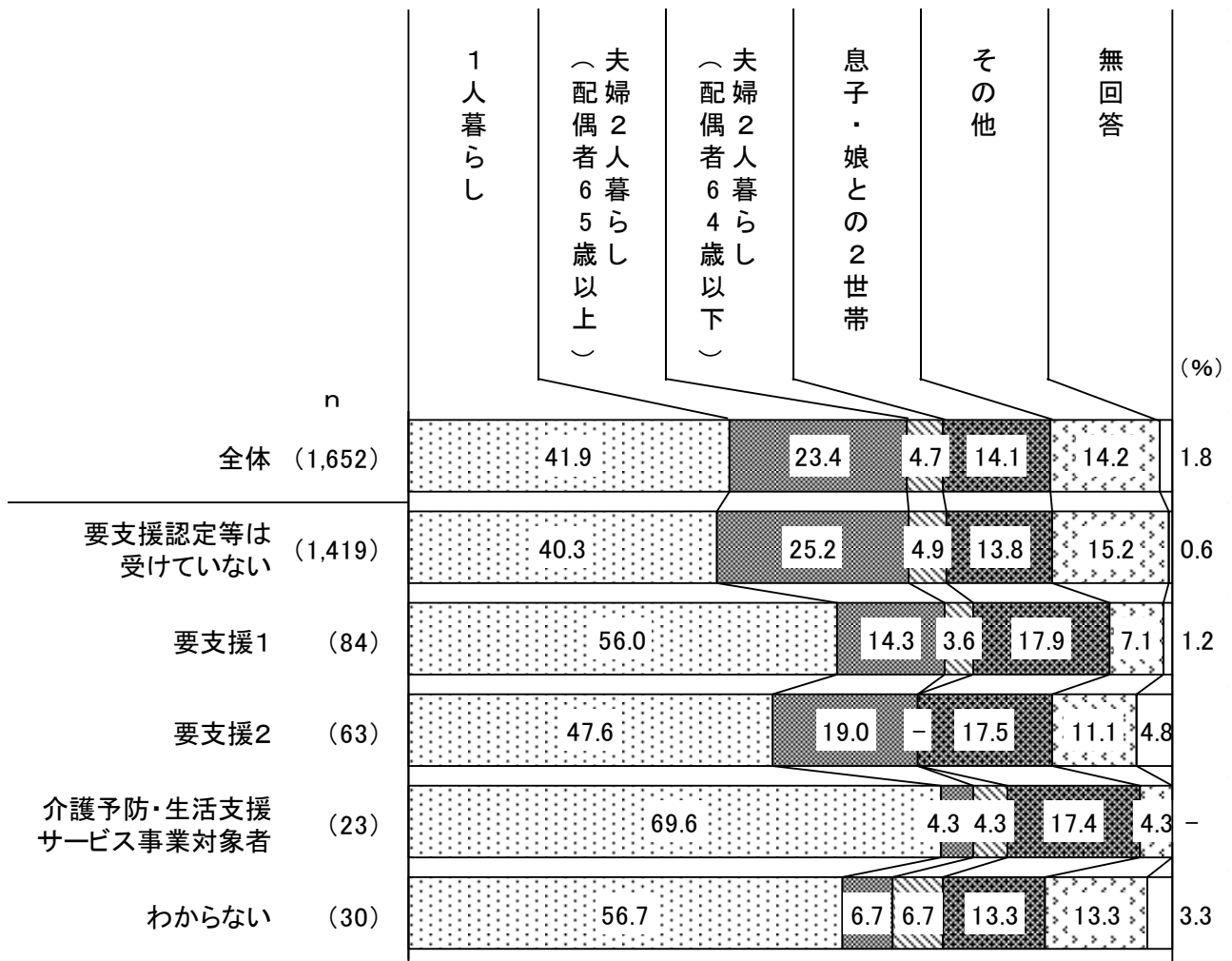
1.3. 性別



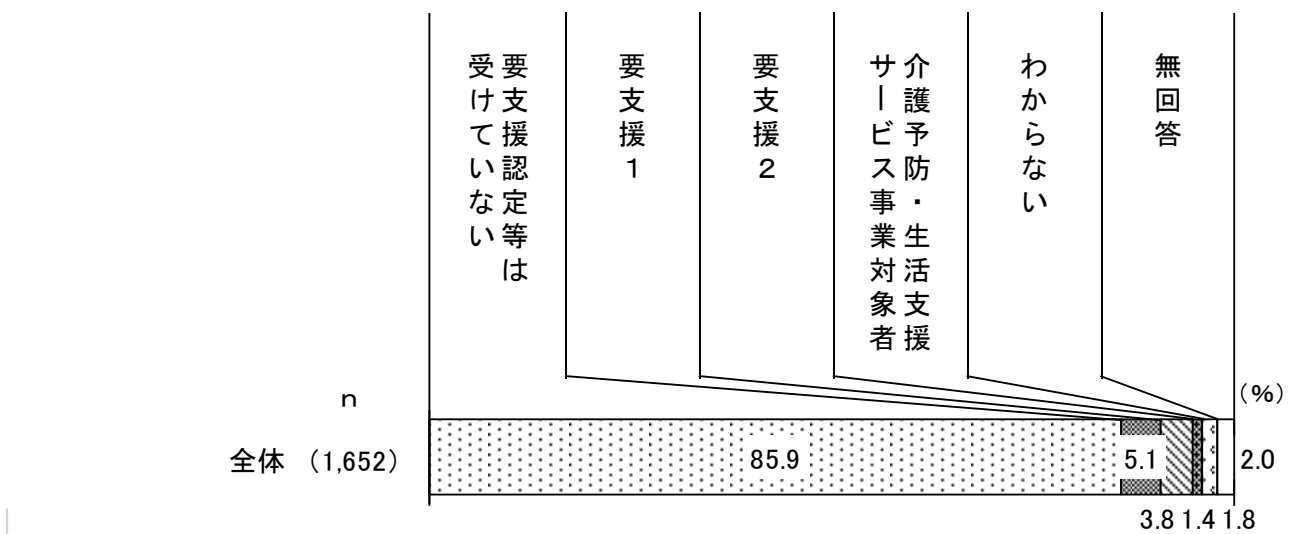
1.4. 年齢



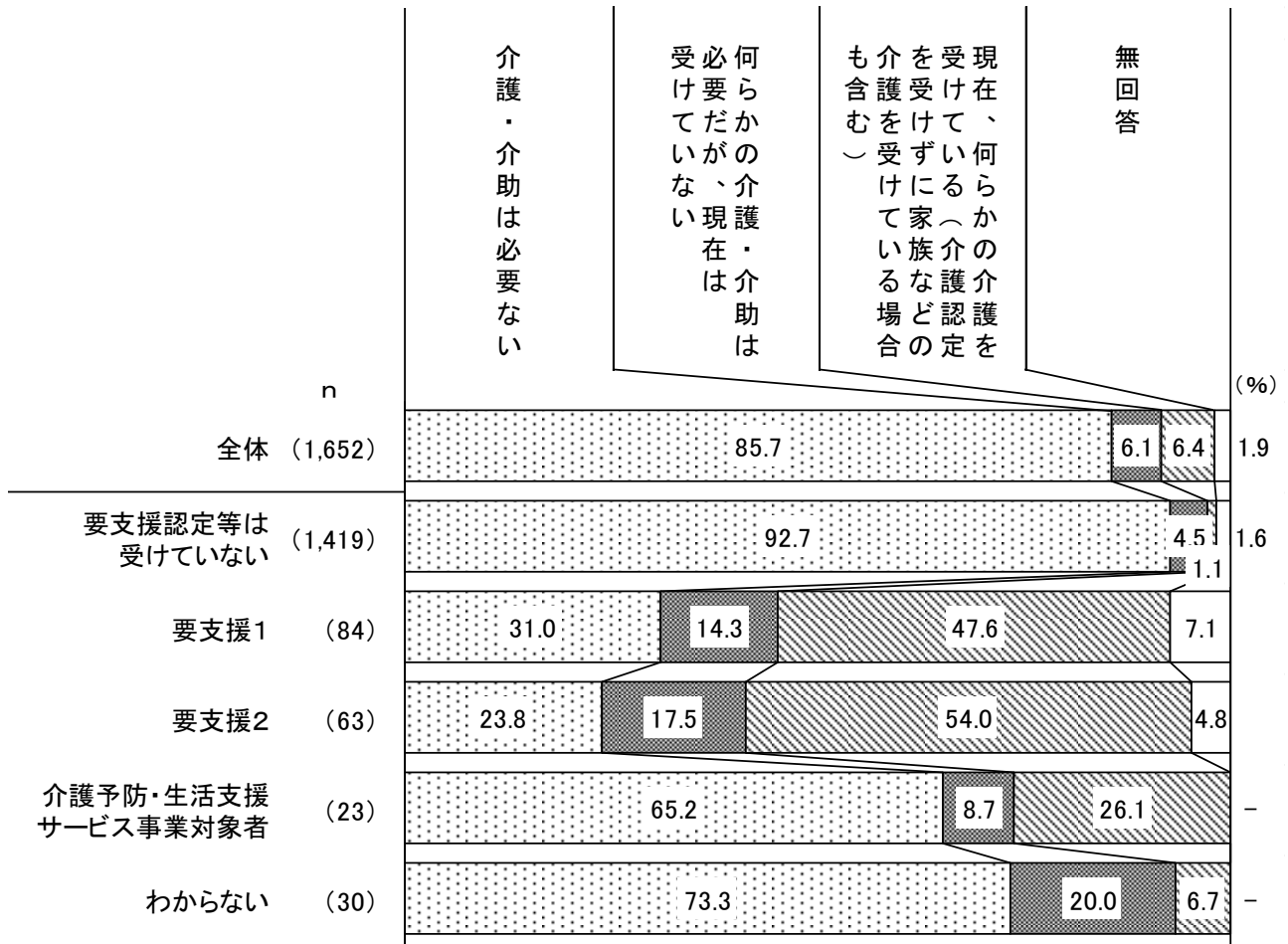
1.5. 家族構成



1.6. 要支援認定

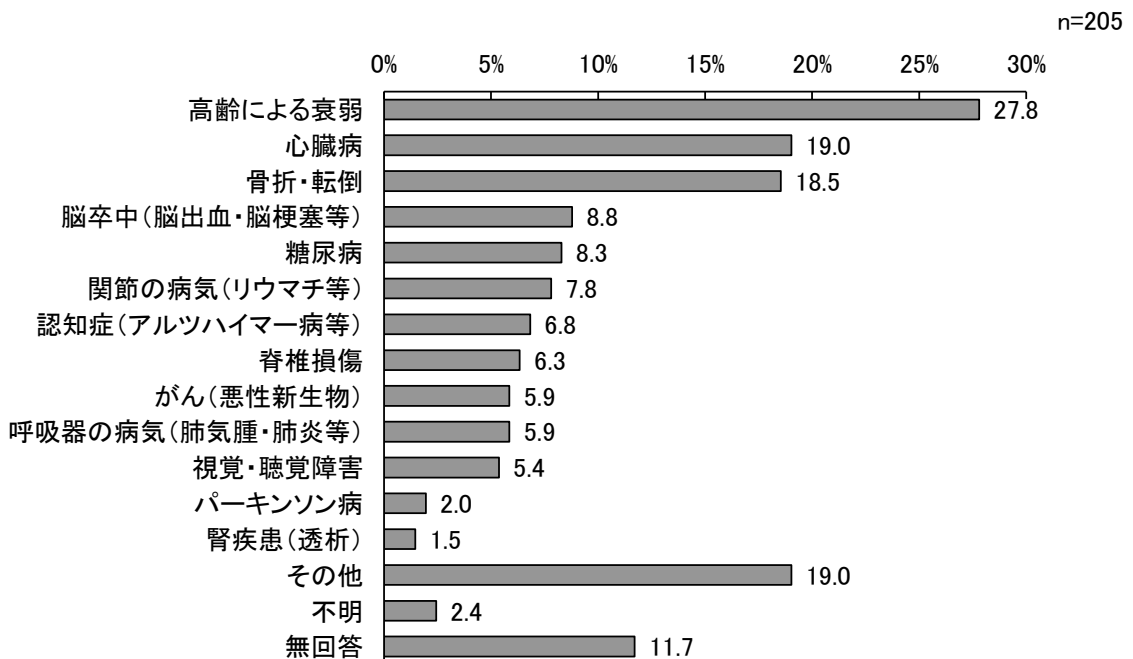


1.6.1. 介護・介助の必要性



1.6.2. 介護・介助が必要になった主な原因

(※「1.6.1. 介護・介助の必要性」において、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」とお答えの方)



【状態別】 介護・介助が必要になった主な原因

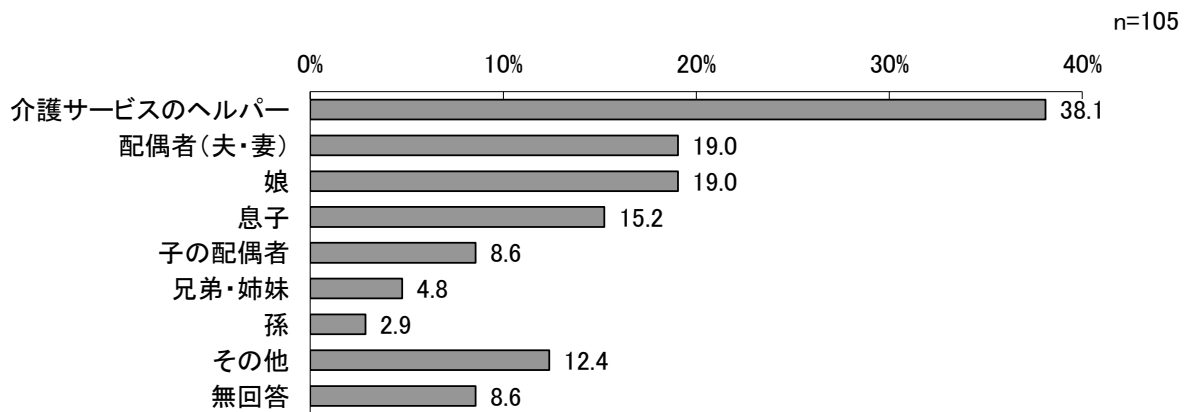
単位：%

	有効回答数(件)	高齢による衰弱	心臓病	骨折・転倒	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	糖尿病	関節の病気 (リウマチ等)	認知症 (アルツハイマー病等)	脊椎損傷
全体	205	27.8	19.0	18.5	8.8	8.3	7.8	6.8	6.3
要支援認定等は受けていない	80	32.5	21.3	12.5	7.5	5.0	7.5	10.0	3.8
要支援1	52	23.1	21.2	28.8	5.8	9.6	9.6	7.7	9.6
要支援2	45	22.2	20.0	17.8	13.3	13.3	6.7	2.2	8.9
介護予防・生活支援サービス事業対象者	8	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	8	50.0	0.0	25.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0

	有効回答数(件)	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等)	視覚・聴覚障害	パーキンソン病	腎疾患(透析)	その他	不明	無回答
全体	205	5.9	5.9	5.4	2.0	1.5	19.0	2.4	11.7
要支援認定等は受けていない	80	6.3	6.3	8.8	2.5	1.3	17.5	1.3	20.0
要支援1	52	5.8	7.7	1.9	0.0	3.8	19.2	1.9	5.8
要支援2	45	6.7	2.2	0.0	2.2	0.0	22.2	2.2	4.4
介護予防・生活支援サービス事業対象者	8	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5
わからない	8	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	25.0

1.6.3. 介護、介助を行っている人

(※「1.6.1. 介護・介助の必要性」において、「現在、何らかの介護を受けている」とお答えの方)

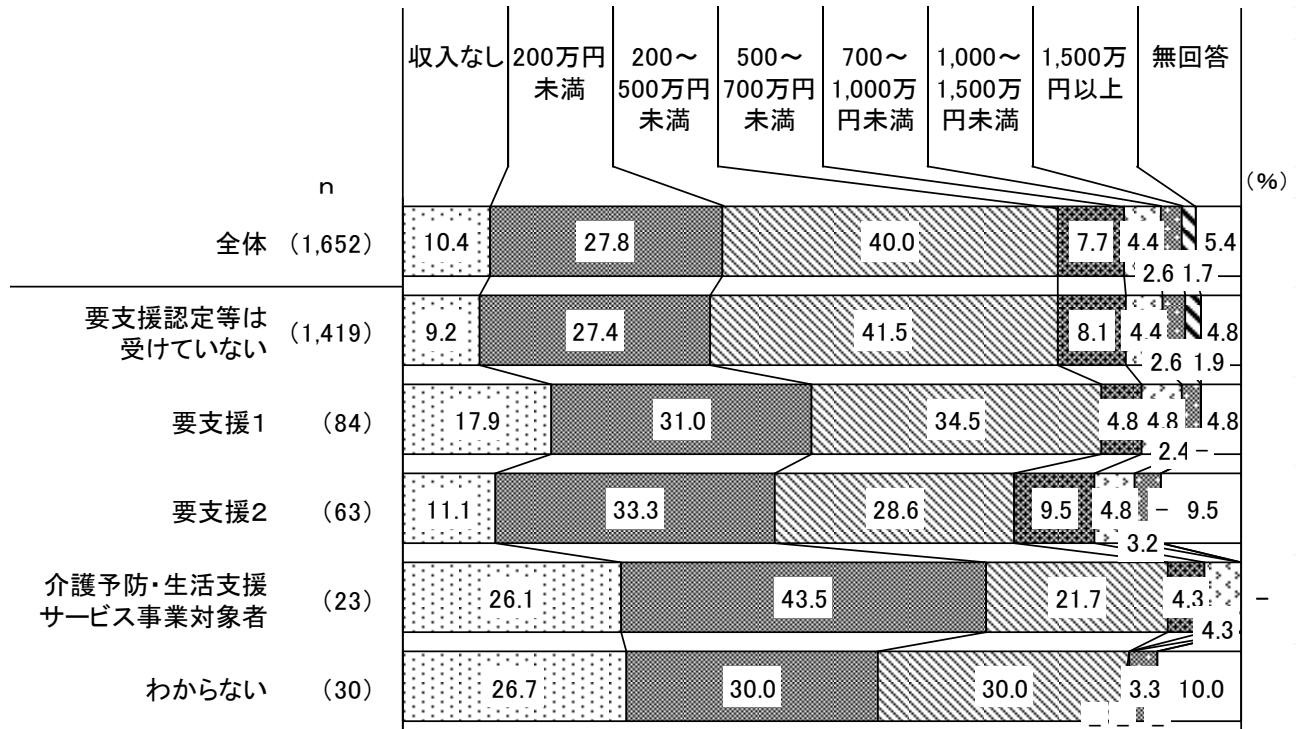


【状態別】 介護、介助を行っている人

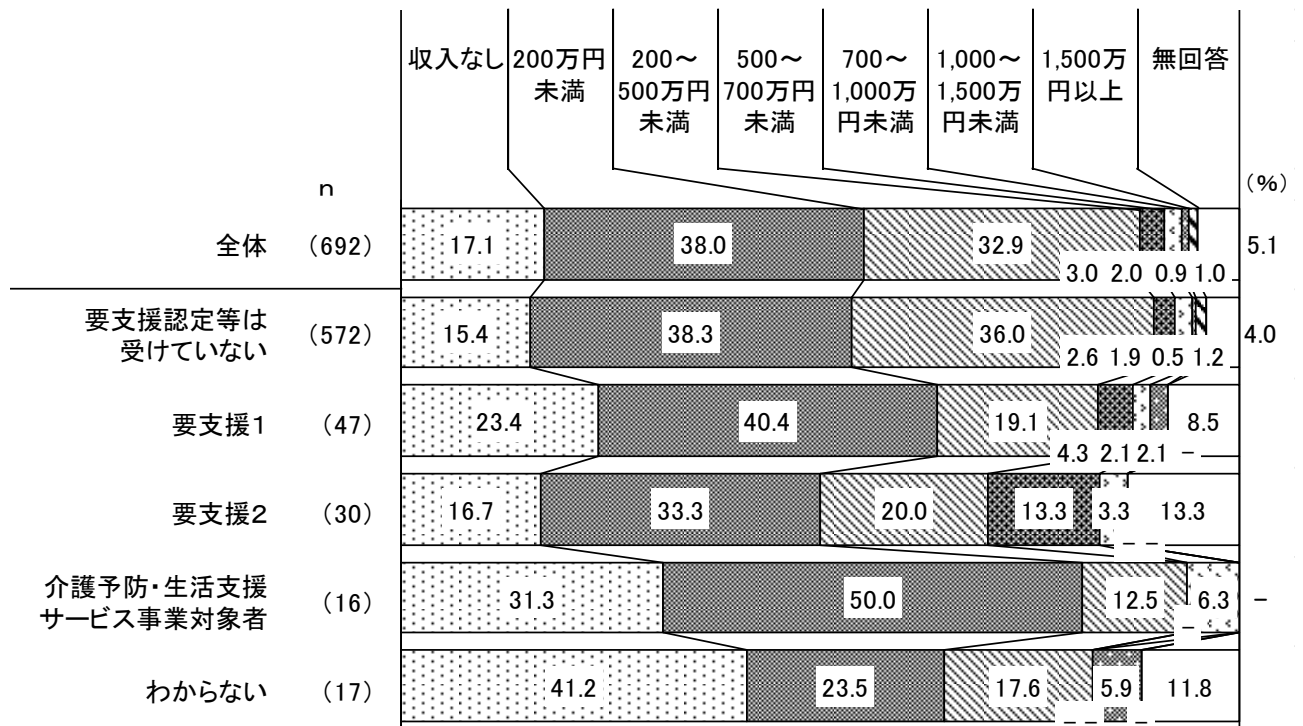
単位：%

	有効回答数(件)	介護サービスのヘルパー	配偶者(夫・妻)	娘	息子	子の配偶者	兄弟・姉妹	孫	その他	無回答
全体	105	38.1	19.0	19.0	15.2	8.6	4.8	2.9	12.4	8.6
要支援認定等は受けていない	16	6.3	43.8	12.5	31.3	6.3	6.3	6.3	0.0	0.0
要支援1	40	45.0	12.5	20.0	12.5	12.5	5.0	5.0	12.5	10.0
要支援2	34	47.1	23.5	14.7	11.8	2.9	0.0	0.0	17.6	5.9
介護予防・生活支援サービス事業対象者	6	50.0	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7
わからない	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

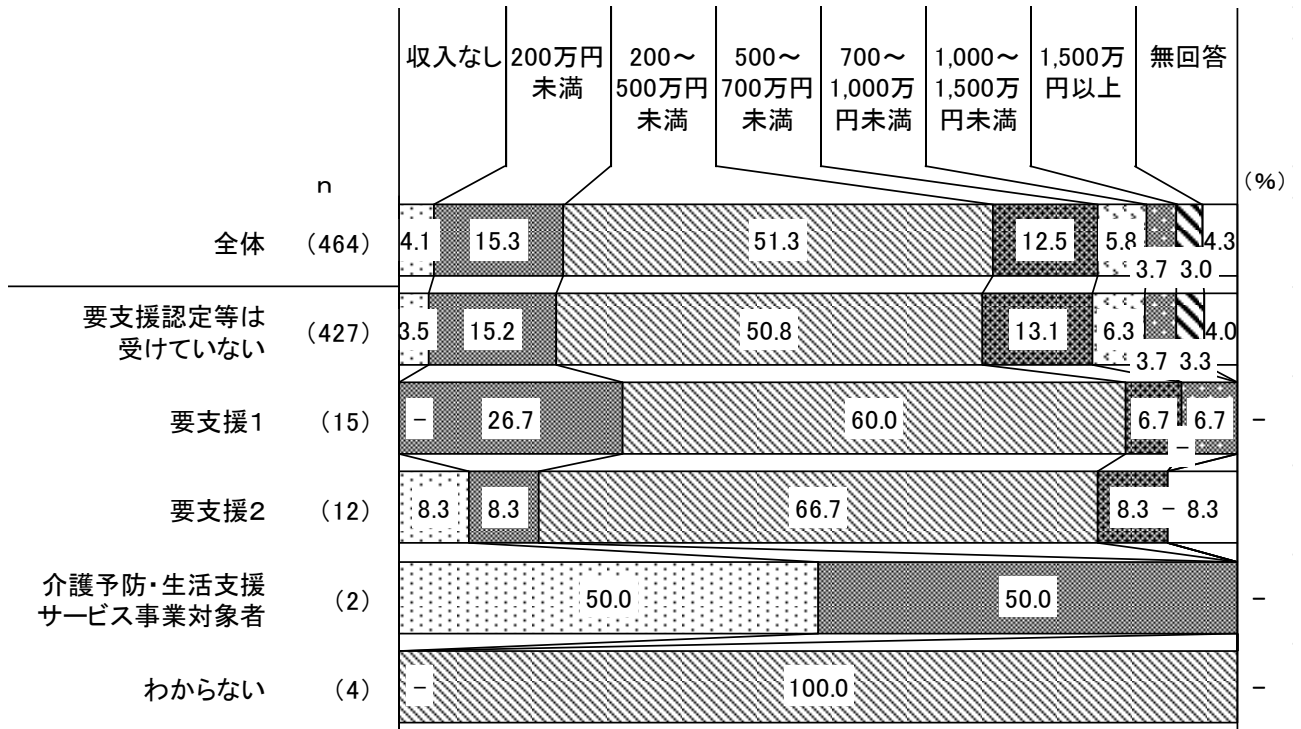
1.7. 世帯の昨年の合計収入



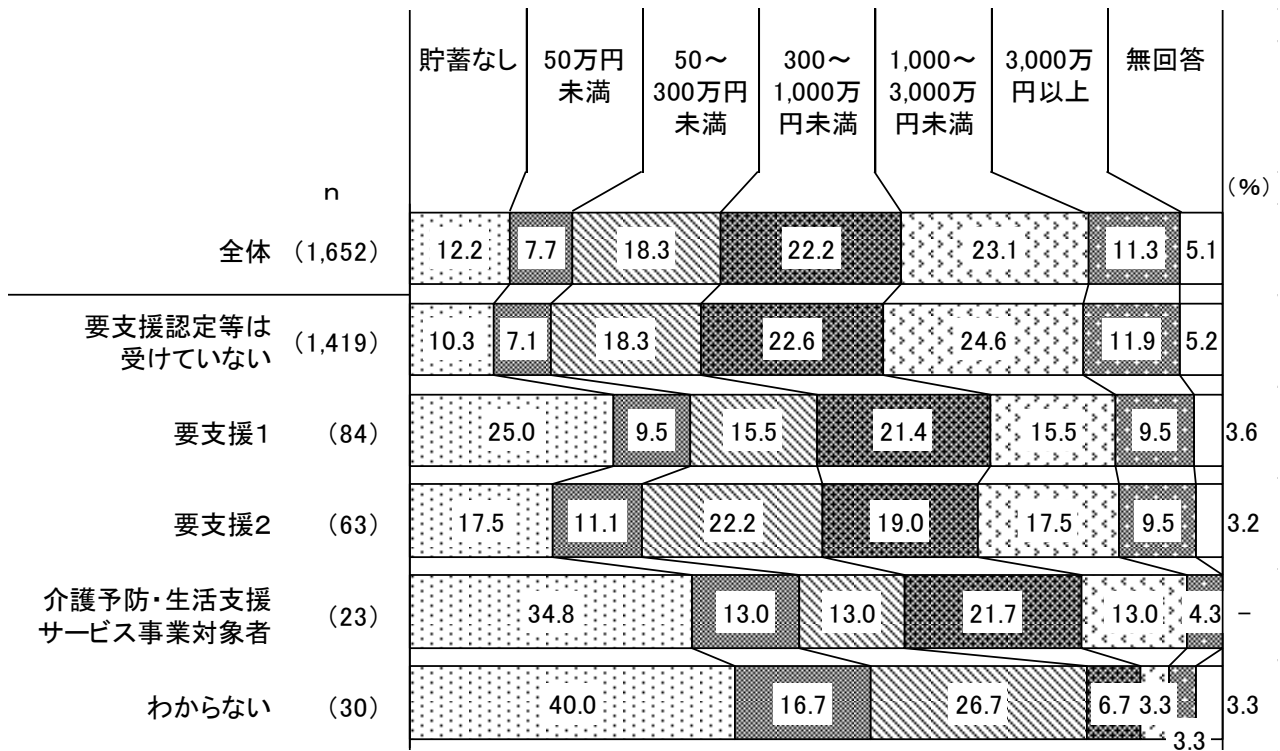
【状態別（1人暮らし）】世帯の昨年の合計収入



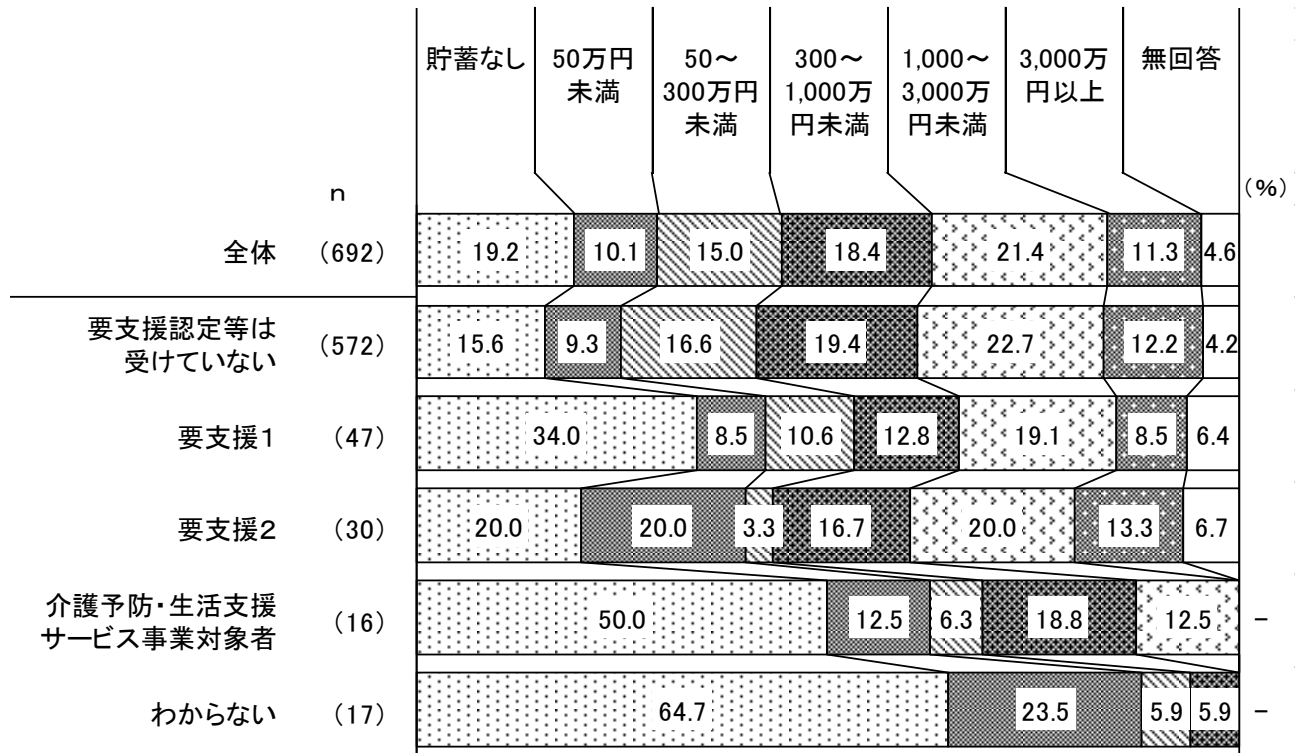
【状態別（夫婦2人暮らし）】世帯の昨年の合計収入



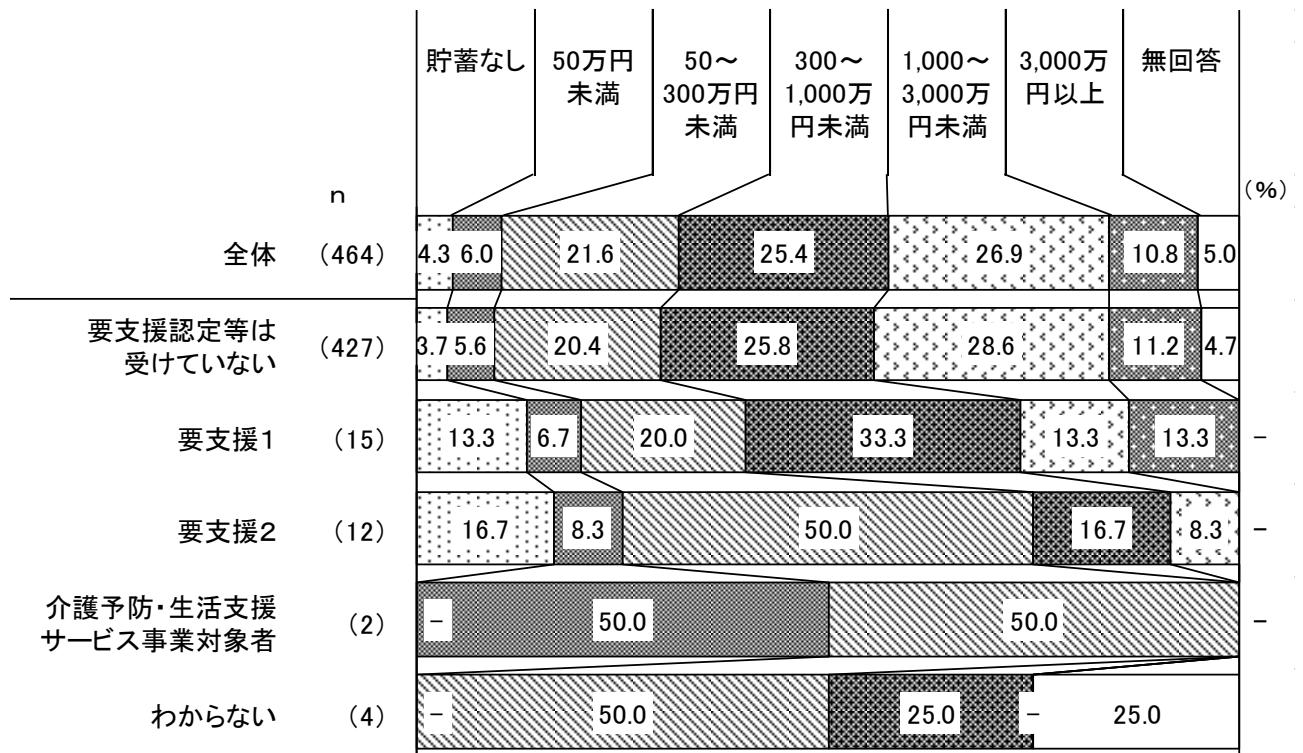
1.7.1. 現在の預貯金額



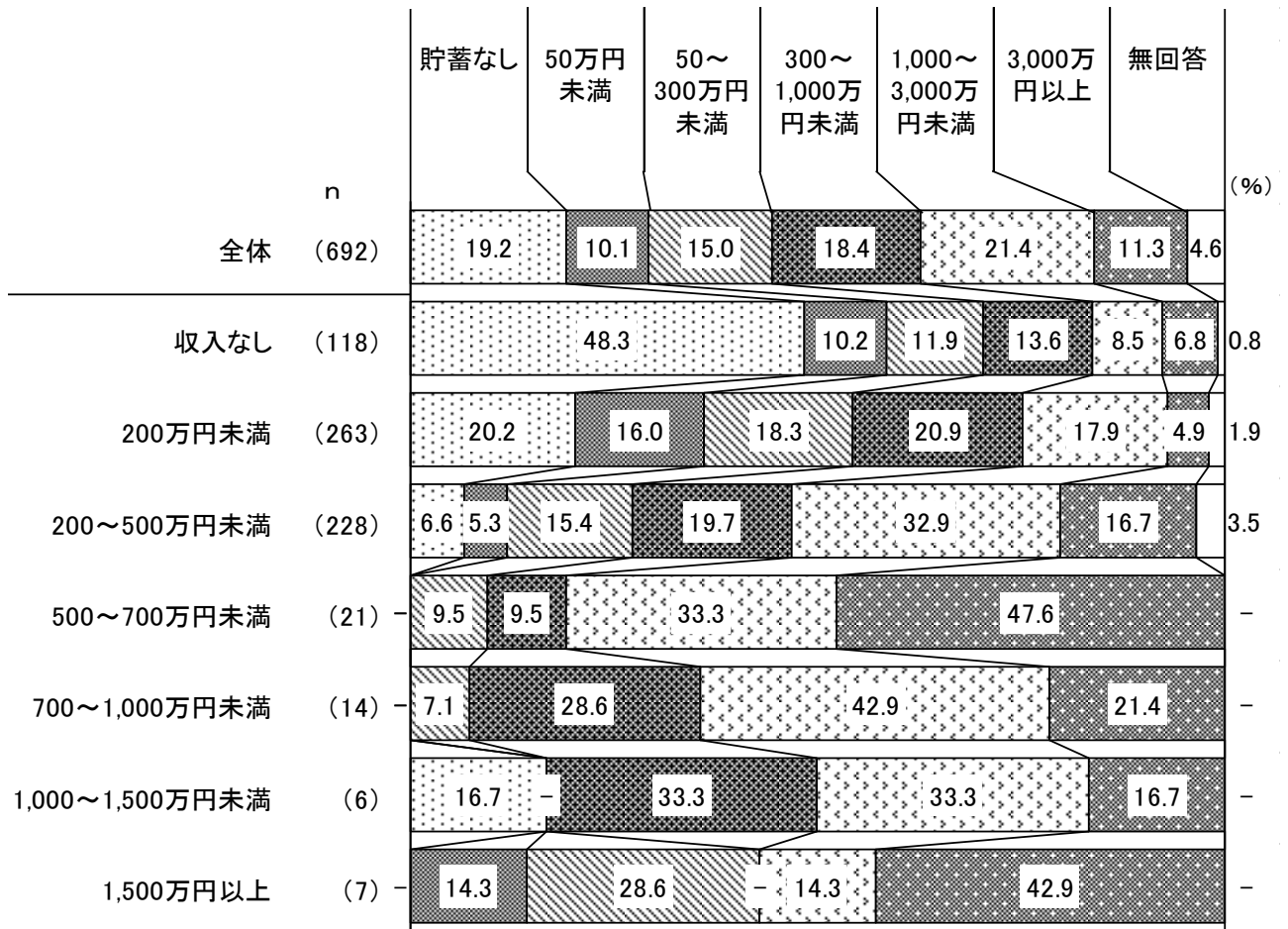
【状態別（1人暮らし）】現在の預貯金額



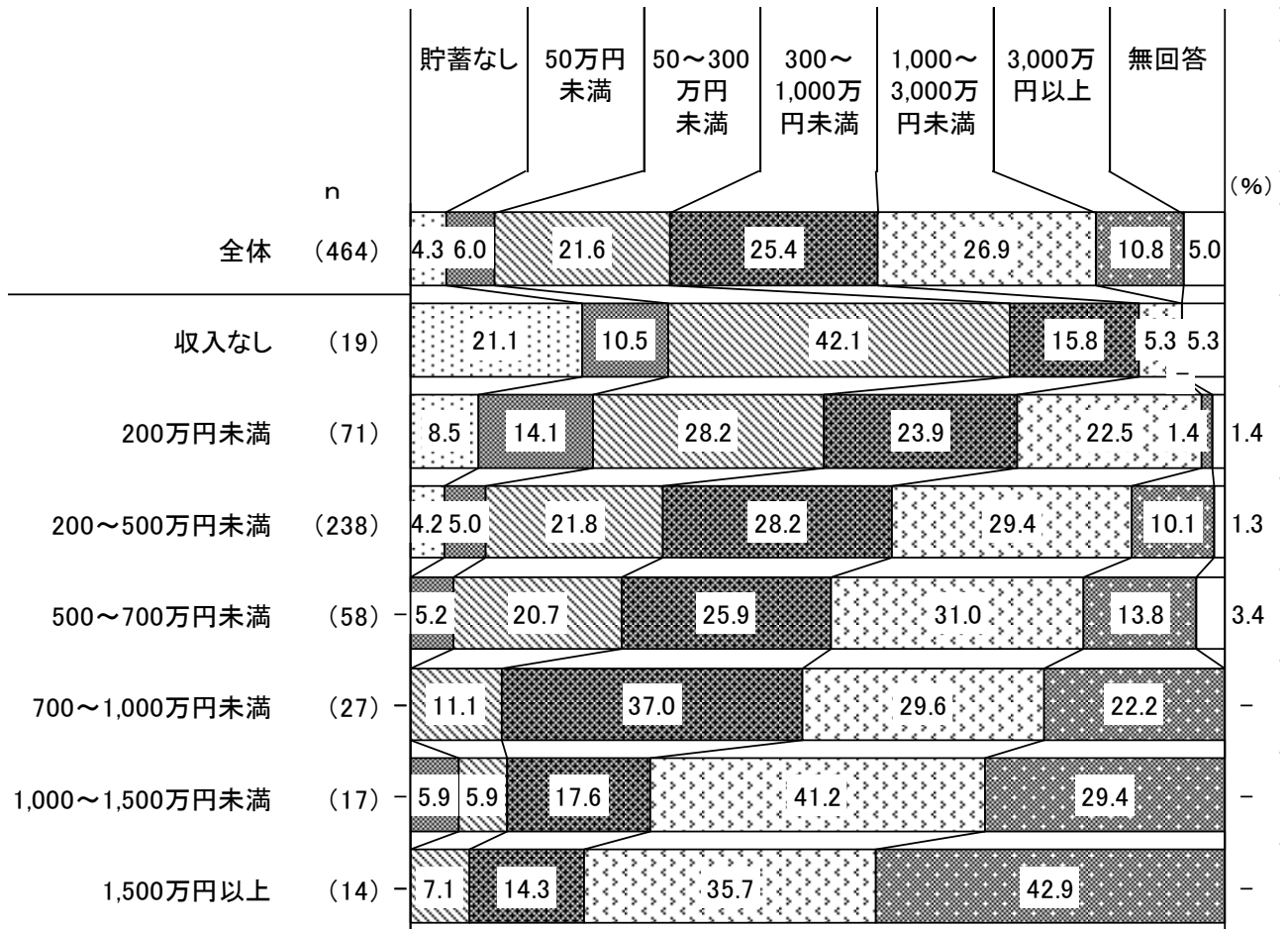
【状態別（夫婦2人暮らし）】現在の預貯金額



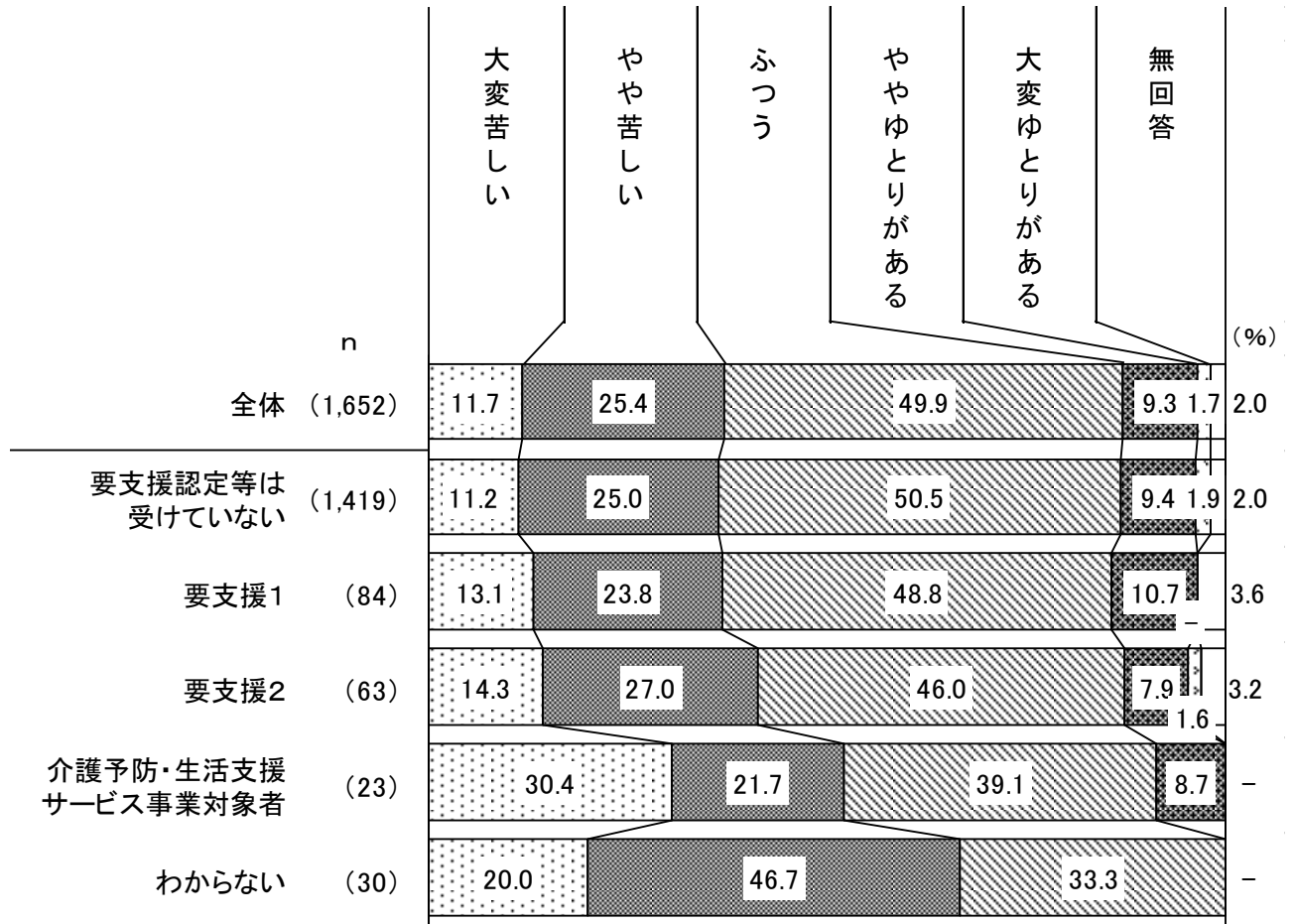
【収入別（1人暮らし）】現在の預貯金額



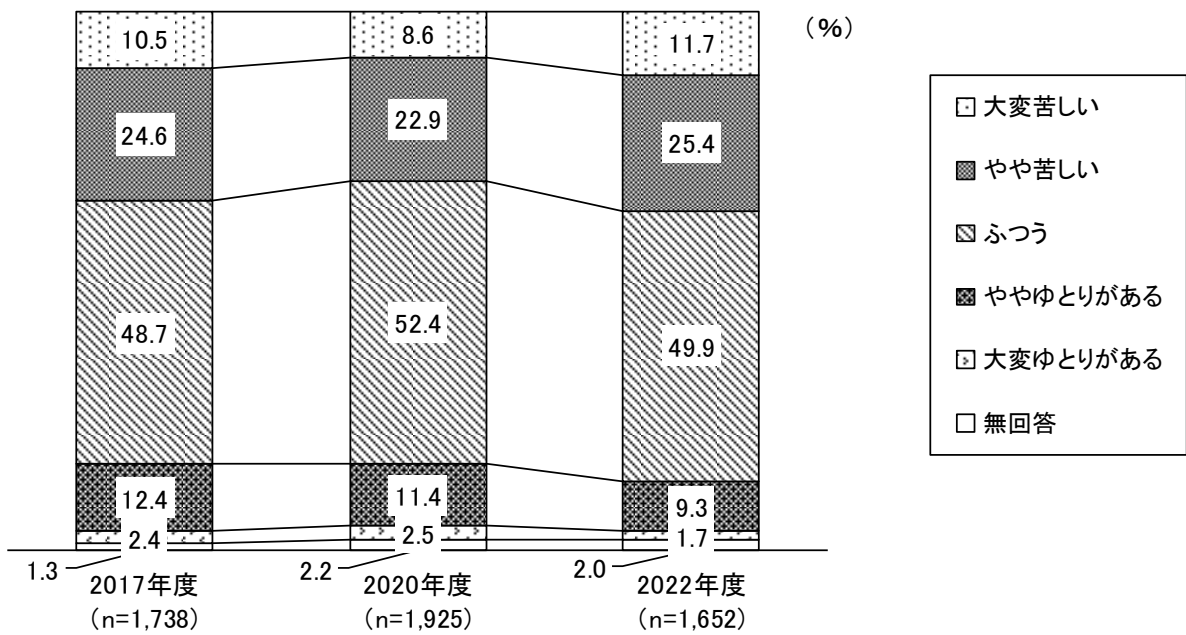
【収入別（夫婦2人暮らし）】現在の預貯金額



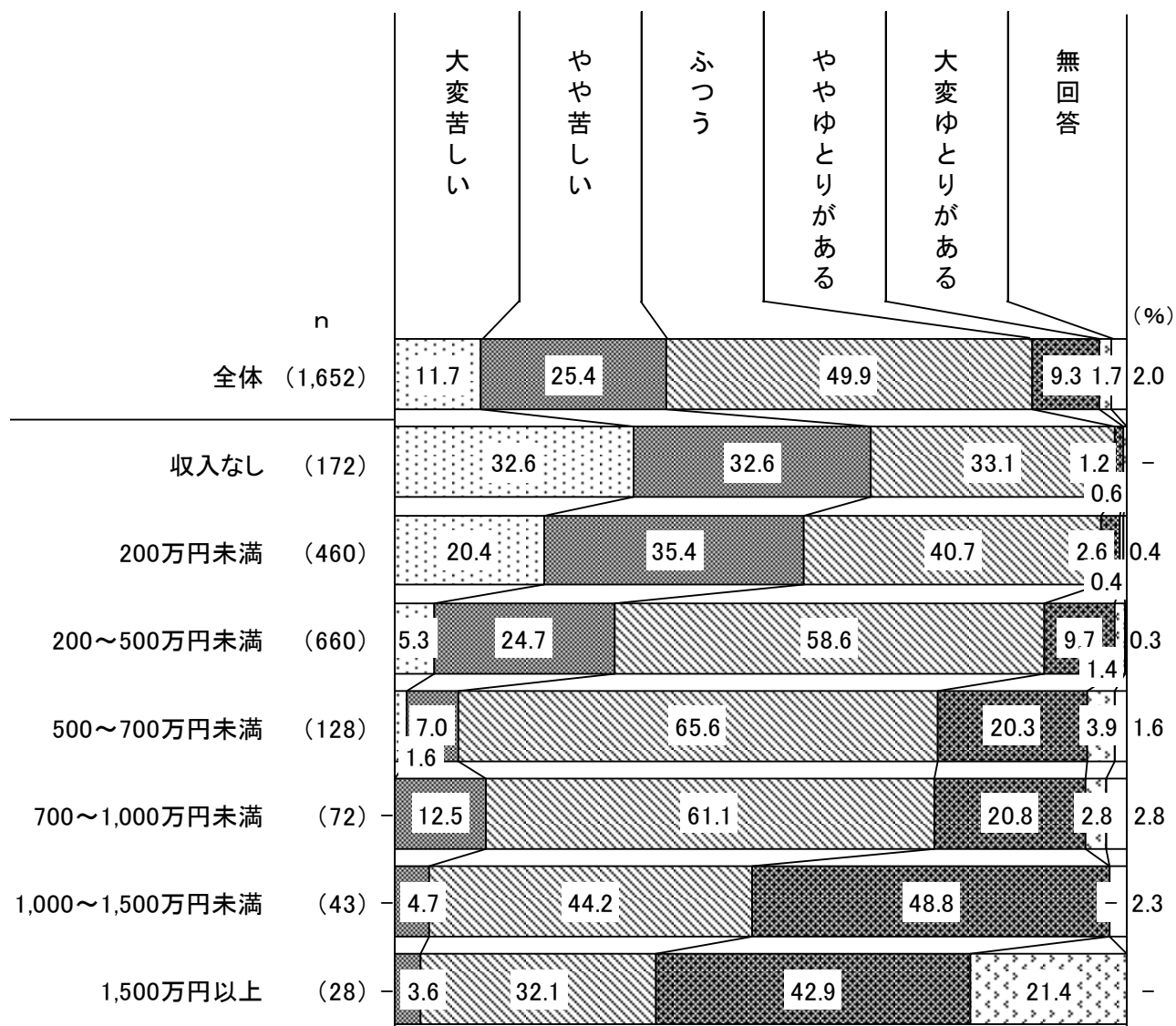
1.7.2. 暮らしの状況



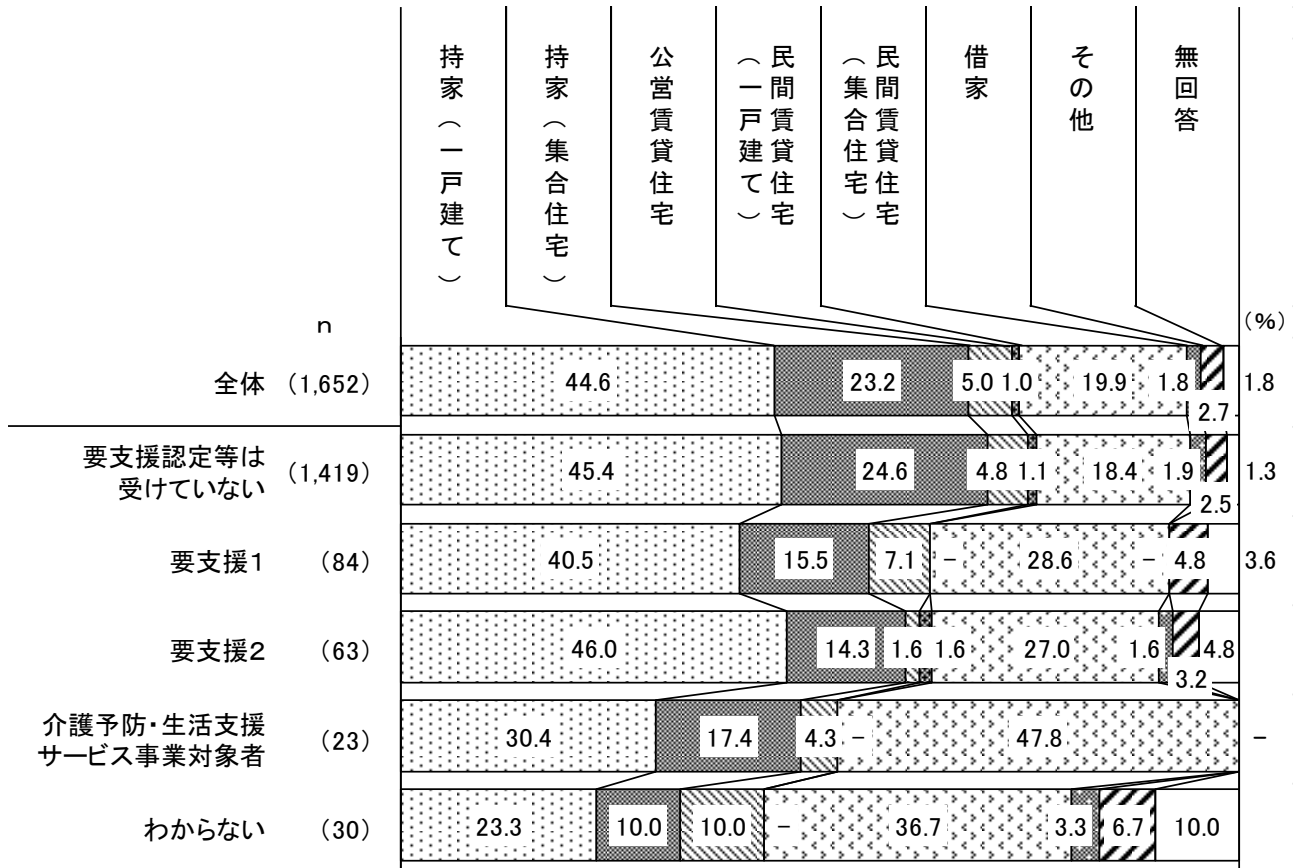
【経年比較】暮らしの状況



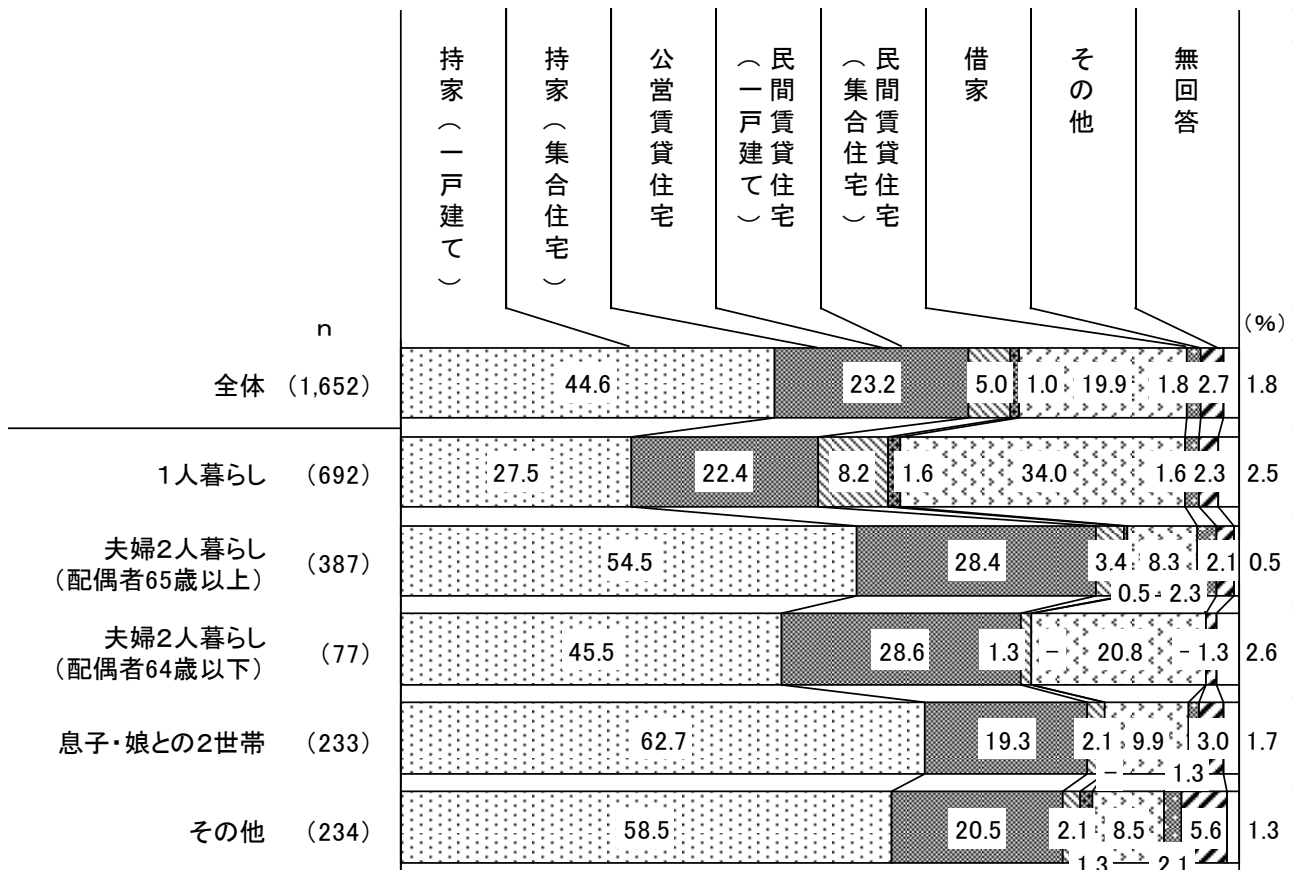
【収入別】暮らしの状況



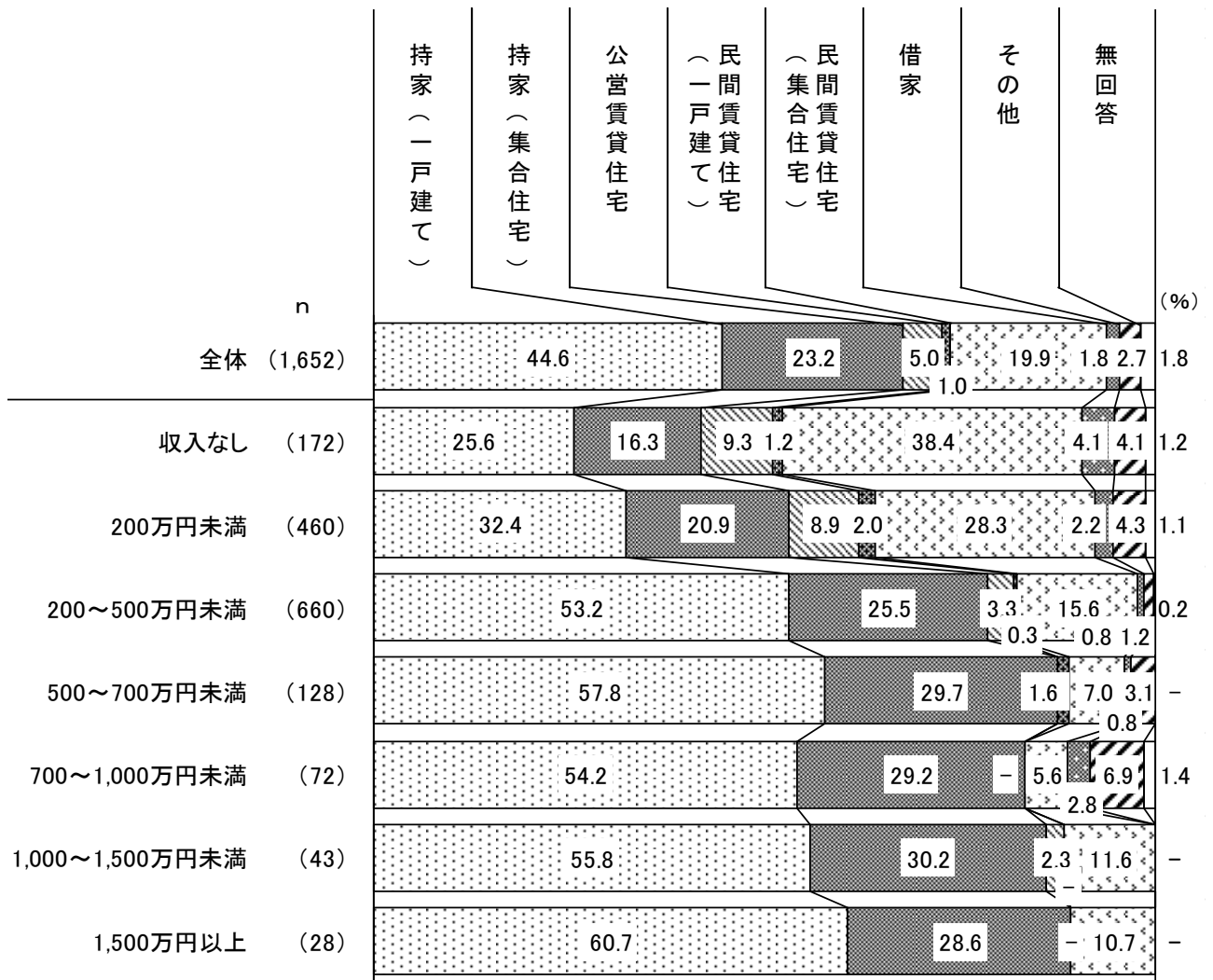
1.8. 居住形態



【家族構成別】居住形態



【収入別】居住形態



2. からだを動かすことについて

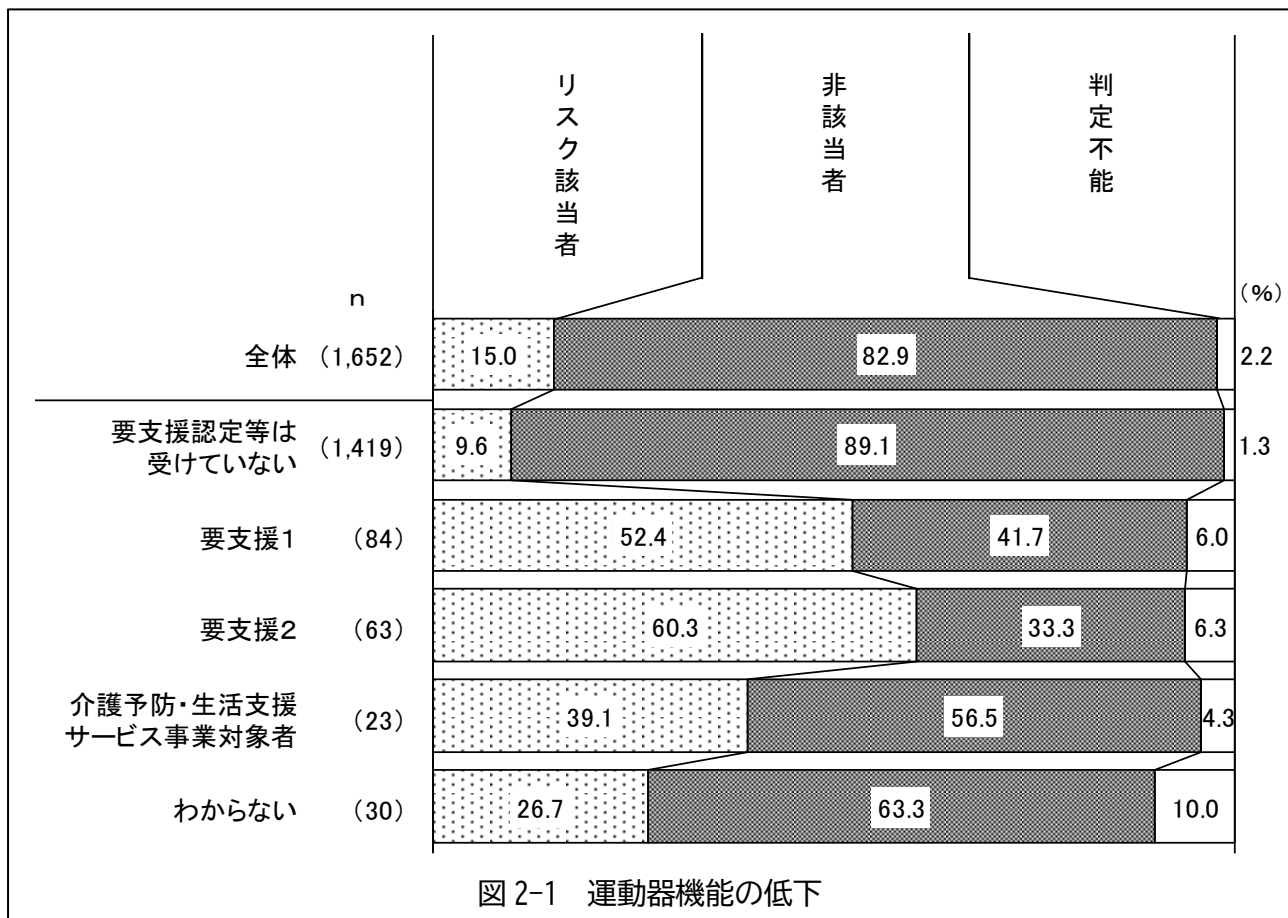
2.1. 機能評価

2.1.1. 運動器機能

◇以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器の機能低下リスク該当者と判定した。

問番号	設問	該当する選択肢
問11	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
問12	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問13	15分位続けて歩いていますか	3. できない
問14	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
問15	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

◆ 運動器機能の低下リスク該当者は1割台半ば



全体では、運動器機能低下のリスク該当者は1割台半ばとなっている。

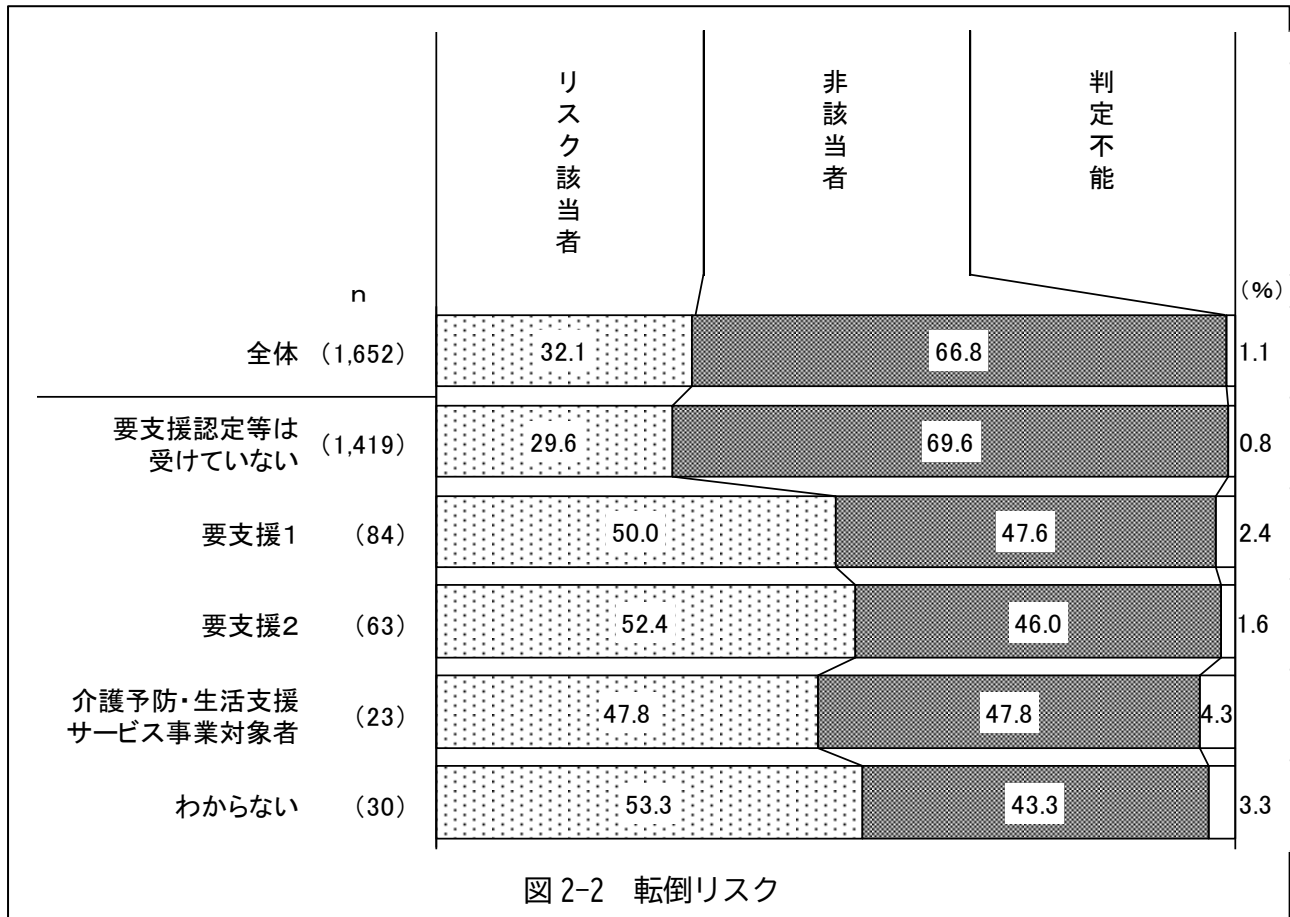
状態別では、リスク該当者の割合は、要支援認定等を受けていない人から要支援2に向かって、段階的に高くなっている。

2.1.2. 転倒リスク

◇以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 14	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある

◆ 転倒リスク該当者は3割台前半



全体では、転倒リスクの該当者は3割台前半となっている。

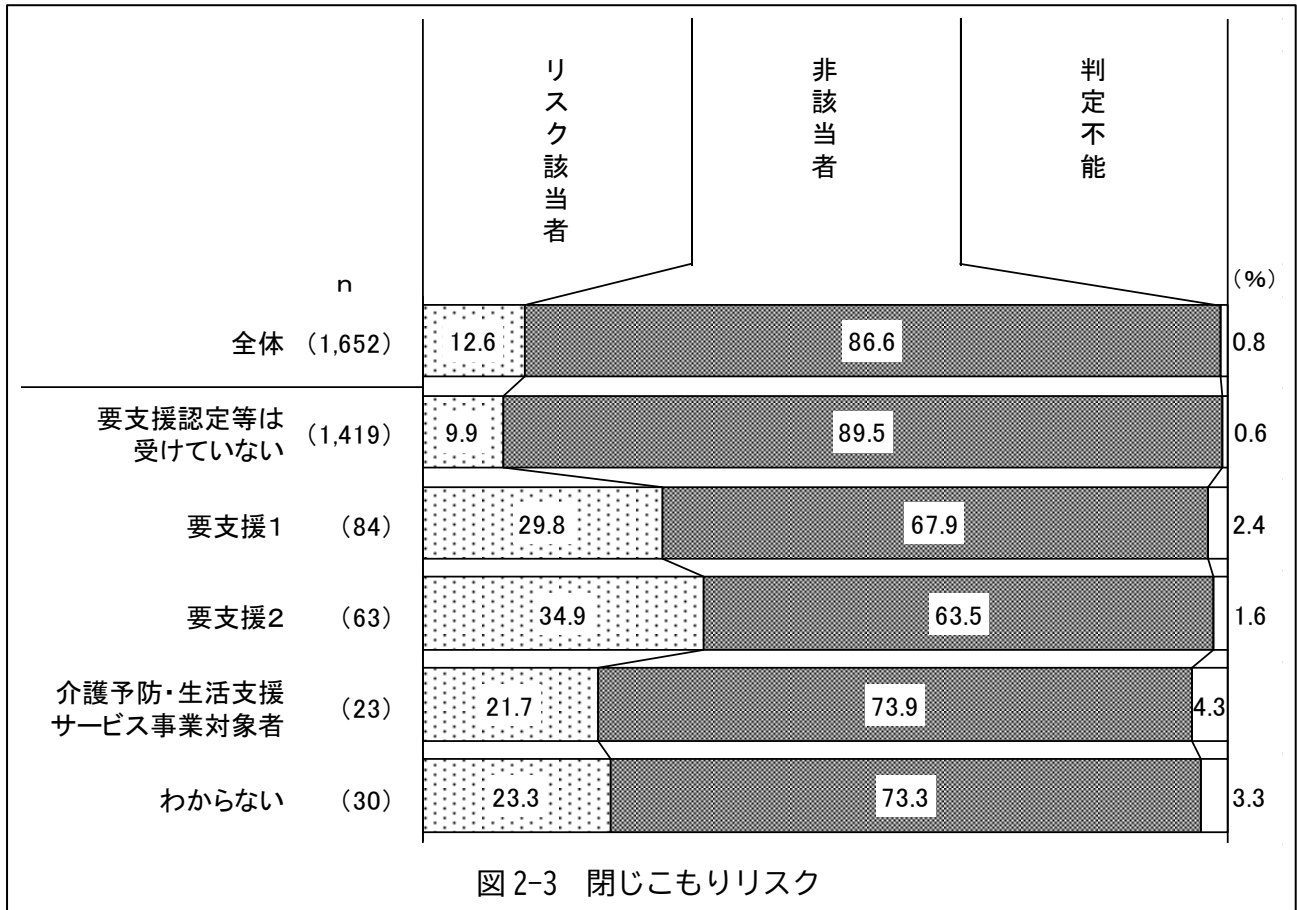
状態別では、リスク該当者の割合は、要支援認定等を受けていない人から要支援2に向かって、段階的に高くなっている。

2.1.3. 閉じこもり傾向

◇以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 16	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

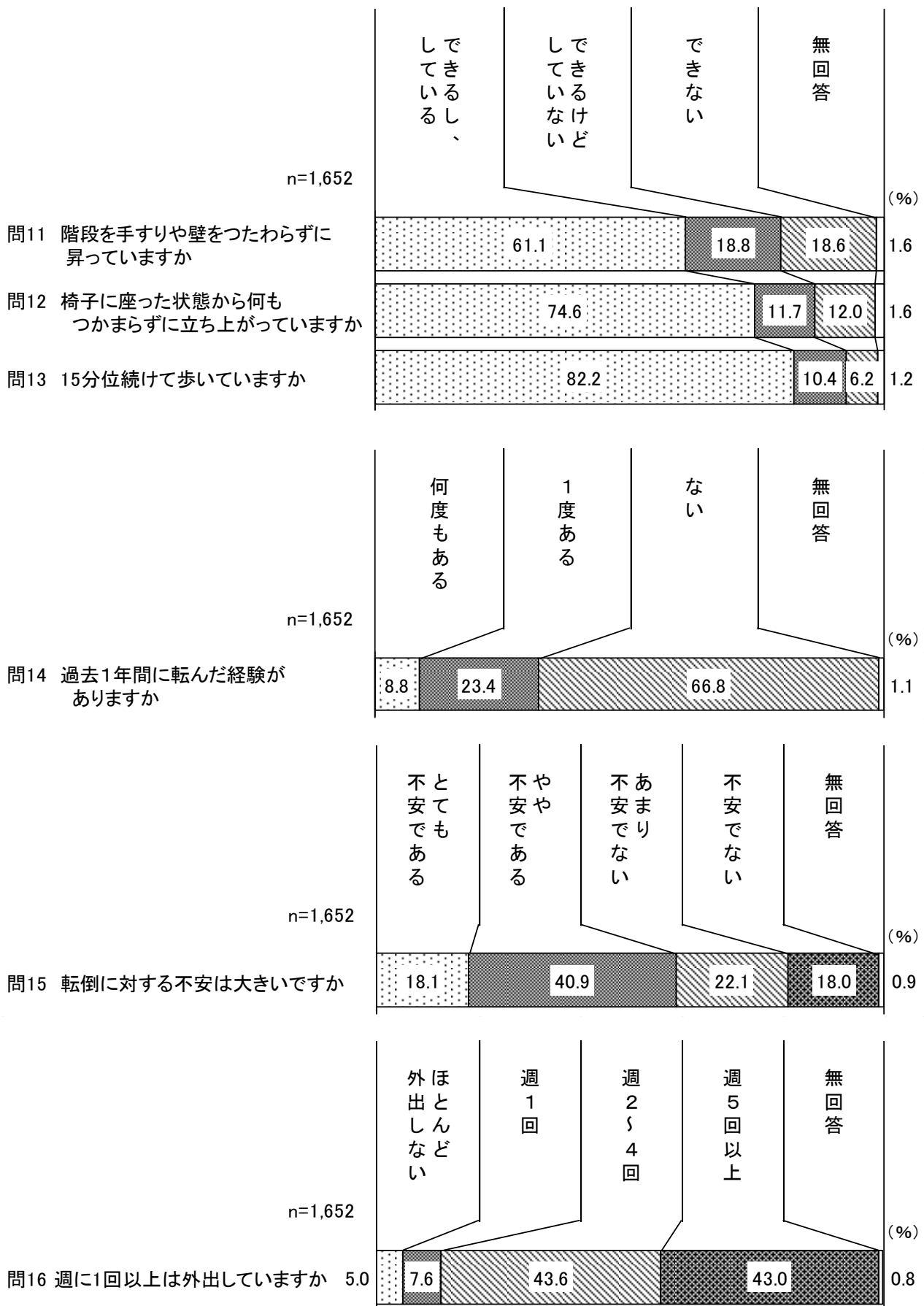
◆ 閉じこもりのリスク該当者は1割台前半



全体では、閉じこもりリスクの該当者は1割台前半となっている。

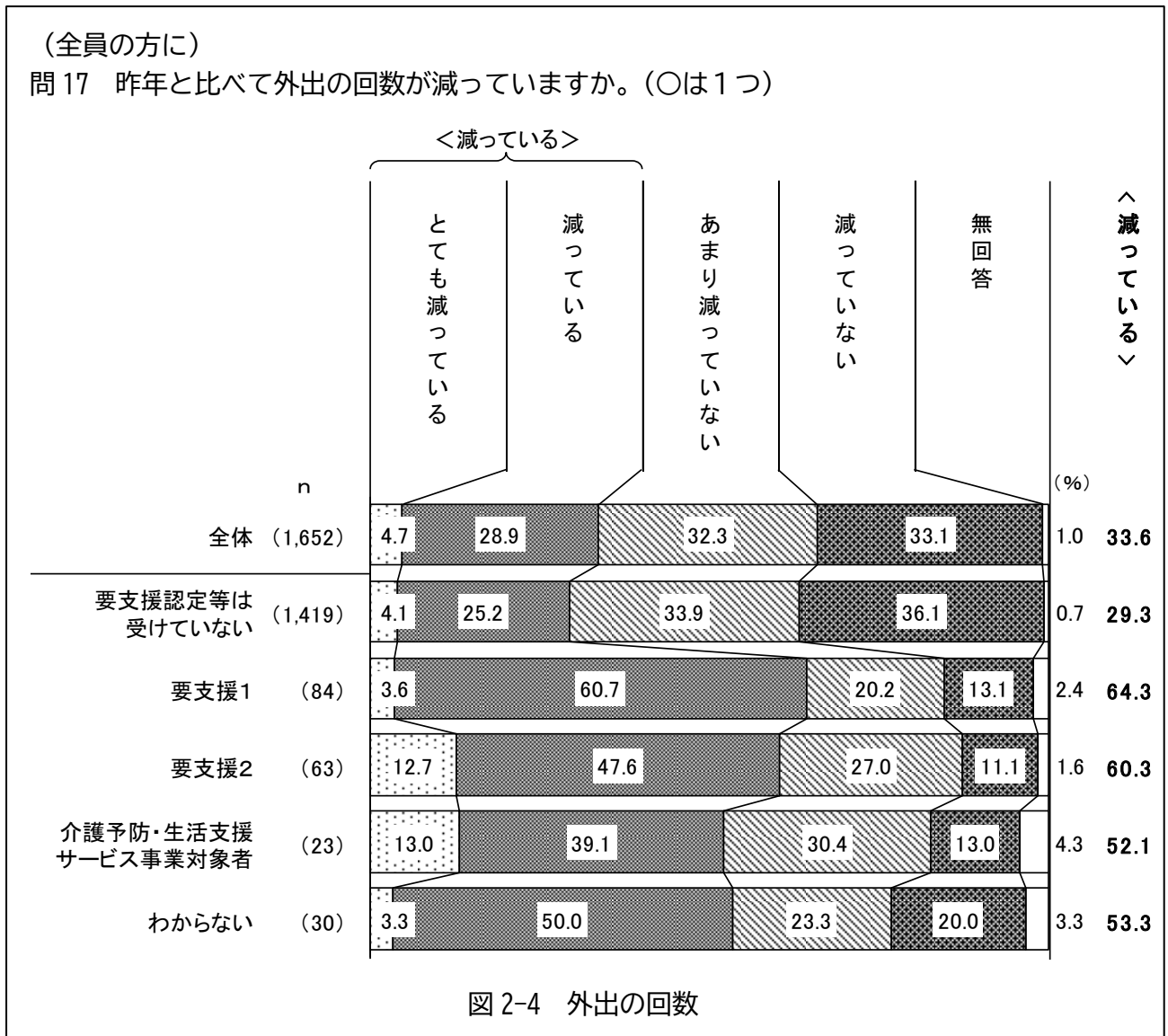
状態別では、リスク該当者の割合は、要支援認定等を受けていない人から要支援2に向かって、段階的に高くなっている。

※問 11～16 設問ごとの結果
(全員の方に)



2.2. 外出の回数

◆ 「減っている」が3割台前半

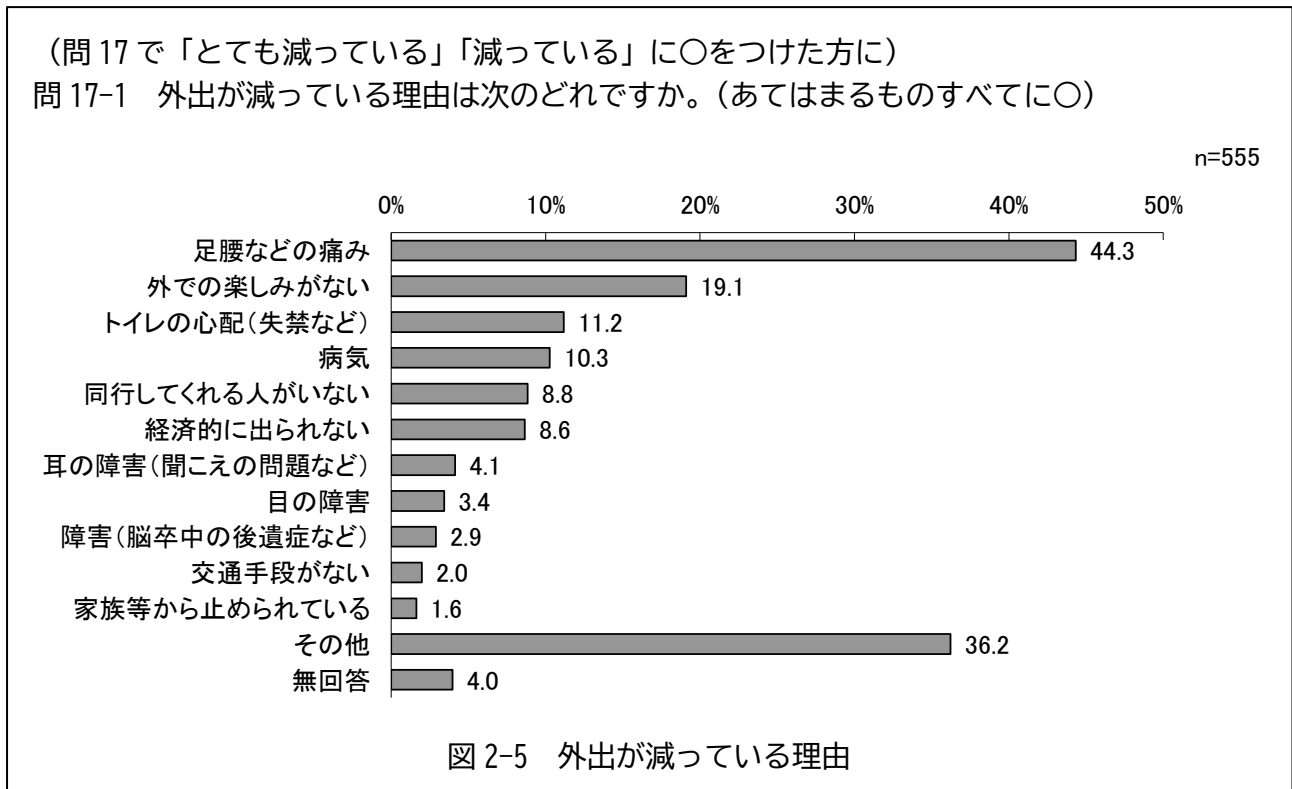


要支援認定等を受けていない人は「減っていない」が3割台半ばで最も高くなっている。

一方、要支援1・2及び介護予防・生活支援サービス事業対象者では「減っている」が最も高く、「とても減っている」と合わせると、いずれも過半数を占めている。

2.2.1. 外出が減っている理由

◆ 「足腰などの痛み」が4割台半ば



「足腰などの痛み」が4割台半ばで最も高くなっている。

「その他」の内容としては、新型コロナウイルスによる外出自粛が多く挙げられている。

【状態別】外出が減っている理由

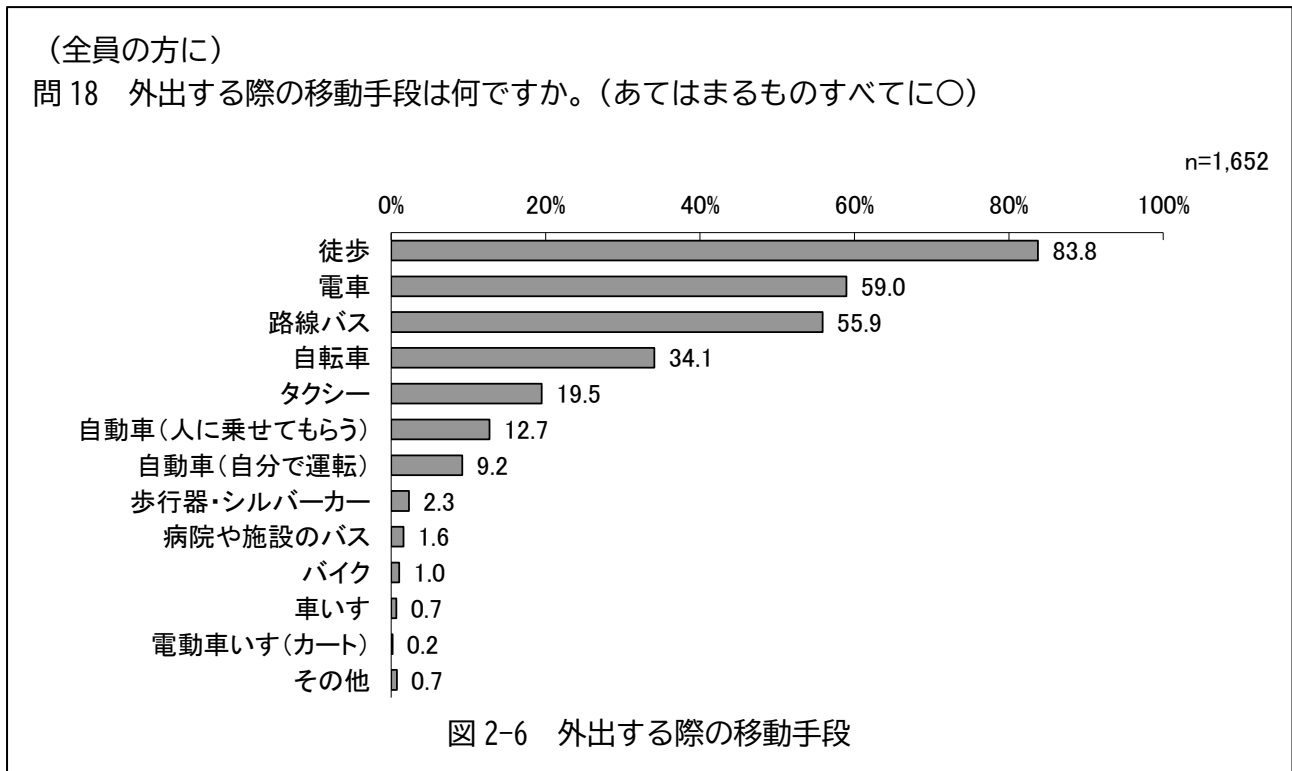
単位：%

	有効回答数(件)	足腰などの痛み	外での楽しみがない	トイレの心配(失禁など)	病気	同行してくれる人がいない	経済的に出られない	耳の障害(聞こえの問題など)
全体	555	44.3	19.1	11.2	10.3	8.8	8.6	4.1
要支援認定等は受けていない	416	38.7	19.7	9.1	9.4	4.6	8.7	2.9
要支援1	54	66.7	16.7	11.1	14.8	16.7	7.4	11.1
要支援2	38	55.3	13.2	13.2	10.5	31.6	13.2	2.6
介護予防・生活支援サービス事業対象者	12	58.3	25.0	8.3	8.3	16.7	16.7	16.7
わからない	16	75.0	31.3	31.3	12.5	31.3	6.3	12.5

	有効回答数(件)	目の障害	障害(脳卒中の後遺症など)	交通手段がない	家族等から止められている	その他	無回答
全体	555	3.4	2.9	2.0	1.6	36.2	4.0
要支援認定等は受けていない	416	2.9	1.2	1.2	1.4	41.8	4.3
要支援1	54	1.9	7.4	1.9	1.9	14.8	1.9
要支援2	38	2.6	7.9	13.2	2.6	21.1	2.6
介護予防・生活支援サービス事業対象者	12	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
わからない	16	12.5	6.3	0.0	0.0	18.8	0.0

2.3. 外出する際の移動手段

◆ 「徒歩」が8割台前半



「徒歩」が8割台前半を占めている。

【状態別】外出する際の移動手段

単位：%

	有効回答数(件)	徒歩	電車	路線バス	自転車	タクシー	自動車(人に乗せてもらう)	自動車(自分で運転)
全体	1,652	83.8	59.0	55.9	34.1	19.5	12.7	9.2
要支援認定等は受けていない	1,419	86.7	63.3	57.2	37.9	16.1	12.3	10.2
要支援1	84	66.7	36.9	59.5	8.3	41.7	16.7	3.6
要支援2	63	54.0	20.6	36.5	7.9	52.4	20.6	1.6
介護予防・生活支援サービス事業対象者	23	82.6	34.8	43.5	13.0	34.8	8.7	0.0
わからない	30	73.3	36.7	46.7	23.3	26.7	6.7	0.0

	有効回答数(件)	歩行者・シルバーカー	病院や施設のバス	バイク	車いす	電動車いす(カート)	その他	無回答
全体	1,652	2.3	1.6	1.0	0.7	0.2	0.7	0.8
要支援認定等は受けていない	1,419	0.8	0.9	1.1	0.1	0.0	0.3	0.5
要支援1	84	7.1	6.0	1.2	2.4	1.2	4.8	2.4
要支援2	63	20.6	9.5	0.0	9.5	3.2	3.2	3.2
介護予防・生活支援サービス事業対象者	23	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	4.3
わからない	30	3.3	6.7	3.3	0.0	0.0	0.0	3.3

3. 食べることについて

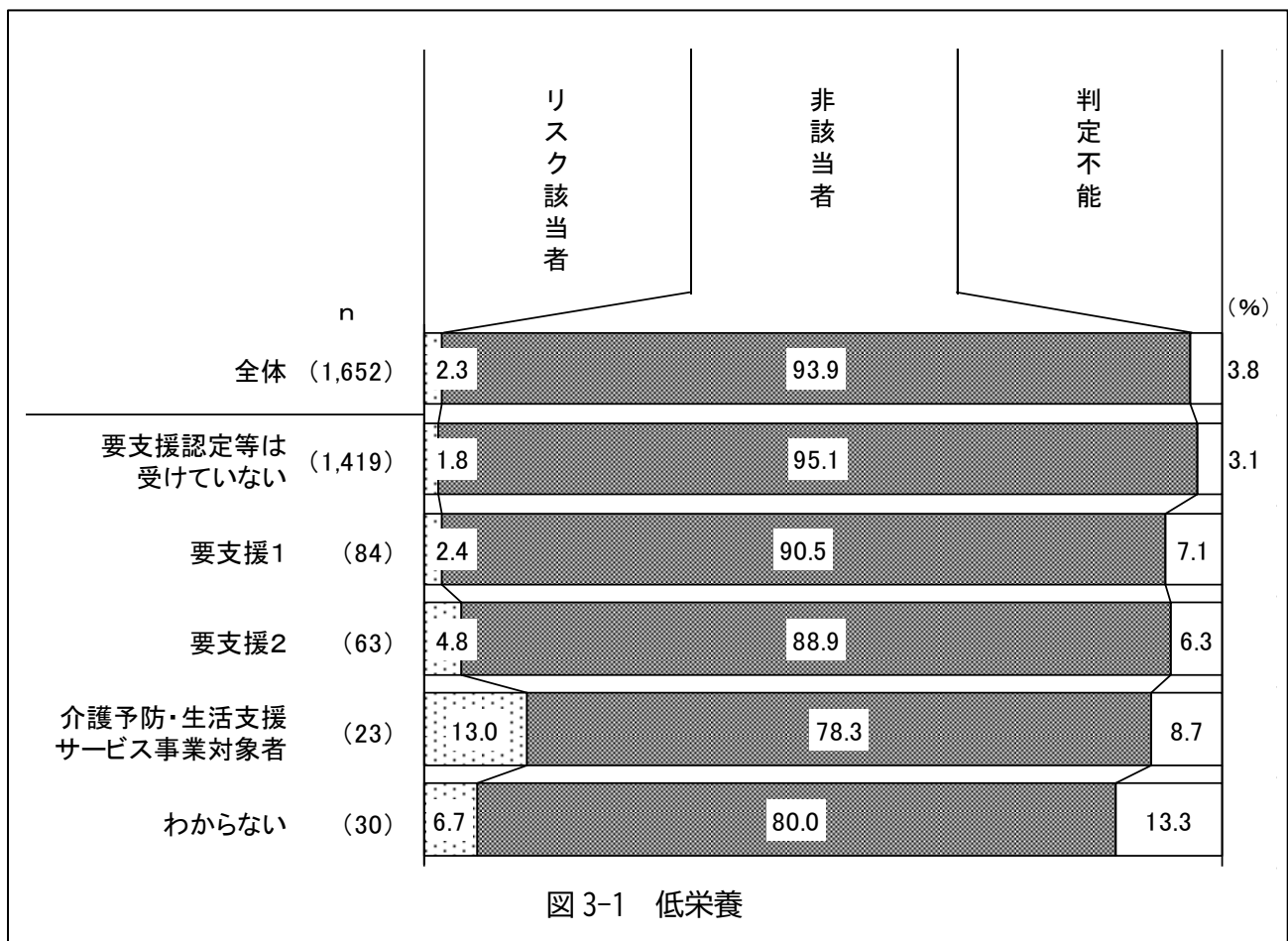
3.1. 機能評価

3.1.1. 低栄養

◇以下の設問を抽出し、2項目の両方に該当する人を低栄養のリスク該当者と判定した。

問番号	設問	該当する状態・選択肢
問 19	身長・体重	BMI 18.5未満
問 25	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい

◆ 低栄養のリスク該当者は約2%



全体では、低栄養のリスク該当者は約2%となっている。

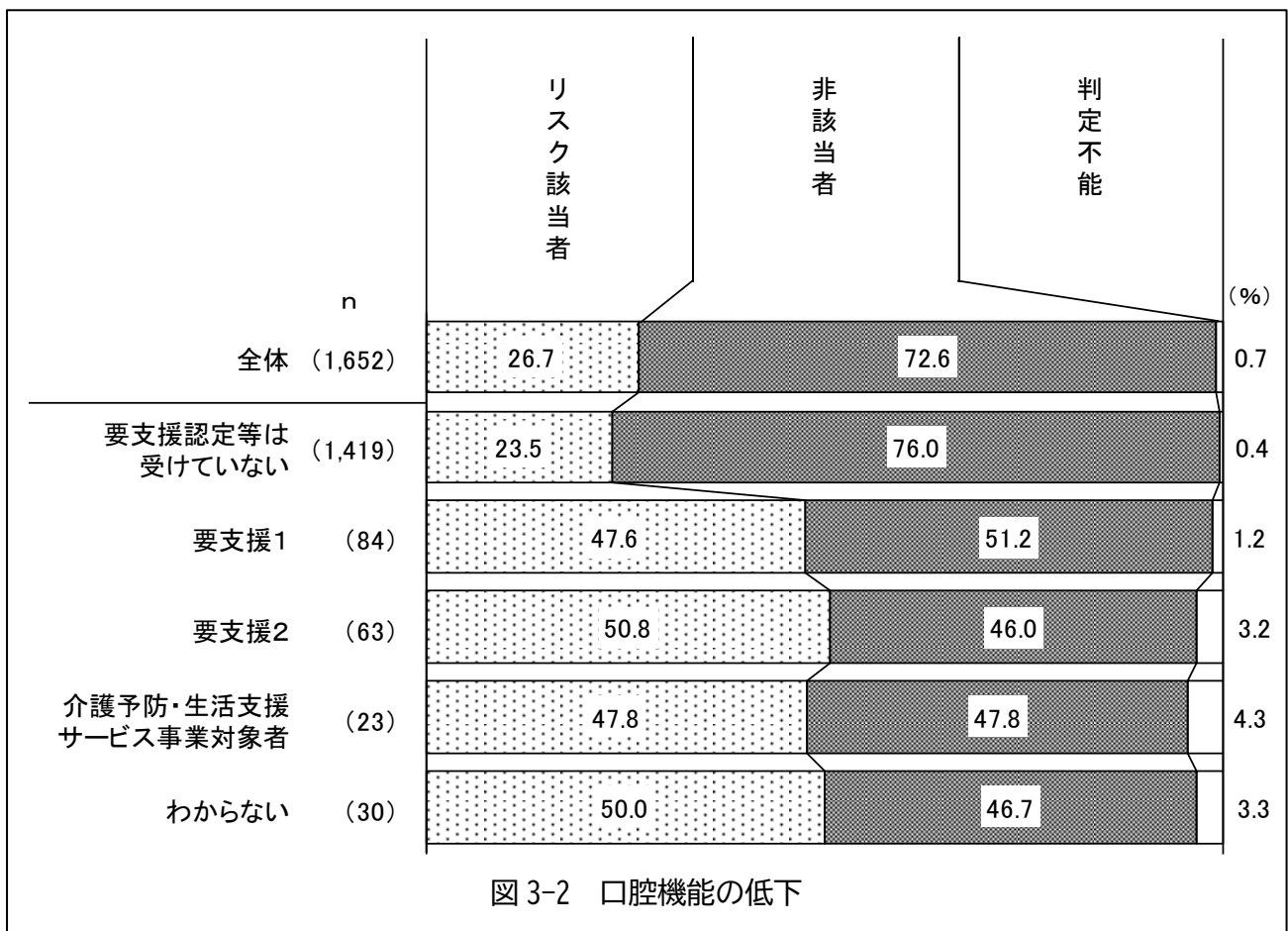
状態別では、介護予防・生活支援サービス事業対象者でやや高く、1割台前半となっている。

3.1.2. 口腔機能

◇以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔機能低下のリスク該当者と判定した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 20	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
問 21	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
問 22	口の渇きが気になりますか	1. はい

◆ 口腔機能の低下リスク該当者は2割台半ば

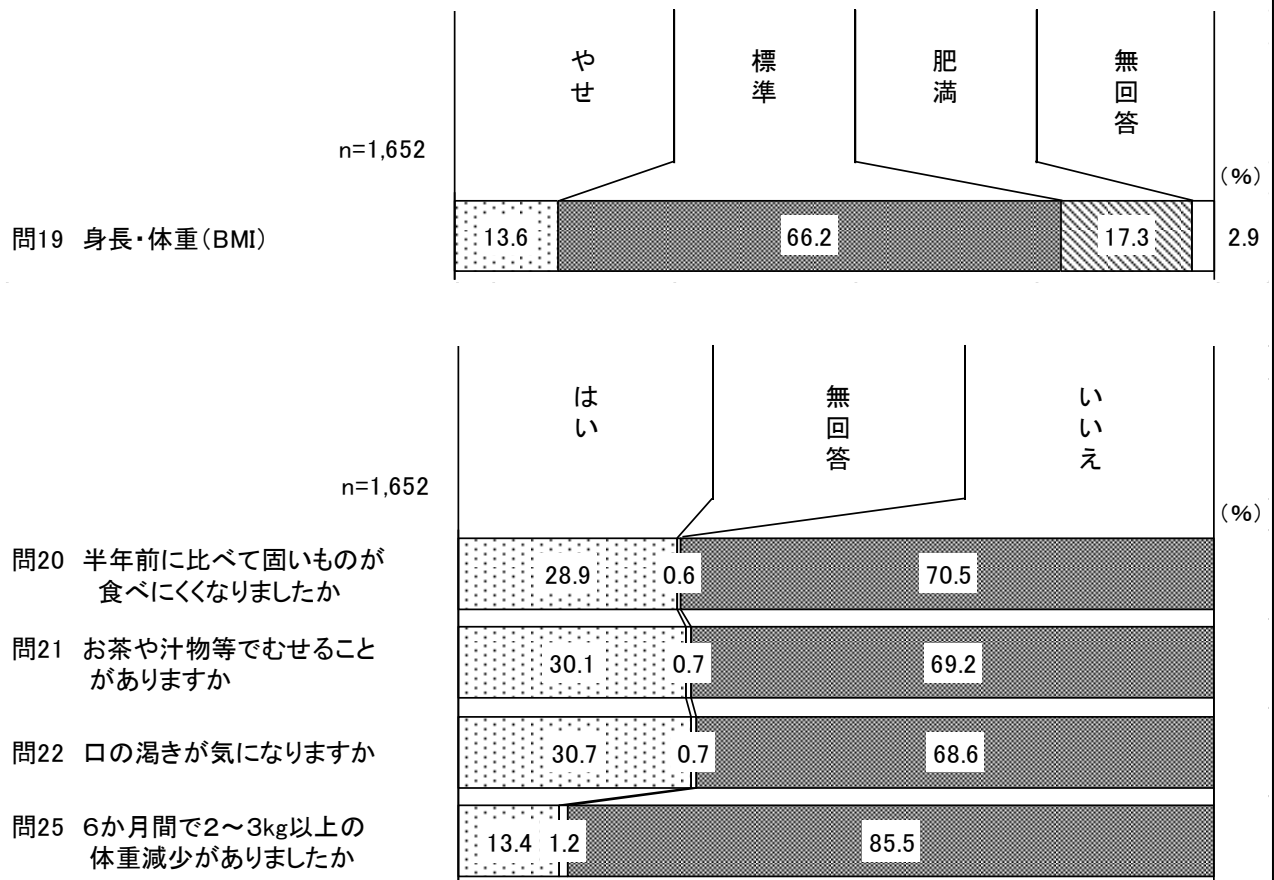


全体では、口腔機能低下のリスク該当者は2割台半ばとなっている。

状態別では、リスク該当者の割合は、要支援認定等を受けていない人から要支援2に向かって、段階的に高くなっている。

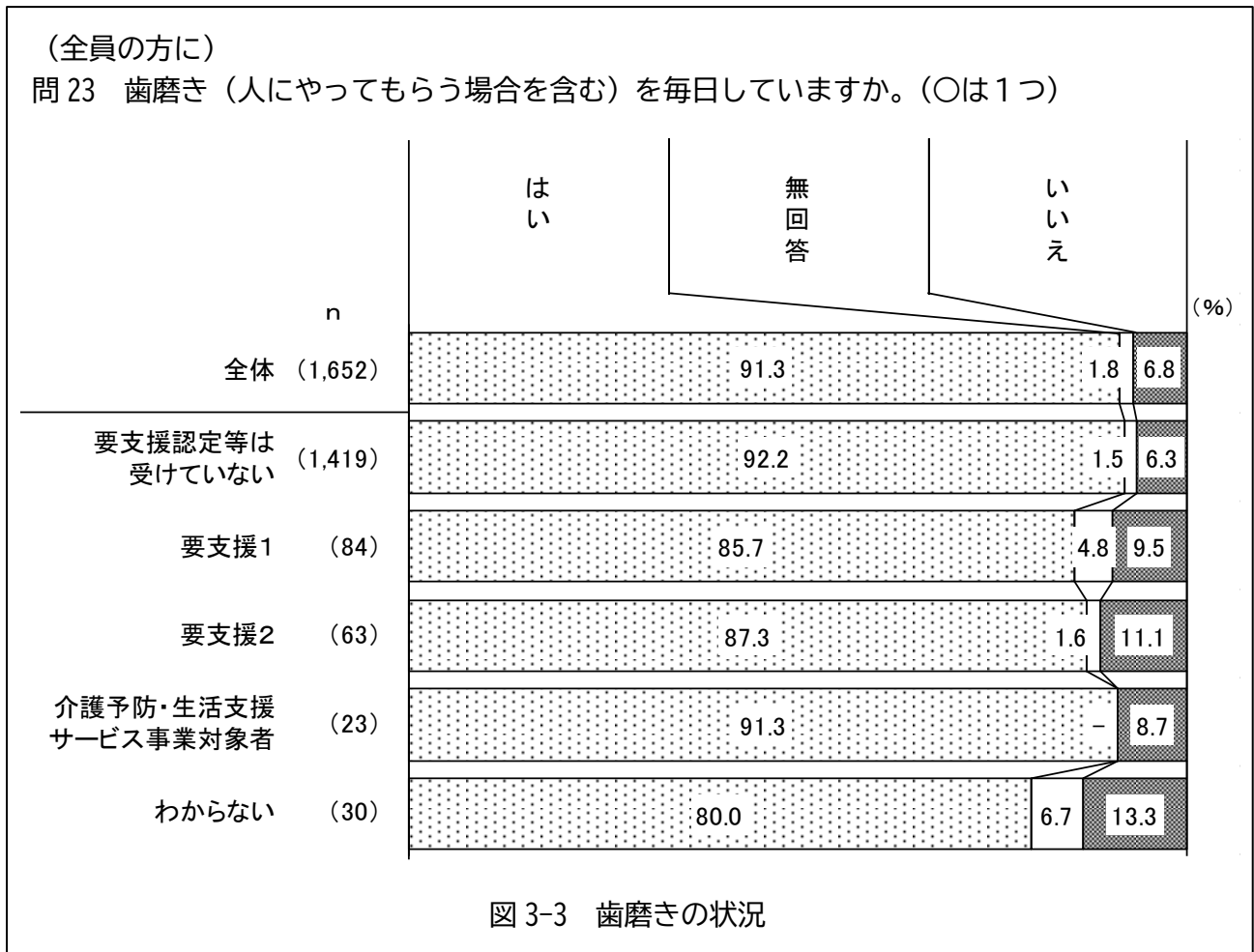
また、介護予防・生活支援サービス事業対象者も要支援1・2と同程度の割合となっている。

※問19～問22、問25 設問ごとの結果
(全員の方に)

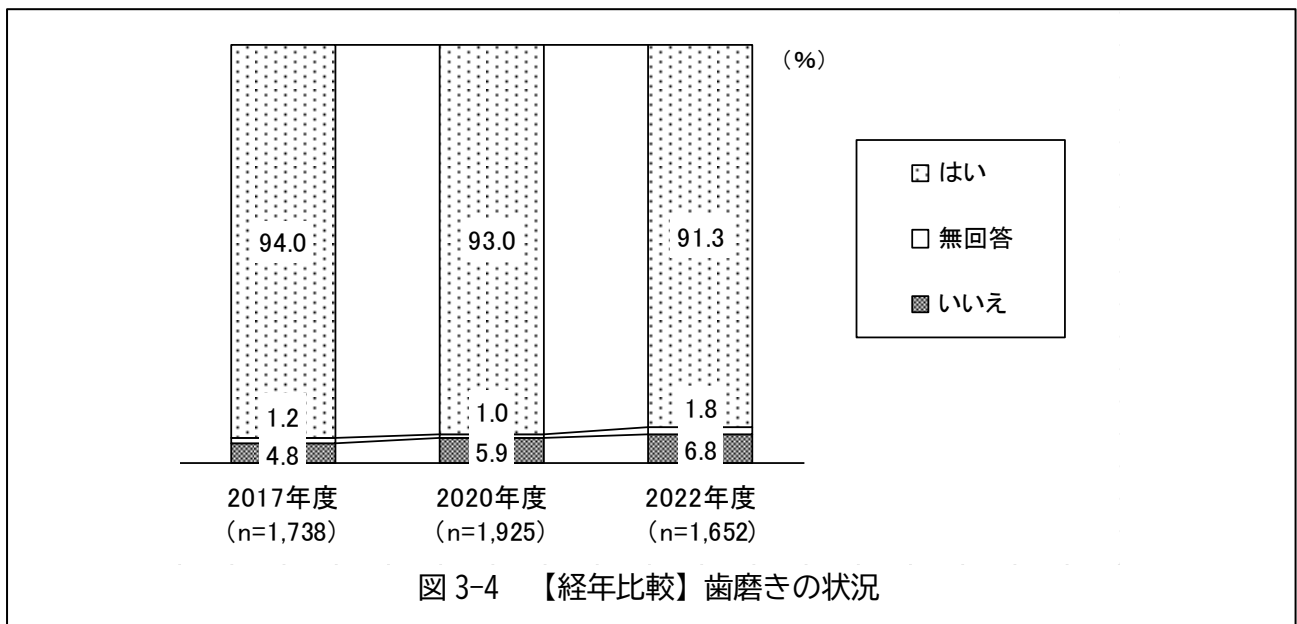


3.2. 歯磨きの状況

◆ 「はい」が約9割



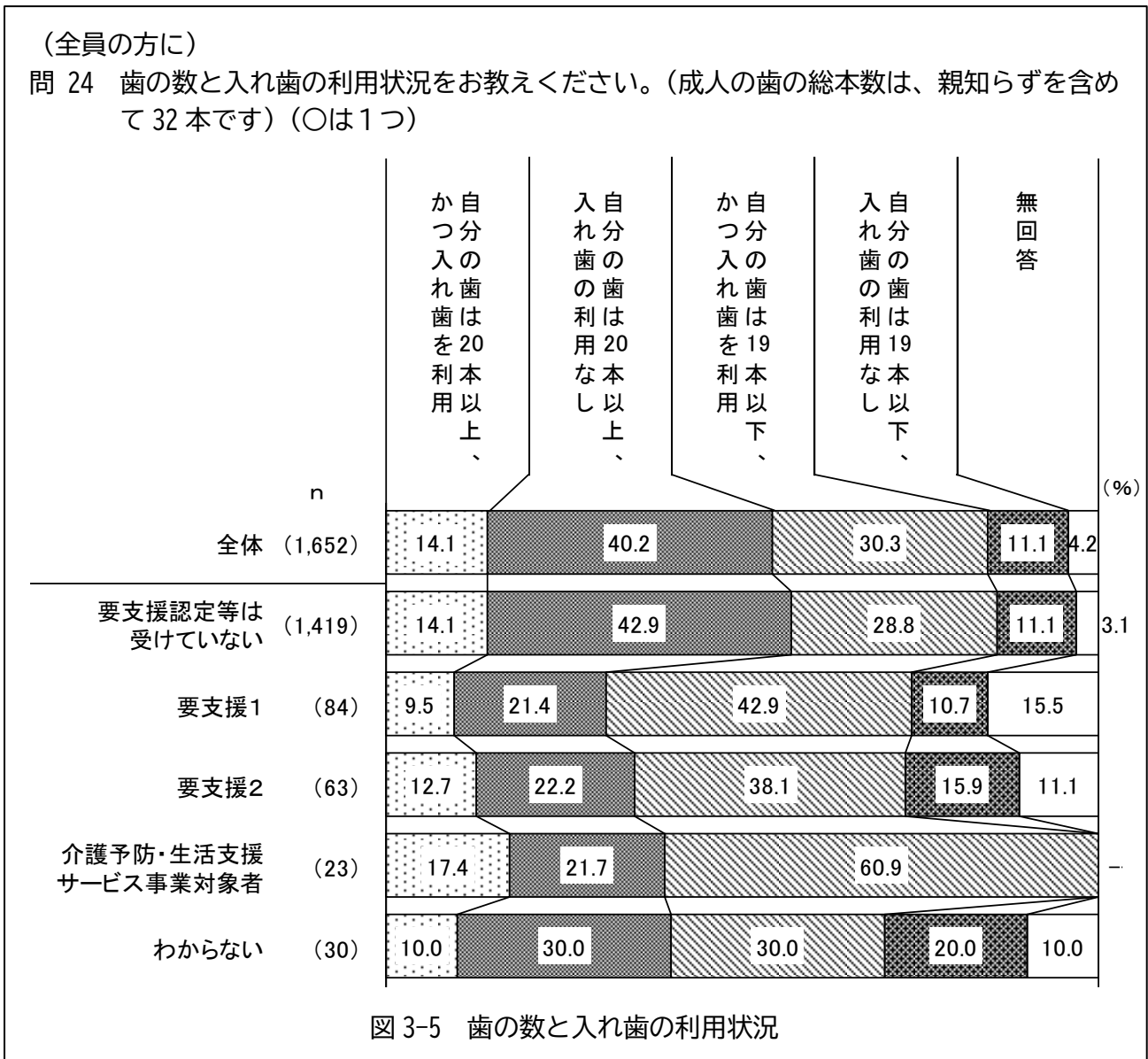
「はい」が約9割を占めている。



経年比較では、「はい」が微減の傾向にある。

3.3. 歯の数と入れ歯の利用状況

◆ 「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が約 4 割

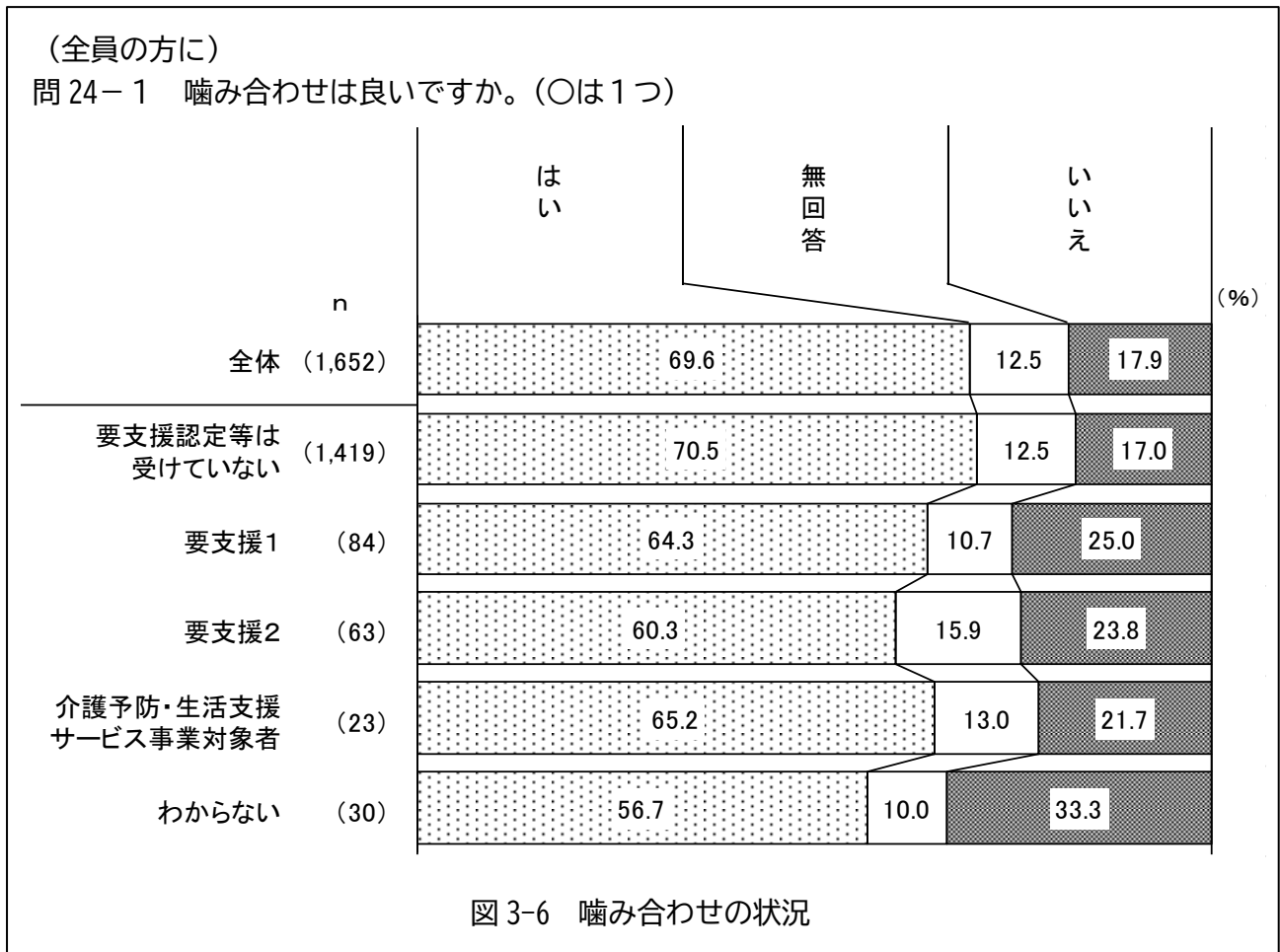


「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が約 4 割で最も高くなっている。

状態別では、要支援 1・2 及び介護予防・生活支援サービス事業対象者は「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が要支援認定等は受けていない人より低くなっている。

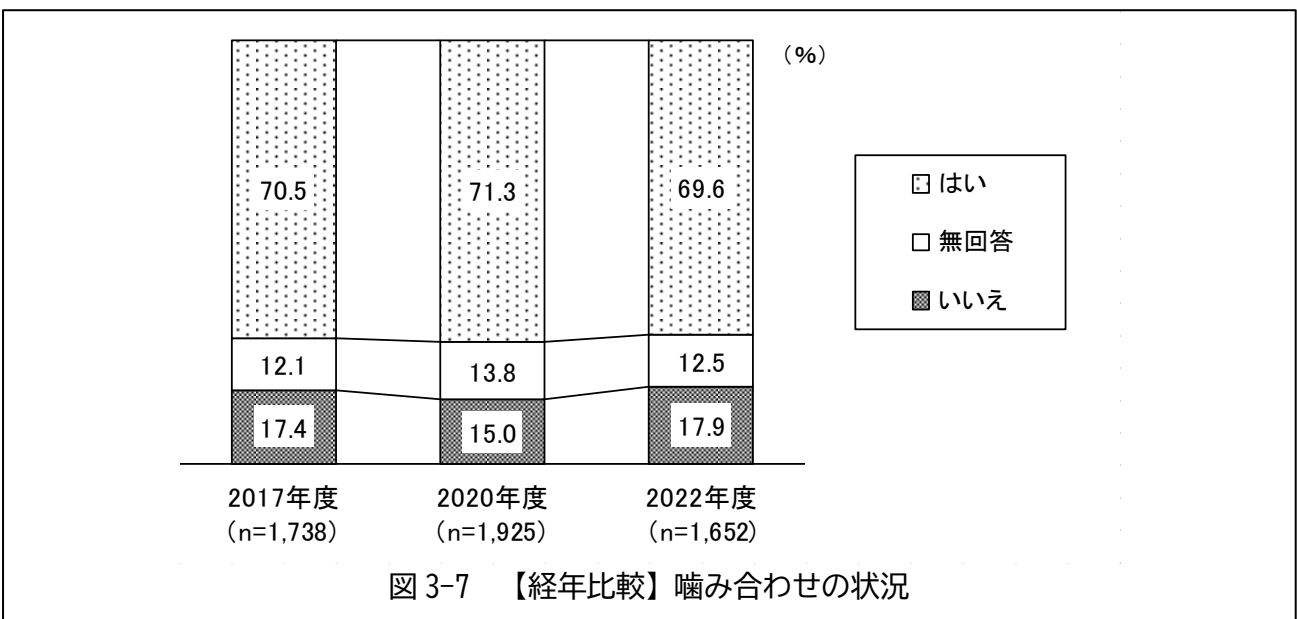
3.3.1. 噛み合わせの状況

◆ 「はい」が約7割



全体では、「はい」が約7割を占めている。

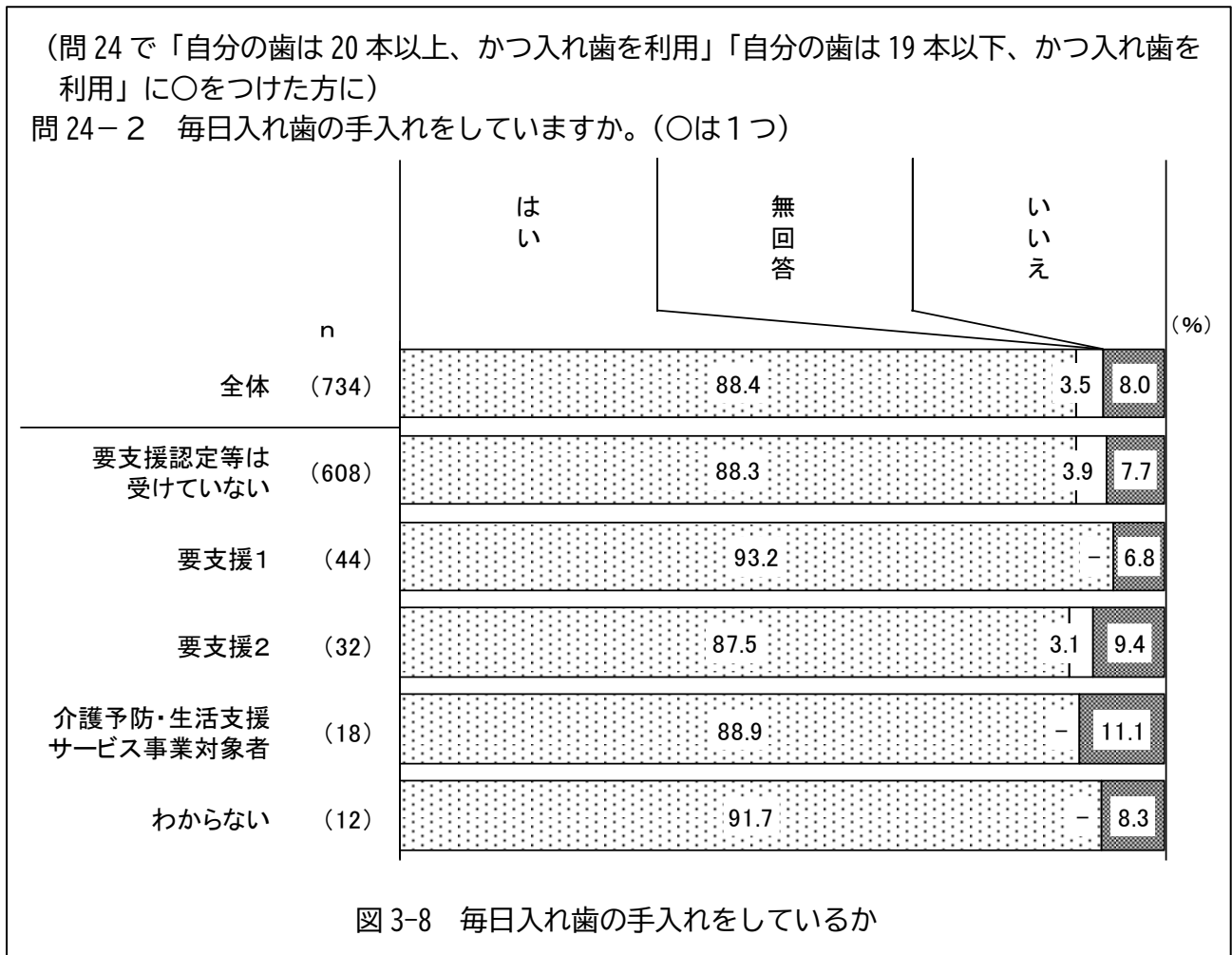
状態別では、要支援1では「いいえ」が2割台半ば、要支援2では「いいえ」が2割台前半となっている。



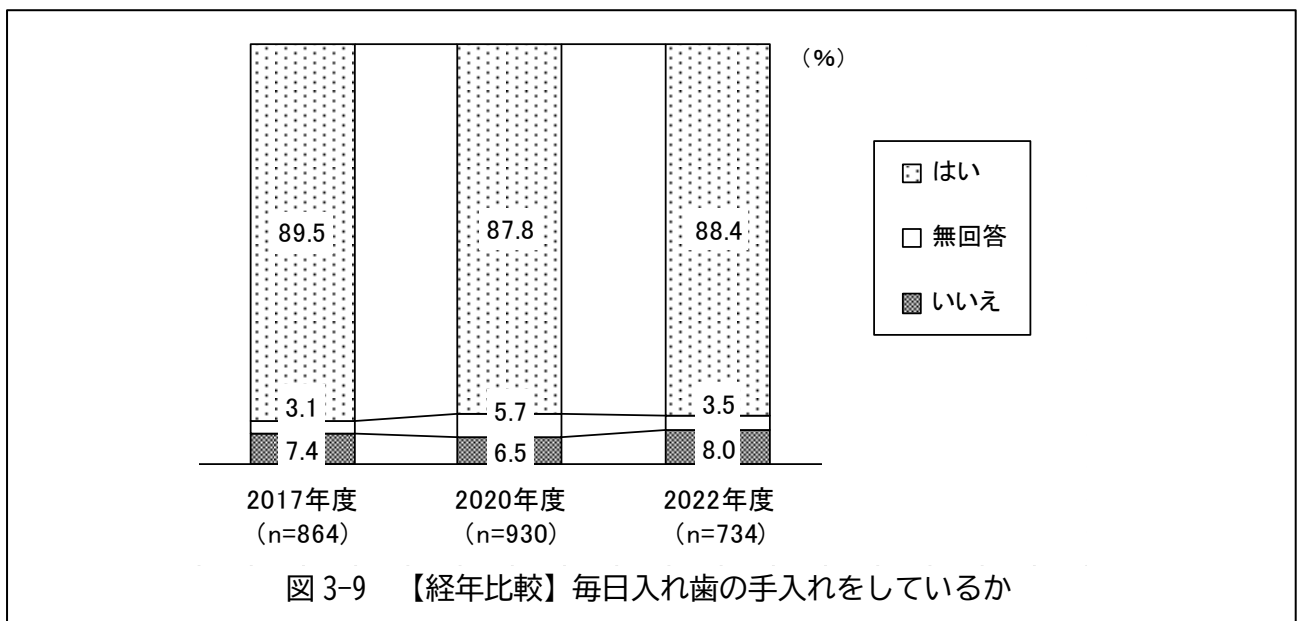
経年比較では、大きな差異はみられない。

3.3.2. 毎日入れ歯の手入れをしているか

◆ 「はい」が約9割



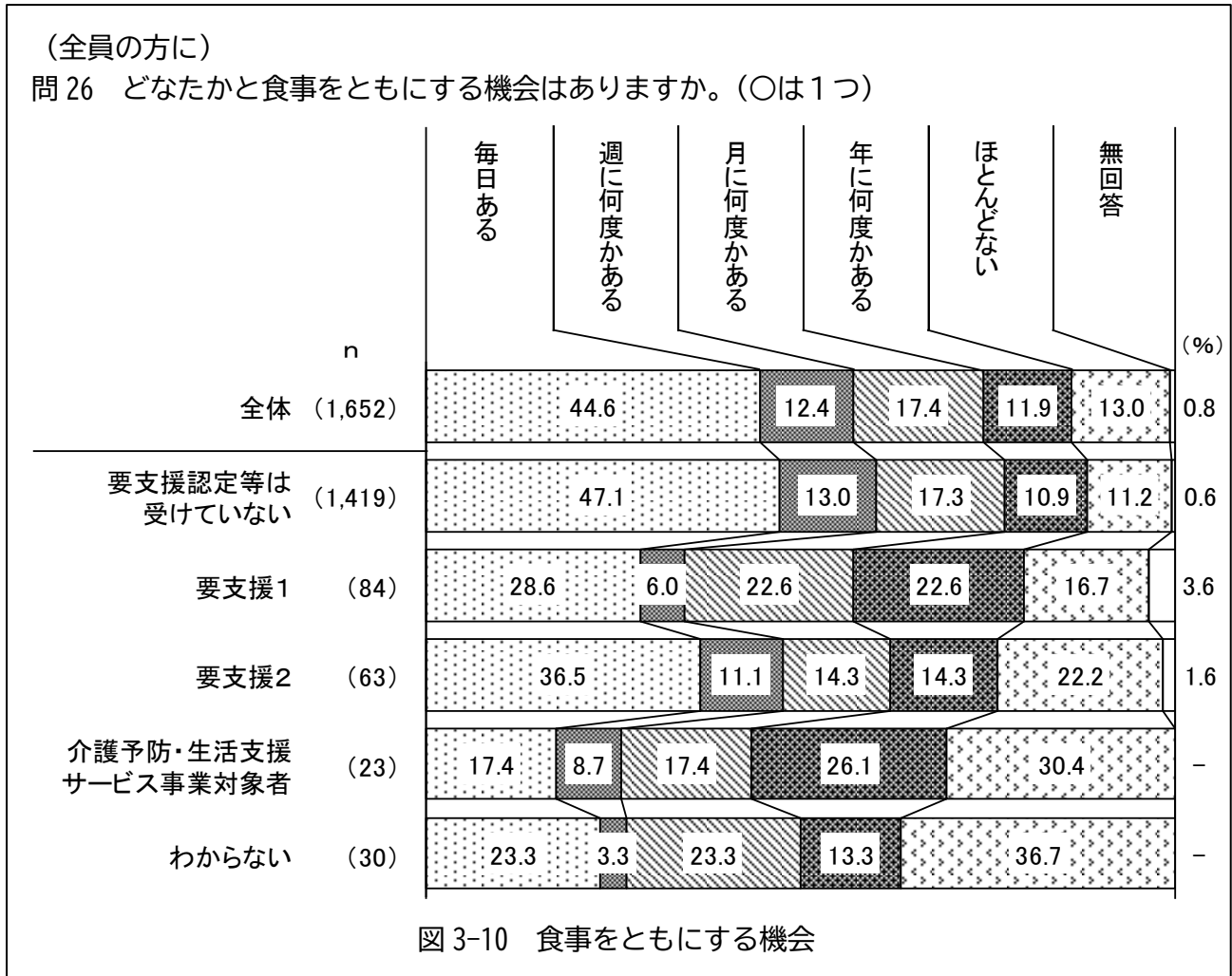
全体では、「はい」が約9割を占めている。
 状態別では、要支援2で「はい」が9割台前半を占めている。



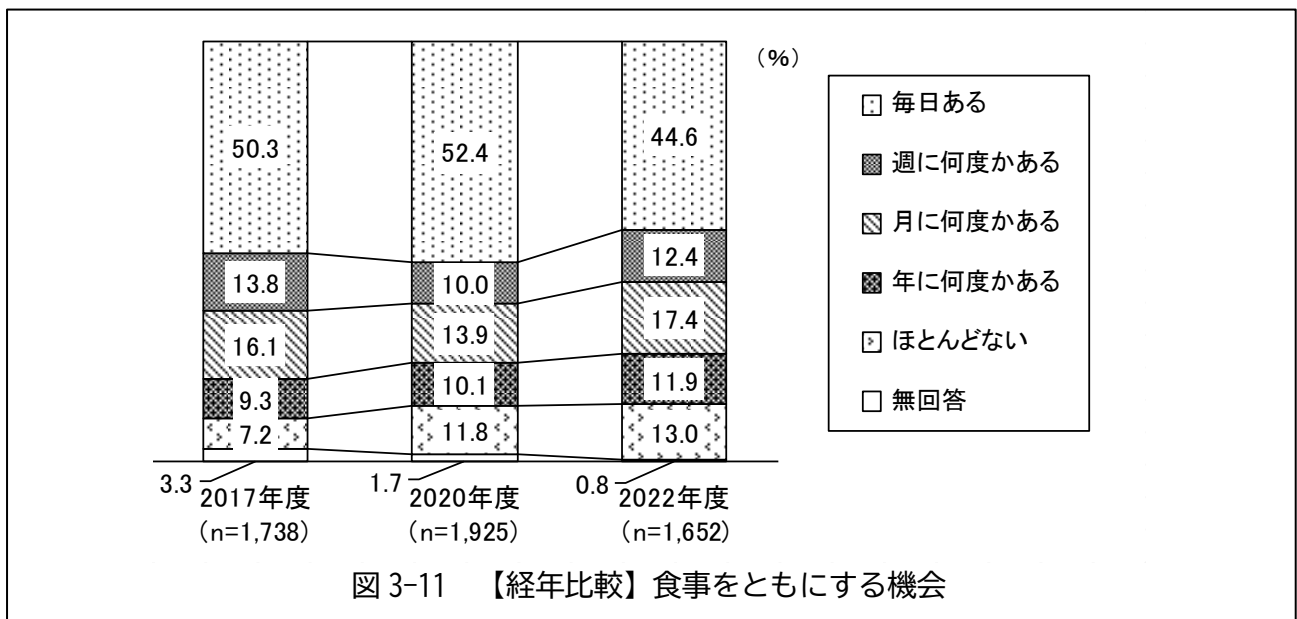
経年比較では、大きな差異はみられない。

3.4. 食事をとむにする機会

◆ 「毎日ある」が4割台半ば

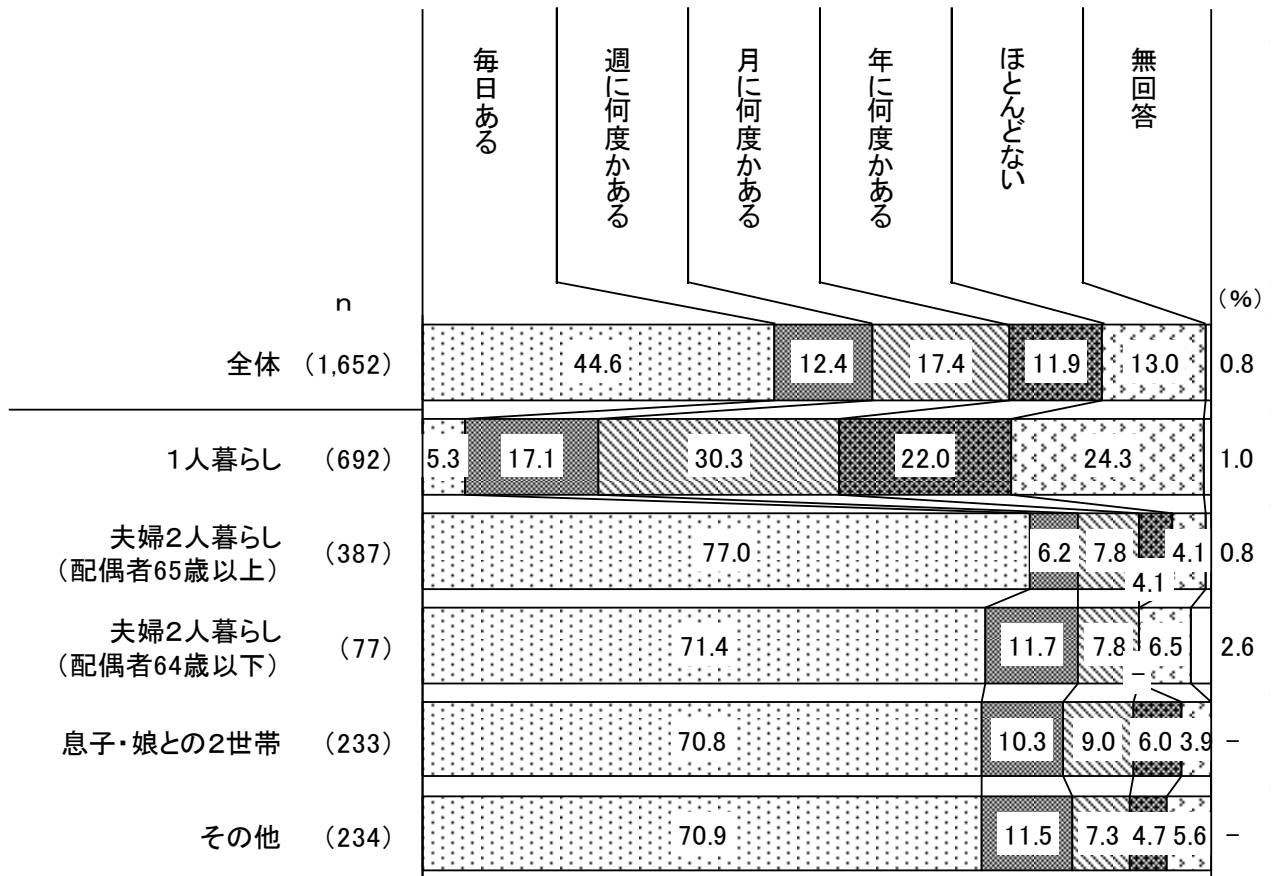


全体では、「毎日ある」が4割台半ばで最も高くなっている。
状態別では、介護予防・生活支援サービス事業対象者は「ほとんどない」が約3割となっている。



経年比較では、2020年度と比べて「毎日ある」が7.8ポイント減少している。

【家族構成別】食事をともしる機会



家族構成別では、1人暮らし以外では「毎日ある」が7割を超えている。一方、1人暮らしでは「ほとんどない」が2割台半ばで他より高くなっている。

4. 毎日の生活について

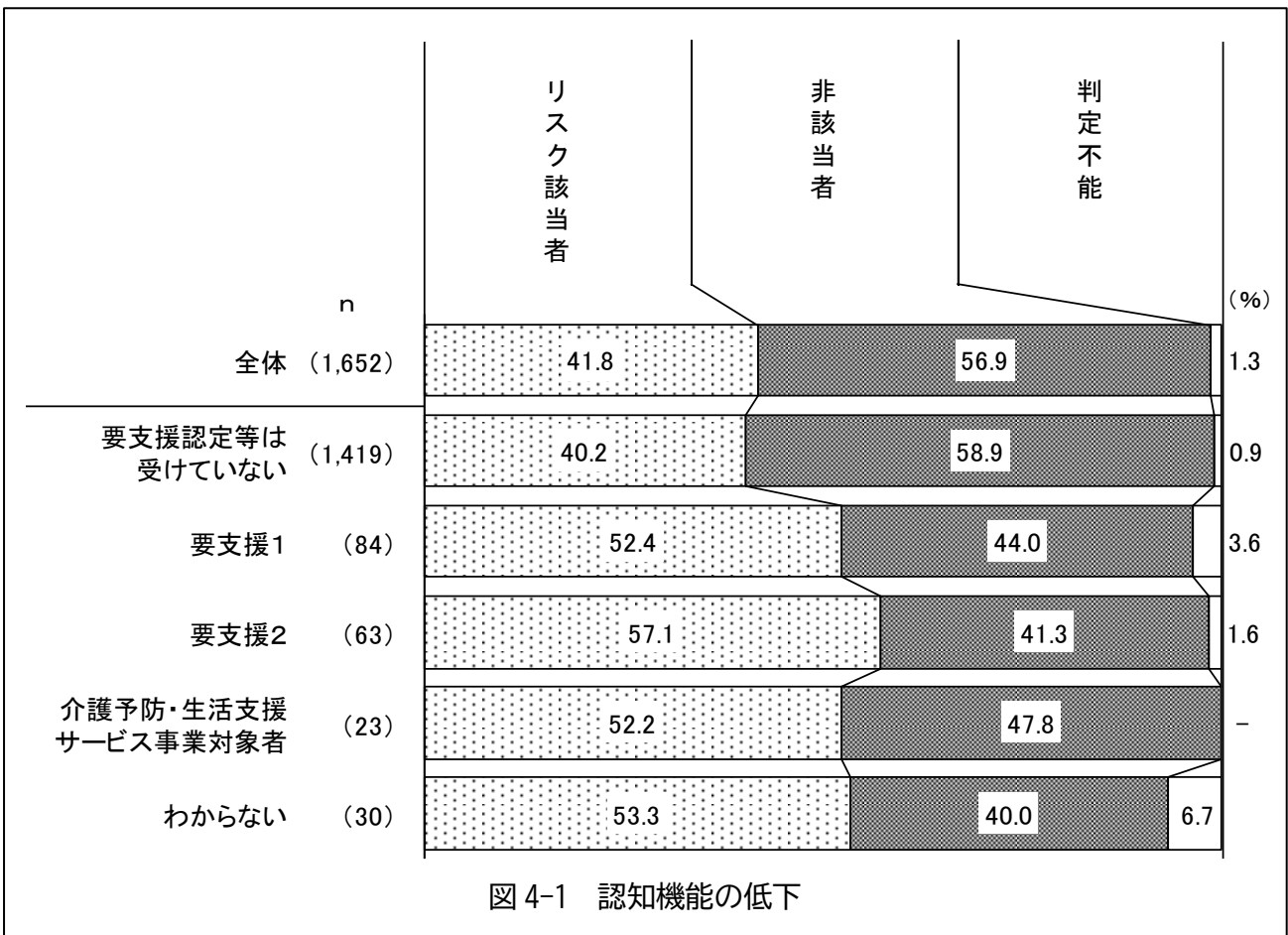
4.1. 機能評価

4.1.1. 認知機能

◇以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知機能低下のリスク該当者と判定した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 27	物忘れが多いと感じますか	1. はい

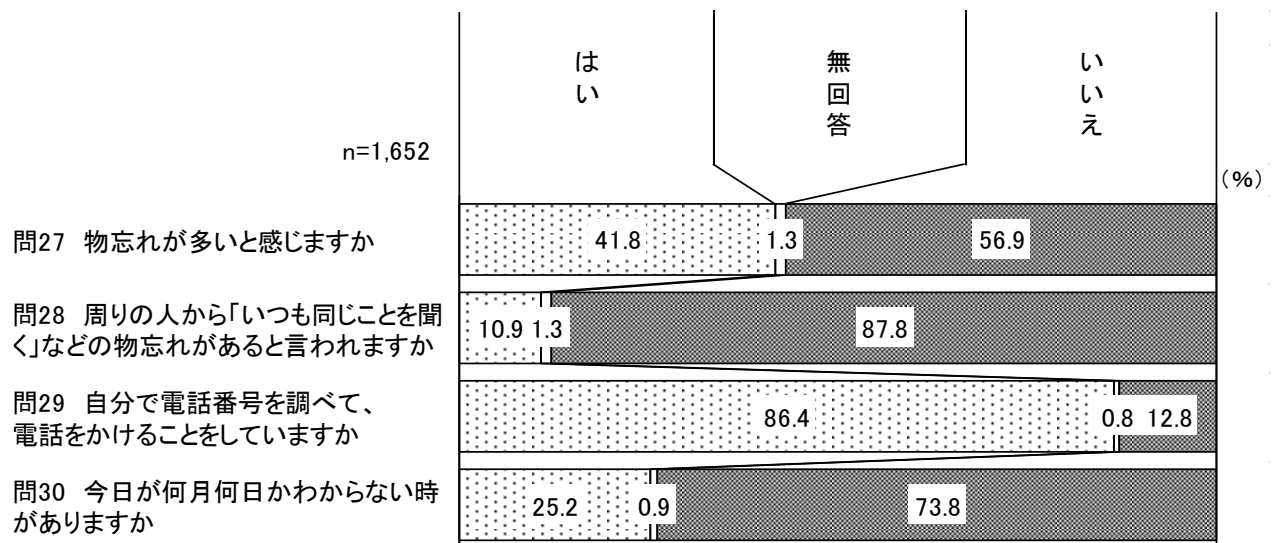
◆ 認知機能低下のリスク該当者は約4割



全体では、認知機能低下のリスク該当者は約4割となっている。

状態別では、要支援1・2及び介護予防・生活支援サービス事業対象者ではリスク該当者が過半数を占めている。

※問 27 及び関連する設問（問 28～問 30）の結果
（全員の方に）



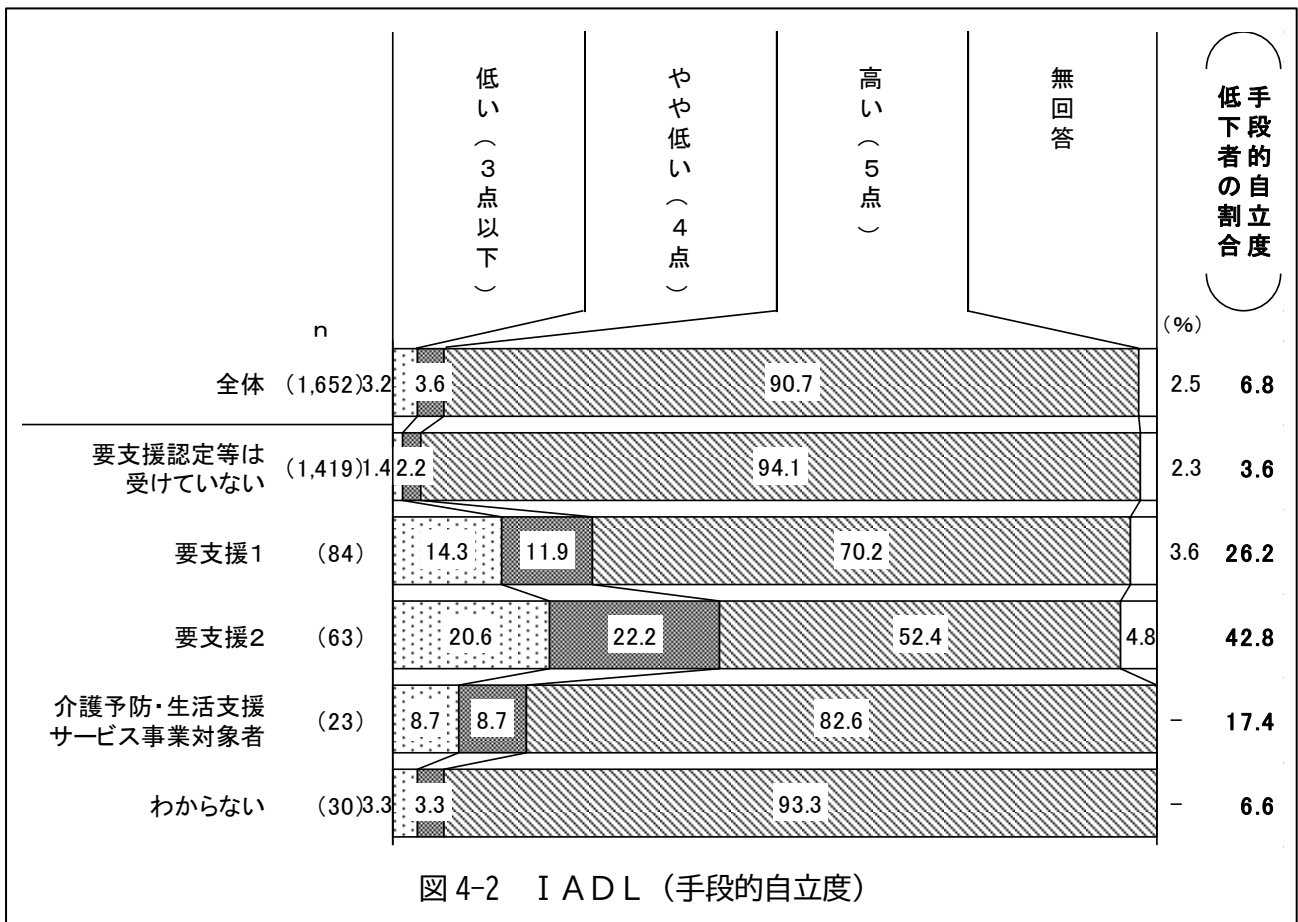
4.1.2. IADL（手段的自立度）

◇「IADL（手段的自立度）※」について、以下の各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価した。また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を算出した。

※「手段的自立度（Instrumental Activities of Daily Living:IADL）」とは、買い物、電話、薬の管理など、比較的高度な日常生活上の動作を行える自立度の程度を示す指標。

問番号	設問	該当する選択肢
問 31	バスや電車を使って1人で外出していますか	「1. できるし、している」または「2. できるけどしていない」
問 32	自分で食品・日用品の買物をしていますか	「1. できるし、している」または「2. できるけどしていない」
問 33	自分で食事の用意をしていますか	「1. できるし、している」または「2. できるけどしていない」
問 34	自分で請求書の支払いをしていますか	「1. できるし、している」または「2. できるけどしていない」
問 35	自分で預貯金の出し入れをしていますか	「1. できるし、している」または「2. できるけどしていない」

◆ IADL（手段的自立度）の低下者は約7%

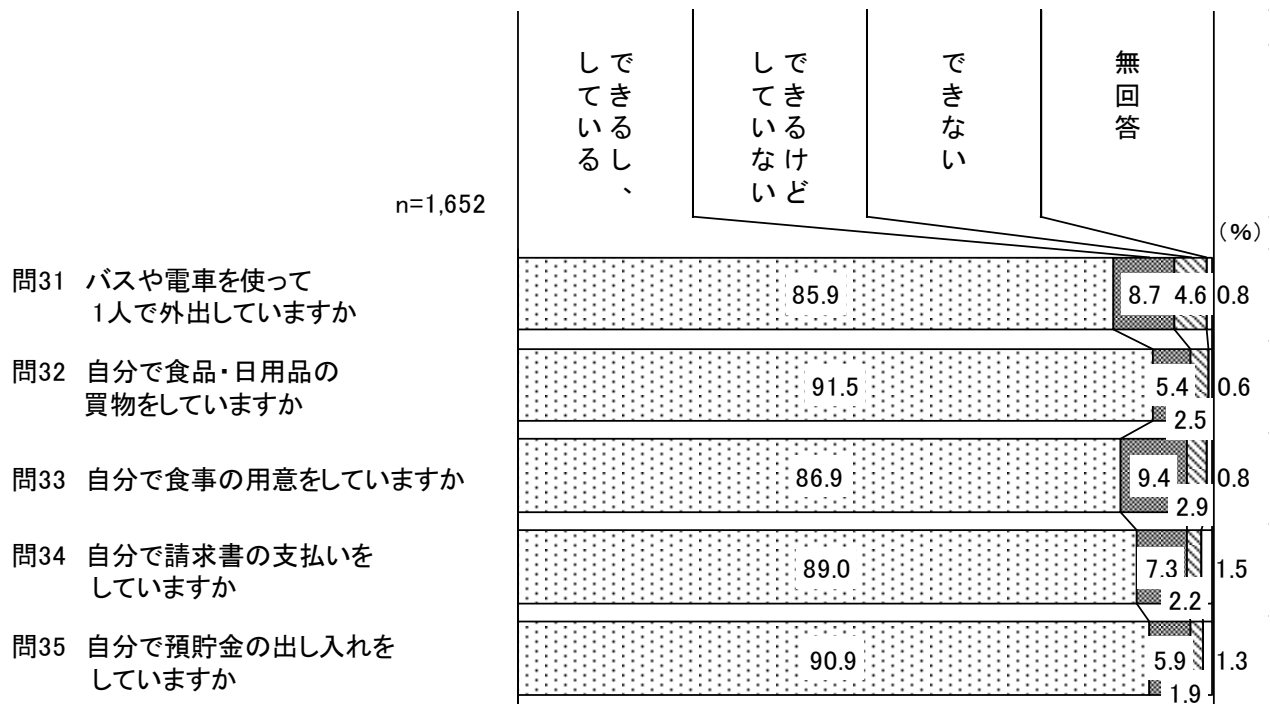


全体では、IADL（手段的自立度）の低下者は約7%となっている。

状態別では、要支援2でIADL（手段的自立度）の低下者の割合が高く、4割台前半となっている。

※問 31～問 35 設問ごとの結果
(全員の方に)

n=1,652

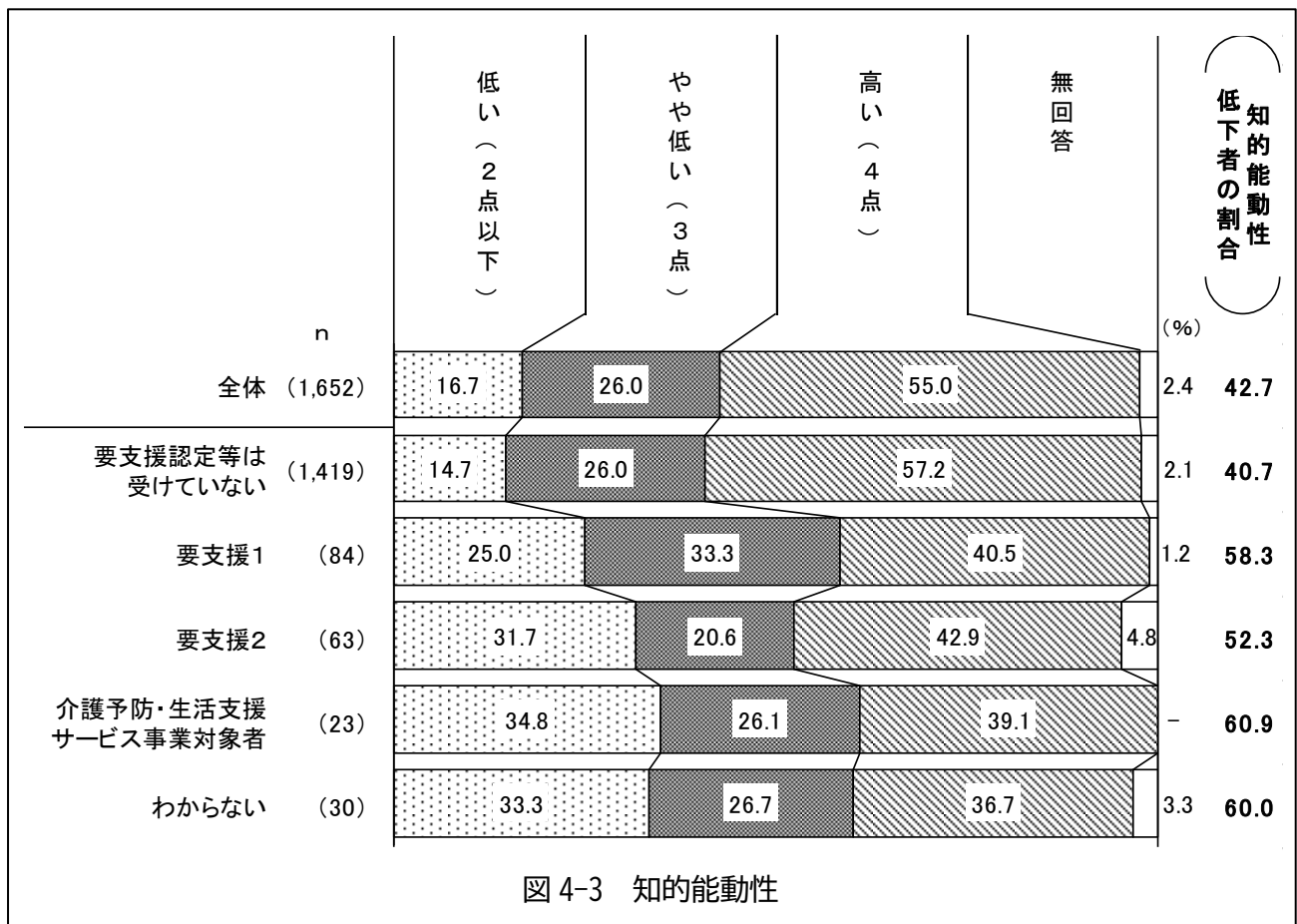


4.1.3. 知的能動性

◇「知的能動性」について、以下の各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価した。また、3点以下を知的能動性の低下者とし、低下者の割合を算出した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 36	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	1. はい
問 37	新聞を読んでいますか	1. はい
問 38	本や雑誌を読んでいますか	1. はい
問 39	健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい

◆ 知的能動性の低下者は4割台前半

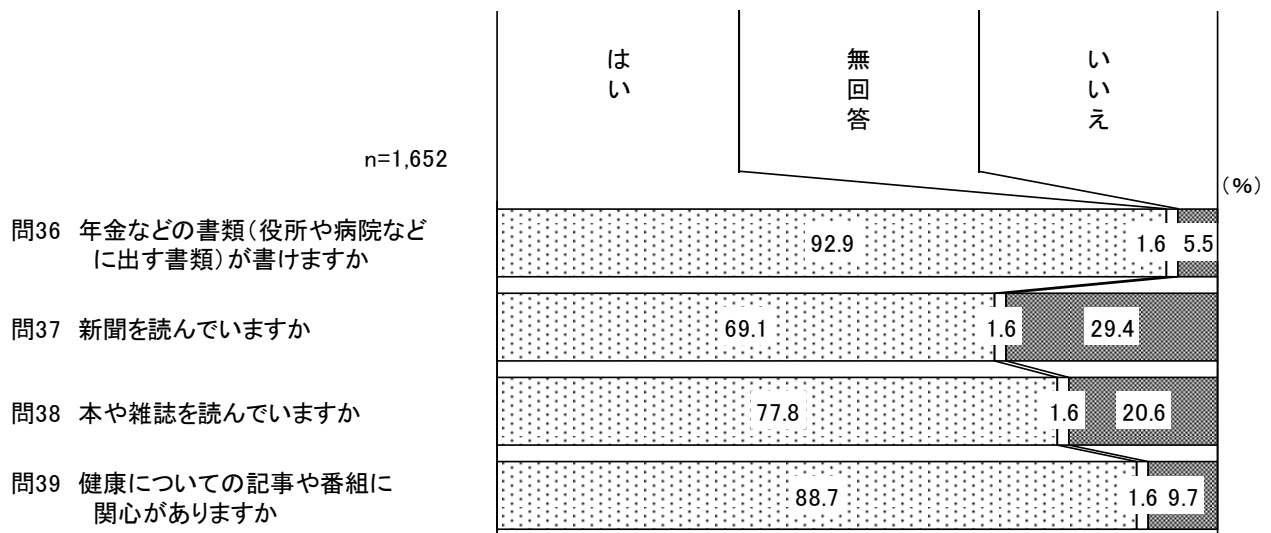


全体では、知的能動性の低下者は4割台前半となっている。

状態別では、介護予防・生活支援サービス事業対象者で知的能動性の低下者の割合が高く、約6割を占めている。

※問 36～問 39 設問ごとの結果
(全員の方に)

n=1,652

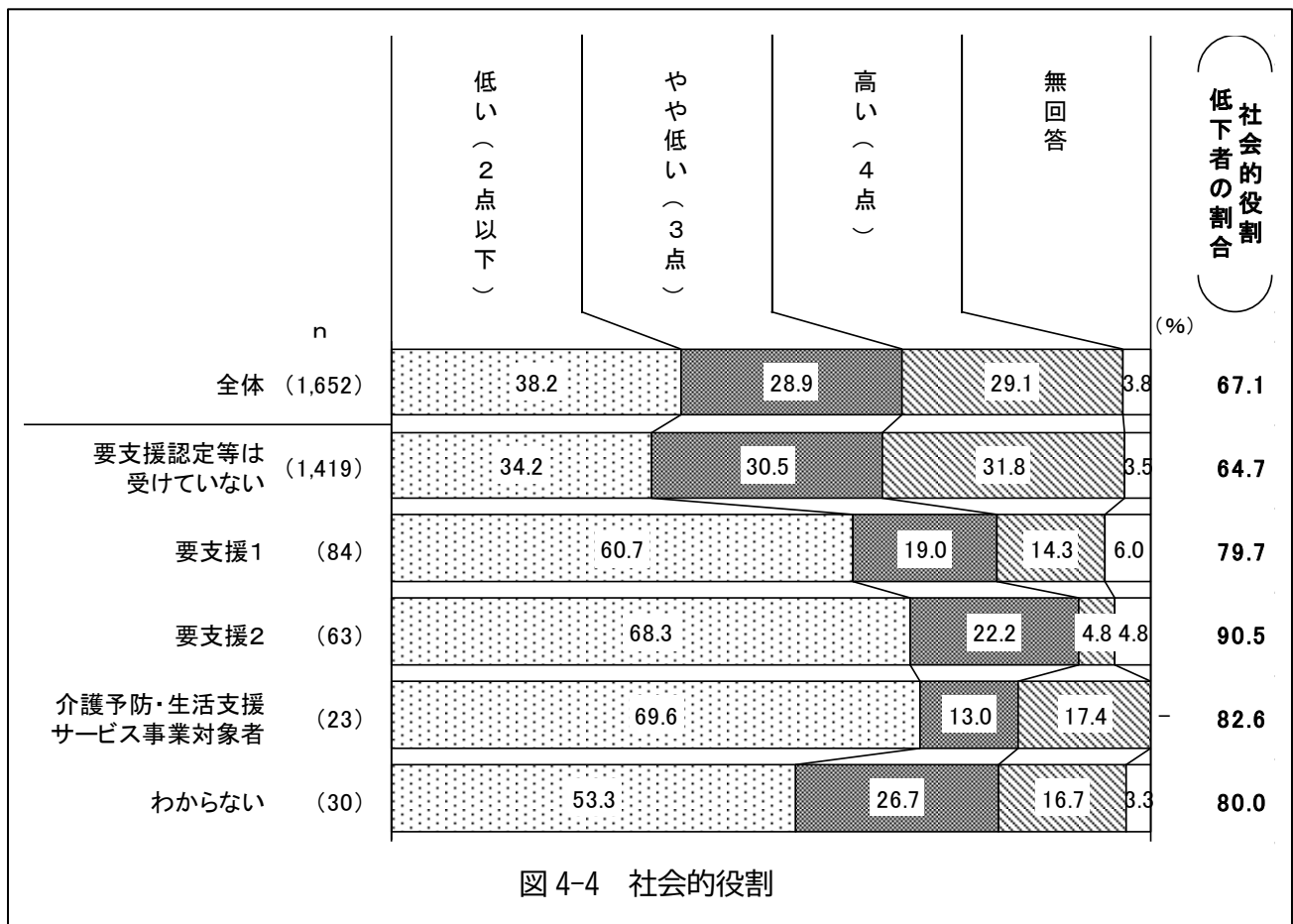


4.1.4. 社会的役割

◇「社会的役割」について、以下の各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価した。また、3点以下を社会的役割の低下者とし、低下者の割合を算出した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 40	友人の家を訪ねていますか	1. はい
問 41	家族や友人の相談にのっていますか	1. はい
問 42	病人を見舞うことができますか	1. はい
問 43	若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい

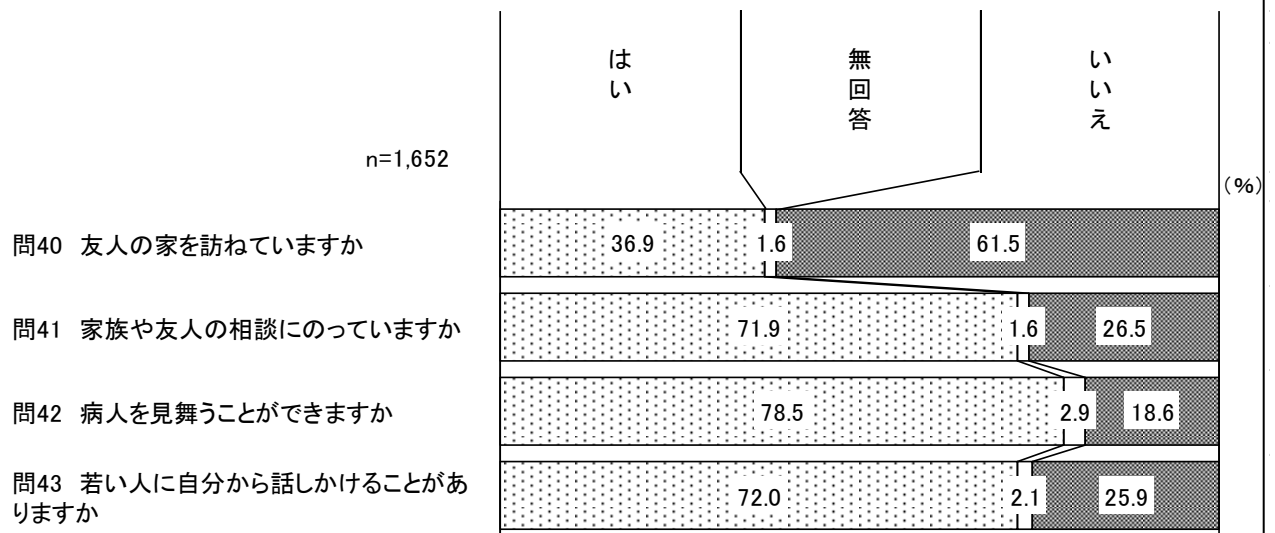
◆ 社会的役割の低下者は6割台後半



全体では、社会的役割の低下者は6割台後半を占めている。
 状態別では、要支援2で低下者の割合が高く、約9割を占めている。

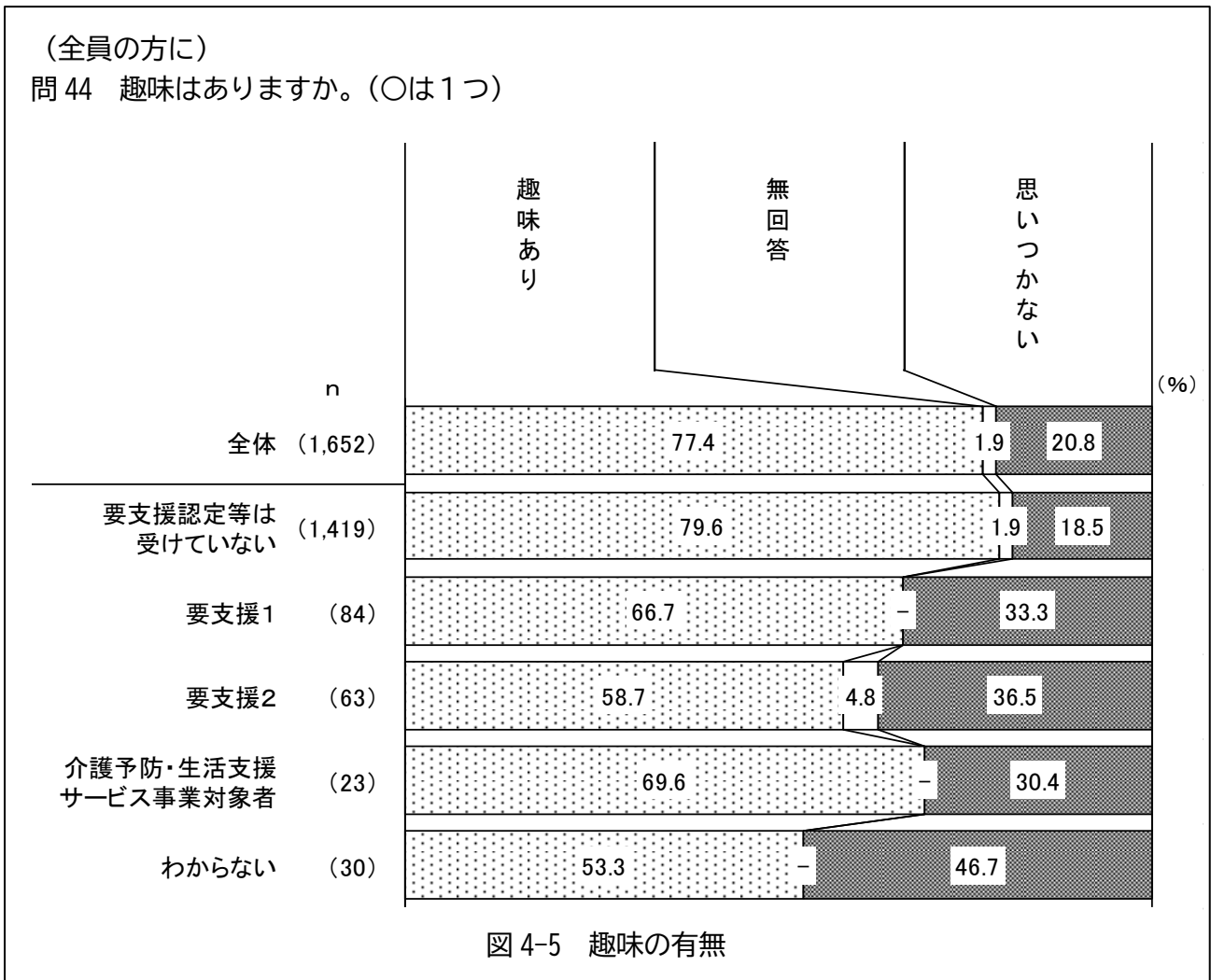
※問 40～問 43 設問ごとの結果
(全員の方に)

n=1,652



4.2. 趣味の有無

◆ 「趣味あり」が7割台後半

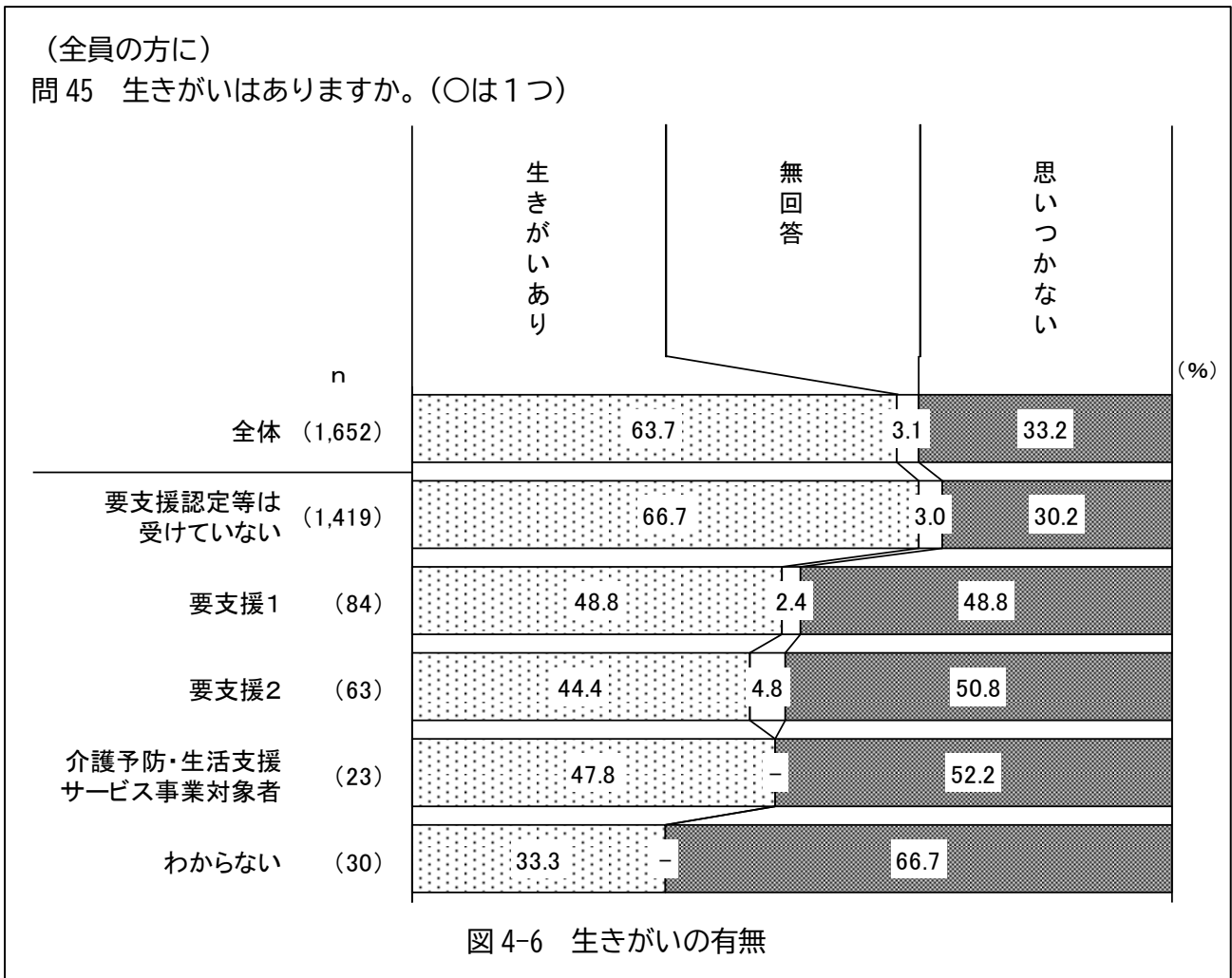


全体では、「趣味あり」が7割台後半を占めている。

状態別では、要支援認定等を受けていない人から要支援2に向かって、「思いつかない」が段階的に高くなっている。

4.3. 生きがいの有無

◆ 「生きがいあり」が6割台前半



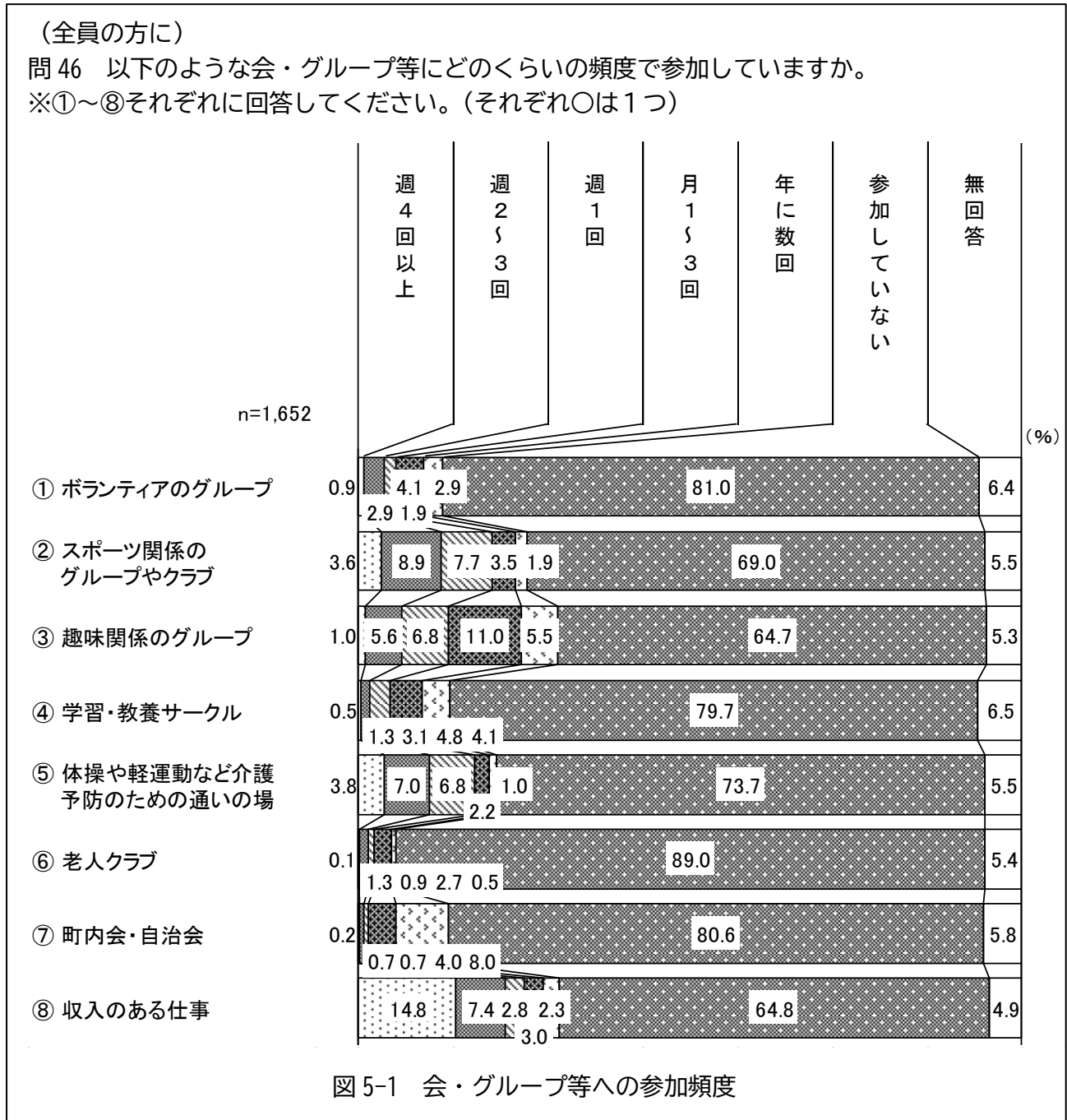
全体では、「生きがいあり」が6割台前半を占めている。

状態別では、要支援2と介護予防・生活支援サービス事業対象者で「思いつかない」が過半数を占めている。

5. 地域での活動について

5.1. 会・グループ等への参加頻度

- ◆ ③趣味関係のグループで「月1～3回」が約1割、⑧収入のある仕事で「週4回以上」が1割台半ば

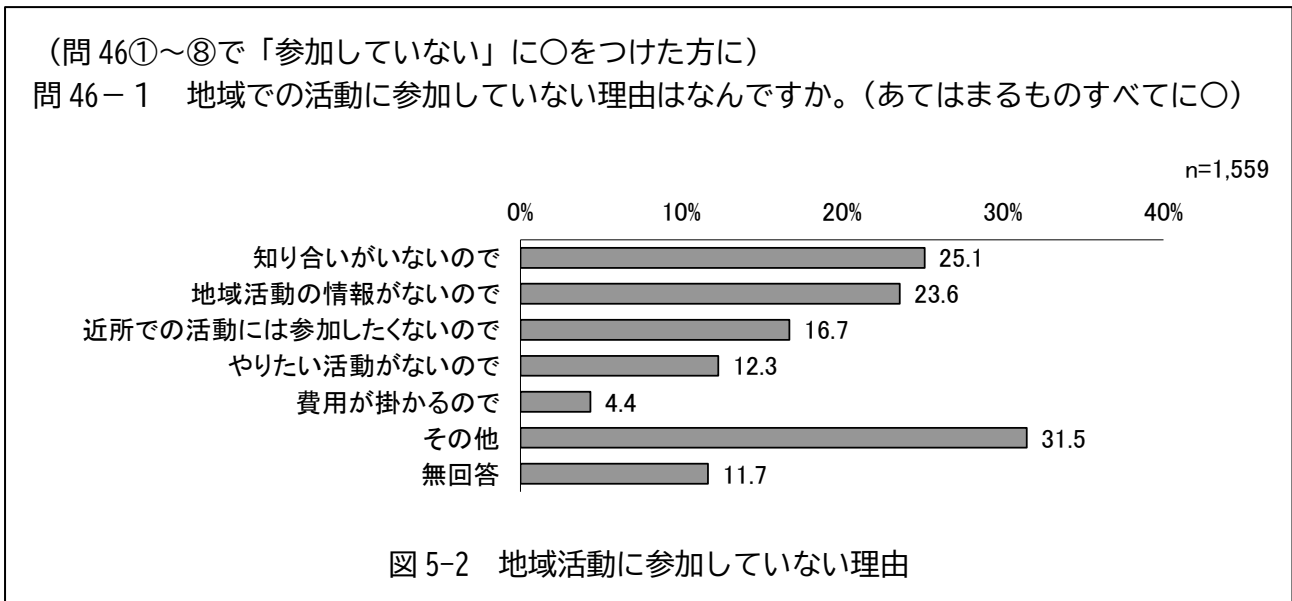


全体では、いずれも「参加していない」が過半数を占めている。

参加している人の頻度は、③趣味関係のグループで「月1～3回」が約1割、⑧収入のある仕事で「週4回以上」が1割台半ばで比較的高くなっている。

5.1.1. 地域活動に参加していない理由

◆ 「知り合いがいないので」が2割台半ば



「知り合いがいないので」が2割台半ばで最も高く、次いで「地域活動の情報がないので」が2割台前半となっている。

「その他」の内容としては、現在仕事をしていることや時間の余裕がないこと、病気や老化等による健康面の理由が多く挙げられている。

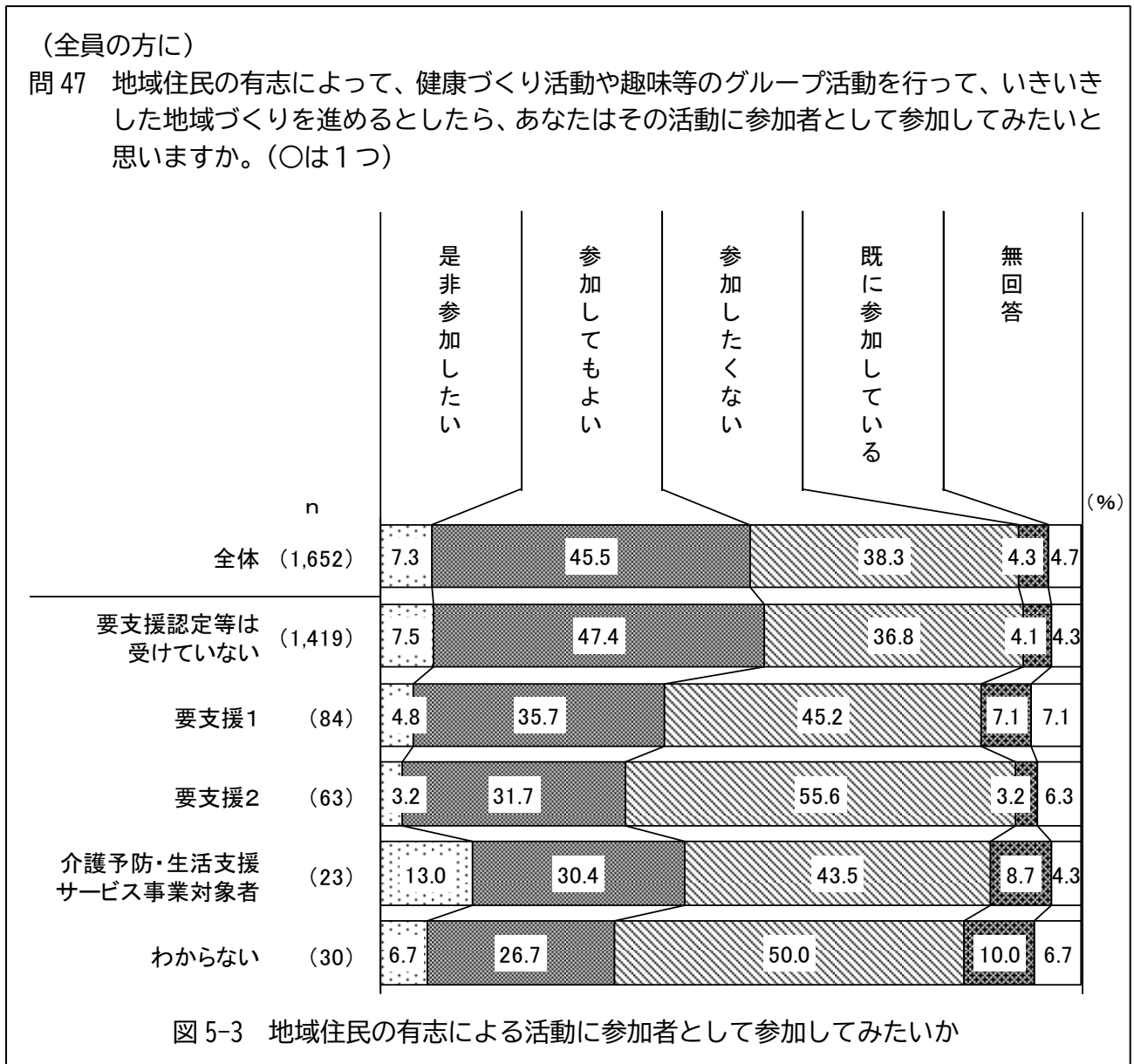
【状態別】地域活動に参加していない理由

単位：%

	有効回答数(件)	知り合いがいないので	地域活動の情報がないので	近所での活動には参加したくないので	やりたい活動がないので	費用が掛かるので	その他	無回答
全体	1,559	25.1	23.6	16.7	12.3	4.4	31.5	11.7
要支援認定等は受けていない	1,346	23.8	23.5	16.8	12.2	4.3	31.6	12.0
要支援1	79	24.1	22.8	11.4	11.4	5.1	36.7	10.1
要支援2	58	39.7	25.9	19.0	17.2	1.7	31.0	6.9
介護予防・生活支援サービス事業対象者	22	27.3	13.6	22.7	18.2	9.1	31.8	4.5
わからない	28	50.0	32.1	28.6	10.7	7.1	10.7	10.7

5.2. 地域住民の有志による活動に参加者として参加してみたいか

◆ 「参加してもよい」が4割台半ば

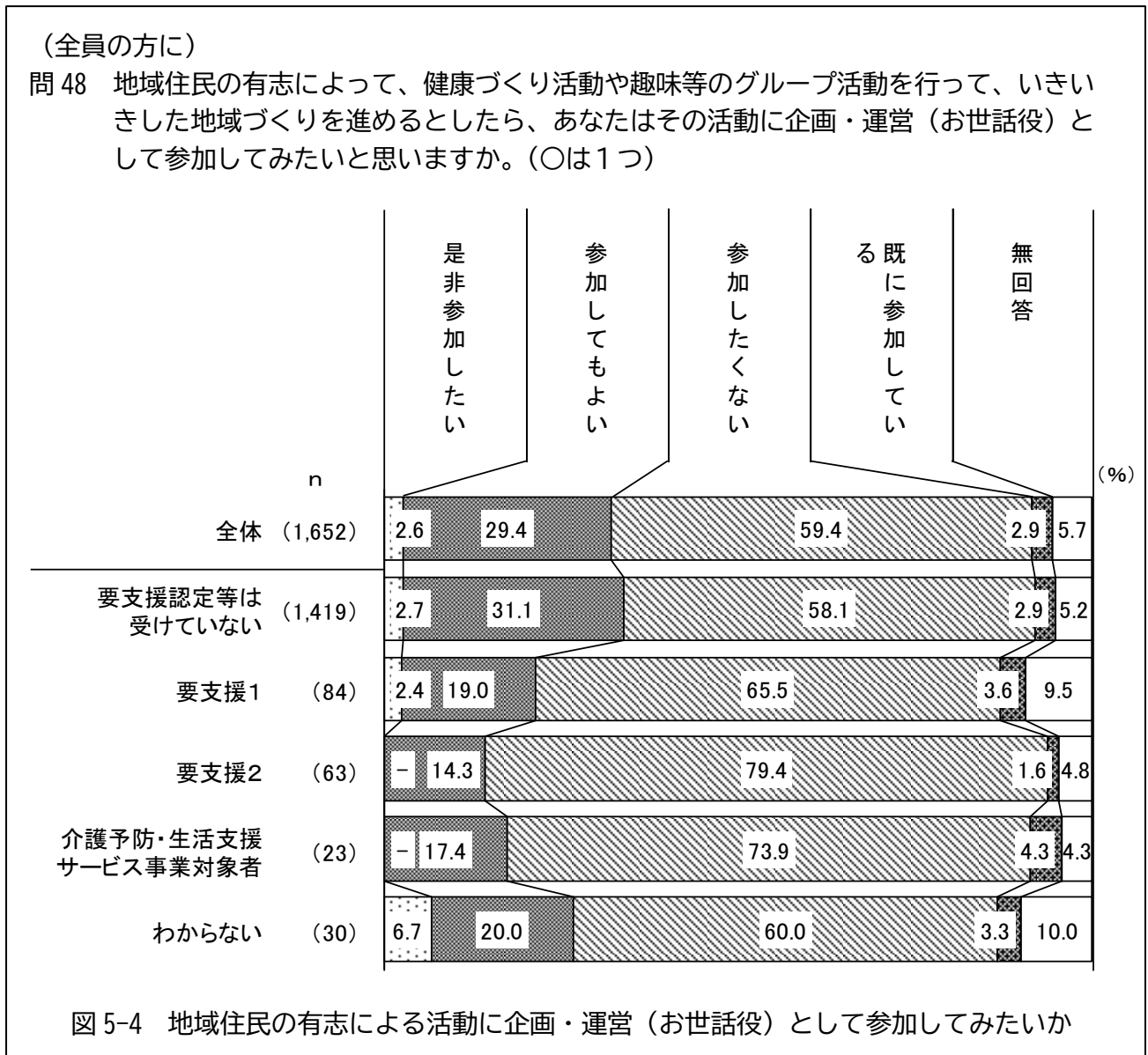


全体では、「参加してもよい」が4割台半ばで最も高くなっている。

状態別では、要支援認定等を受けていない人から要支援2に向かって、「参加したくない」が段階的に高くなっており、要支援2では5割台半ばを占めている。

5.3. 地域住民の有志による活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいか

◆ 「参加したくない」が約6割

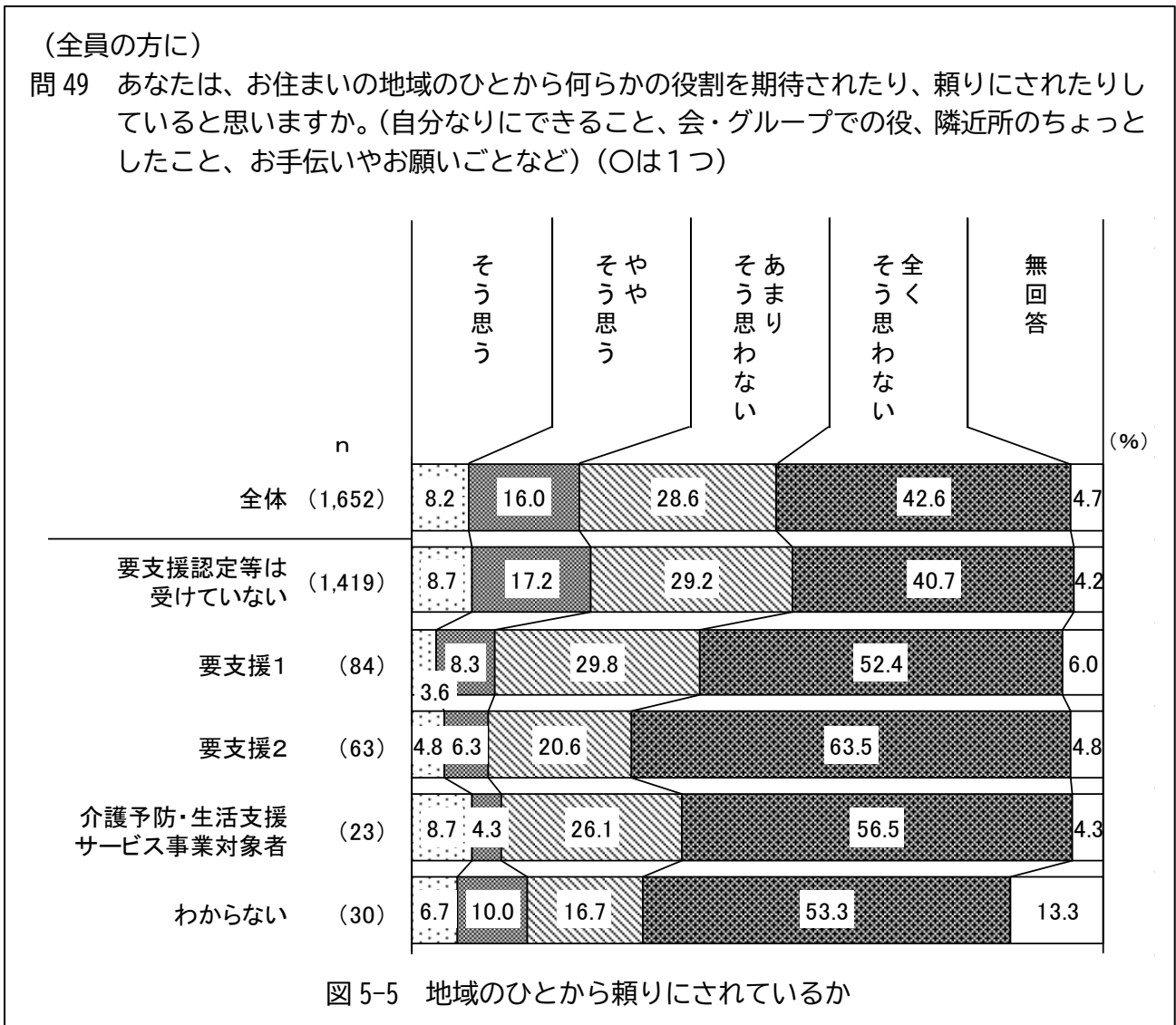


全体では、「参加したくない」が約6割を占めている。

状態別では、要支援認定等を受けていない人から要支援2に向かって、「参加したくない」が段階的に高くなっており、要支援2では約8割を占めている。

5.4. 地域のひとから頼りにされているか

◆ 「全くそう思わない」が4割台前半



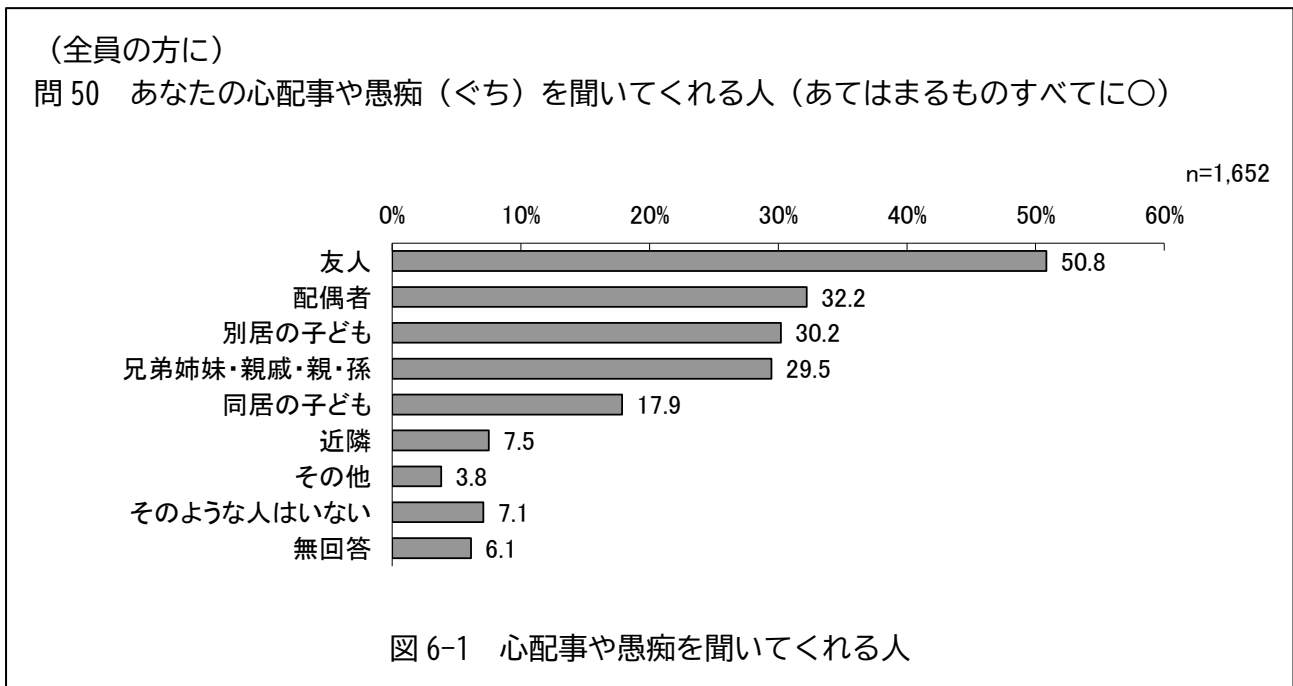
全体では、「全くそう思わない」が4割台前半で最も高くなっている。

状態別では、要支援認定等を受けていない人から要支援2に向かって、「全くそう思わない」が段階的に高くなっており、要支援2では6割台前半を占めている。

6. たすけあいについて

6.1. 心配事や愚痴を聞いてくれる人

◆ 「友人」が約5割



全体では、「友人」が約5割を占めている。

【状態別】心配事や愚痴を聞いてくれる人

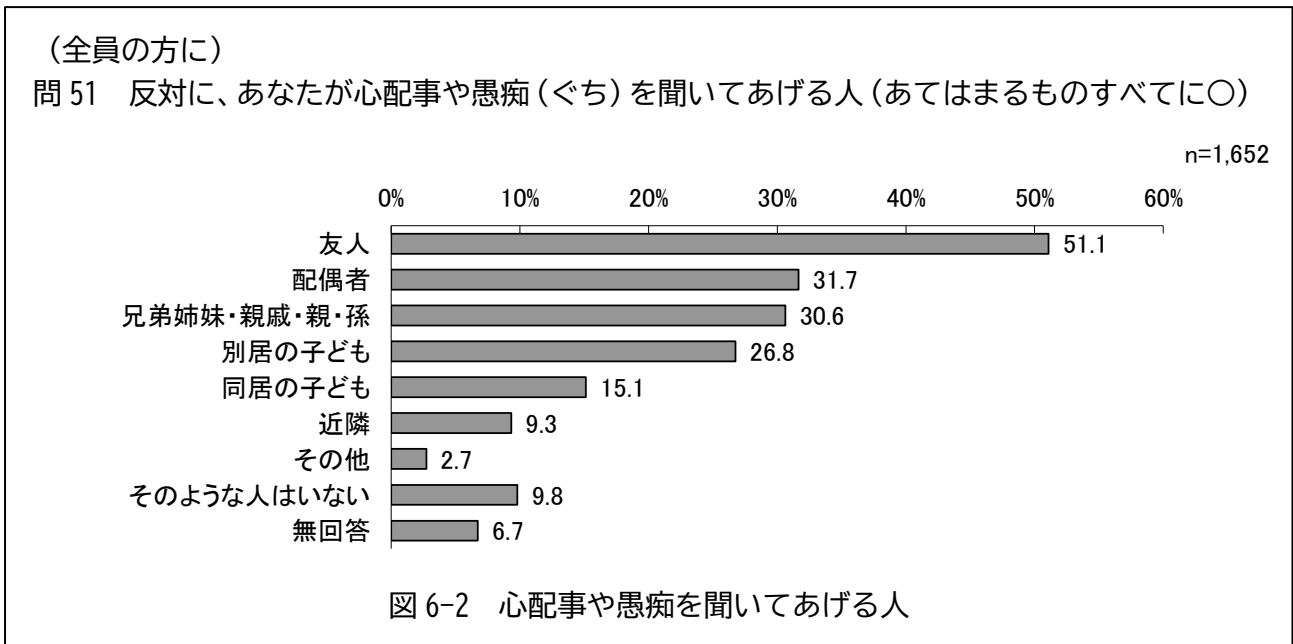
単位：%

	有効回答数(件)	友人	配偶者	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,652	50.8	32.2	30.2	29.5	17.9	7.5	3.8	7.1	6.1
要支援認定等を受けていない	1,419	54.5	35.0	30.8	29.7	17.9	7.9	3.9	6.2	5.4
要支援1	84	35.7	21.4	27.4	28.6	17.9	8.3	3.6	10.7	3.6
要支援2	63	28.6	15.9	23.8	25.4	17.5	0.0	1.6	12.7	15.9
介護予防・生活支援サービス事業対象者	23	17.4	4.3	39.1	34.8	17.4	4.3	0.0	8.7	13.0
わからない	30	20.0	13.3	20.0	20.0	20.0	3.3	3.3	23.3	10.0

状態別では、要支援認定等を受けていない人から要支援2に向かって、「友人」や「配偶者」が段階的に低くなっている。

6.2. 心配事や愚痴を聞いてあげる人

◆ 「友人」が約5割



全体では、「友人」が約5割を占めている。

【状態別】心配事や愚痴を聞いてあげる人

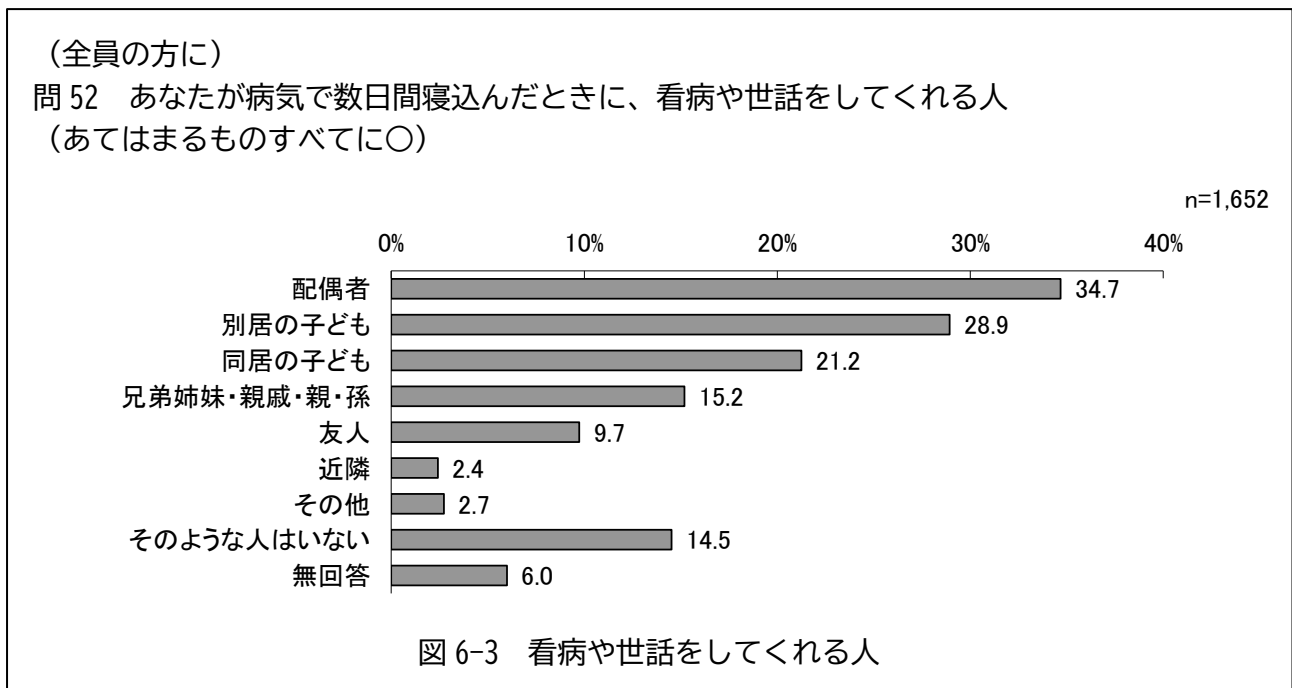
単位：%

	有効回答数(件)	友人	配偶者	兄弟姉妹・親戚・親・孫	別居の子ども	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,652	51.1	31.7	30.6	26.8	15.1	9.3	2.7	9.8	6.7
要支援認定等を受けていない	1,419	53.8	34.3	31.3	28.3	15.8	9.9	3.0	8.4	6.1
要支援1	84	36.9	22.6	27.4	20.2	10.7	9.5	1.2	15.5	3.6
要支援2	63	30.2	14.3	20.6	15.9	9.5	0.0	0.0	20.6	15.9
介護予防・生活支援サービス事業対象者	23	39.1	4.3	39.1	26.1	13.0	13.0	0.0	13.0	8.7
わからない	30	33.3	13.3	20.0	3.3	16.7	0.0	0.0	26.7	16.7

状態別では、要支援認定等を受けていない人から要支援2に向かって、「そのような人はいない」が段階的に高くなり、他の項目は段階的に低くなっている。

6.3. 看病や世話をしてくれる人

◆ 「配偶者」が3割台半ば



全体では、「配偶者」が3割台半ばで最も高くなっている。

【状態別】看病や世話をしてくれる人

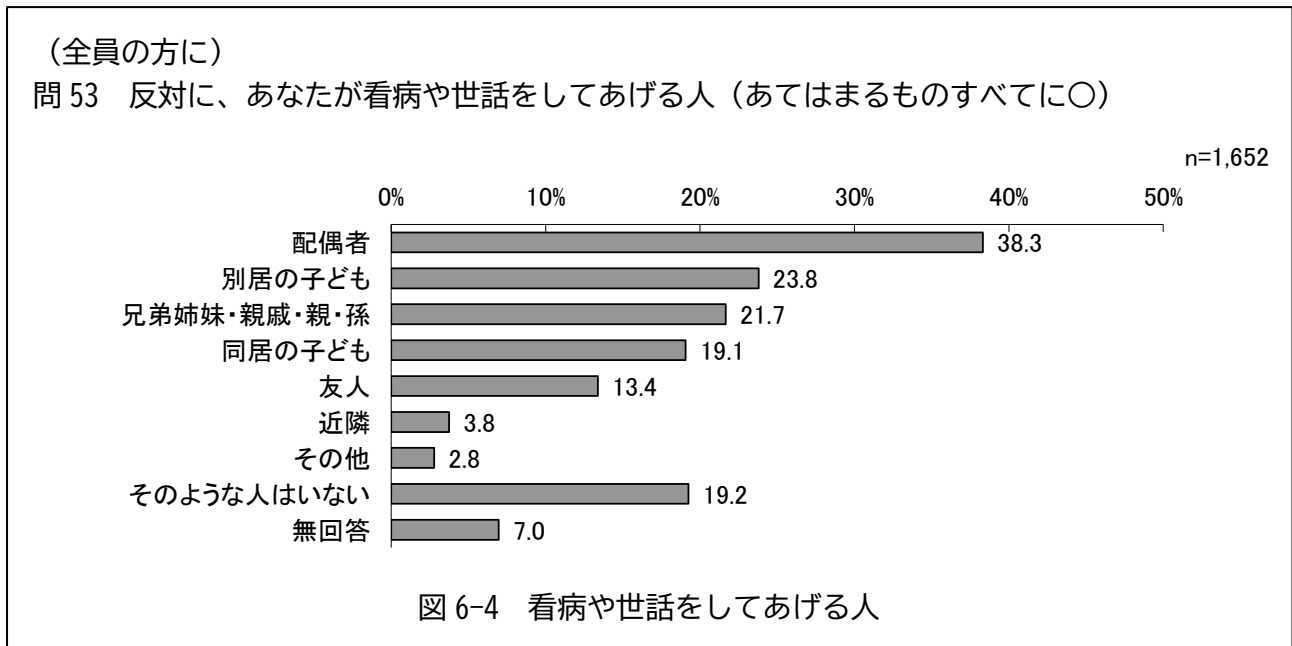
単位：%

	有効回答数(件)	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,652	34.7	28.9	21.2	15.2	9.7	2.4	2.7	14.5	6.0
要支援認定等は受けていない	1,419	37.8	28.6	21.4	15.6	10.2	2.5	2.5	13.5	5.5
要支援1	84	19.0	34.5	19.0	13.1	7.1	3.6	6.0	22.6	3.6
要支援2	63	19.0	23.8	22.2	7.9	6.3	1.6	6.3	20.6	14.3
介護予防・生活支援サービス事業対象者	23	4.3	47.8	17.4	21.7	8.7	4.3	0.0	13.0	8.7
わからない	30	13.3	20.0	23.3	10.0	13.3	0.0	3.3	26.7	6.7

状態別では、要支援1・2及び介護予防・生活支援サービス事業対象者で「別居の子ども」が最も高くなっている。

6.4. 看病や世話をしあける人

◆ 「配偶者」が3割台後半



全体では、「配偶者」が3割台後半で最も高くなっている。

【状態別】看病や世話をしあける人

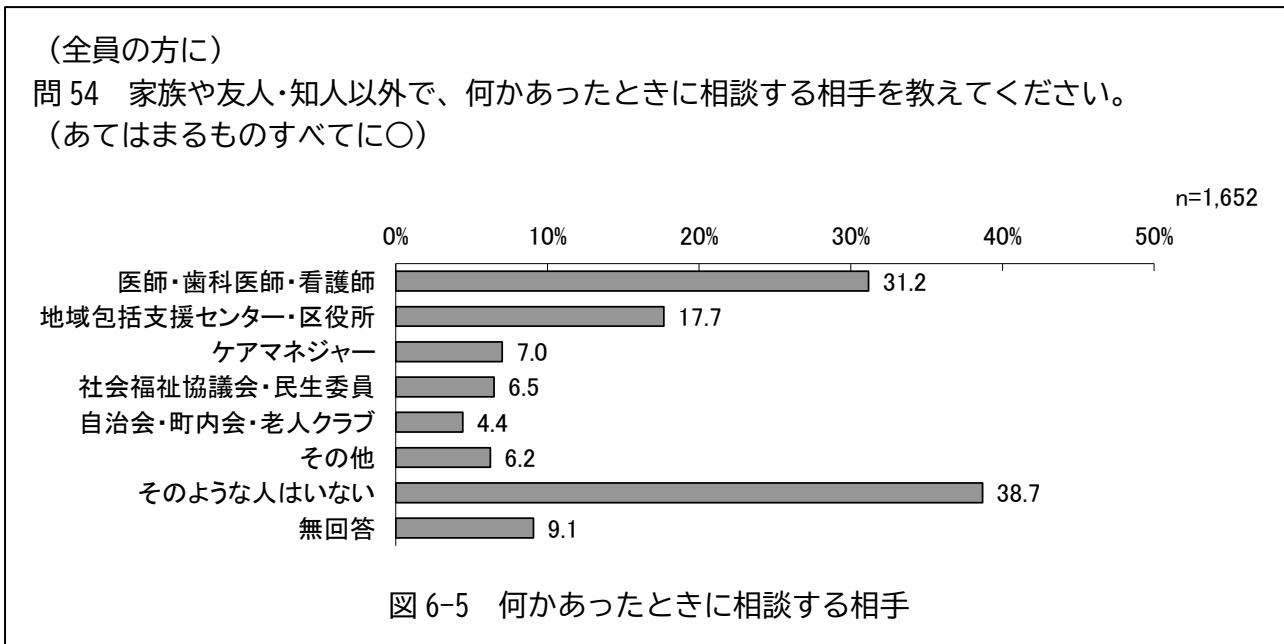
単位：%

	有効回答数(件)	配偶者	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,652	38.3	23.8	21.7	19.1	13.4	3.8	2.8	19.2	7.0
要支援認定等は受けていない	1,419	41.8	25.7	23.5	20.2	14.4	3.8	2.6	16.3	6.3
要支援1	84	22.6	16.7	8.3	6.0	7.1	6.0	4.8	41.7	6.0
要支援2	63	17.5	4.8	7.9	12.7	4.8	3.2	6.3	36.5	15.9
介護予防・生活支援サービス事業対象者	23	8.7	21.7	21.7	13.0	8.7	0.0	0.0	30.4	8.7
わからない	30	13.3	3.3	6.7	23.3	16.7	0.0	3.3	40.0	6.7

状態別では、要支援1・2及び介護予防・生活支援サービス事業対象者で「そのような人はいない」が最も高くなっている。

6.5. 何かあったときに相談する相手

◆ 「そのような人はいない」が3割台後半



「そのような人はいない」が3割台後半で最も高くなっている。

【状態別】何かあったときに相談する相手

単位：%

	有効回答数(件)	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・区役所	ケアマネジャー	社会福祉協議会・民生委員	自治会・町内会・老人クラブ	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,652	31.2	17.7	7.0	6.5	4.4	6.2	38.7	9.1
要支援認定等は受けていない	1,419	30.8	16.3	3.1	5.9	4.4	6.3	41.7	8.5
要支援1	84	39.3	28.6	38.1	11.9	4.8	3.6	16.7	10.7
要支援2	63	39.7	30.2	50.8	9.5	3.2	7.9	11.1	12.7
介護予防・生活支援サービス事業対象者	23	26.1	21.7	17.4	8.7	13.0	13.0	17.4	8.7
わからない	30	23.3	30.0	6.7	10.0	0.0	3.3	36.7	10.0

状態別では、要支援1と介護予防・生活支援サービス事業対象者で「医師・歯科医師・看護師」が最も高く、要支援2では「ケアマネジャー」が最も高くなっている。

【家族構成別】何かあったときに相談する相手

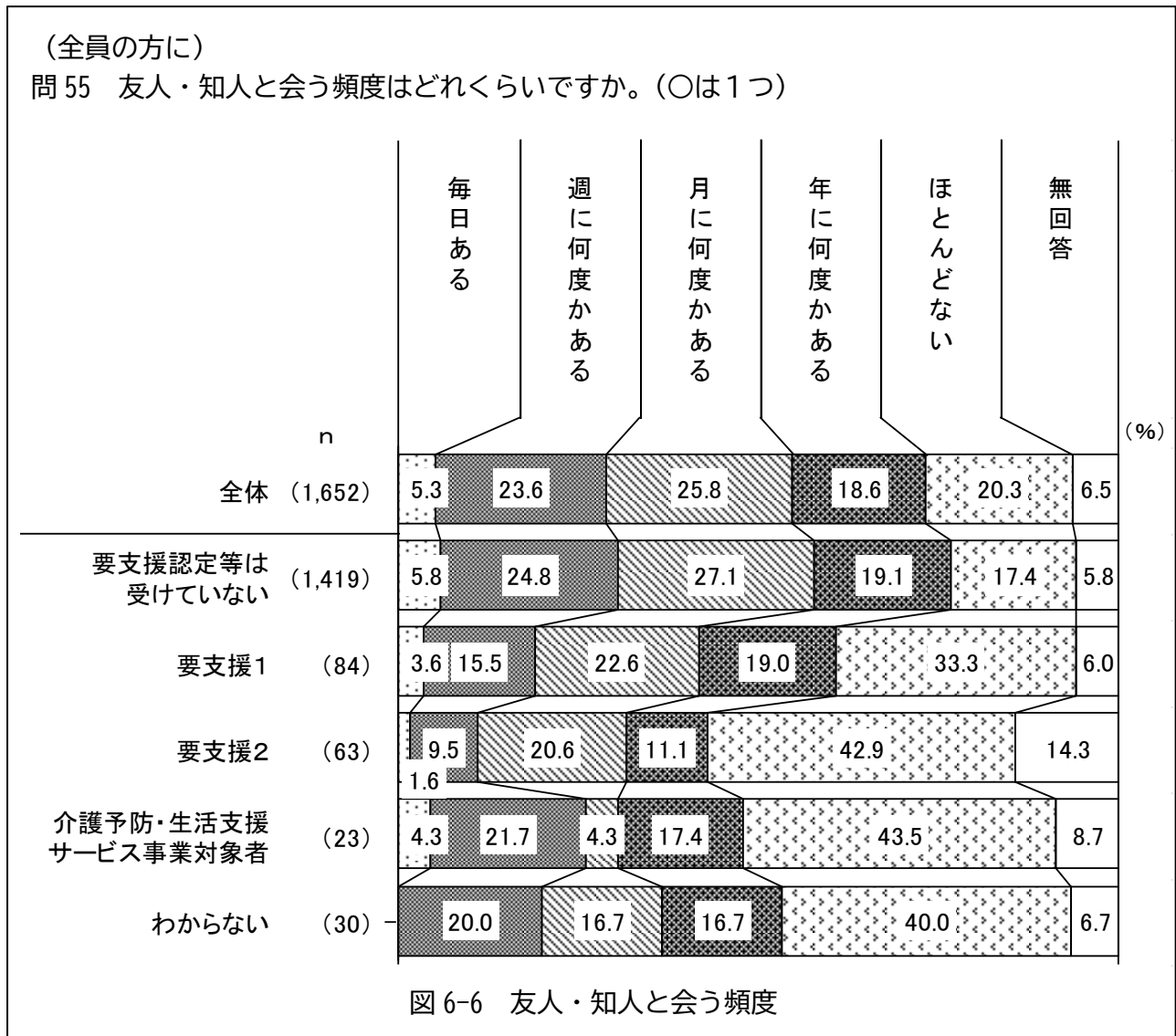
単位：％

	有効回答数(件)	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・区役所	ケアマネジャー	社会福祉協議会・民生委員	自治会・町内会・老人クラブ	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,652	31.2	17.7	7.0	6.5	4.4	6.2	38.7	9.1
1人暮らし	692	28.0	19.7	7.2	9.5	4.2	6.5	38.4	8.8
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	387	32.3	15.2	9.0	5.2	6.5	6.2	39.0	8.5
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	77	36.4	13.0	2.6	7.8	2.6	7.8	36.4	5.2
息子・娘との2世帯	233	37.3	16.7	5.6	3.9	4.7	3.4	37.8	11.6
その他	234	32.1	19.7	5.6	2.6	2.6	8.5	40.2	7.7

家族構成別では、大きな差異はみられない。

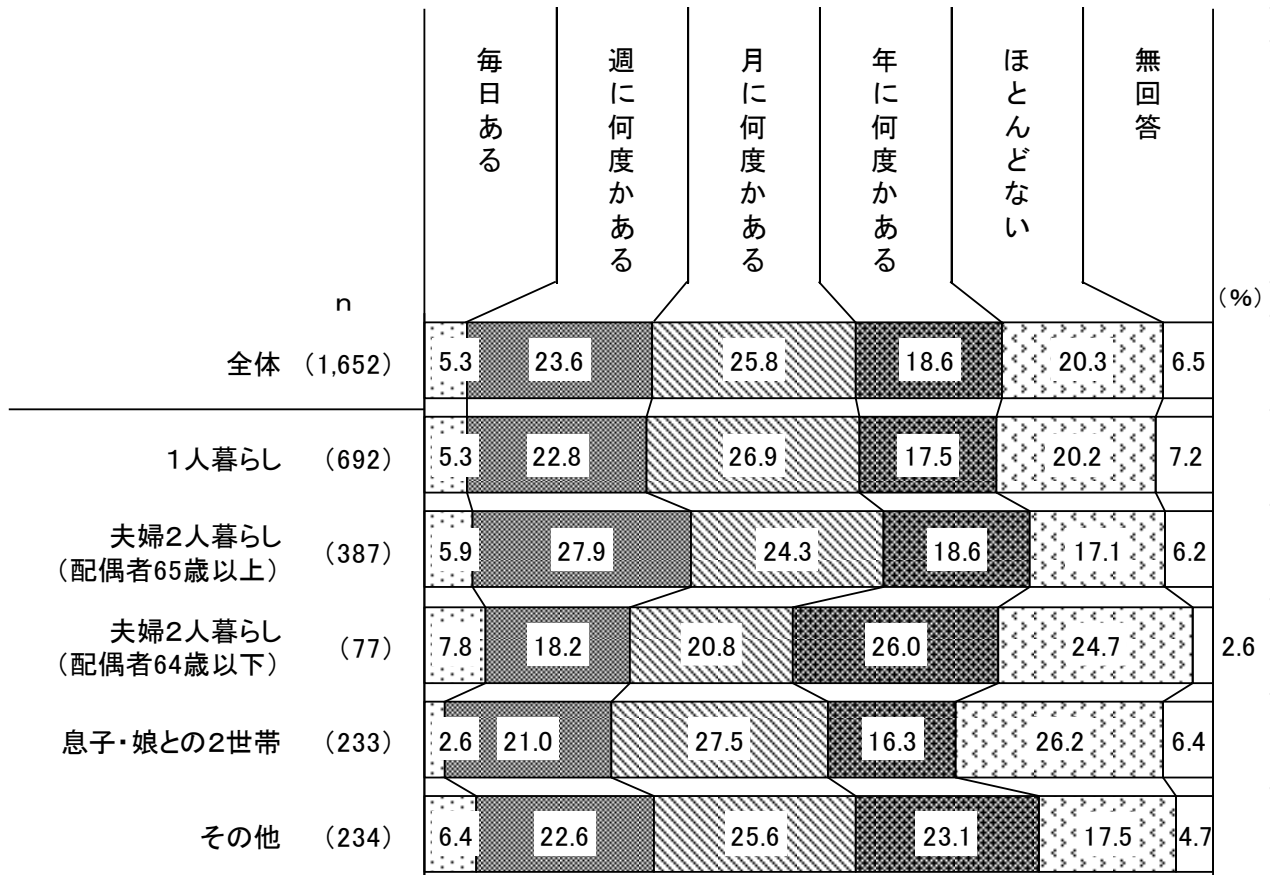
6.6. 友人・知人と会う頻度

◆ 「月に何度かある」が2割台半ば



全体では、「月に何度かある」が2割台半ばで最も高くなっている。
状態別では、要支援認定等を受けていない人から要支援2に向かって友人・知人と会う頻度が下がり、「ほとんどない」が段階的に高くなっている。

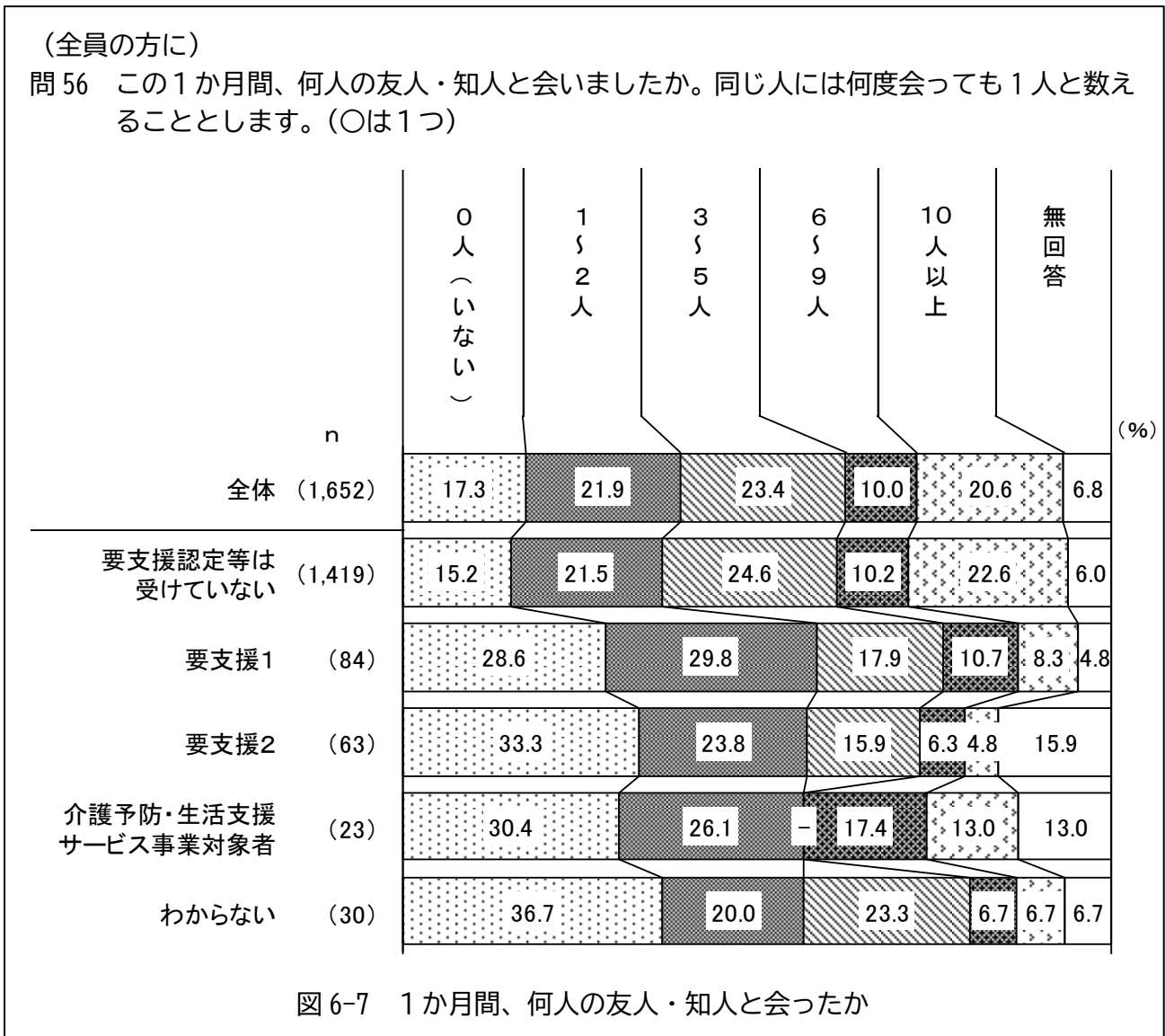
【家族構成別】友人・知人と会う頻度



家族構成別では、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）で「週に何度かある」がやや高くなっている。

6.7. 1 か月間、何人の友人・知人と会ったか

◆ 「3～5人」が2割台前半

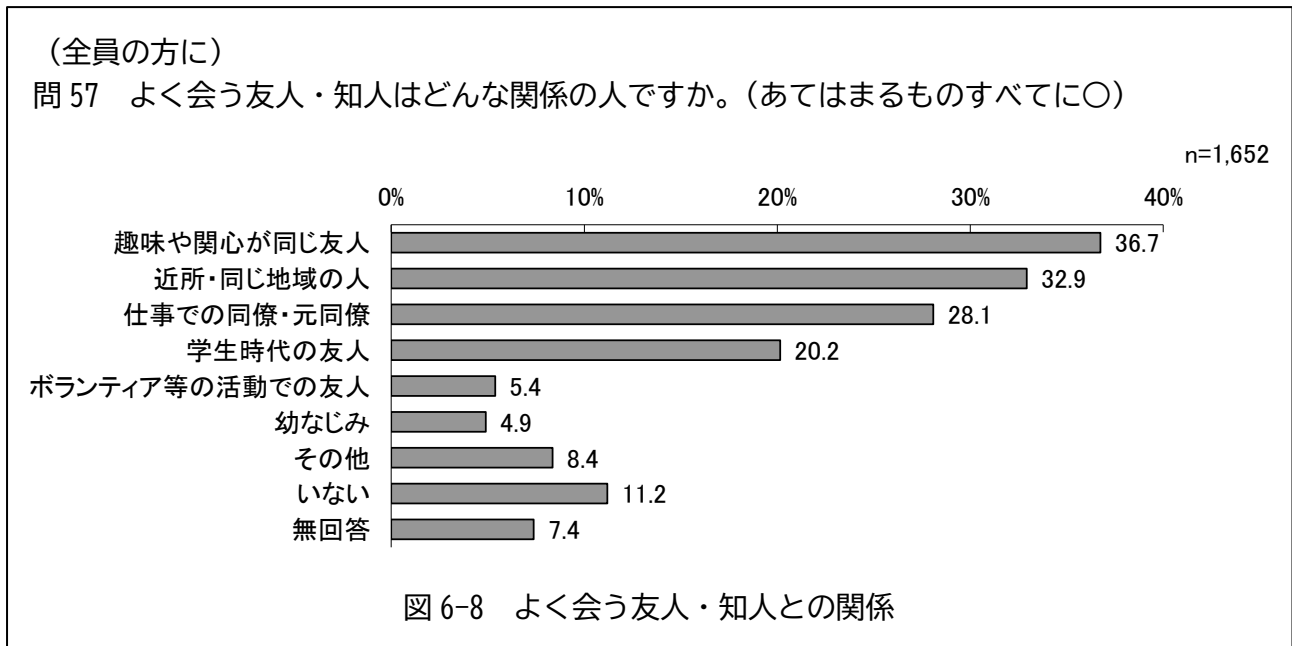


全体では、「3～5人」が2割台前半で最も高くなっている。

状態別では、要支援認定等を受けていない人から要支援2に向かって、「0人 (いない)」が段階的に高くなっている。

6.8. よく会う友人・知人との関係

◆ 「趣味や関心が同じ友人」が3割台半ば



全体では、「趣味や関心が同じ友人」が3割台半ばで最も高く、次いで「近所・同じ地域の人」が3割台前半となっている。

【状態別】よく会う友人・知人との関係

単位：%

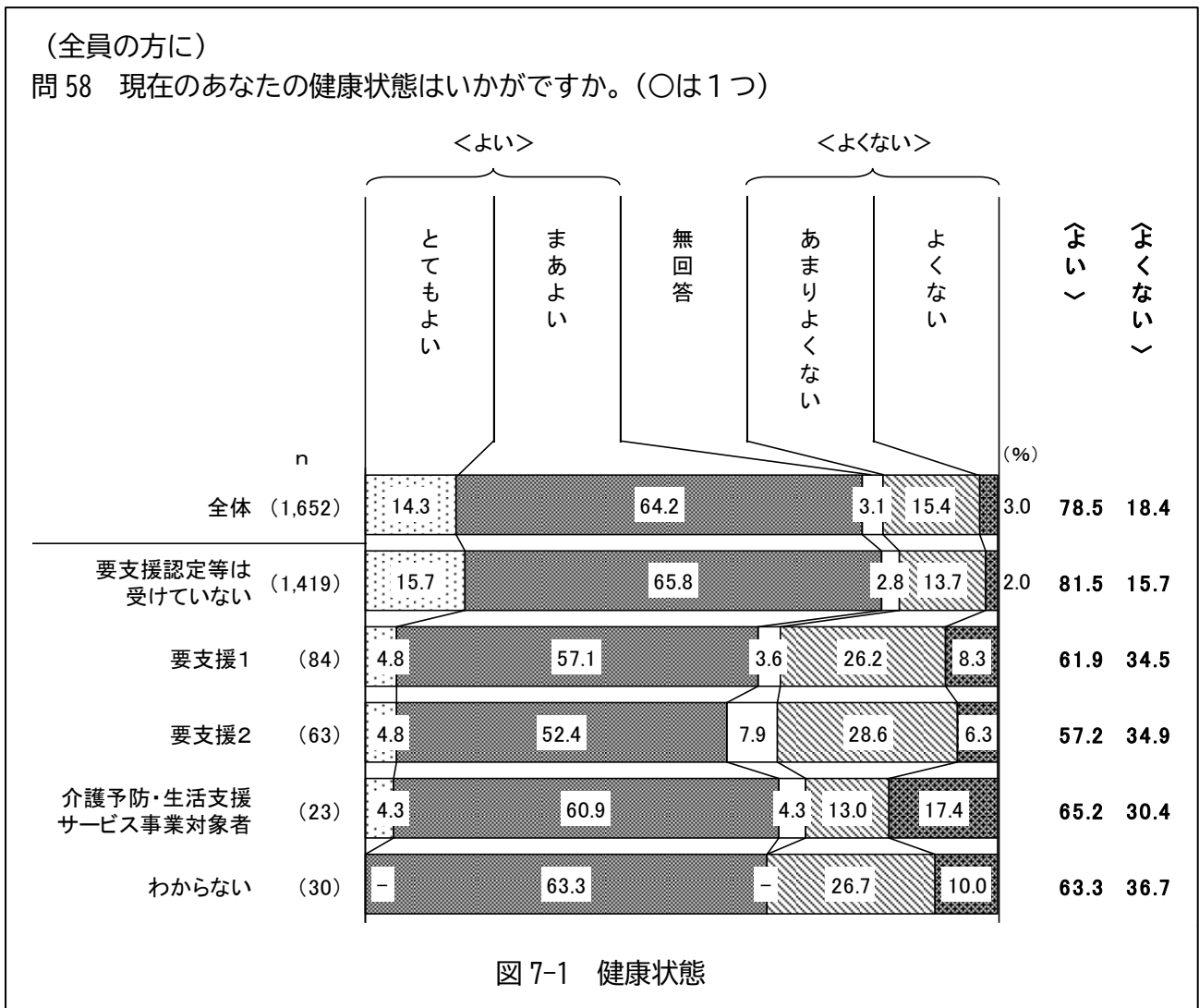
	有効回答数(件)	趣味や関心が同じ友人	近所・同じ地域の人	仕事での同僚・元同僚	学生時代の友人	ボランティア等の活動での友人	幼なじみ	その他	いない	無回答
全体	1,652	36.7	32.9	28.1	20.2	5.4	4.9	8.4	11.2	7.4
要支援認定等は受けていない	1,419	39.0	33.2	31.1	21.4	5.9	5.2	8.1	9.4	6.4
要支援1	84	25.0	38.1	13.1	14.3	1.2	2.4	9.5	22.6	7.1
要支援2	63	19.0	19.0	4.8	14.3	3.2	0.0	15.9	23.8	15.9
介護予防・生活支援サービス事業対象者	23	26.1	47.8	8.7	13.0	8.7	8.7	17.4	17.4	8.7
わからない	30	23.3	30.0	3.3	13.3	0.0	10.0	0.0	30.0	13.3

状態別では、要支援1と介護予防・生活支援サービス事業対象者で「近所・同じ地域の人」が最も高く、要支援2で「いない」が最も高くなっている。

7. 健康について

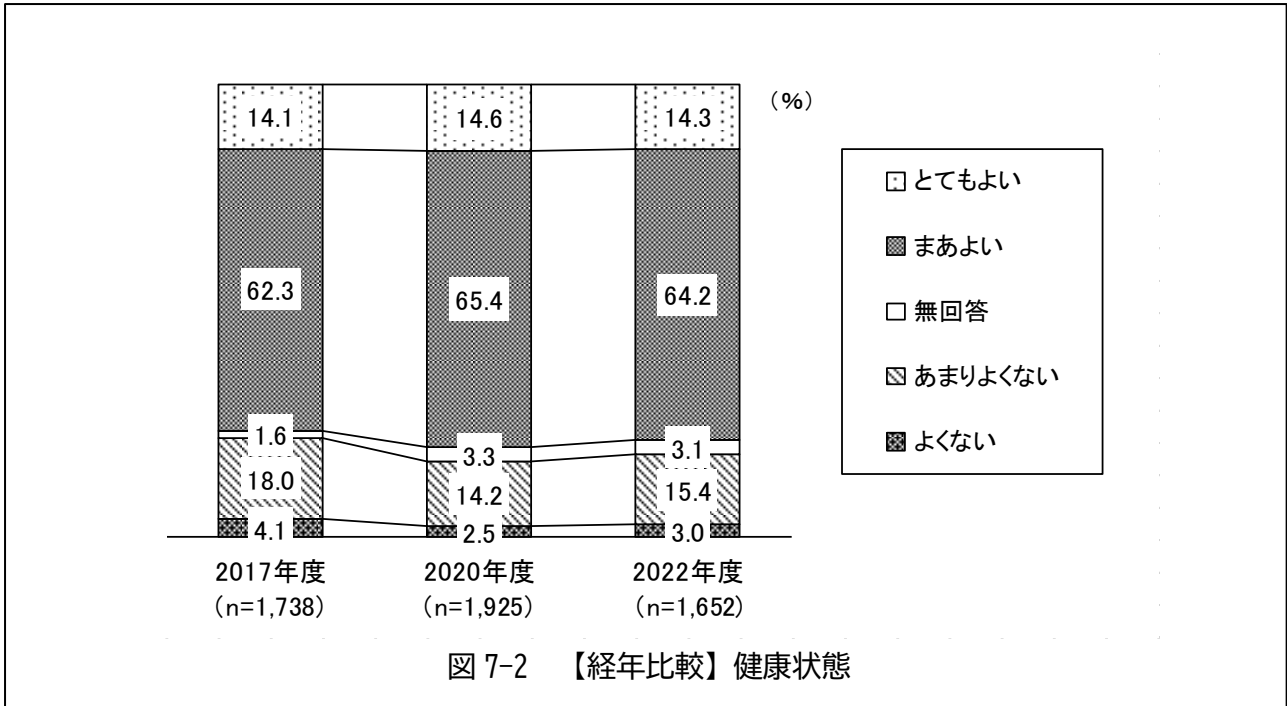
7.1. 健康状態

◆ <よい>が7割台後半



全体では、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた<よい>が7割台後半を占めている。

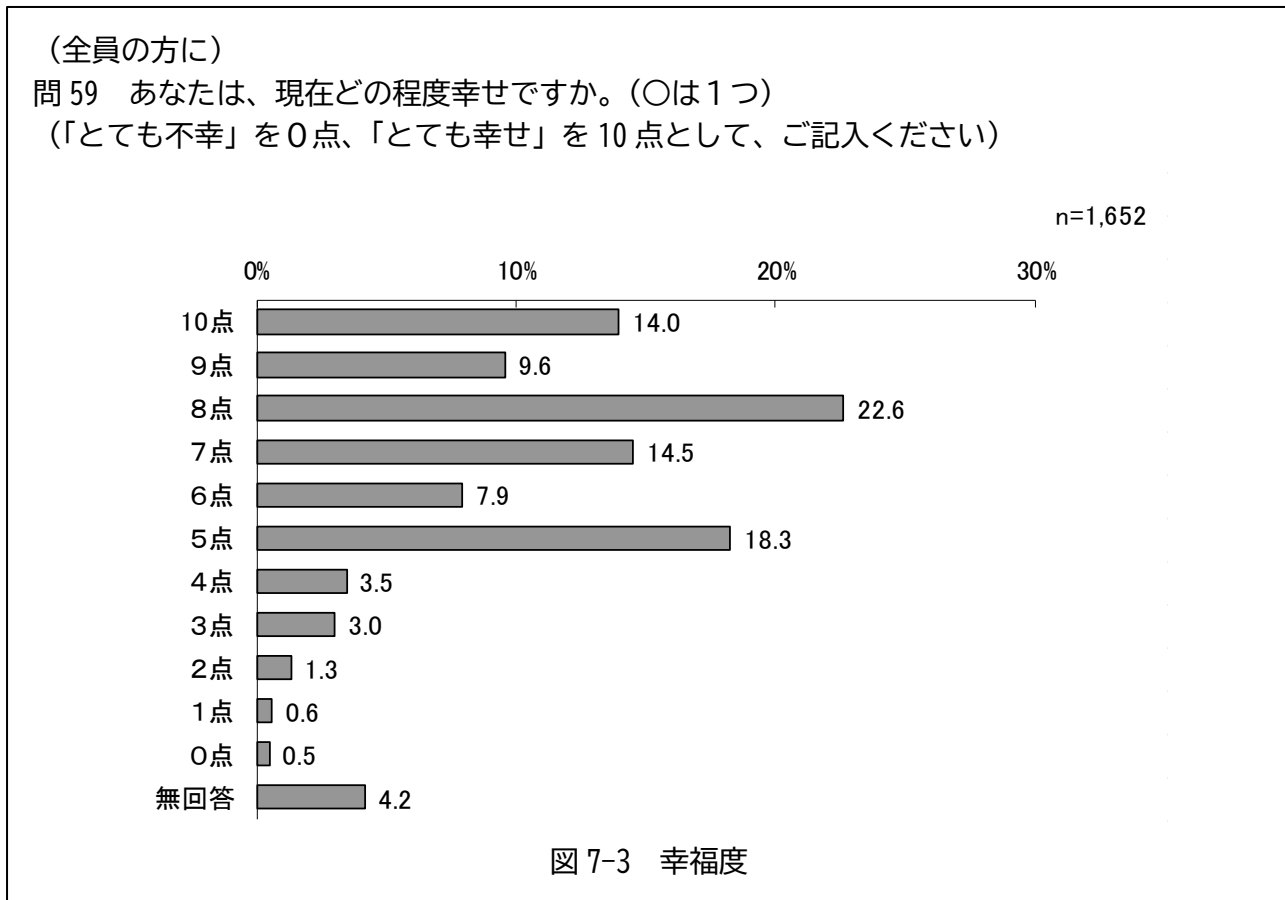
状態別では、要支援1と2で「あまりよくない」と「よくない」を合わせた<よくない>が3割台半ばとなっている。



経年比較では、大きな差異はみられない。

7.2. 幸福度

◆ 「8点」が2割台前半



全体では、「8点」が2割台前半で最も高くなっている。なお、平均点（無回答除く）は7.03点となっている。

【状態別】幸福度

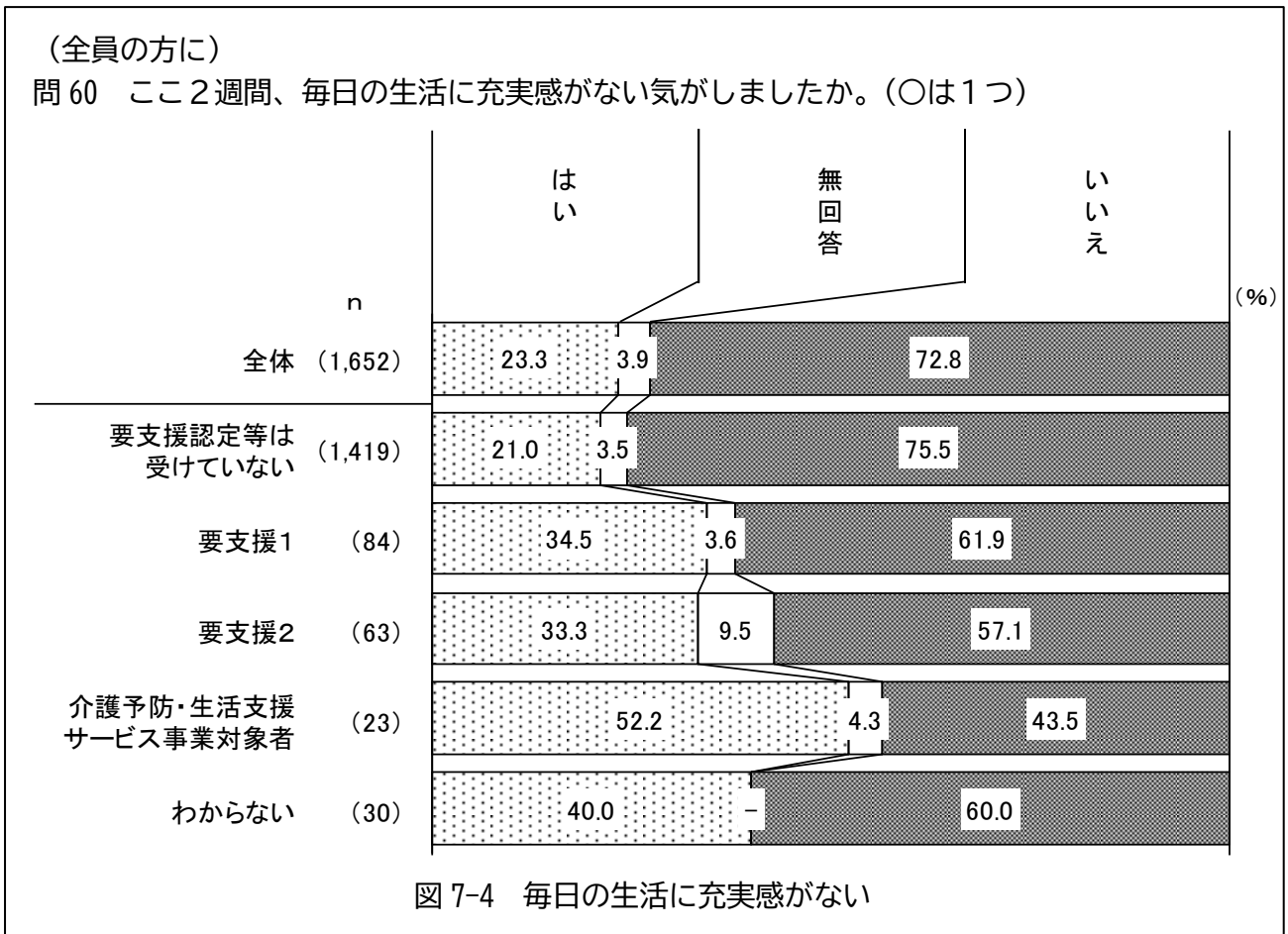
単位：%

	有効回答数(件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	1,652	0.5	0.6	1.3	3.0	3.5	18.3	7.9	14.5	22.6	9.6	14.0	4.2
要支援認定等は受けていない	1,419	0.3	0.3	1.3	3.0	3.3	17.1	7.9	14.4	23.7	10.3	14.7	3.6
要支援1	84	1.2	0.0	1.2	1.2	4.8	22.6	7.1	20.2	20.2	7.1	9.5	4.8
要支援2	63	0.0	3.2	3.2	3.2	3.2	30.2	4.8	11.1	7.9	7.9	12.7	12.7
介護予防・生活支援サービス事業対象者	23	0.0	8.7	0.0	4.3	4.3	39.1	13.0	4.3	13.0	0.0	8.7	4.3
わからない	30	3.3	6.7	0.0	10.0	6.7	30.0	13.3	10.0	13.3	3.3	3.3	0.0

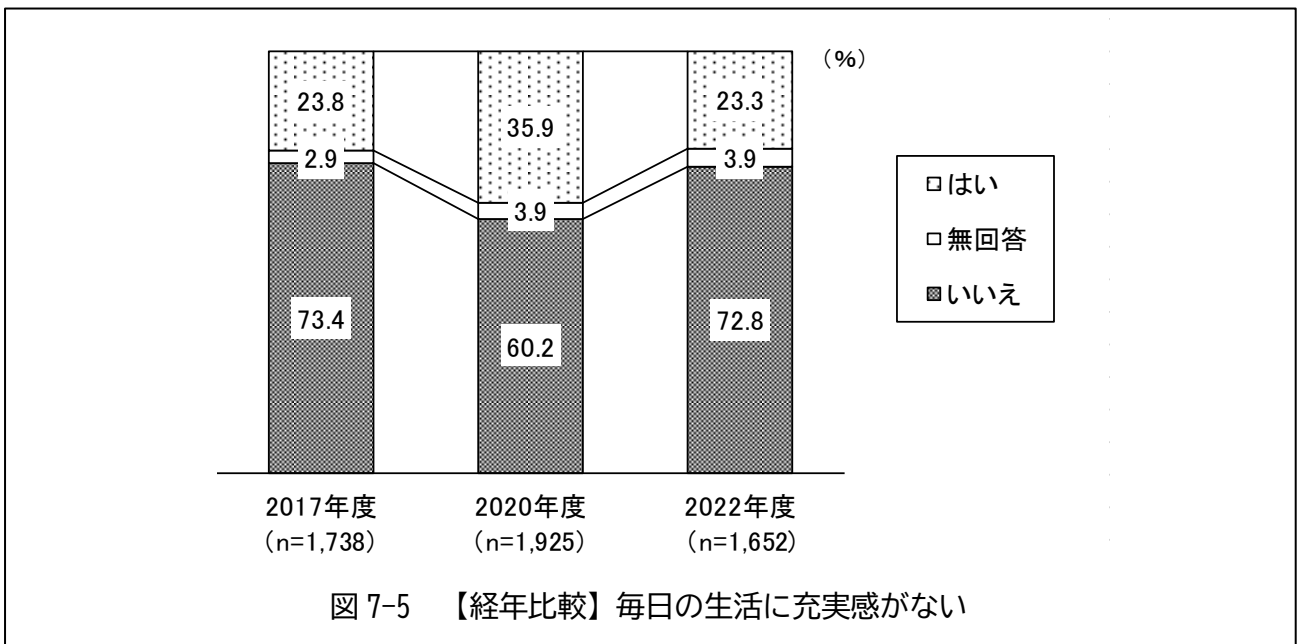
状態別では、要支援及び介護予防・生活支援サービス事業対象者で「5点」が最も高くなっている。なお、平均点（無回答除く）は、要支援認定等は受けていない人では7.14点、要支援1では6.76点、要支援2では6.31点、介護予防・生活支援サービス事業対象者では5.59点となっている。

7.3. 毎日の生活に充実感がない

◆ 「いいえ」が7割台前半



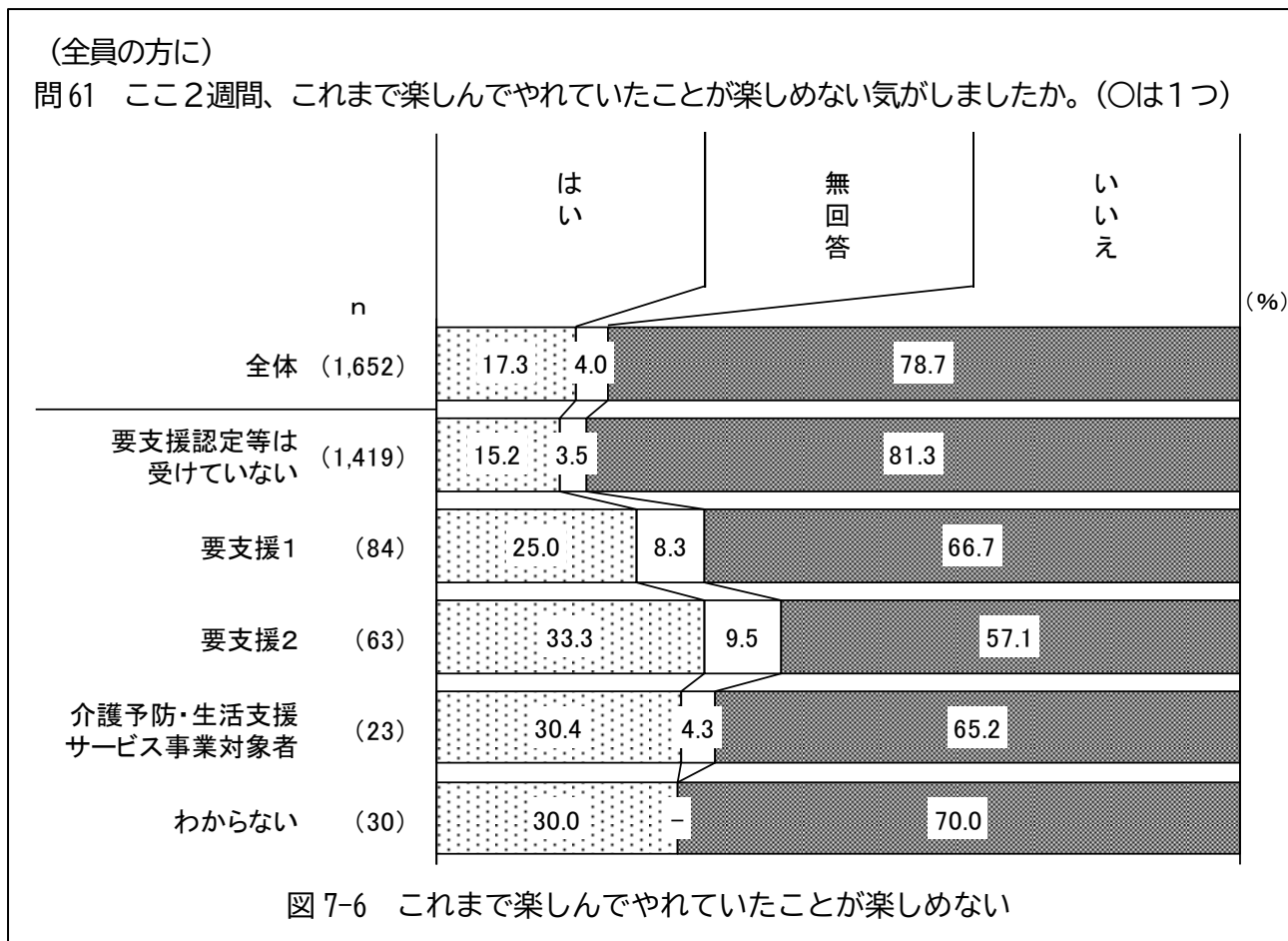
全体では、「いいえ」が7割台前半を占めている。
状態別では、介護予防・生活支援サービス事業対象者で「はい」が5割台前半を占めている。



経年比較では、2020年度と比べて「いいえ」が12.6ポイント増加している。
2020年度は、新型コロナウイルス感染症の流行による緊急事態宣言が出されていた期間及び外出自粛を行っていた期間における調査であったため、その影響がうかがえる。

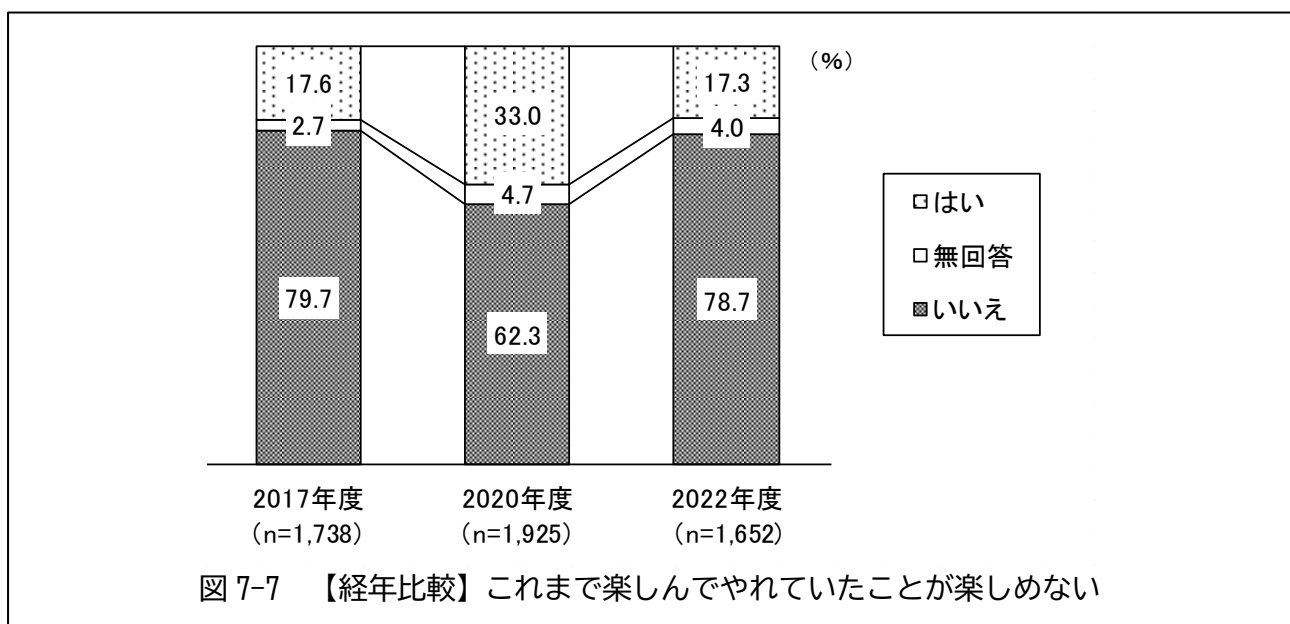
7.4. これまで楽しんでやれていたことが楽しめない

◆ 「いいえ」が7割台後半



全体では、「いいえ」が7割台後半を占めている。

状態別では、要支援認定等を受けていない人から要支援2に向かって、「はい」が段階的に高くなっている。

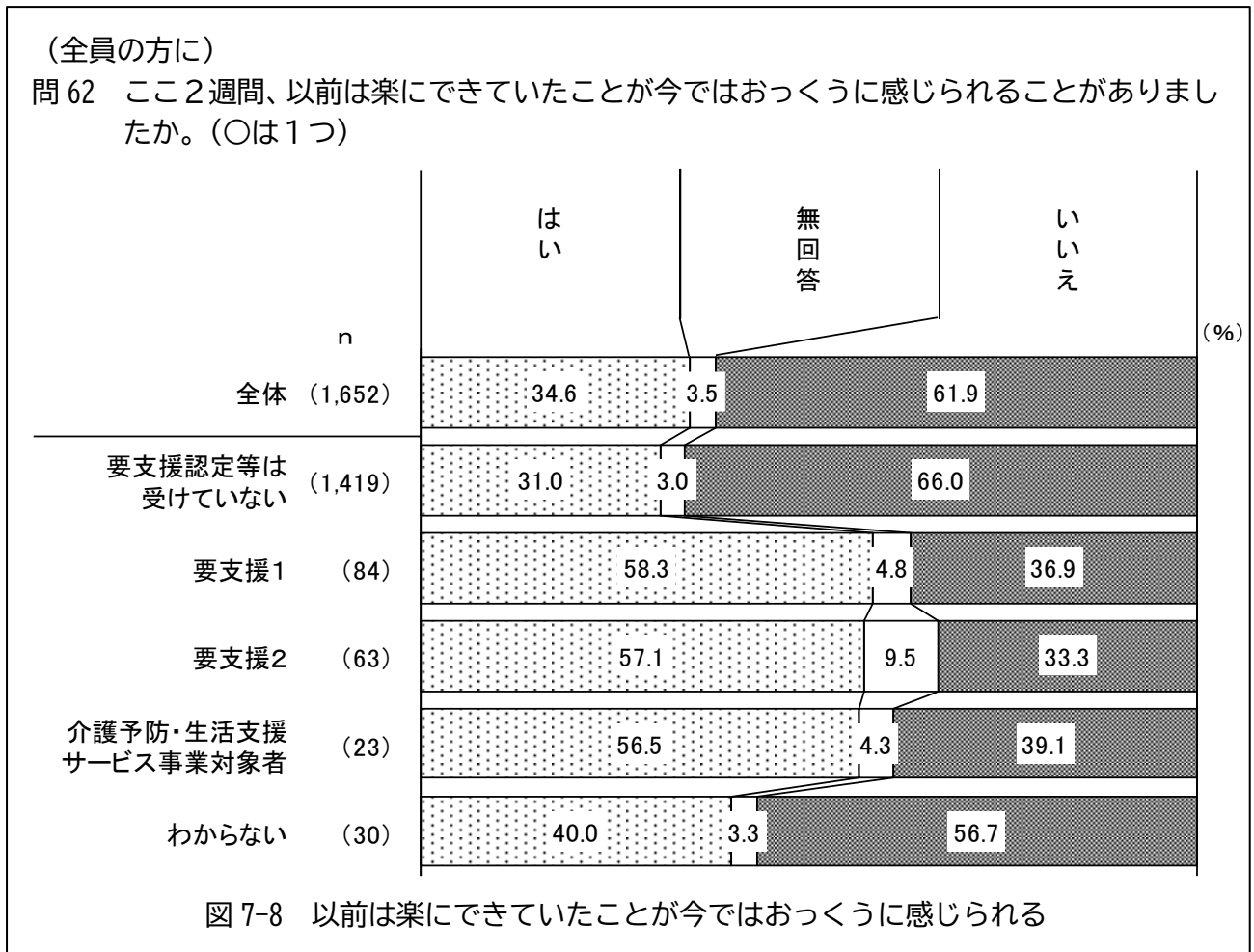


経年比較では、2020年度と比べて「いいえ」が16.4ポイント増加している。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の流行による緊急事態宣言が出されていた期間及び外出自粛を行っていた期間における調査であったため、その影響がうかがえる。

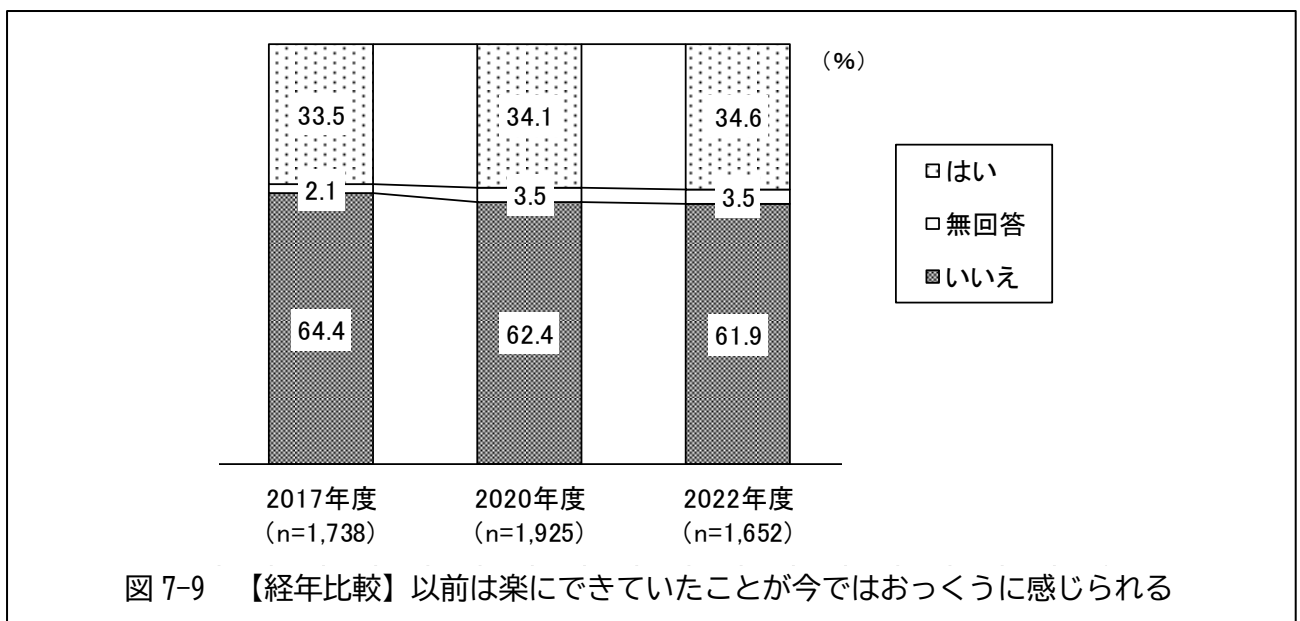
7.5. 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる

◆ 「いいえ」が約6割



全体では、「いいえ」が約6割を占めている。

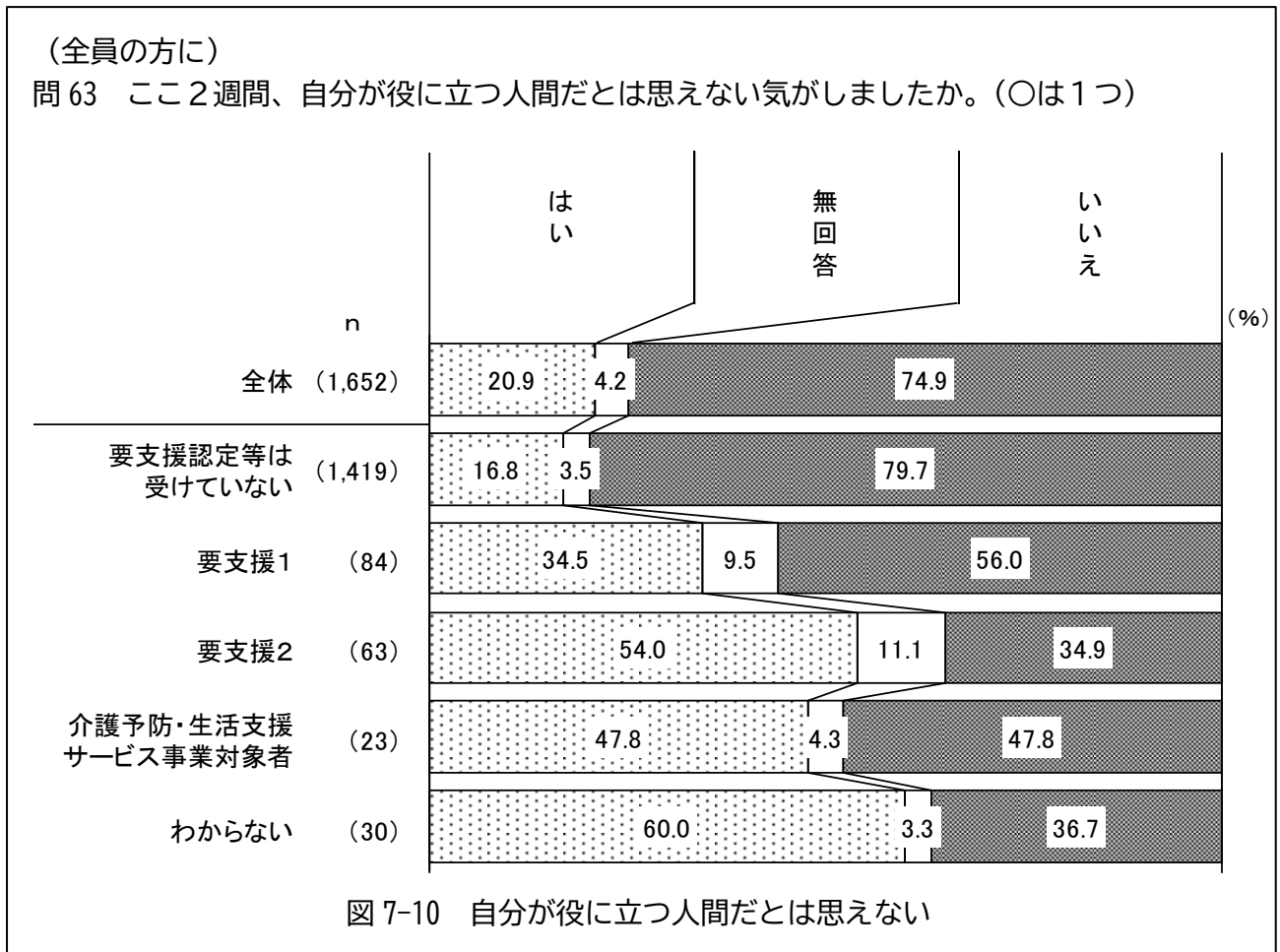
状態別では、要支援1・2及び介護予防・生活支援サービス事業対象者で「はい」が過半数を占めている。



経年比較では、大きな差異はみられない。

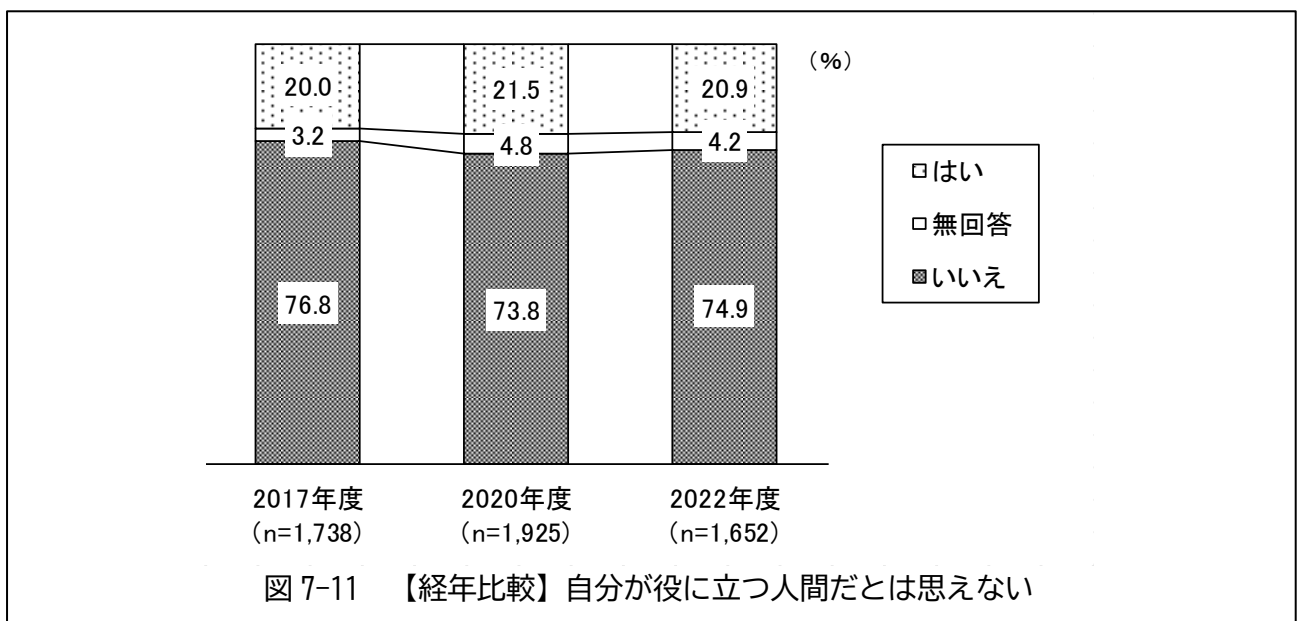
7.6. 自分が役に立つ人間だとは思えない

◆ 「いいえ」が7割台半ば



全体では、「いいえ」が7割台半ばを占めている。

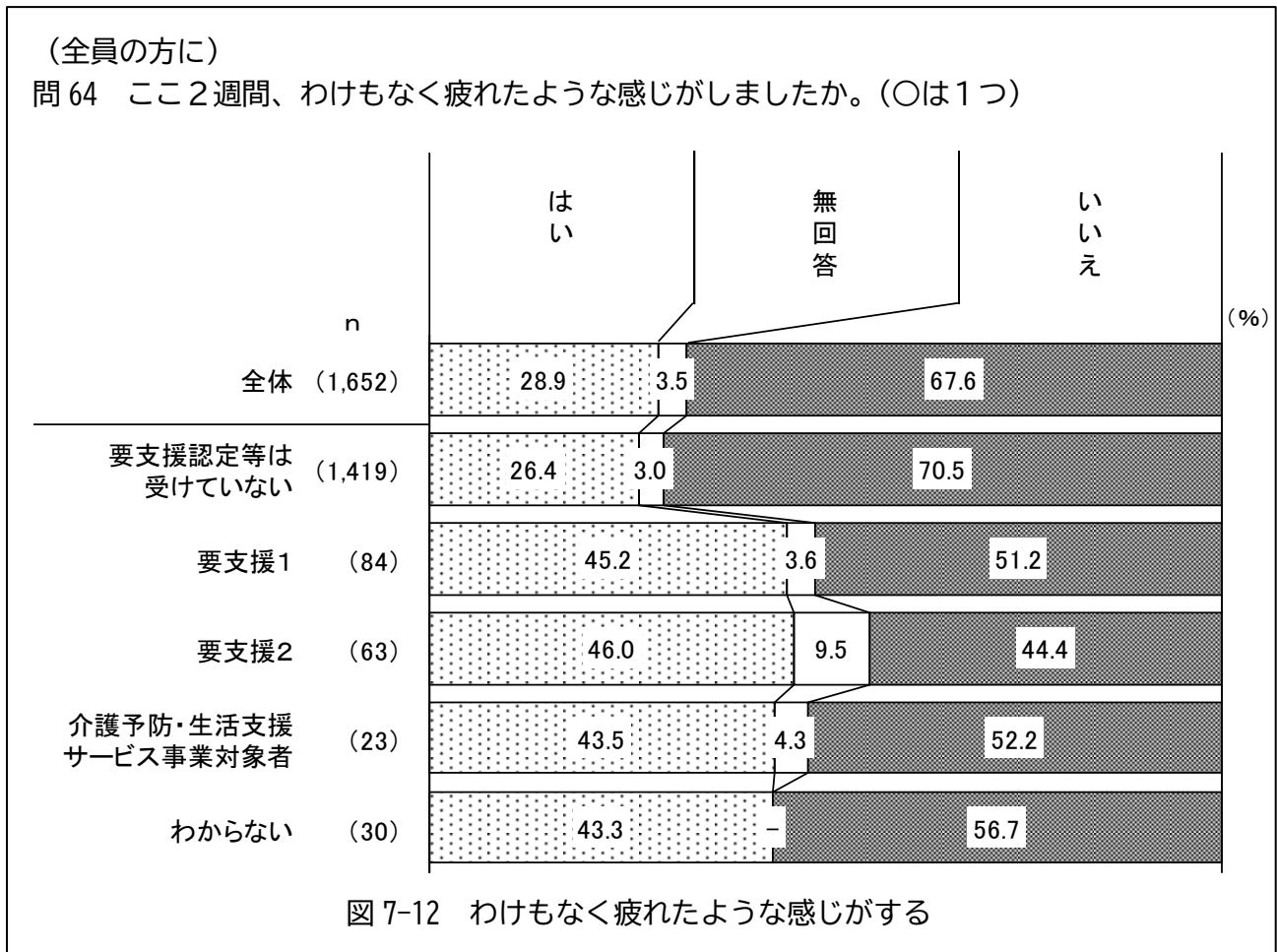
状態別では、要支援認定等を受けていない人から要支援2に向かって、「はい」が段階的に高くなっており、要支援2では5割台半ばを占めている。



経年比較では、大きな差異はみられない。

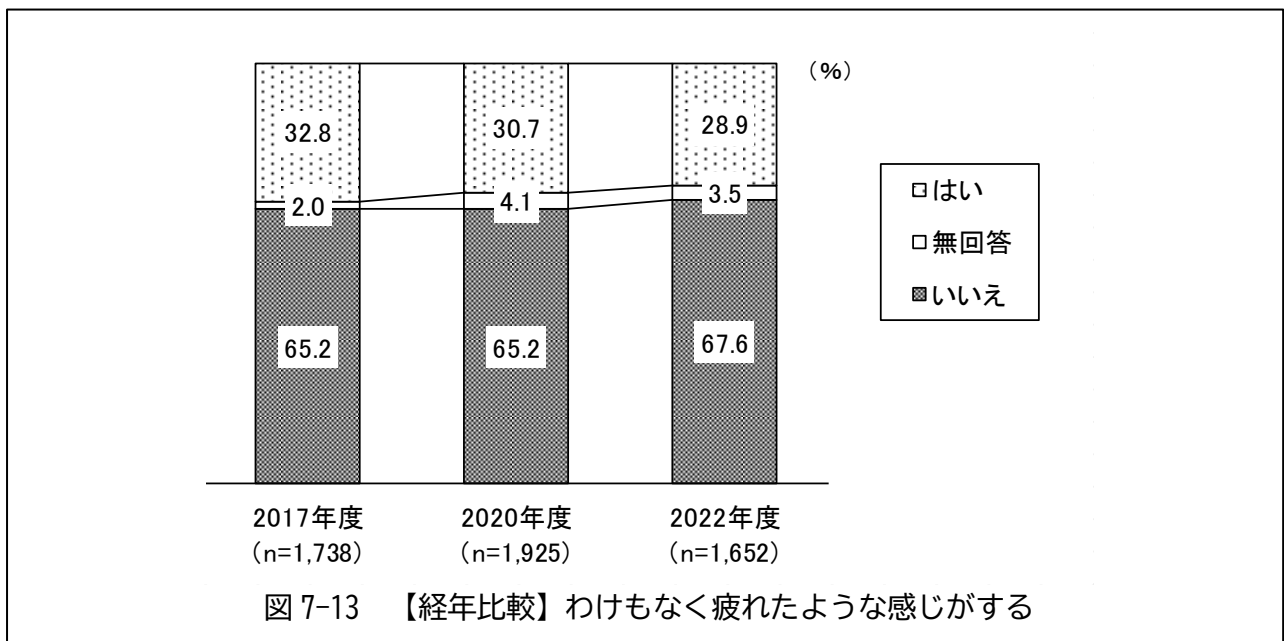
7.7. わけもなく疲れたような感じがする

◆ 「いいえ」が6割台後半



全体では、「いいえ」が6割台後半を占めている。

状態別では、要支援1・2及び介護予防・生活支援サービス事業対象者で「はい」が4割台となっている。



経年比較では、大きな差異はみられない。

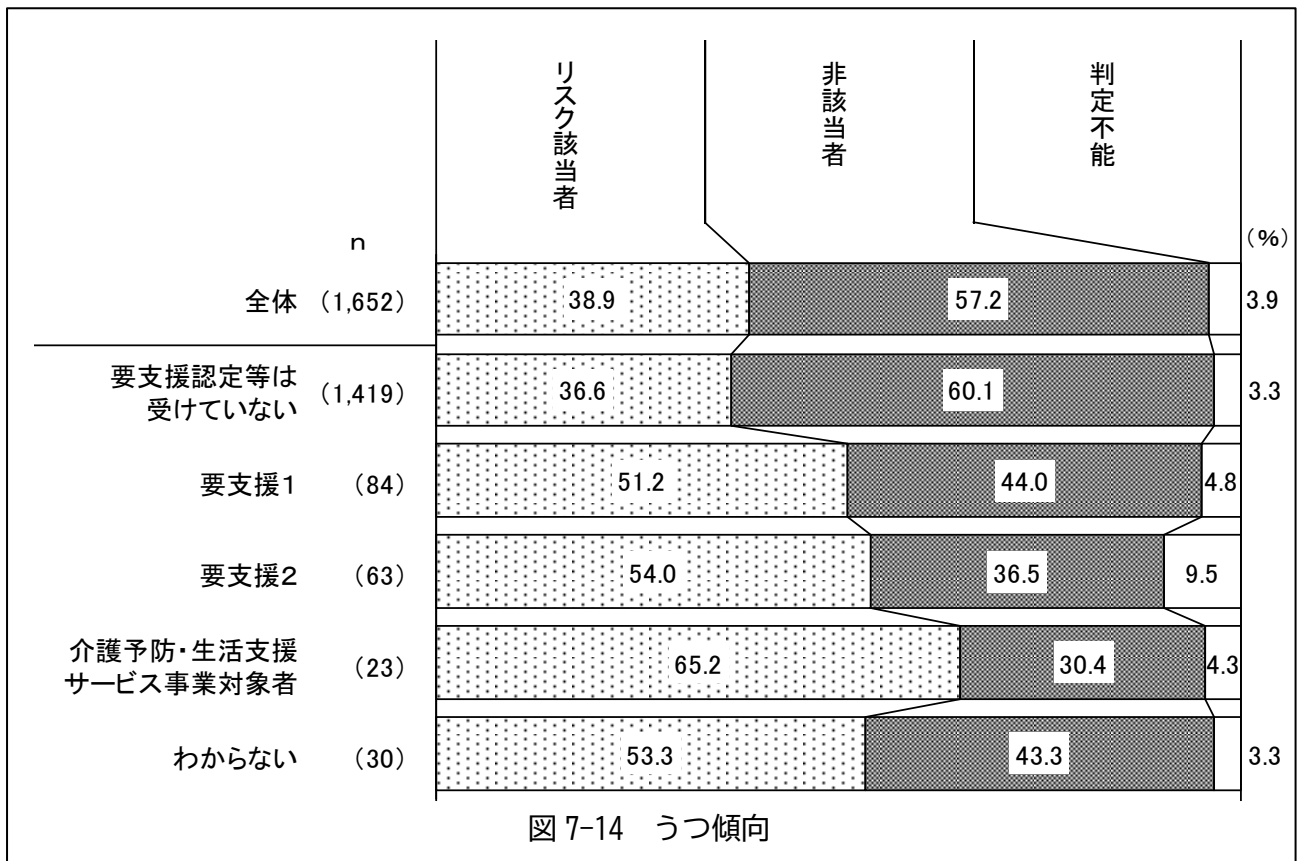
7.8. 機能評価

7.8.1. うつ傾向

◇以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつ傾向のリスク該当者と判定した。

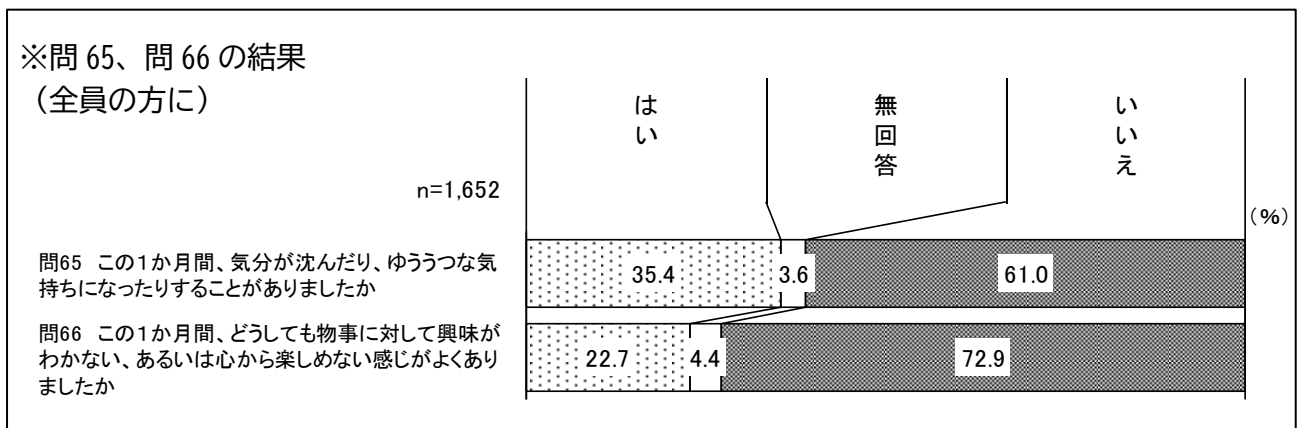
問番号	設問	該当する選択肢
問 65	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい
問 66	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい

◆ うつ傾向のリスク該当者は3割台後半



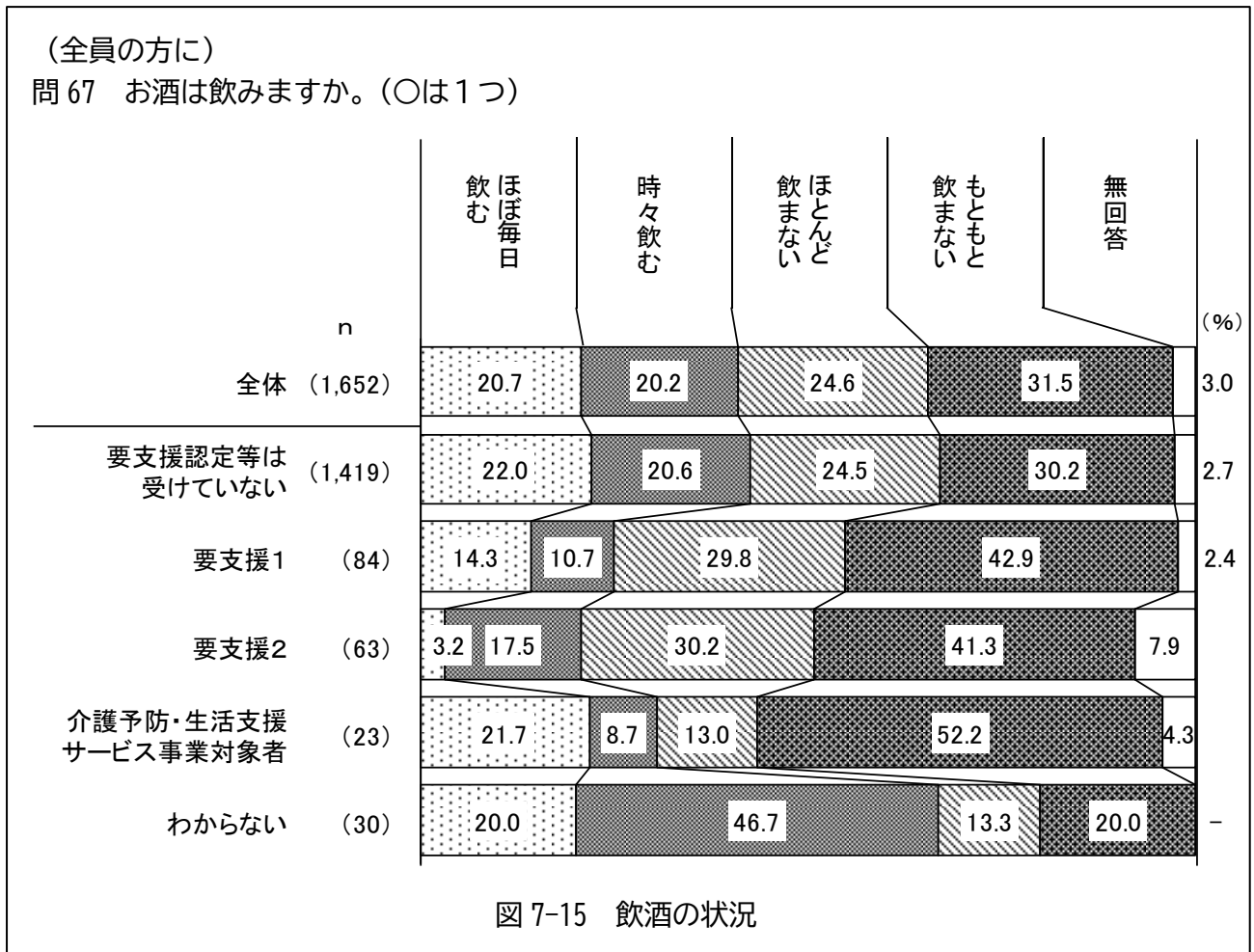
全体では、うつ傾向のリスク該当者は3割台後半となっている。

状態別では、リスク該当者の割合は、要支援1で約5割、要支援2で5割台半ば、介護予防・生活支援サービス事業対象者で6割台半ばとなっている。



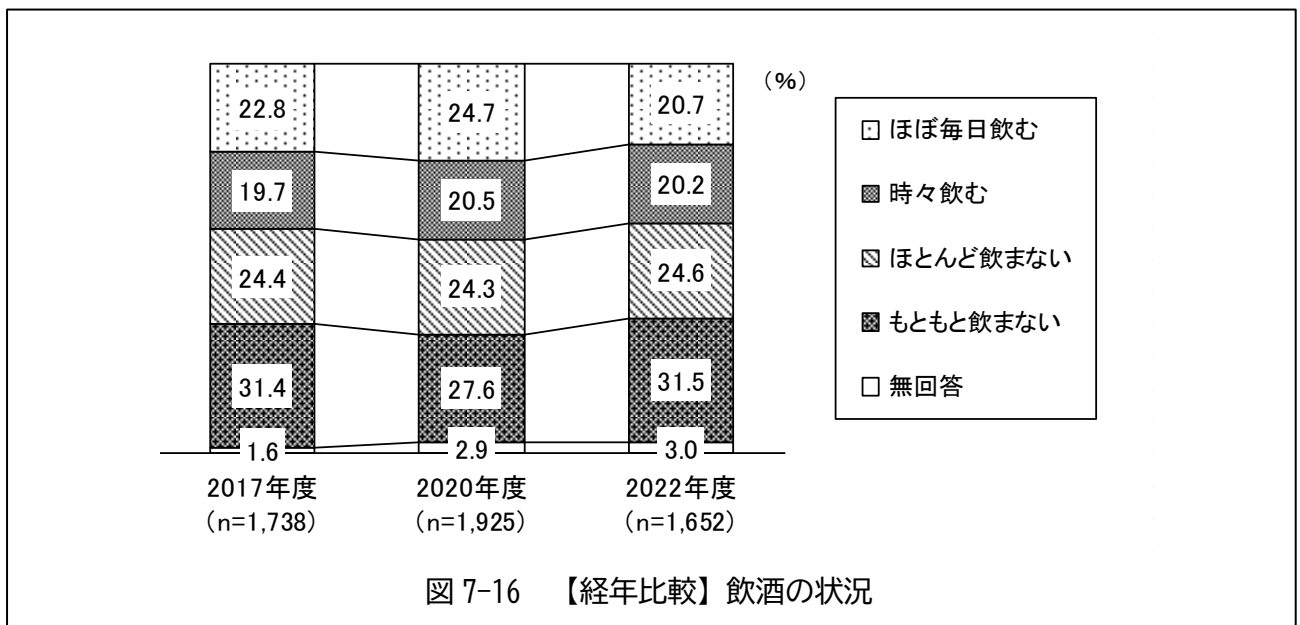
7.9. 飲酒の状況

◆ 「もともと飲まない」が約3割



飲酒の頻度は、「もともと飲まない」が約3割で最も高くなっている。

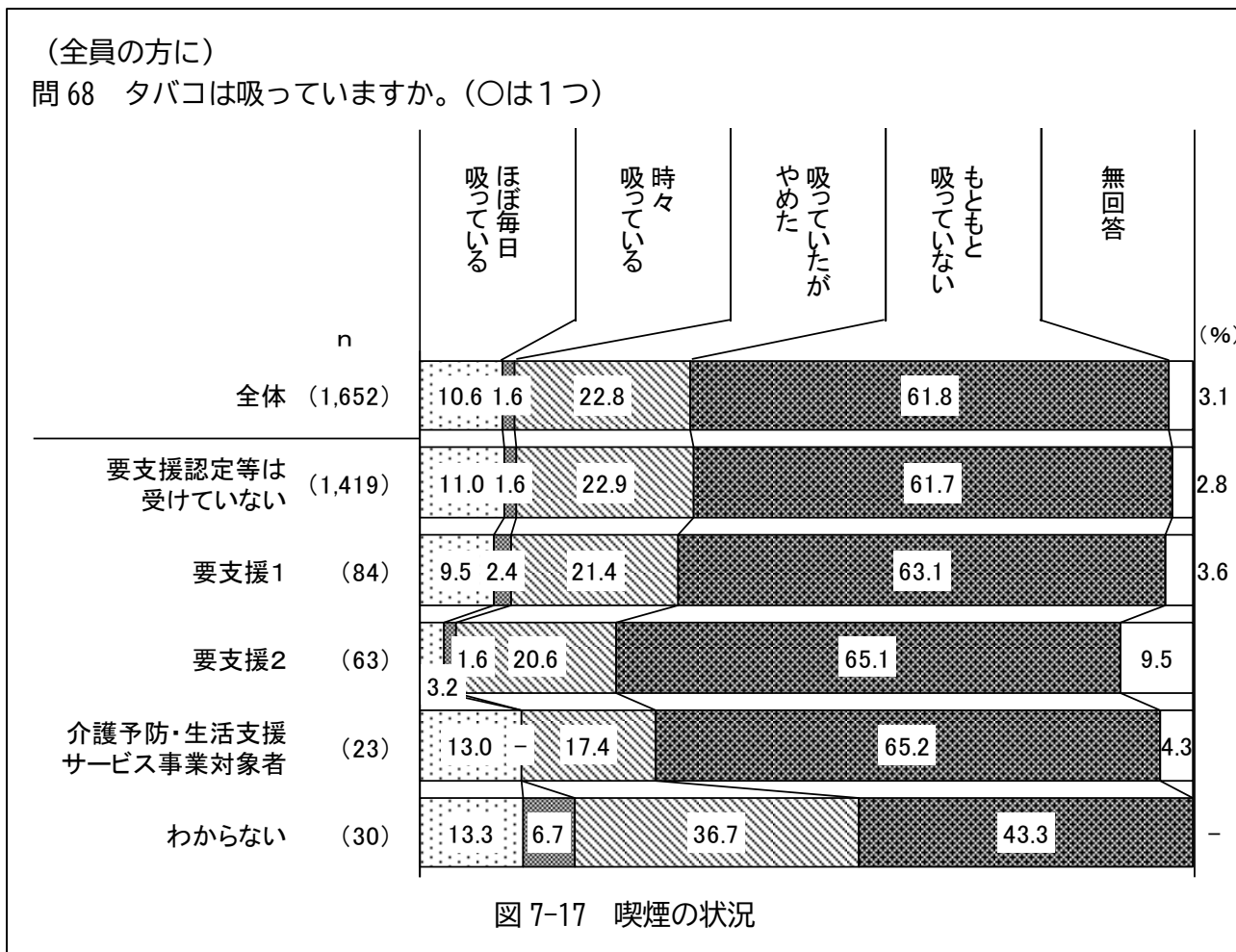
状態別では、要支援認定等を受けていない人から要支援2に向かって、「もともと飲まない」が段階的に高くなっている。



経年比較では、2020年度と比べて「もともと飲まない」が3.9ポイント増加している。

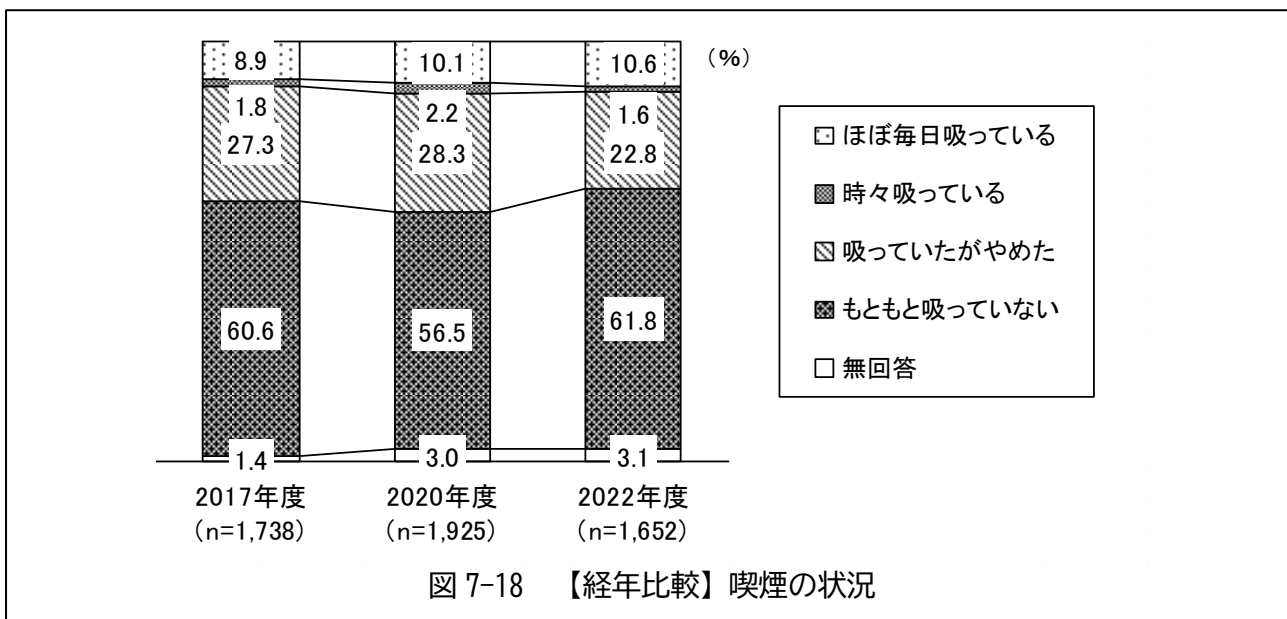
7.10. 喫煙の状況

◆ 「もともと吸っていない」が約6割



喫煙の頻度は、「もともと吸っていない」が約6割を占めている。

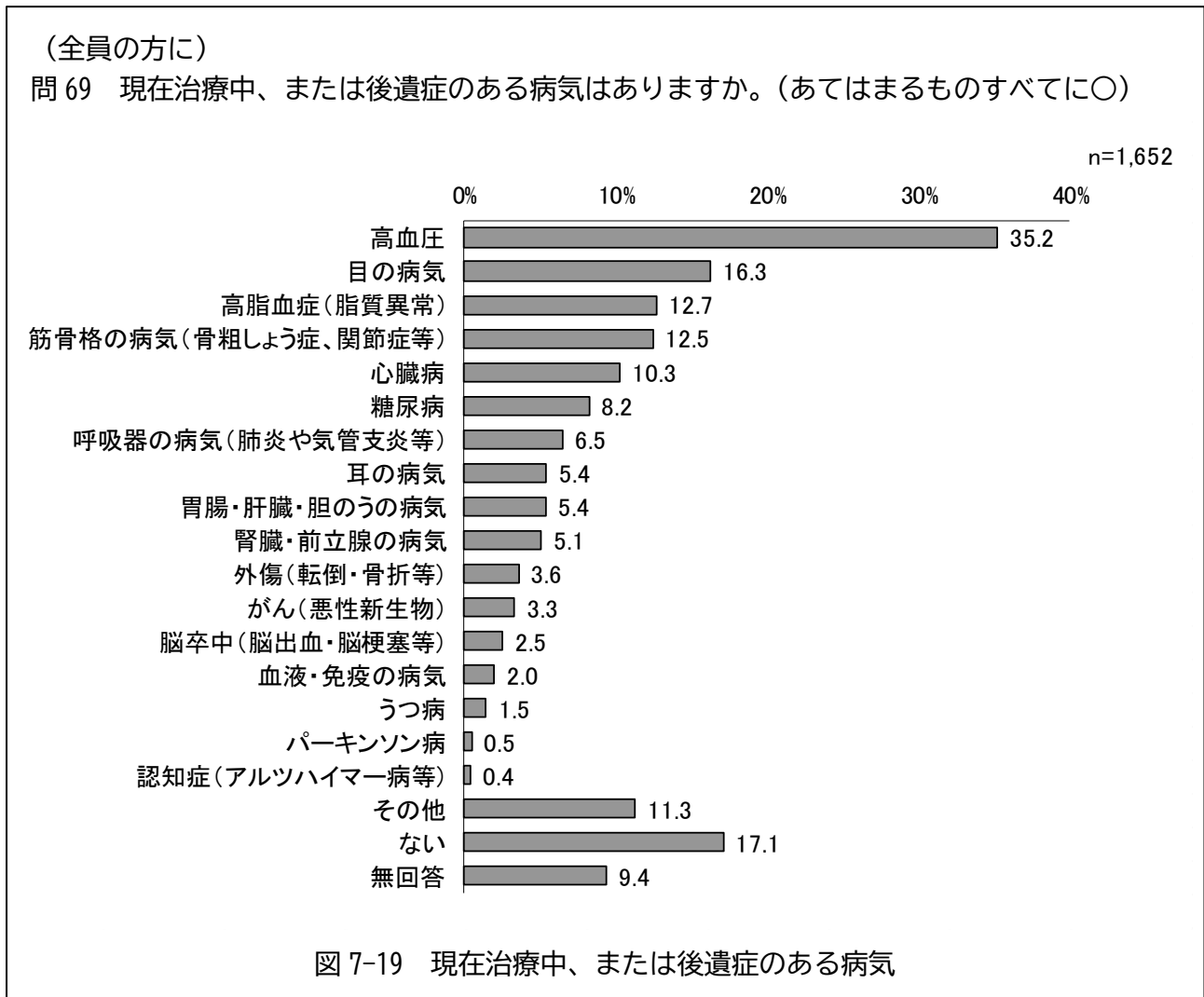
状態別では、要支援2と介護予防・生活支援サービス事業対象者で「もともと吸っていない」が6割台半ばとなっている。



経年比較では、2020年度と比べて「もともと吸っていない」が5.3ポイント増加している。

7.11. 現在治療中、または後遺症のある病気

◆ 「高血圧」が3割台半ば



全体では、「高血圧」が3割台半ばで最も高くなっている。

【状態別】現在治療中、または後遺症のある病気

単位：％

	有効回答数(件)	高血圧	目の病気	高脂血症(脂質異常)	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	心臓病	糖尿病	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	耳の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気
全体	1,652	35.2	16.3	12.7	12.5	10.3	8.2	6.5	5.4	5.4	5.1
要支援認定等は受けていない	1,419	33.1	15.6	13.4	11.2	8.5	7.3	6.3	4.8	4.8	4.3
要支援1	84	47.6	17.9	16.7	28.6	31.0	13.1	8.3	11.9	7.1	14.3
要支援2	63	50.8	23.8	4.8	22.2	19.0	15.9	9.5	7.9	7.9	6.3
介護予防・生活支援サービス事業対象者	23	52.2	30.4	4.3	17.4	13.0	8.7	8.7	4.3	17.4	13.0
わからない	30	50.0	23.3	3.3	0.0	16.7	16.7	6.7	13.3	10.0	6.7

	有効回答数(件)	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	血液・免疫の病気	うつ病	パーキンソン病	認知症(アルツハイマー病等)	その他	ない	無回答
全体	1,652	3.6	3.3	2.5	2.0	1.5	0.5	0.4	11.3	17.1	9.4
要支援認定等は受けていない	1,419	2.6	3.3	1.8	1.8	1.3	0.3	0.3	11.4	19.2	9.4
要支援1	84	14.3	3.6	6.0	2.4	3.6	0.0	2.4	14.3	7.1	7.1
要支援2	63	9.5	3.2	7.9	6.3	1.6	1.6	0.0	7.9	0.0	11.1
介護予防・生活支援サービス事業対象者	23	4.3	8.7	8.7	0.0	4.3	8.7	0.0	17.4	0.0	4.3
わからない	30	6.7	3.3	6.7	0.0	3.3	0.0	3.3	10.0	3.3	13.3

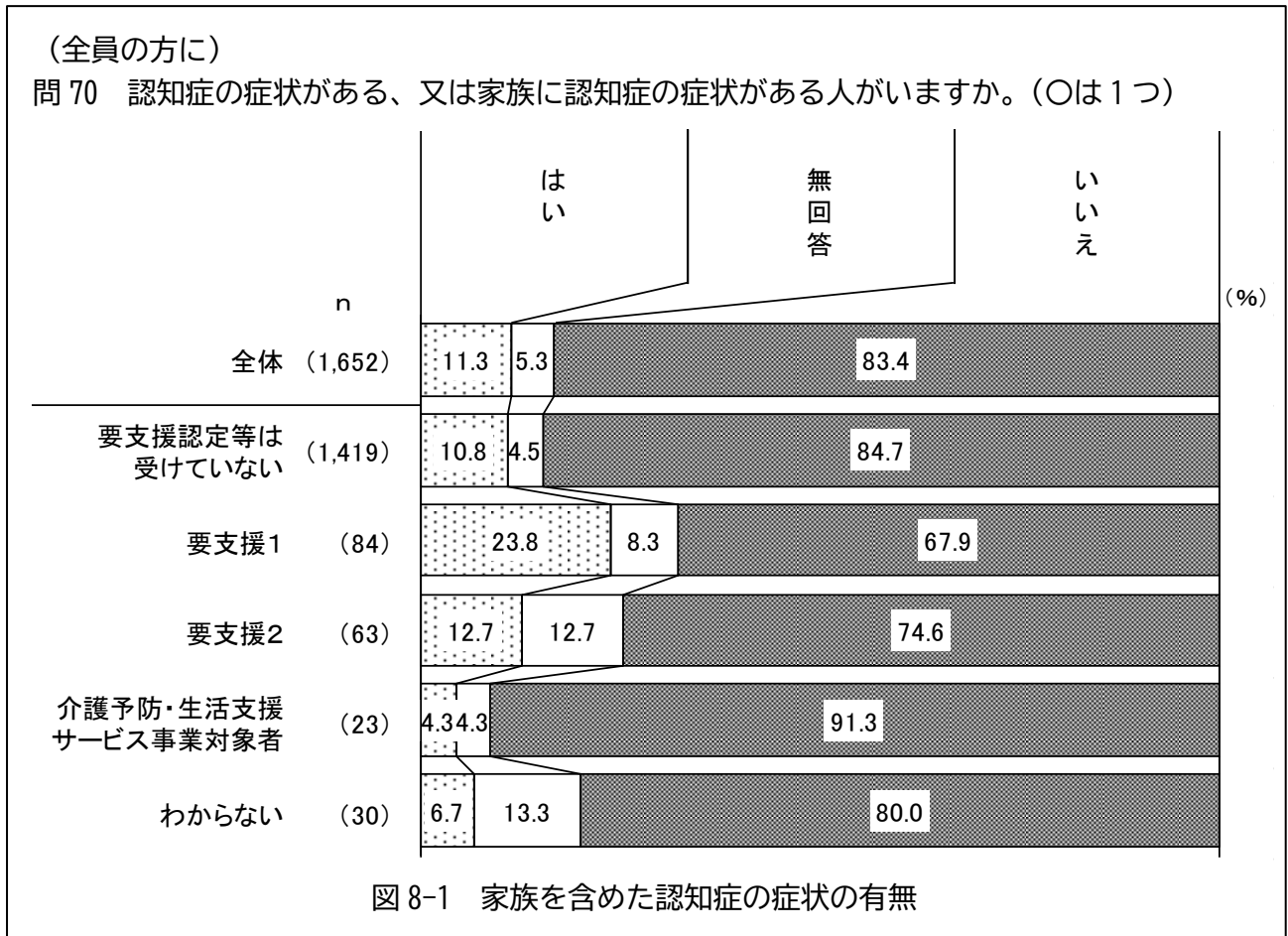
状態別では、いずれも「高血圧」が最も高くなっている。

また、「高血圧」と「目の病気」は、要支援認定等を受けていない人から要支援2に向かって段階的に高くなっている。

8. 認知症にかかる相談窓口の把握について

8.1. 家族を含めた認知症の症状の有無

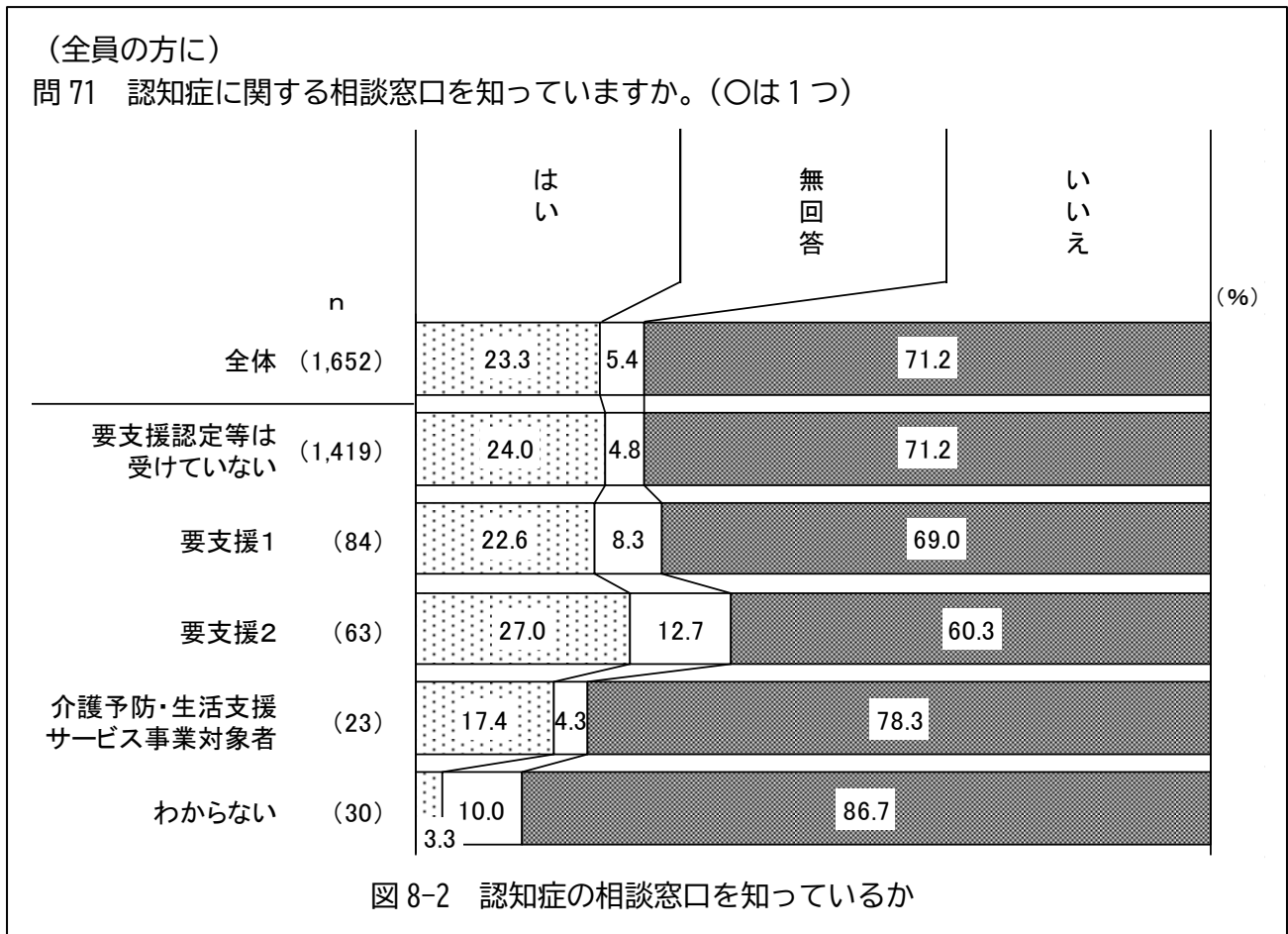
◆ 「いいえ」が8割台前半



全体では、「いいえ」が8割台前半を占めている。
状態別では、要支援1で「はい」が高く、2割台前半となっている。

8.2. 認知症の相談窓口を知っているか

◆ 「いいえ」が約7割



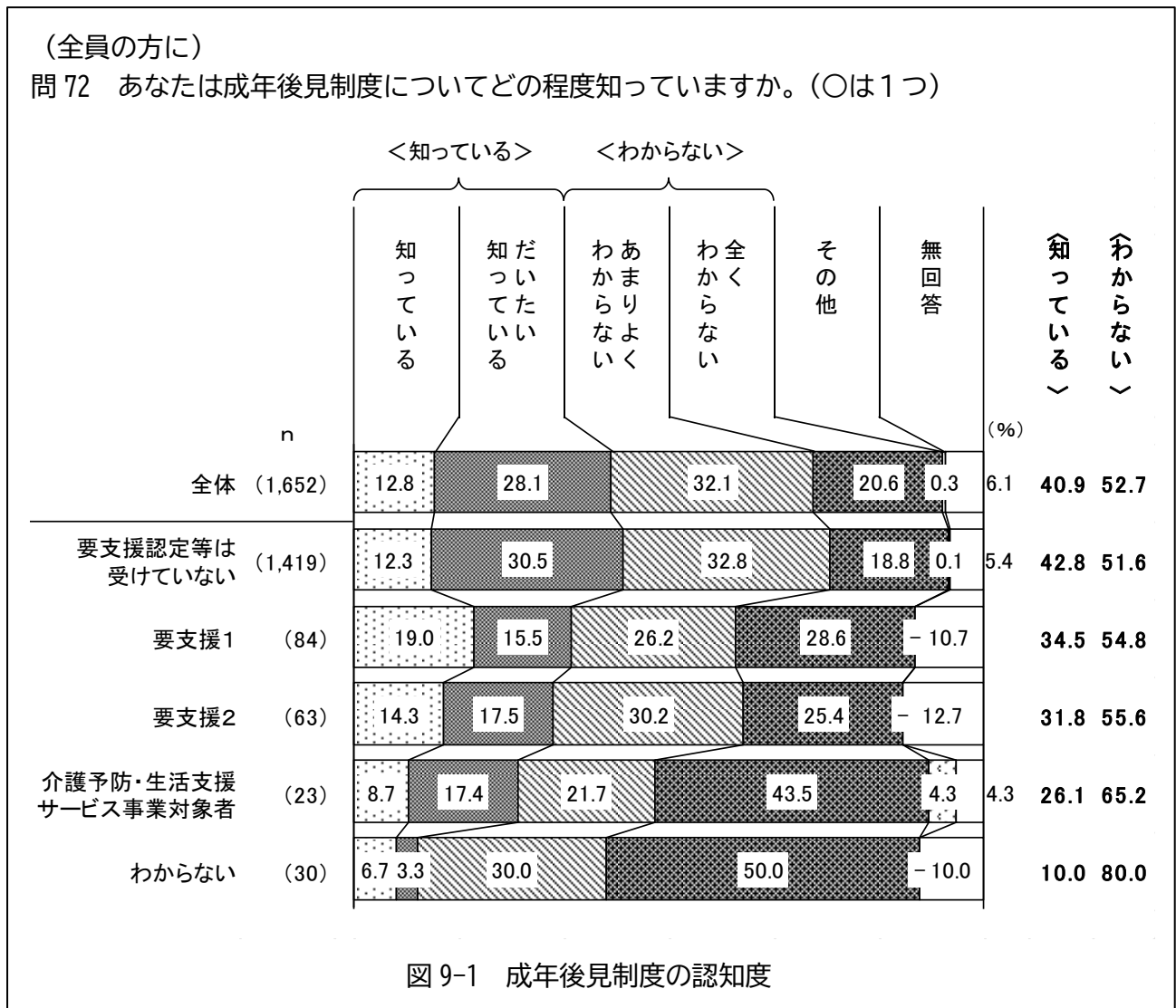
全体では、「いいえ」が約7割を占めている。

状態別では、介護予防・生活支援サービス事業対象者で「はい」が低く、1割台後半となっている。

9. 成年後見制度について

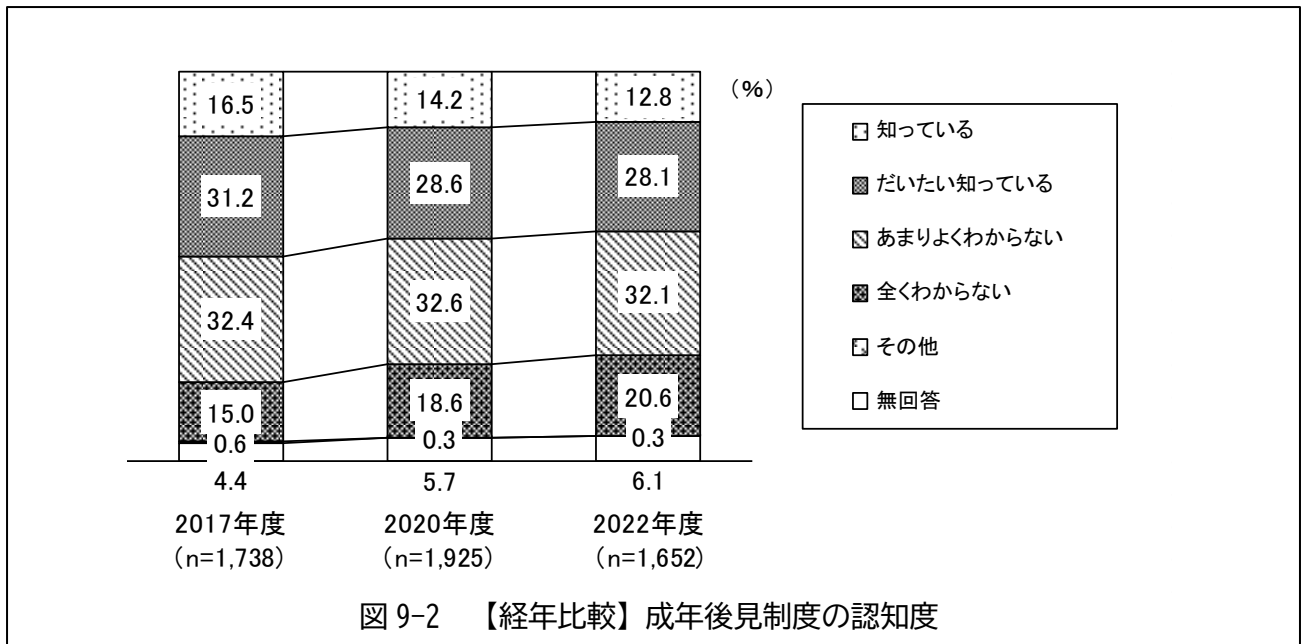
9.1. 成年後見制度の認知度

◆ <わからない>が5割台前半



全体では、「全くわからない」と「あまりよくわからない」を合わせた<わからない>が5割台前半を占めている。

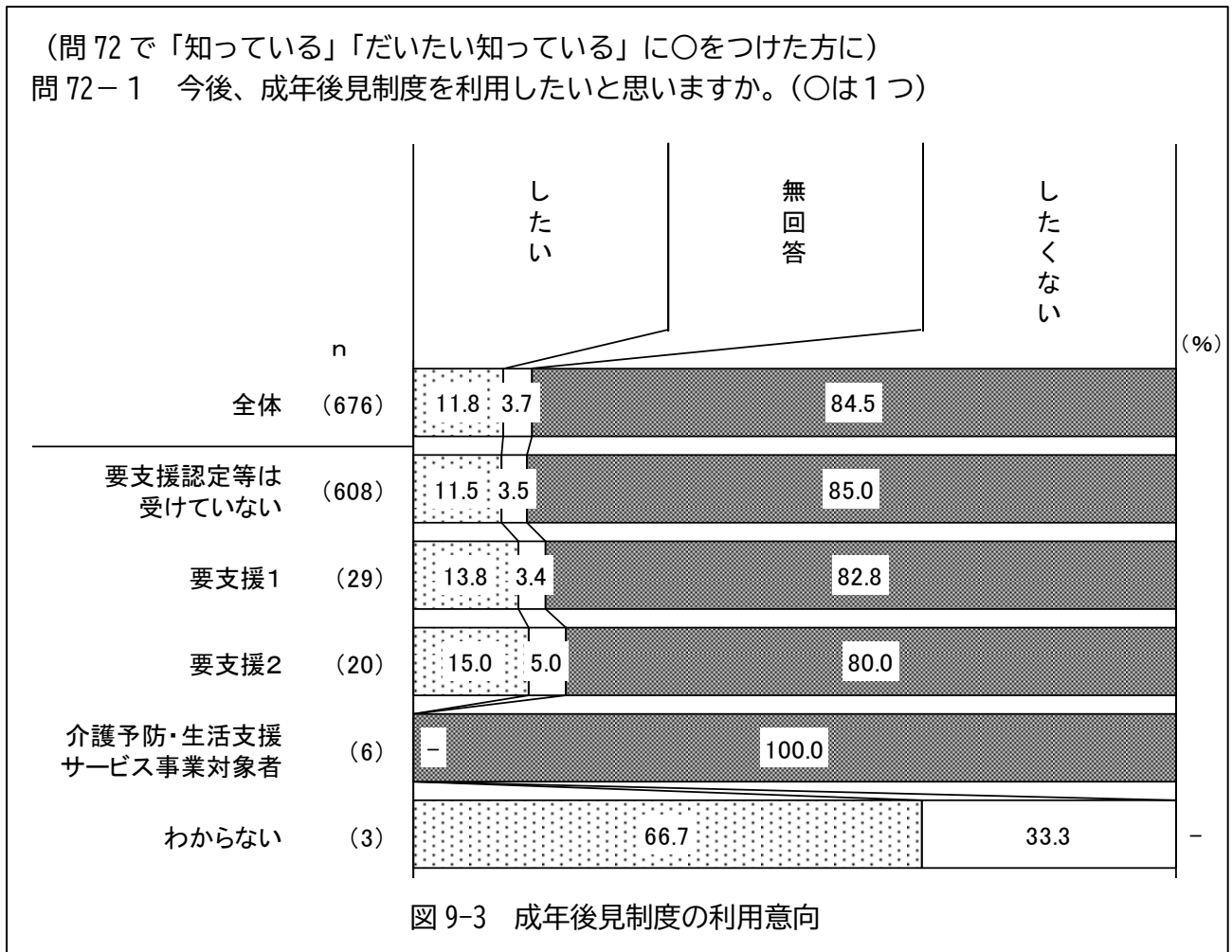
状態別では、介護予防・生活支援サービス事業対象者で<わからない>が6割台半ばを占めている。



経年比較では、<知っている>が年々減少している。

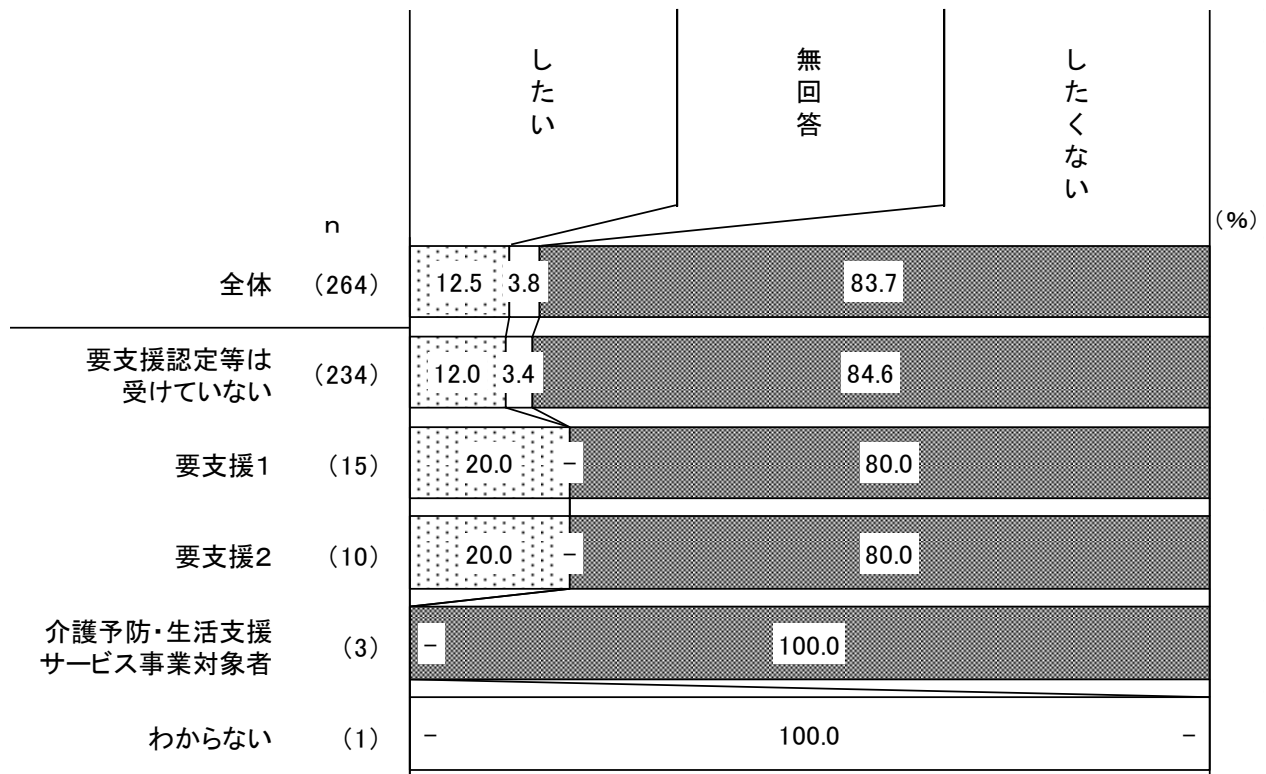
9.1.1. 成年後見制度の利用意向

◆ 「したくない」が8割台半ば

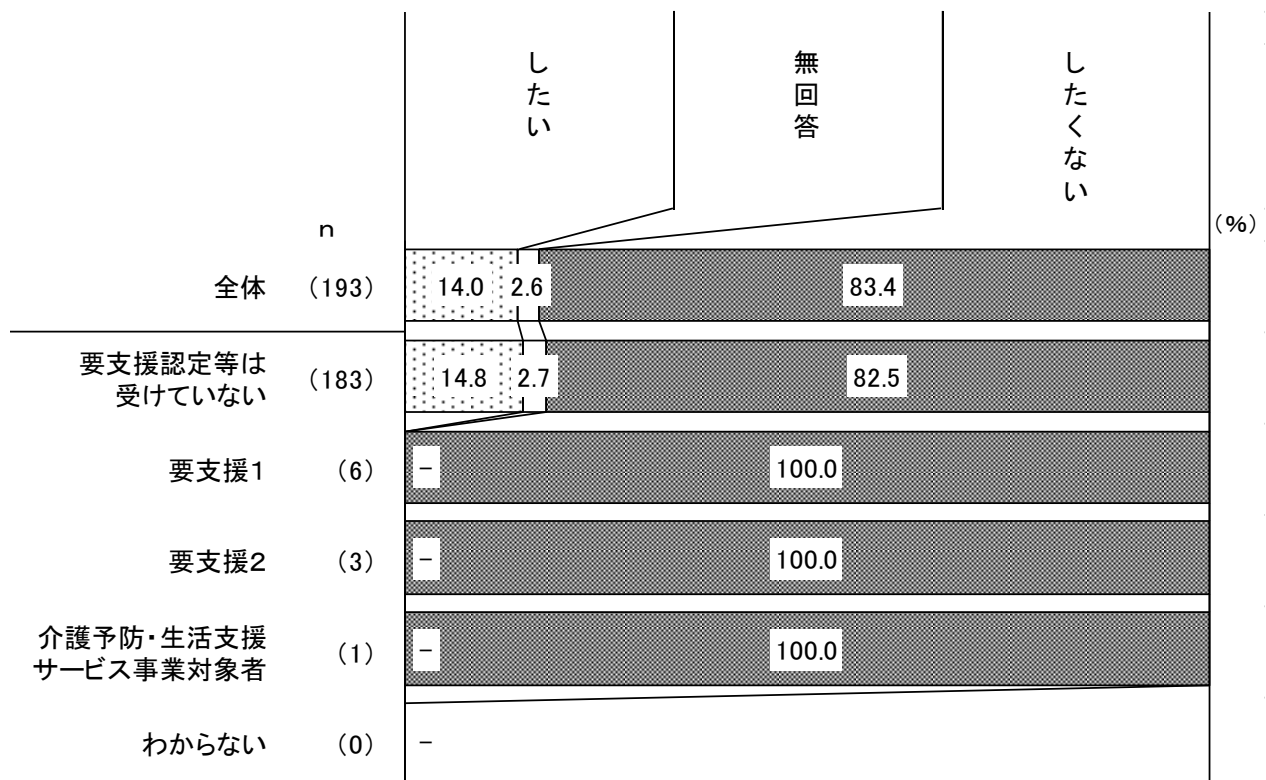


全体では、「したくない」が8割台半ばを占めている。
 状態別では、いずれも「したくない」が大半を占めている。

【状態別（1人暮らし）】成年後見制度の利用意向



【状態別（夫婦2人暮らし）】成年後見制度の利用意向



9.1.2. 成年後見制度を利用したくない理由

◆ 「後見人でなくても家族がいるから」が8割台前半

(問72-1で「したくない」に○をつけた方に)
問72-2 利用したくない理由をおしえてください。(○は2つ)

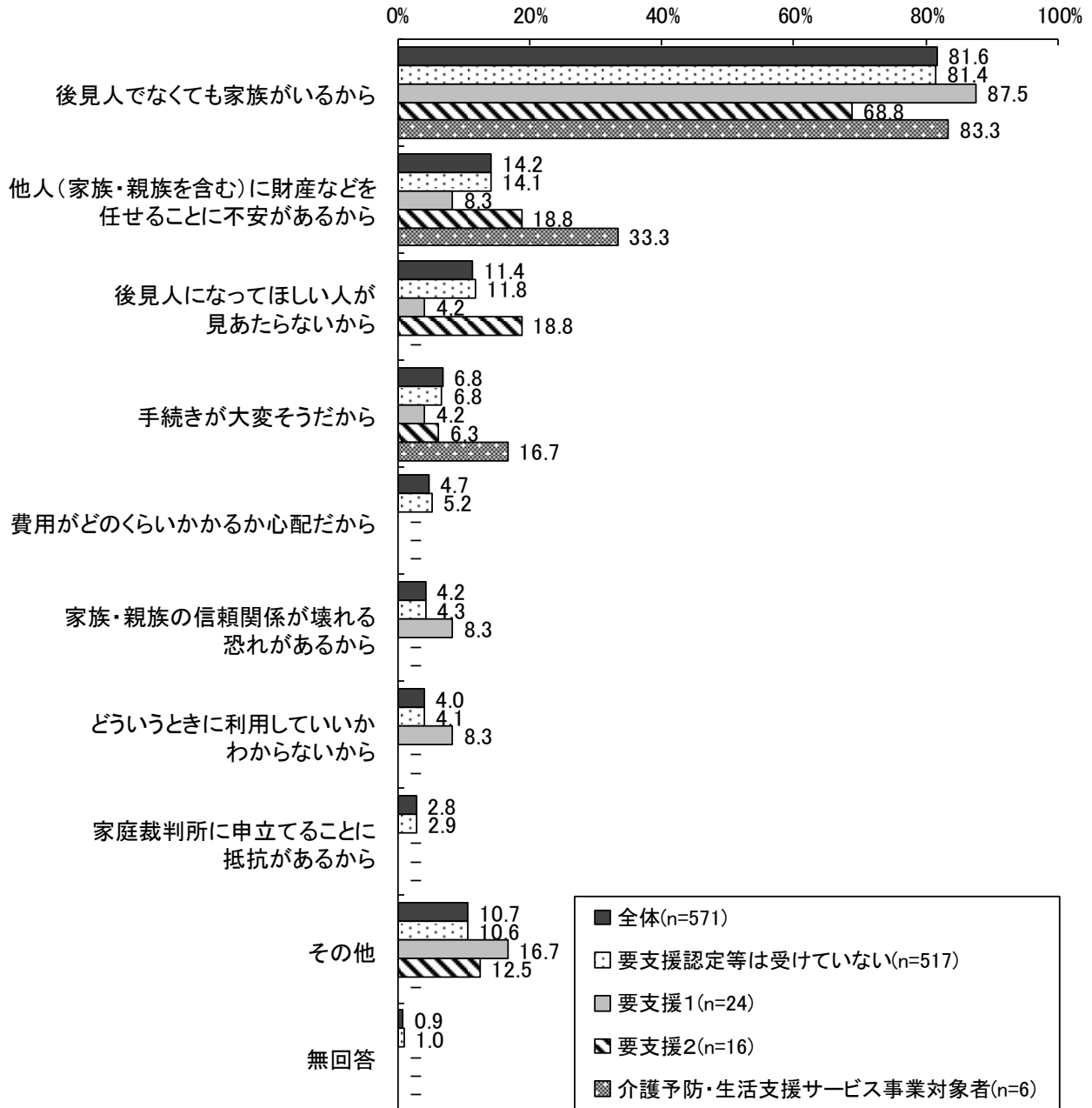
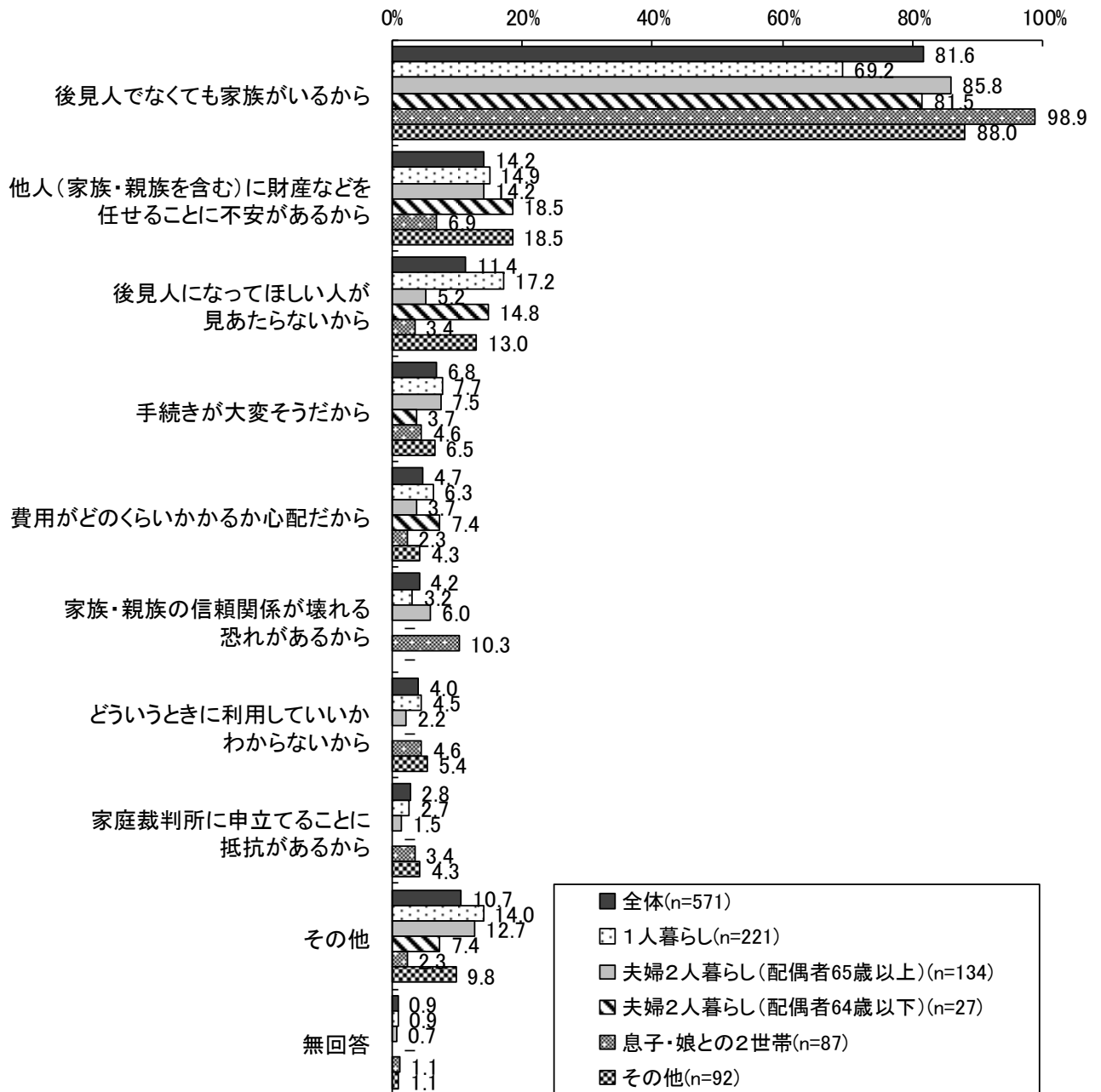


図9-4 成年後見制度を利用したくない理由

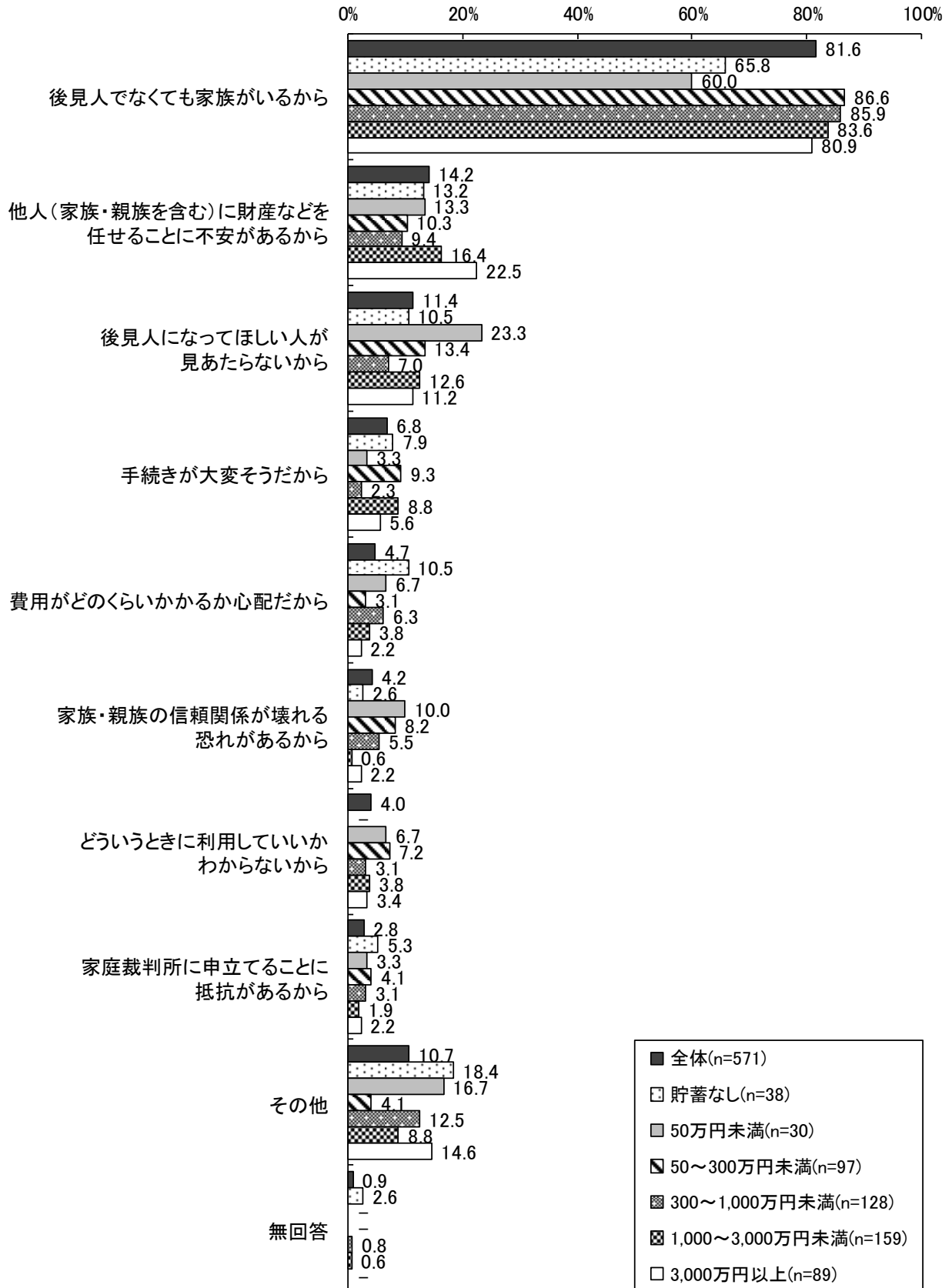
全体では、「後見人でなくても家族がいるから」が約8割を占めている。
状態別では、要支援1で「後見人でなくても家族がいるから」が8割台後半となっている。

【家族構成別】成年後見制度を利用したくない理由



家族構成別では、1人暮らしは「後見人でなくても家族がいるから」が約7割で他よりも低くなっている。

【預貯金額別】成年後見制度を利用したくない理由



預貯金額別では、貯蓄なしと50万円未満の層で「後見人でなくても家族がいるから」が他より低くなっています。

10. その他

10.1. 健康福祉行政全体への意見・要望（自由回答）

（全員の方に）

問 73 健康福祉行政全体について、ご要望やご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。

健康福祉行政全体への意見・要望について、333 件の回答があった。その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

健康福祉行政全般について 44 件

- 高齢者社会に向って、とても大切な行政ではないかと思っています。現在はフルタイムで週5日働き、職場の同僚と切磋琢磨し、やりがいを感じていますが、いずれ当該行政のお世話になるかもしれないことを考えると、とても大切な行政分野かと思えます。時代々に合った up to date な施策を期待致します。(65~69 歳)
- 自分としては、できるだけ公的な福祉サービスを受けなくても済むように努力しているつもりです。もちろんそれにはコストも手間もかかります。そのような予防的な対応をもっともっと促進するような施策にリソースを配分すべきではないかと思えます。例えば公的運動施設の更なる充実、健康増進、文化的能力支援など。(65~69 歳)
- 中野区住んで 40 年くらいになりますが、中野で本当に良かったなと思えるような福祉行政をお願いします。(65~69 歳)
- 日頃より健康寿命の最大化を目標にしています。多くの人がそのように行動する社会を望みます。また中野区にも期待しています。(65~69 歳)
- 仕事なので限界を感じる。しかたないが、個人的に友人、知人、パートナー、夫などで助け合う関係を作った方がよい気がいたします。自助、共助、公助の優先順位は、まことに正しいと思います。無いよりははましますが、健康福祉行政はあまりあてにならないし、あてにしない方が良いかと。(65~69 歳)
- 今後も、元気で生活している高齢者に対しての施策を期待しています。(65~69 歳)
- 中野区は老人に親切でない。(70~74 歳)
- そもそも健康福祉行政とは、よくわからない。(75~79 歳)
- 高齢者がもっと簡単に解りやすく利用できる仕組をお願い致します。利用するのにもお金がかからないことを希望します。(75~79 歳)
- 今のところ元気でおりますので、本当の必要性を感じられないのかもしれませんが、人と人が助け合い支えられ、福祉行政が本当に一人一人を大切に思ってくれたら、未来は明るいと思います。よろしくお願い致します。(80~84 歳)
- 健康福祉行政事業が身近に感じないので、もう少し身近で寄り添ってもらえたらと思います。(80~84 歳)
- 健康福祉行政のことをもっと良く知りたいと思います。これまであまり問題もなく来ることができましたが、何かあった時困る自分を、この調査に参加して良く分かりました。(85~89 歳)

介護保険制度について 32 件

- 介護保険料が高い。(65~69 歳)
- 今は必要ないが、いつお世話になる時が来るかもしれませんので、利用しやすい様な制度にしてもらえたら。(65~69 歳)

- 介護施設の充実をお願いします。(70～74 歳)
- 現在、配偶者の若年性アルツハイマーについて、包括支援センターや介護サービスの方や、2か所のデイサービスにおいても親身な対応をして頂き、ありがたく思っています。(70～74 歳)
- 母の介護の時、デイケアサービスにお世話になり、ケアマネジャーさん、看護師さんにも相談にのって頂いたり、お助け頂きました。そのような制度があることも経験して初めて知り、有難いことだと思いました。(75～79 歳)
- 介護認定を受けた後、利用できるサービスの内、福祉用具の貸与や福祉用具の購入等ありますが、各々品物の明細が分ると考える一助になるのでありがたいと思います。(85～89 歳)
- 高齢福祉・介護保険サービス等、大変お世話になっていて、いつも心より感謝しております。3か月前よりデイサービス週1回行くようになり、とても楽しく、心が充分元気になり、子どもや孫娘からも元気になって良かったね、と言われて、せめて週2回か、体操の施設等にも行って見たいと思いますが、要支援1だからと行くことができなく残念でストレスになっています。(85～89 歳)

健康づくり・医療・介護予防について 25 件

- 介護予防体操は、音楽、歌、映像ありで体操をするので、とても楽しく、ずっと続けてほしい。他の体操教室にはないボイストレーニングなどもあり、のどの筋力を鍛え、誤飲予防にもなるように思います。(65～69 歳)
- 介護予防のための仕組み、制度がもっと分かりやすく、もっと魅力的であってほしいです。又、健康福祉の観点からも高齢者の経験と活力を利用して、就業できるようマッチングしてほしい。最期のその日まで立って歩いて、何らかの役に立ちたい。(65～69 歳)
- シニアの介護予防の運動場所が少ない。高齢者はますます多くなるので、安価で近くに行って軽い予防体操ができる所がたくさん欲しい。沼袋にある総合体育館は遠い。抽せんではなく、参加したい高齢者が皆参加できるスポーツ関連の場所が欲しい。(65～69 歳)
- 元気アップ体操や火曜(通う)体操のように楽しく唄って脳トレできるプログラムが増えると良いと思います。オンラインで参加できるものももう少しあると嬉しいです。(65～69 歳)
- 鍋横地域活動センターで、訪問診療、訪問介護、在宅介護のお話がありました。先生の話に真剣に聞いておりました。いずれ我身にかかわる事なので、身近なセンターで、又機会がありましたら、是非伺いたいと思いました。(75～79 歳)
- 病気になってからの対策も大事ですが基本的には予防対策に力を注いでほしいです。(85～89 歳)
- 地域の方々と健康づくりや趣味などのグループ活動のできる場所があるといいと思う。元気なうちにケアマネジャー、地域包括センターの役割、又利用のしかたなど聞く機会があるといいと思います。(85～89 歳)

区への要望について 25 件

- 車イス、ベビーカーが移動し易い道路整備をして欲しい。弱者に優しく、安心して歩行できる様に。(65～69 歳)
- 私は70歳まで、あと2年です。他区は、70歳になると映画の無料券や銭湯の無料券が配布されて、楽しみがある様です。中野区もあると、70歳になるのが悪くない気がします。都バスの外にも割引きがあると良いと思います。(65～69 歳)
- 病気による歩行困難の為、バス、電車の乗降車が難しい為、タクシーを利用することが多い。現在、区の福祉タクシー券を利用させて頂いているが、リハビリに通う回数には少ない為、配布数を増やして頂きたい。(70～74 歳)
- 独居老人なので、できれば行政であまり費用のかからない方法で、生きているうちに、亡くなった時の全ての事がお願いできるシステムが中野区にもできたら嬉しく思っております。(75～79 歳)
- 今はまだ1人でできますが、何時何とき体調が悪くなるやも知れません。その様な時には助けて頂きたく願います。(80～84 歳)

- 補聴器をつけて電話で申込みをしても、聴きにくい時がありましたので代わりに電話を掛けて下さる人があればなあと、コロナ予防接種申込みの時に思いました。(85～89 歳)
- パソコン、スマホになつけない、お力ぞえを。(90～94 歳)

情報提供・広報について 24 件

- もっとわかりやすく教えてもらいたい。又、利用しやすく教えてもらいたいです。地域の活動もわかりにくいので、教えてもらいたいです。(70～74 歳)
- 時々講座を受けるのですが、その時に色々な情報を知ることができます。とても良いことや、ためになる情報を教えてもらえます。多分講座に出てる人は良いのですが、来れない方には知ることができません。なるべく平等に情報が伝わるようにしてほしいです。友人、知人の交流に電話が多くなりました(別件です)。(75～79 歳)
- 今は夫婦揃っているのも助け合い同居している娘の助けもあり生活しているが、今後、行政の助けが必要になってくると思います。利用の仕方などわかりやすく情報が入ってくると、目にできる良いと思う。(85～89 歳)

地域活動・コミュニティについて 20 件

- 体操をさせる高齢者会館が多いが、できれば遊びを取り入れた、バルーンアートや、手品や茶道・花道と工芸や絵など、自身の趣味が広がるような活動が多くあると楽しいと思う。また、高齢者だけで利用するのではなく幅広い年齢が同時に学習して互いに刺激し合う環境が良いと思う。昔は、それが当たり前であり、子どもは祖父・祖母から遊び方を代々学んでいた。(65～69 歳)
- 地域において、老人も含めて気軽に参加できるコミュニティがもっとあれば良いと思う。人と交流することが、認知症を遅らせることになると思います。(65～69 歳)
- 高齢の一人世帯が増えて来ると思うが、地域住民の色々なグループ活動を活発にすることが、大きな支えや助けにつながると思います。心や体の健康にもつながると思うので、そのような窓口を気軽に利用できるようにしてほしい。(65～69 歳)
- 何かやりたいけれど、気持ちが動かない、でも気軽に参加できるものがあれば参加したい。私もこのままではおちぶれていくばかりだと思っています。多少失敗してもいいから参加できるものがないです。(65～69 歳)
- 現在(夫)が脳出血(H14 後遺症)やいろいろの病気があり時々通院してます(私が手助け)が皆さん病院の方(警察 HP)(地元の医院等)も親切でありがたく思ってます。又、介護にもお世話になってますがその方々にも寄り添ってもらってます。地域の方も声がけてくれます。又、役所の方々も親切に対応して頂き、安心できます。(75～79 歳)
- 現在、主人(86 歳)がアルツハイマー認知症で4年目をすごして居ります。先日家族で行ける認知症のカフェに行ったのですが、狭い事務所に大勢で座る事も大変でした。廃校になった小学校もあるので、もっとゆったりと過ごせる場所で集まることができたらいいのと思います。(80～84 歳)

将来の不安について 19 件

- 一人暮らしなので、自宅で急に倒れた時が心配。(65～69 歳)
- 年老いると、当り前にできていたことが、できなくなったり、病気も増える、その状況になると、同居家族に色々な面で負担がかかってしまう。年老いることに不安がなく、安心して生活できるような世の中になってほしいです(65～69 歳)
- 現在コロナの影響で、同窓会、音楽会等、多人数で集まる機会が中止されていて、友人との会合ができない。いつまでコロナが続くのか心配して居る。(80～84 歳)
- 私は主人が介護施設に入っておりますので、もし1人になったらちょっと心配です。(80～84 歳)

健康福祉の相談窓口について 15件

- 来年度から年金のみの生活となりますので、健康でいる間はボランティア等地域活動にチャレンジしてみようと思います。ただ、どこに相談すれば良いのか良く分かりません。(65～69歳)
- 気軽にできるフリーダイヤルの様なものがあると便利かなと思います。介護保険サービス窓口とか内容をあまり限定せず気軽にできると話しやすいかな。(65～69歳)
- 健康福祉に関する「何でも相談できる」窓口を1コ設置してほしい。(75～79歳)

区健康福祉サービスについて 12件

- もっと健康福祉が充実しているとよい。(65～69歳)
- 高齢者社会(世代)がますます多くなるので、医療・介護等分かりやすく、相談しやすい場がより多くなることを望みます。地方の高齢化が進む地域に母がいますが、都会では目の届かないところまでケアをしてもらっています。そのようなサービスが受けられればと思います。(65～69歳)
- 今は元気ですが、サポートが必要になった時、安心して受けられたらいいなあと思います。どんな時も人を大事にする社会であってほしいです。(70～74歳)
- 区民健診は大変よい。続けてほしい。思ってもいなかった病気が見つかる。(80～84歳)

訪問や見守りについて 7件

- 高齢者だけの世帯や単身世帯で、近くにバックアップをしてくれる人がいない人たちに対して、区としての見守りのような体制を整えてほしい。最近、突発入院することになり、一人暮らしですぐ近くに友人や家族がいないことで、色々考えさせられた。(65～69歳)
- 2年前から社協の「あんしんサポート」に加入させていただいていたので、今年になり介護が必要になった時には、わりとスムーズに申請などお願いすることができました。やはり、元気な時から少しずつ準備することが大切だと実感しています。(70～74歳)

住まい・住宅の整備について 5件

- 高齢になっても住み続けることのできる中野区にして下さい。住居面に不安を感じます。(65～69歳)
- 高齢者が年金だけでも入所できる公的施設が欲しい。(80～84歳)

経済的な生活の不安について 4件

- 年金生命で将来が不安。(70～74歳)
- 生活支援してほしいが、1割の支出金がないので、頼みたくてもたのめない。家の中は掃除などしていない。1割の支払金がないので頼めない。無料にしてほしい。(85～89歳)

本調査について 36件

- こうしたアンケートをいただいて、中野区の福祉行政について理解を深めようという気持ちになりました。ありがとうございました。(65～69歳)
- こういった調査をもっとたくさんの人に、もっと回数を多く実施してほしい。回答しながら、現在の自分の状況を認識し、弱点などが見えてきました。そこを改善していくきっかけになると思います。(65～69歳)
- 老いることはどういうことか、少し理解しはじめたところです。具体的な希望は、これから出てくるかと思います。このようなアンケートで、ニーズをひろってくださろうとする姿勢に感謝です。(70～74歳)
- 2択では判断しづらい部分があります。(75～79歳)

- まわりに気軽に話す人がひとりもいなくて少し不安だったが、このアンケートで電話かけれる場所が分り心強く感じた。(75～79 歳)
- 質問数が多く、疲れしました。今後共、どうぞよろしく願い申し上げます。(80～84 歳)
- アンケートはもう少し分かり易い文章にしてください。問 34、例えば、できるししている、できるけどしていない等は、ややこしい文章と思います。(80～84 歳)

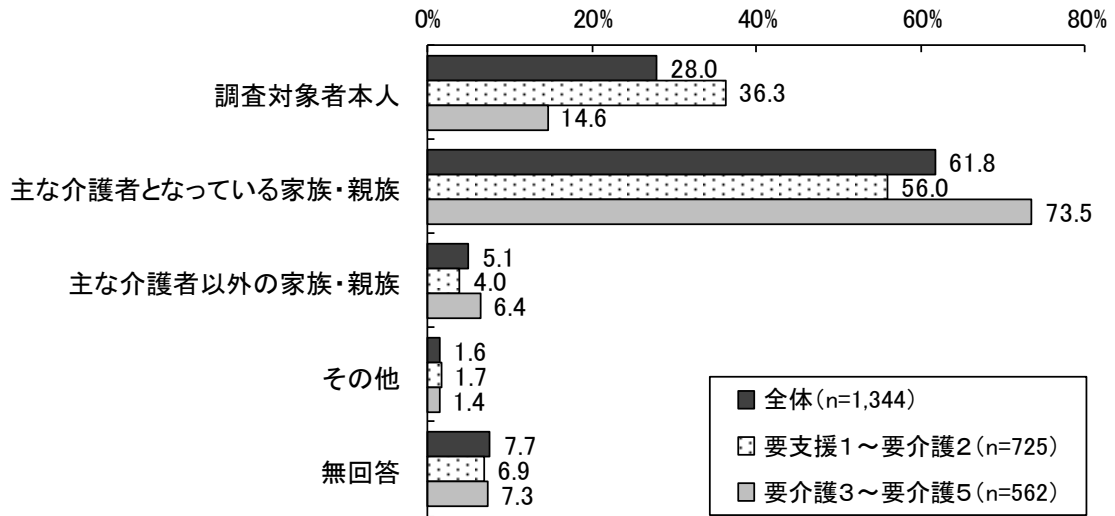
その他 65 件

- いつまで元気でいられるか、わかりません。何かあった時、どの様にお世話になっていくのか、知らなければならないと常々思っていますが、なかなか想像がつきません。(65～69 歳)
- 街の道路を歩いていて感じるのですが、老人が少し休める所があるといいと思っています。バス停の所や街の所々にベンチ等あると、休み乍ら歩く方々にとってはほっとします。外国の街には良く見かけます。緑が多いのは助かります。(75～79 歳)
- 現在、要支援でなくても、80 歳位になれば、何らかの支援が必要だと思います。同居の家族がいても手助けをしないできない家庭もあると、日常の生活が大変です。(75～79 歳)
- 高齢社会、自分の生活を大事にしながら介護する人、される人、介護づかれにならないような老後を念じます（義母の介護経験から）。(80～84 歳)
- 今年 10 月に主人が死亡した為、1 人暮らしとなりました。近くに息子夫婦と孫が住んでいるので、心強いです。これから健康福祉にお世話になると思うので、自分なりに調べて行きたいと思います。(80～84 歳)

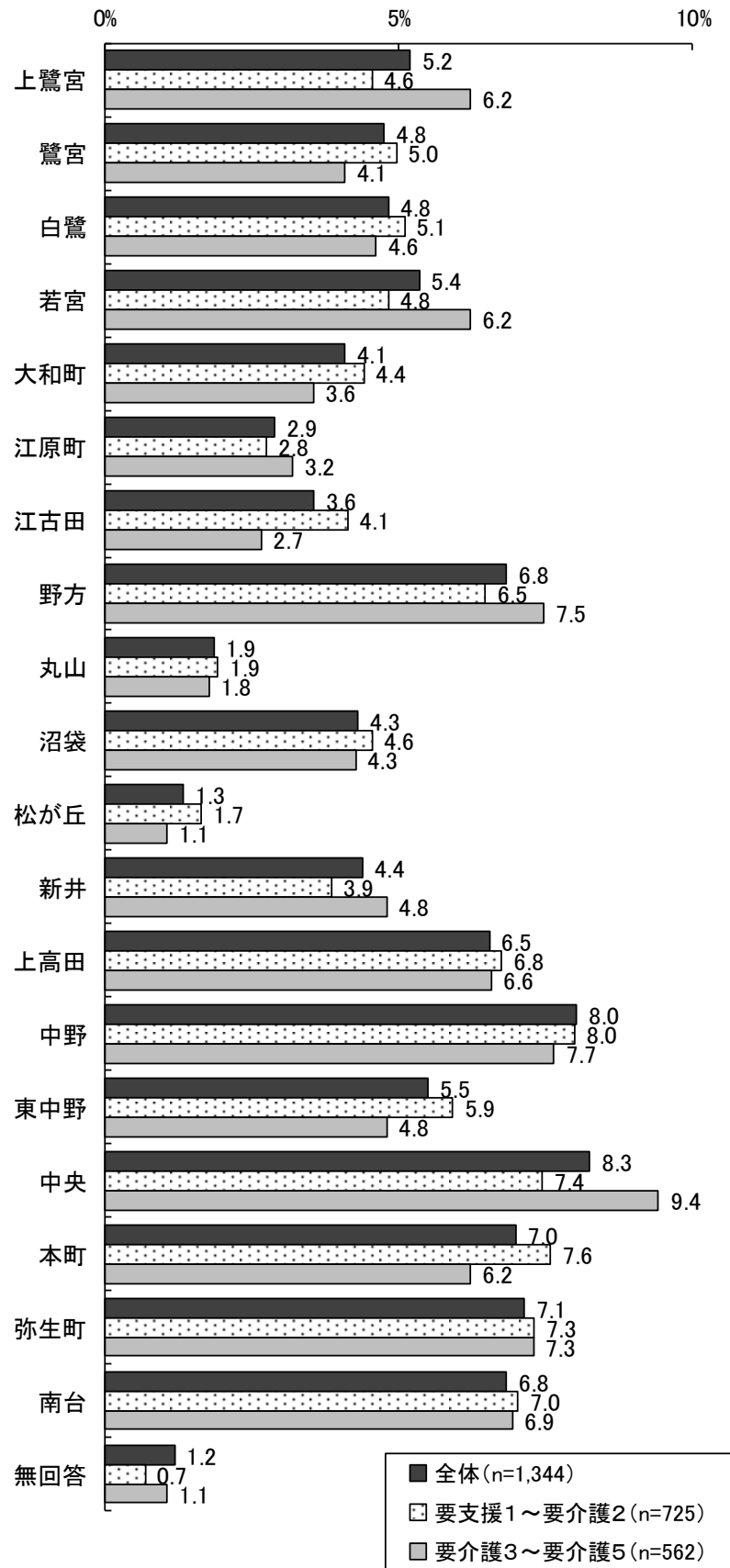
介護サービス利用調査

1. 要支援・要介護認定者本人について

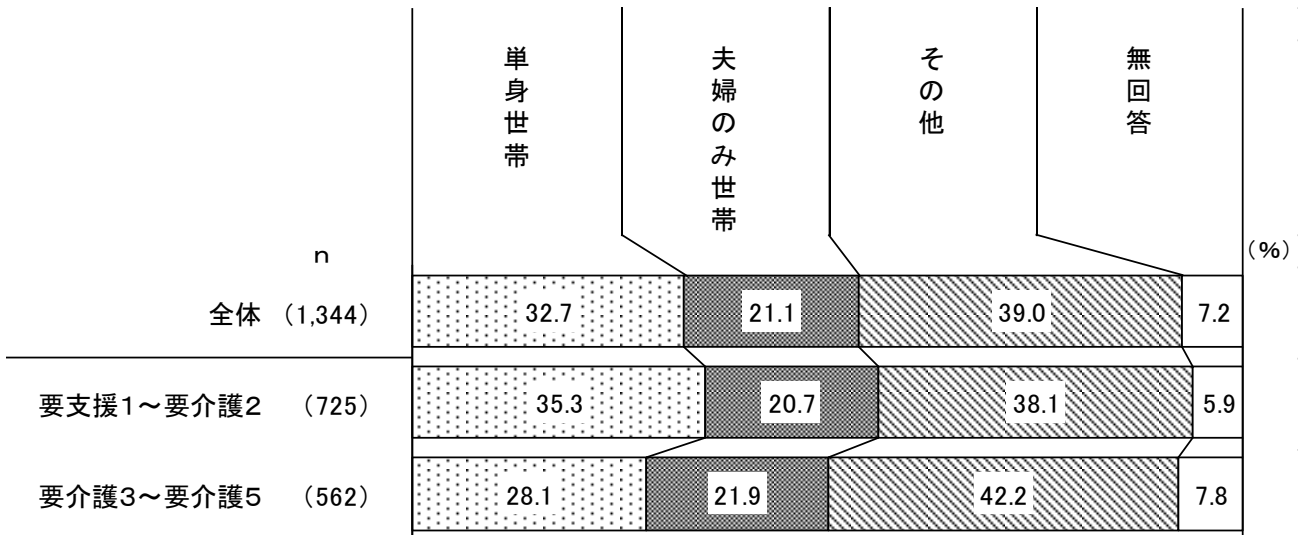
1.1. アンケートの回答者



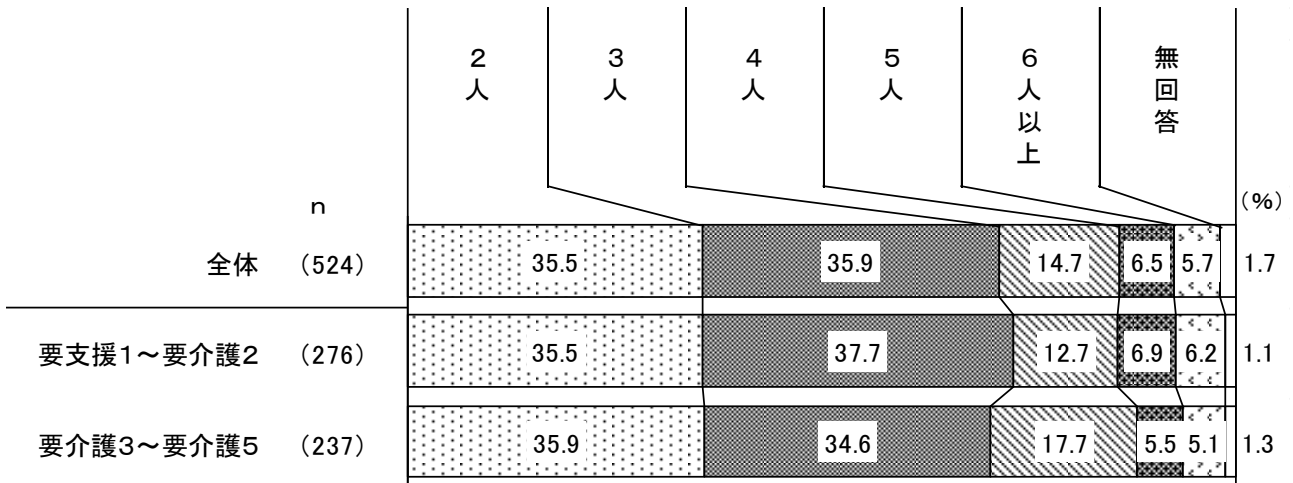
1.2. 居住地域



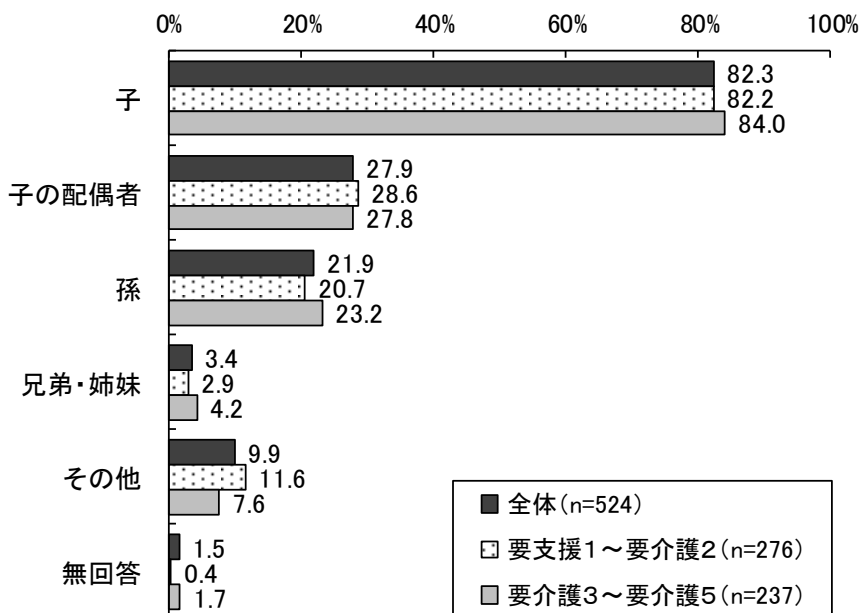
1.3. 家族構成



1.3.1. 家族の人数 (※「1.3. 家族構成」において、「その他」とお答えの方)

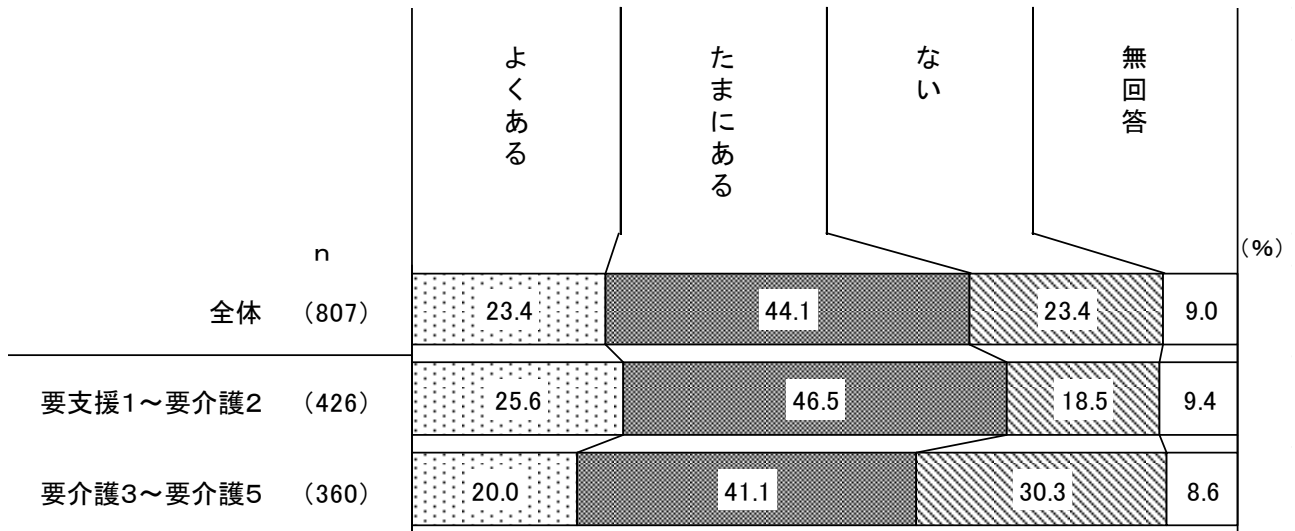


1.3.2. 同居家族の内訳 (※「1.3. 家族構成」において、「その他」とお答えの方)



1.3.3. 日中、ひとりになることの有無

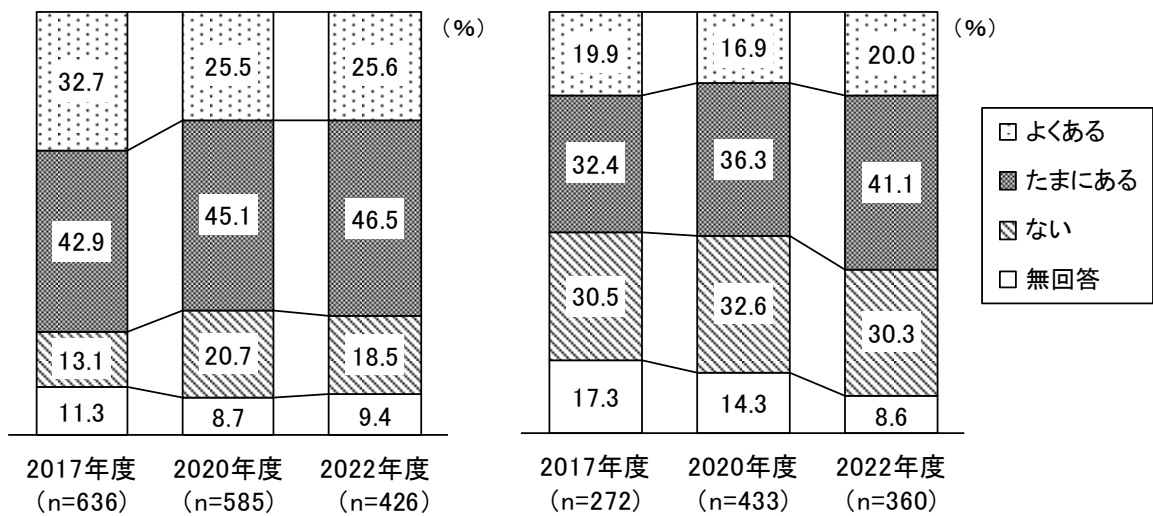
(※「1.3. 家族構成」において、「夫婦のみ世帯」または「その他」とお答えの方)



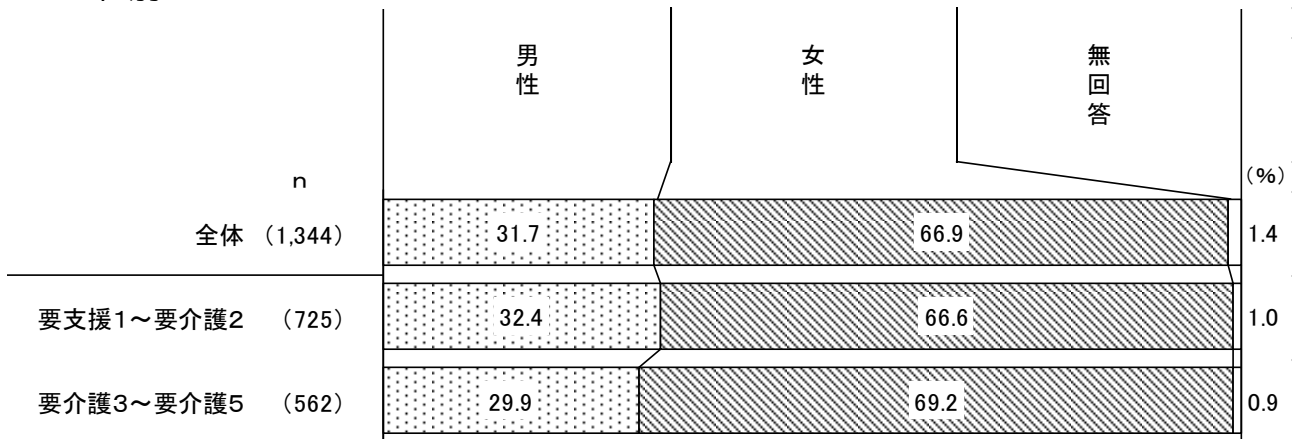
【経年比較】日中、ひとりになることの有無

【要支援1～要介護2】

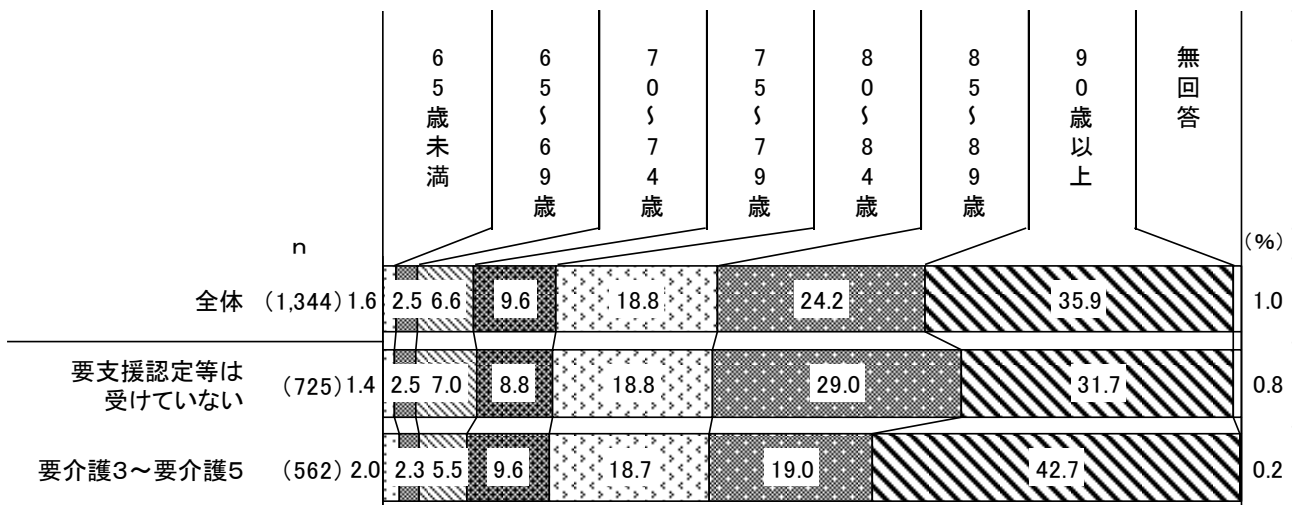
【要介護3～要介護5】



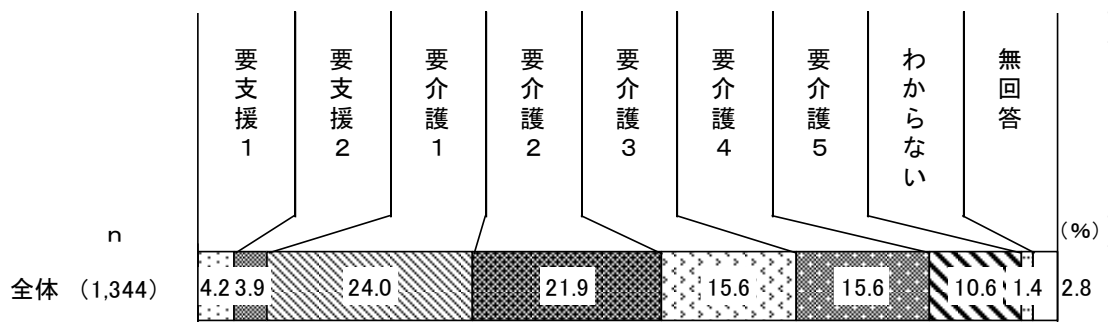
1.4. 性別



1.5. 年齢

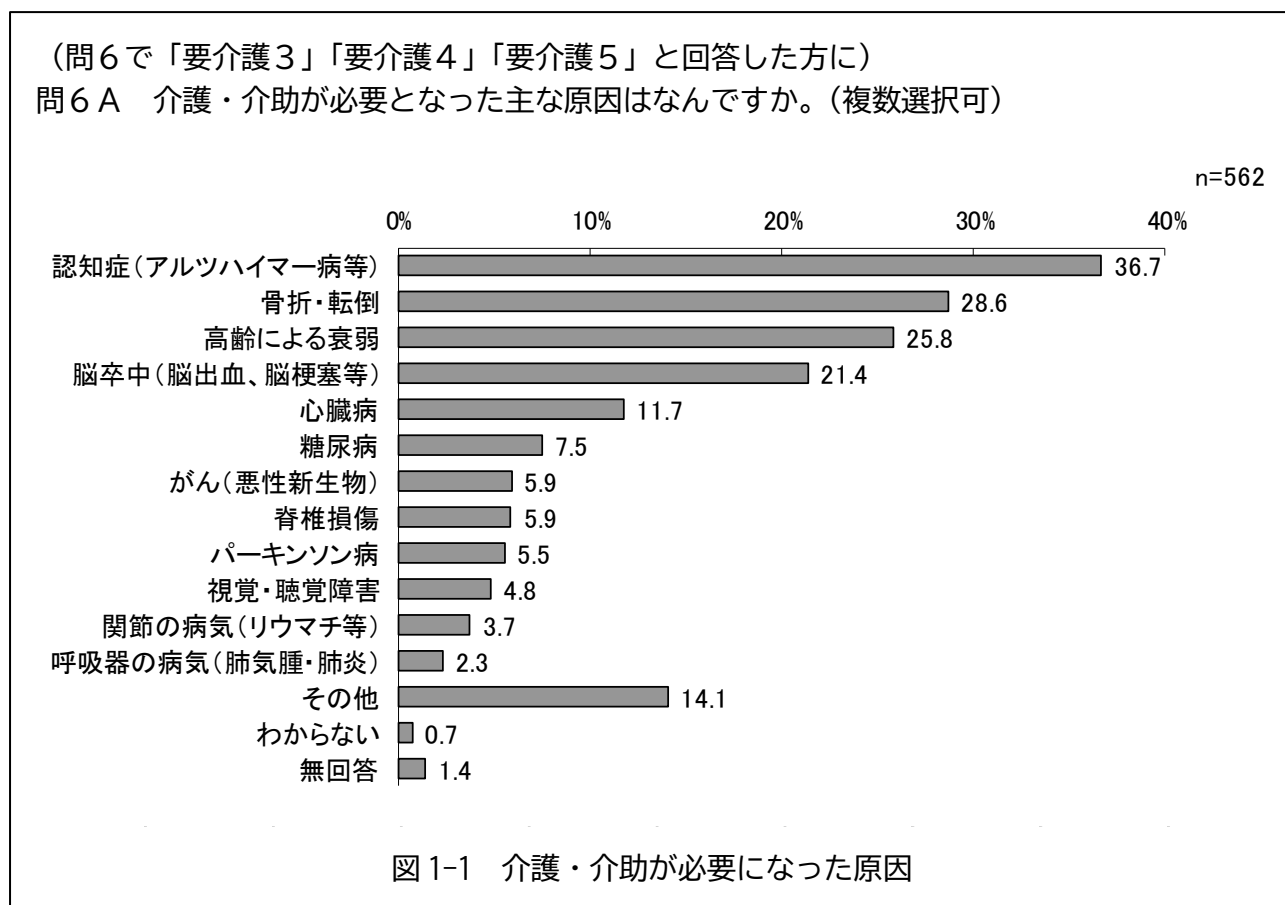


1.6. 要介護度



1.6.1. 介護・介助が必要になった原因

◆ 「認知症（アルツハイマー病等）」が3割台半ば



全体では、「認知症（アルツハイマー病等）」が3割台半ばで最も高くなっている。

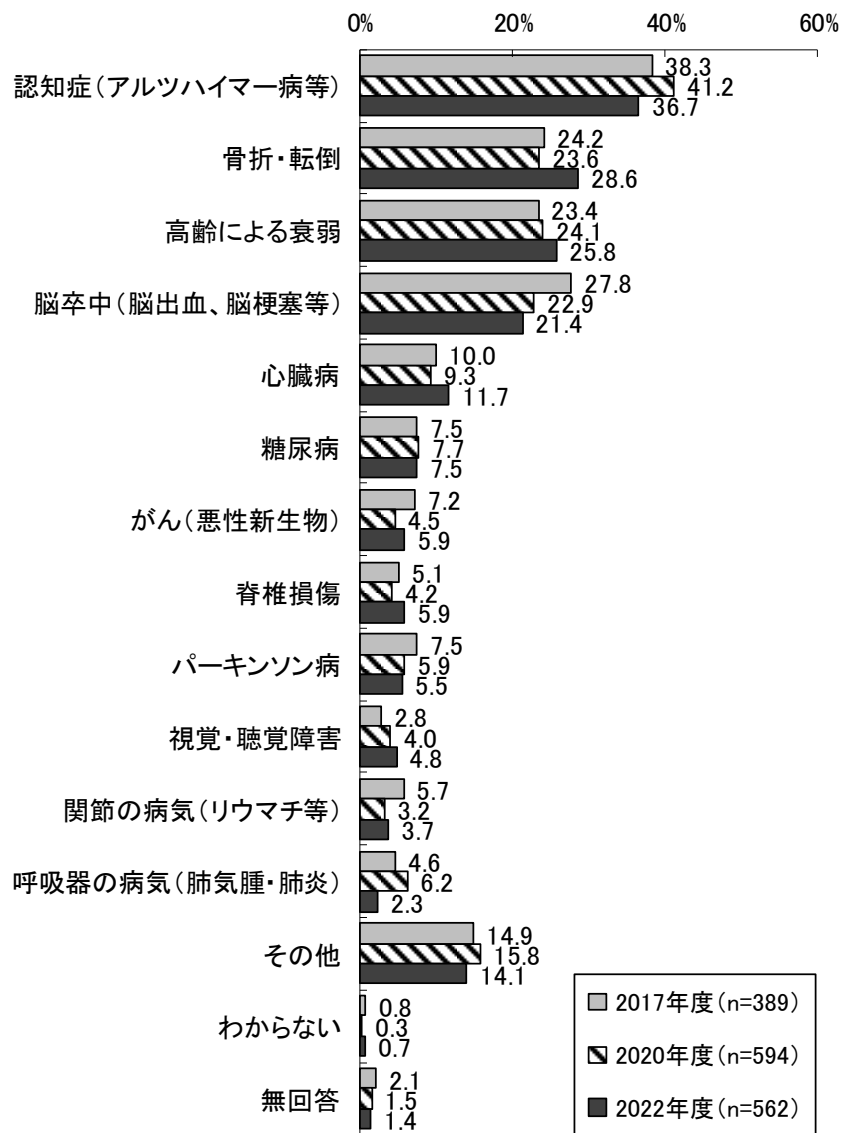
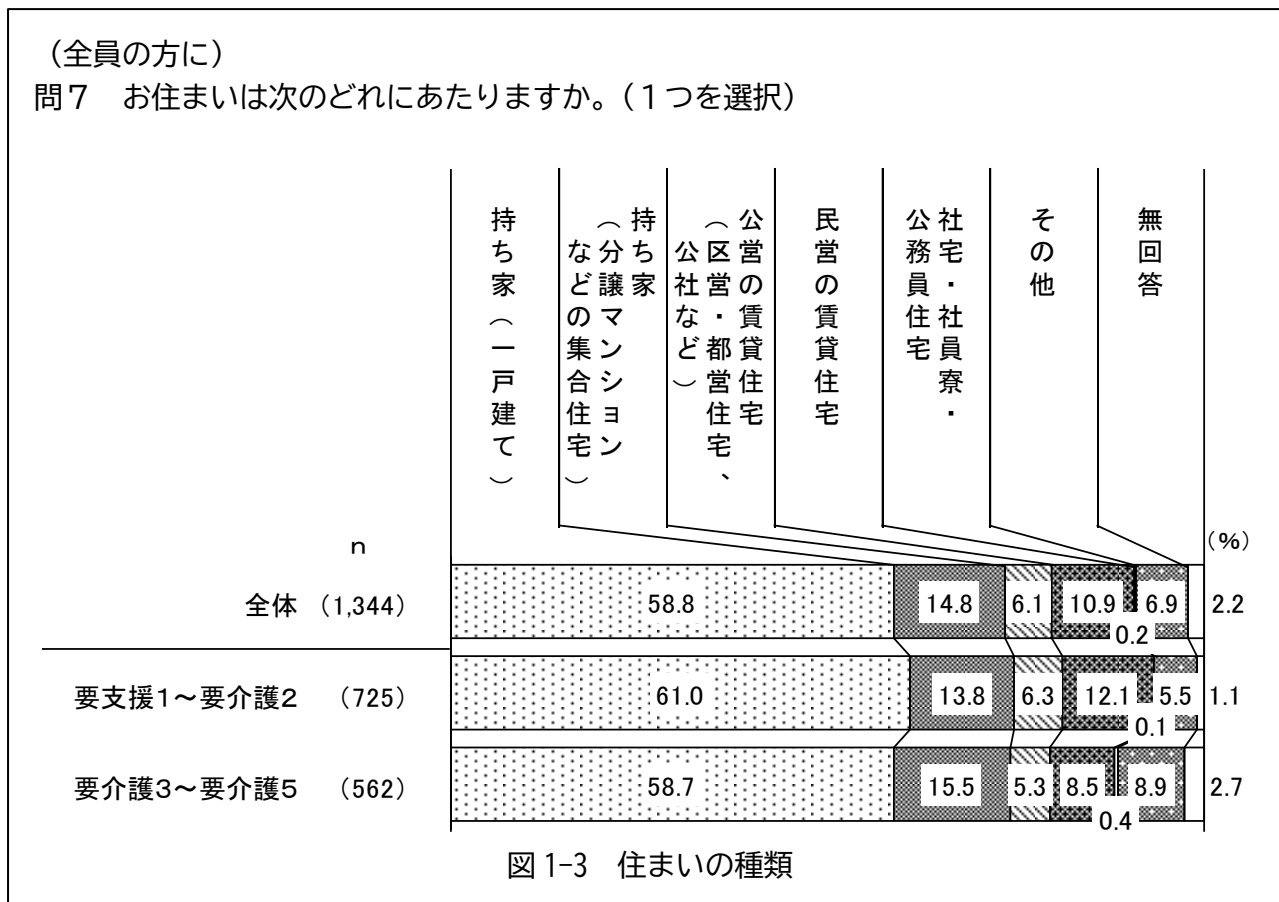


図 1-2 【経年比較】介護・介助が必要になった原因

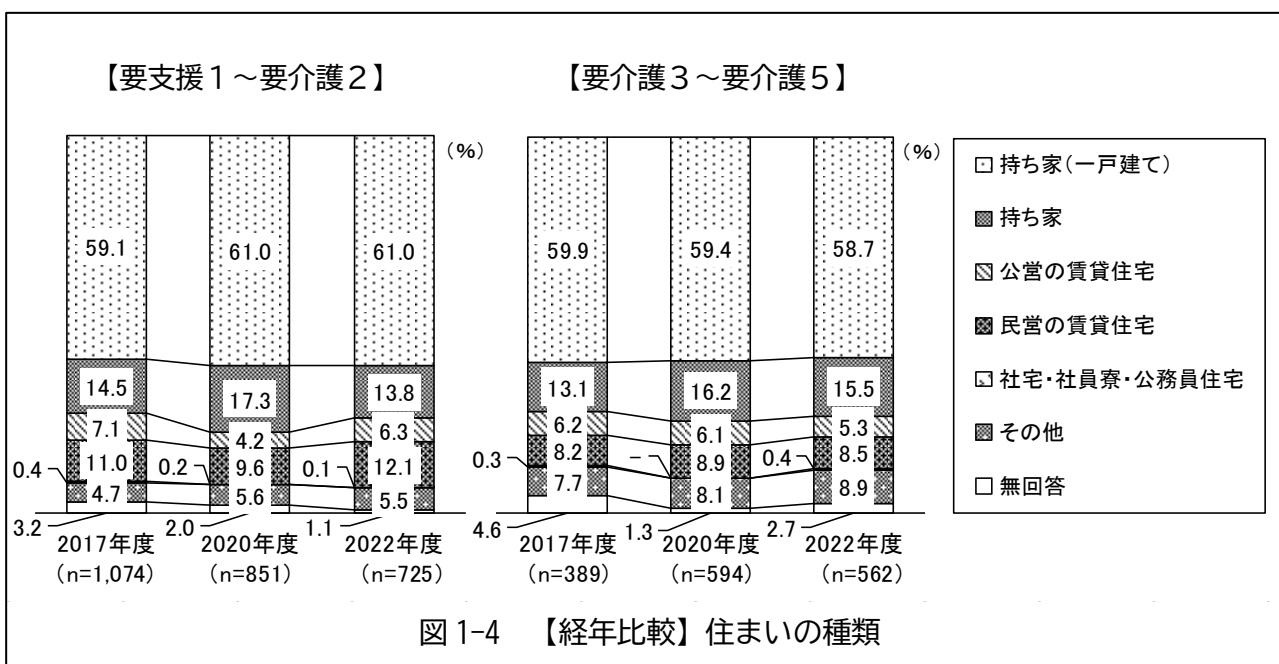
経年比較では、2020年度と比べて「認知症(アルツハイマー病等)」は4.5ポイント減少し、一方、「骨折・転倒」は5.0ポイント増加している。

1.7. 住まいの種類

◆ 「持ち家（一戸建て）」が5割台後半



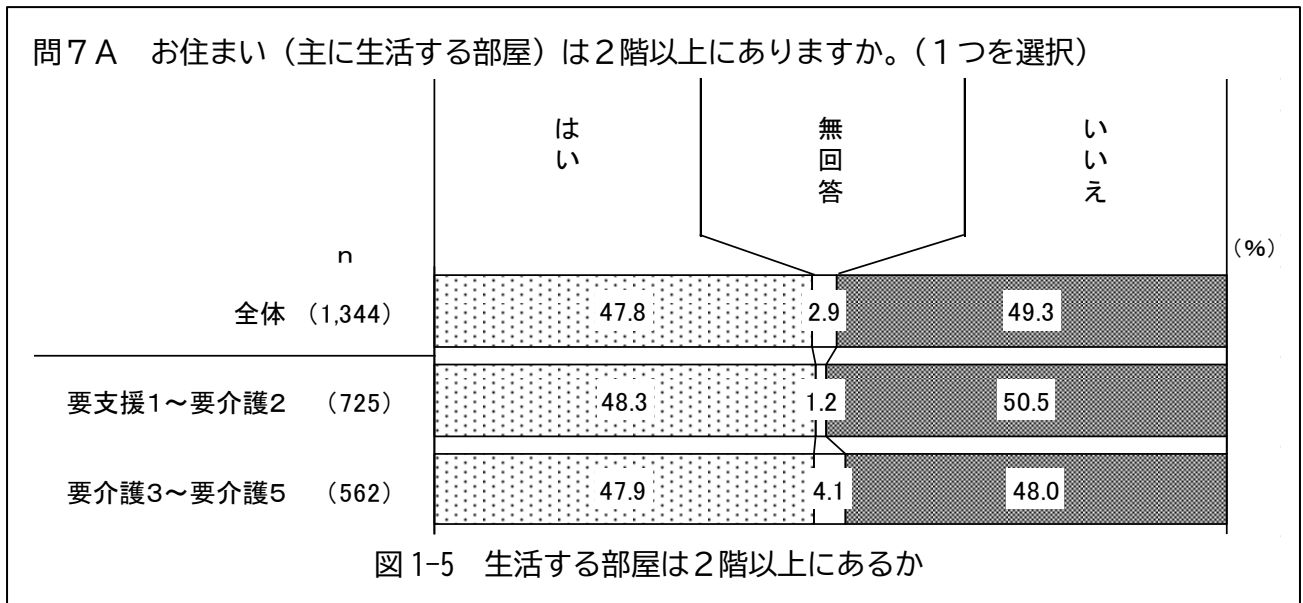
全体では、「持ち家（一戸建て）」が5割台後半を占めている。
要介護度では、大きな差異はみられない。



経年比較では、大きな差異はみられない。

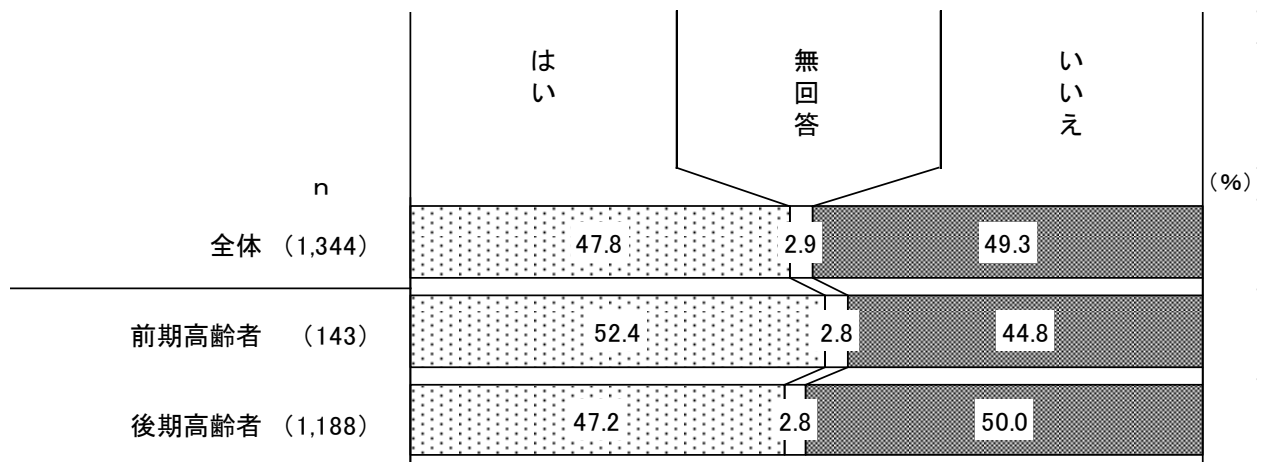
1.7.1. 生活する部屋は2階以上にあるか

◆ 「いいえ」が約5割



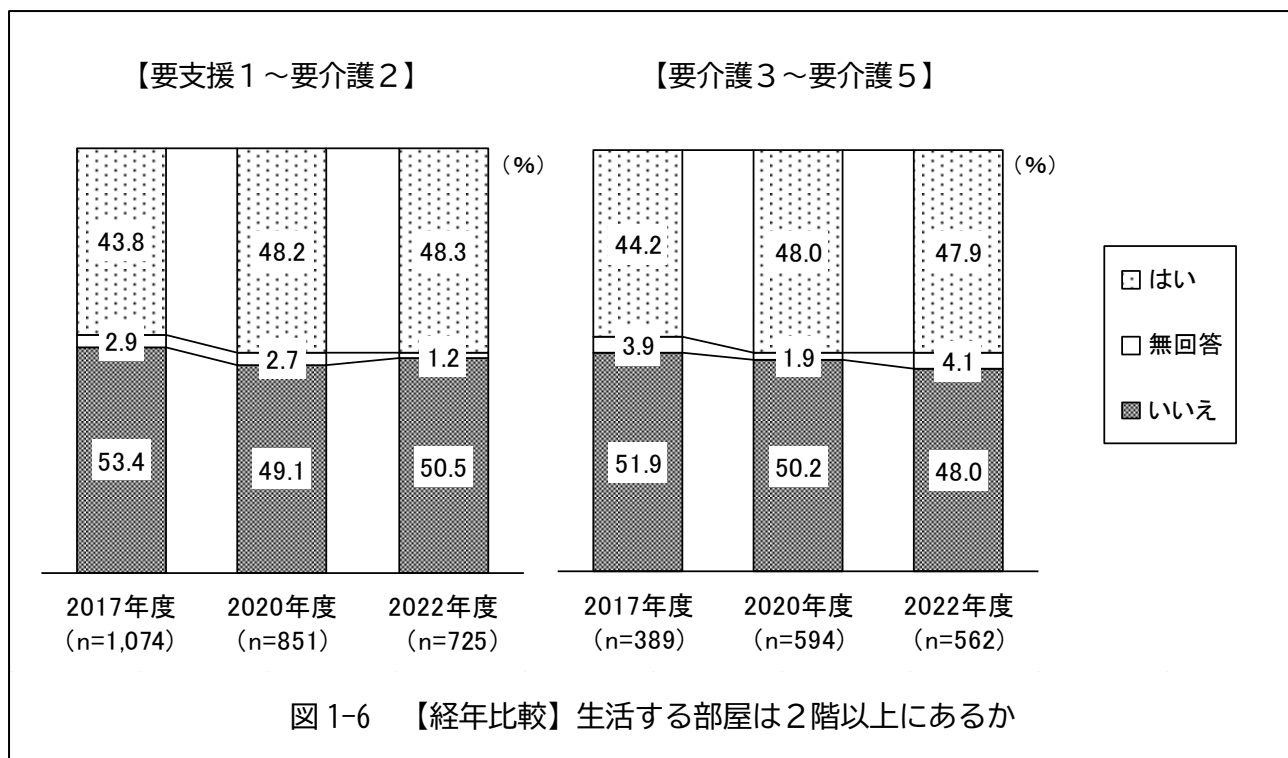
全体では、「いいえ」が約5割で「はい」をわずかに上回っている。
要介護度別では、大きな差異はみられない。

【前期・後期高齢者別】生活する部屋は2階以上にあるか



※65歳以上75歳未満の方を前期高齢者、75歳以上の方を後期高齢者に区分する。

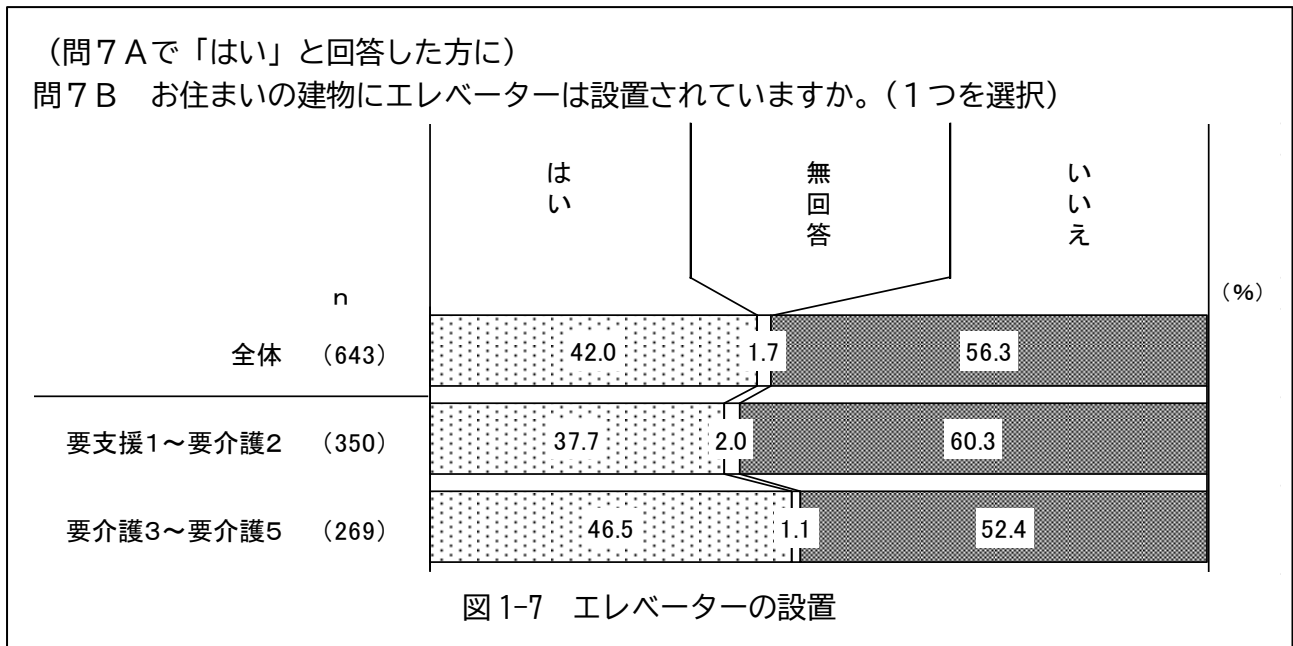
前期・後期高齢者別では、前期高齢者において「はい」が5割台前半を占めている。



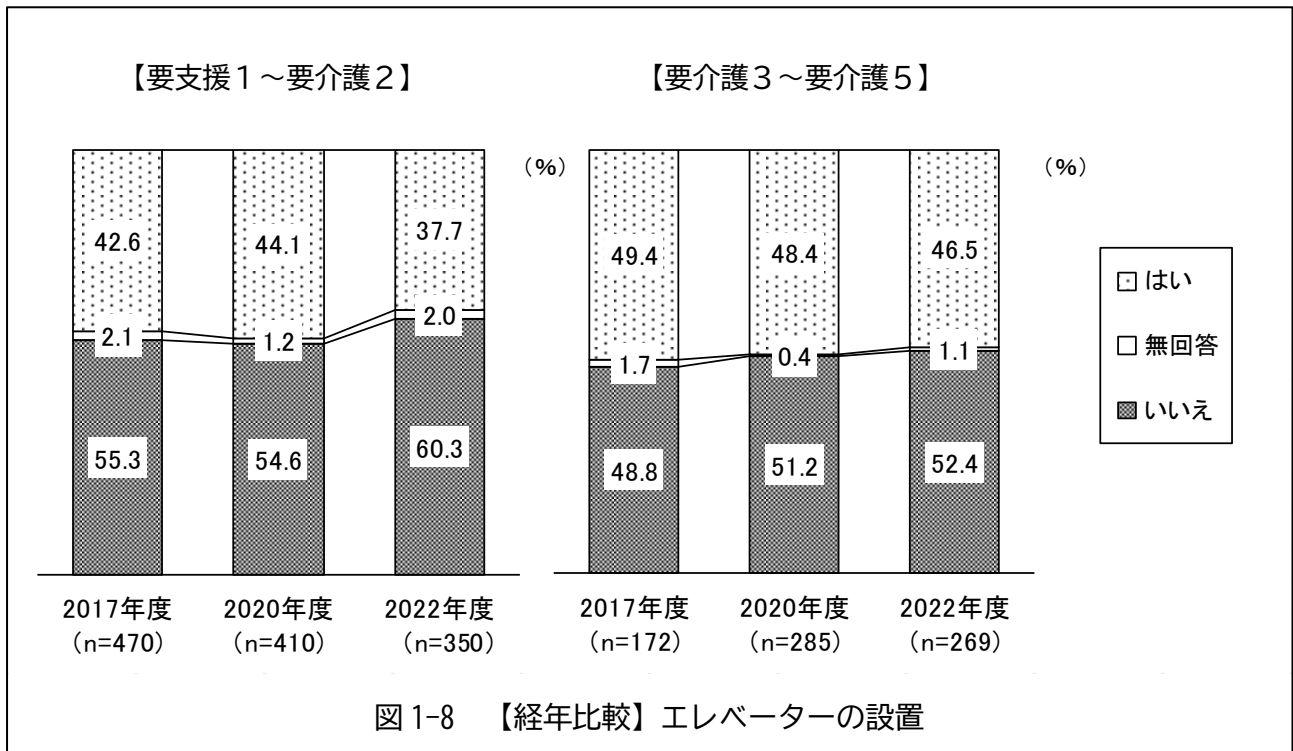
経年比較では、大きな差異はみられない。

1.7.2. エレベーターの設置

◆ 「はい」が4割台前半



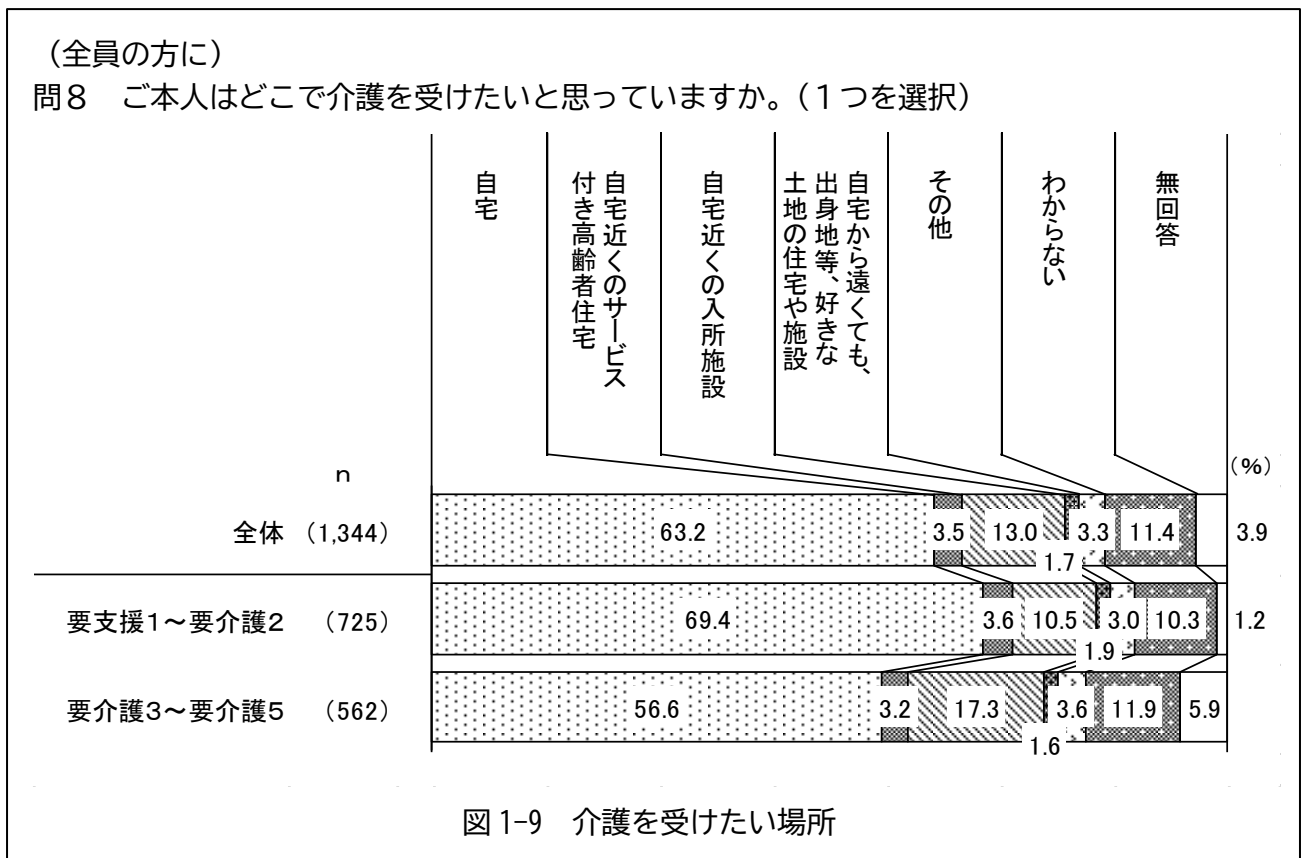
全体では、「いいえ」が5割台半ばを占めている。
要介護度別では、要介護3～要介護5で「はい」が高くなっている。



経年比較では、2020年度と比べて、いずれも「はい」が減少している。

1.8. 介護を受けたい場所

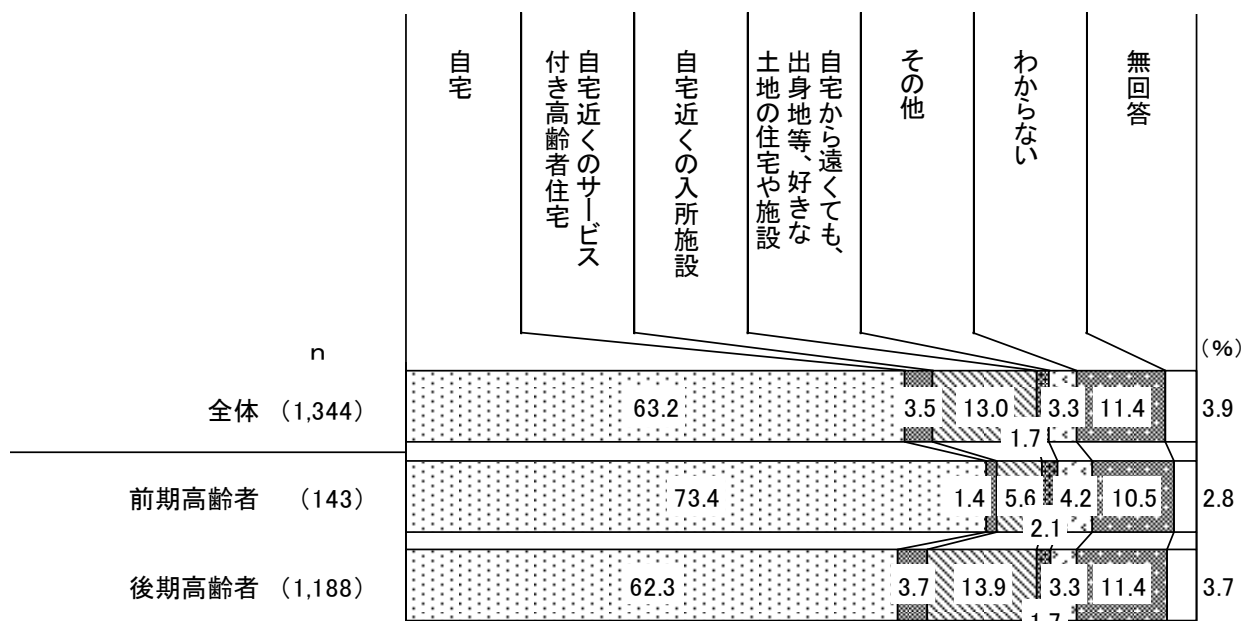
◆ 「自宅」が6割台前半



全体では、「自宅」が6割台前半を占めている。

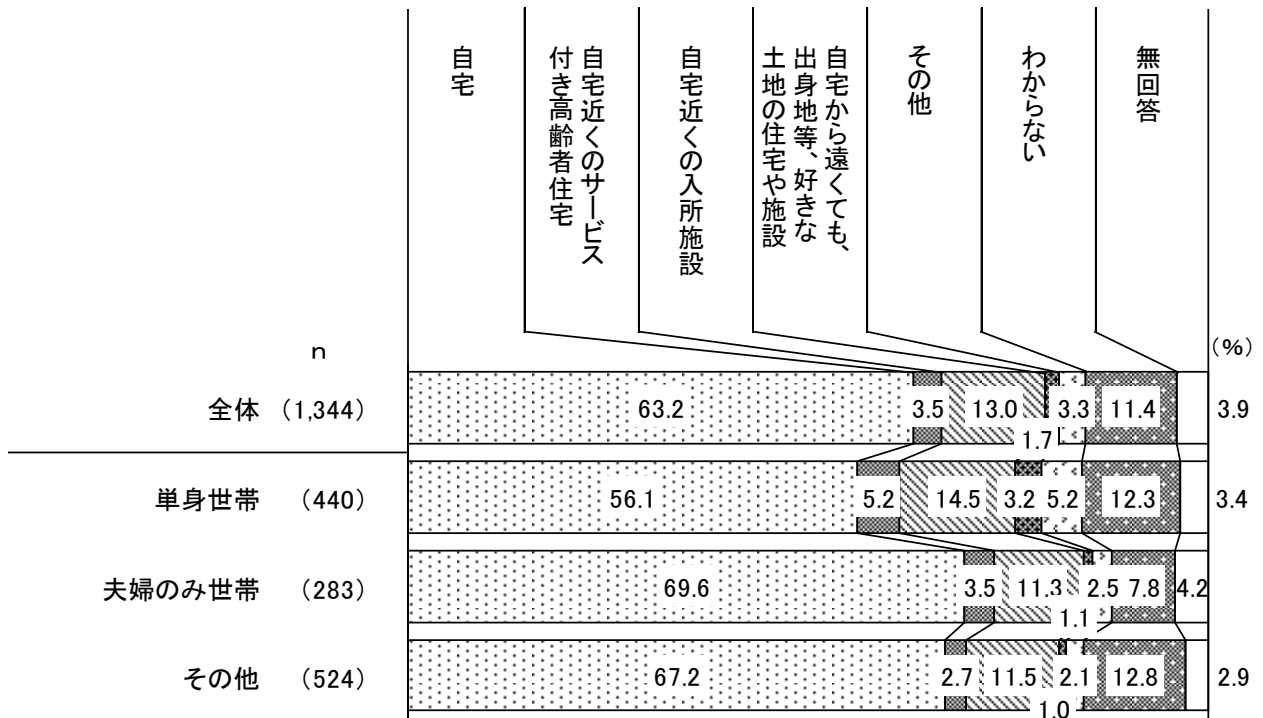
要介護度別では、要支援1～要介護2で「自宅」が約7割を占めている。

【前期・後期高齢者別】介護を受けたい場所



前期・後期高齢者別では、前期高齢者で「自宅」が7割台前半を占めている。

【家族構成別】介護を受けたい場所



家族構成別では、いずれも「自宅」が最も高く、夫婦のみ世帯では約7割を占めている。

【要介護3～要介護5】

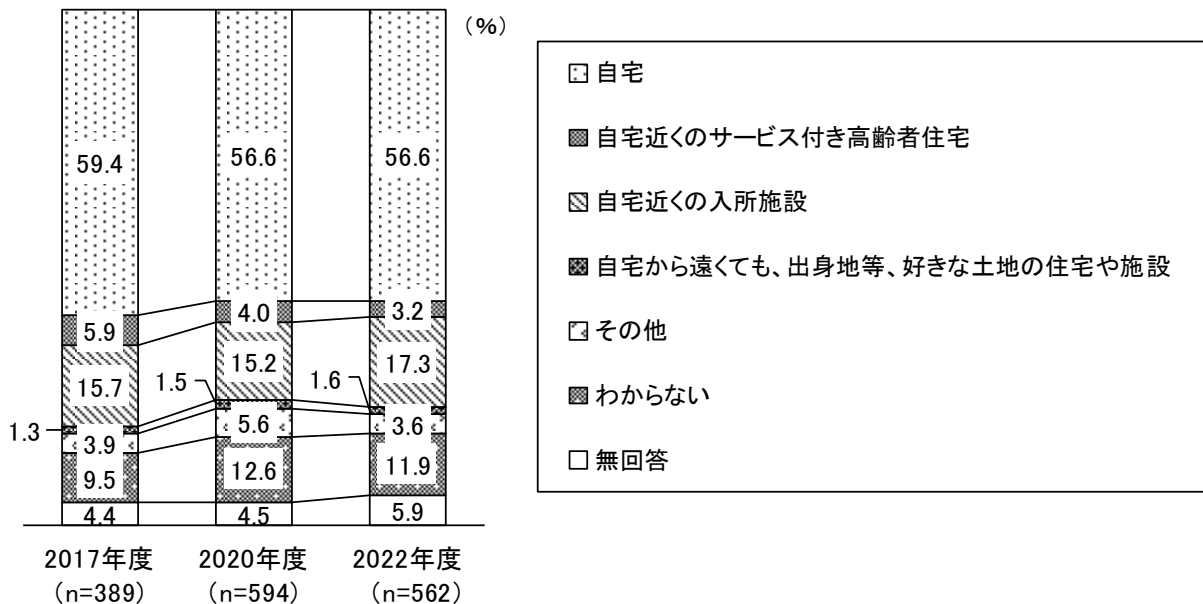
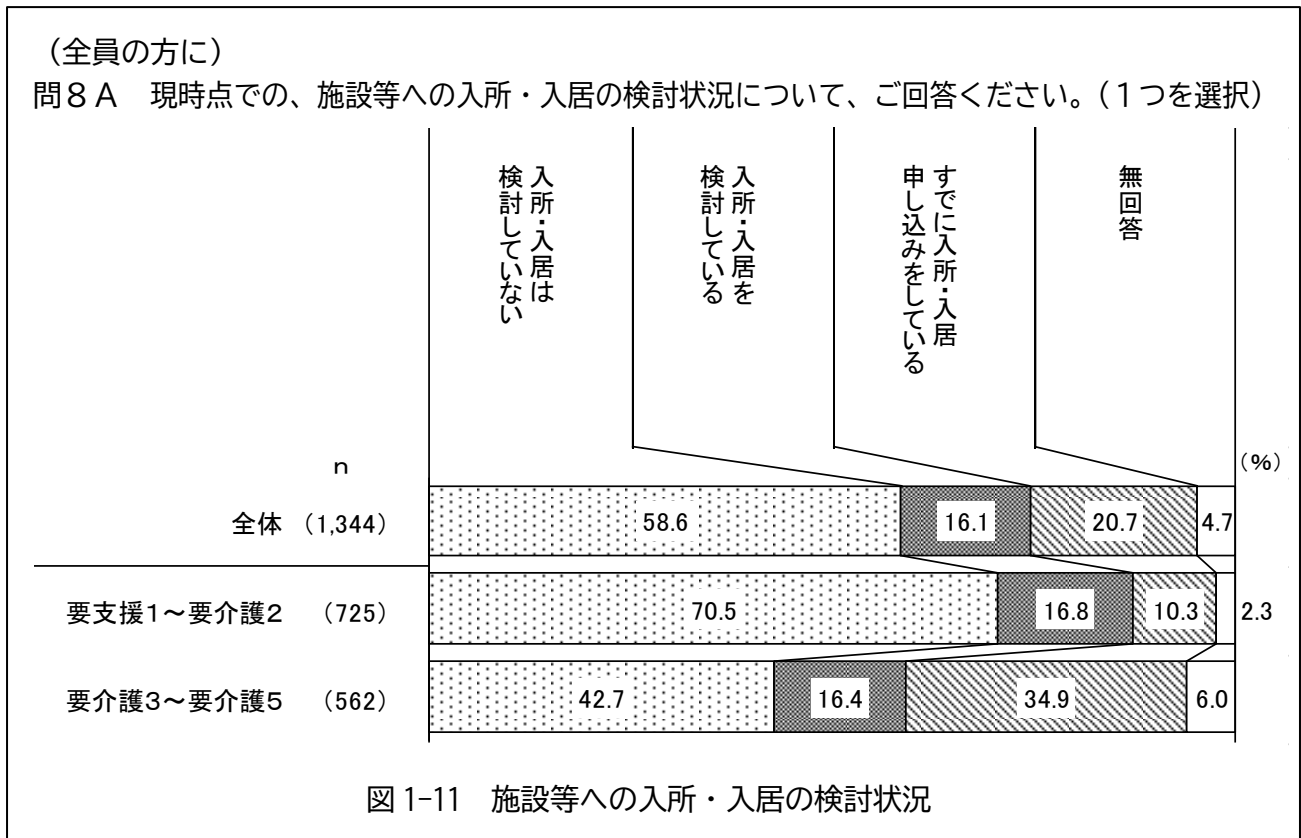


図 1-10 【経年比較】介護を受けたい場所

経年比較では、大きな差異はみられない。

1.8.1. 施設等への入所・入居の検討状況

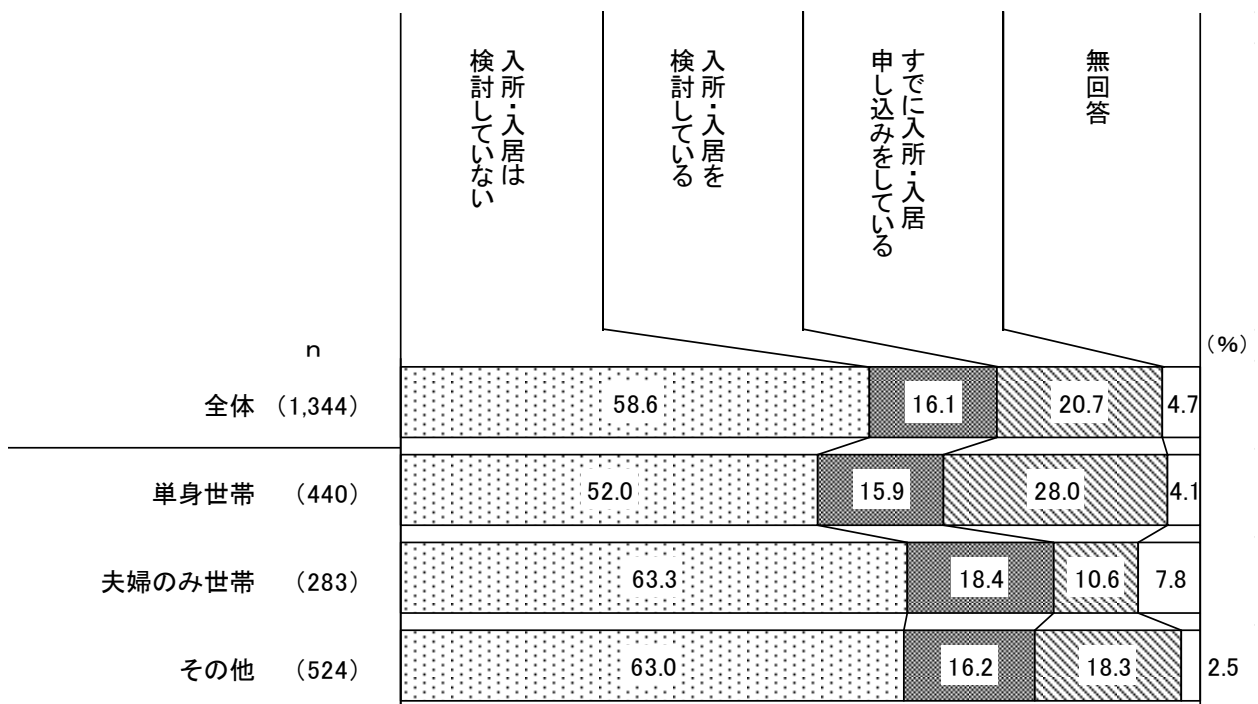
◆ 「施設等への入所・入居は検討していない」が5割台後半



全体では「入所・入居は検討していない」が5割台後半を占めている。

要介護度別では、要支援1～要介護2で「入所・入居は検討していない」が約7割を占めている。

【家族構成別】施設等への入所・入居の検討状況



家族構成別では、夫婦のみ世帯で「入所・入居は検討していない」が6割台前半となっている。

1.8.2. 施設等への入所・入居を検討した理由

◆ 「介護する家族の心身の負担が大きい」が6割台半ば

(問8Aで「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居の申し込みをしている」と回答した方に)

問8B 施設等への入所・入居を検討した理由はなんですか。(複数選択可)

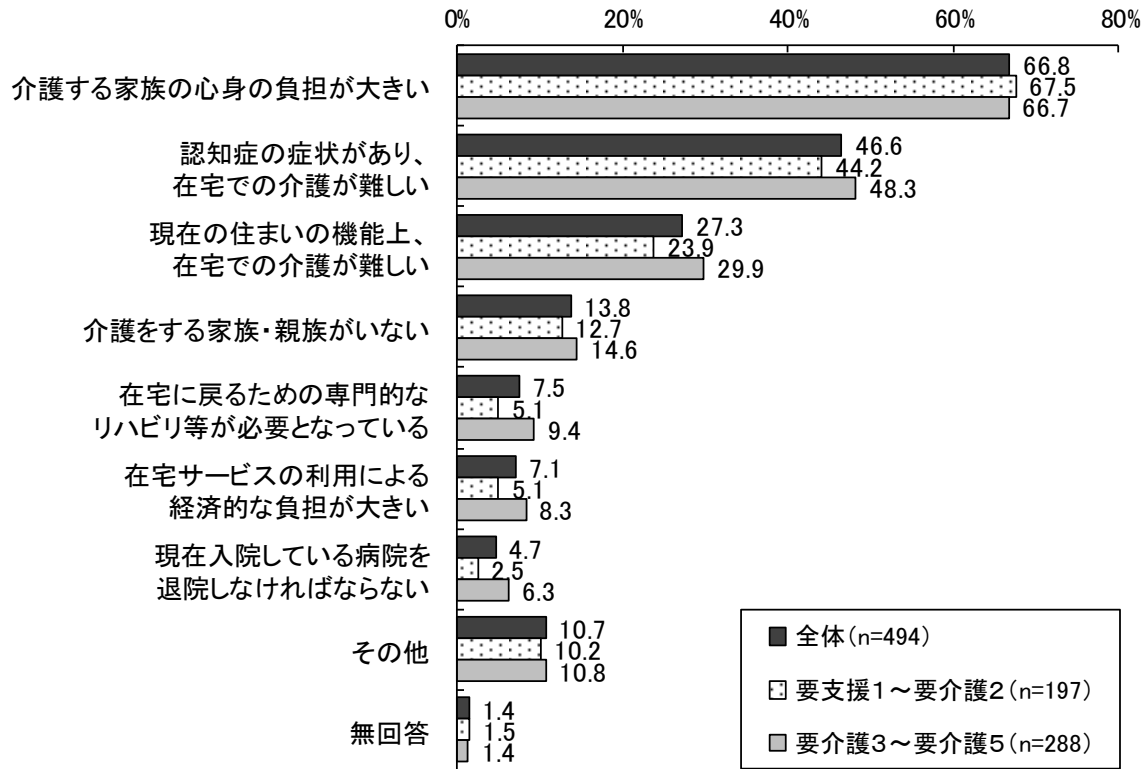
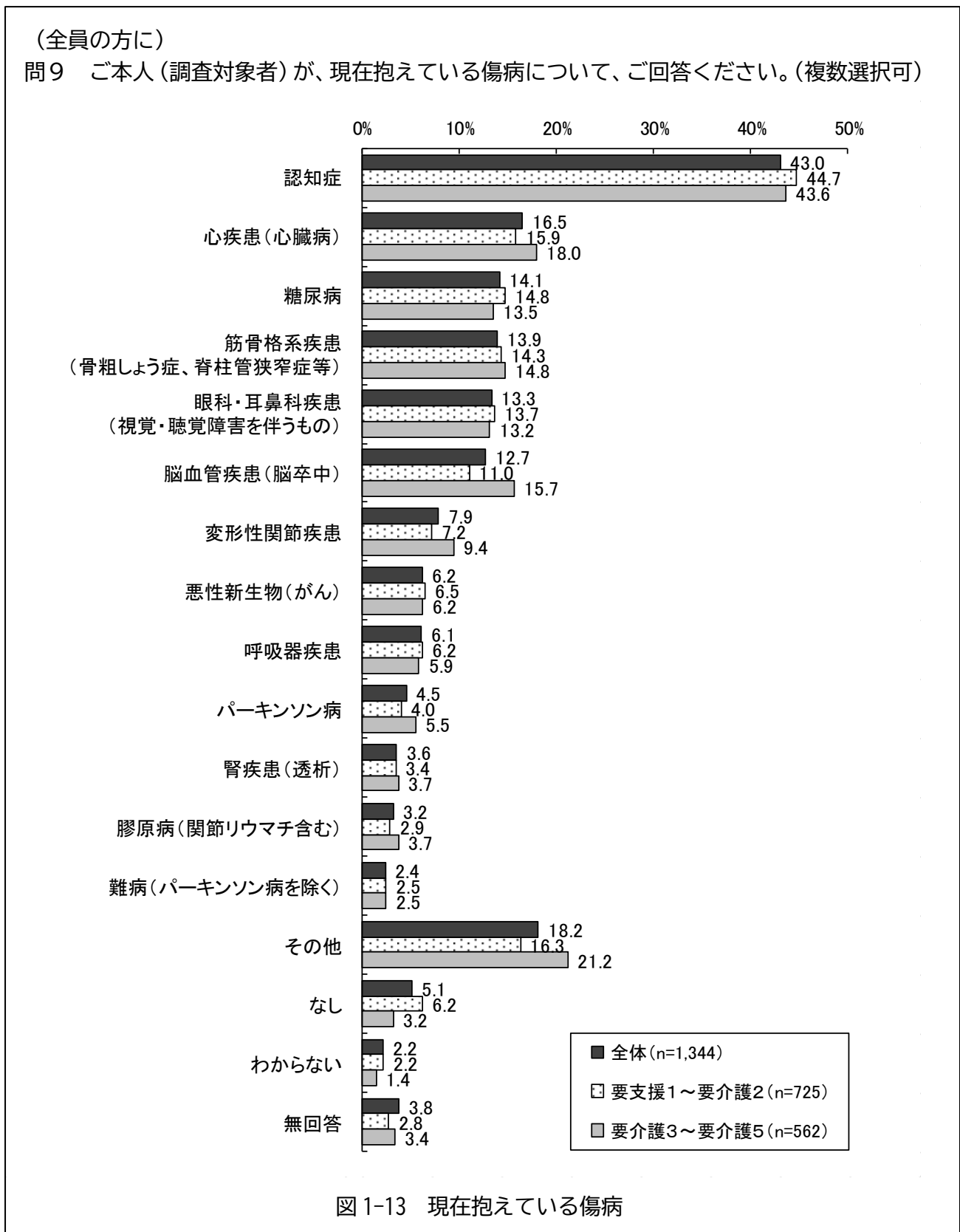


図 1-12 施設等への入所・入居を検討した理由

全体では、「介護をする家族の心身の負担が大きい」が6割台半ばを占めている。
要介護度別では、いずれも「介護をする家族の心身の負担が大きい」が最も高くなっている。

1.9. 現在抱えている傷病

◆ 「認知症」が4割台前半



全体では、「認知症」が4割台前半で最も高くなっている。

【要介護度別】現在抱えている傷病

単位：%

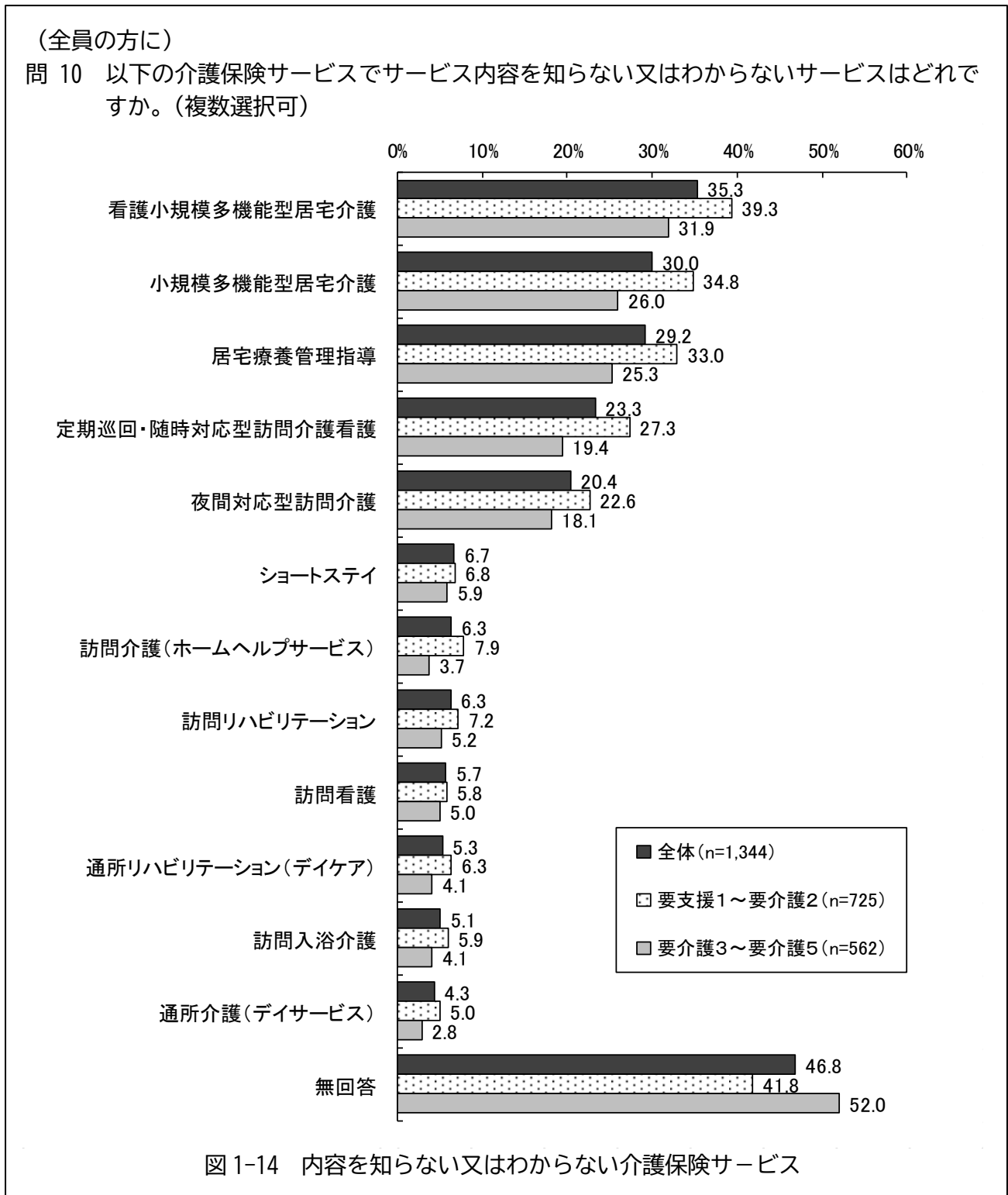
	有効回答数(件)	認知症	心疾患(心臓病)	糖尿病	筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)	眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)	脳血管疾患(脳卒中)	変形性関節疾患	悪性新生物(がん)	呼吸器疾患
全体	1,344	43.0	16.5	14.1	13.9	13.3	12.7	7.9	6.2	6.1
要支援1	57	29.8	7.0	15.8	12.3	10.5	8.8	1.8	3.5	1.8
要支援2	52	30.8	19.2	11.5	15.4	13.5	9.6	5.8	3.8	9.6
要介護1	322	55.9	16.8	15.8	12.7	15.2	9.0	7.8	6.2	5.3
要介護2	294	37.8	16.0	13.9	16.3	12.6	13.9	7.8	7.8	7.5
要介護3	210	41.4	20.0	12.9	18.1	10.5	12.9	8.1	7.1	4.8
要介護4	209	42.1	20.1	15.8	16.3	17.2	15.3	12.4	5.3	6.7
要介護5	143	49.0	11.9	11.2	7.7	11.2	20.3	7.0	6.3	6.3
わからない	19	0.0	15.8	31.6	0.0	5.3	5.3	0.0	0.0	10.5

	有効回答数(件)	パーキンソン病	腎疾患(透析)	膠原病(関節リウマチ含む)	難病(パーキンソン病を除く)	その他	なし	わからない	無回答
全体	1,344	4.5	3.6	3.2	2.4	18.2	5.1	2.2	3.8
要支援1	57	1.8	1.8	1.8	1.8	15.8	15.8	1.8	10.5
要支援2	52	1.9	9.6	5.8	0.0	11.5	3.8	3.8	3.8
要介護1	322	3.7	2.2	2.8	2.2	15.5	7.1	2.5	2.2
要介護2	294	5.1	4.1	2.7	3.4	18.0	3.7	1.7	1.7
要介護3	210	3.8	2.9	3.8	1.9	20.0	3.3	1.9	3.3
要介護4	209	5.7	4.8	5.3	1.4	21.1	2.9	1.4	3.8
要介護5	143	7.7	3.5	1.4	4.9	23.1	3.5	0.7	2.8
わからない	19	0.0	0.0	0.0	0.0	15.8	15.8	21.1	5.3

要介護度別では、要支援1～要介護5まで、いずれも「認知症」が最も高くなっている。

1.10. 内容を知らない又はわからない介護保険サービス

◆ 「看護小規模多機能型居宅介護」が3割台半ば



全体では、「看護小規模多機能型居宅介護」が3割台半ばで最も高く、次いで「小規模多機能型居宅介護」と「居宅療養管理指導」が約3割となっている。

要介護度別では、要支援1～要介護2で各サービスの認知度が低くなっている。

1.11. 介護保険サービス利用の有無（令和4年10月）

◆ 「利用した」が約6割

（全員の方に）

問 11 令和4年10月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。（1つを選択）

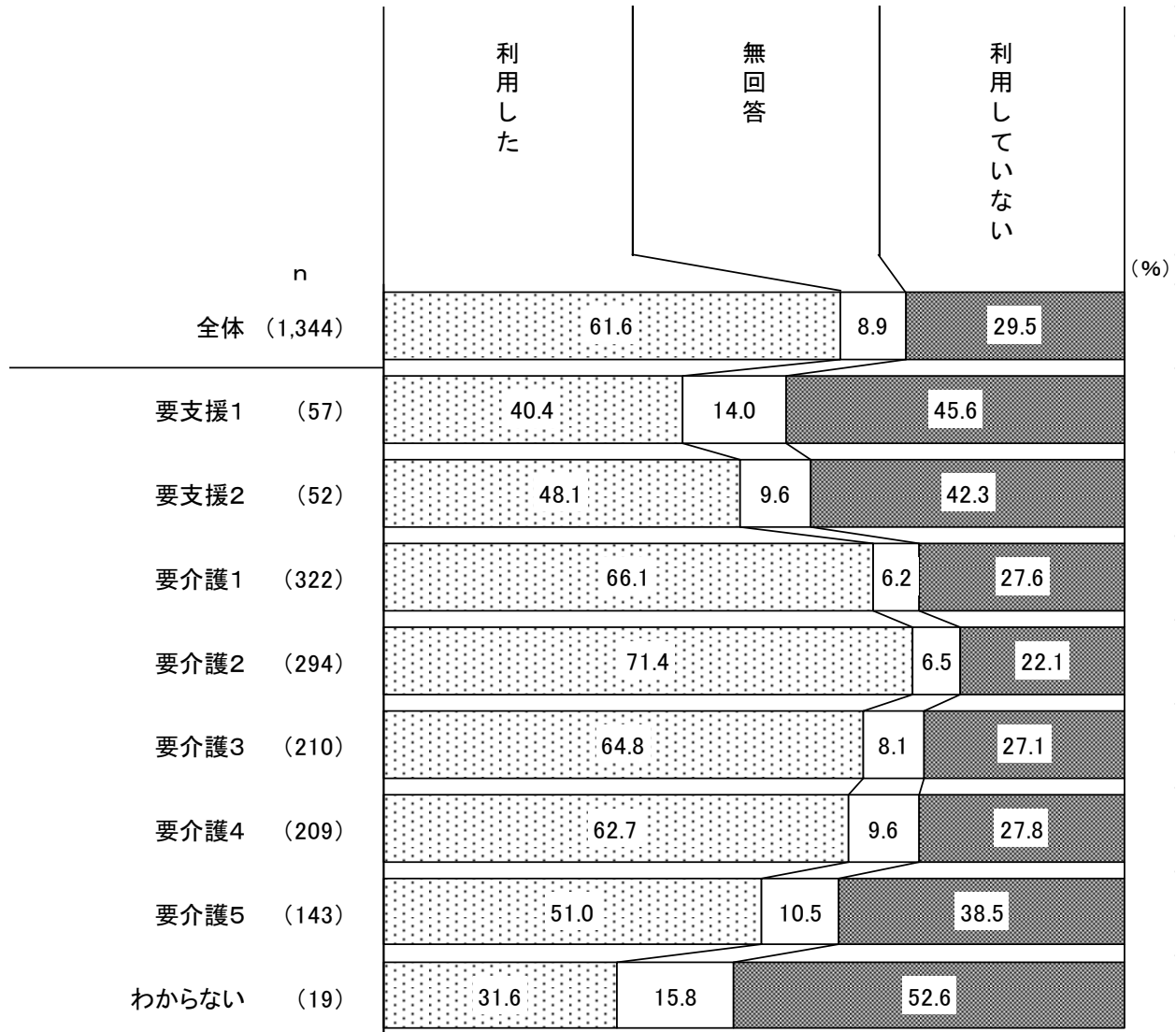
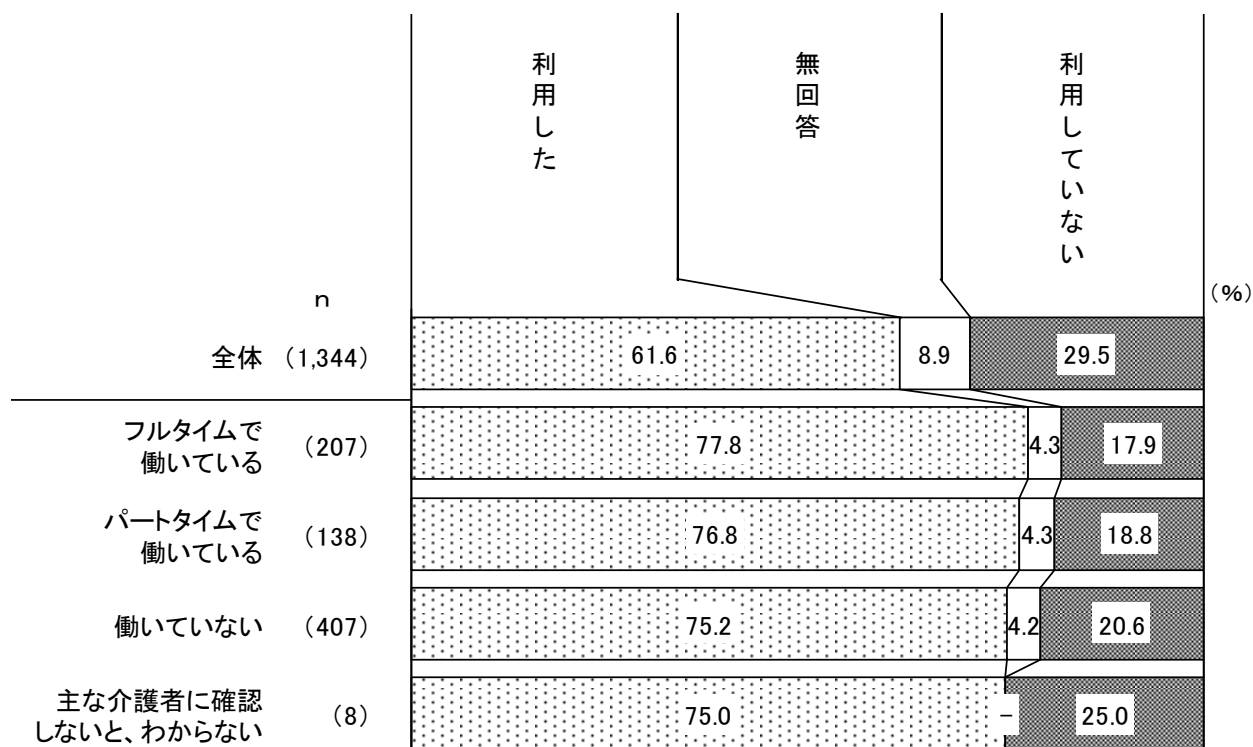


図 1-15 介護保険サービス利用の有無（令和4年10月）

全体では、「利用した」が約6割となっている。

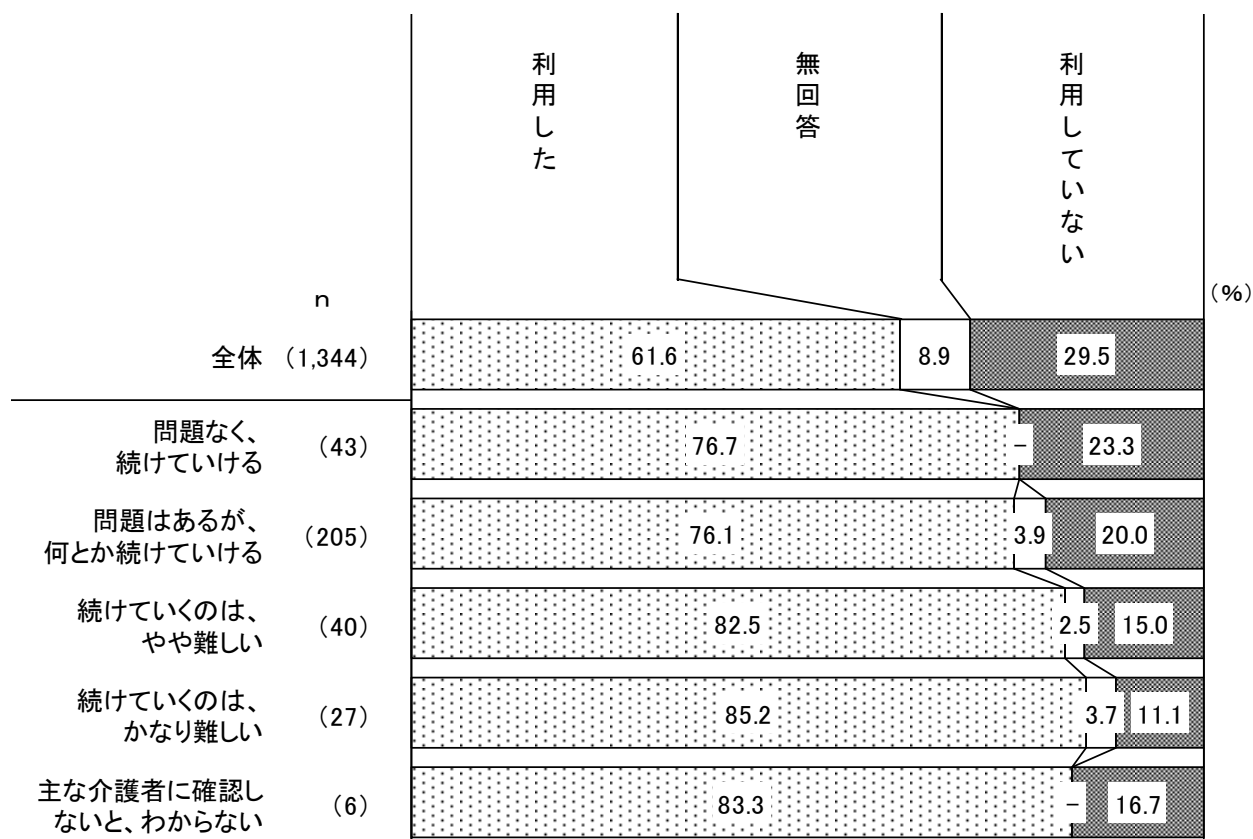
状態別では、「利用した」が要介護2では約7割、要介護1と3では6割台半ばを占めている。

【介護者の就労形態別】介護保険サービス利用の有無（令和4年10月）



介護者の就労形態別では、就労形態や就労状況に関わらず「利用した」が高くなっている。

【就労している介護者の今後の介護の見通し別】介護保険サービス利用の有無（令和4年10月）



就労している介護者の今後の介護の見通し別では、続けていくのは、かなり難しい・やや難しいと回答した人では「利用した」が8割を超えている。

1.12. 介護保険サービス

1.12.1. 介護保険サービスの利用状況（令和4年10月）

◆ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護で、「利用していない」が6割台半ばから6割台後半

（問11で「利用した」と回答した方に）

問12A 以下の介護保険サービスについて、令和4年10月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください。（それぞれ1つを選択）

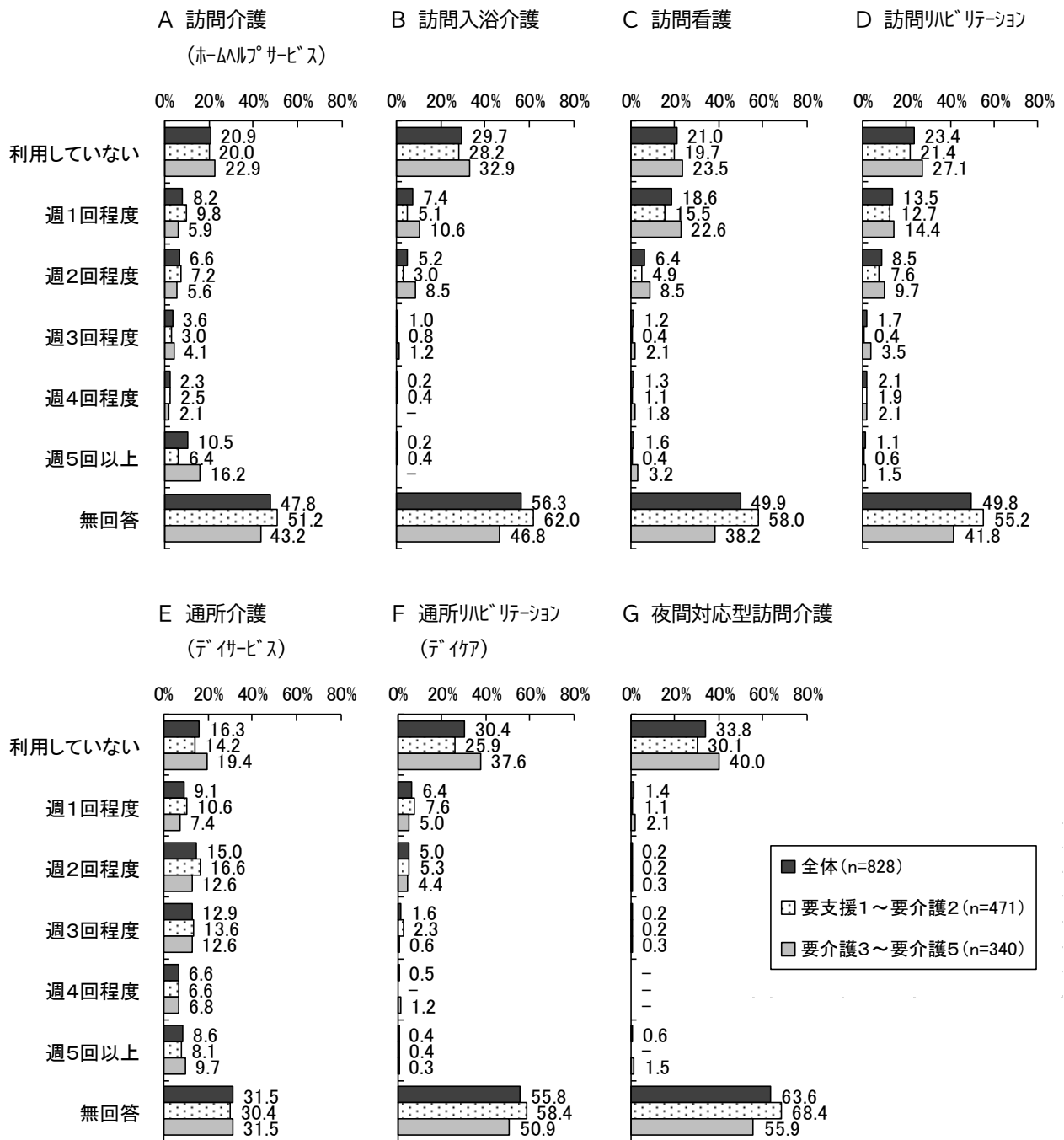


図1-16 介護保険サービスの利用状況（令和4年10月）

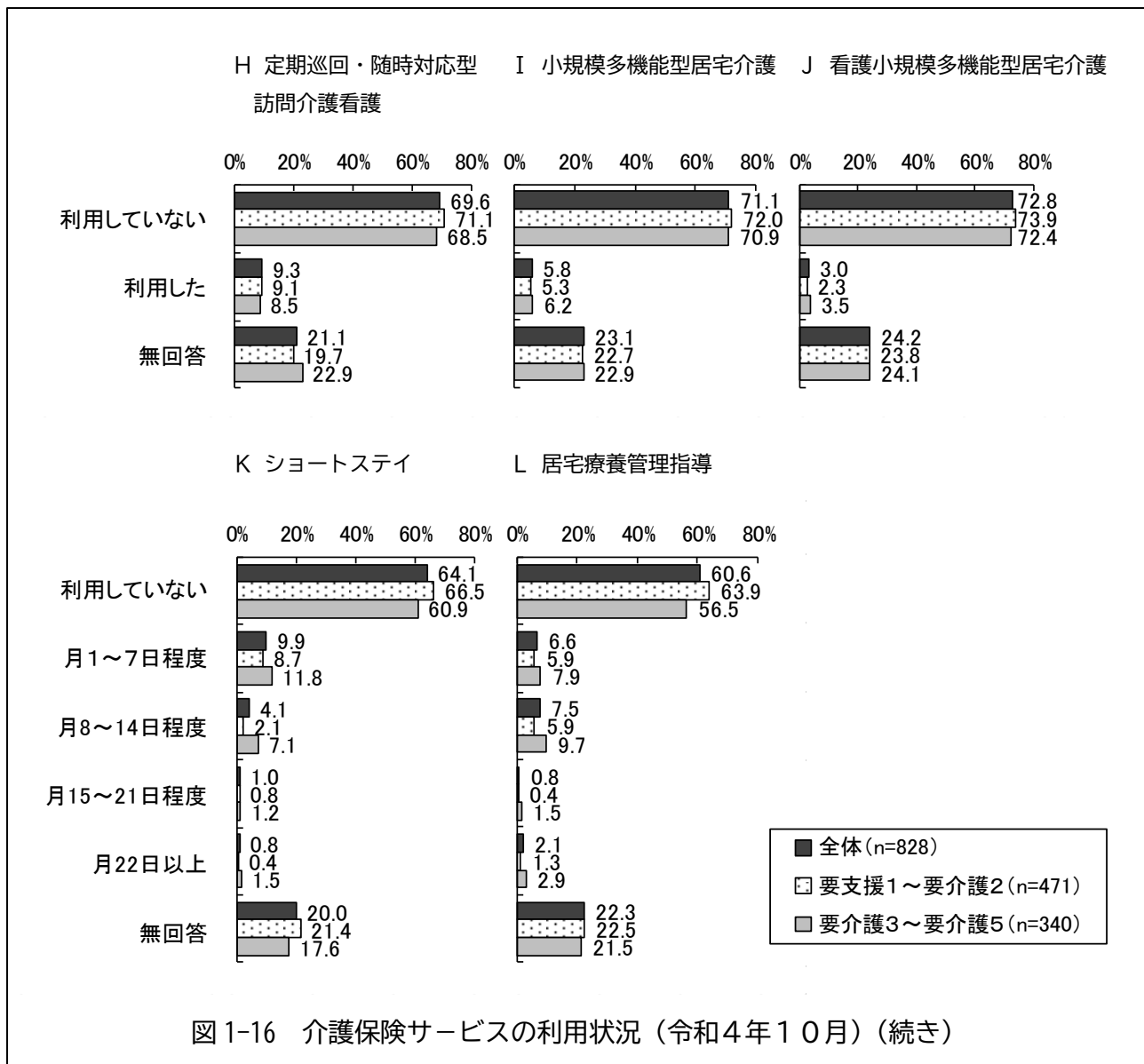


図 1-16 介護保険サービスの利用状況（令和4年10月）（続き）

全体では、いずれのサービスも「利用していない」が最も高くなっている。
 利用のあるサービスでは、通所介護や訪問介護、訪問看護や訪問リハビリテーションなどが高くなっている。

1.12.2. ケアプランへの不満

◆ 「不満な点はない」が5割台半ば

(問11で「利用した」と回答した方に)

問12B あなたが、ケアプランについて不満と思うことを次の中から選んでください。
(複数選択可)

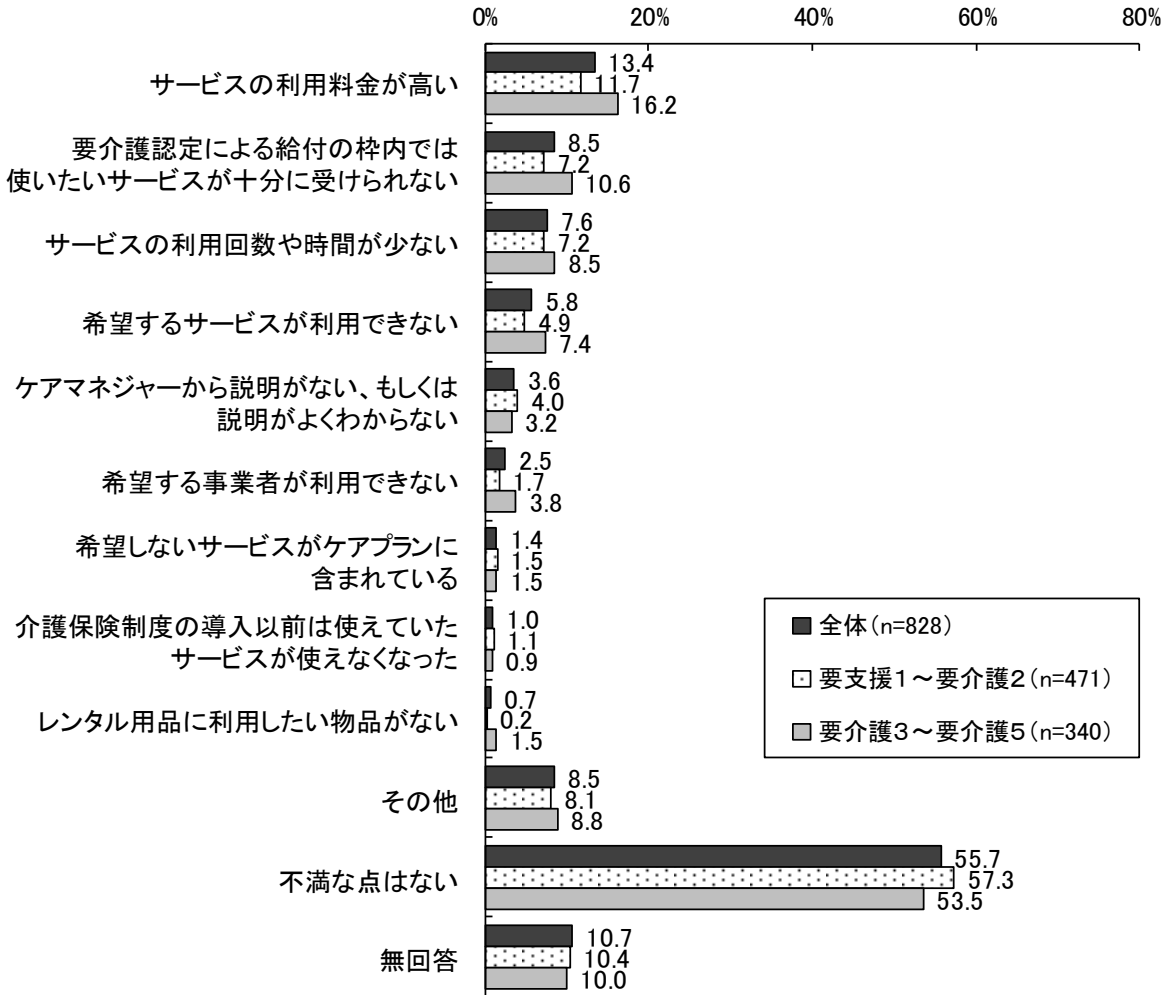


図1-17 ケアプランへの不満

全体では、「不満な点はない」が5割台半ばを占めている。

不満と思うことは、「サービスの利用料金が高い」が1割台前半で最も多く、次いで「要介護認定による給付の枠内では使いたいサービスが十分に受けられない」となっている。

要介護度別では、要介護3～要介護5で上位4項目の割合が高くなっている。

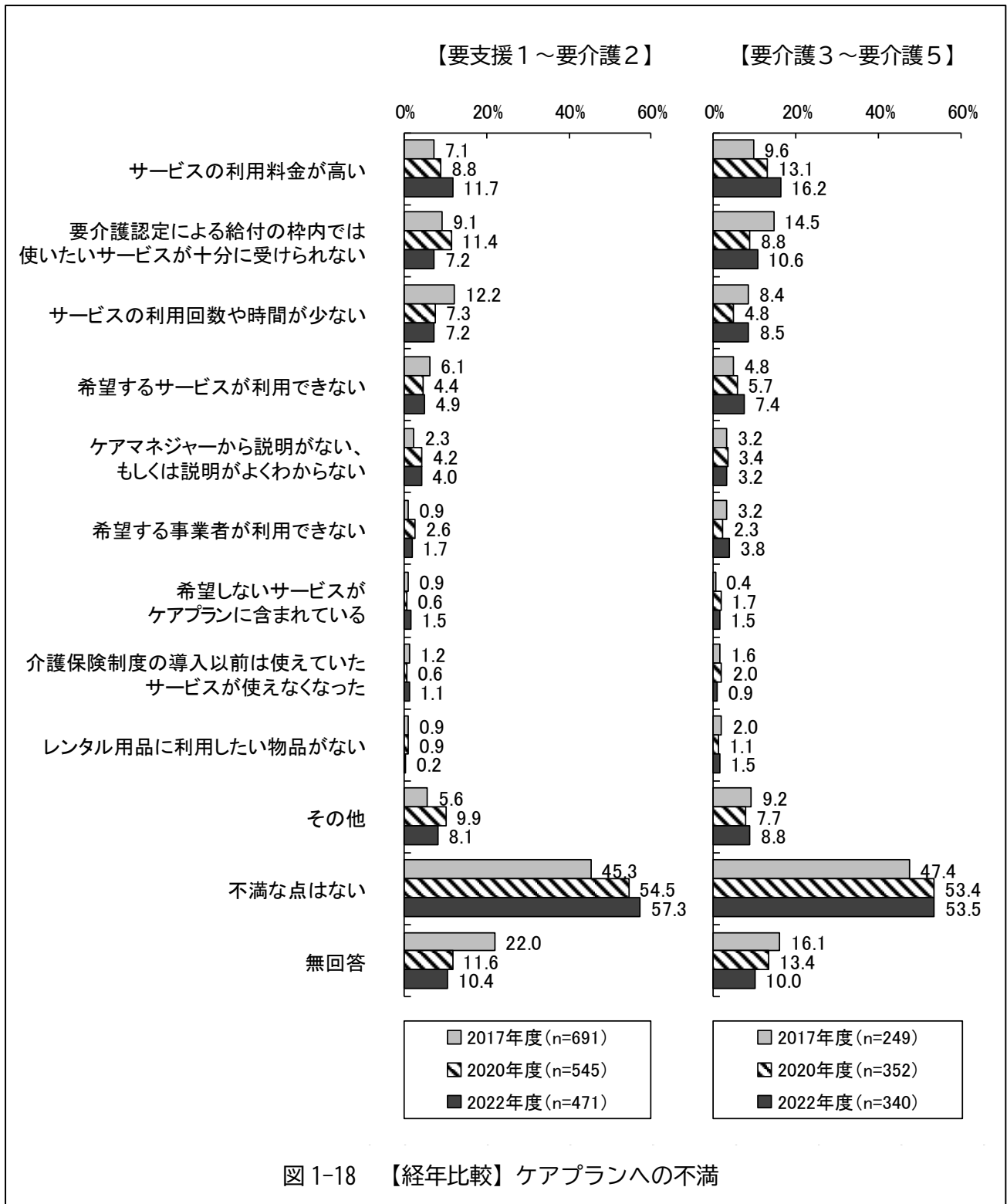
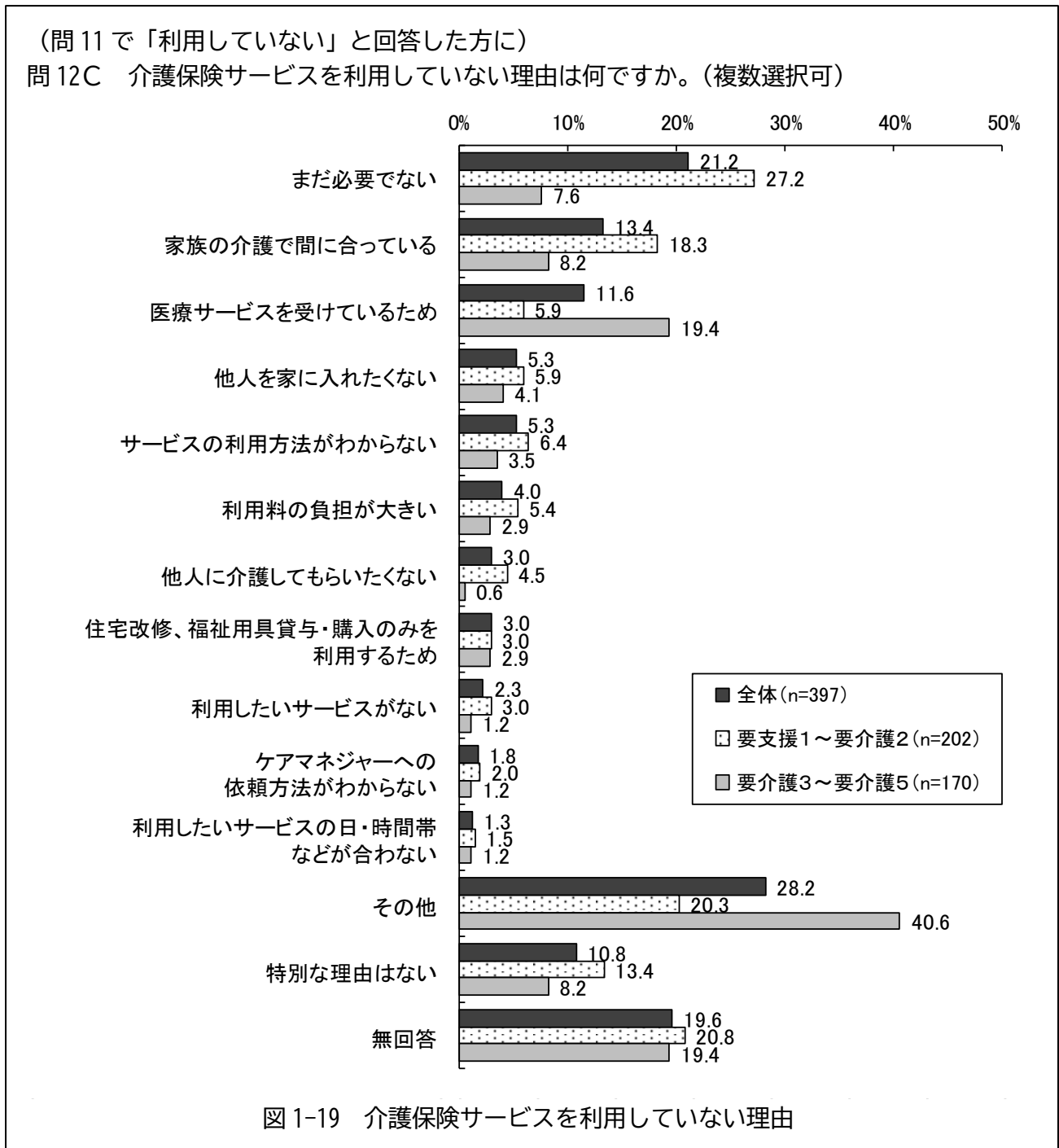


図 1-18 【経年比較】ケアプランへの不満

経年比較では、要支援1～要介護2と要介護3～要介護5ともに「不満な点はない」が増加している。一方、「サービスの利用料金が低い」は年々増加している。

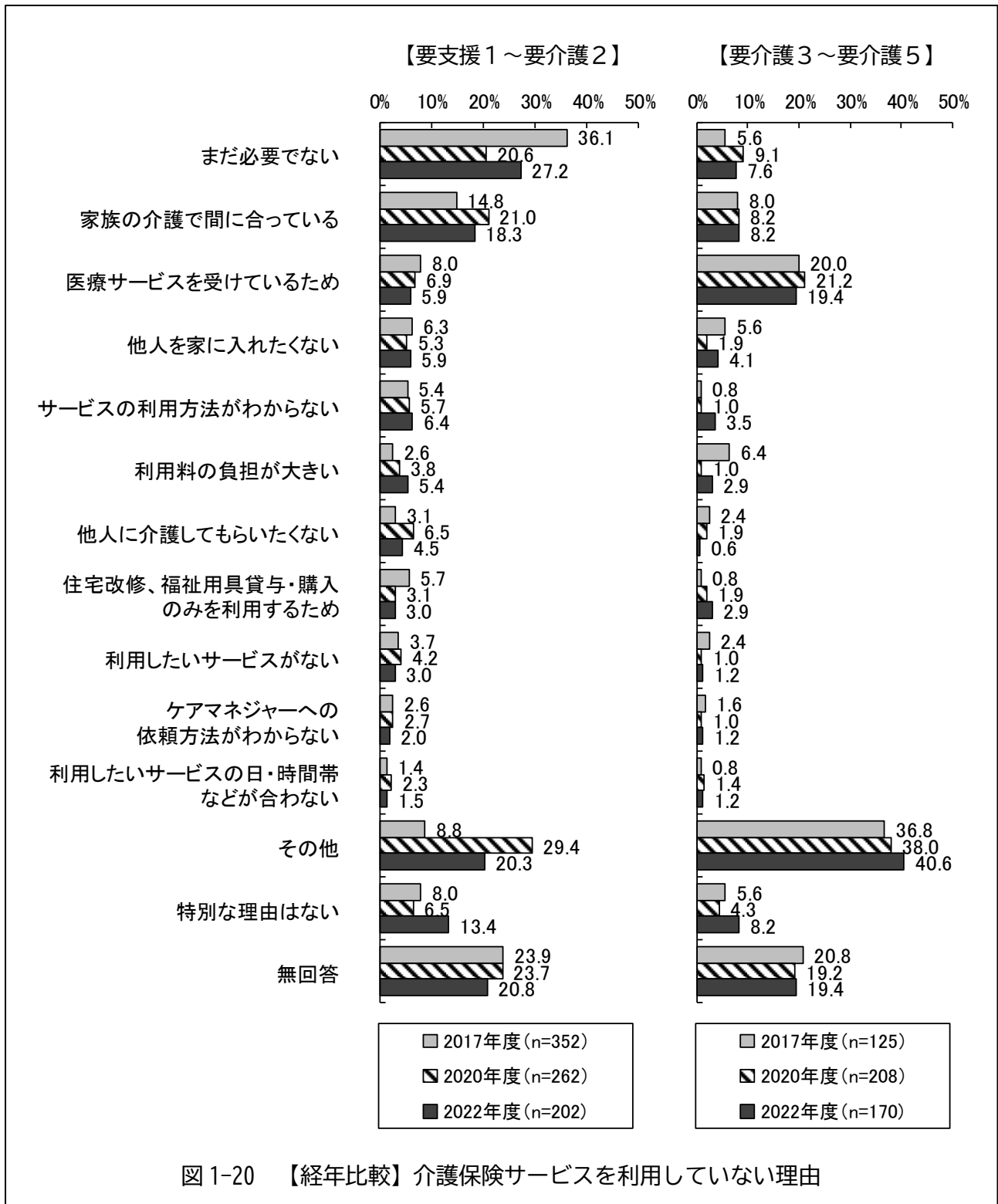
1.12.3. 介護保険サービスを利用していない理由

◆ 「まだ必要でない」が約2割



全体では、「まだ必要ではない」が約2割で最も高くなっている。

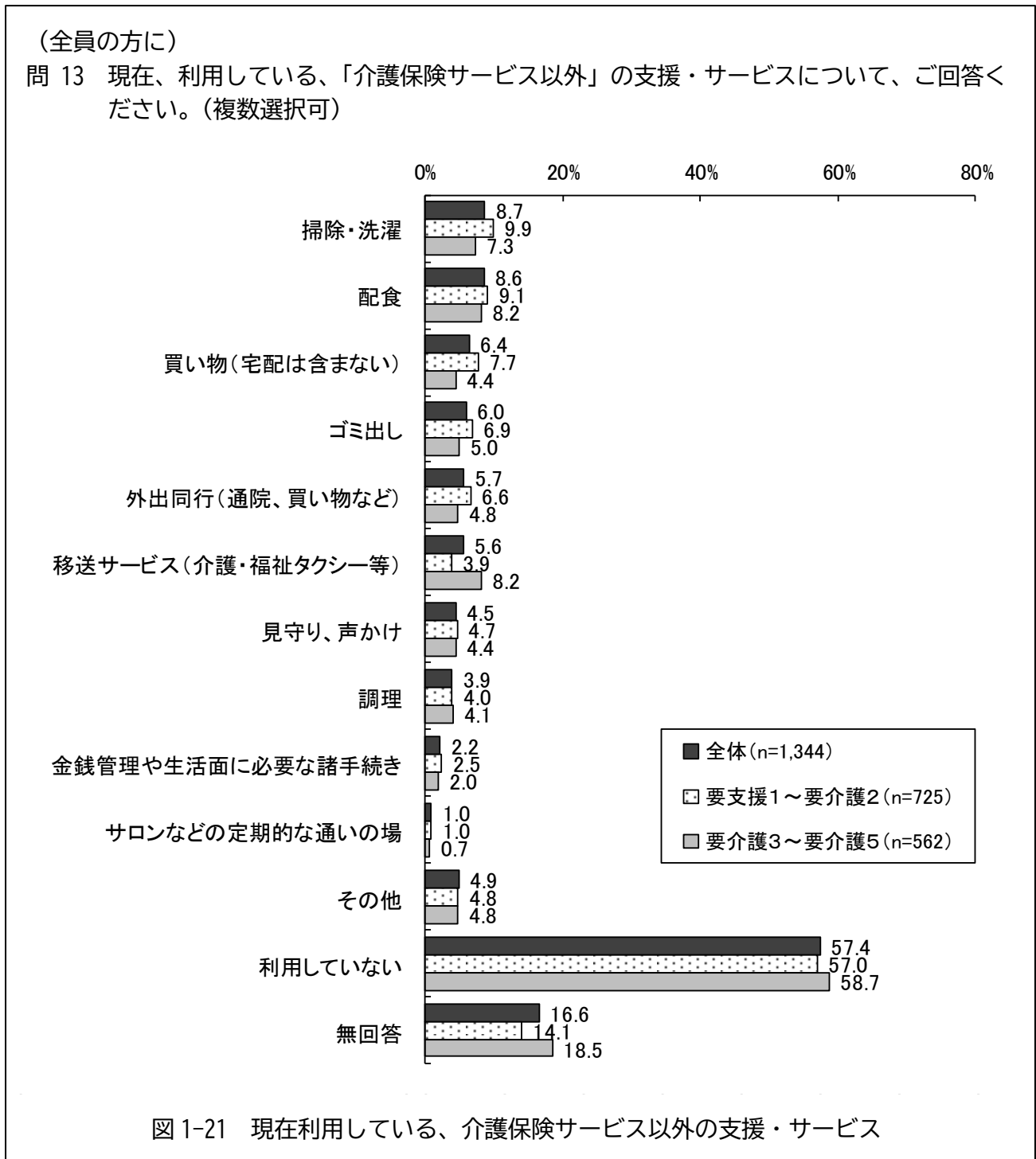
要介護度別では、要支援1～要介護2で「まだ必要でない」が最も高く、要介護3～要介護5で「医療サービスを受けているため」が最も高くなっている。



経年比較では、要支援1～要介護2で「まだ必要でない」が6.6ポイント増加している。

1.13. 現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービス

◆ 「利用していない」が5割台後半



全体では、「利用していない」が5割台後半を占めている。

利用している内容について、要介護度別では、要支援1～要介護2は「掃除・洗濯」が最も高く、要介護3～要介護5は「配食」と「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が最も高くなっている。

【要介護度別】現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービス

単位：%

	有効回答数(件)	掃除・洗濯	配食	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	調理	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
全体	1,344	8.7	8.6	6.4	6.0	5.7	5.6	4.5	3.9	2.2	1.0	4.9	57.4	16.6
要支援1	57	5.3	3.5	10.5	1.8	8.8	0.0	5.3	7.0	3.5	0.0	1.8	57.9	17.5
要支援2	52	9.6	13.5	11.5	11.5	1.9	5.8	3.8	9.6	3.8	1.9	7.7	48.1	19.2
要介護1	322	9.0	8.4	6.8	6.5	7.8	2.8	5.3	4.7	3.1	1.2	4.3	60.2	12.7
要介護2	294	11.9	10.2	7.5	7.5	5.8	5.4	4.1	1.7	1.4	0.7	5.4	54.8	13.9
要介護3	210	9.0	8.6	6.2	5.2	6.7	6.2	3.8	3.8	2.4	1.0	4.3	61.4	13.3
要介護4	209	6.2	8.1	2.9	5.3	5.3	9.1	2.9	3.3	1.4	0.5	5.7	57.4	21.1
要介護5	143	6.3	7.7	4.2	4.2	1.4	9.8	7.7	5.6	2.1	0.7	4.2	56.6	22.4
わからない	19	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	68.4	26.3

要介護度別では、いずれの区分でも「利用していない」が最も高くなっている。

利用している内容について、最も高い項目は、要支援1では「買い物(宅配は含まない)」、要支援2では「配食」、要介護1～3では「掃除・洗濯」、要介護4と5では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」となっている。

1.14. 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

◆ 「移送サービス」が約2割、「外出同行」が1割台後半

(全員の方に)

問 14 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（複数選択可）

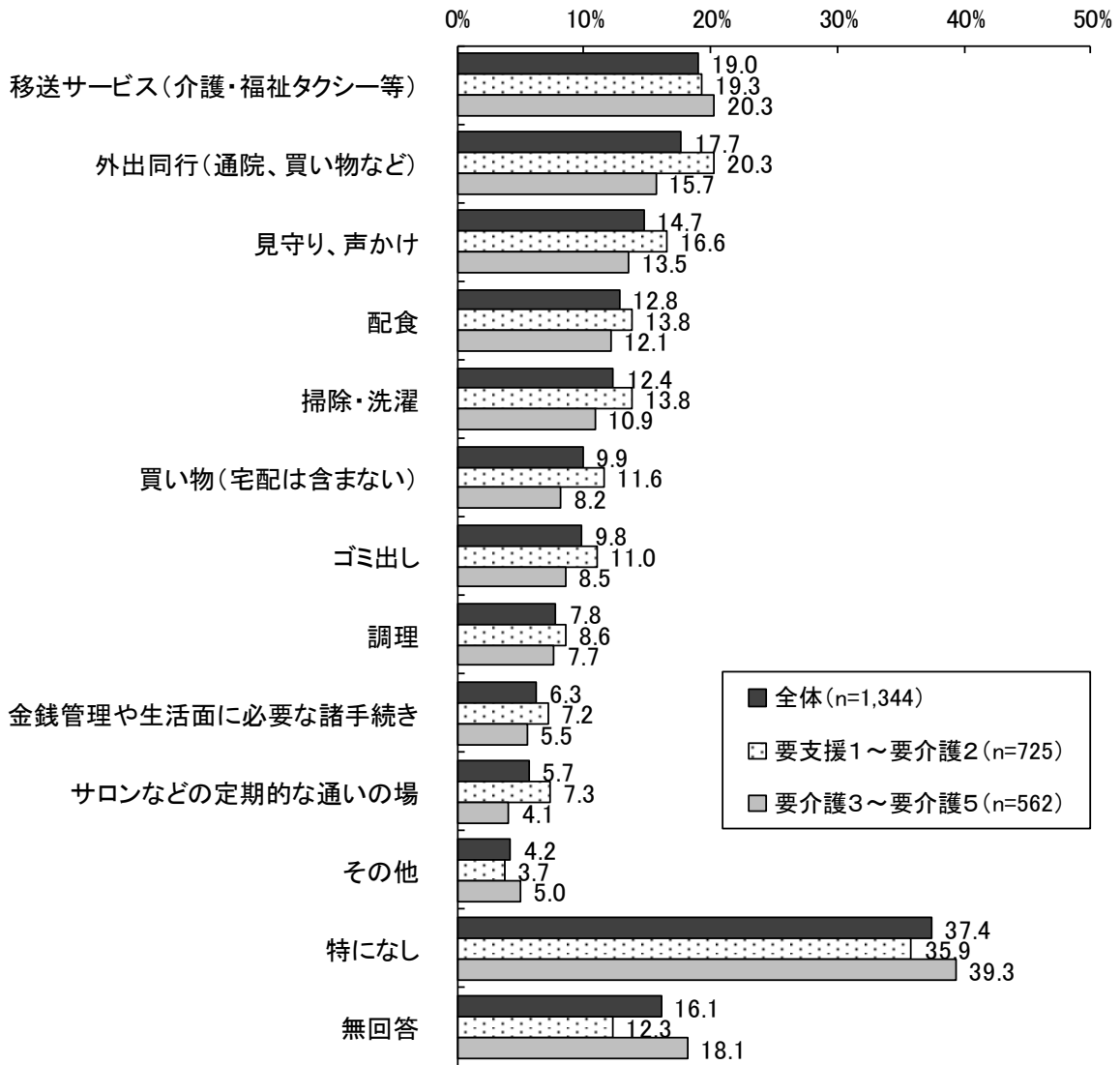


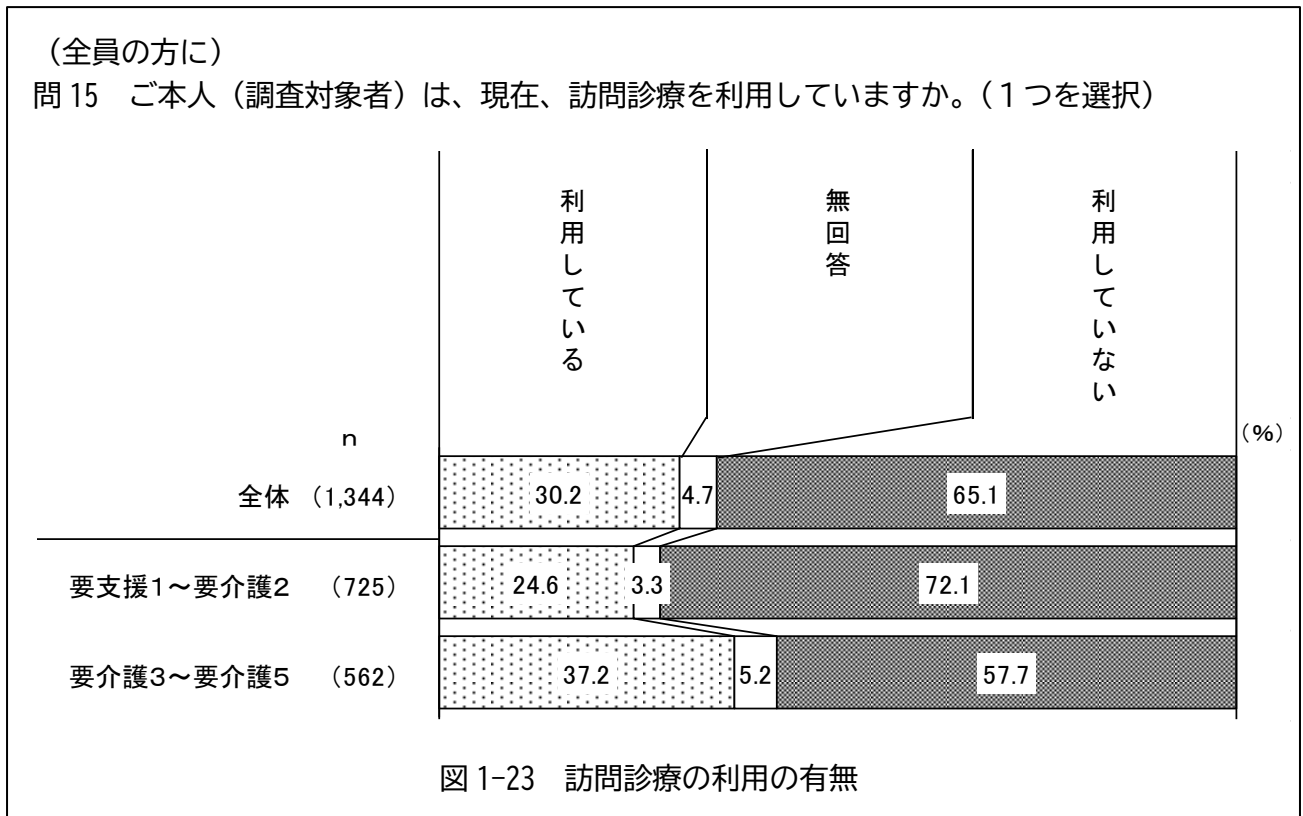
図 1-22 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

全体では、「特になし」が3割台後半となっている。

必要としている内容について、要支援1～要介護2では「外出同行（通院、買い物など）」が最も高く、要介護3～要介護5では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も高くなっている。

1.15. 訪問診療の利用の有無

◆ 「利用していない」が6割台半ば

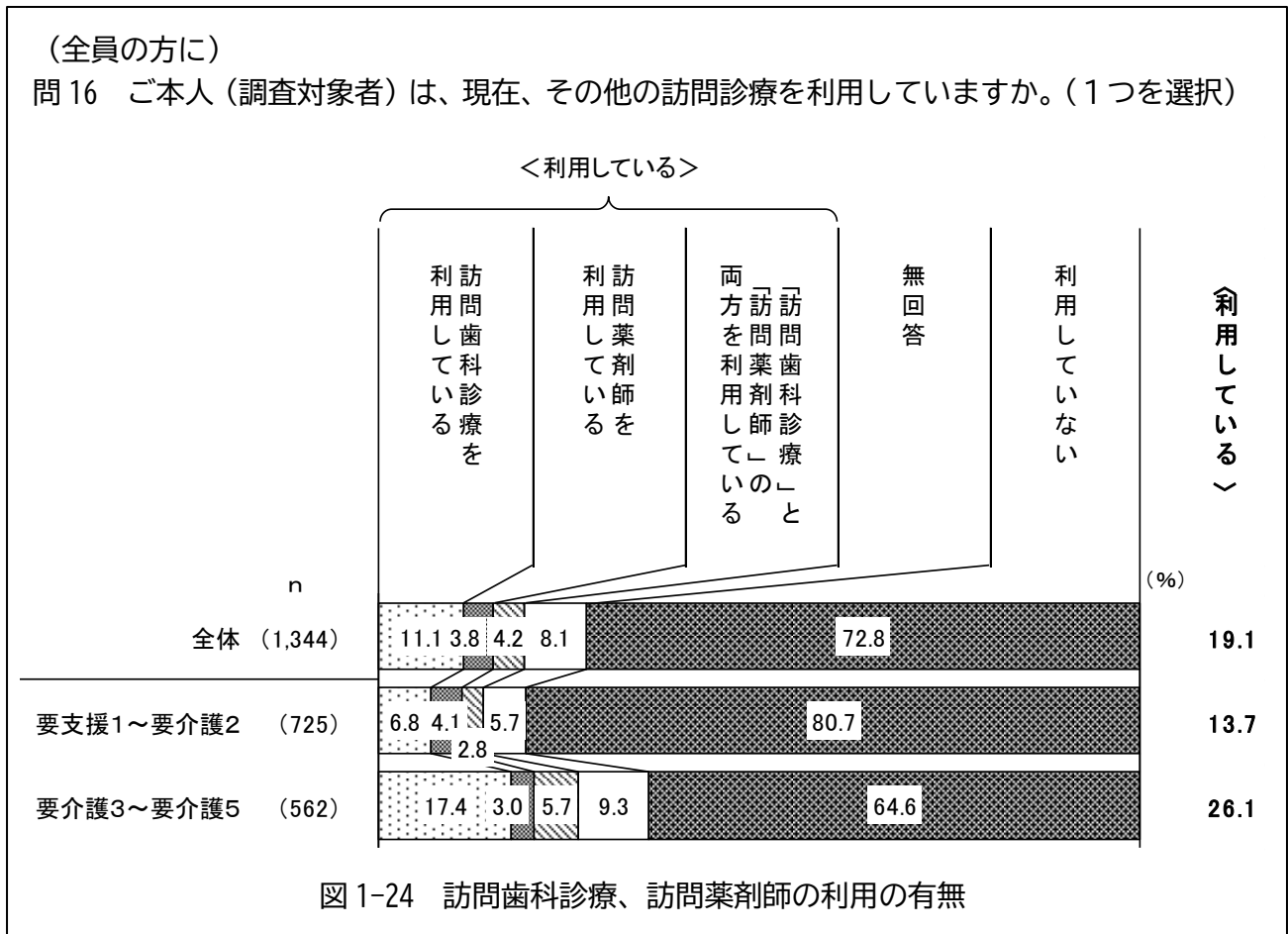


全体では、「利用していない」が6割台半ばを占めている。

要介護度別では、要介護3～要介護5で「利用している」が3割台後半で、要支援1～要介護2より高くなっている。

1.16. 訪問歯科診療、訪問薬剤師の利用の有無

◆ 「利用していない」が7割台前半

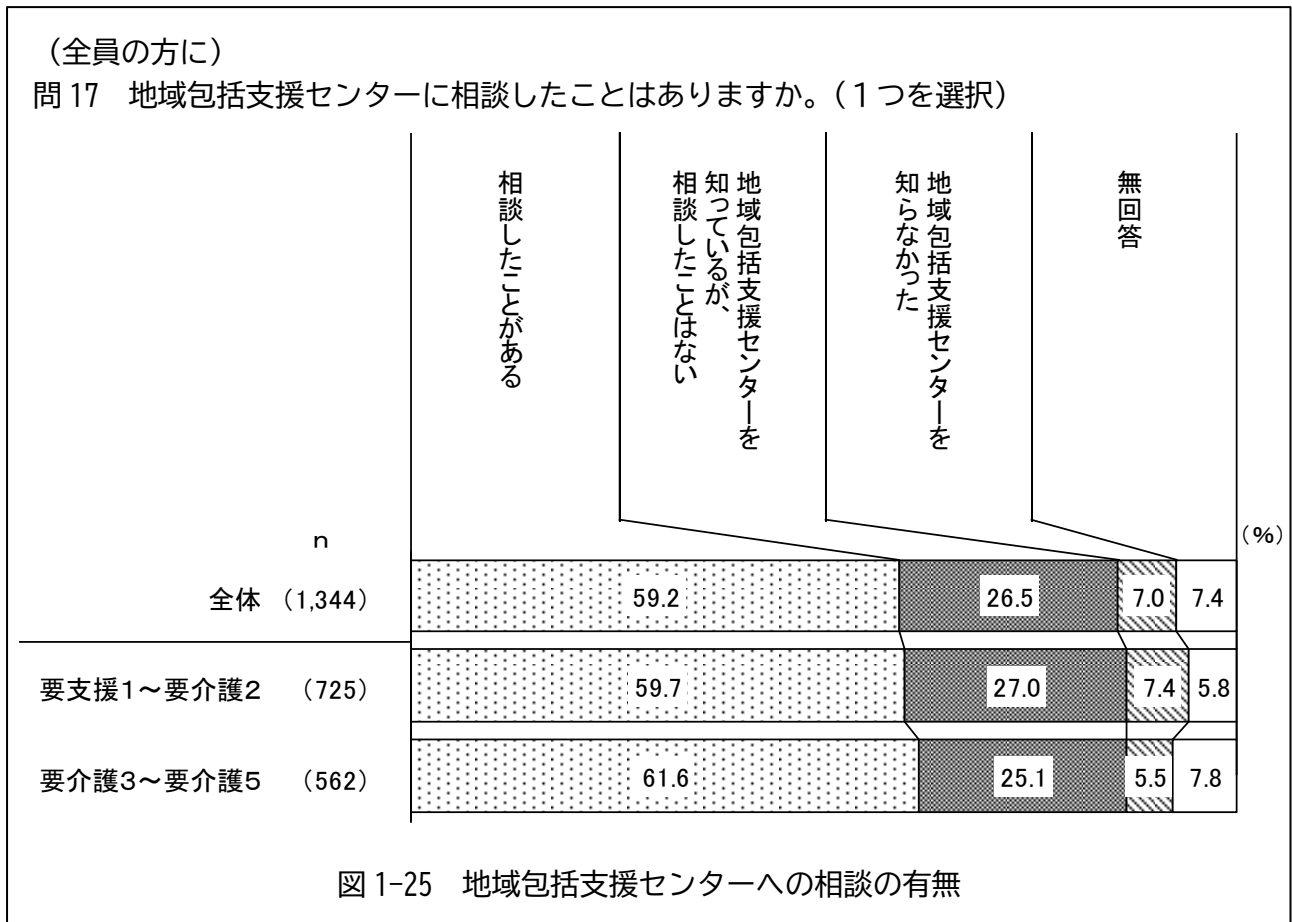


全体では、「利用していない」が7割台前半を占めている。

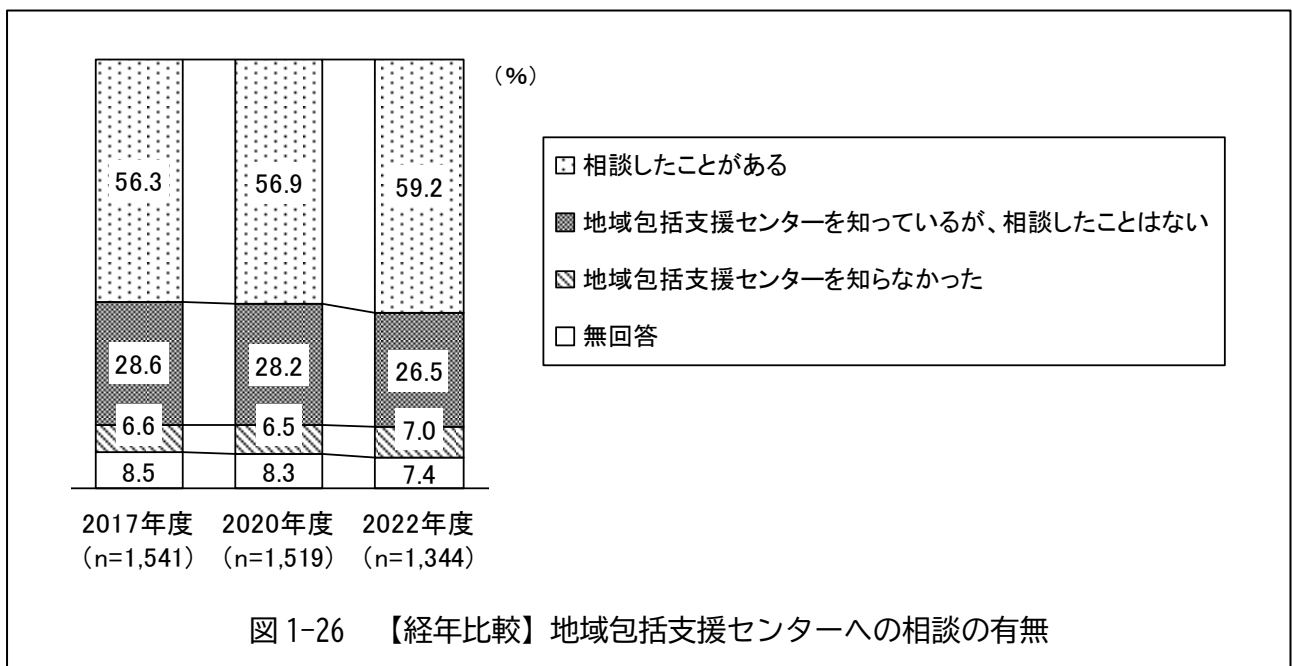
要介護度別では、要介護3～要介護5で「訪問歯科診療を利用している」が1割台後半で、要支援1～要介護2より高くなっている。

1.17. 地域包括支援センターへの相談の有無

◆ 「相談したことがある」が約6割



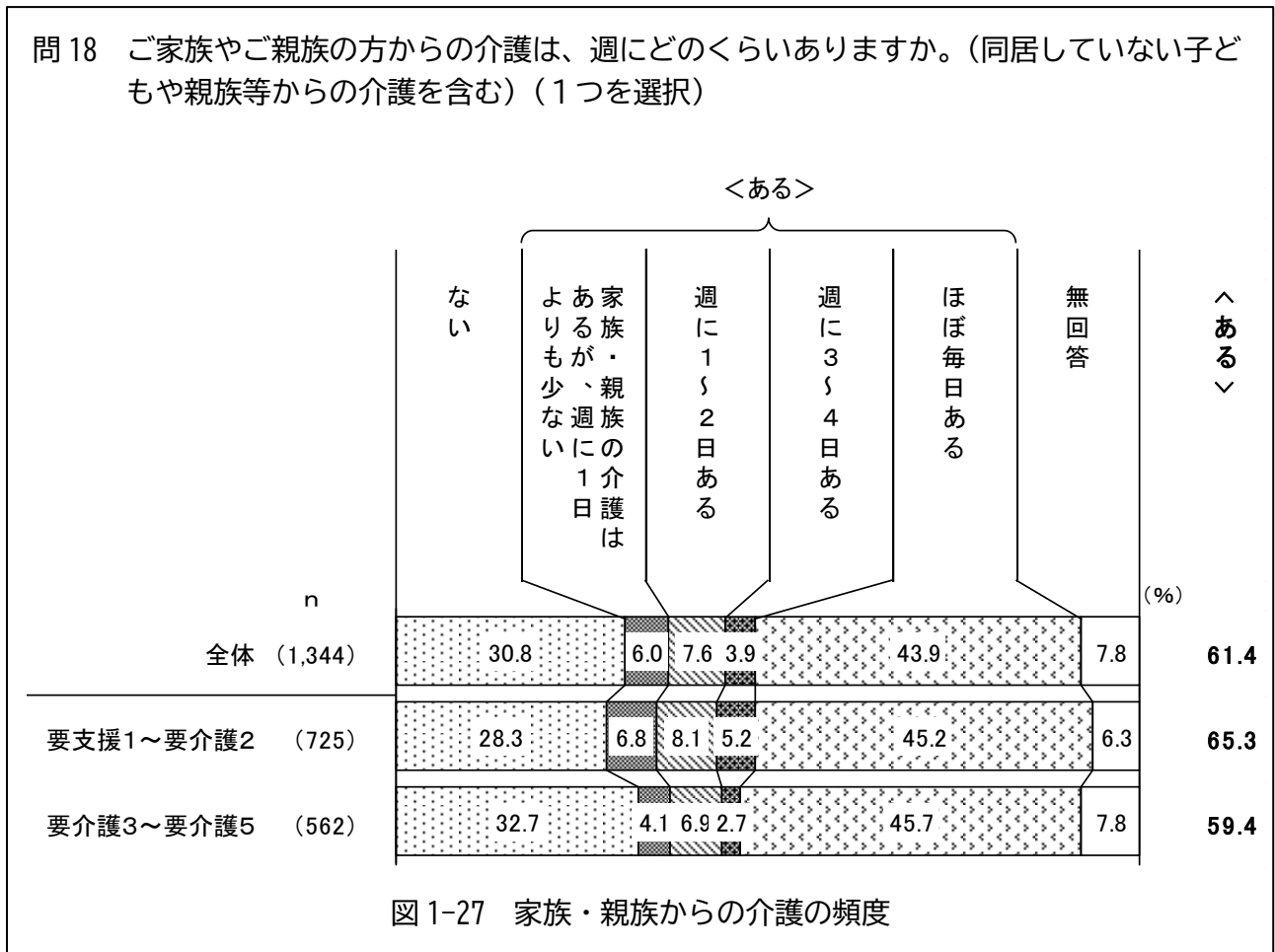
全体では、「相談したことがある」が約6割を占めている。
要介護度別では、大きな差異はみられない。



経年比較では、「相談したことがある」が年々増加している。

1.18. 家族・親族からの介護の頻度

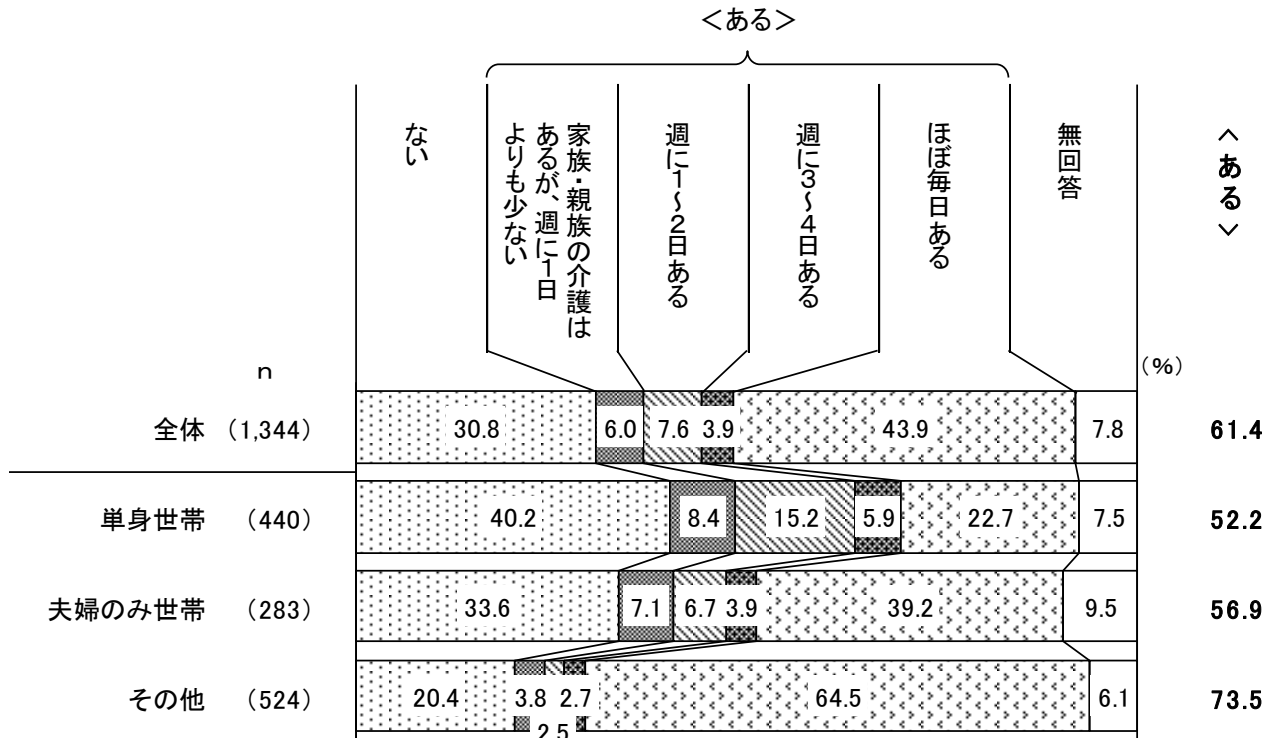
◆ 「ほぼ毎日ある」が4割台前半



全体では、「ほぼ毎日ある」が4割台前半で最も高く、頻度に関わらず<ある>との回答は約6割を占めている。

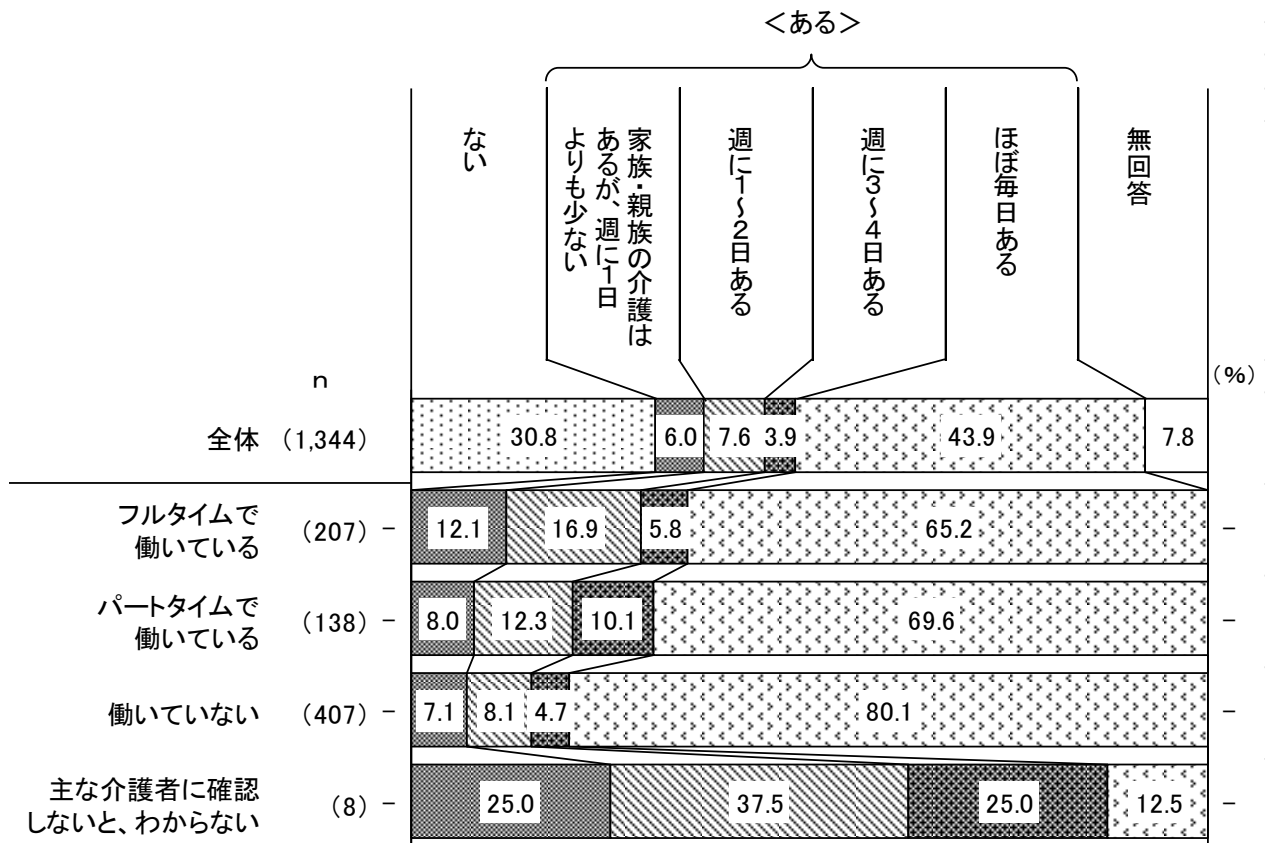
要介護度別では、要支援1～要介護2で<ある>が6割台半ばを占めており、要介護3～要介護5より高くなっている。

【家族構成別】家族・親族からの介護の頻度



家族構成別では、単身世帯で「ない」が約4割で、他の世帯より高くなっている。

【主な介護者の就労形態別】家族・親族からの介護の頻度

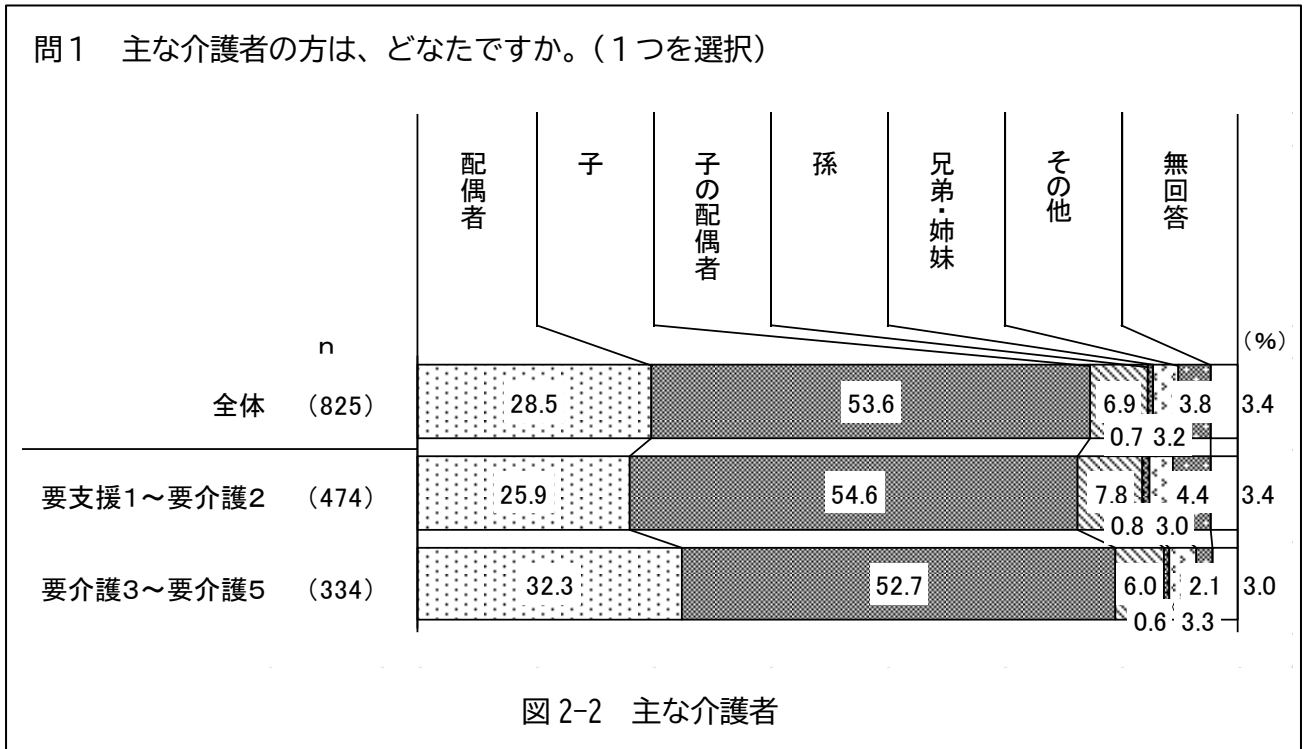


主な介護者の就労形態別では、働いていない世帯で「ほぼ毎日ある」が約8割を占めている。

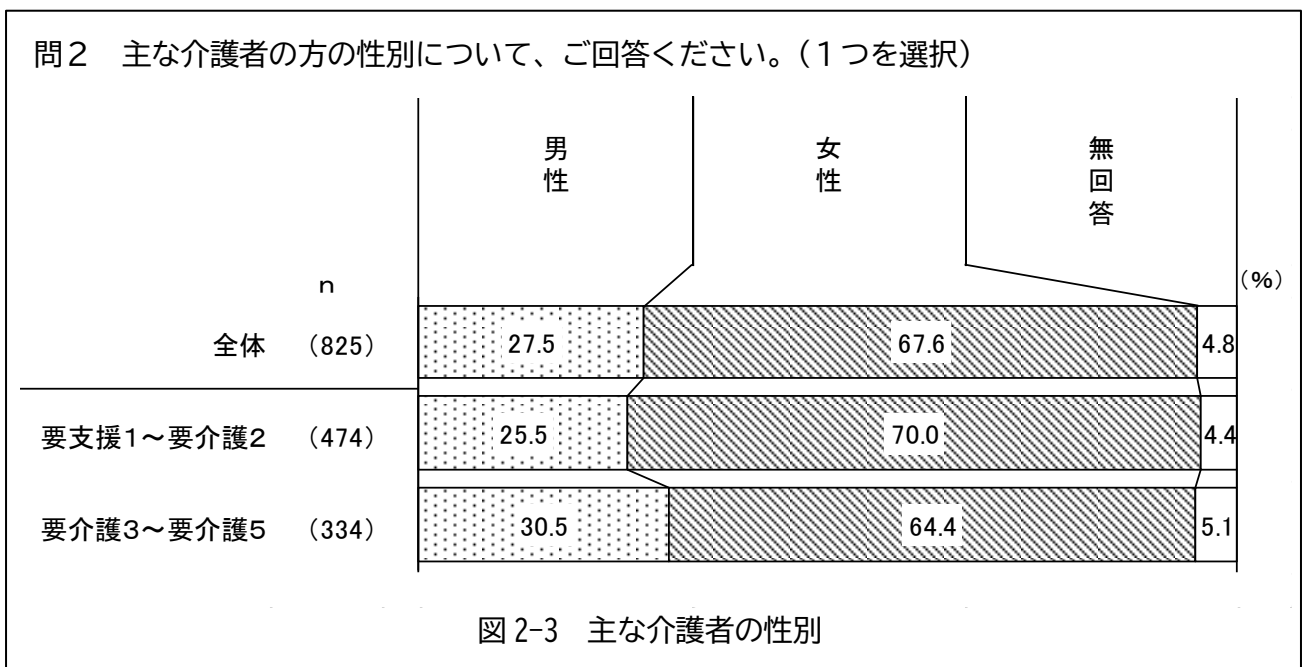
2. 主な介護者について

(※「1.18. 家族・親族からの介護の頻度」において、〈ある〉とお答えの方)

2.1. 主な介護者



2.2. 主な介護者の性別



2.3. 主な介護者の年齢

問3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

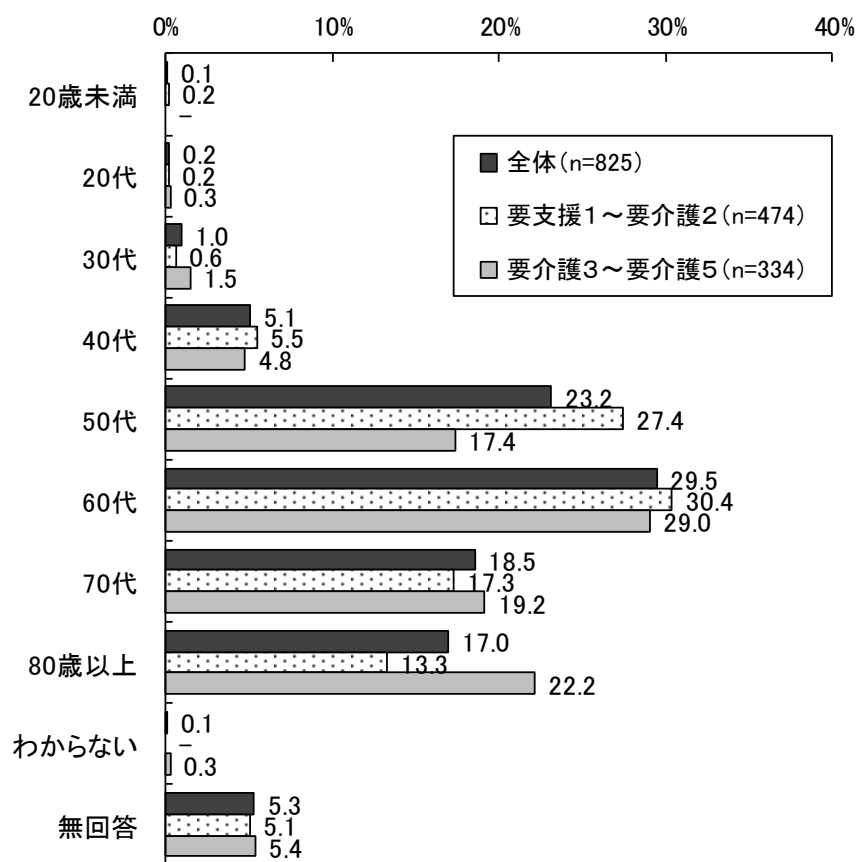


図 2-4 主な介護者の年齢

2.4. 介護を理由として、過去1年間の間に仕事を辞めた介助者の有無

◆ 「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が約7割

問4 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

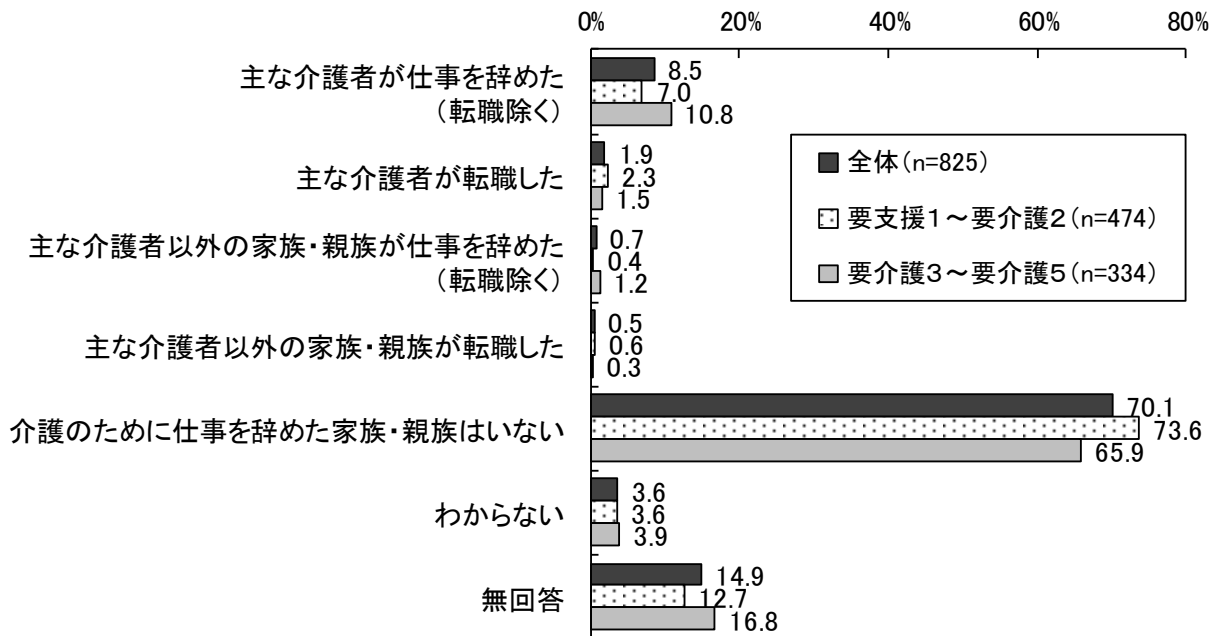


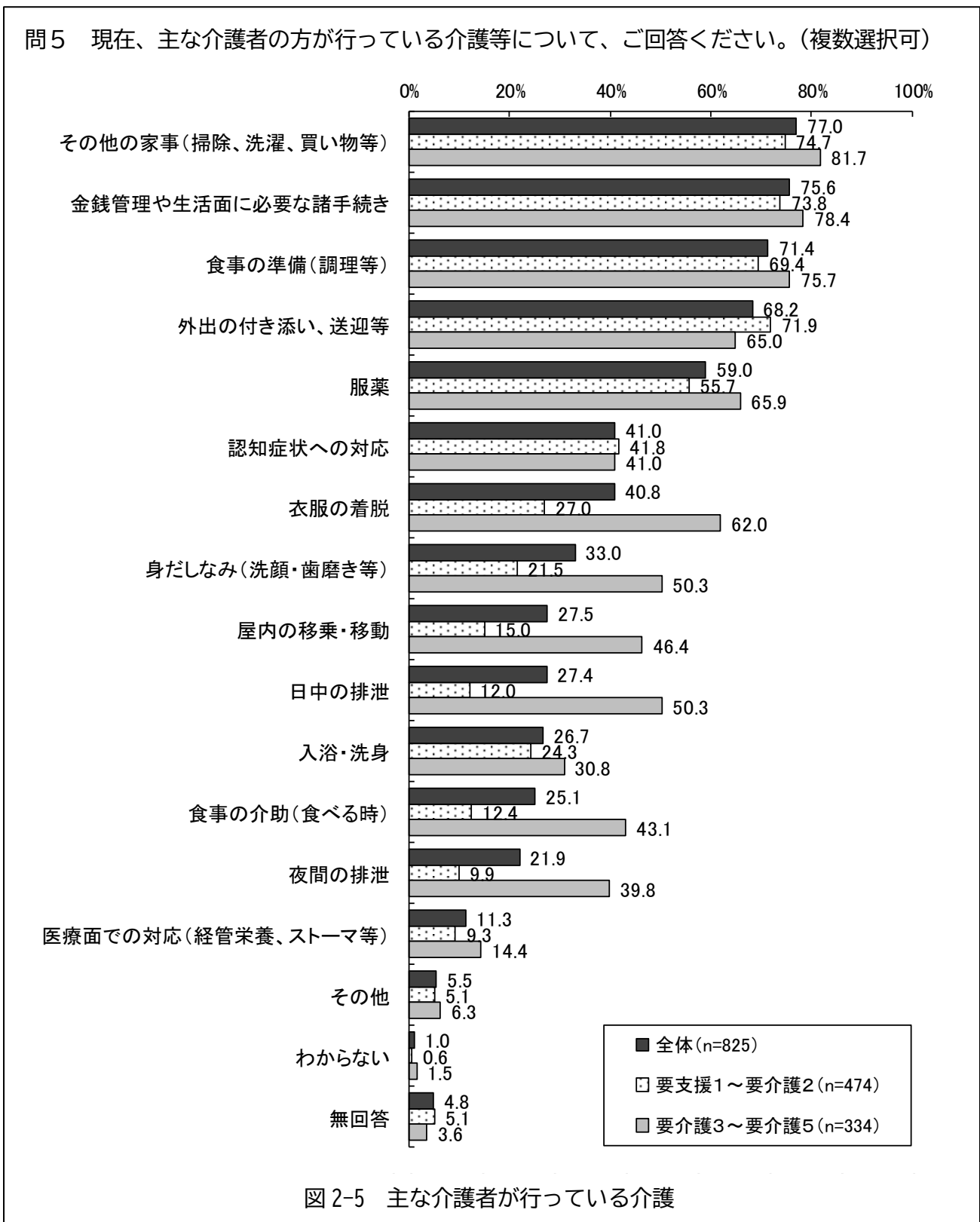
図 2-1 介護を理由として、過去1年間の間に仕事を辞めた介助者の有無

全体では、「介護のために仕事を辞めた家族、親族はいない」が約7割を占めている。

要介護度別では、要介護3～要介護5は「介護のために仕事を辞めた家族、親族はいない」が要支援1～要介護2より低くなっている。

2.5. 主な介護者が行っている介護

◆ 「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が7割台後半



全体では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が7割台後半を占め、上位5項目まではいずれも過半数を占めている。

要介護度別では、「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」を除く全ての項目で要介護3～要介護5の方が高くなっている。また、「衣服の着脱」以降の項目で要介護度別の差が顕著にみられる。

【要介護度別】主な介護者が行っている介護

単位：％

	有効回答数(件)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に 必要な諸手続き	食事の準備(調理等)	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	衣服の着脱	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	屋内の移乗・移動
全体	825	77.0	75.6	71.4	68.2	59.0	41.0	40.8	33.0	27.5
要支援1	24	62.5	66.7	54.2	33.3	45.8	37.5	20.8	12.5	8.3
要支援2	27	63.0	48.1	55.6	59.3	37.0	25.9	29.6	29.6	14.8
要介護1	218	72.0	81.2	68.3	73.9	59.2	50.9	20.6	16.5	11.5
要介護2	205	80.5	70.2	74.1	76.1	55.6	34.6	34.1	26.8	19.5
要介護3	151	84.8	80.1	81.5	71.5	58.9	44.4	55.6	38.4	36.4
要介護4	118	83.9	75.4	74.6	64.4	74.6	35.6	65.3	56.8	55.9
要介護5	65	70.8	80.0	64.6	50.8	66.2	43.1	70.8	66.2	52.3
わからない	6	50.0	66.7	50.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0

	有効回答数(件)	日中の排泄	入浴・洗身	食事の介助(食べる時)	夜間の排泄	医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)	その他	わからない	無回答
全体	825	27.4	26.7	25.1	21.9	11.3	5.5	1.0	4.8
要支援1	24	4.2	12.5	4.2	12.5	4.2	0.0	0.0	12.5
要支援2	27	11.1	25.9	25.9	7.4	11.1	3.7	0.0	11.1
要介護1	218	10.1	20.6	8.7	7.3	5.5	5.5	0.5	3.7
要介護2	205	15.1	29.3	15.6	12.7	13.7	5.4	1.0	4.9
要介護3	151	33.8	34.4	29.1	29.8	10.6	7.3	1.3	2.0
要介護4	118	61.9	25.4	47.5	42.4	12.7	5.9	1.7	3.4
要介護5	65	67.7	32.3	67.7	58.5	26.2	4.6	1.5	7.7
わからない	6	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7

要介護度別では、要介護度が高くなるほど各項目の割合が高くなっている。

2.6. 主な介護者が不安を感じる介護

◆ 「認知症状への対応」が約4割

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

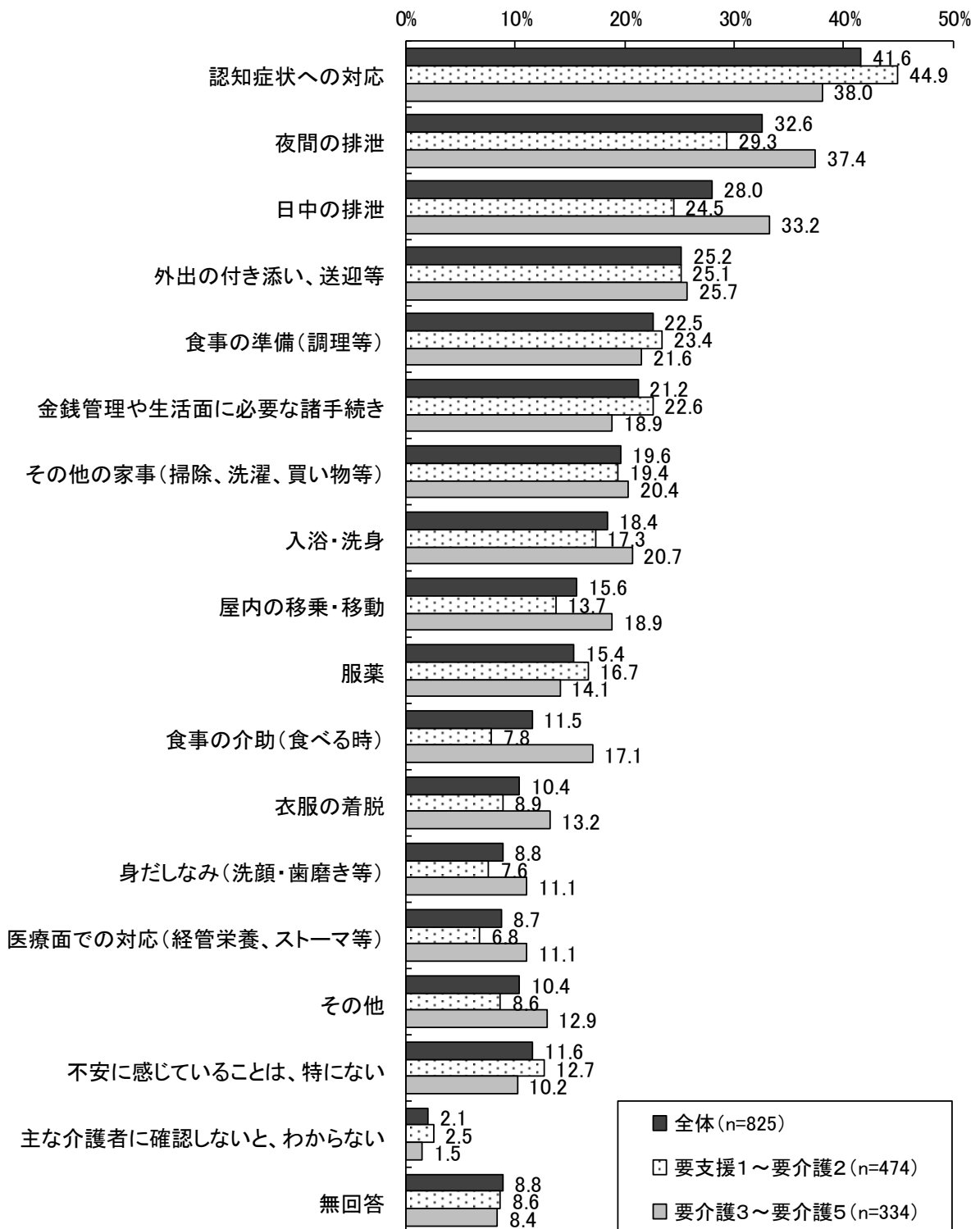


図2-6 主な介護者が不安を感じる介護

全体では、「認知症状への対応」が約4割で最も高くなっている。
 要介護度別では、いずれも「認知症状への対応」が最も高く、次いで「夜間の排泄」となっている。

2.7. 主な介護者の現在の勤務形態

◆ 「働いていない」が約5割

問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

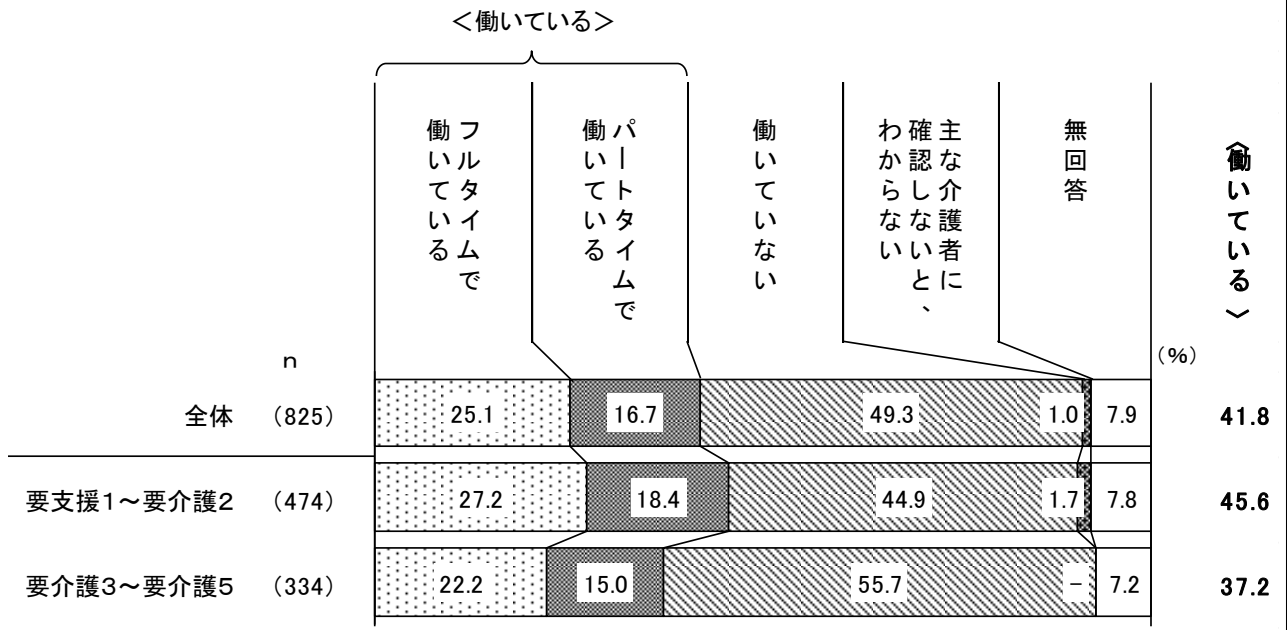
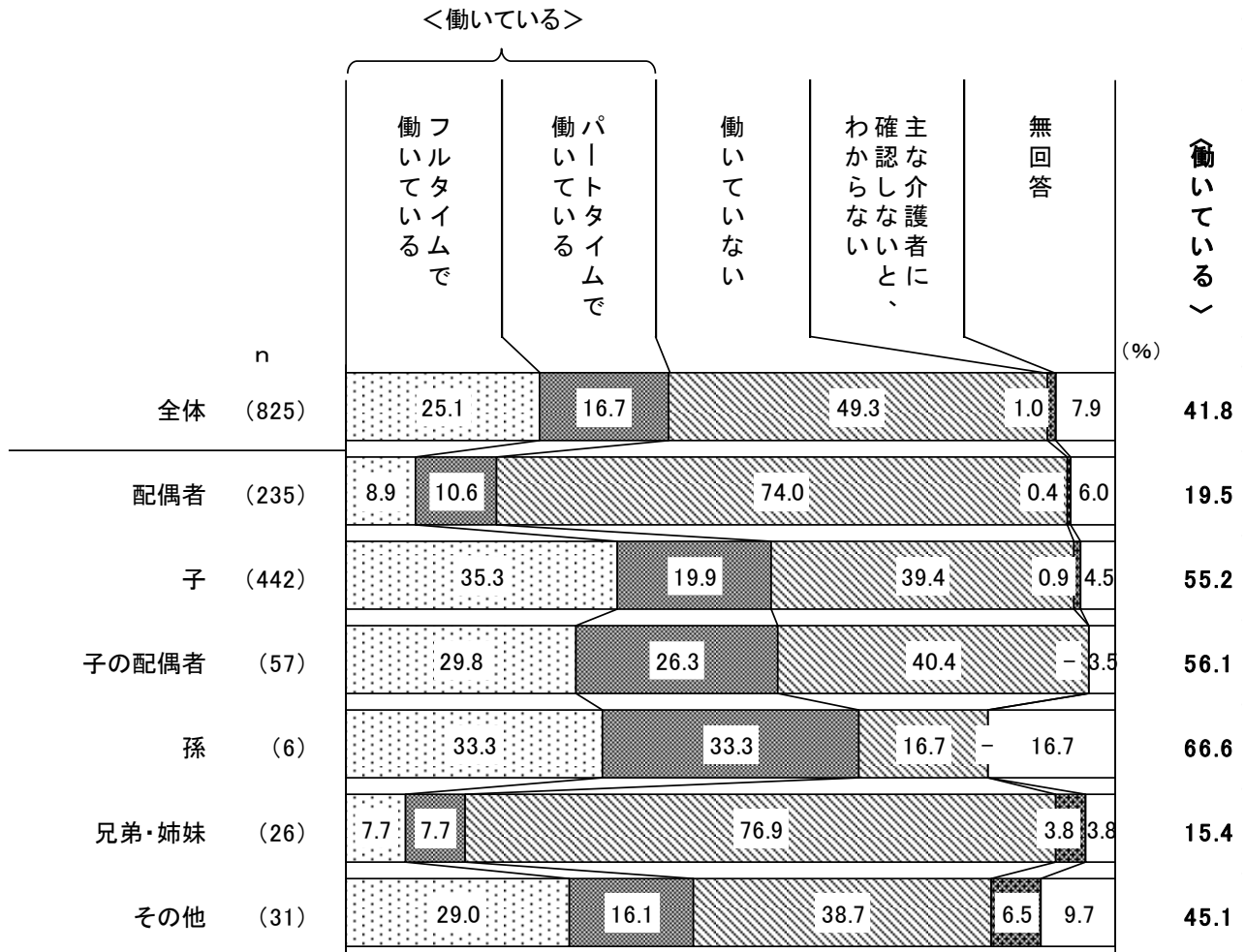


図 2-7 主な介護者の現在の勤務形態

全体では、「働いていない」が約5割で最も高くなっている。「フルタイムで働いている」と「パートタイムで働いている」を合わせた<働いている>は約4割となっている。

要介護度別では、いずれも「働いてない」が最も高くなっており、要介護3～要介護5では5割台半ばを占めている。一方、<働いている>は要支援1～2の方が高くなっている。

【主な介護者別】主な介護者の現在の勤務形態



主な介護者別では、配偶者と兄弟・姉妹で「働いてない」が高くなっており、いずれも7割台半ばとなっている。

2.8. 主な介護者の就労形態の調整

◆ 「介護のために、①労働時間を調整しながら、働いている」が約4割

(問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方に)

問8 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

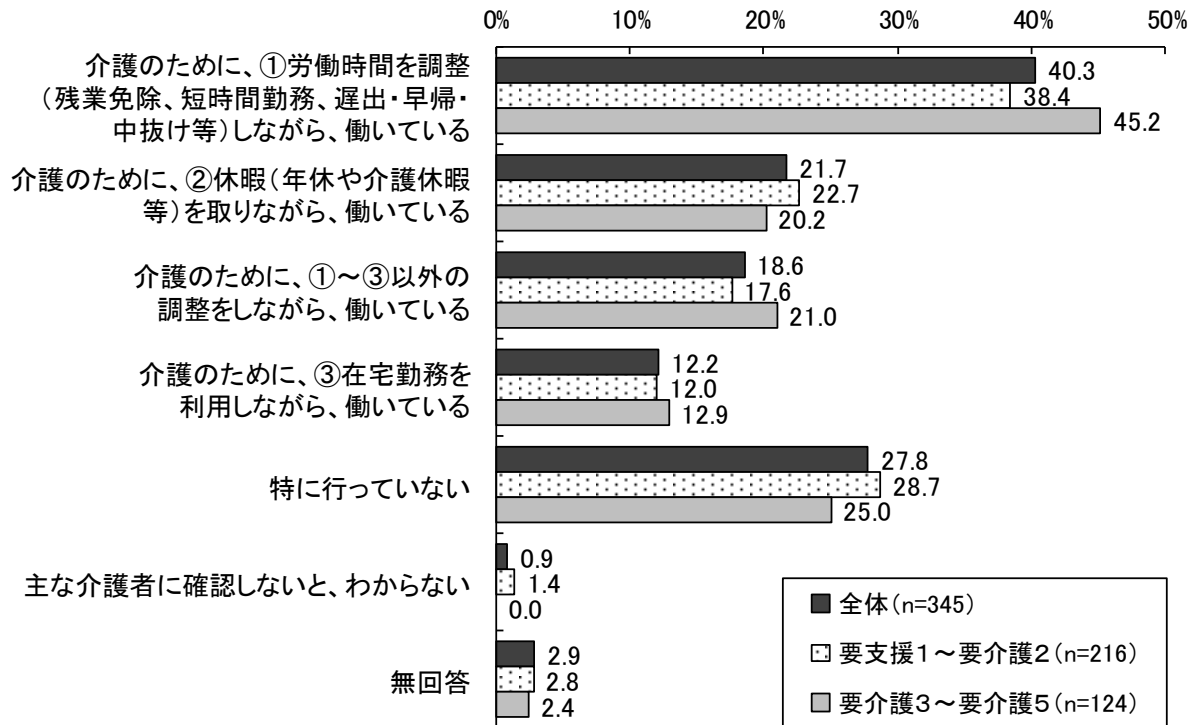


図 2-8 主な介護者の就労形態の調整

全体では、「介護のために、①労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)しながら、働いている」が約4割で最も高くなっている。

要介護度別では、要介護3～要介護5で「介護のために、①労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)しながら、働いている」が高くなっている。

【要介護度別】主な介護者の就労形態の調整

単位：%

	有効回答数(件)	介護のために、①労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)しながら、働いている	介護のために、②休暇(年休や介護休暇等)を取りながら、働いている	介護のために、①③以外の調整をしながら、働いている	介護のために、③在宅勤務を利用しながら、働いている	特に行っていない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	345	40.3	21.7	18.6	12.2	27.8	0.9	2.9
要支援1	7	14.3	0.0	14.3	0.0	57.1	0.0	14.3
要支援2	13	38.5	30.8	15.4	0.0	38.5	0.0	0.0
要介護1	112	39.3	21.4	21.4	13.4	28.6	1.8	0.9
要介護2	84	39.3	25.0	13.1	13.1	25.0	1.2	4.8
要介護3	69	46.4	18.8	21.7	15.9	27.5	0.0	4.3
要介護4	35	40.0	25.7	22.9	5.7	20.0	0.0	0.0
要介護5	20	50.0	15.0	15.0	15.0	25.0	0.0	0.0
わからない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0

要介護度別では、要支援2以上で「介護のために、①労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)しながら、働いている」が最も高くなっている。

【主な介護者の就労形態別】主な介護者の就労形態の調整

単位：%

	有効回答数(件)	介護のために、①労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)しながら、働いている	介護のために、②休暇(年休や介護休暇等)を取りながら、働いている	介護のために、①③以外の調整をしながら、働いている	介護のために、③在宅勤務を利用しながら、働いている	特に行っていない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	345	40.3	21.7	18.6	12.2	27.8	0.9	2.9
フルタイム	207	32.4	26.1	19.3	16.4	30.4	1.4	2.4
パートタイム	138	52.2	15.2	17.4	5.8	23.9	0.0	3.6

主な介護者の就労形態別では、いずれも「介護のために、①労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)しながら、働いている」が最も高く、パートタイムで働いている世帯では5割前半を占めている。

2.9. 仕事と介護の両立に効果がある支援

◆ 「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が2割台後半

(問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方に)
 問9 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで選択可)

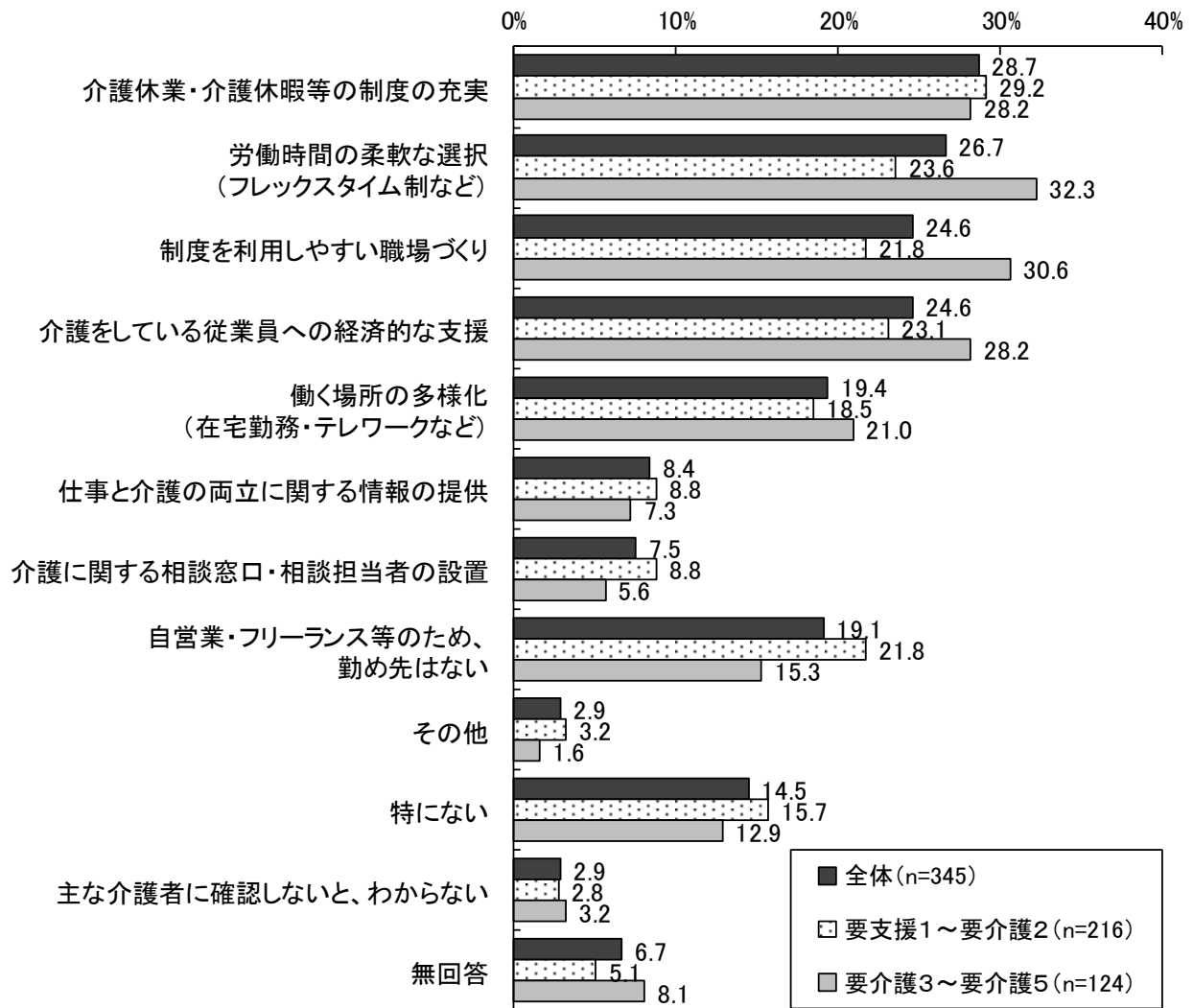


図 2-9 仕事と介護の両立に効果がある支援

全体では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が2割台後半で最も高くなっている。

要介護度別では、要介護3～要介護5で「労働時間の柔軟な選択 (フレックスタイム制など)」が最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」となっている。

【要介護度別】仕事と介護の両立に効果がある支援

単位：％

	有効回答数(件)	介護休業・介護休暇等の制度の充実	労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)	制度を利用しやすい職場づくり	介護をしている従業員への経済的な支援	働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)	仕事と介護の両立に関する情報の提供	相談担当者の設置	介護に関する相談窓口・勤め先はない	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	345	28.7	26.7	24.6	24.6	19.4	8.4	7.5	19.1	2.9	14.5	2.9	6.7	
要支援1	7	28.6	14.3	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	
要支援2	13	15.4	7.7	7.7	23.1	7.7	7.7	15.4	38.5	0.0	23.1	0.0	7.7	
要介護1	112	31.3	22.3	25.9	21.4	21.4	8.9	12.5	19.6	2.7	13.4	4.5	5.4	
要介護2	84	28.6	28.6	19.0	25.0	17.9	8.3	3.6	22.6	4.8	17.9	1.2	4.8	
要介護3	69	30.4	33.3	31.9	33.3	24.6	8.7	5.8	15.9	2.9	8.7	5.8	4.3	
要介護4	35	28.6	31.4	34.3	20.0	17.1	2.9	2.9	11.4	0.0	20.0	0.0	14.3	
要介護5	20	20.0	30.0	20.0	25.0	15.0	10.0	10.0	20.0	0.0	15.0	0.0	10.0	
わからない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	

要介護度別では、要介護5で「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が最も高く、要介護4で「制度を利用しやすい職場づくり」が最も高くなっている。

【主な介護者の就労形態別】仕事と介護の両立に効果がある支援

単位：％

	有効回答数(件)	介護休業・介護休暇等の制度の充実	労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)	制度を利用しやすい職場づくり	介護をしている従業員への経済的な支援	働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)	仕事と介護の両立に関する情報の提供	相談担当者の設置	介護に関する相談窓口・勤め先はない	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	345	28.7	26.7	24.6	24.6	19.4	8.4	7.5	19.1	2.9	14.5	2.9	6.7	
フルタイム	207	30.9	30.9	25.6	23.7	27.1	8.7	8.2	21.7	4.3	12.6	3.9	4.3	
パートタイム	138	25.4	20.3	23.2	26.1	8.0	8.0	6.5	15.2	0.7	17.4	1.4	10.1	

主な介護者の就労形態別では、フルタイムで働いている世帯で「介護休業・介護休暇等の制度の充実」と「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が最も高く、パートタイムで働いている世帯で「介護をしている従業員への経済的な支援」が最も高くなっている。

【就労している主な介護者の今後の介護の見通し別】仕事と介護の両立に効果がある支援

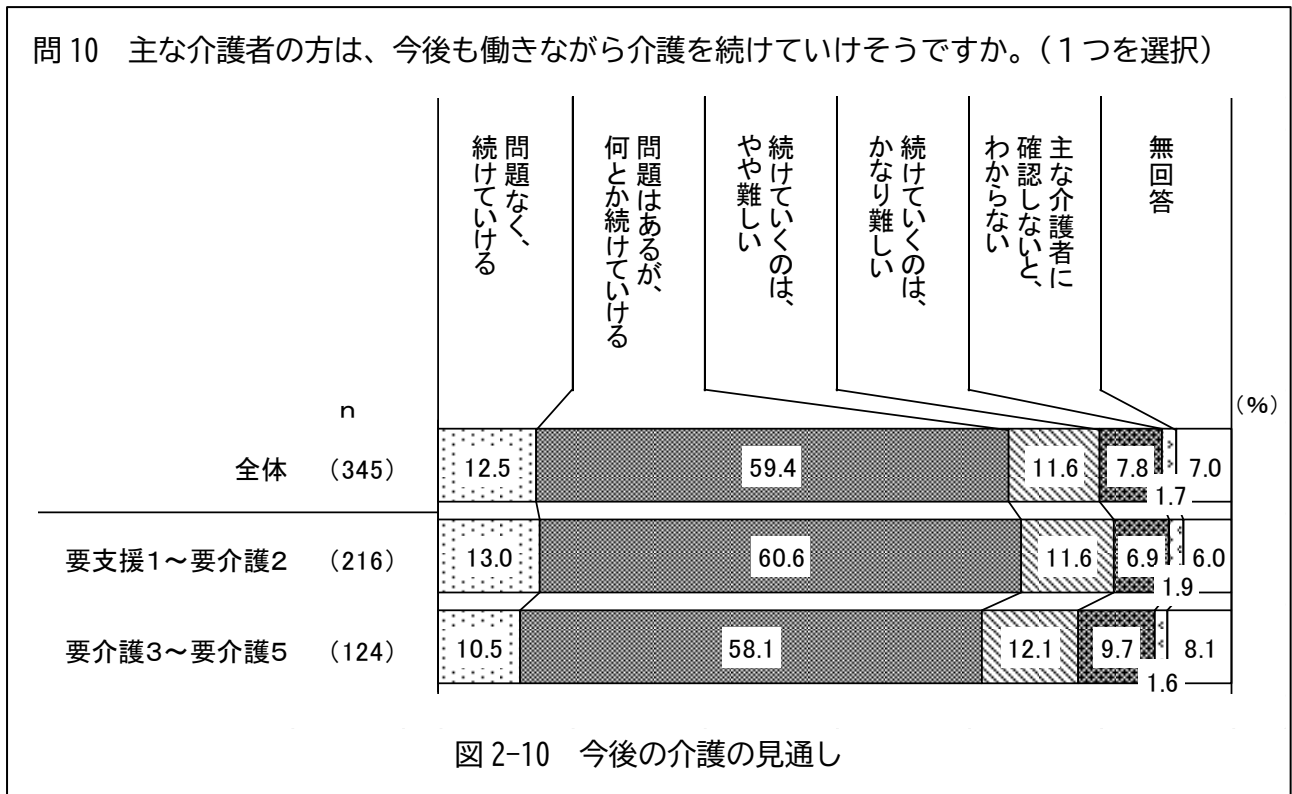
単位：％

	有効回答数(件)	介護休業・介護休暇等の制度の充実	労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)	制度を利用しやすい職場づくり	介護をしている従業員への経済的な支援	(在宅勤務・テレワークなど)	働く場所の多様化	情報の提供	仕事と介護の両立に関する	相談担当者の設置	介護に関する相談窓口・勤め先はない	自営業・フリーランス等のため	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	345	28.7	26.7	24.6	24.6	19.4	8.4	7.5	19.1	2.9	14.5	2.9	6.7			
問題なく、 続けていける	43	18.6	32.6	23.3	23.3	30.2	2.3	4.7	14.0	0.0	27.9	4.7	4.7			
問題はあるが、 何とか続けていける	205	34.1	27.8	27.8	24.9	18.5	10.2	5.9	18.0	3.4	14.1	1.5	3.9			
続けていくのは、 やや難しい	40	30.0	25.0	22.5	35.0	20.0	7.5	15.0	30.0	0.0	7.5	0.0	0.0			
続けていくのは、 かなり難しい	27	33.3	33.3	29.6	25.9	29.6	3.7	14.8	29.6	11.1	3.7	0.0	3.7			
主な介護者に確認 しないと、わからない	6	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	66.7	0.0			

就労している主な介護者の今後の介護の見通し別では、続けていくのは、かなり難しいと回答した世帯で「介護休業・介護休暇等の制度の充実」と「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が最も高く、続けていくのは、やや難しいと回答した世帯で「介護をしている従業員への経済的な支援」が最も高くなっている。

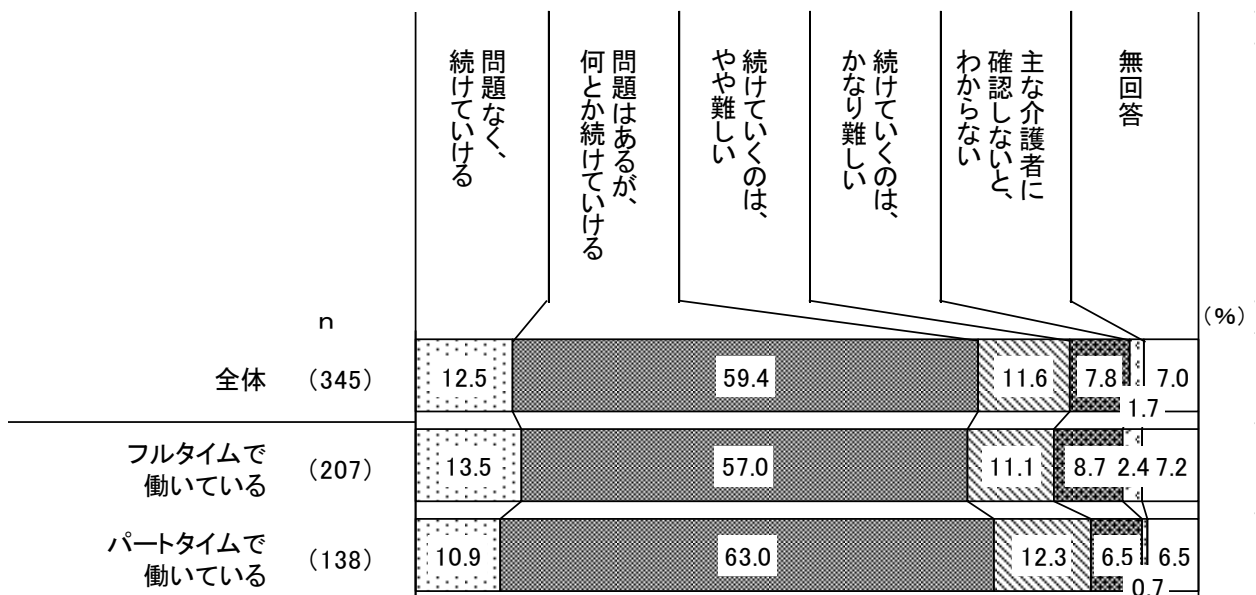
2.10. 今後の介護の見通し

◆ 「問題はあるが、何とか続けていける」が約6割



全体では、「問題はあるが、何とか続けていける」が約6割を占めている。
要介護度別では、いずれも「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高くなっている。

【主な介護者の就労形態別】今後の介護の見通し



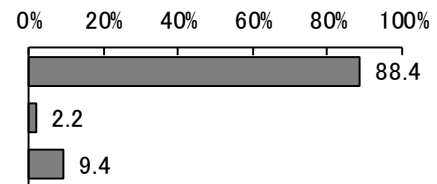
主な介護者の就労形態別では、「問題なく続けていける」がパートタイムで働いている世帯ではやや低くなっている。

ケアマネジャー調査

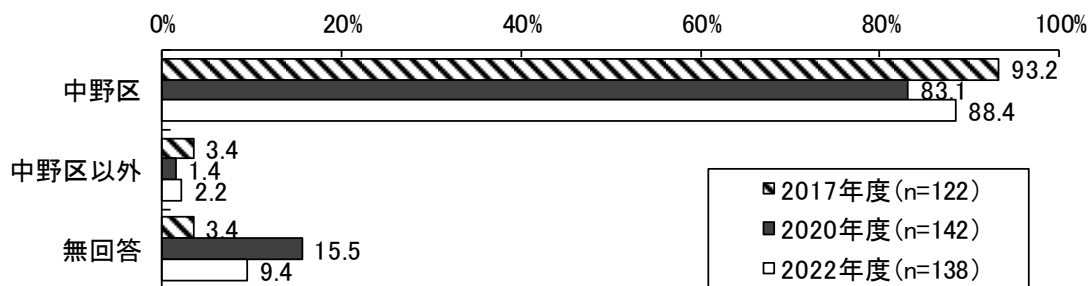
1. 回答者の属性

1.1. 所属する事業所の所在地

	基数	構成比(%)
中野区	122	88.4
中野区以外	3	2.2
無回答	13	9.4
全体	138	100.0



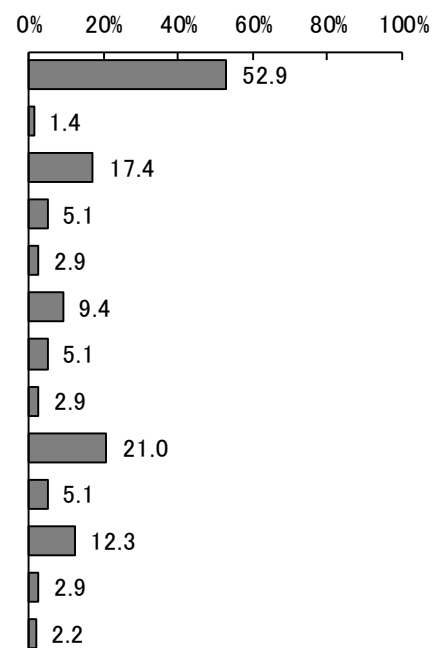
【経年比較】所属する事業所の所在地



1.2. 所属する事業所が提供するサービス（複数回答）

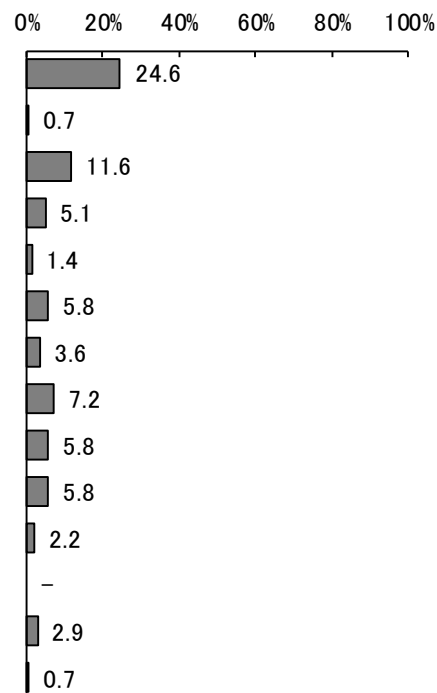
<介護（居宅）サービス>

	基数	構成比(%)
訪問介護	73	52.9
訪問入浴介護	2	1.4
訪問看護	24	17.4
訪問リハビリテーション	7	5.1
居宅療養管理指導	4	2.9
福祉用具（貸与）	13	9.4
特定福祉用具（販売）	7	5.1
住宅改修	4	2.9
通所介護（小規模通所含む）	29	21.0
通所リハビリテーション	7	5.1
短期入所生活介護	17	12.3
短期入所療養介護	4	2.9
特定施設入居者生活介護	3	2.2
介護（居宅）サービス（計）	194	



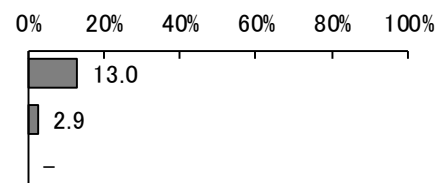
<介護予防サービス>

	基数	構成比(%)
予防訪問サービス(旧予防訪問介護)	34	24.6
予防訪問入浴介護	1	0.7
予防訪問看護	16	11.6
予防訪問リハビリテーション	7	5.1
予防居宅療養管理指導	2	1.4
予防福祉用具(貸与)	8	5.8
予防特定福祉用具(販売)	5	3.6
予防通所サービス(旧予防通所介護)	10	7.2
予防通所リハビリテーション	8	5.8
予防短期入所生活介護	8	5.8
予防短期入所療養介護	3	2.2
予防特定施設入居者生活介護	-	-
生活援助サービス(緩和基準訪問サービス)	4	2.9
活動援助サービス(緩和基準通所サービス)	1	0.7
介護予防サービス(計)	107	



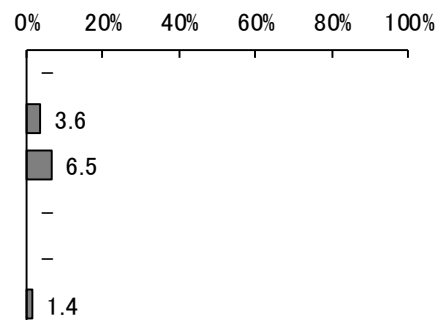
<施設サービス>

	基数	構成比(%)
介護老人福祉施設	18	13.0
介護老人保健施設	4	2.9
介護医療院(介護療養型医療施設)	-	-
施設サービス(計)	22	



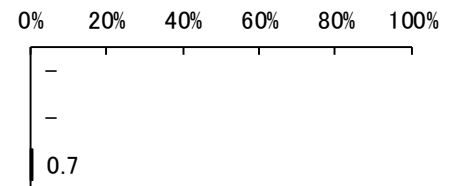
<地域密着型サービス>

	基数	構成比(%)
夜間対応型訪問介護	-	-
小規模多機能型居宅介護	5	3.6
認知症対応型通所介護	9	6.5
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	-	-
看護小規模多機能型居宅介護	-	-
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	1.4
地域密着型サービス(計)	16	



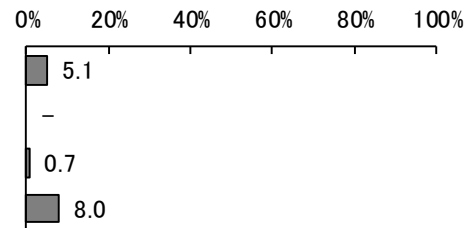
<介護予防（地域密着型）サービス>

	基数	構成比(%)
予防小規模多機能型居宅介護	-	-
予防認知症対応型通所介護	-	-
予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	1	0.7
介護予防地域密着型サービス(計)	1	



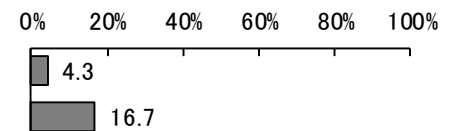
<その他のサービス>

	基数	構成比(%)
病院・診療所	7	5.1
薬局	-	-
都市型軽費老人ホーム	1	0.7
その他のサービス	11	8.0
その他のサービス(計)	19	

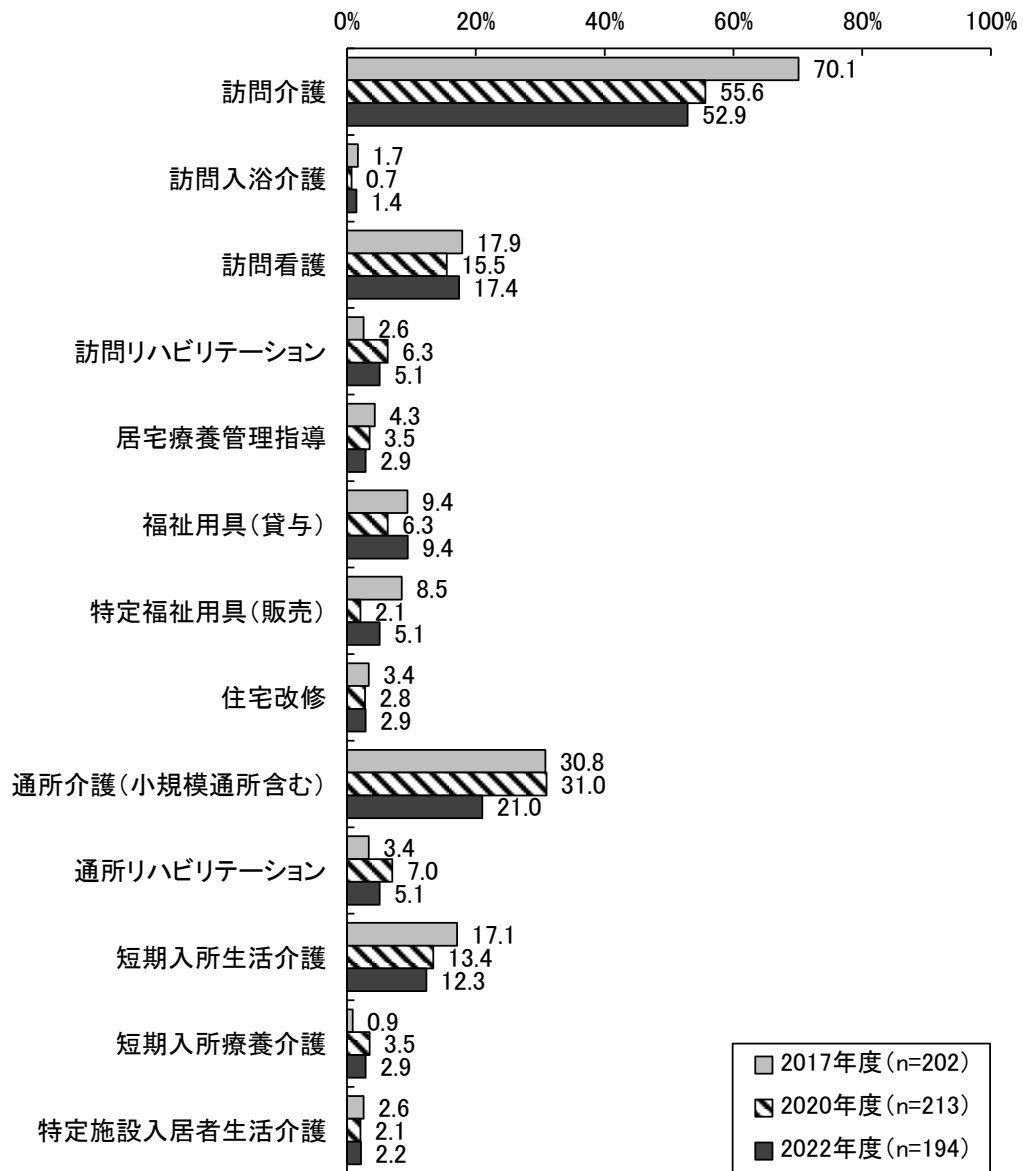


<その他>

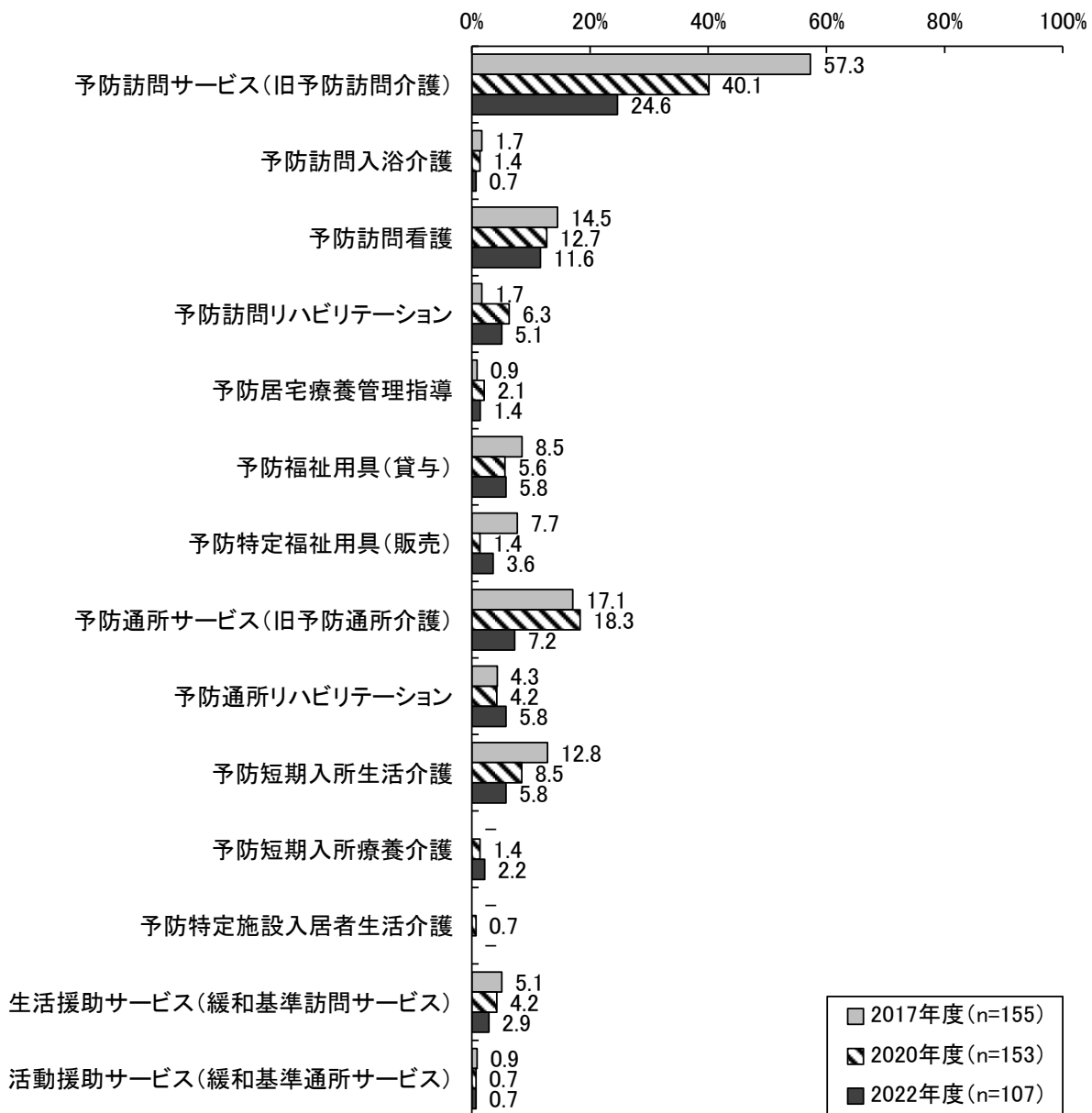
	基数	構成比(%)
併設事業なし	6	4.3
無回答	23	16.7
全体	138	100.0



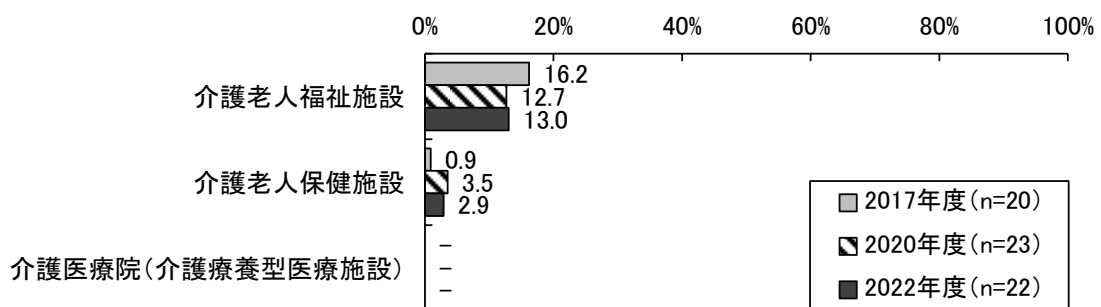
【経年比較】介護（居宅）サービス



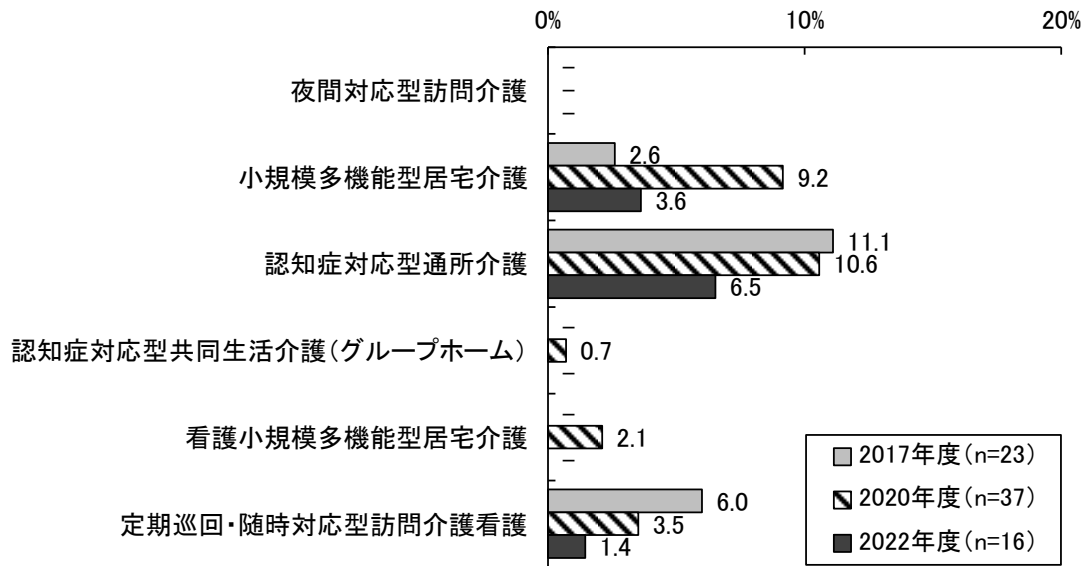
【経年比較】介護予防サービス



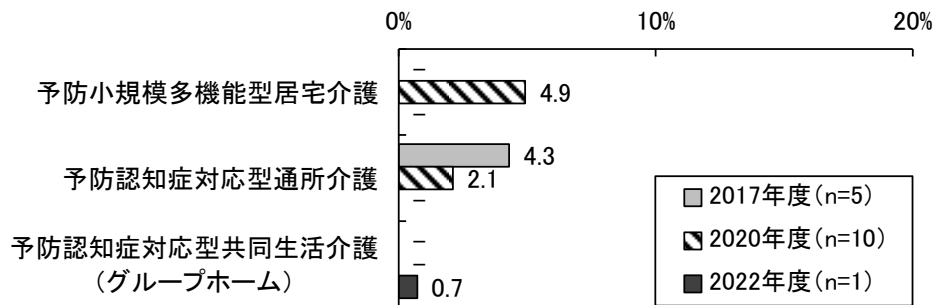
【経年比較】施設サービス



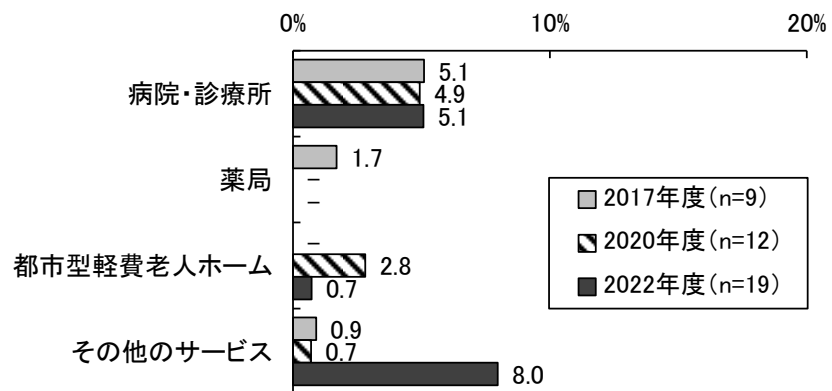
【経年比較】地域密着型サービス



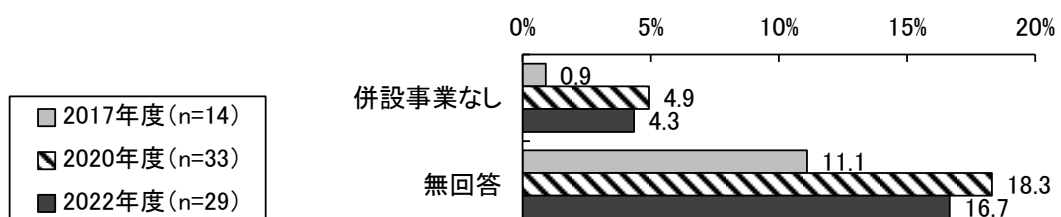
【経年比較】介護予防地域密着型サービス



【経年比較】その他のサービス

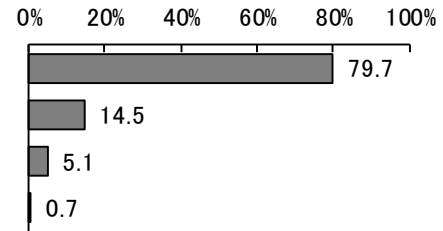


【経年比較】その他

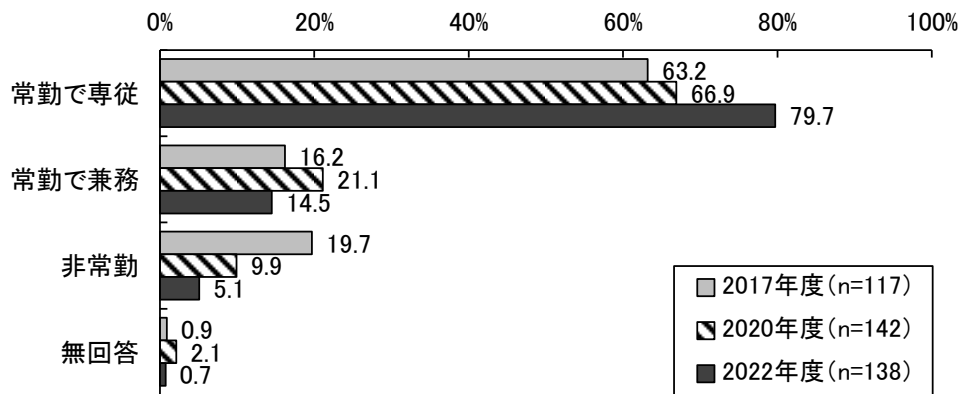


1.3. 勤務体系

	基数	構成比(%)
常勤で専従	110	79.7
常勤で兼務	20	14.5
非常勤	7	5.1
無回答	1	0.7
全体	138	100.0

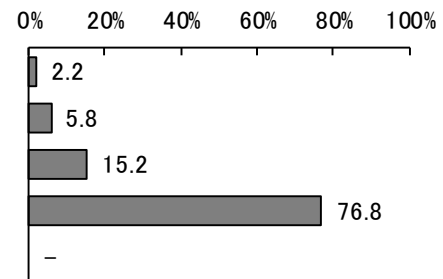


【経年比較】勤務体系

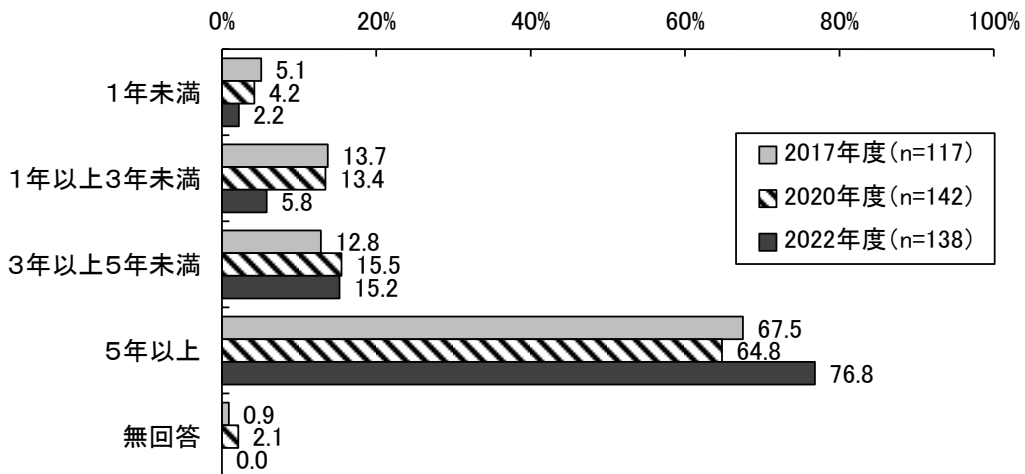


1.4. ケアマネジャーとしての従事期間

	基数	構成比(%)
1年未満	3	2.2
1年以上3年未満	8	5.8
3年以上5年未満	21	15.2
5年以上	106	76.8
無回答	-	-
全体	138	100.0

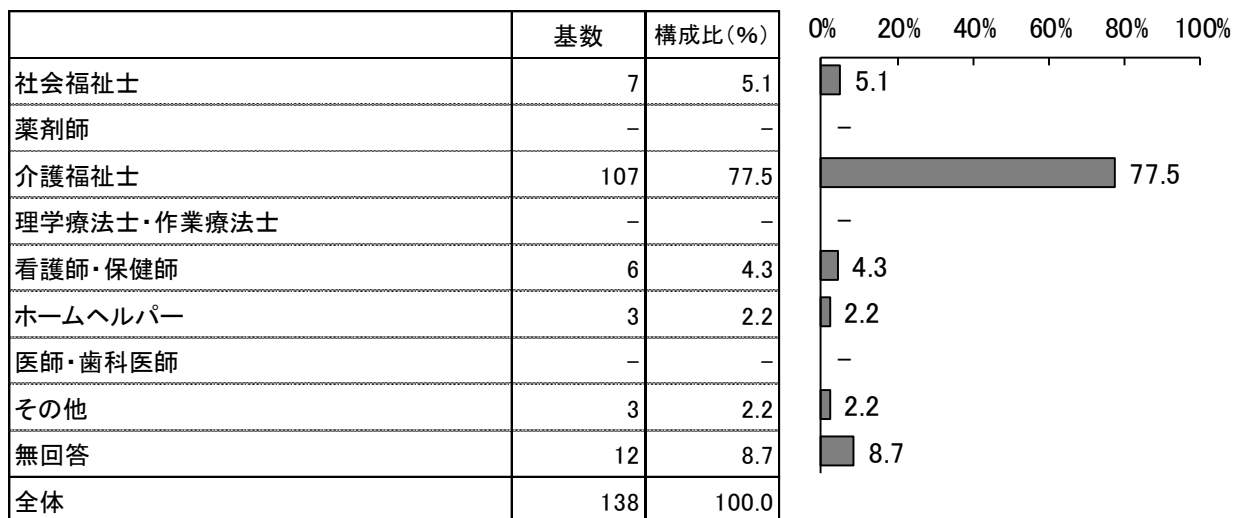


【経年比較】ケアマネジャーとしての従事期間

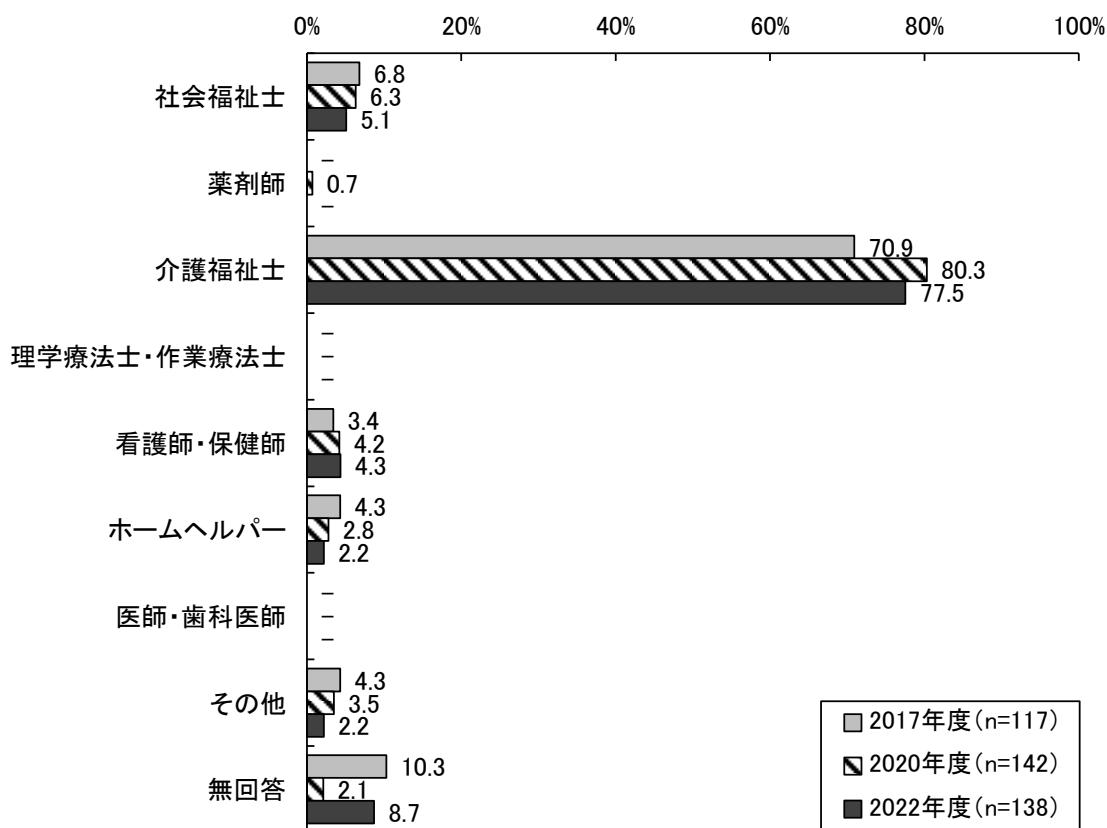


1.5. ケアマネジャー受験資格と当該職種の従事年数

<受験資格>

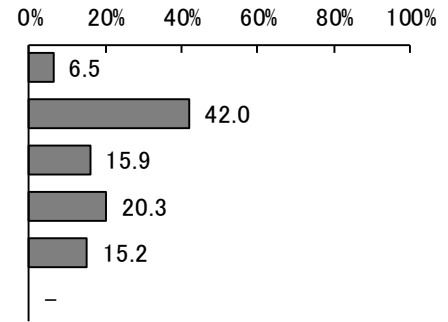


【経年比較】受験資格

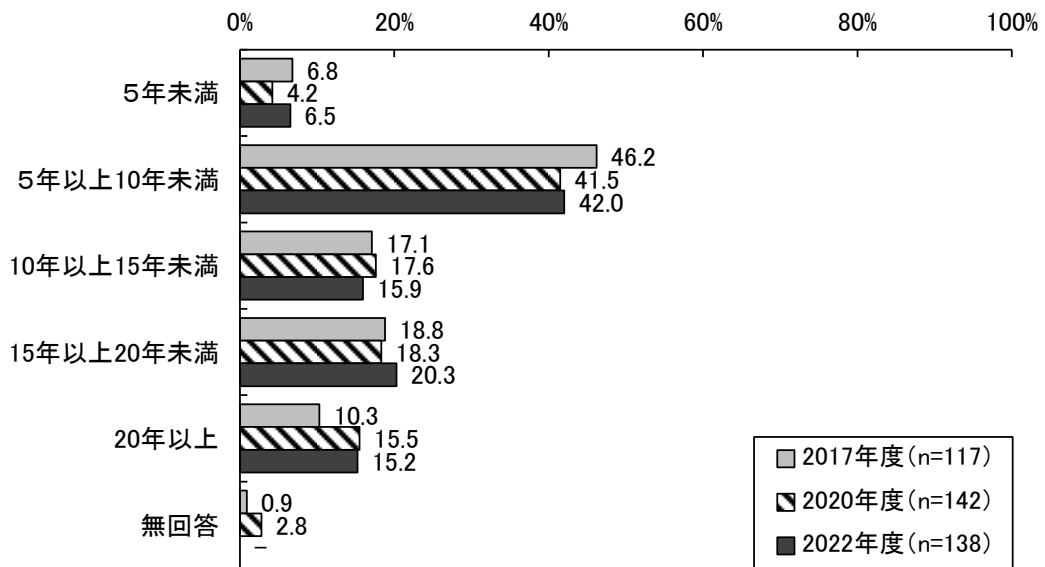


<当該職種の従事年数>

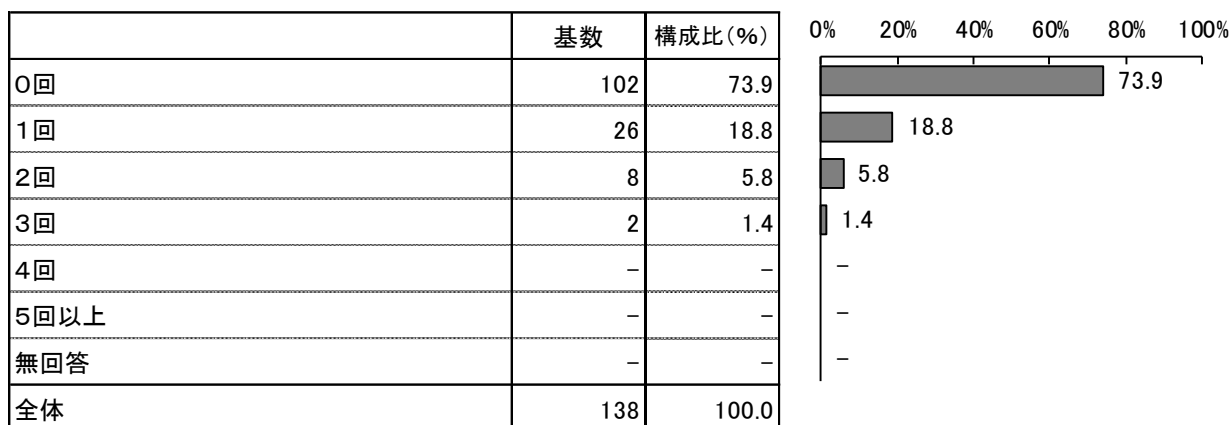
	基数	構成比(%)
5年未満	9	6.5
5年以上10年未満	58	42.0
10年以上15年未満	22	15.9
15年以上20年未満	28	20.3
20年以上	21	15.2
無回答	-	-
全体	138	100.0



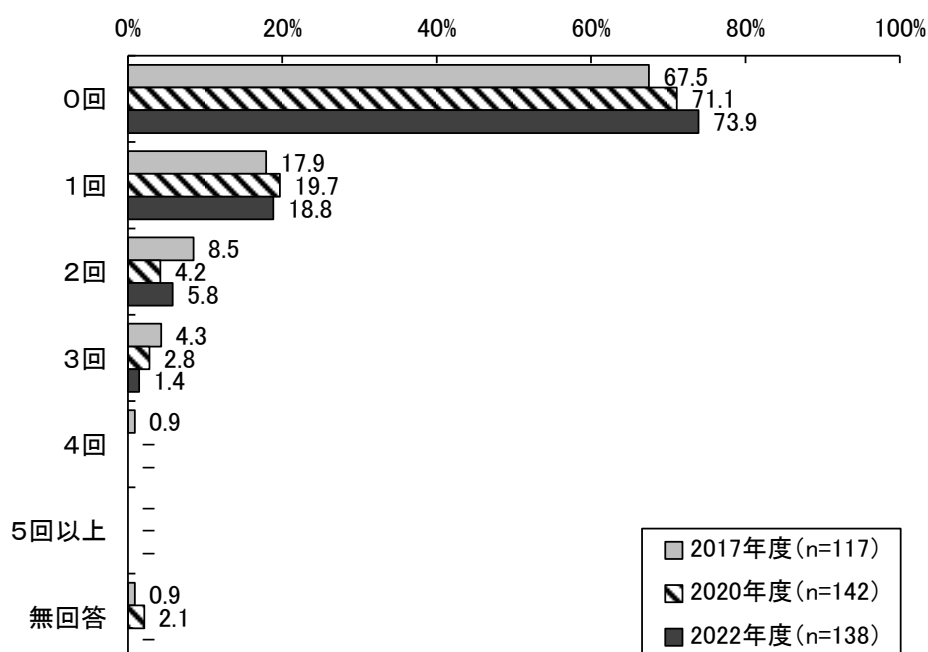
【経年比較】当該職種の従事年数



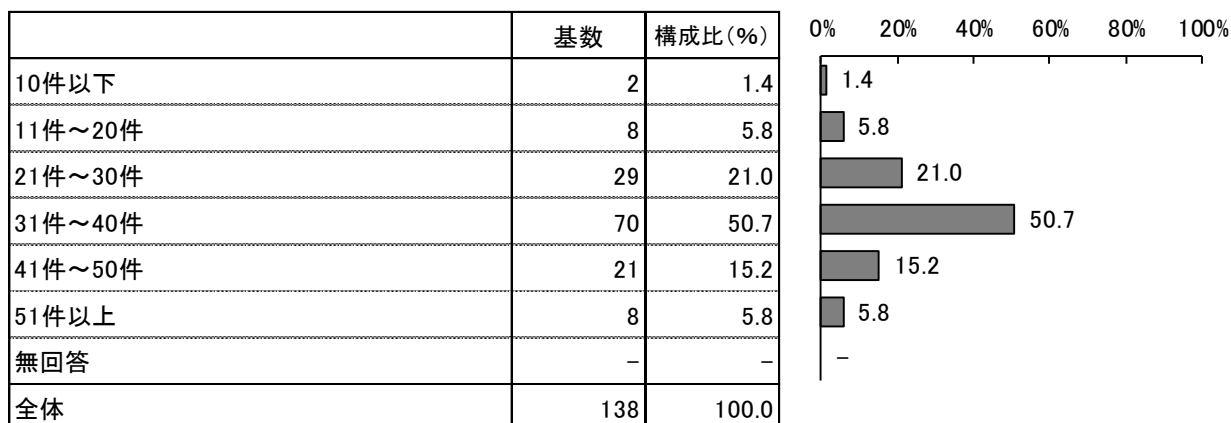
1.6. 過去3年間で、所属事業所を変った回数



【経年比較】過去3年間で、所属事業所を変った回数

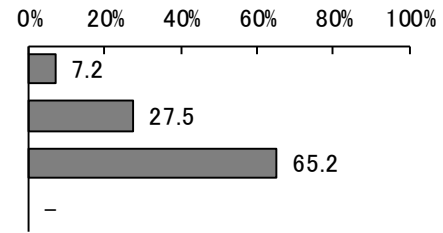


1.7. 給付管理件数

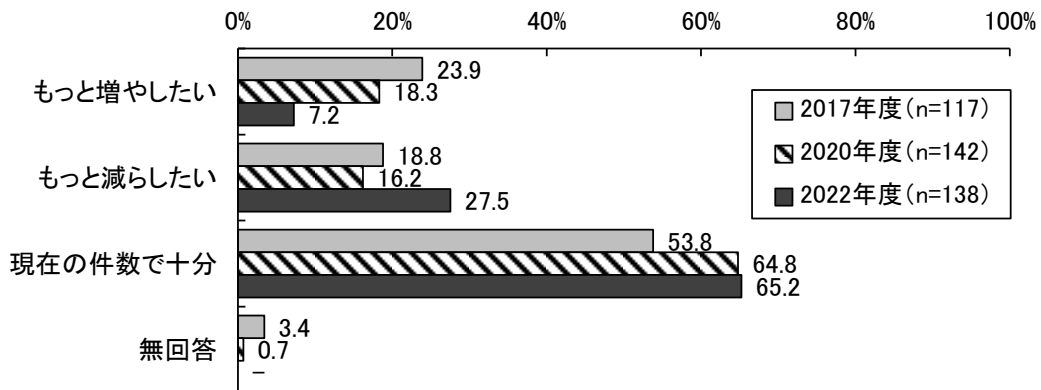


1.8. 作成する居宅サービス計画の件数

	基数	構成比(%)
もっと増やしたい	10	7.2
もっと減らしたい	38	27.5
現在の件数で十分	90	65.2
無回答	-	-
全体	138	100.0

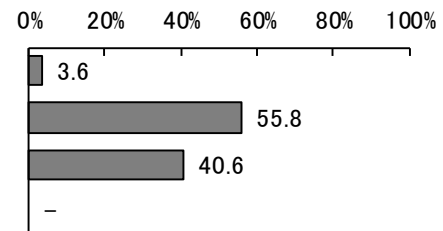


【経年比較】作成する居宅サービス計画の件数

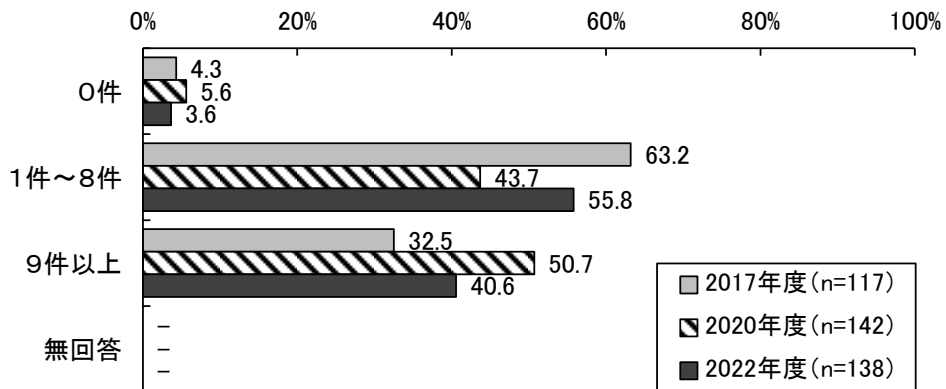


1.9. 介護予防サービス計画の受託または作成人数

	基数	構成比(%)
0件	5	3.6
1件～8件	77	55.8
9件以上	56	40.6
無回答	-	-
全体	138	100.0



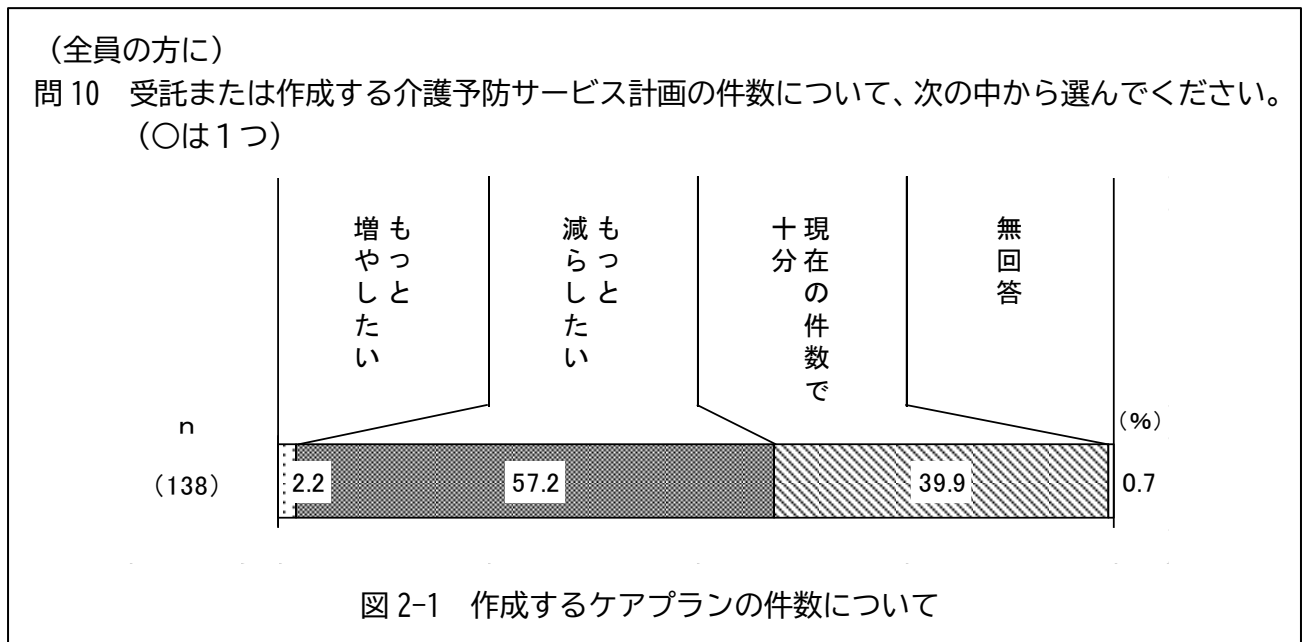
【経年比較】介護予防サービス計画の受託または作成人数



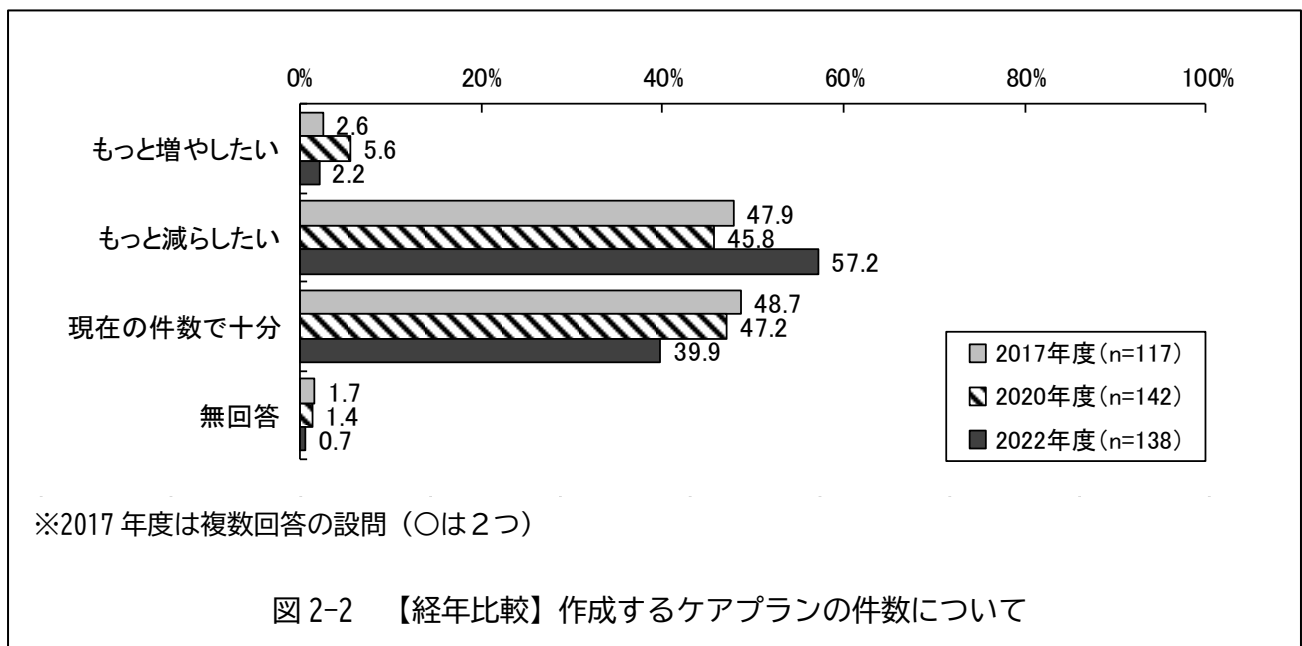
2. ケアプラン・介護予防について

2.1. 作成するケアプランの件数について

◆ 「もっと減らしたい」が5割台後半



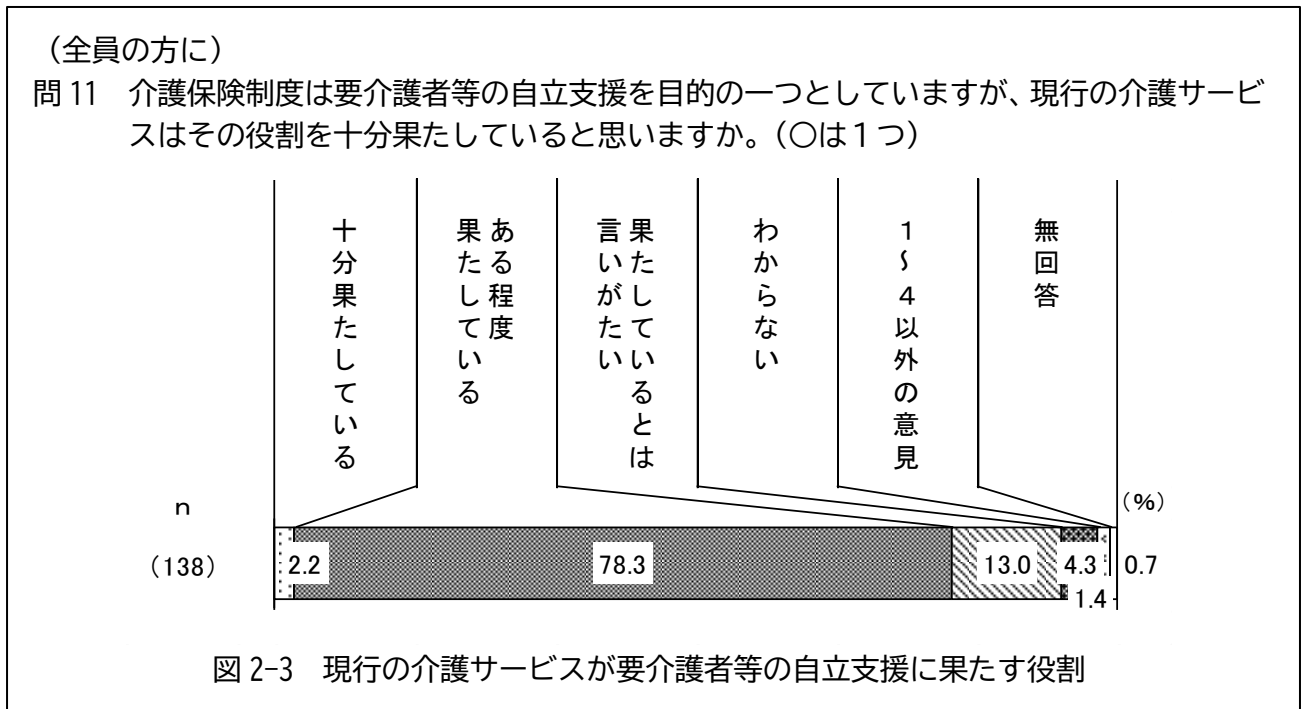
「もっと減らしたい」が5割台後半を占めている。



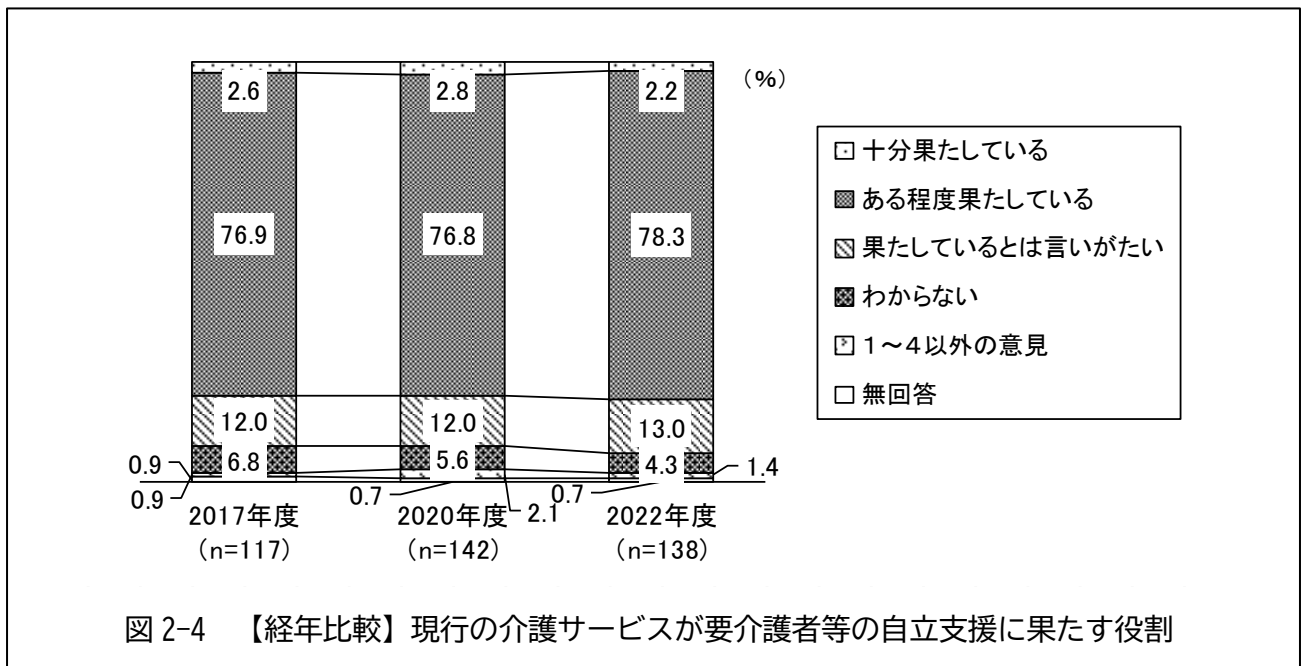
経年比較では、「もっと減らしたい」が11.4ポイント増加している。

2.2. 現行の介護サービスが要介護者等の自立支援に果たす役割

◆ 「ある程度果たしている」が7割台後半



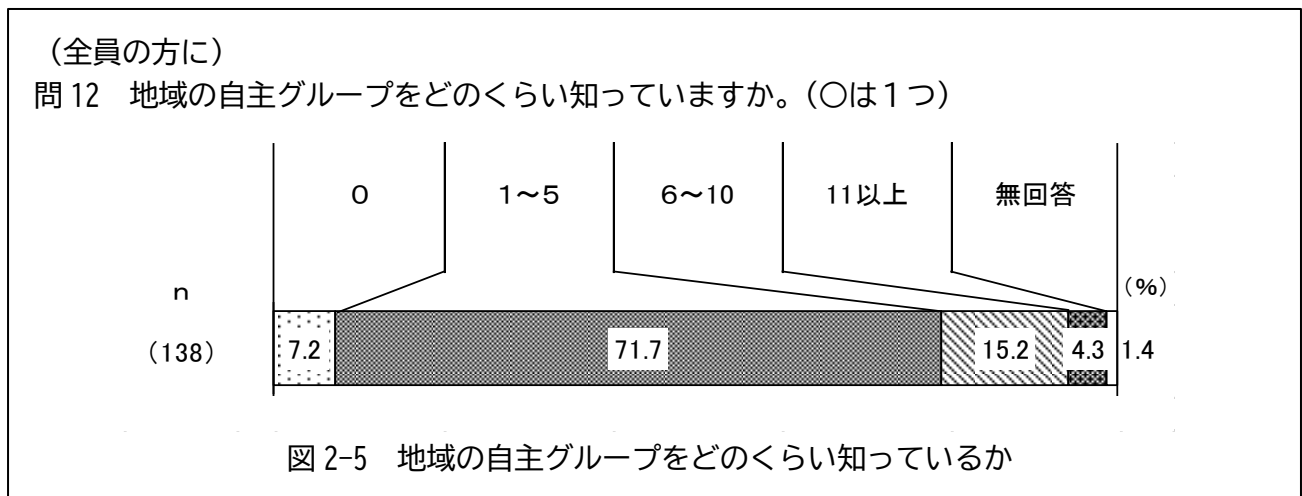
「ある程度果たしている」が7割台後半を占めている。



経年比較では、大きな差異はみられない。

2.3. 地域の自主グループをどのくらい知っているか

◆ 「1～5」が約7割



「1～5」が約7割を占めている。

2.4. ケアプランに地域資源を盛り込んでいるか

◆ 「はい」が9割台半ば

(全員の方に)

問 13 ケアプランに介護保険外のボランティアや地域活動等の地域資源を盛り込んでいますか。(〇は1つ)

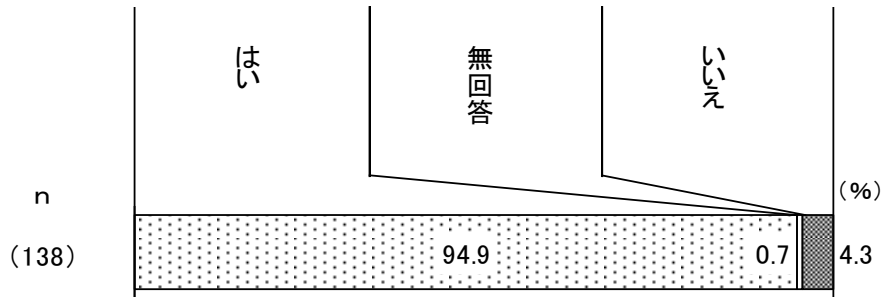


図 2-6 ケアプランに地域資源を盛り込んでいるか

「はい」が9割台半ばを占めている。

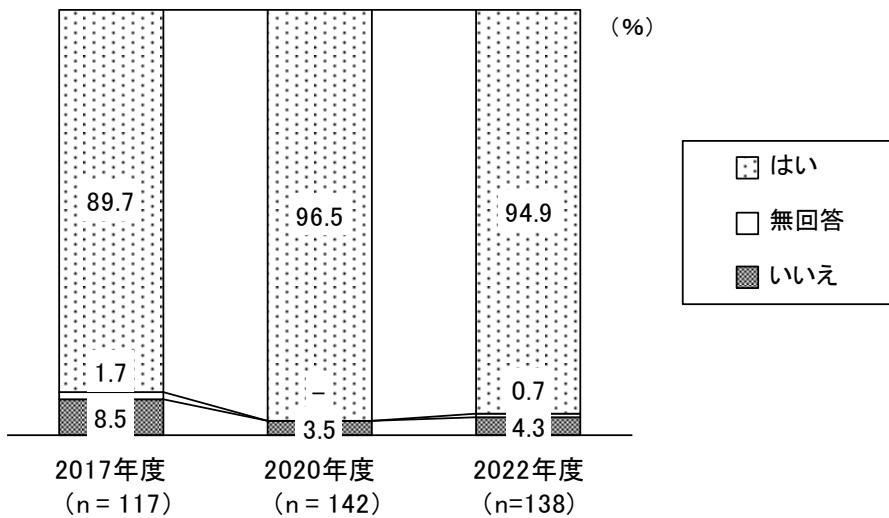


図 2-7 【経年比較】ケアプランに地域資源を盛り込んでいるか

経年比較では、大きな差異はみられない。

2.5. ケアプランに盛り込んでいる地域資源

◆ 「民間の配食サービス」が8割台後半

(問13で「はい」と回答した方に)
 問13A 具体的にケアプランに盛り込んでいる地域資源はなんですか。
 (あてはまるものすべてに○)

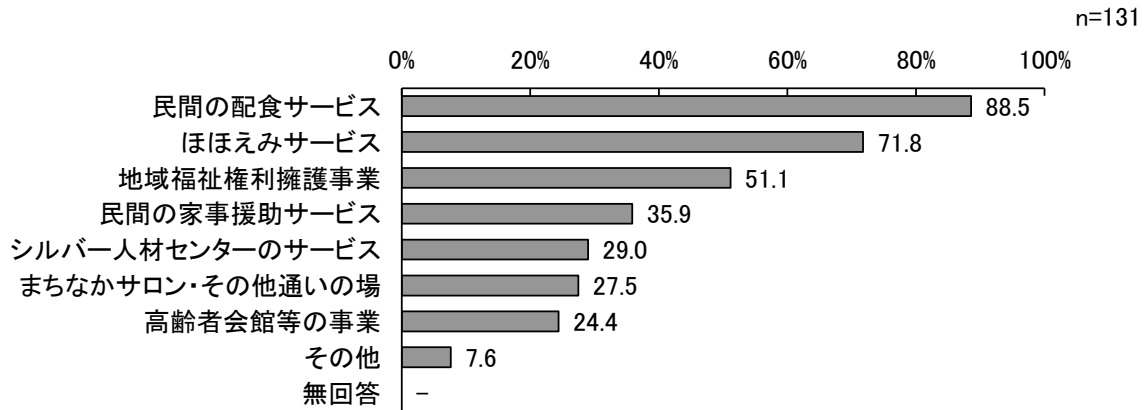


図2-8 ケアプランに盛り込んでいる地域資源

「民間の配食サービス」が8割台後半で最も高く、次いで「ほほえみサービス」が約7割となっており、ともに高い割合を占めている。

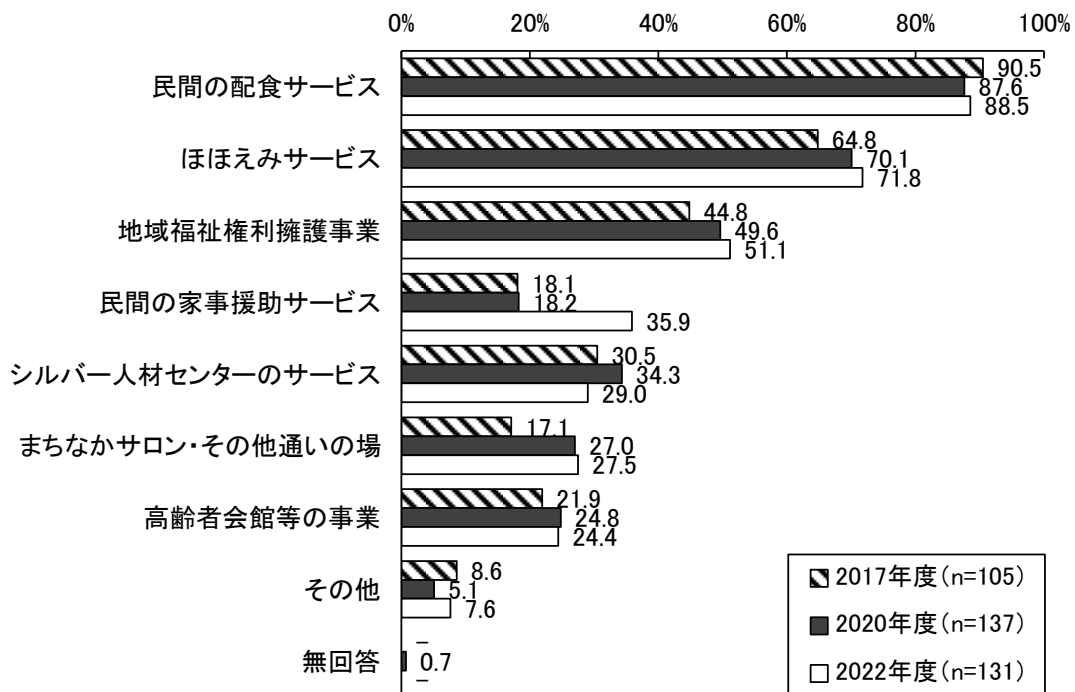


図2-9 【経年比較】ケアプランに盛り込んでいる地域資源

経年比較では、「民間の家事援助サービス」が2020年度から17.7ポイント増加している。

2.6. ケアプランに地域資源を盛り込む上での課題（自由回答）

（全員の方に）

問 14 ケアプランに地域資源を盛り込む上での課題は何だと思えますか。ご自由にお書きください。

ケアプランに地域資源を盛り込む上での課題について、102 件の回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

- ケアプランに盛り込みたいが、例えばほほえみサービスは協力会員さんとのマッチングが成立せず利用できないことが多い。そもそも地域資源が少なく生保の方や金銭に余力のない方は使えず問題解決や自立支援の一助になり難い。
- まちなかサロンや通いの場はあるが、一人ではいけない方を送迎する手段がほしい
- CMが地域資源をきちんと把握できる機会
- 手続きが時間かかる
- 本人のニーズと地域資源がマッチングするか。地域資源を利用するうえでどのくらいの情報提供が必要かの検討
- 各々の社会資源の特徴を正確に把握し伝えるための資料がないこと
- 地域に社会資源が少ないと思う
- 個人情報に留意したうえでの連携をどうするか
- 専門性、継続性、安定性に欠ける点がある
- すべての多職種連携が必要で、情報共有し支援することが大事である
- 本人と家族の要求に合わせて自立支援の一助となるサービスを選択し提案する
- 具体的にどのようなものを行っているか、リストを作る等、WEB上にあげる等情報を共有する必要がある
- 利用者のニーズに合うサービスを充てるのが難しい。条件が合わずに断念したことがある
- 家族の理解
- どこでどんな活動が展開されているのかいまいちわからない。促し一緒に行く人（送り迎えの人）がいれば地域活動に歩いて参加できるがそれがないのでどうしても連れ出してあげることまではできない
- ケアマネが地域資源を把握していない。ボランティア不足（成り手がいない）手段が少ない（会場が遠い、階段があって介助ができないと到達できない等）
- 地域資源の情報が、変更されたことを把握しにくい。情報が一箇所にまとまっていないこと。
- うまく、フォーマルサービスのすき間をうめる自立を促す地域資源が少ない。
- 社会資源には、地域差もある。各地域の地域性を把握し、地域にない社会資源を作っていく。
- 導入までに時間がかかることがある。
- 守秘義務の取り扱いについて（ボランティアの方などに、利用者の病状や家族状況・生活状況等をどこまで伝えるかが課題）

2.7. 供給不足のため、利用者に提供できないサービス

◆ 「通所リハビリテーション」と「介護老人保健施設」が4割台前半

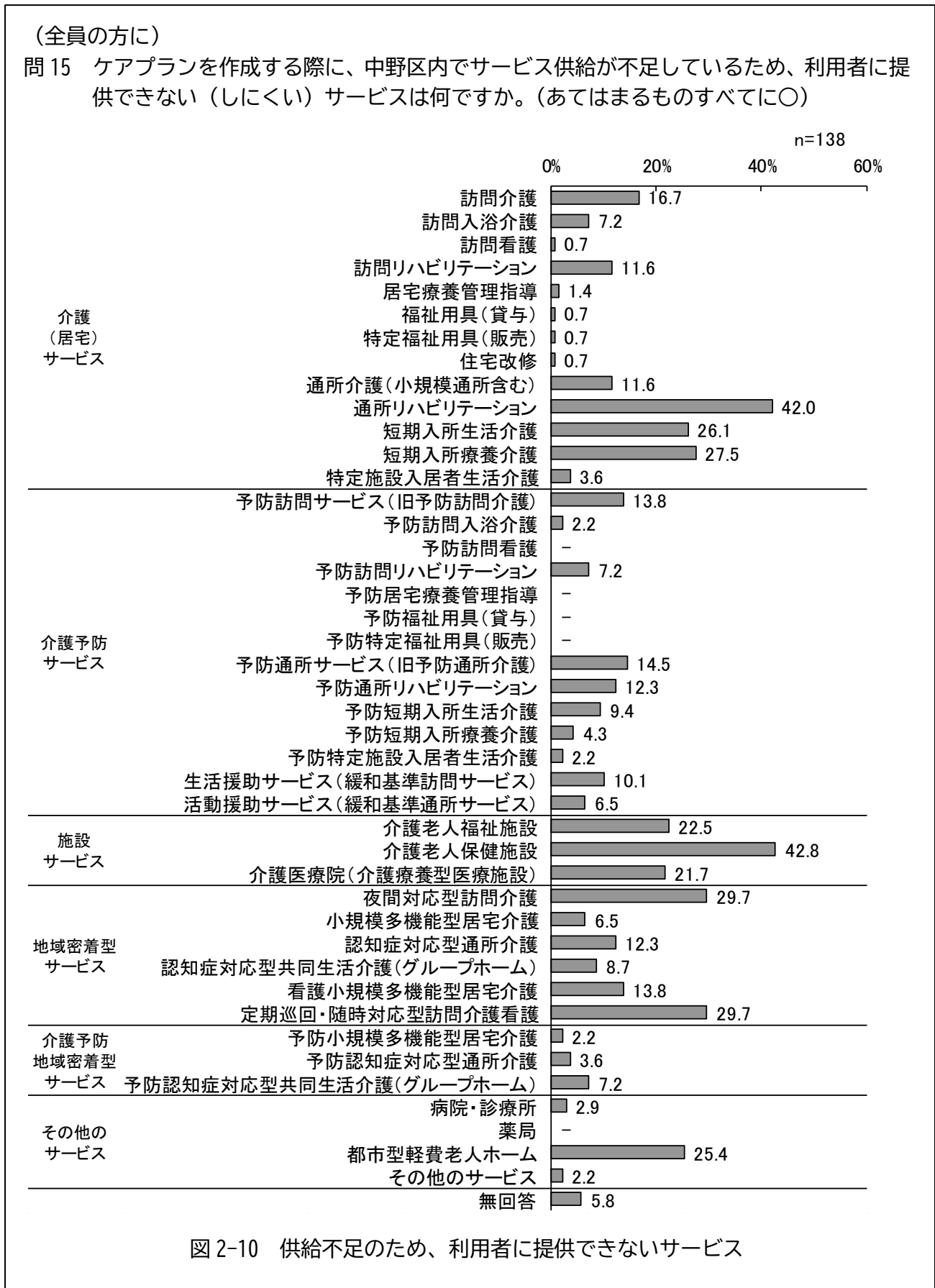


図 2-10 供給不足のため、利用者に提供できないサービス

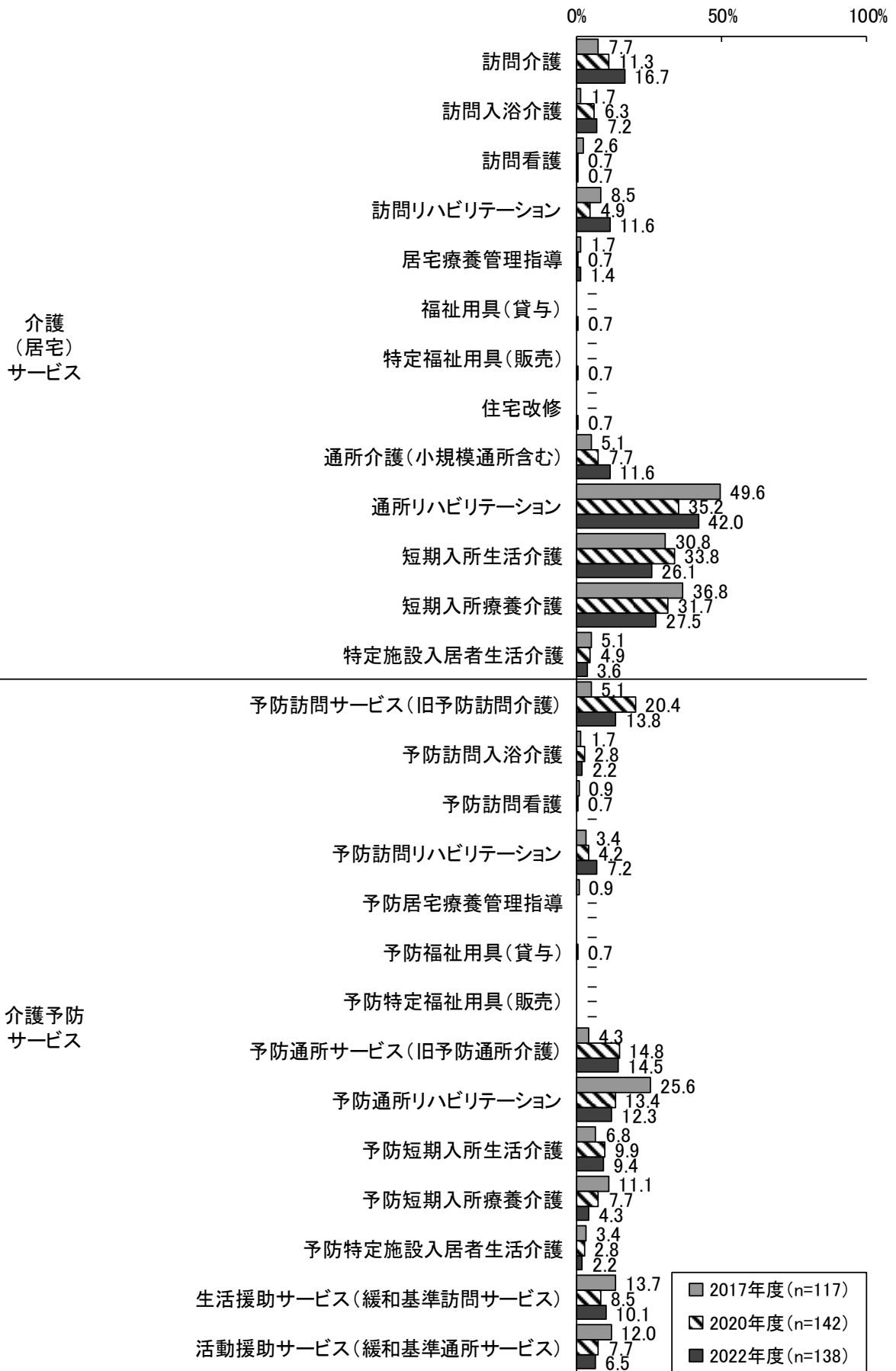
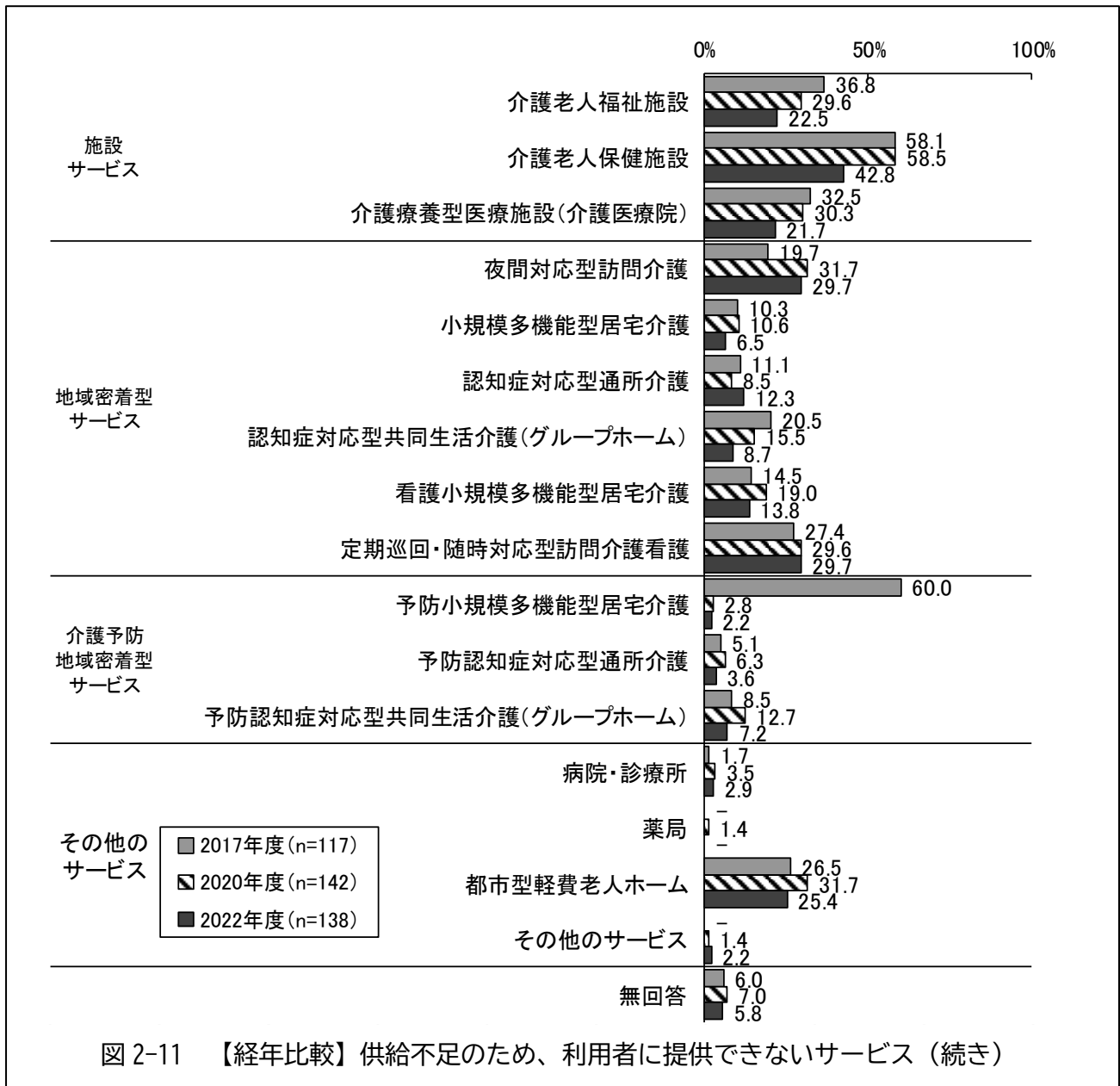


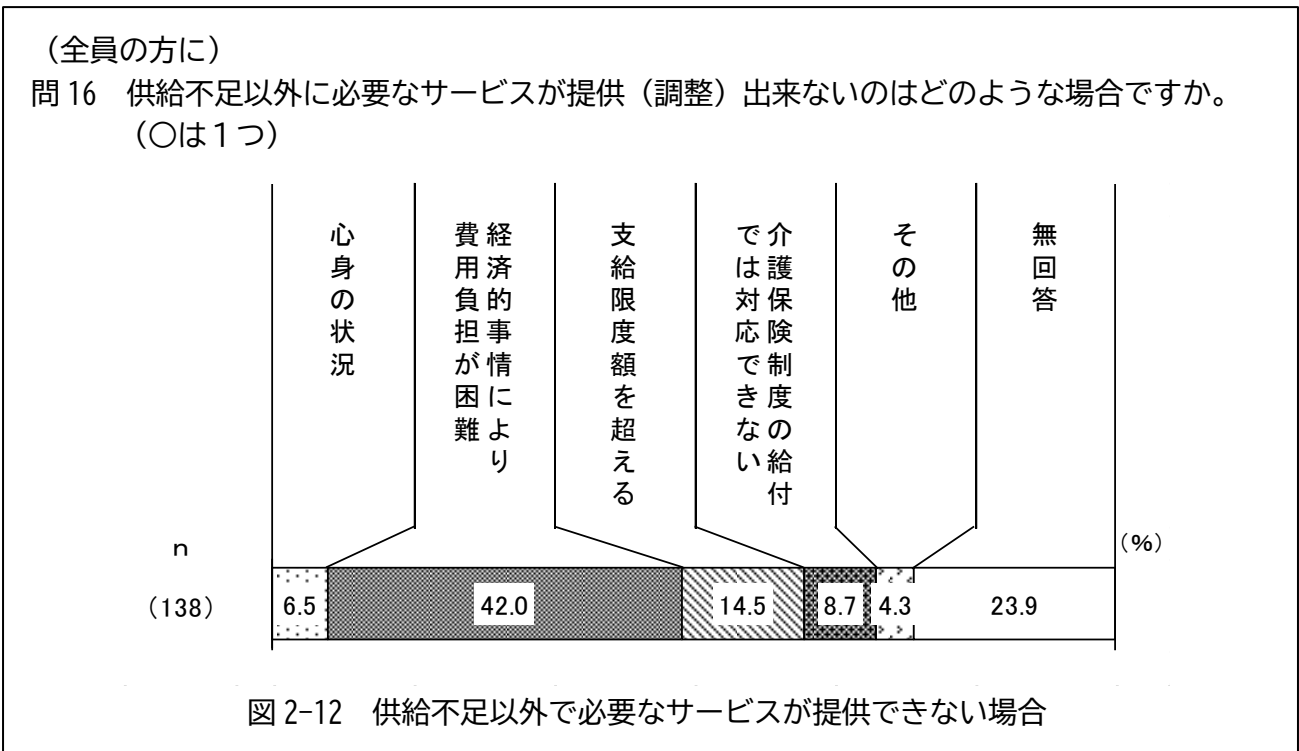
図 2-11 【経年比較】供給不足のため、利用者に提供できないサービス



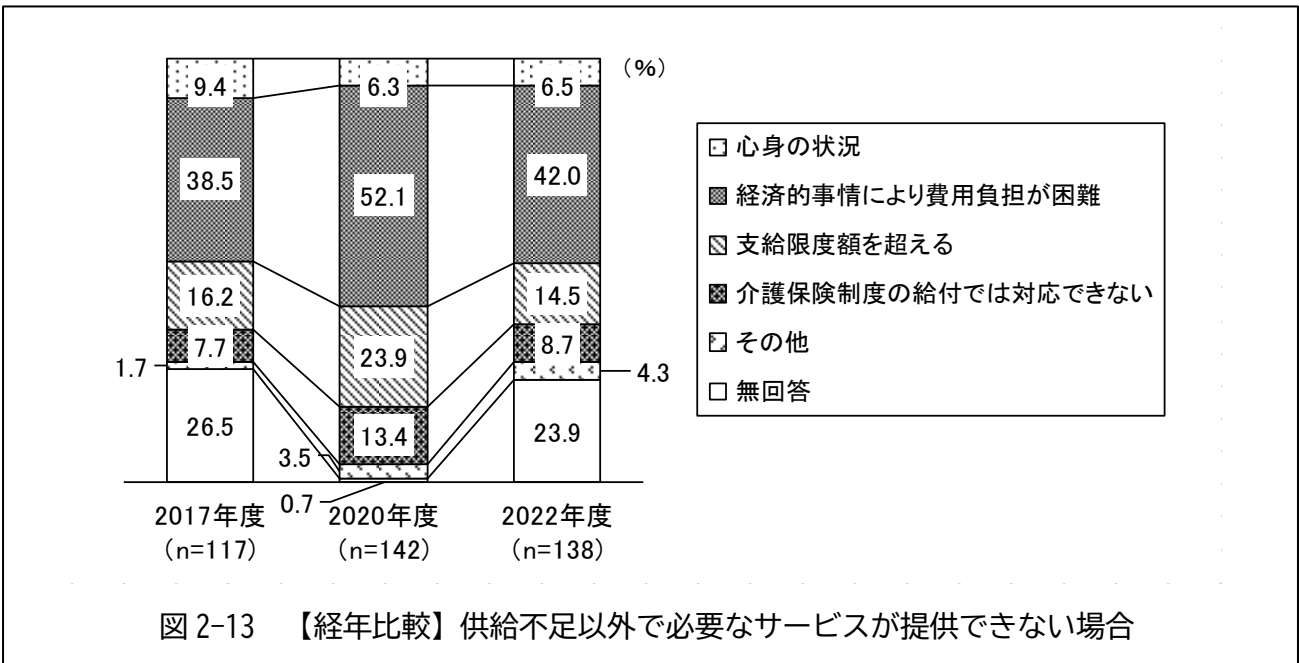
ケアプランを作成する際に、中野区内でサービス供給が不足しているため、利用者に提供できない(しにくい)サービスは、「介護老人保健施設」が42.8%で最も高く、以下「通所リハビリテーション」、「夜間対応型訪問介護」、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「短期入所療養介護」などとなっている。経年比較では、「訪問介護」「訪問リハビリテーション」「通所リハビリテーション」は2020年度から5ポイント以上の増加となっている。

2.8. 供給不足以外に必要なサービスが提供できない場合

◆ 「経済的事情により費用負担が困難」が4割前半



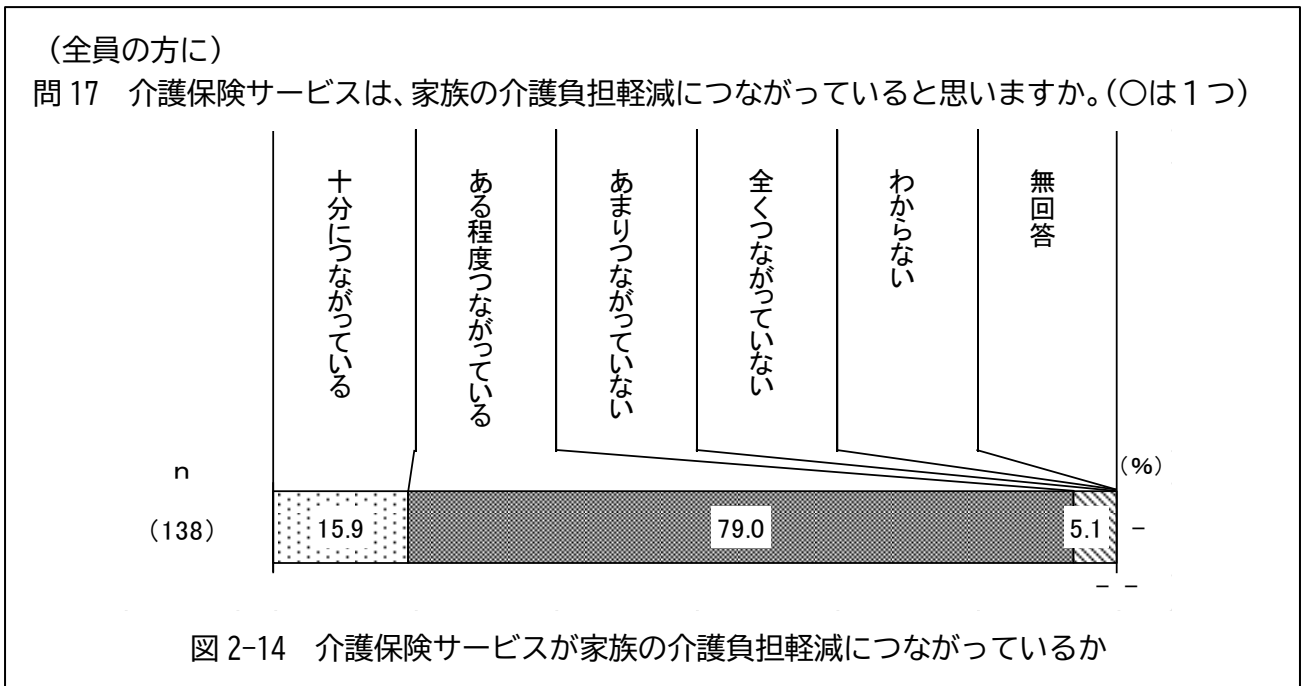
「経済的事情により費用負担が困難」が4割前半で最も高くなっている。



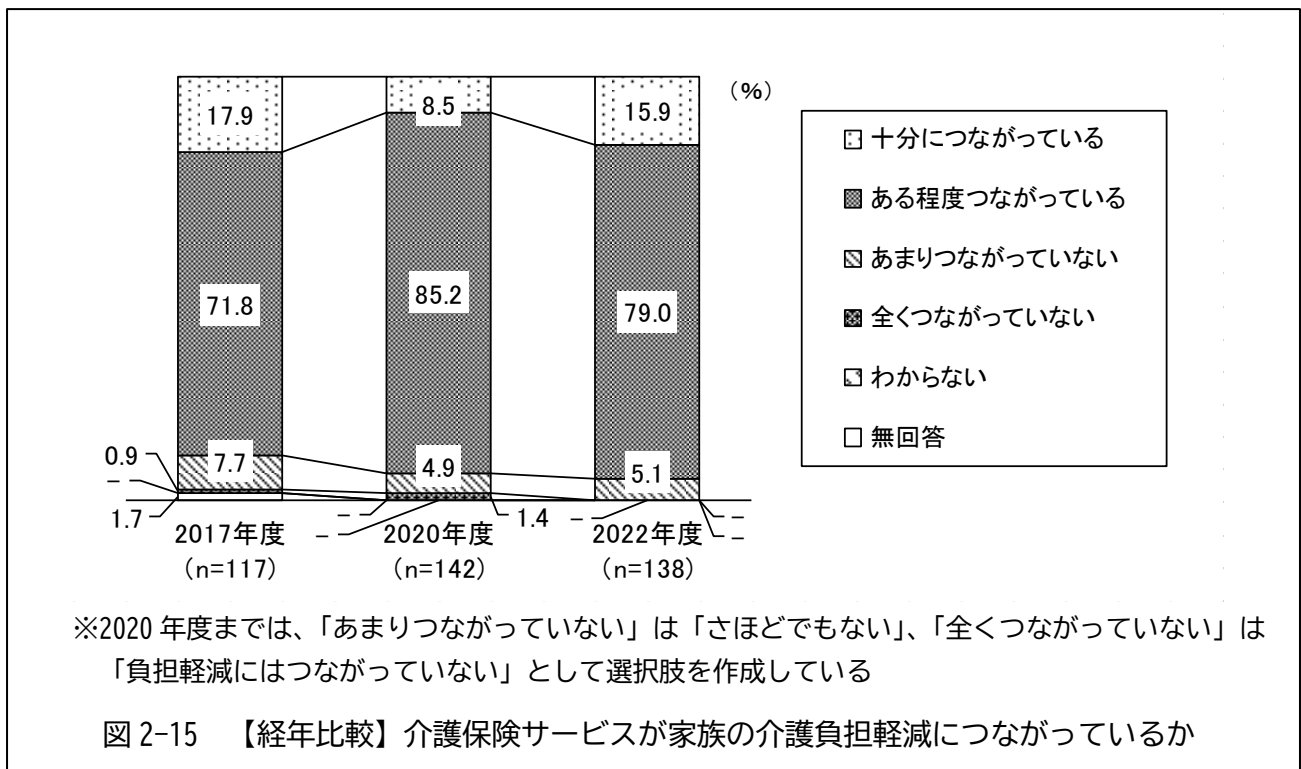
経年比較では、いずれの年度も「経済的事情により費用負担が困難」が最も高くなっている。

2.9. 介護保険サービスが家族の介護負担軽減につながっているか

◆ 「ある程度つながっている」が約8割



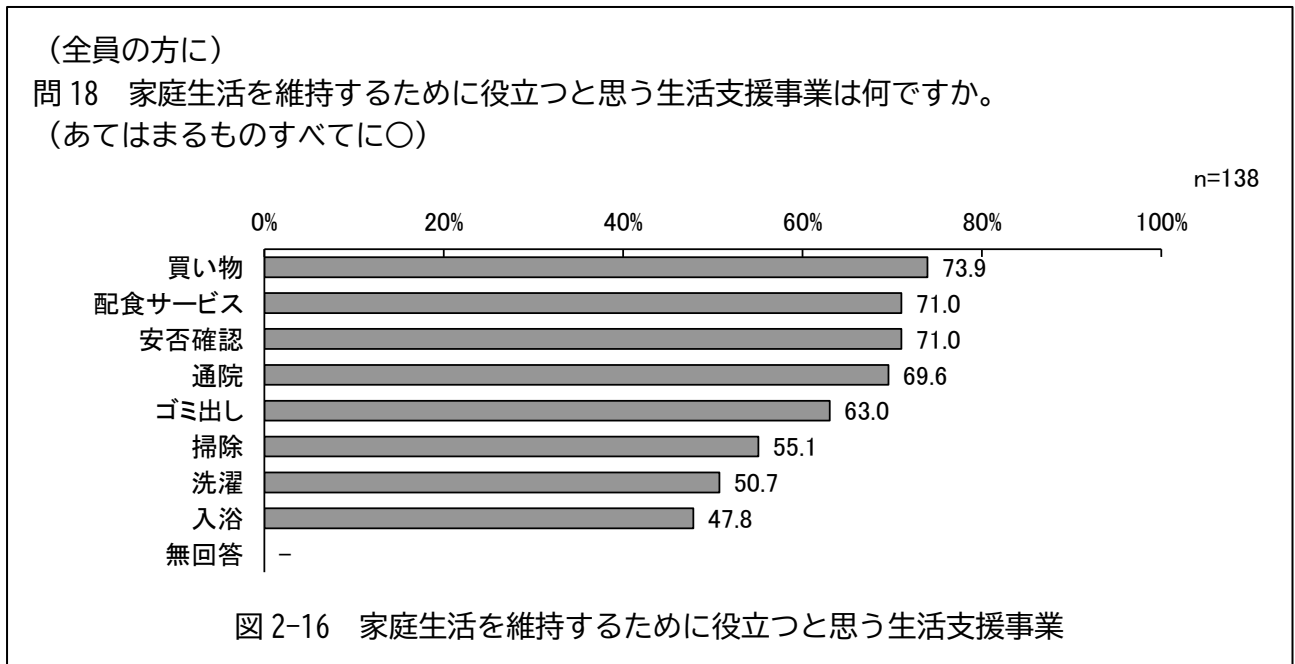
「ある程度つながっている」が約8割を占めている。



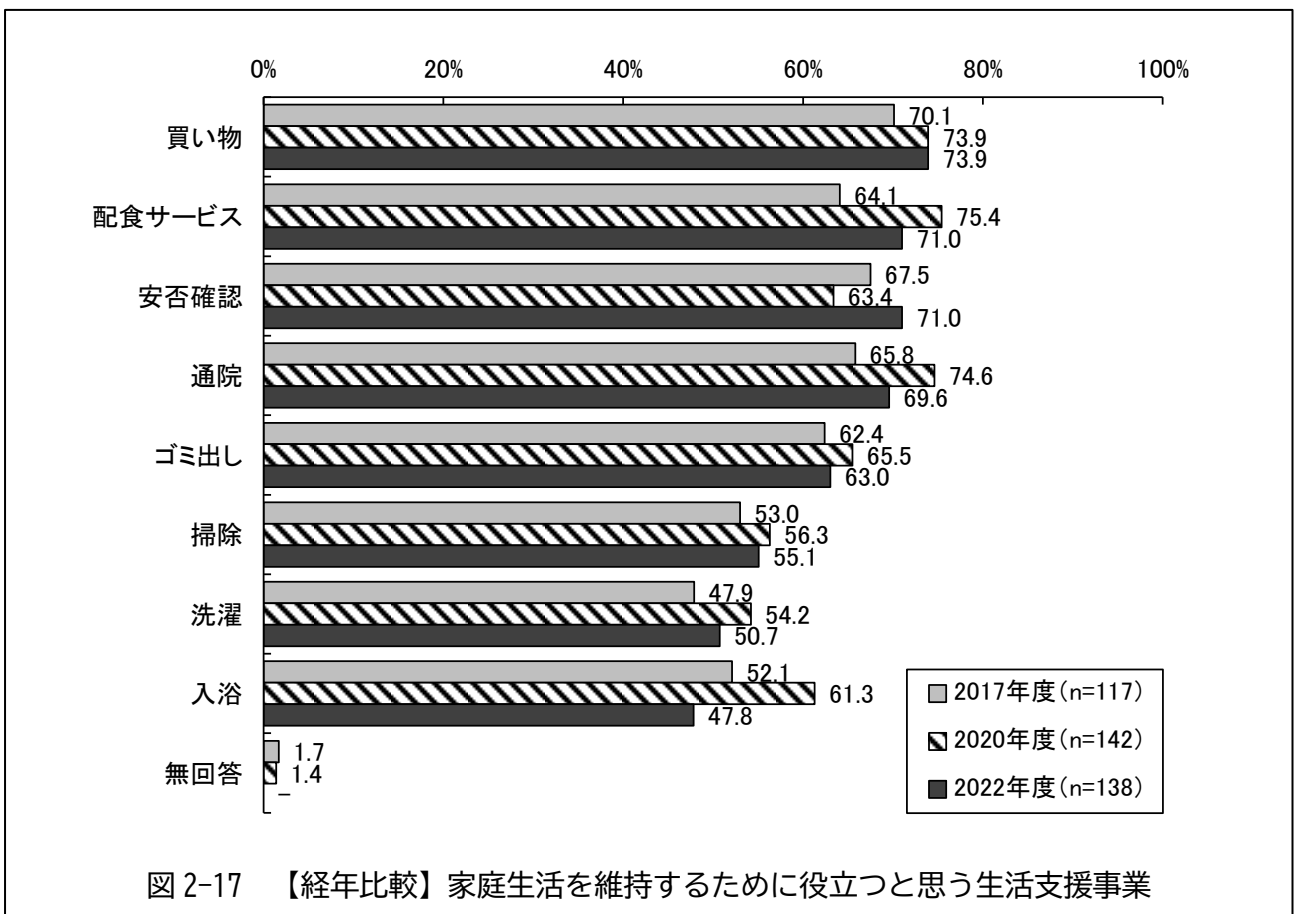
経年比較では、2020年度と比べて「十分につながっている」が7.4ポイント増加している。

2.10. 家庭生活を維持するために役立つと思う生活支援事業

◆ 「買い物」が7割台前半



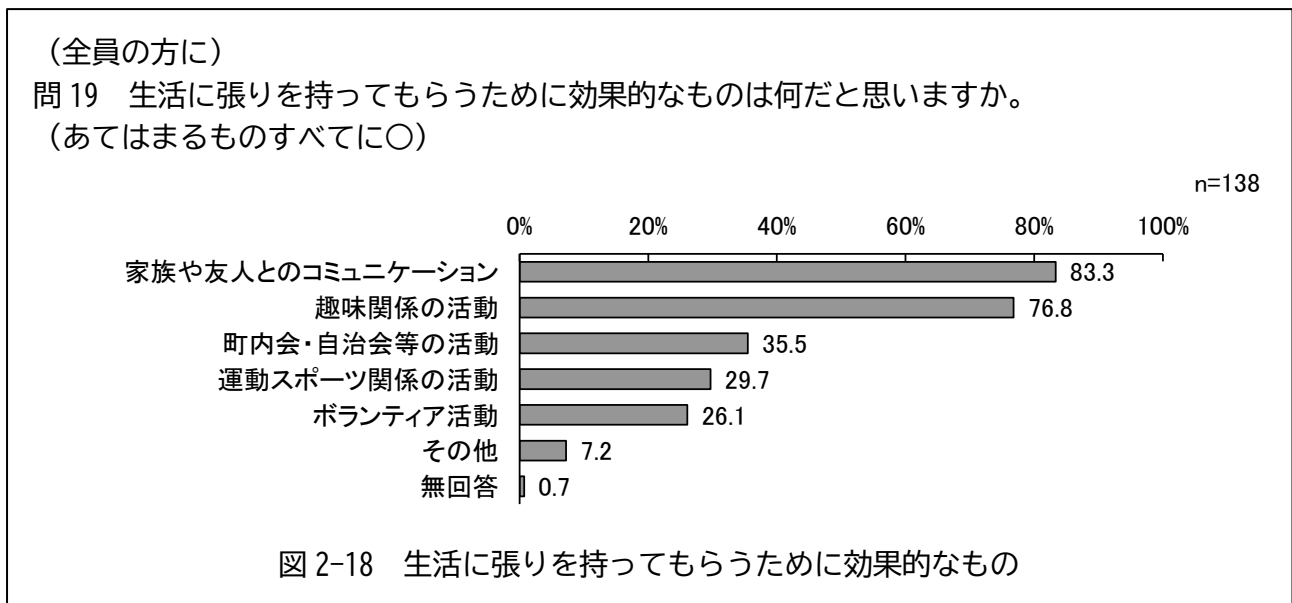
「買い物」が7割台前半で最も高く、次いで「配食サービス」、「安否確認」、「通院」が約7割を占めている。



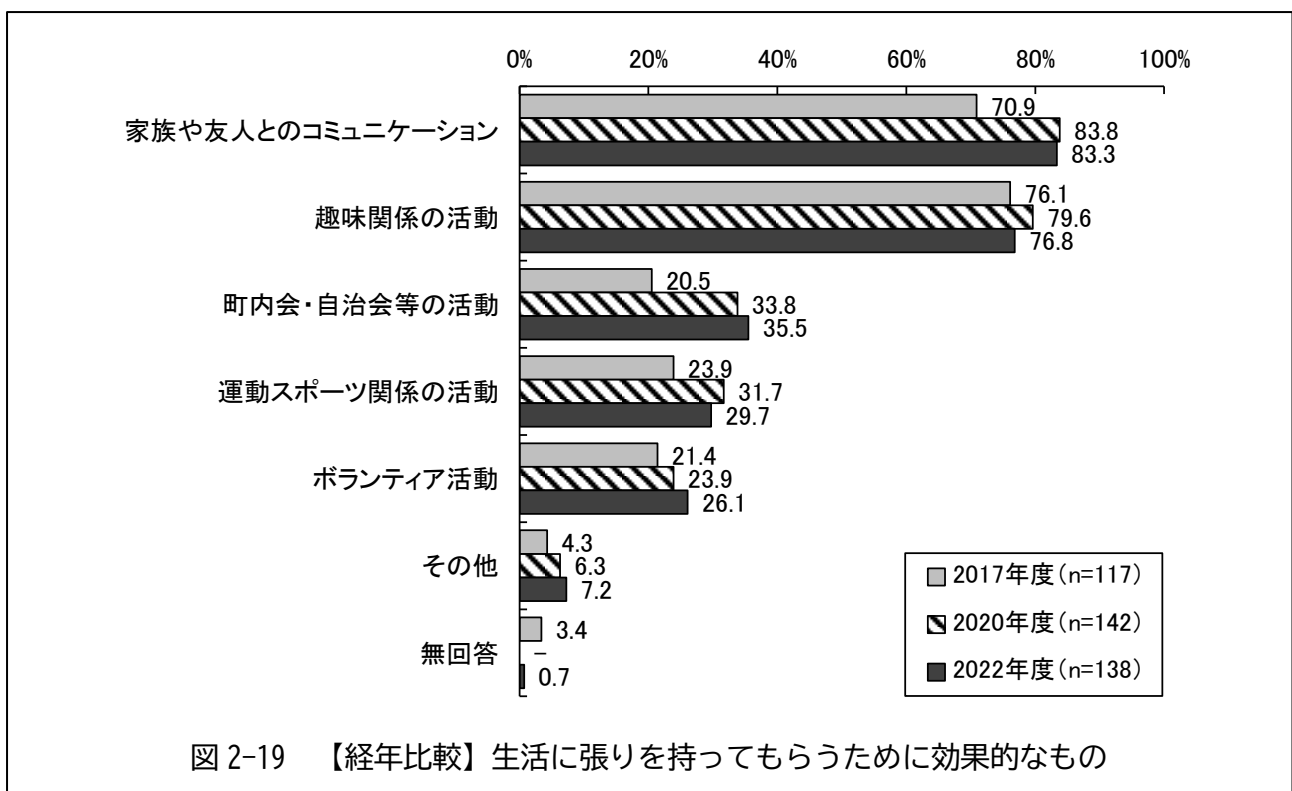
経年比較では、2020年度と比べて「安否確認」が7.6ポイント増加している。

2.11. 生活に張りを持ってもらうために効果的なもの

◆ 「家族や友人とのコミュニケーション」が8割台前半



「家族や友人とのコミュニケーション」が8割台前半を占めている。



経年比較では、「家族や友人とのコミュニケーション」と「趣味関係の活動」が継続して高い割合を占めている。

また、「町内会・自治会等の活動」と「ボランティア活動」は年々増加を続けている。

2.12. ケアマネジメントを行う際に工夫していること（自由回答）

（全員の方に）

問20 ケアマネジメントを行う際に工夫していることがありましたら、ご自由にお書きください。

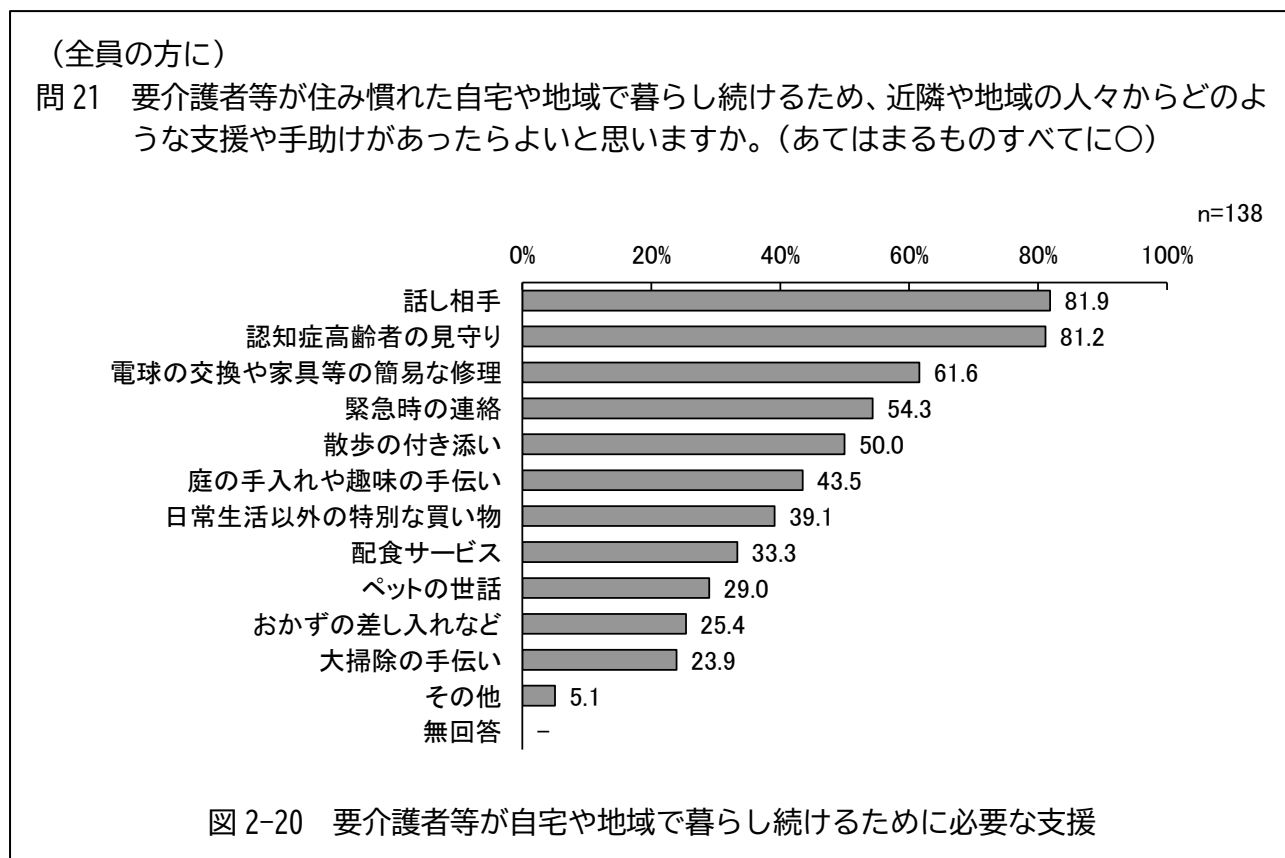
ケアマネジメントを行う際に工夫していることについて、83件の回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

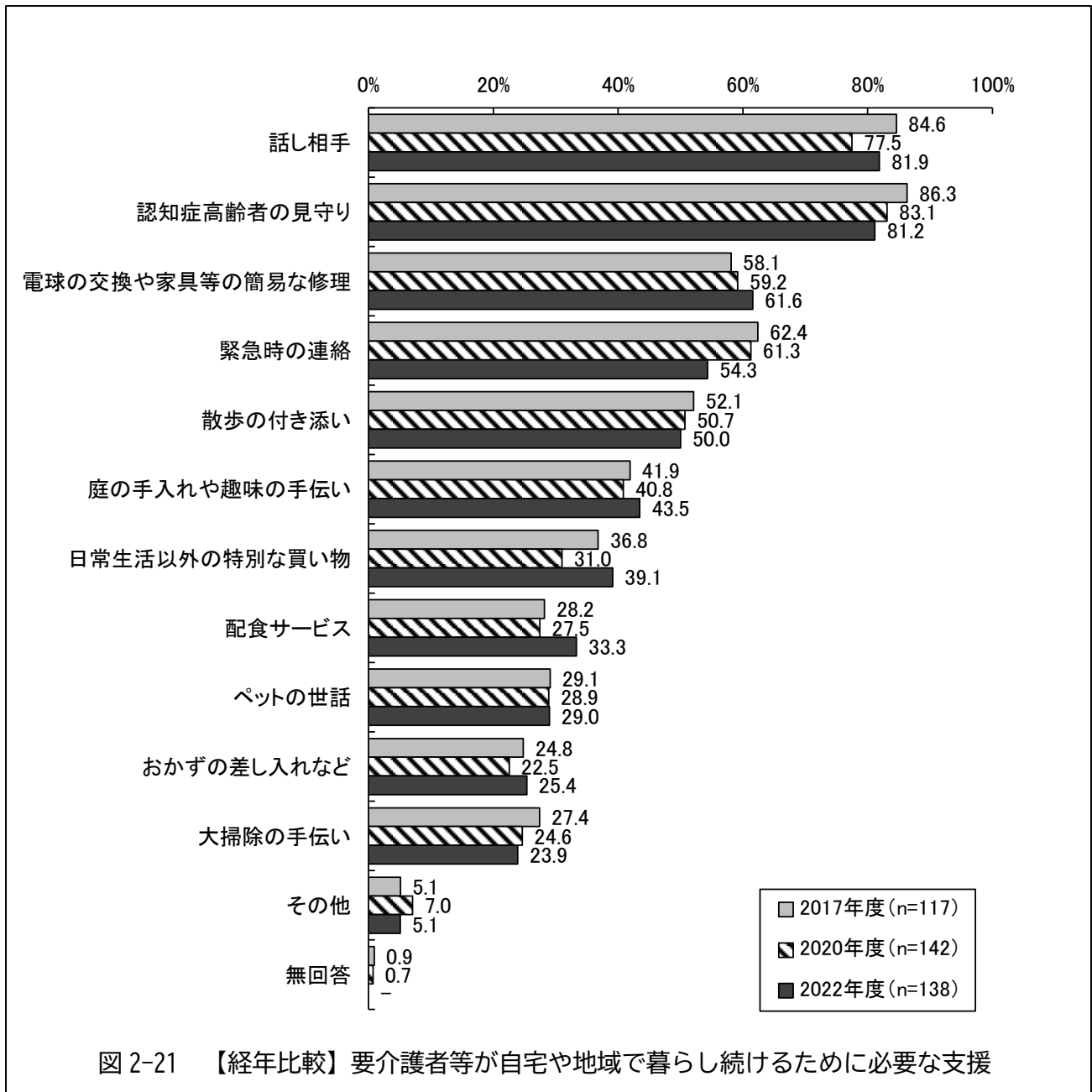
- 本人や家族の意向を尊重するだけでは、有効なケアプラン作成にならないので、経験上传えることの出来る予後予測を可能な限り伝えそれを踏まえてサービスを選択していただけるよう工夫している。
- 家族に自分事として介護に興味を持ってもらうこと。いずれ自分も通る道なので今から知っておくと役に立つことがたくさんあることを伝えたい
- 介護保険の支援以外のサービスを探すようにします。状態、ニーズにもよりますが、アセスメントした上で必要な支援を絞って出来るだけ自立して生活していくことを前提としてもらうよう最初にきちんと伝えていきます
- 本人、家族が気持ちよく話ができる姿勢を心掛けています
- 専門職につなげられるように（医療を主として）している。これがけっこう難しい
- 利用者が安心安定した療養生活が送れるよう夫婦、親子、兄弟等、家族の絆が深まるよう工夫すること。それぞれの立場や環境を尊重しいい部分を（やさしさやおもいやり）引き出して伝えまとめる
- 利用者の意思を尊重し、家族の意向、各サービス提供事業所からの情報の確認を行い支援出来るよう…基本の基を忘れずにしている
- とにかく話を聞く、初回のアセスメントだけでは無理。訪問を重ねながら様々な角度からの質問をして聞き取っている
- 本人様らしく、出来る限り生き活きと楽しみを持って暮らしていただけるようなケアマネジメントになるよう努力している。
- 本人の希望を一番に考えます。場合によっては家族の負担軽減を一番に考えることもあります。また、サービスが多く本人の出来ることを取り上げないようにしています
- タブレットを活用し、視覚から情報提供してサービス事業所や福祉用具などイメージしやすいようにしている。
- 本人の困りごとを傾聴するだけでなく、その背景もしっかり把握して対応すること。
- サービスごとに事業所情報を取りまとめ（ファイルにして）利用者、家族が自己選択できるように情報提供している。
- 身体的にも精神的にも、今以上悪くならないようにサービスを調整する。本人、家族の自立に向かうようなプランを考えていく。
- 利用者のストレングスを生かせるようなケアプラン作成を心がけています。
- アセスメント、本人や家族が望む生活スタイルを見出すよう努めている。
- あくまでも公正中立の立場であることを忘れずケアマネジメントする（サービス事業者からの話は傾聴するが鵜呑みにせず必ず検証する。ケアマネの立場でも利用者の意向をきちんと把握する。サービス事業者の労を労いつつ利用者の代弁者の立ち位置でもサービス事業者と関わる。ケアプランを立てる時変更する時は丁寧にケアマネジメントを行う（利用者にとっては最小限のサービスで最大の効果が得られるように、サービス事業者にとっては十分に専門性を発揮できるように、関わる皆が納得できるよう調整し環境設定する）
- インフォーマルサポートなど全て盛り込み周知
- いつでも相談しやすい対応をする

2.13. 要介護者等が自宅や地域で暮らし続けるために必要な支援

◆ 「話し相手」と「認知症高齢者の見守り」が約8割



「話し相手」と「認知症高齢者の見守り」が約8割を占めている。



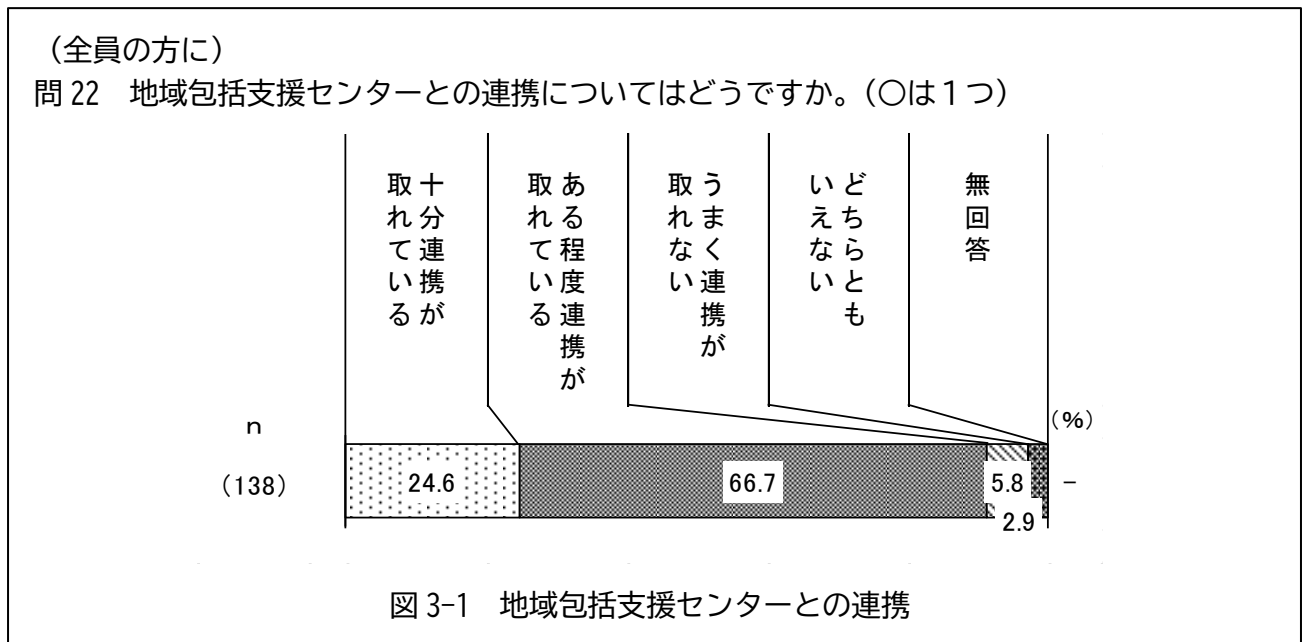
経年比較では、「話し相手」と「認知症高齢者の見守り」が継続して高い割合を占めている。

また、2020年度と比べて「日常生活以外の特別な買い物」が 8.1 ポイント、「配食サービス」が 5.8 ポイント増加している。

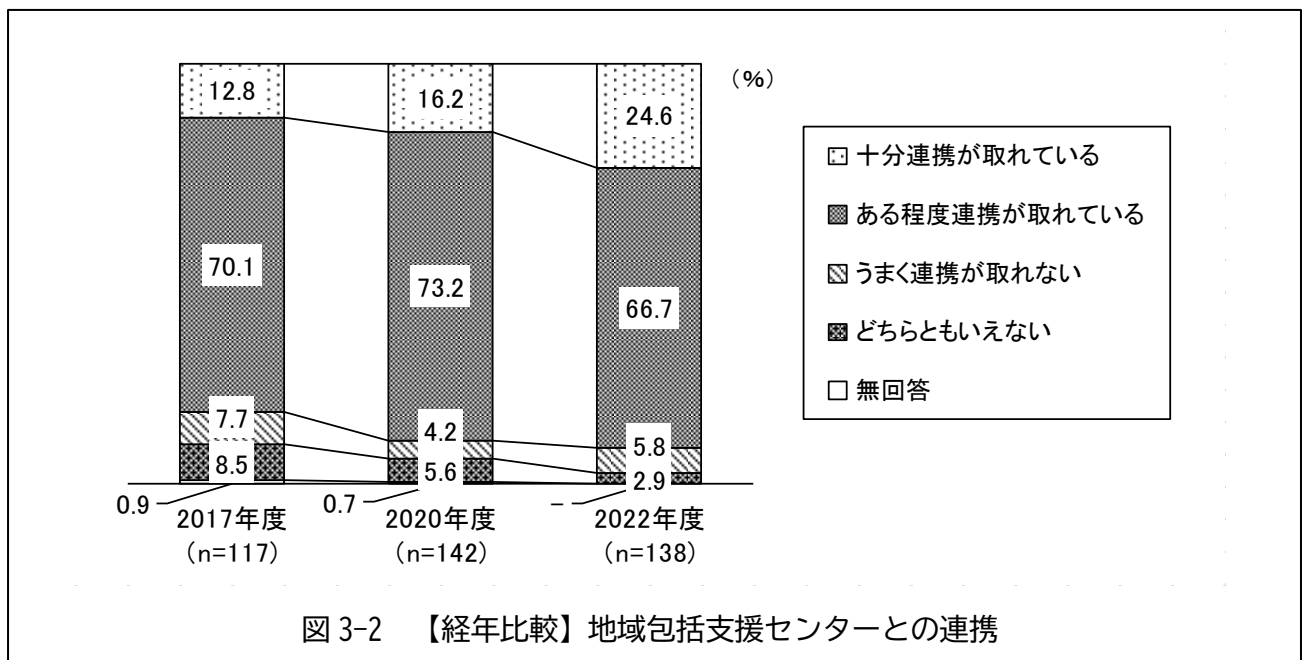
3. 連携について

3.1. 地域包括支援センターとの連携

◆ 「ある程度取れている」が6割台半ば



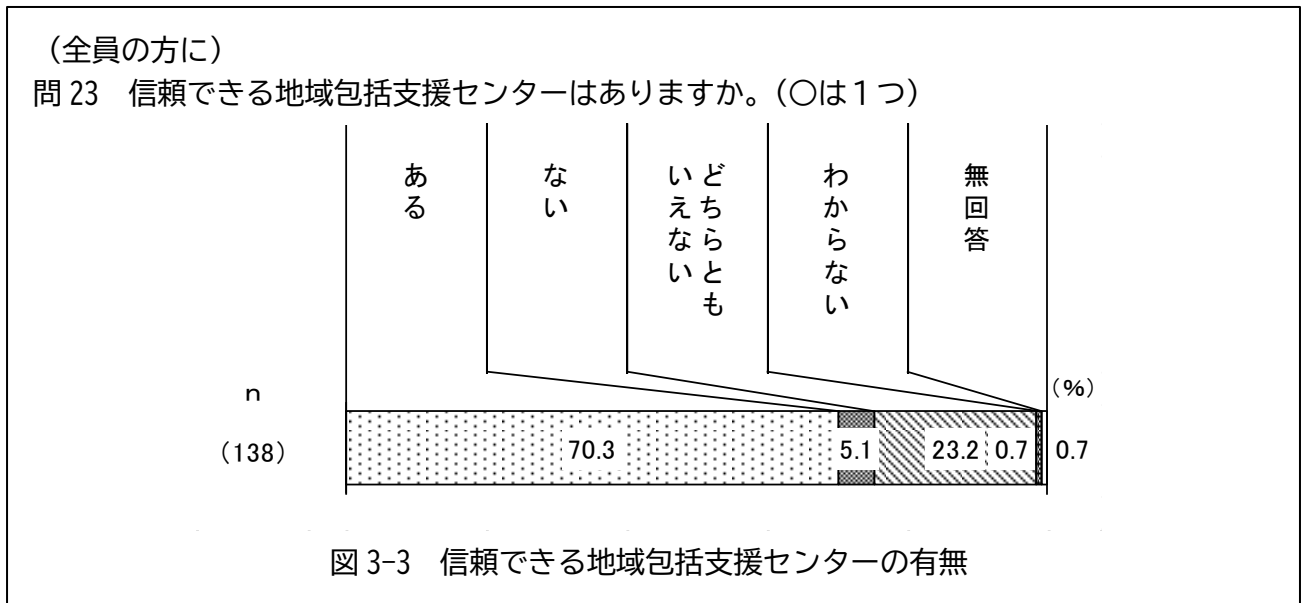
「ある程度連携が取れている」が6割台半ば、「十分連携が取れている」が2割台半ばで、合わせると約9割となっている。



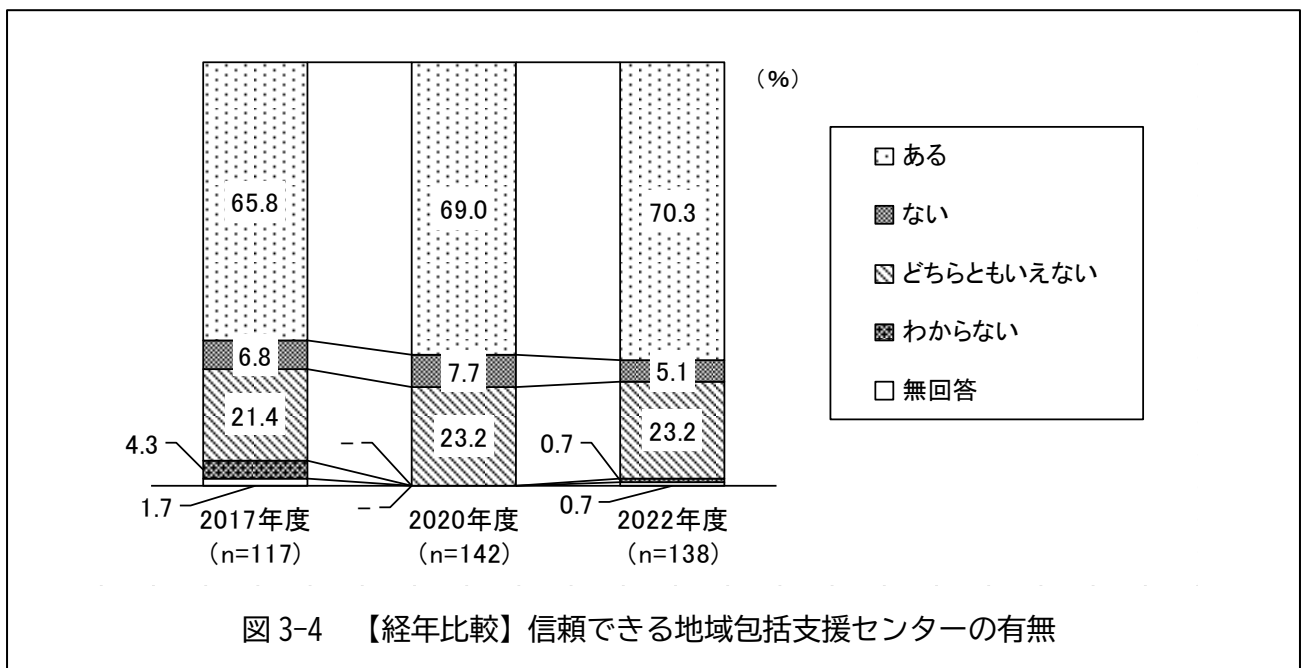
経年比較では、2020年度と比べて「ある程度連携が取れている」が6.5ポイント減少しているものの、「十分連携が取れている」が8.4ポイント増加している。

3.2. 信頼できる地域包括支援センターの有無

◆ 「ある」が約7割



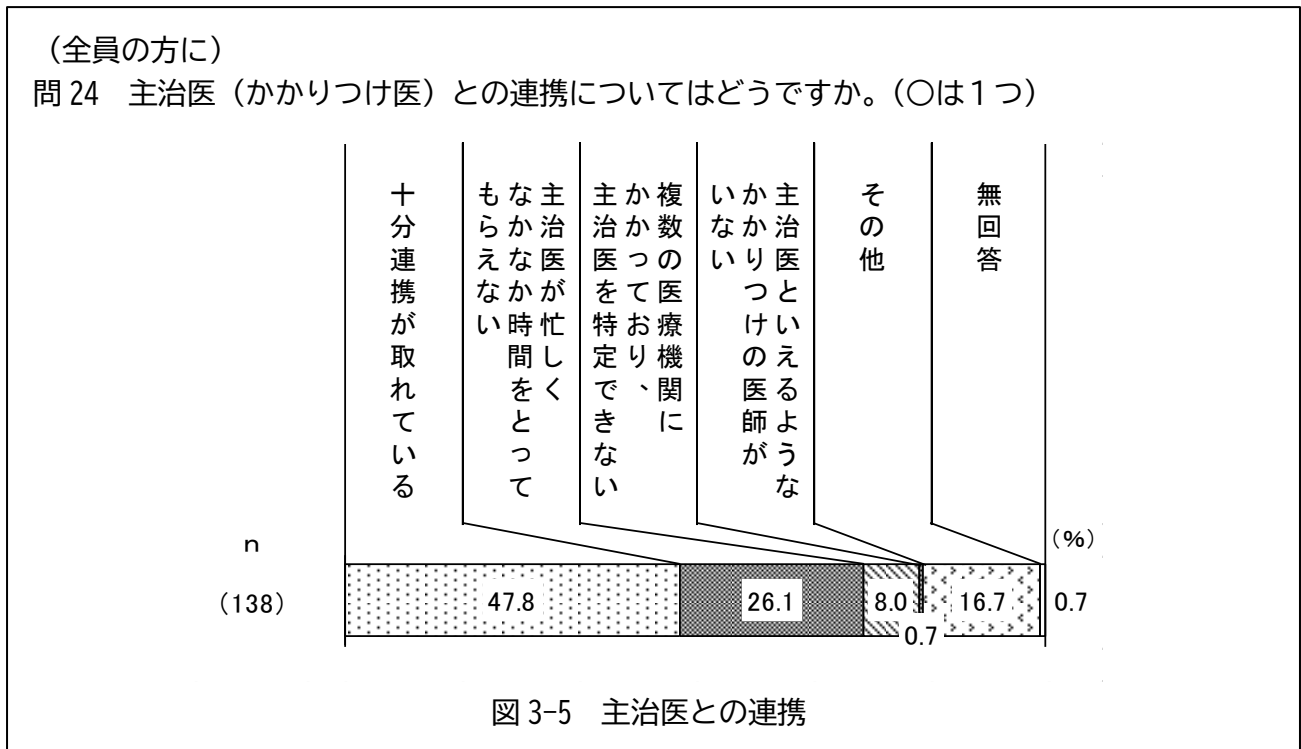
「ある」が約7割を占めている。



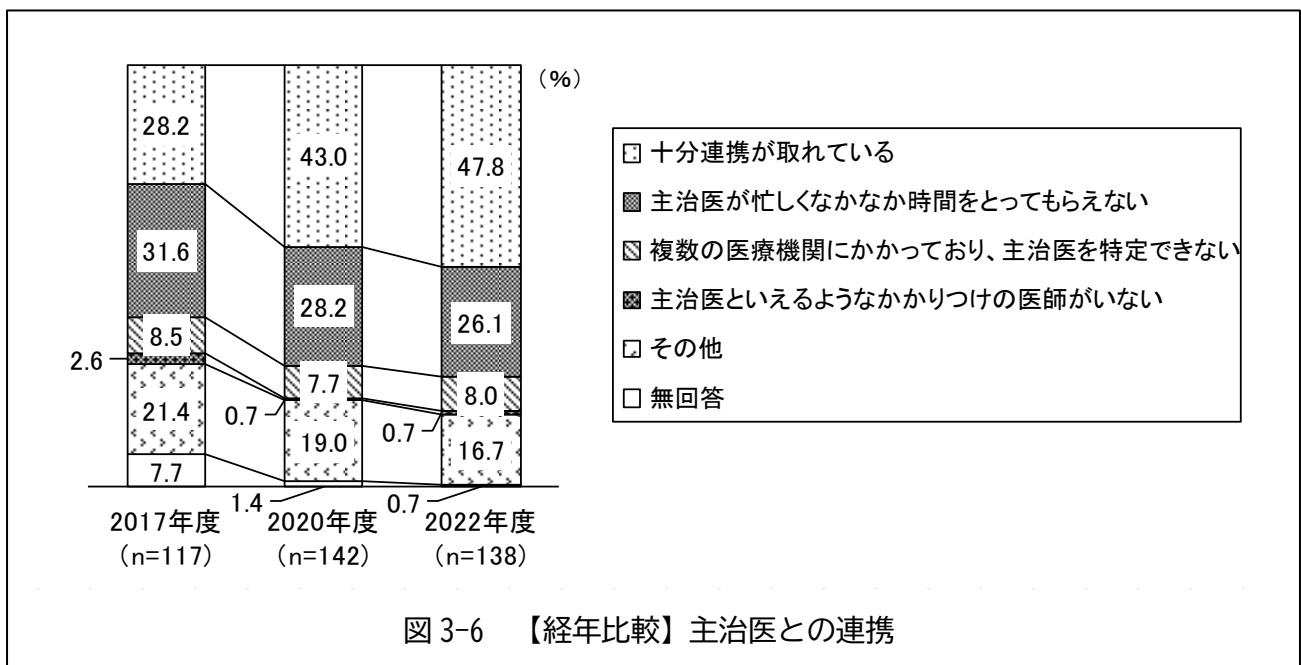
経年比較では、大きな差異はみられない。

3.3. 主治医との連携

◆ 「十分連携が取れている」が4割台前半



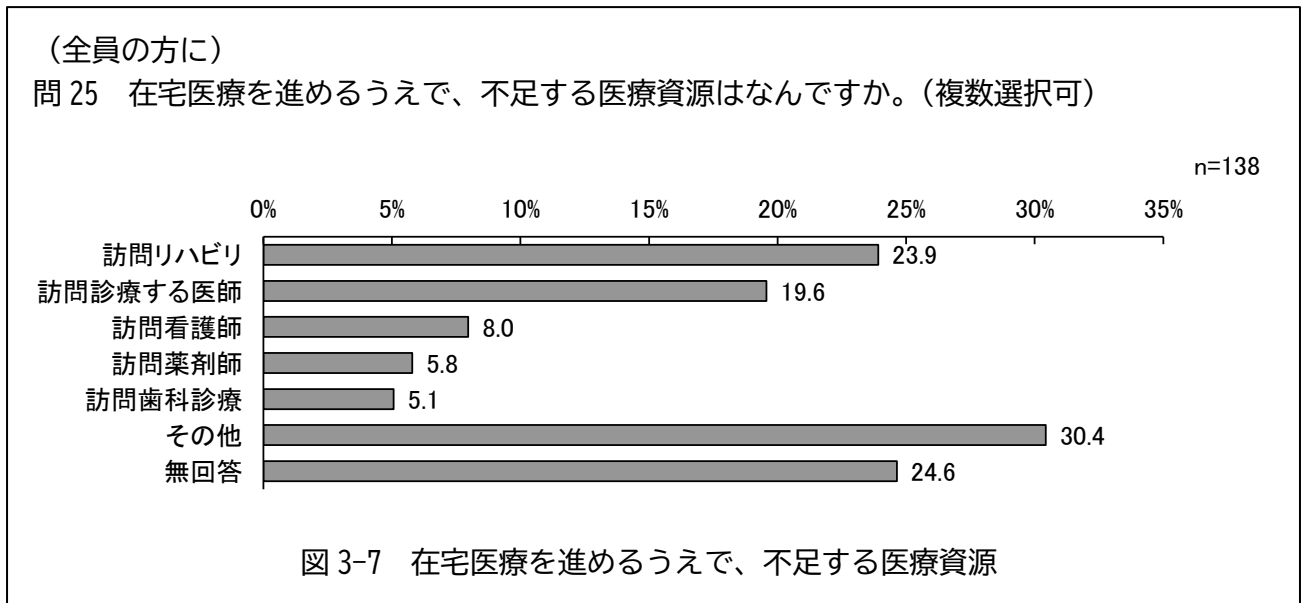
「十分連携が取れている」が4割台後半で最も高く、次いで「主治医が忙しくなかなか時間をとってもらえない」が2割台半ばとなっている。



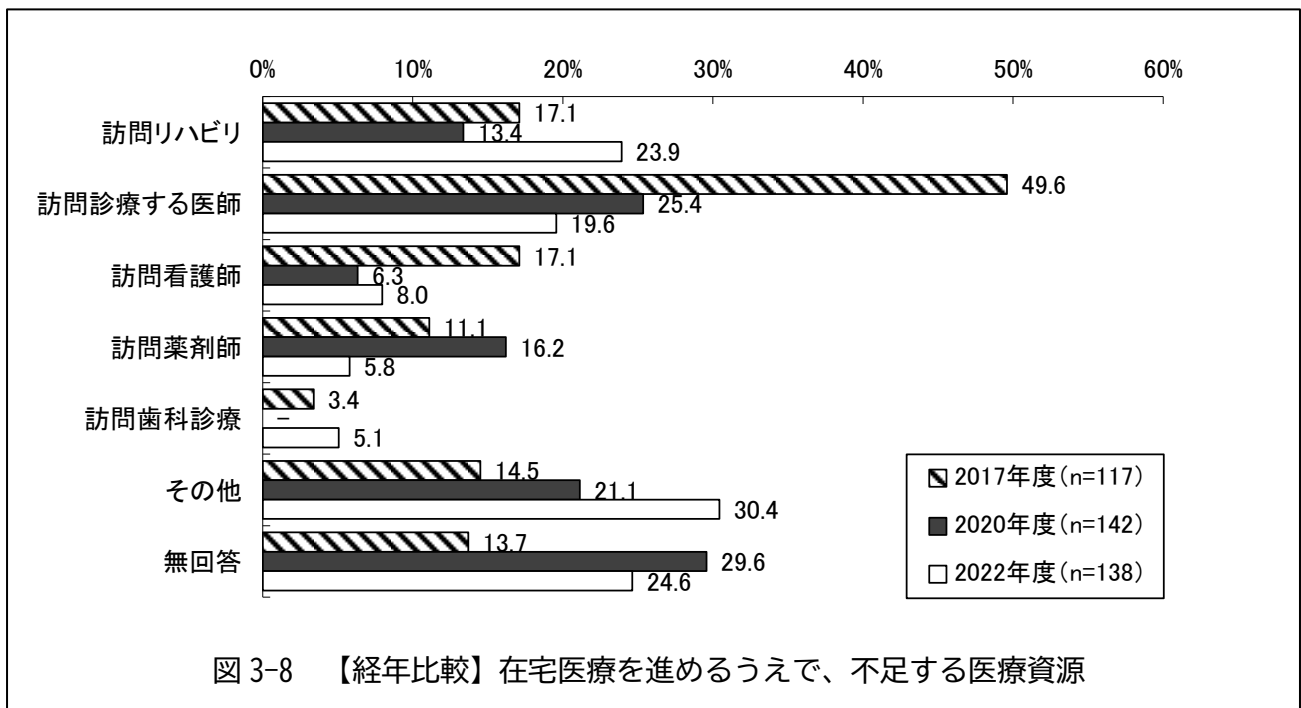
経年比較では、「十分連携が取れている」は年々増加しており、2020年度と比べて4.8ポイント増加している。

3.4. 在宅医療を進めるうえで、不足する医療資源

◆ 「訪問リハビリ」が2割台前半



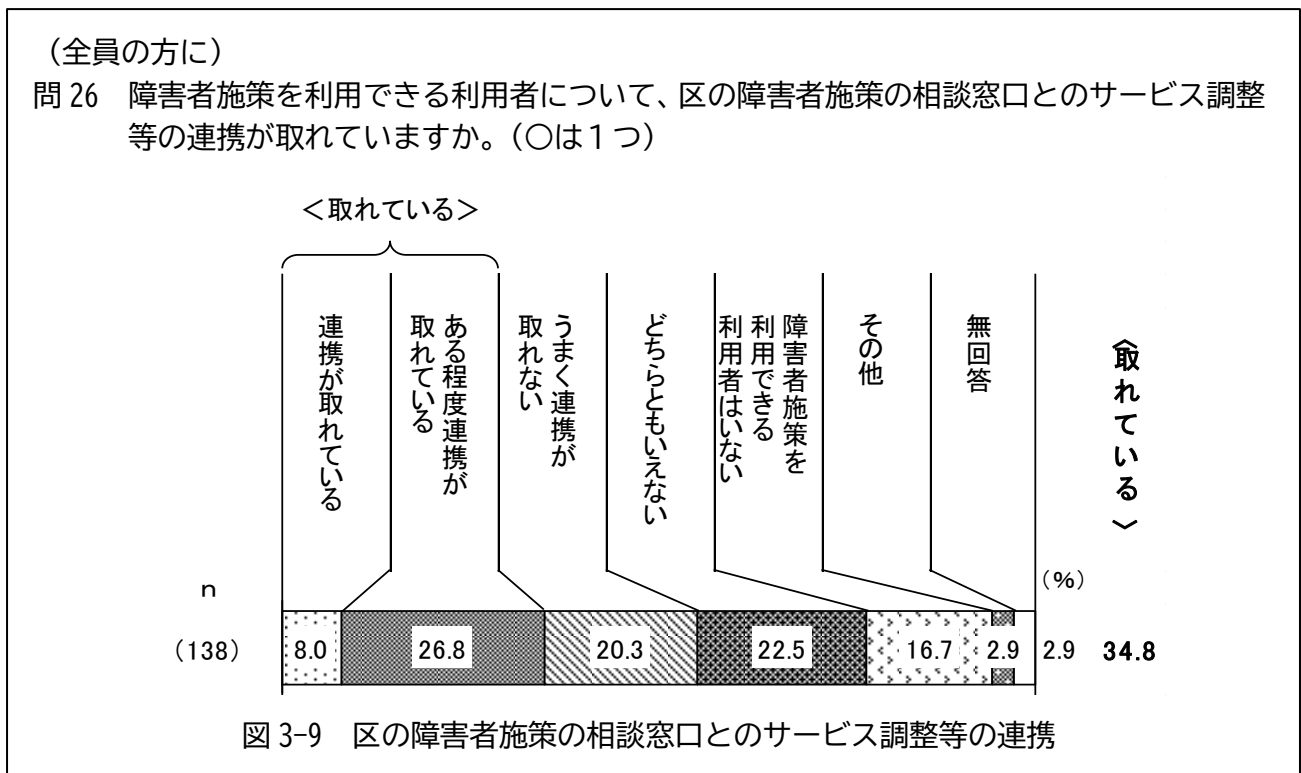
「訪問リハビリ」が2割台前半で最も高く、次いで「訪問診療する医師」が約2割となっている。



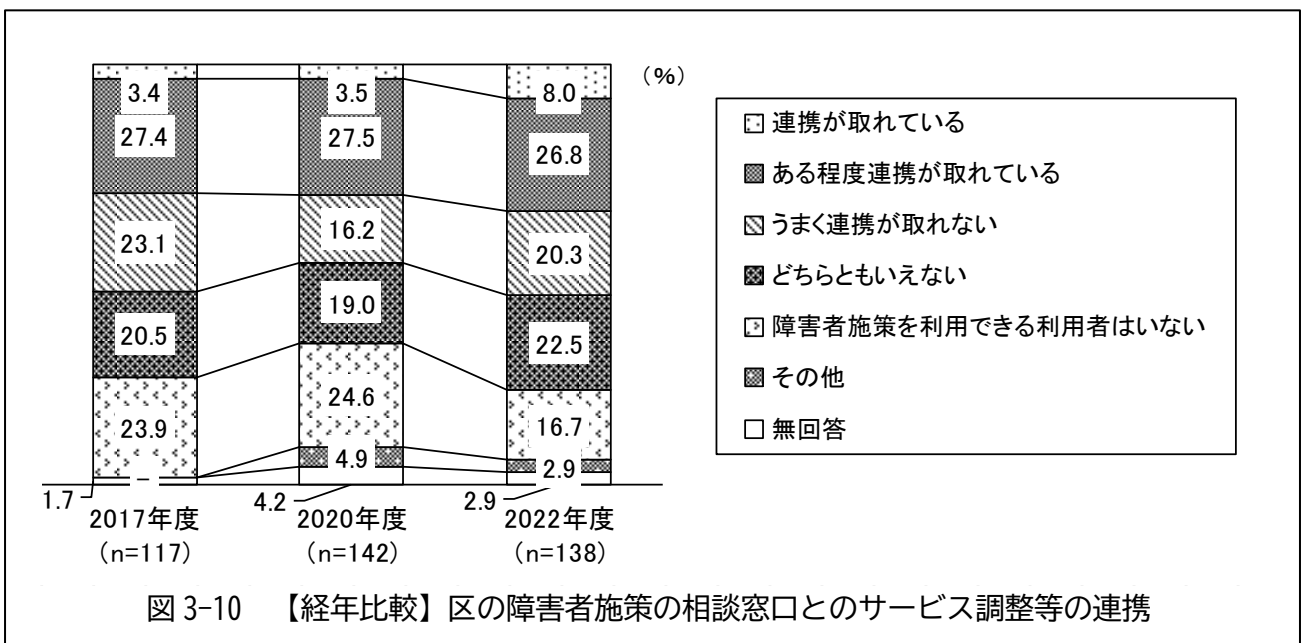
経年比較では、2020年度と比べて「訪問リハビリ」が10.5ポイント増加している。一方、「訪問診療する医師」は大きく減少している。

3.5. 区の障害者施策の相談窓口とのサービス調整等の連携

◆ 「ある程度連携が取れている」が最も高い



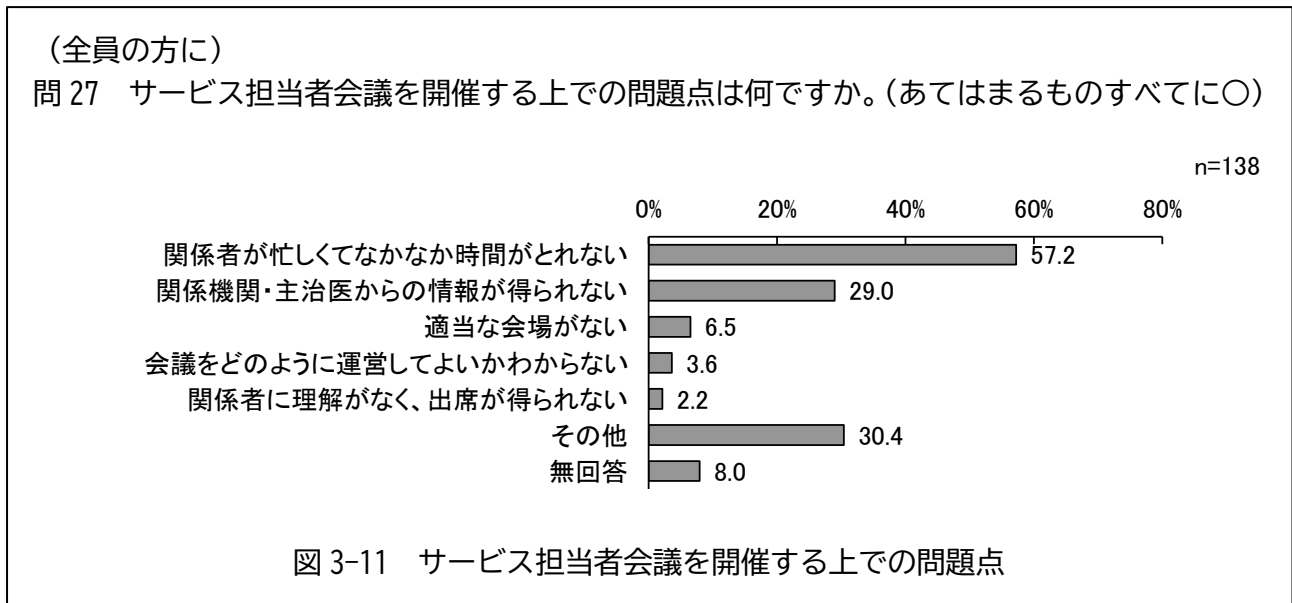
「連携が取れている」と「ある程度連携が取れている」を合わせた<取れている>は3割台半ばとなっている。



経年比較では、2020年度と比べて<取れている>が3.8ポイント増加しているが、「うまく連携が取れない」も4.1ポイント増加している。

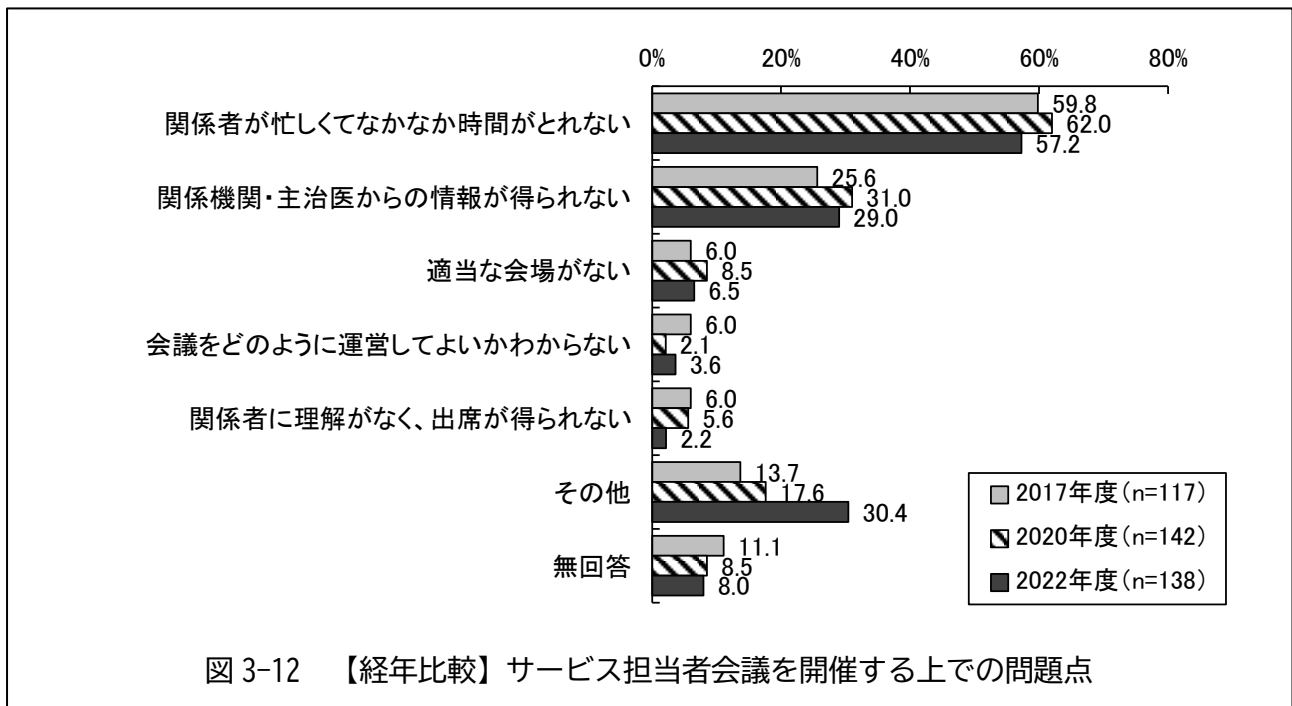
3.6. サービス担当者会議を開催する上での問題点

◆ 「関係者が忙しくてなかなか時間がとれない」が6割台前半



「関係者が忙しくてなかなか時間がとれない」が5割台後半を占めている。

「その他」の内容としては、新型コロナウイルスの影響で、サービス担当者会議を開催できないことが多く挙げられている。

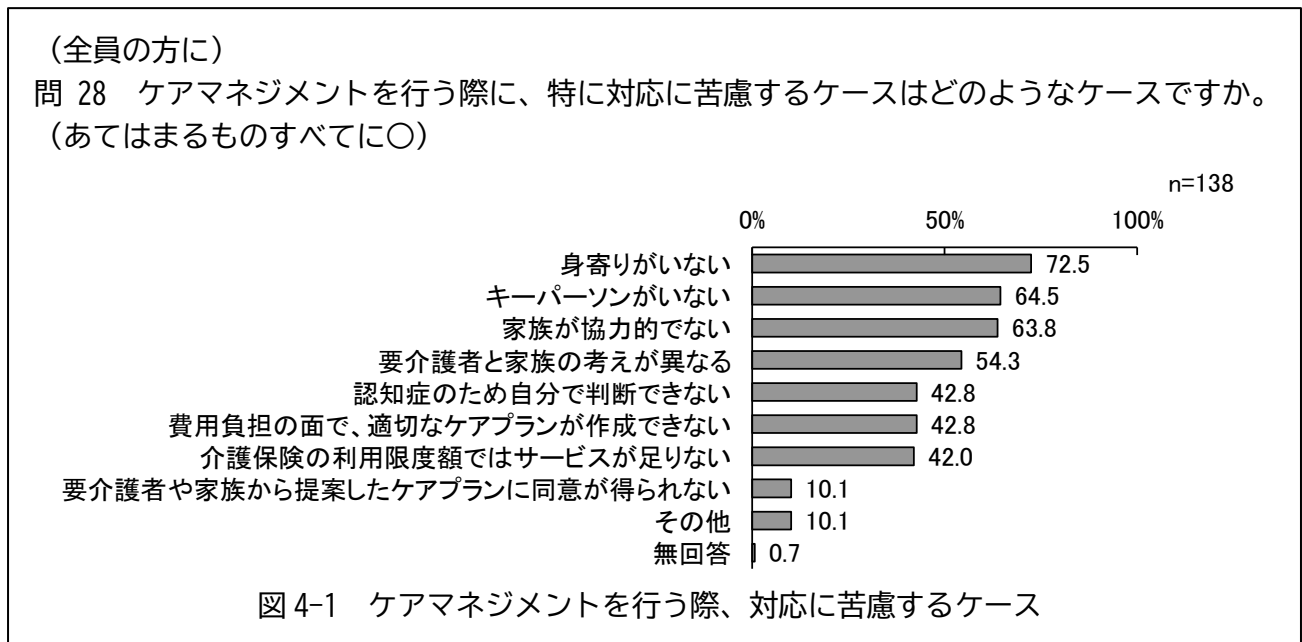


経年比較では、継続して「関係者が忙しくてなかなか時間がとれない」が過半数を占めている。

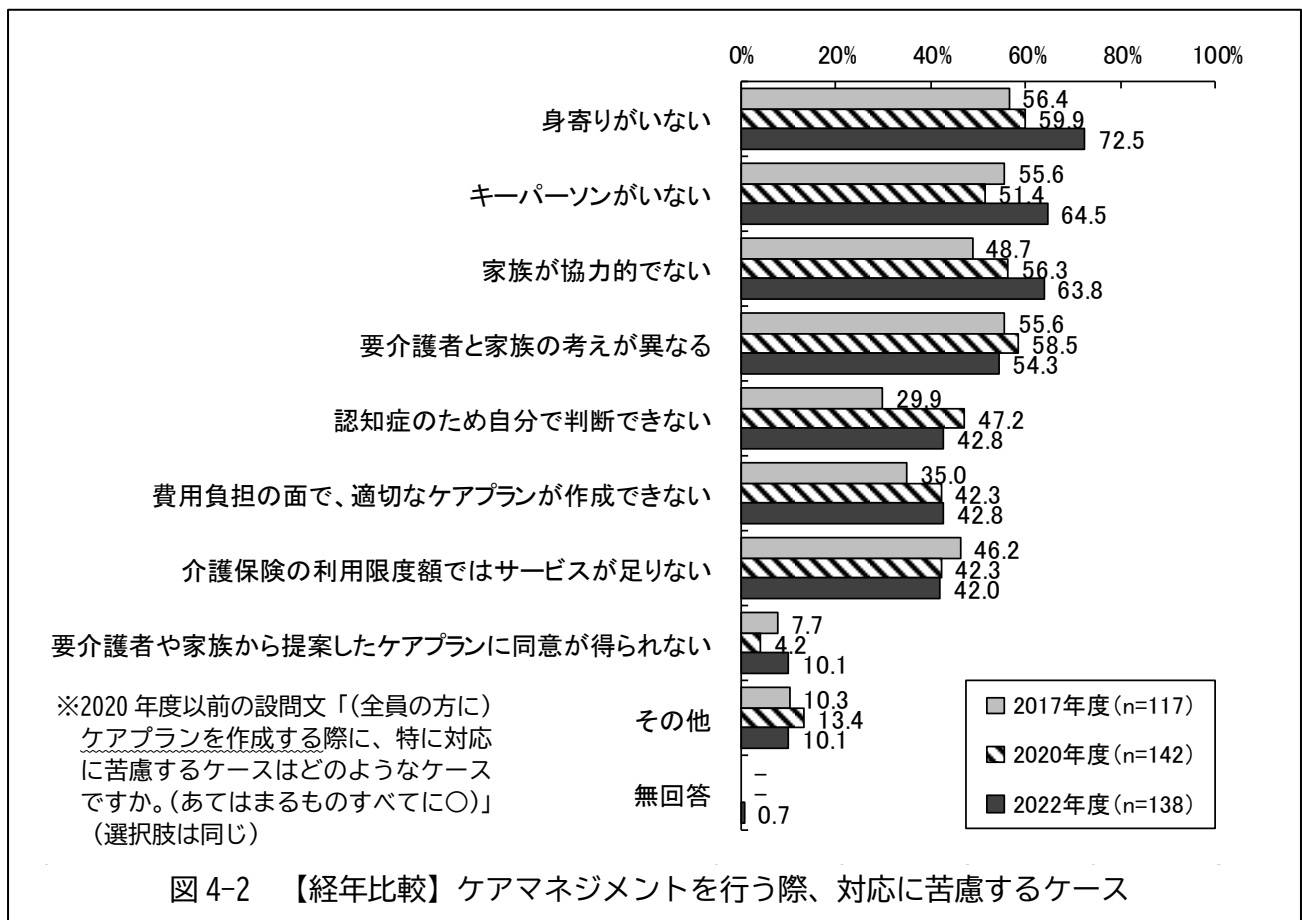
4. 困難な事例への対応について

4.1. ケアマネジメントを行う際、対応に苦慮するケース

◆ 「身寄りがいない」が約7割



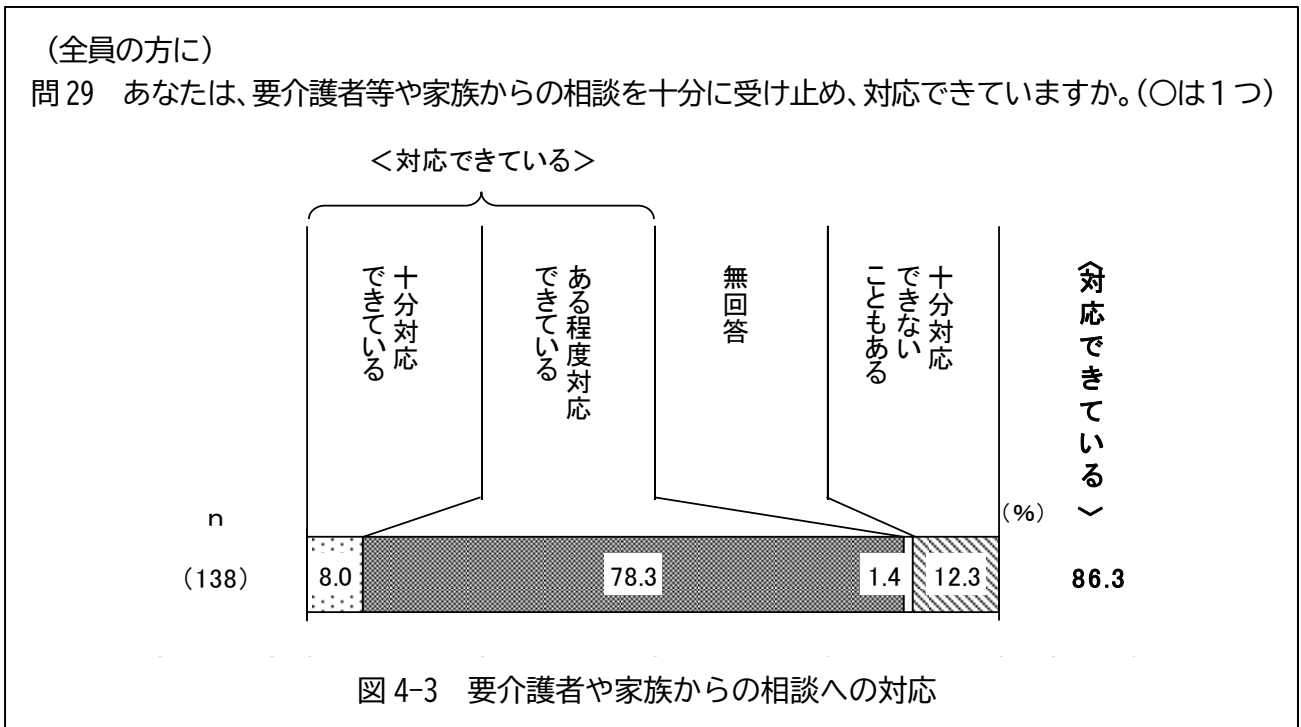
「身寄りがいない」が約7割で最も高く、次いで「キーパーソンがいない」、「家族が協力的でない」が6割台半ばとなっている。



経年比較では、2020年度と比べて「身寄りがいない」が12.6ポイント、「キーパーソンがいない」が13.1ポイント増加している。

4.2. 要介護者や家族からの相談への対応

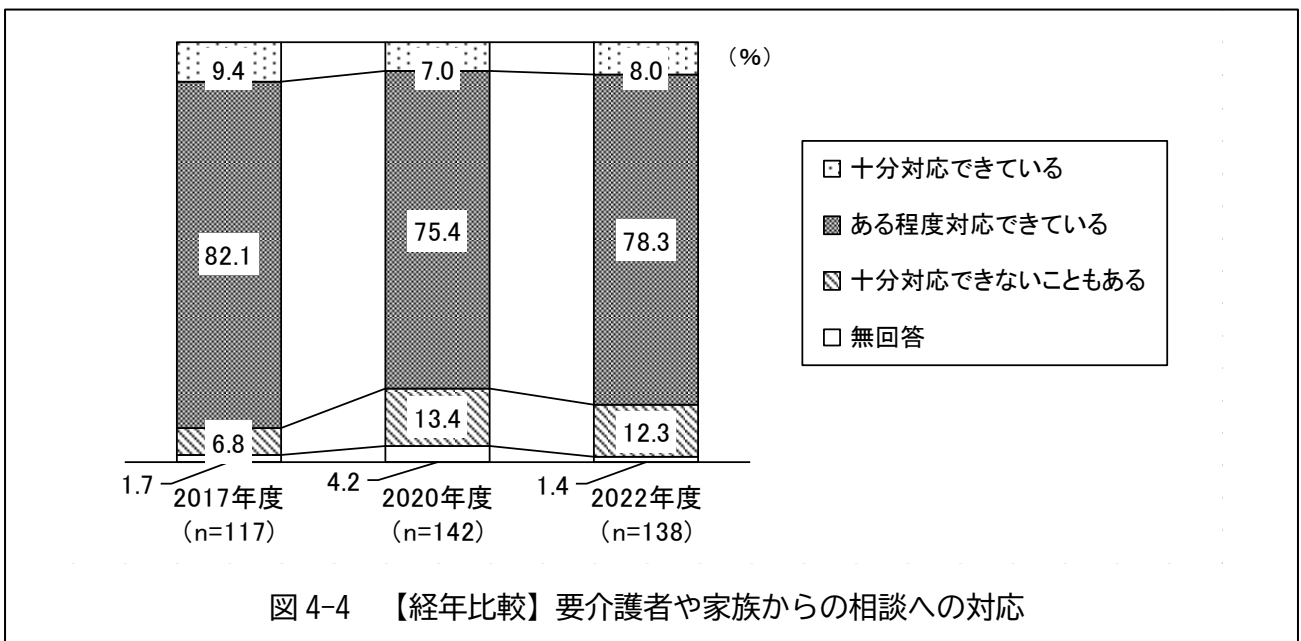
◆ 「ある程度対応できている」が7割後半



「十分対応できている」「ある程度対応できている」を合わせた<対応できている>は、8割台半ばとなっている。

【対応できない具体的な理由（「十分対応できないこともある」と回答した方）】

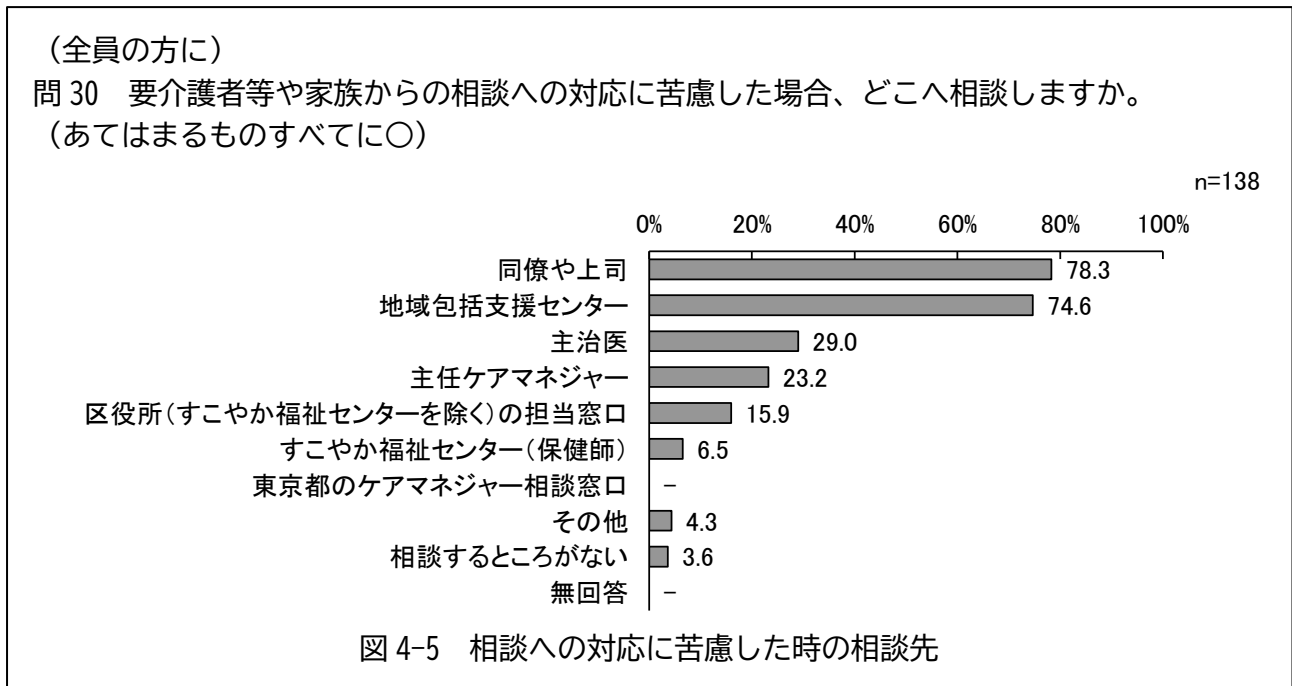
- ・ 本人と家族の意向が異なることがある
- ・ 介護保険では対応できないことを相談されることがある
- ・ ケアマネジャーとしての役割以上を求められることがある
- ・ 自分では対応するように心がけているが、受け止めてくれないなどと言われることがある など



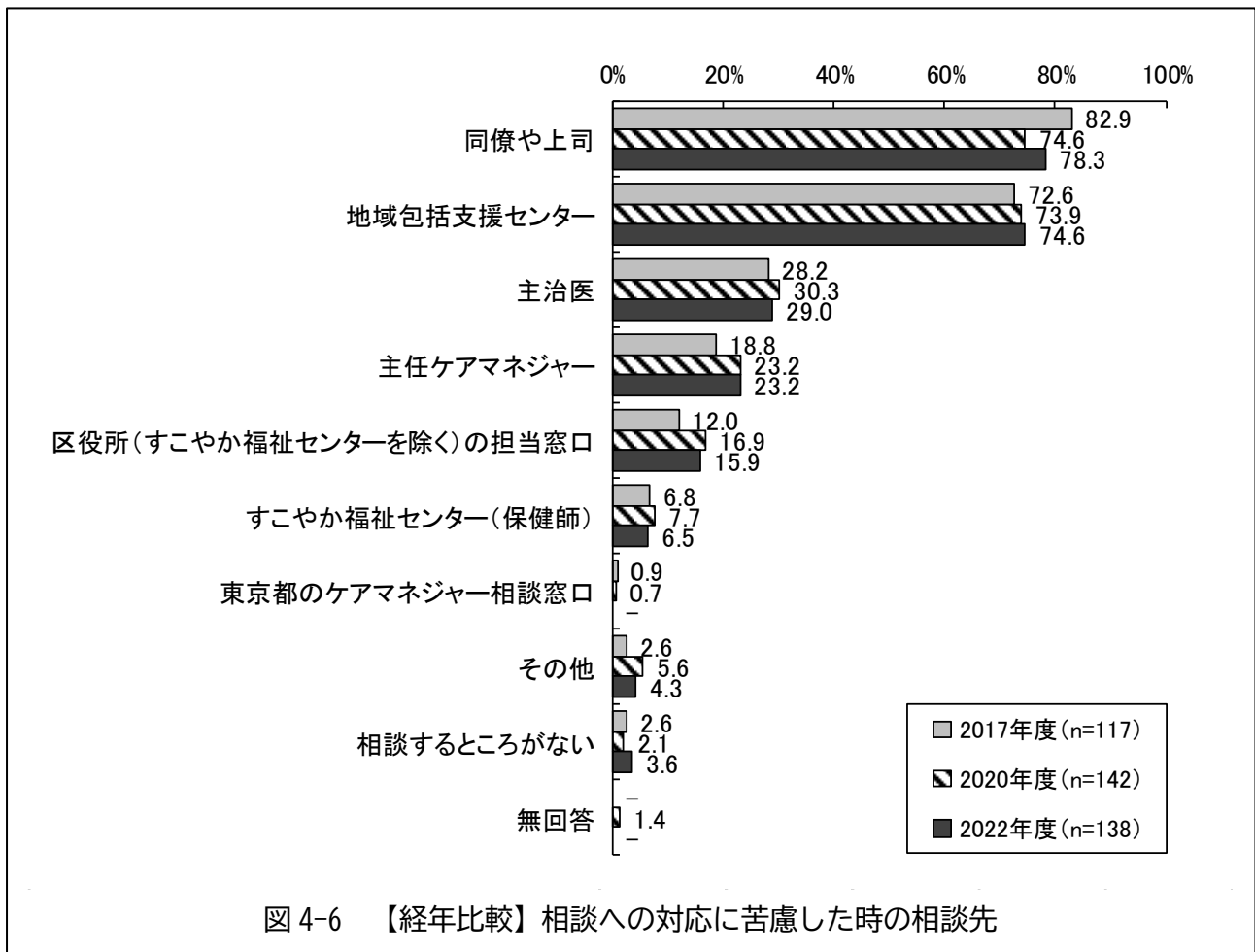
経年比較では、大きな差異はみられない。

4.3. 相談への対応に苦慮した時の相談先

◆ 「同僚や上司」が7割台後半



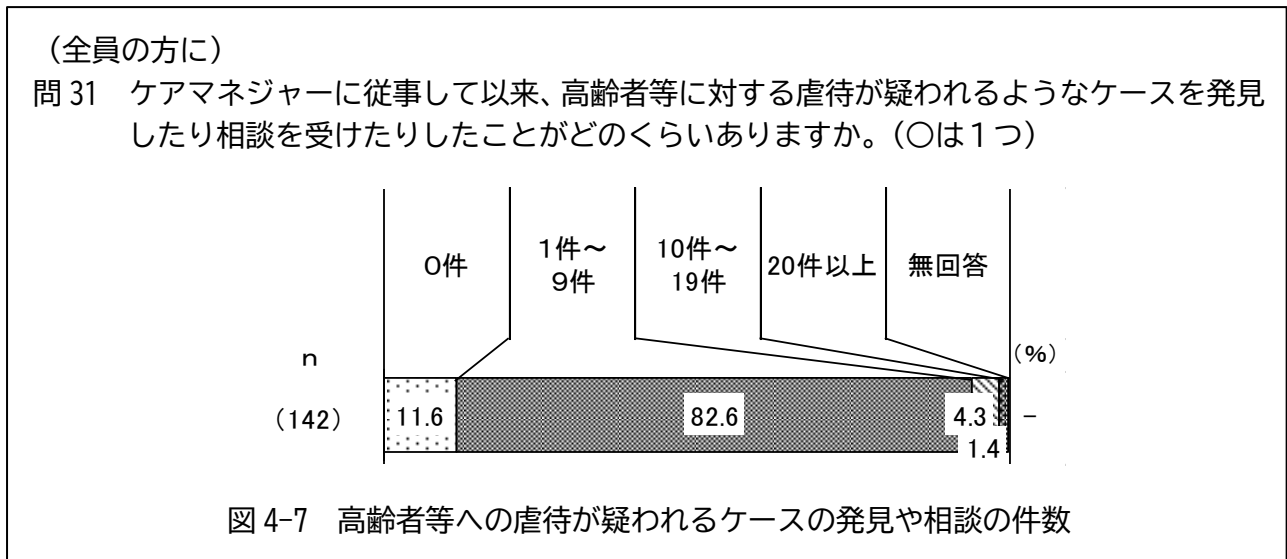
「同僚や上司」が7割台後半、「地域包括支援センター」が7割台半ばを占めている。



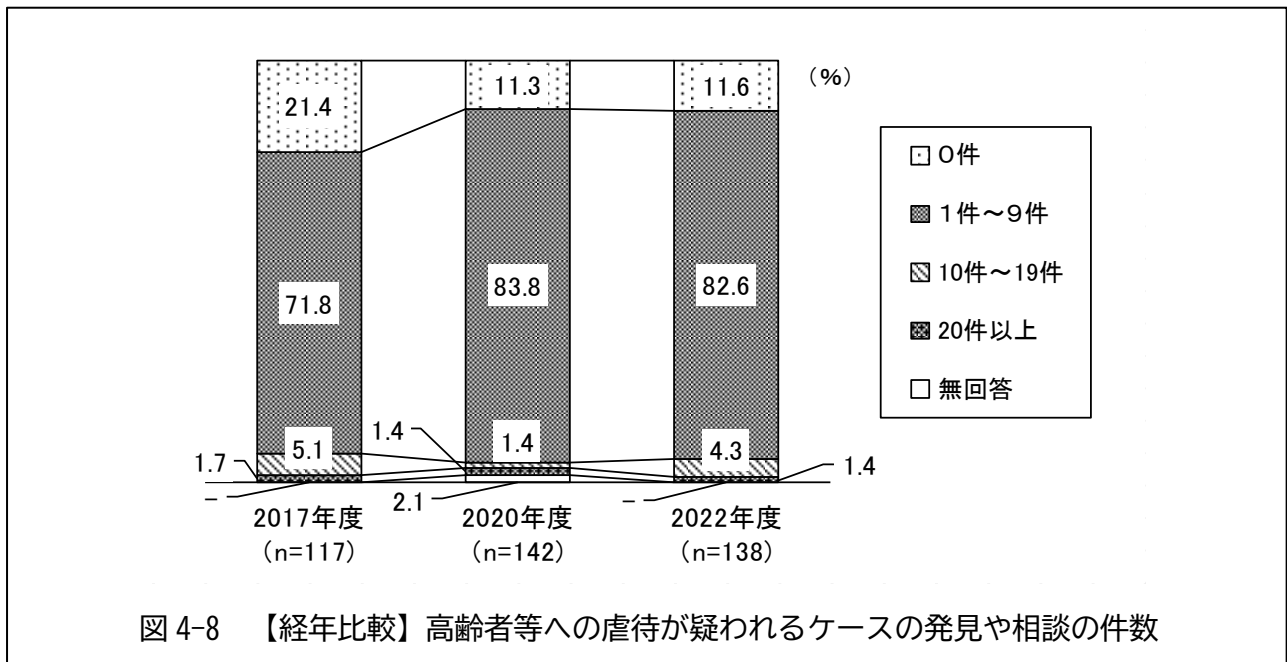
経年比較では、「同僚や上司」と「地域包括支援センター」が継続して高い割合を占めている。

4.4. 高齢者等への虐待が疑われるケースの発見や相談の件数

◆ 「1件～9件」が8割台前半



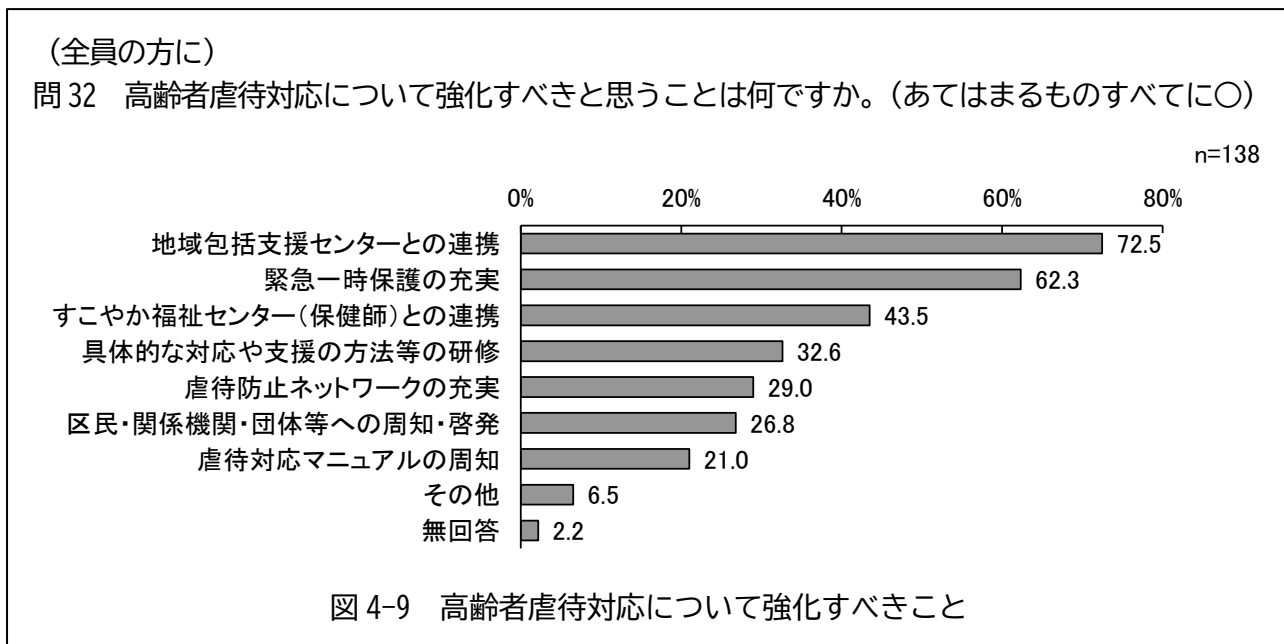
「1件～9件」が8割台前半を占めている。



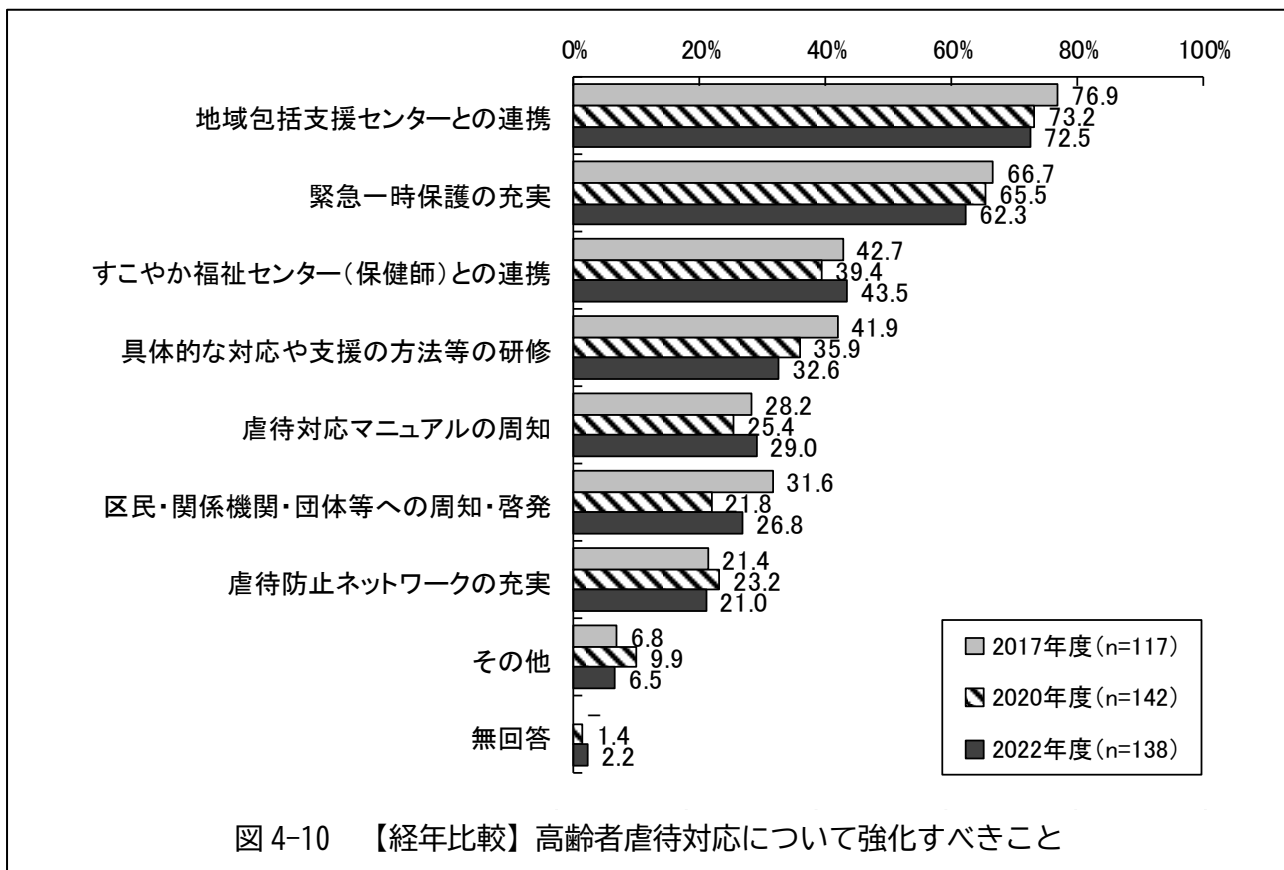
経年比較では、2020年度から大きな差異はみられない。

4.5. 高齢者虐待対応について強化すべきこと

◆ 「地域包括支援センターとの連携」が7割台前半



「地域包括支援センターとの連携」が7割台前半で最も高く、次いで「緊急一時保護の充実」が6割台前半を占めている。

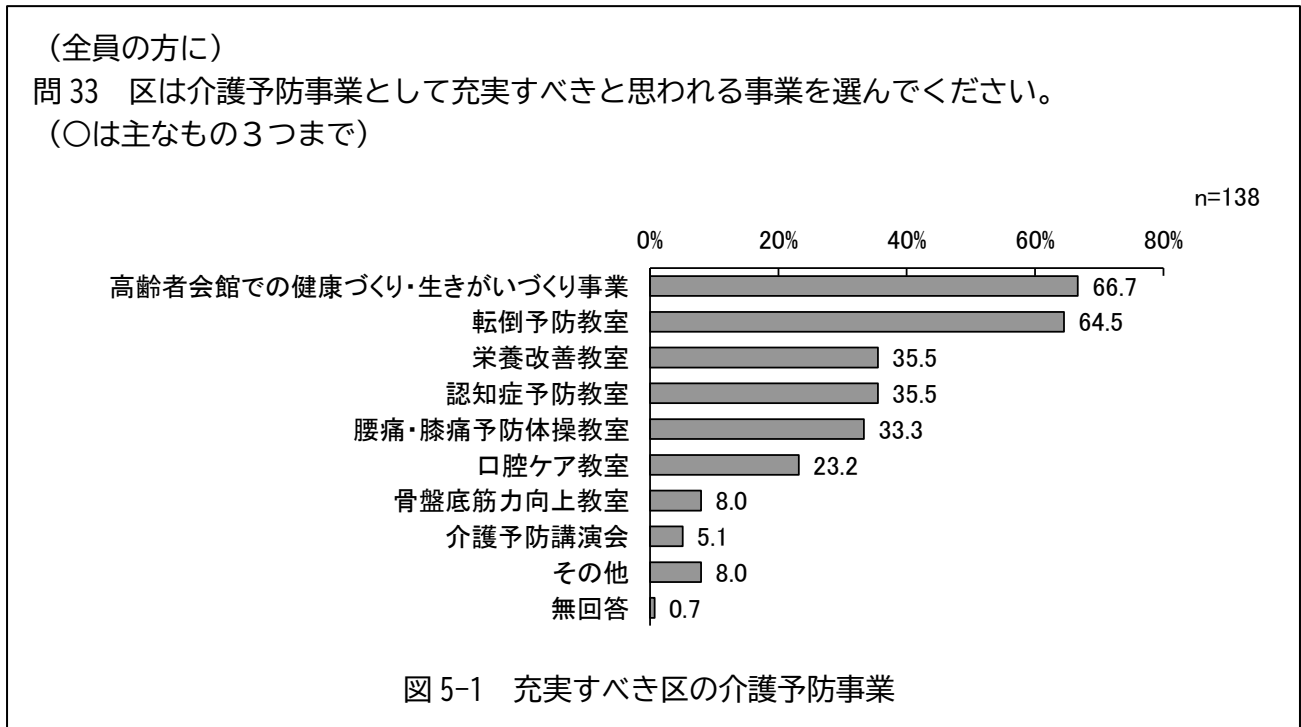


経年比較では、「地域包括支援センターとの連携」と「緊急一時保護の充実」は、年々減少しているものの、いずれも高い割合を占めている。

5. 介護予防について

5.1. 充実すべき区の介護予防事業

◆ 「高齢者会館での健康づくり・生きがいつくり事業」と「転倒予防教室」が6割台半ば

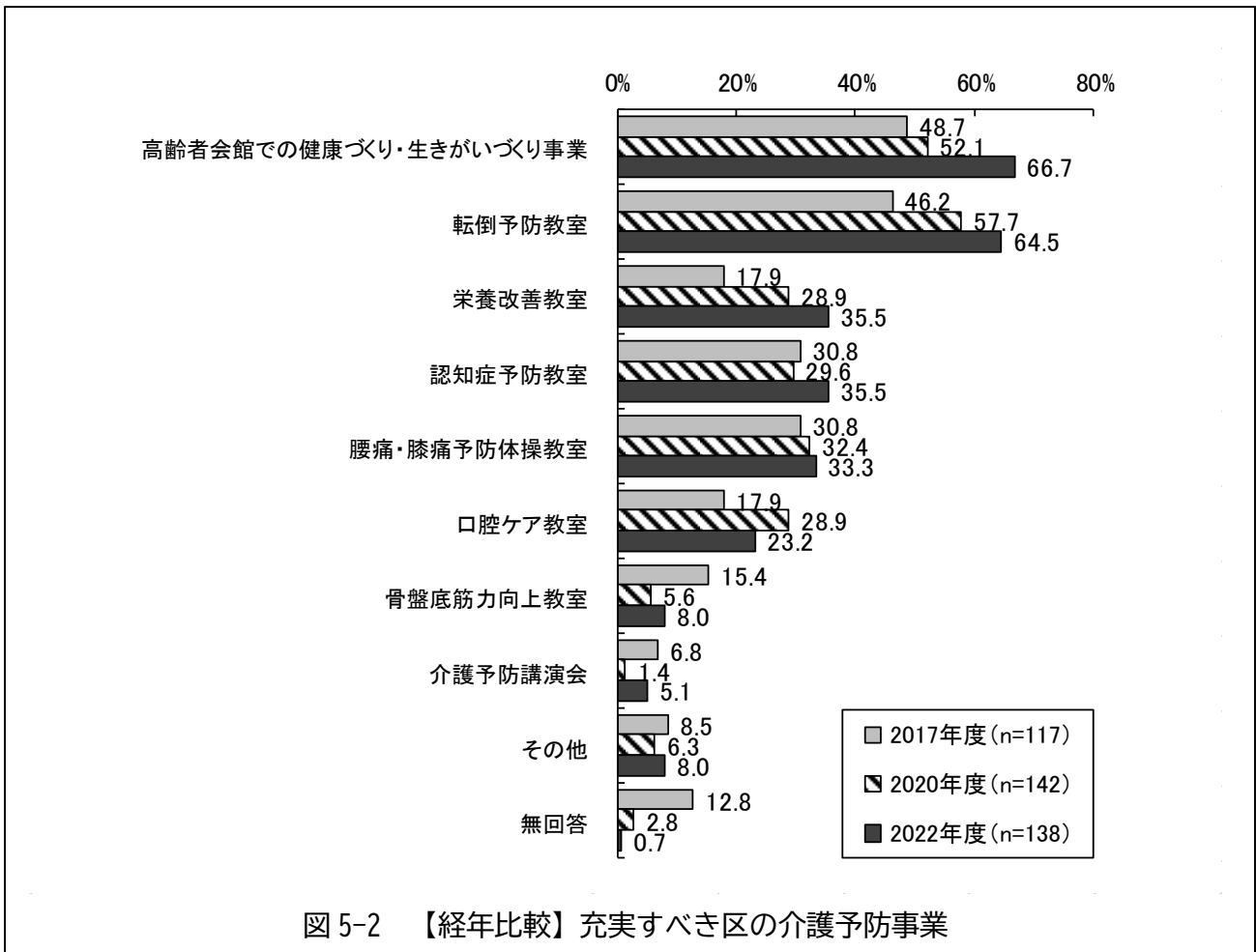


「高齢者会館での健康づくり・生きがいつくり事業」と「転倒予防教室」が6割台半ばを占めている。

【区内外の別】 充実すべき区の介護予防事業

単位：%

	有効回答数 (件)	高齢者会館での健康づくり・生きがいつくり事業	転倒予防教室	認知症予防教室	栄養改善教室	腰痛・膝痛予防体操教室	口腔ケア教室	骨盤底筋力向上教室	介護予防講演会	その他	無回答
中野区	122	66.4	63.1	36.9	36.1	31.1	23.0	7.4	4.9	8.2	0.8
中野区以外	3	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-



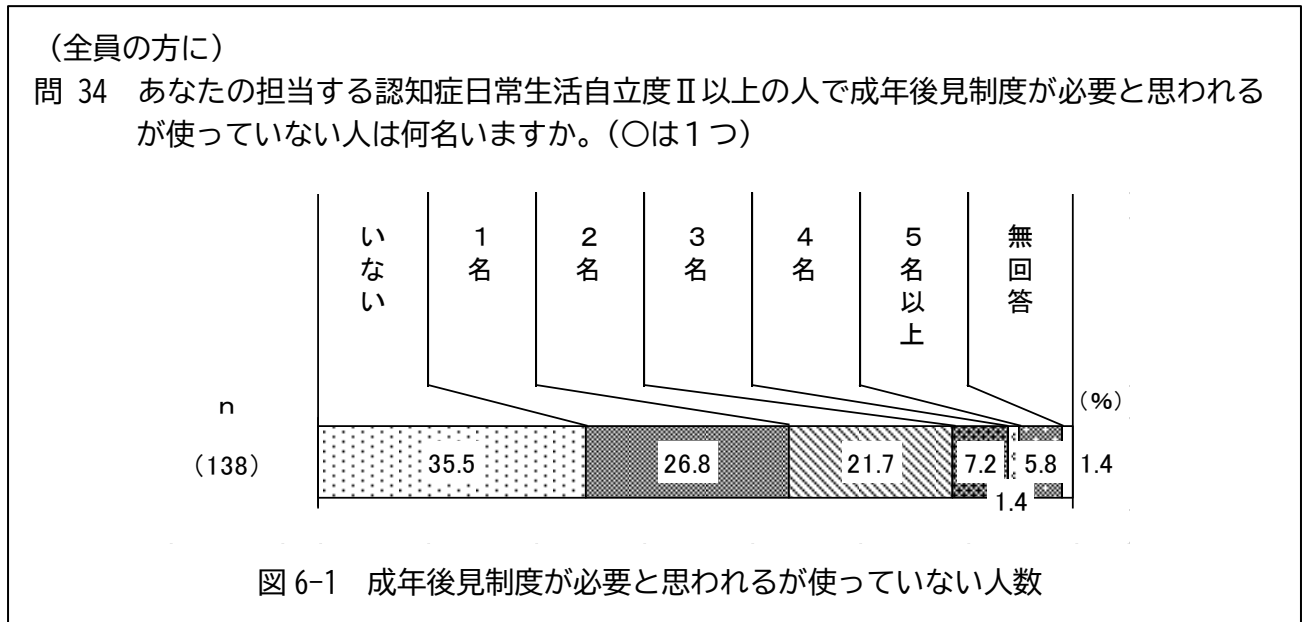
経年比較では、2020年度と比べて「高齢者会館での健康づくり・生きがいつくり事業」は14.6ポイント増加している。

また、「転倒予防教室」や「栄養改善教室」など、上位5項目はいずれも増加している。

6. 成年後見制度について

6.1. 成年後見制度が必要と思われるが使っていない人数

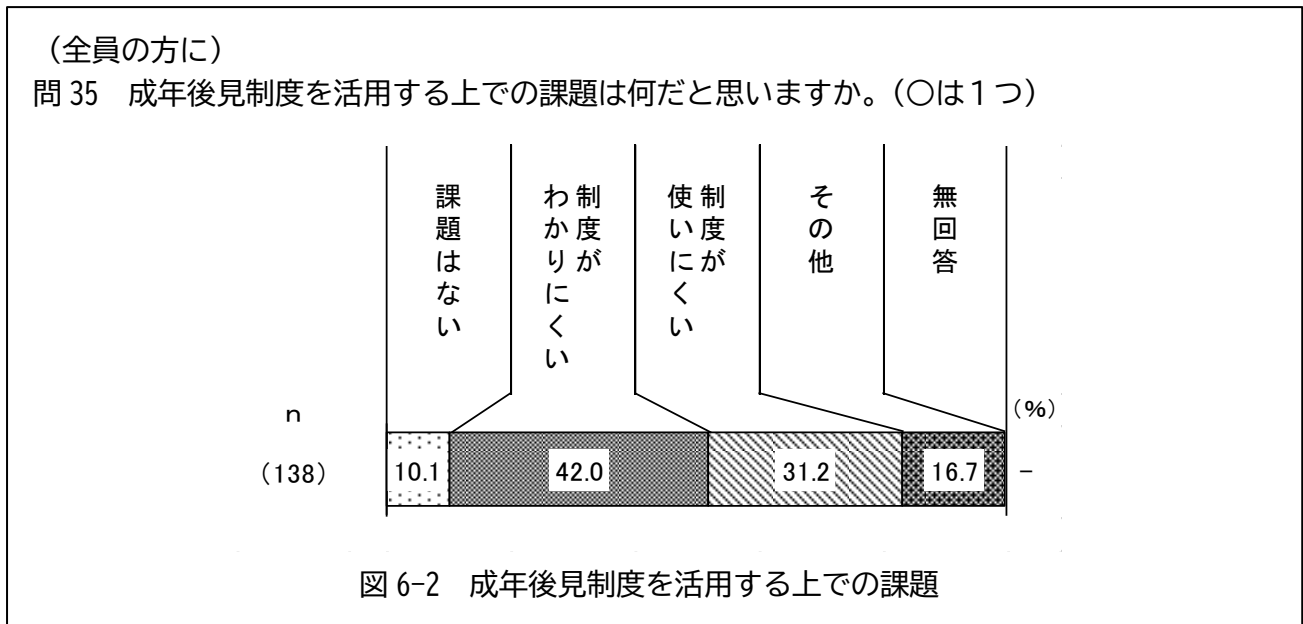
◆ 「いない」が3割台半ば



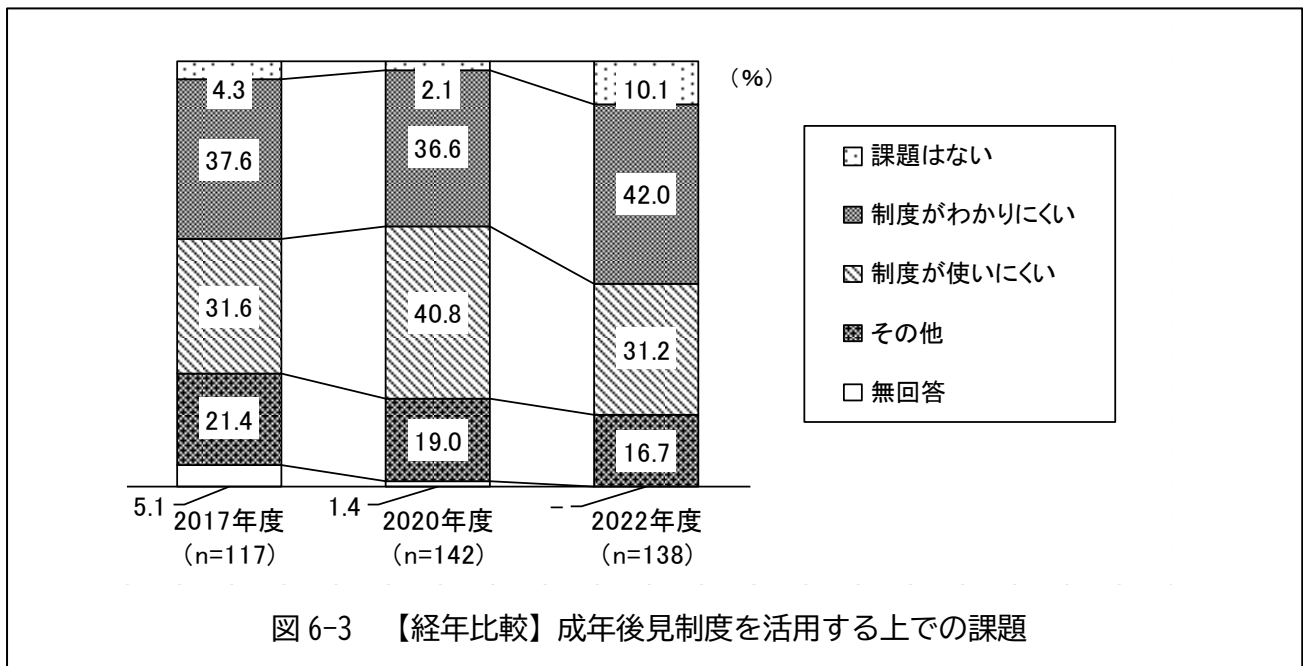
「いない」が3割台半ばで最も高くなっている。

6.2. 成年後見制度を活用する上での課題

◆ 「制度が使いにくい」が4割台前半



「制度がわかりにくい」が4割台前半で最も高く、次いで「制度が使いにくい」が約3割となっている。

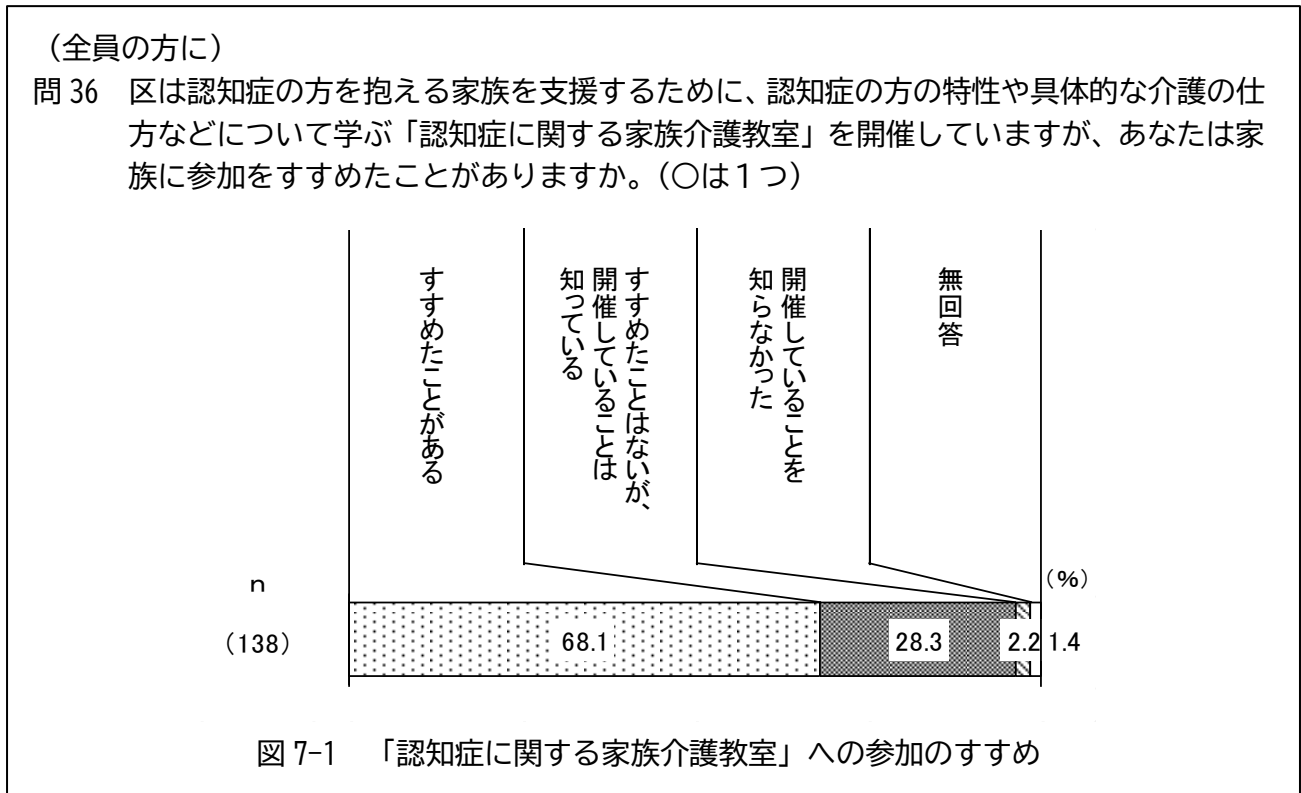


経年比較では、2020年度と比べて「制度が使いにくい」が減少し、「制度がわかりにくい」が増加している。

7. 認知症に関する課題について

7.1. 「認知症に関する家族介護教室」への参加のすすめ

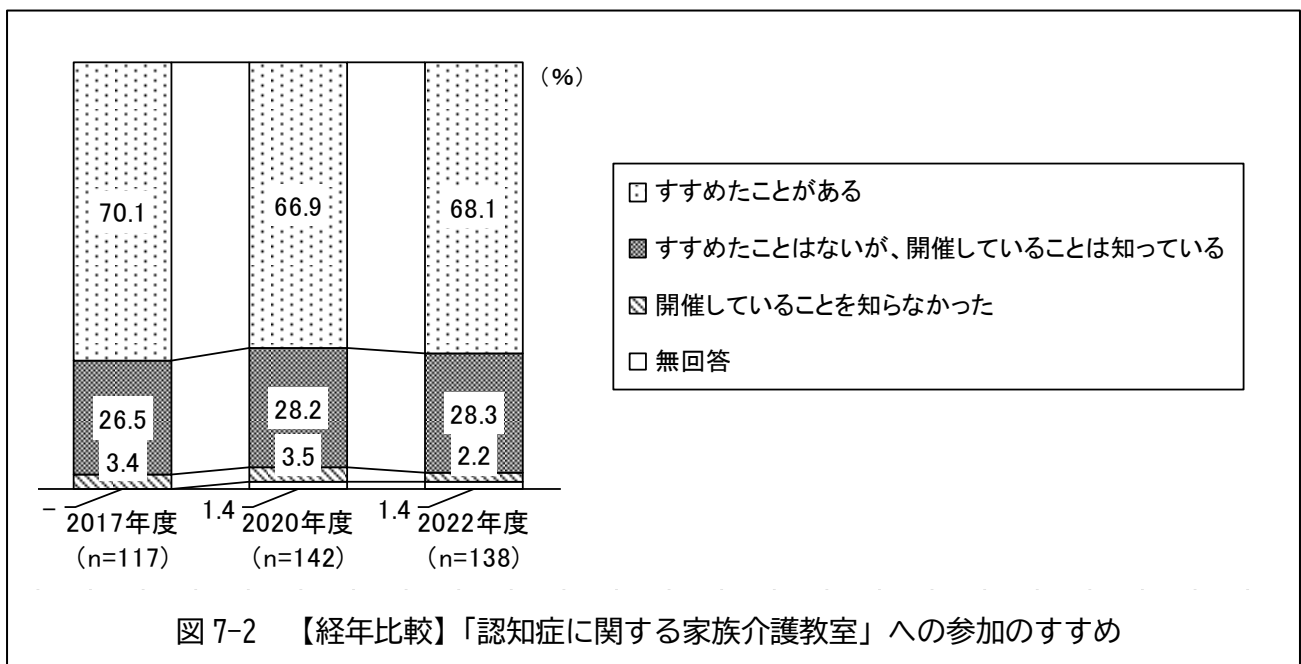
◆ 「すすめたことがある」が6割台後半



「すすめたことがある」が6割台後半を占めている。

【広く周知するための具体的な方法（「開催していることを知らなかった」と回答した方に）】

- ・ 広報の拡大やケア倶楽部での情報発信



経年比較では、大きな差異はみられない。

7.2. 認知症高齢者に関して必要な施策

◆ 「家族への悩みの相談等の支援」が5割台後半

(全員の方に)

問 37 認知症高齢者に関してどのような施策が特に必要だと考えますか。

(○は主なもの3つまで)

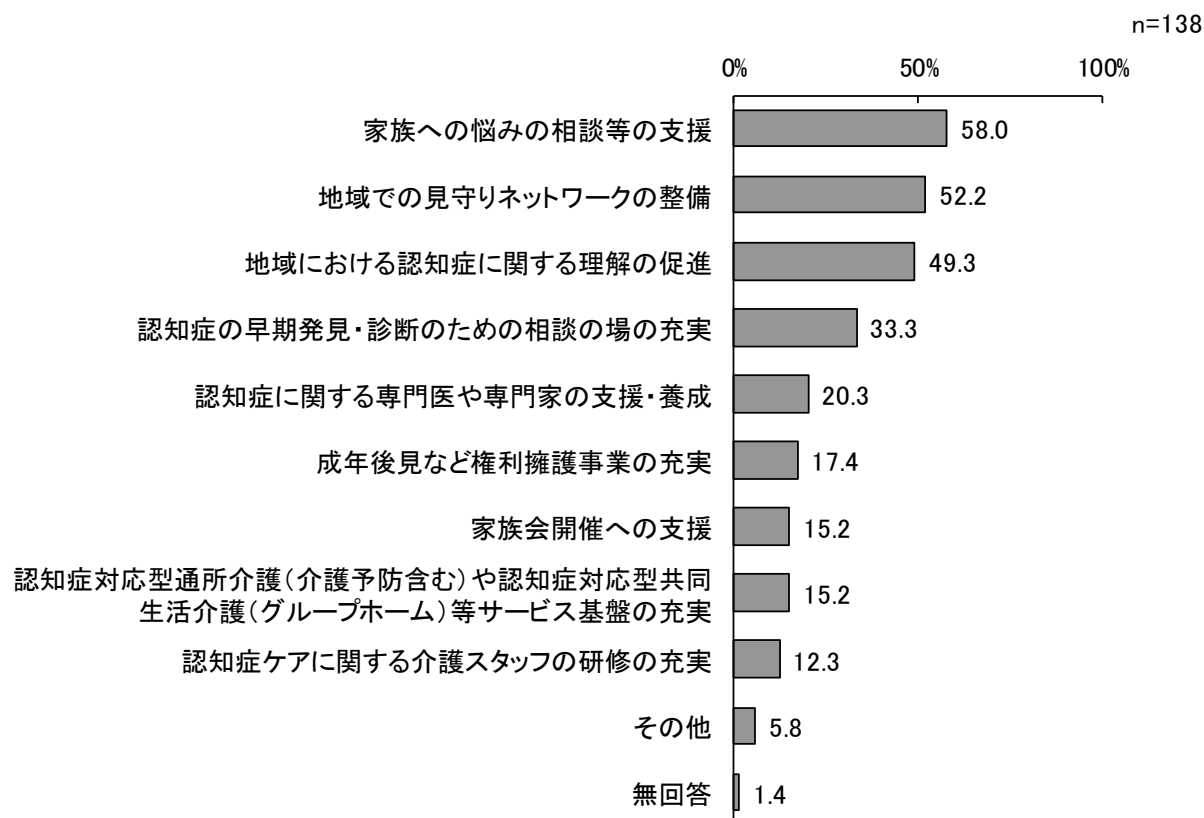
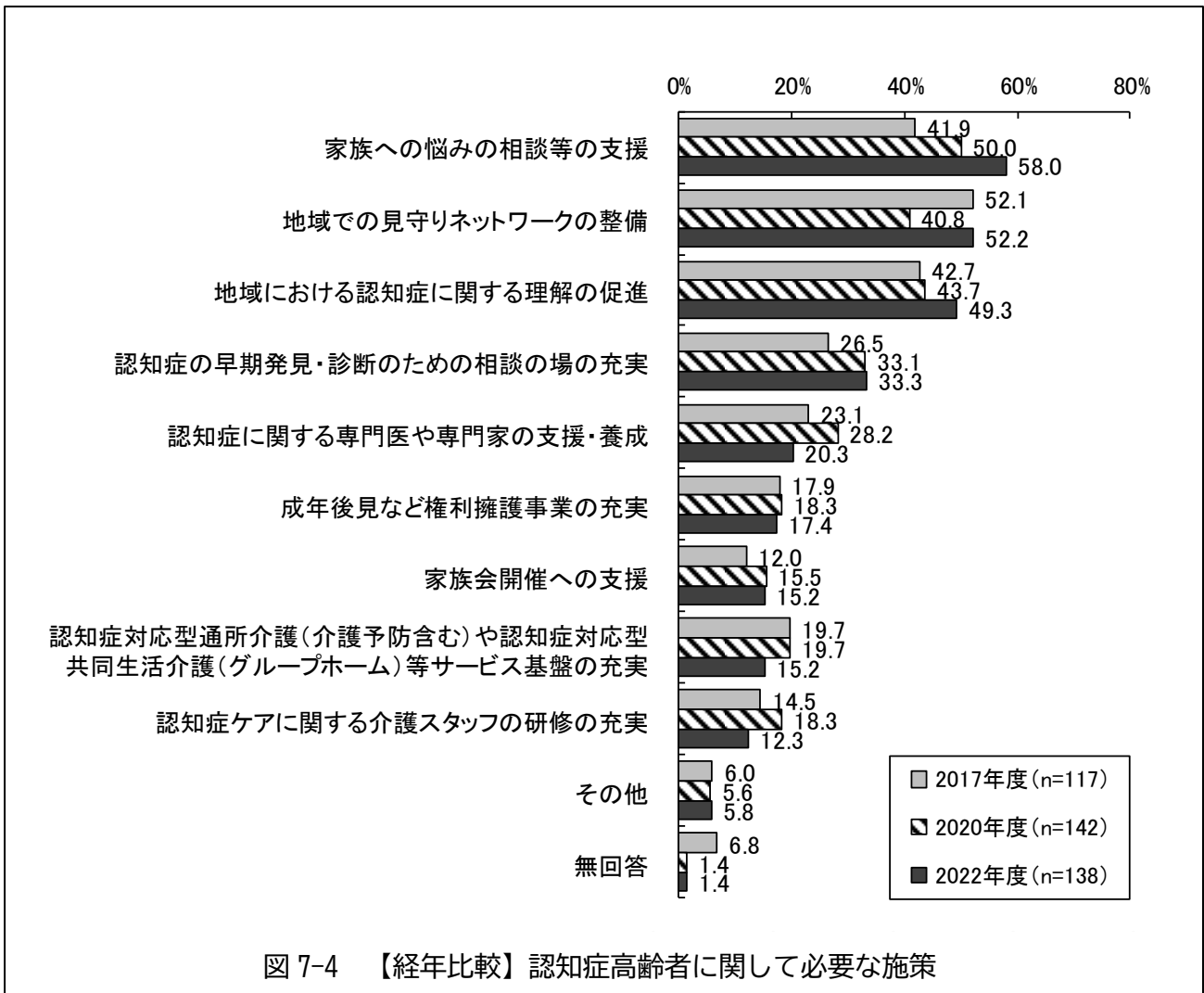


図 7-3 認知症高齢者に関して必要な施策

「家族への悩みの相談等の支援」が5割台後半で最も高く、次いで「地域での見守りネットワークの整備」が5割台前半、「地域における認知症に関する理解の促進」が約5割となっている。

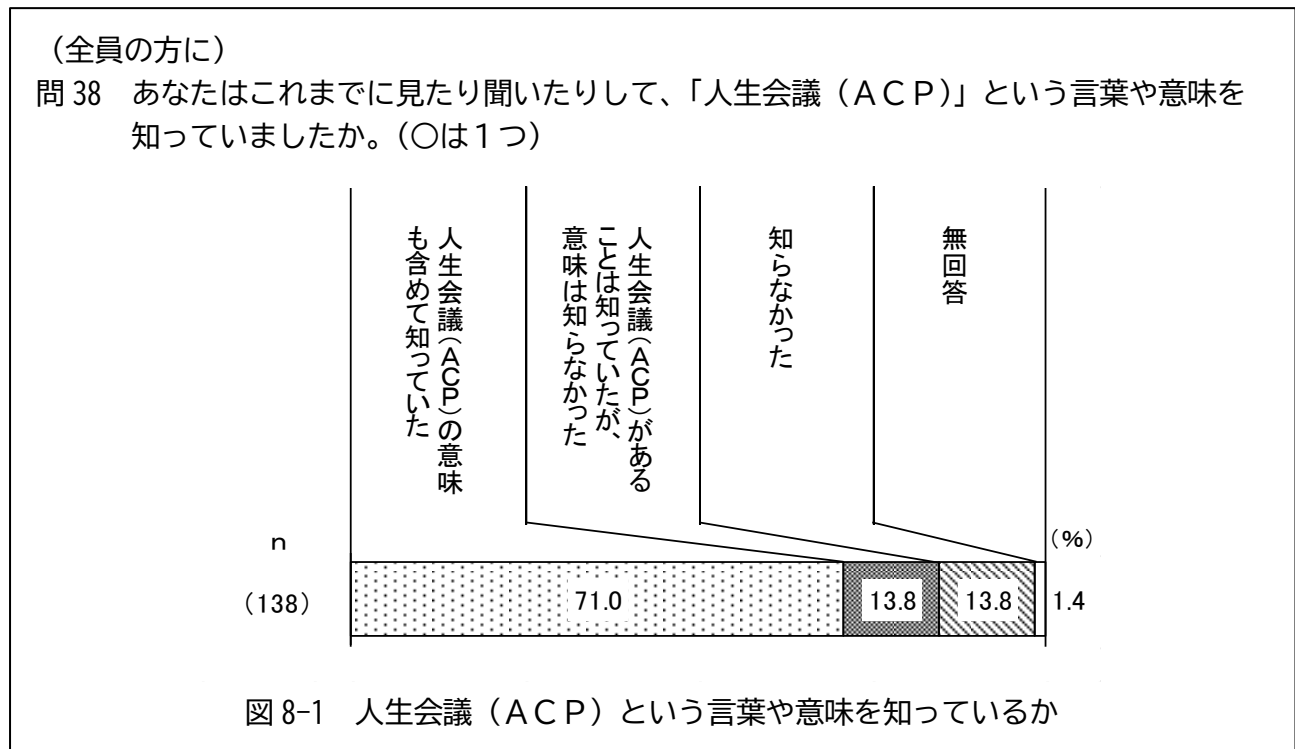


経年比較では、特に上位3項目が大きく増加しており、2020年度と比べて「地域での見守りネットワークの整備」が11.4ポイント、「家族への悩みの相談等の支援」が8.0ポイント、「地域における認知症に関する理解の促進」が5.6ポイントの増加となっている。

8. 人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）について

8.1. 人生会議（ACP）という言葉や意味を知っているか

◆ 「人生会議（ACP）の意味も含めて知っていた」が約7割



「人生会議（ACP）の意味も含めて知っていた」が約7割を占めている。

8.2. 人生会議（ACP）を活用した支援を行った経験の有無

◆ 「支援したことがある」が3割台半ば

(問 38 において「人生会議（ACP）の意味も含めて知っていた」「人生会議（ACP）があることは知っていたが、意味は知らなかった」に○をつけた方に)
 問 39 人生会議（ACP）を活用した支援を行った経験がありますか。(○は1つ)

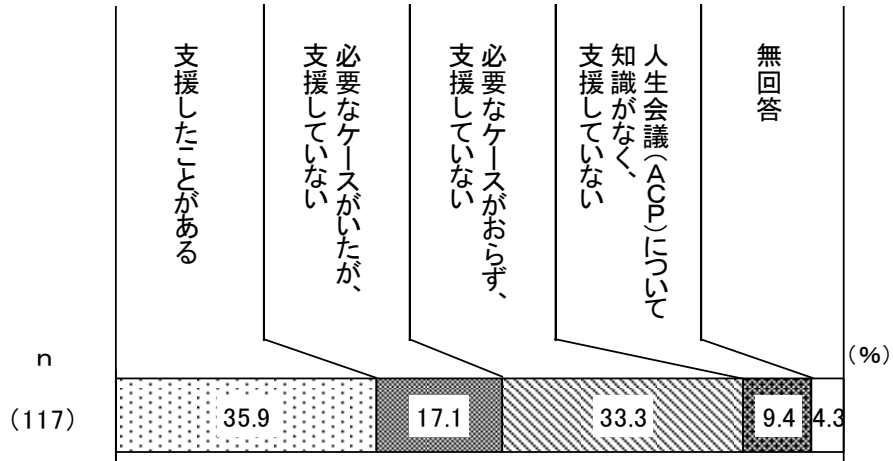


図 8-2 人生会議(ACP)を活用した支援を行った経験の有無

「支援したことがある」が3割台半ばで最も高く、次いで「必要なケースがおらず、支援していない」が3割台前半となっている。

8.3. 人生会議（ACP）を実践する上で難しいと思う点

◆ 「本人や家族の人生会議（ACP）についての理解が不足している」が約6割

（問 38 において「人生会議（ACP）の意味も含めて知っていた」「人生会議（ACP）があることは知っていたが、意味は知らなかった」に○をつけた方に）
 問 40 人生会議（ACP）を実践する上で難しいと思う点は何ですか。
 （あてはまるものすべてに○）

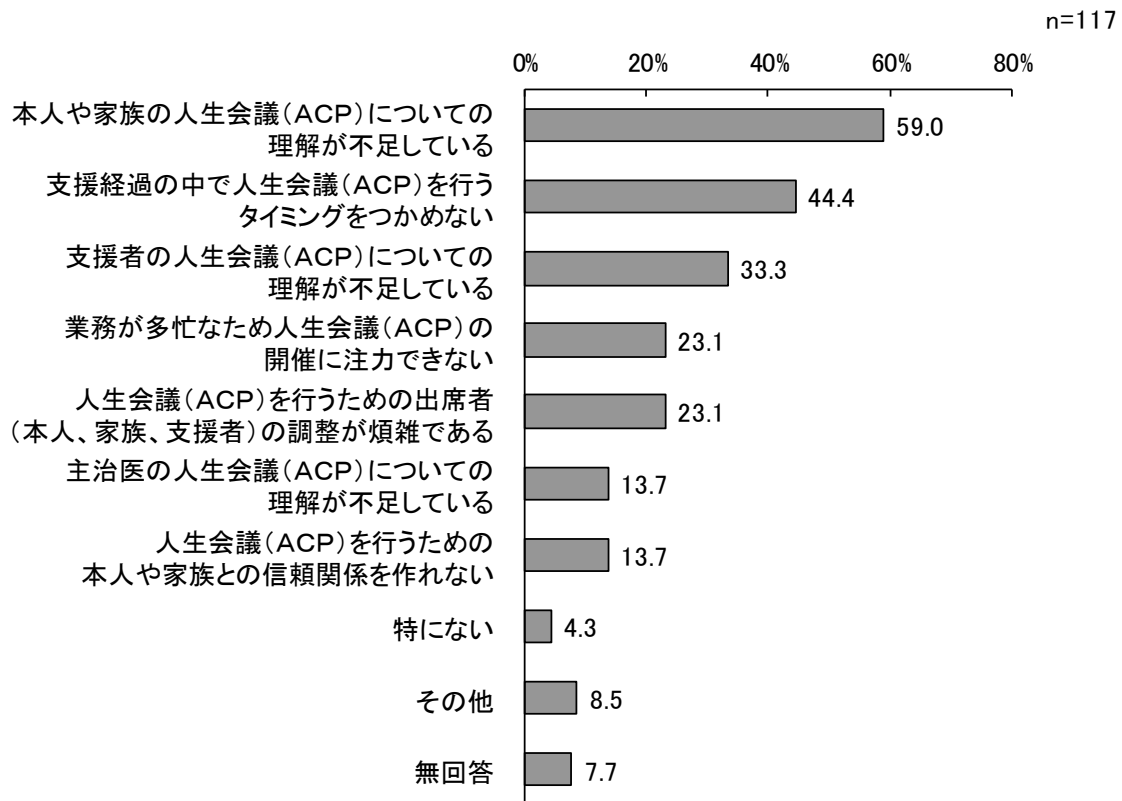


図 8-3 人生会議（ACP）を実践する上で難しいと思う点

「本人や家族の人生会議（ACP）についての理解が不足している」が約6割を占めている。

9. 在宅介護の可能性の拡大について

9.1. 要介護者等が居宅や地域での生活をするために充実すべき点

◆ 「24時間の緊急時に即応できる体制の整備」が7割台前半

(全員の方に)

問 41 要介護者等について、どのような点が充実すれば居宅や地域での生活をすることができますか。(あてはまるものすべてに○)

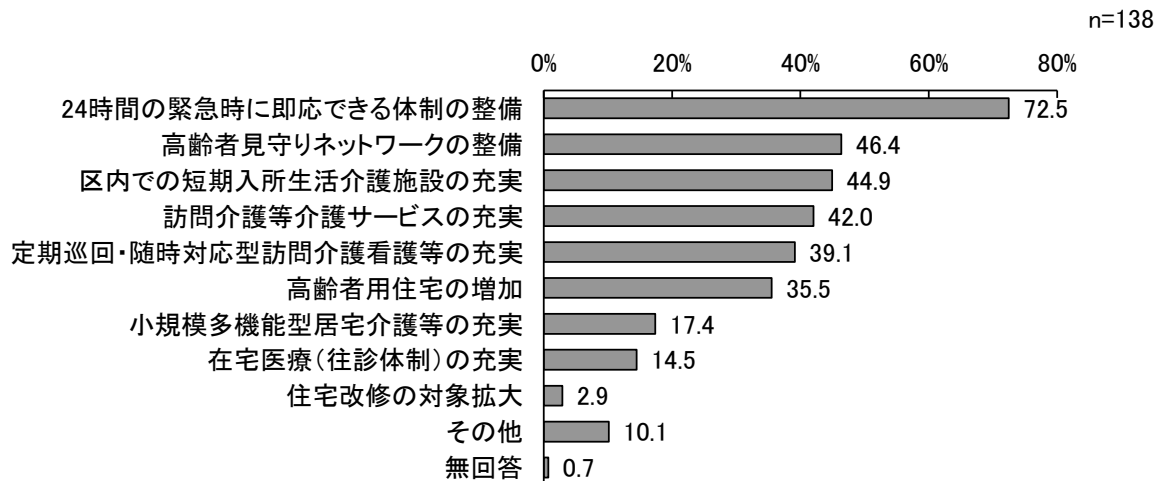
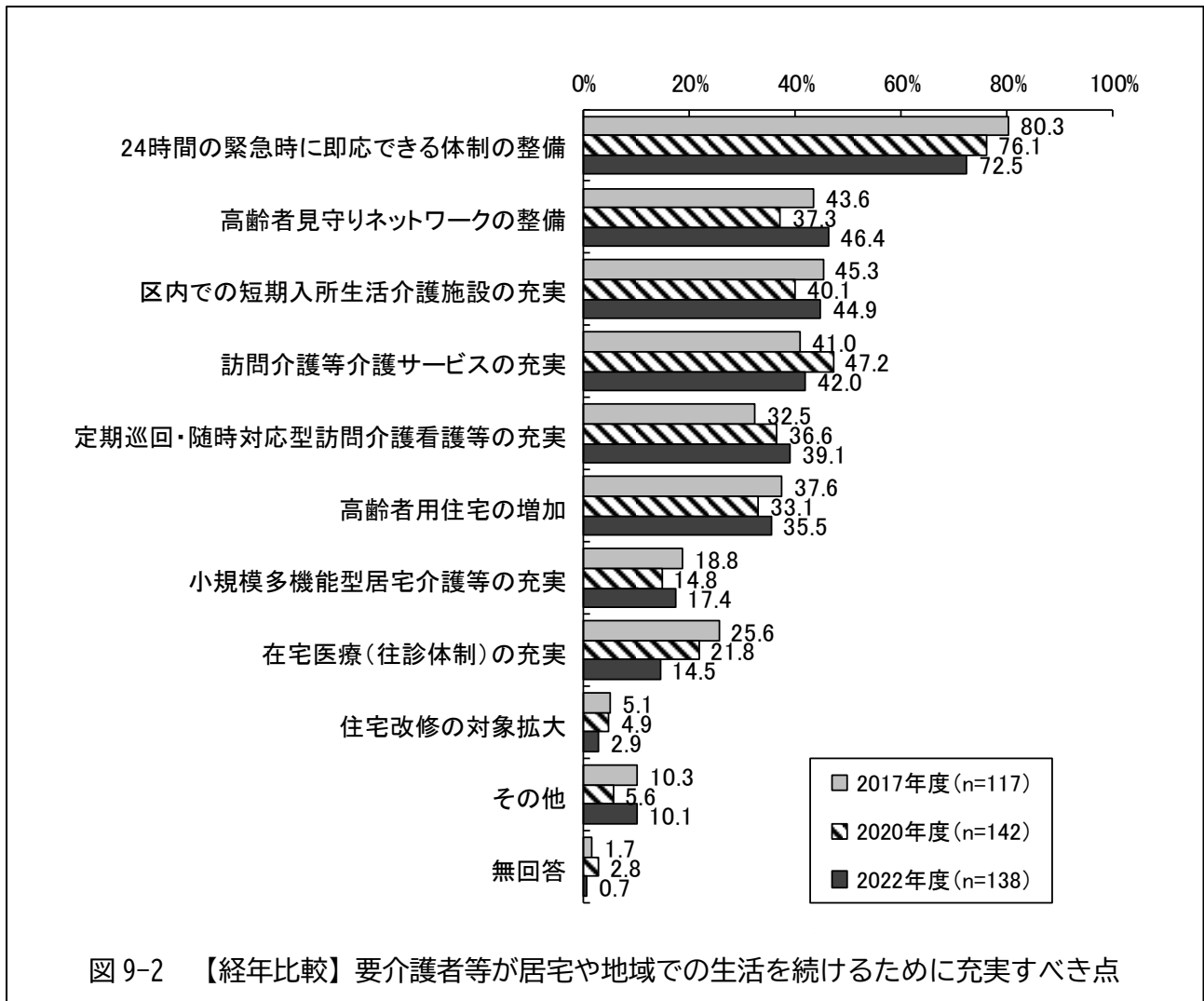


図 9-1 要介護者等が居宅や地域での生活をするために充実すべき点

「24時間の緊急時に即応できる体制の整備」が7割台前半を占めている。



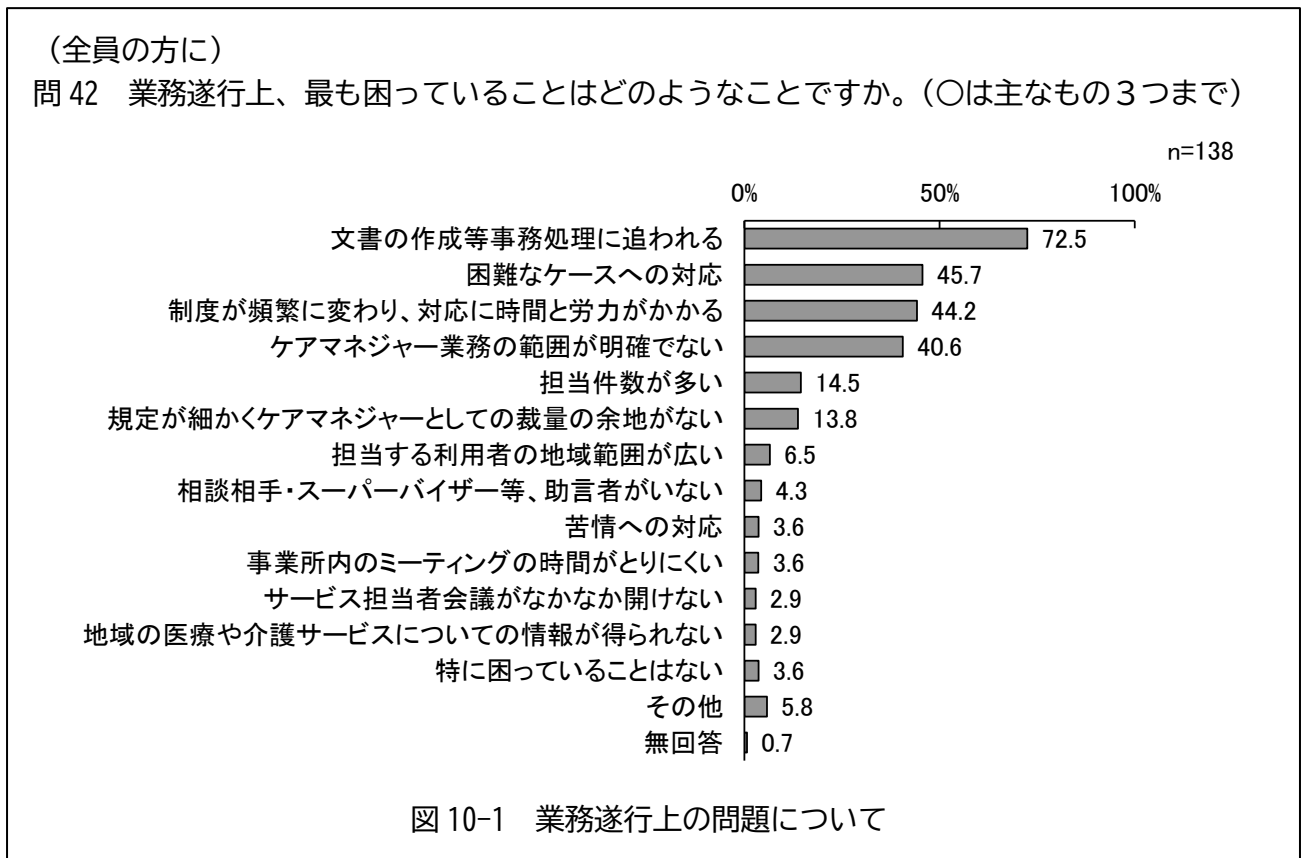
経年比較では、「24時間の緊急時に即応できる体制の整備」が継続して最も高くなっているが、割合は年々減少している。

一方、「高齢者見守りネットワークの整備」は2020年度と比べて9.1ポイントの増加となっている。また、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護等の充実」も年々増加している。

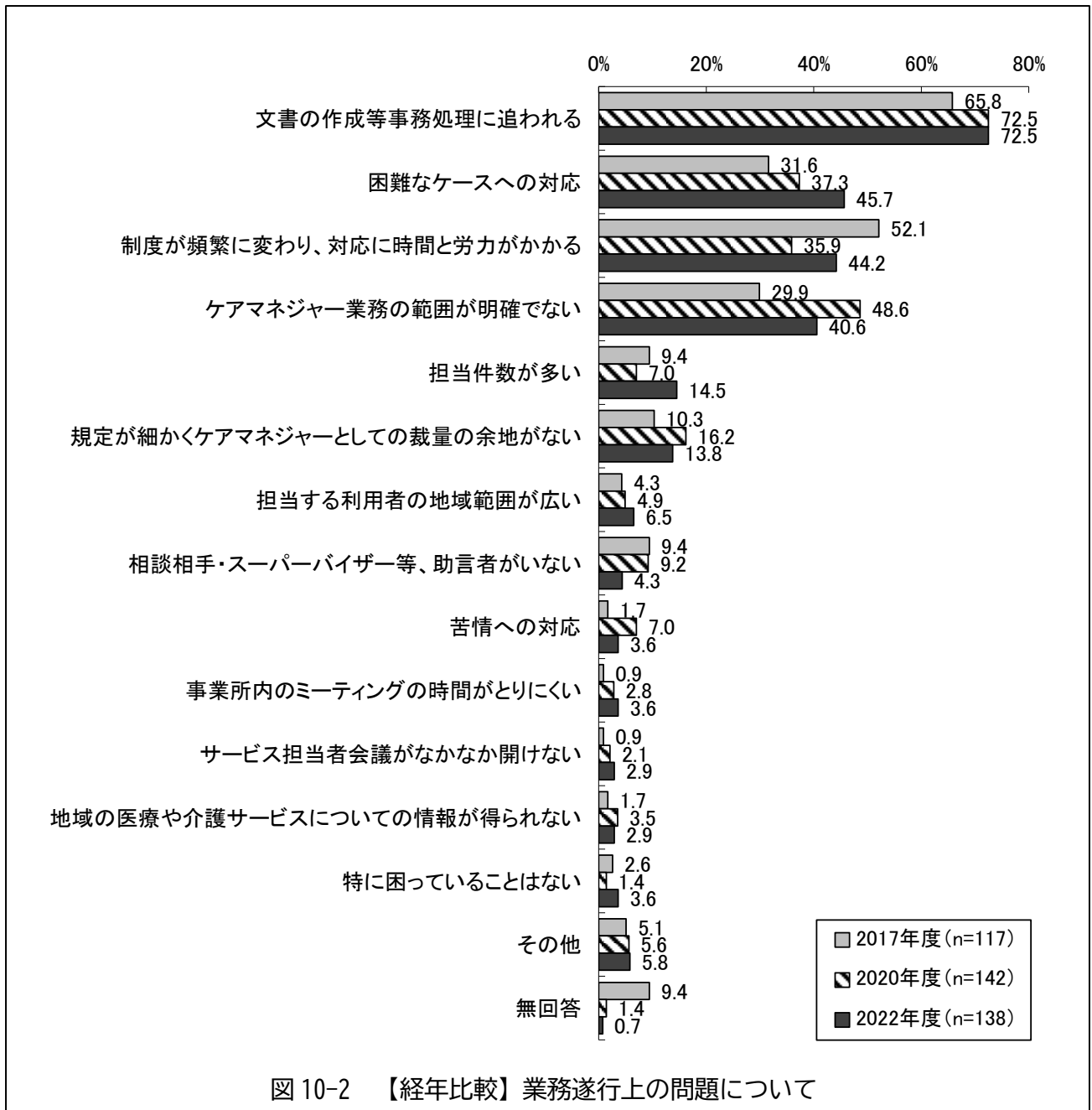
10. 業務遂行上の問題について

10.1. 業務遂行上の問題について

◆ 「文書の作成等事務処理に追われる」が7割台前半



「文書の作成等事務処理に追われる」が7割台前半を占めている。

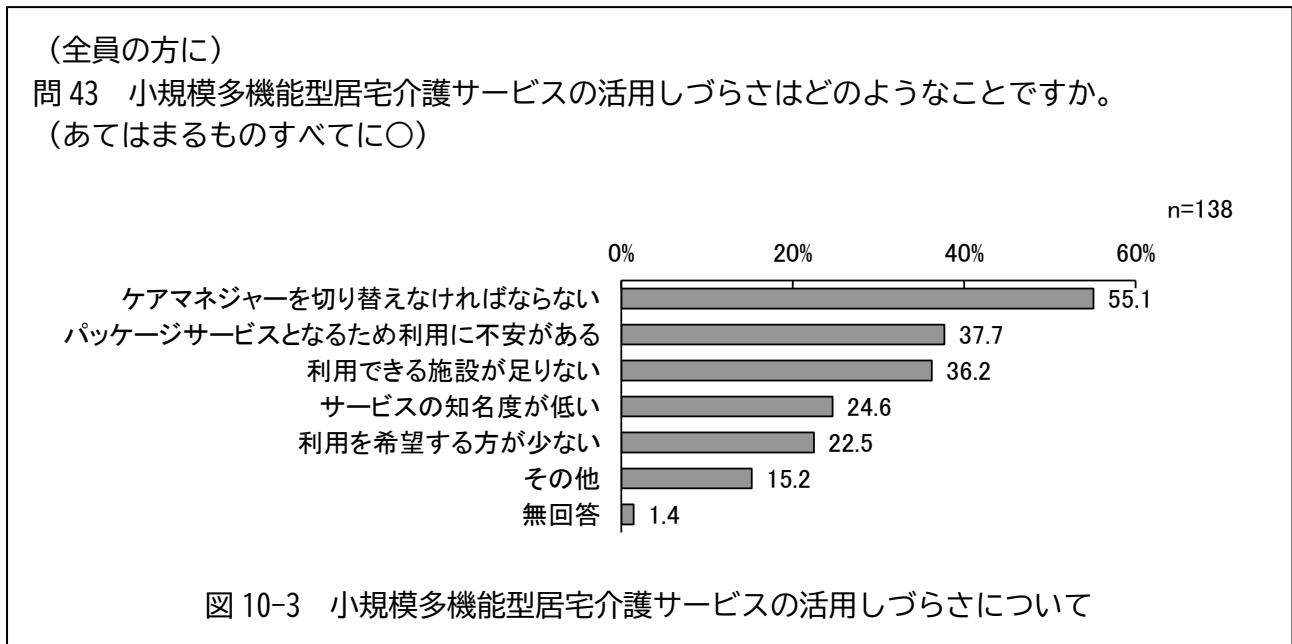


経年比較では、「文書の作成等事務処理に追われる」が継続して最も高くなっている。

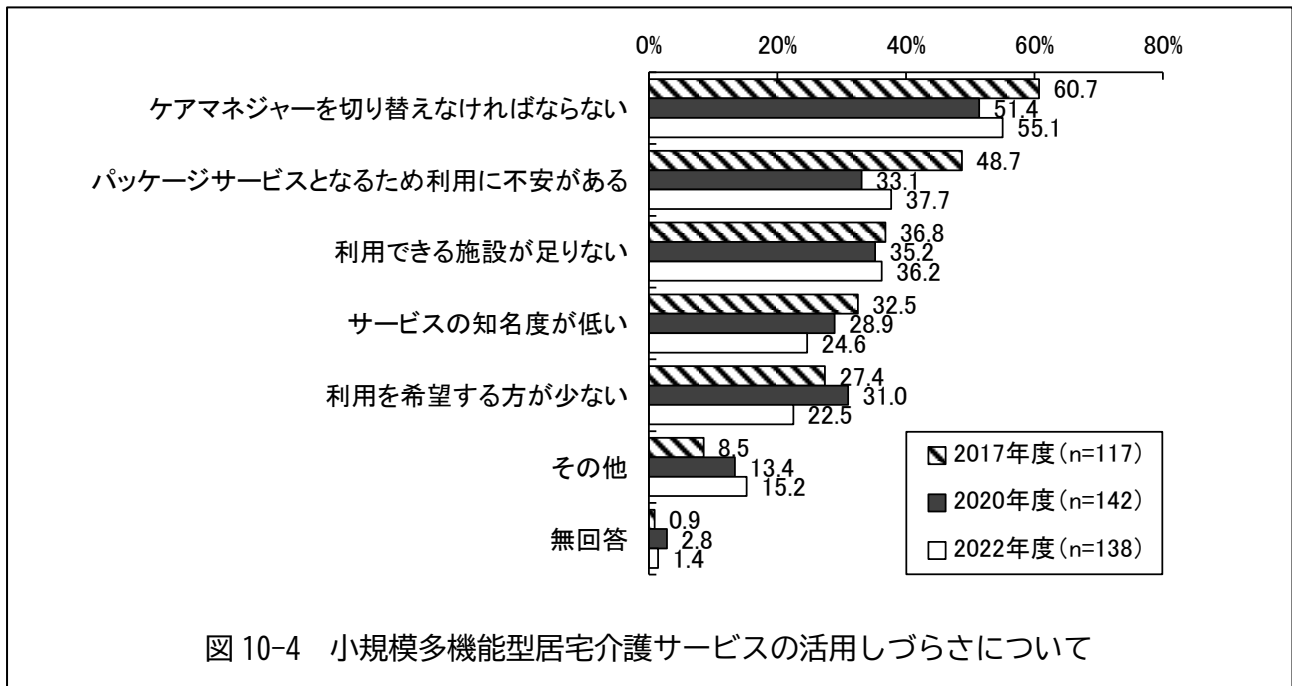
また、2020年度と比べて「困難なケースへの対応」が8.4ポイントの増加、「制度が頻繁に変わり、対応に時間と労力がかかる」が8.3ポイントの増加、「担当件数が多い」が7.5ポイントの増加となっている。

10.2. 小規模多機能型居宅介護サービスの活用しづらさについて

◆ 「ケアマネジャーを切り替えなければならない」が5割台半ば



「ケアマネジャーを切り替えなければならない」が5割台半ばを占めている。



経年比較では、2020年度と比べて「パッケージサービスとなるため利用に不安がある」が4.6ポイント、「ケアマネジャーを切り替えなければならない」が3.7ポイント増加している。

11. その他

11.1. 介護保険制度に関する意見（自由回答）

（全員の方に）

問 44 介護保険制度に関してご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。

介護保険制度に関する意見について、58 件の回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

制度上の課題・サービス範囲の不足について 26 件

- 介護保険では利用できない生活課題が多く相談支援をどこまで関われば良いか仕事の範囲がよくわからない時がある
- 強く感じていることはやはり費用負担面です。年金含め収入が少ないと同じくらい必要な支援が区分支給限度基準額内でおさまらず自己負担発生や自己負担できないので十分な支援が受けられないという状況が多いと感じます。介護度の認定上（調査、審査会）は例えば介護1が妥当であっても実際の生活で必要としている支援（介護保険サービス）は介護1の限度基準額を超えてしまうという悩みがあり、解決できないかと頭を悩ませたり心を傷めたりしております
- 独自サービスを使いやすく、種類を増やしてほしい
- 制度が変わるたび請求に時間がかかる
- 自立支援が適切におこなわれるように使いやすい介護保険制度にして欲しい
- 自立度の高い方でももっと保険制度を活用できるよう範囲を広げて欲しい
- 介護保険制度の改正についていけない。作らなければいけない書類が多すぎて利用者と話あう時間が取れない
- 定期巡回の使い勝手の悪さ。訪問看護との併用が回数的にできない（月3回程度）では使える人が限られる
- 介護で保険利用と自立との狭間の住環境の選択肢がほしい。例えば空き家を利用した自立者のシェアハウスなど
- 3年毎の制度改正に追いつかないことがある。書類面等でも無駄なことを省いてほしい。
- まだ介護保険制度が分かりにくく、利用者や家族に理解が浸透されていなく、ケアマネジャーの仕事が多岐に渡っています。居宅介護支援費に利用者負担が加わらないことを切に願います。
- 適正なサービスの供給が為されればもっと在宅で生活できる方も増えるのではと思います。それと地域のケアマネは減る一方です。適正なサービスの前にケアマネがいなければサービスも利用できません。地方ではすでにケアマネ不足のため自己プランを作成せざるを得ないと聞きます。いずれ中野区でもそうなるのではと思います。ケアマネの確保も大きな課題ではないでしょうか。

ケアマネジャーの処遇改善・現場の負担について 14 件

- 支援する側の人たちがとても疲れています。締め付ける制度ではなく支える側も幸せになるような制度にしていてもらいたい
- ショートステイや施設入所（特に特養）を希望する方が増えてきているが受け皿が少ない。今度もっと増えてくると思う。ケアマネにも処遇改善加算をいただきたいです。
- ケアマネの研修が多すぎる。毎年同じような研修で意味があるのかと思う時もある。
- ケアマネの国家資格の認定。

- サービス事業者はもちろん、医療や区なども、何かあればケアマネに相談をと助言しているが、何でもかんでもケアマネを頼られると、仕事が増えてしまい対応できない。当然利用者対応を優先していると、膨大な書類仕事が増えてしまい、後から整理することがとても苦しい。効率的に仕事をこなすためには、利用者への対応を制限するしかないですが、それは間違いだと思います。また介護従事者の高齢化、特にケアマネの高齢化は進んでおり、若い人に魅力のない仕事になっているのではないかと危惧しています。
- 勉強会の回数を増やしてほしい
- 訪問介護事業所の職員さんが少ないように感じます。なかなか利用者様に合わせたサービス提供が難しいと思う時が多いです。

手続きや事務作業の簡素化・改善について 8件

- 文書作成、記録をする時間を少なくしてその分利用者様のお話を聞きたい。ICTが進んでも対話する時間（ACPを行うには信用、何度も訪問する必要がある）を大切にしたいので必要書類の量を減らしてほしい
- 書類の簡素化を希望します
- 予防の提出書類が多すぎる。手間がかかっている。介護も予防も一件の料金を上げてほしい。連携が少ない方もいるが、連携がすごく多い方もいる。人によってそれぞれのケアプランなのに、料金が介護度によって統一されているのは理解できない。紙や電話でのやり取りが多い。そろそろ電子化してほしい。もっと簡潔な連携ツールが必要。ケアマネになったときに紙媒体が多くてびっくりした。

介護認定について 4件

- 入浴に介助が必要な状態でも要支援の認定が出ることがあります。そうすると入浴の機会の確保が難しいことが多いです。介護が必要な方には必要な介護サービスが利用できる認定を出していただきたいです。介護支援専門員は、きちんとアセスメントしケアマネジメントしてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

区への要望・苦情 3件

- いつも大変お世話になっております。マンパワー（特に訪問介護）の充実を願います。量も質も向上していくと嬉しいです
- ケースバイケースでわからないことが多く出てくる。現場の多様性を理解してアドバイスいただくととても助かります

その他 3件

- 本人や家族から謂れのない中傷やハラスメントを受けることもあり、精神的に辛いと感じることが増えてきた。通信方法が電話以外に「ライン」も加わってきたそれをどう対応すべきか考えている
- 来年の改定で区民に不利なことにならないことを祈るのみです

Ⅲ 調査票と単純集計

令和4年度（2022年度） 高齢福祉・介護保険サービス意向調査 《高齢者調査》

【調査のご記入にあたってのお願い】

1. この調査は、できるかぎりあて名の方ご本人がお答えください。ご本人がお答えにならない場合には、ご家族や介護されている方が、ご本人の立場に立ってお答えください。
2. このアンケートは名前・住所を書いていただく必要はありません。
3. ご記入は、必ず黒又は青のボールペン又は鉛筆でお願いします。
4. 質問番号に沿って、できるかぎり全部の質問にお答えください。
5. お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
6. 「その他（ ）」に○印をつけられた方は、お手数ですが具体的にご記入ください。
7. ご記入いただきました調査票は、

令和4年12月6日（火曜日）までに

三つ折りにした上で、同封した返信用封筒（切手不要）に入れて郵送してください。

8. 調査報告書は、令和5年7月から図書館、すこやか福祉センター、区ホームページなどでご覧になれる予定です。
9. 調査の内容や記入の方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

中野区地域支えあい推進部介護・高齢者支援課管理企画係

TEL. 03-3228-5629 FAX. 03-3228-8972

E-mail kaigokourei@city.tokyo-nakano.lg.jp

質問の上に（全員の方に）と記載のあるものは全員の方が、（～の方に）とその他の記載があるものはその条件に合う方のみお答えください。

（全員の方に）

問1 記入日

令和4年	<input type="text"/>	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
------	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	---

（全員の方に）＜回答者数：1,652＞

問2 調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。（○は1つ）

- | | |
|----------------------|-----------|
| 1. あて名のご本人が記入(89.3%) | |
| 2. ご家族が記入(4.0%) | |
| 3. その他(0.1%) | 無回答(6.7%) |

【個人情報の取り扱いについて】

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護及び活用目的について】

- ・この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、区による介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、区において適切に管理いたします。
- ・ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する区外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

1 あなた自身のことについておたずねします

（令和4年10月1日現在の状況をお答えください。）

（全員の方に）＜回答者数：1,652＞

問3 あなたがお住まいの地域はどこですか。（○は1つ）

- | | | | |
|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 1. 上鷺宮(3.4%) | 2. 鷺宮(4.7%) | 3. 白鷺(4.8%) | 4. 若宮(3.8%) |
| 5. 大和町(3.6%) | 6. 江原町(2.4%) | 7. 江古田(4.8%) | 8. 野方(5.5%) |
| 9. 丸山(1.8%) | 10. 沼袋(5.1%) | 11. 松が丘(1.7%) | 12. 新井(4.8%) |
| 13. 上高田(8.0%) | 14. 中野(8.7%) | 15. 東中野(5.9%) | 16. 中央(8.1%) |
| 17. 本町(8.2%) | 18. 弥生町(6.5%) | 19. 南台(5.6%) | 無回答(2.6%) |

(全員の方に)

問4 丁目を記入してください

() 丁目

(全員の方に) <回答者数：1,652>

問5 あなたの性別はどちらですか。

1. 男(30.9%)	2. 女(68.0%)	無回答(1.0%)
-------------	-------------	-----------

(全員の方に) <回答者数：1,652>

問6 あなたの年齢は、次のどれにあてはまりますか。

1. 65～69歳(22.7%)	2. 70～74歳(24.6%)	3. 75～79歳(21.4%)
4. 80～84歳(14.9%)	5. 85～89歳(10.7%)	6. 90～94歳(3.6%)
7. 95～99歳(0.9%)	8. 100歳以上(0.1%)	無回答(1.1%)

2 あなたのご家族や生活状況について

(令和4年10月1日現在の状況をお答えください。)

(全員の方に) <回答者数：1,652>

問7 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

1. 1人暮らし(41.9%)	2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)(23.4%)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)(4.7%)	4. 息子・娘との2世帯(14.1%)
5. その他(14.2%)	無回答(1.8%)

(全員の方に) <回答者数：1,652>

問8 あなたは要支援認定等を受けていますか。(○は1つ)

1. 要支援認定等を受けていない(85.9%)	2. 要支援1(5.1%)
3. 要支援2(3.8%)	4. 介護予防・生活支援サービス事業対象者(1.4%)
5. わからない(1.8%)	無回答(2.0%)

(全員の方に) <回答者数：1,652>

問8-1 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

- | | |
|---|-----------|
| 1. 介護・介助は必要ない(85.7%) | |
| 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない(6.1%) | |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている(6.4%)
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) | 無回答(1.9%) |

(問8-1において「2」「3」に○をつけた方に) <回答者数：205>

問8-2 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)(8.8%) | 2. 心臓病(19.0%) |
| 3. がん(悪性新生物)(5.9%) | 4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)(5.9%) |
| 5. 関節の病気(リウマチ等)(7.8%) | 6. 認知症(アルツハイマー病等)(6.8%) |
| 7. パーキンソン病(2.0%) | 8. 糖尿病(8.3%) |
| 9. 腎疾患(透析)(1.5%) | 10. 視覚・聴覚障害(5.4%) |
| 11. 骨折・転倒(18.5%) | 12. 脊椎損傷(6.3%) |
| 13. 高齢による衰弱(27.8%) | 14. その他(19.0%) |
| 15. 不明(2.4%) | 無回答(11.7%) |

(問8-1において「3」に○をつけた方に) <回答者数：105>

問8-3 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------------------|---------------|----------------|
| 1. 配偶者(夫・妻)(19.0%) | 2. 息子(15.2%) | 3. 娘(19.0%) |
| 4. 子の配偶者(8.6%) | 5. 孫(2.9%) | 6. 兄弟・姉妹(4.8%) |
| 7. 介護サービスのヘルパー(38.1%) | 8. その他(12.4%) | 無回答(8.6%) |

(全員の方に) <回答者数：1,652>

問9 あなたの世帯の昨年の合計収入はいくらですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 収入なし(10.4%) | 2. 200万円未満(27.8%) |
| 3. 200~500万円未満(40.0%) | 4. 500~700万円未満(7.7%) |
| 5. 700~1,000万円未満(4.4%) | 6. 1,000~1,500万円未満(2.6%) |
| 7. 1,500万円以上(1.7%) | 無回答(5.4%) |

(全員の方に) <回答者数：1,652>

問9-1 あなたの現在の預貯金はいくらですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------|-------------------------------|
| 1. 貯蓄なし(12.2%) | 2. 50万円未満(7.7%) |
| 3. 50~300万円未満(18.3%) | 4. 300~1,000万円未満(22.2%) |
| 5. 1,000~3,000万円未満(23.1%) | 6. 3,000万円以上(11.3%) 無回答(5.1%) |

(全員の方に) <回答者数：1,652>

問9-2 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------------|-------------------|---------------|
| 1. 大変苦しい(11.7%) | 2. やや苦しい(25.4%) | 3. ふつう(49.9%) |
| 4. ややゆとりがある(9.3%) | 5. 大変ゆとりがある(1.7%) | 無回答(2.0%) |

(全員の方に) <回答者数：1,652>

問10 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 持家(一戸建て)(44.6%) | 2. 持家(集合住宅)(23.2%) |
| 3. 公営賃貸住宅(5.0%) | 4. 民間賃貸住宅(一戸建て)(1.0%) |
| 5. 民間賃貸住宅(集合住宅)(19.9%) | 6. 借家(1.8%) |
| 7. その他(2.7%) | 無回答(1.8%) |

3 からだを動かすことについて

(記入日現在の状況をお答えください。)

(全員の方に) <回答者数：1,652>

問11 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---------------------|----------------------|----------------|-----------|
| 1. できるし、している(61.1%) | 2. できるけどしていない(18.8%) | 3. できない(18.6%) | 無回答(1.6%) |
|---------------------|----------------------|----------------|-----------|

(全員の方に) <回答者数：1,652>

問12 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---------------------|----------------------|----------------|-----------|
| 1. できるし、している(74.6%) | 2. できるけどしていない(11.7%) | 3. できない(12.0%) | 無回答(1.6%) |
|---------------------|----------------------|----------------|-----------|

(全員の方に) <回答者数 : 1,652>

問 13 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

1. できるし、している(82.2%) 2. できるけどしていない(10.4%) 3. できない(6.2%) 無回答(1.2%)

(全員の方に) <回答者数 : 1,652>

問 14 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

1. 何度もある(8.8%) 2. 1度ある(23.4%) 3. ない(66.8%) 無回答(1.1%)

(全員の方に) <回答者数 : 1,652>

問 15 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

1. とても不安である(18.1%) 2. やや不安である(40.9%)
3. あまり不安でない(22.1%) 4. 不安でない(18.0%) 無回答(0.9%)

(全員の方に) <回答者数 : 1,652>

問 16 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

1. ほとんど外出しない(5.0%) 2. 週1回(7.6%)
3. 週2~4回(43.6%) 4. 週5回以上(43.0%) 無回答(0.8%)

(全員の方に) <回答者数 : 1,652>

問 17 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

1. とても減っている(4.7%) 2. 減っている(28.9%)
3. あまり減っていない(32.3%) 4. 減っていない(33.1%) 無回答(1.0%)

(問17で「1」「2」に○をつけた方に) <回答者数 : 555>

問 17-1 外出が減っている理由は次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 病気(10.3%) 2. 障害(脳卒中の後遺症など)(2.9%)
3. 足腰などの痛み(44.3%) 4. トイレの心配(失禁など)(11.2%)
5. 耳の障害(聞こえの問題など)(4.1%) 6. 目の障害(3.4%)
7. 外での楽しみがない(19.1%) 8. 経済的に出られない(8.6%)
9. 交通手段がない(2.0%) 10. 同行してくれる人がいない(8.8%)
11. 家族等から止められている(1.6%) 12. その他(36.2%) 無回答(4.0%)

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 18 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 徒歩(83.8%)	2. 自転車(34.1%)
3. バイク(1.0%)	4. 自動車(自分で運転)(9.2%)
5. 自動車(人に乗せてもらう)(12.7%)	6. 電車(59.0%)
7. 路線バス(55.9%)	8. 病院や施設のバス(1.6%)
9. 車いす(0.7%)	10. 電動車いす(カート)(0.2%)
11. 歩行器・シルバーカー(2.3%)	12. タクシー(19.5%)
13. その他(0.7%)	無回答(0.8%)

4 食べることについて

(記入日現在の状況をお答えください。)

(全員の方に)

問 19 身長・体重

①身長 () c m	②体重 () k g
-------------	-------------

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 20 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

1. はい(28.9%)	2. いいえ(70.5%)	無回答(0.6%)
--------------	---------------	-----------

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 21 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

1. はい(30.1%)	2. いいえ(69.2%)	無回答(0.7%)
--------------	---------------	-----------

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 22 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

1. はい(30.7%)	2. いいえ(68.6%)	無回答(0.7%)
--------------	---------------	-----------

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 23 歯磨き(人にやってもらう場合を含む)を毎日していますか。(○は1つ)

1. はい(91.3%)	2. いいえ(6.8%)	無回答(1.8%)
--------------	--------------	-----------

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 24 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)(○は1つ)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用(14.1%)	
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし(40.2%)	
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用(30.3%)	
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし(11.1%)	無回答(4.2%)

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 24-1 噛み合わせは良いですか。(○は1つ)

1. はい(69.6%)	2. いいえ(17.9%)	無回答(12.5%)
--------------	---------------	------------

(問 24 で「1」「3」に○をつけた方に) <回答者数: 734>

問 24-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)

1. はい(88.4%)	2. いいえ(8.0%)	無回答(3.5%)
--------------	--------------	-----------

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 25 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

1. はい(13.4%)	2. いいえ(85.5%)	無回答(1.2%)
--------------	---------------	-----------

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 26 どなたかと食事をとる機会がありますか。(○は1つ)

1. 毎日ある(44.6%)	2. 週に何度かある(12.4%)
3. 月に何度かある(17.4%)	4. 年に何度かある(11.9%)
5. ほとんどない(13.0%)	無回答(0.8%)

5 毎日の生活について

(記入日現在の状況をお答えください。)

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 27 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

1. はい(41.8%)	2. いいえ(56.9%)	無回答(1.3%)
--------------	---------------	-----------

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 28 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされますか。(○は1つ)

1. はい(10.9%)	2. いいえ(87.8%)	無回答(1.3%)
--------------	---------------	-----------

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 29 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)

1. はい(86.4%)	2. いいえ(12.8%)	無回答(0.8%)
--------------	---------------	-----------

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 30 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)

1. はい(25.2%)	2. いいえ(73.8%)	無回答(0.9%)
--------------	---------------	-----------

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 31 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(○は1つ)

1. できるし、している(85.9%)	2. できるけどしていない(8.7%)	3. できない(4.6%)	無回答(0.8%)
---------------------	---------------------	---------------	-----------

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 32 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している(91.5%)	2. できるけどしていない(5.4%)	3. できない(2.5%)	無回答(0.6%)
---------------------	---------------------	---------------	-----------

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 33 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している(86.9%)	2. できるけどしていない(9.4%)	3. できない(2.9%)	無回答(0.8%)
---------------------	---------------------	---------------	-----------

(全員の方に) <回答者数 : 1,652>

問 34 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している(89.0%) 2. できるけどしていない(7.3%) 3. できない(2.2%) 無回答(1.5%)

(全員の方に) <回答者数 : 1,652>

問 35 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している(90.9%) 2. できるけどしていない(5.9%) 3. できない(1.9%) 無回答(1.3%)

(全員の方に) <回答者数 : 1,652>

問 36 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。(○は1つ)

1. はい(92.9%) 2. いいえ(5.5%) 無回答(1.6%)

(全員の方に) <回答者数 : 1,652>

問 37 新聞を読んでいますか。(○は1つ)

1. はい(69.1%) 2. いいえ(29.4%) 無回答(1.6%)

(全員の方に) <回答者数 : 1,652>

問 38 本や雑誌を読んでいますか。(○は1つ)

1. はい(77.8%) 2. いいえ(20.6%) 無回答(1.6%)

(全員の方に) <回答者数 : 1,652>

問 39 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ)

1. はい(88.7%) 2. いいえ(9.7%) 無回答(1.6%)

(全員の方に) <回答者数 : 1,652>

問 40 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)

1. はい(36.9%) 2. いいえ(61.5%) 無回答(1.6%)

(全員の方に) <回答者数 : 1,652>

問 41 家族や友人の相談にのっていますか。(○は1つ)

1. はい(71.9%) 2. いいえ(26.5%) 無回答(1.6%)

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 42 病人を見舞うことができますか。(○は1つ)

1. はい(78.5%)	2. いいえ(18.6%)	無回答(2.9%)
--------------	---------------	-----------

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 43 若い人に自分から話しかけることがありますか。(○は1つ)

1. はい(72.0%)	2. いいえ(25.9%)	無回答(2.1%)
--------------	---------------	-----------

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 44 趣味はありますか。(○は1つ)

1. 趣味あり(77.4%)	2. 思いつかない(20.8%)	無回答(1.9%)
----------------	------------------	-----------

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 45 生きがいがありますか。(○は1つ)

1. 生きがいあり(63.7%)	2. 思いつかない(33.2%)	無回答(3.1%)
------------------	------------------	-----------

6 地域での活動について（記入日現在の状況をお答えください。）

（全員の方に）＜回答者数：1,652＞

問46 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑧それぞれに回答してください。（それぞれ○は1つ）

① ボランティアのグループ

1. 週4回以上(0.9%)	2. 週2～3回(2.9%)	3. 週1回(1.9%)
4. 月1～3回(4.1%)	5. 年に数回(2.9%)	6. 参加していない(81.0%) 無回答(6.4%)

② スポーツ関係のグループやクラブ

1. 週4回以上(3.6%)	2. 週2～3回(8.9%)	3. 週1回(7.7%)
4. 月1～3回(3.5%)	5. 年に数回(1.9%)	6. 参加していない(69.0%) 無回答(5.5%)

③ 趣味関係のグループ

1. 週4回以上(1.0%)	2. 週2～3回(5.6%)	3. 週1回(6.8%)
4. 月1～3回(11.0%)	5. 年に数回(5.5%)	6. 参加していない(64.7%) 無回答(5.3%)

④ 学習・教養サークル

1. 週4回以上(0.5%)	2. 週2～3回(1.3%)	3. 週1回(3.1%)
4. 月1～3回(4.8%)	5. 年に数回(4.1%)	6. 参加していない(79.7%) 無回答(6.5%)

⑤ 体操や軽運動など介護予防のための通いの場

1. 週4回以上(3.8%)	2. 週2～3回(7.0%)	3. 週1回(6.8%)
4. 月1～3回(2.2%)	5. 年に数回(1.0%)	6. 参加していない(73.7%) 無回答(5.5%)

⑥ 老人クラブ

1. 週4回以上(0.1%)	2. 週2～3回(1.3%)	3. 週1回(0.9%)
4. 月1～3回(2.7%)	5. 年に数回(0.5%)	6. 参加していない(89.0%) 無回答(5.4%)

⑦ 町内会・自治会

1. 週4回以上(0.2%)	2. 週2～3回(0.7%)	3. 週1回(0.7%)
4. 月1～3回(4.0%)	5. 年に数回(8.0%)	6. 参加していない(80.6%) 無回答(5.8%)

⑧ 収入のある仕事

1. 週4回以上(14.8%)	2. 週2～3回(7.4%)	3. 週1回(2.8%)
4. 月1～3回(3.0%)	5. 年に数回(2.3%)	6. 参加していない(64.8%) 無回答(4.9%)

(問 46①～⑧で「6」に○をつけた方に) <回答者数：1,559>

問 46-1 地域での活動に参加していない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------------------------|---------------------|------------|
| 1. 地域活動の情報がないので(23.6%) | 2. 知り合いがないので(25.1%) | |
| 3. やりたい活動がないので(12.3%) | 4. 費用が掛かるので(4.4%) | |
| 5. 近所での活動には参加したくないので(16.7%) | | |
| 6. その他(31.5%) | | 無回答(11.7%) |

(全員の方に) <回答者数：1,652>

問 47 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------------|-------------------|-----------|
| 1. 是非参加したい(7.3%) | 2. 参加してもよい(45.5%) | |
| 3. 参加したくない(38.3%) | 4. 既に参加している(4.3%) | 無回答(4.7%) |

(全員の方に) <回答者数：1,652>

問 48 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------------|-------------------|-----------|
| 1. 是非参加したい(2.6%) | 2. 参加してもよい(29.4%) | |
| 3. 参加したくない(59.4%) | 4. 既に参加している(2.9%) | 無回答(5.7%) |

(全員の方に) <回答者数：1,652>

問 49 あなたは、お住まいの地域のひとから何らかの役割を期待されたり、頼りにされたりしていると思いますか。(自分なりにできること、会・グループでの役、隣近所のちょっとしたこと、お手伝いやお願いごとなど)(○は1つ)。

- | | | |
|---------------------|--------------------|-----------|
| 1. そう思う(8.2%) | 2. ややそう思う(16.0%) | |
| 3. あまりそう思わない(28.6%) | 4. 全くそう思わない(42.6%) | 無回答(4.7%) |

7 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします
(記入日現在の状況をお答えください。)

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 50 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|-------------------------------|
| 1. 配偶者(32.2%) | 2. 同居の子ども(17.9%) |
| 3. 別居の子ども(30.2%) | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫(29.5%) |
| 5. 近隣(7.5%) | 6. 友人(50.8%) |
| 7. その他(3.8%) | 8. そのような人はいない(7.1%) 無回答(6.1%) |

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 51 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|-------------------------------|
| 1. 配偶者(31.7%) | 2. 同居の子ども(15.1%) |
| 3. 別居の子ども(26.8%) | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫(30.6%) |
| 5. 近隣(9.3%) | 6. 友人(51.1%) |
| 7. その他(2.7%) | 8. そのような人はいない(9.8%) 無回答(6.7%) |

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 52 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------------------|
| 1. 配偶者(34.7%) | 2. 同居の子ども(21.2%) |
| 3. 別居の子ども(28.9%) | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫(15.2%) |
| 5. 近隣(2.4%) | 6. 友人(9.7%) |
| 7. その他(2.7%) | 8. そのような人はいない(14.5%) 無回答(6.0%) |

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 53 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------------------|
| 1. 配偶者(38.3%) | 2. 同居の子ども(19.1%) |
| 3. 別居の子ども(23.8%) | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫(21.7%) |
| 5. 近隣(3.8%) | 6. 友人(13.4%) |
| 7. その他(2.8%) | 8. そのような人はいない(19.2%) 無回答(7.0%) |

(全員の方に) <回答者数：1,652>

問 54 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ(4.4%) | 2. 社会福祉協議会・民生委員(6.5%) |
| 3. ケアマネジャー(7.0%) | 4. 医師・歯科医師・看護師(31.2%) |
| 5. 地域包括支援センター・区役所(17.7%) | 6. その他(6.2%) |
| 7. そのような人はいない(38.7%) | 無回答(9.1%) |

(全員の方に) <回答者数：1,652>

問 55 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 毎日ある(5.3%) | 2. 週に何度かある(23.6%) | 3. 月に何度かある(25.8%) |
| 4. 年に何度かある(18.6%) | 5. ほとんどない(20.3%) | 無回答(6.5%) |

(全員の方に) <回答者数：1,652>

問 56 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(○は1つ)

- | | | |
|-------------------|-----------------|----------------|
| 1. 0人(いない)(17.3%) | 2. 1～2人(21.9%) | 3. 3～5人(23.4%) |
| 4. 6～9人(10.0%) | 5. 10人以上(20.6%) | 無回答(6.8%) |

(全員の方に) <回答者数：1,652>

問 57 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 近所・同じ地域の人(32.9%) | 2. 幼なじみ(4.9%) |
| 3. 学生時代の友人(20.2%) | 4. 仕事での同僚・元同僚(28.1%) |
| 5. 趣味や関心が同じ友人(36.7%) | 6. ボランティア等の活動での友人(5.4%) |
| 7. その他(8.4%) | 8. いない(11.2%) |
| | 無回答(7.4%) |

8 健康について

(記入日現在の状況をお答えください。)

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 58 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

1. とてもよい(14.3%)	2. まあよい(64.2%)	
3. あまりよくない(15.4%)	4. よくない(3.0%)	無回答(3.1%)

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 59 あなたは、現在どの程度幸せですか。(○は1つ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

0点(0.5%)	1点(0.6%)	2点(1.3%)	3点(3.0%)	4点(3.5%)	5点(18.3%)	6点(7.9%)
7点(14.5%)	8点(22.6%)	9点(9.6%)	10点(14.0%)			無回答(4.2%)

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 60 ここ2週間、毎日の生活に充実感がない気がしましたか。(○は1つ)

1. はい(23.3%)	2. いいえ(72.8%)	無回答(3.9%)
--------------	---------------	-----------

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 61 ここ2週間、これまで楽しんでやれていたことが楽しめない気がしましたか。(○は1つ)

1. はい(17.3%)	2. いいえ(78.7%)	無回答(4.0%)
--------------	---------------	-----------

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 62 ここ2週間、以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられることがありましたか。(○は1つ)

1. はい(34.6%)	2. いいえ(61.9%)	無回答(3.5%)
--------------	---------------	-----------

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 63 ここ2週間、自分が役に立つ人間だとは思えない気がしましたか。(○は1つ)

1. はい(20.9%)	2. いいえ(74.9%)	無回答(4.2%)
--------------	---------------	-----------

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 64 ここ2週間、わけもなく疲れたような感じがしましたか。(○は1つ)

1. はい(28.9%)	2. いいえ(67.6%)	無回答(3.5%)
--------------	---------------	-----------

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 65 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)

1. はい(35.4%)	2. いいえ(61.0%)	無回答(3.6%)
--------------	---------------	-----------

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 66 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

1. はい(22.7%)	2. いいえ(72.9%)	無回答(4.4%)
--------------	---------------	-----------

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 67 お酒は飲みますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日飲む(20.7%)	2. 時々飲む(20.2%)	
3. ほとんど飲まない(24.6%)	4. もともと飲まない(31.5%)	無回答(3.0%)

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 68 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日吸っている(10.6%)	2. 時々吸っている(1.6%)	
3. 吸っていたがやめた(22.8%)	4. もともと吸っていない(61.8%)	無回答(3.1%)

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 69 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ない(17.1%)	2. 高血圧(35.2%)
3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)(2.5%)	4. 心臓病(10.3%)
5. 糖尿病(8.2%)	6. 高脂血症(脂質異常)(12.7%)
7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)(6.5%)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気(5.4%)
9. 腎臓・前立腺の病気(5.1%)	10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)(12.5%)
11. 外傷(転倒・骨折等)(3.6%)	12. がん(悪性新生物)(3.3%)
13. 血液・免疫の病気(2.0%)	14. うつ病(1.5%)
15. 認知症(アルツハイマー病等)(0.4%)	16. パーキンソン病(0.5%)
17. 目の病気(16.3%)	18. 耳の病気(5.4%)
19. その他(11.3%)	無回答(9.4%)

9 認知症にかかる相談窓口の把握について

(記入日現在の状況をお答えください。)

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 70 認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状がある人がいますか (○は1つ)。

1. はい(11.3%)	2. いいえ(83.4%)	無回答(5.3%)
--------------	---------------	-----------

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 71 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○は1つ)。

1. はい(23.3%)	2. いいえ(71.2%)	無回答(5.4%)
--------------	---------------	-----------

10 成年後見制度について

(記入日現在の状況をお答えください。)

(全員の方に) <回答者数: 1,652>

問 72 あなたは成年後見制度についてどの程度知っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------------|---------------------|-----------|
| 1. 知っている(12.8%) | 2. だいたい知っている(28.1%) | |
| 3. あまりよくわからない(32.1%) | 4. 全くわからない(20.6%) | |
| 5. その他(0.3%) | | 無回答(6.1%) |

(問 72 で「1」「2」に○をつけた方に) <回答者数: 676>

問 72-1 今後、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|-----------------|-----------|
| 1. したい(11.8%) | 2. したくない(84.5%) | 無回答(3.7%) |
|---------------|-----------------|-----------|

(問 72-1 で「2」に○をつけた方に) <回答者数: 571>

問 72-2 利用したくない理由をおしえてください。(○は2つ)

- | | |
|---|-----------|
| 1. 後見人でなくても家族がいるから(81.6%) | |
| 2. 他人(家族・親族を含む)に財産などを任せることに不安があるから(14.2%) | |
| 3. 後見人になってほしい人が見あたらないから(11.4%) | |
| 4. 家族・親族の信頼関係が壊れる恐れがあるから(4.2%) | |
| 5. 手続きが大変そうだから(6.8%) | |
| 6. 費用がどのくらいかかるか心配だから(4.7%) | |
| 7. 家庭裁判所に申立てることに抵抗があるから(2.8%) | |
| 8. どのようなときに利用していいかわからないから(4.0%) | |
| 9. その他(10.7%) | 無回答(0.9%) |

《その他》

(全員の方に)

問 73 健康福祉行政全体について、ご要望やご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました

令和4年度（2022年度） 高齢福祉・介護保険サービス意向調査 《介護サービス利用調査》

【調査のご記入にあたってのお願い】

1. この調査は、できるかぎりあて名の方ご本人がお答えください。ご本人がお答えにならない場合には、ご家族や介護されている方が、ご本人の立場に立ってお答えください。
2. このアンケートは名前・住所を書いていただく必要はありません。
3. ご記入は、必ず黒又は青のボールペン又は鉛筆でお願いします。
4. 質問番号に沿って、できるかぎり全部の質問にお答えください。
5. お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
6. 「その他（ ）」に○印をつけられた方は、お手数ですが具体的にご記入ください。
7. ご記入いただきました調査票は、

令和4年12月6日（火曜日）までに

三つ折りにした上で、同封した返信用封筒（切手不要）に入れて郵送してください。

8. 調査報告書は、令和5年7月から図書館、すこやか福祉センター、区ホームページなどでご覧になれる予定です。
9. 調査の内容や記入の方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

中野区地域支えあい推進部介護・高齢者支援課管理企画係

TEL. 03-3228-5629 FAX. 03-3228-8972

E-mail kaigokourei@city.tokyo-nakano.lg.jp

【個人情報の取り扱いについて】

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護及び活用目的について】

- ・この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、区による介護保険事業計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、区において適切に管理いたします。
- ・ただし、介護保険事業計画策定時及び効果評価時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する区外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析をすることがあります。

質問の上に（全員の方に）と記載のあるものは全員の方が、（～の方に）とその他の記載があるものはその条件に合う方のみお答えください。

（問1から6は、令和4年10月1日時点の状況をお答えください。）

（全員の方に）＜回答者数：1,344＞

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。（複数選択可）

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1. 調査対象者本人(28.0%) | 2. 主な介護者となっている家族・親族(61.8%) |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族(5.1%) | 4. その他(1.6%) |
| | 無回答(7.7%) |

A票 ご本人について、お伺いします

（全員の方に）＜回答者数：1,344＞

問2 あなたがお住まいの地域はどこですか。（1つを選択）

- | | | | |
|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 1. 上鷺宮(5.2%) | 2. 鷺宮(4.8%) | 3. 白鷺(4.8%) | 4. 若宮(5.4%) |
| 5. 大和町(4.1%) | 6. 江原町(2.9%) | 7. 江古田(3.6%) | 8. 野方(6.8%) |
| 9. 丸山(1.9%) | 10. 沼袋(4.3%) | 11. 松が丘(1.3%) | 12. 新井(4.4%) |
| 13. 上高田(6.5%) | 14. 中野(8.0%) | 15. 東中野(5.5%) | 16. 中央(8.3%) |
| 17. 本町(7.0%) | 18. 弥生町(7.1%) | 19. 南台(6.8%) | 無回答(1.2%) |

《丁目を記入してください》

（ ）丁目

（全員の方に）＜回答者数：1,344＞

問3 家族構成について、ご回答ください。（1つを選択）

- | | | |
|----------------|------------------|-----------|
| 1. 単身世帯(32.7%) | 2. 夫婦のみ世帯(21.1%) | 問3Cへ |
| 3. その他(39.0%) | | 無回答(7.2%) |

（問3で「3」と回答した方に）＜回答者数：524＞

問3A ご本人を含めて何人で暮らしていますか。（1つを選択）

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 2人(35.5%) | 2. 3人(35.9%) | 3. 4人(14.7%) |
| 4. 5人(6.5%) | 5. 6人以上(5.7%) | 無回答(1.7%) |

問3B 同居されている方はどなたですか。（複数選択可）

- | | | |
|----------------|-----------------|-------------|
| 1. 子(82.3%) | 2. 子の配偶者(27.9%) | 3. 孫(21.9%) |
| 4. 兄弟・姉妹(3.4%) | 5. その他(9.9%) | 無回答(1.5%) |

(問3で「2」「3」と回答した方に) <回答者数: 807>

問3C 日中ひとりになることがありますか。(1つを選択)

1. よくある(23.4%) 2. たまにある(44.1%) 3. ない(23.4%) 無回答(9.0%)

(全員の方に) <回答者数: 1,344>

問4 ご本人の性別について、ご回答ください。(1つを選択)

1. 男性(31.7%) 2. 女性(66.9%) 無回答(1.4%)

(全員の方に) <回答者数: 1,344>

問5 ご本人の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

1. 65歳未満(1.6%) 2. 65~69歳(2.5%) 3. 70~74歳(6.6%)
 4. 75~79歳(9.6%) 5. 80~84歳(18.8%) 6. 85~89歳(24.2%)
 7. 90~94歳(23.1%) 8. 95~99歳(9.4%) 9. 100歳以上(3.4%) 無回答(1.0%)

(全員の方に) <回答者数: 1,344>

問6 ご本人の要介護度について、ご回答ください。(1つを選択)

1. 要支援1(4.2%) 2. 要支援2(3.9%) 3. 要介護1(24.0%)
 4. 要介護2(21.9%) 5. 要介護3(15.6%) 6. 要介護4(15.6%)
 7. 要介護5(10.6%) 8. わからない(1.4%) 無回答(2.8%)

(問6で「5」「6」「7」と回答した方に) <回答者数: 562>

問6A 介護・介助が必要となった主な原因はなんですか。(複数選択可)

1. 脳卒中(脳出血、脳梗塞等)(21.4%) 2. 心臓病(11.7%)
 3. がん(悪性新生物)(5.9%) 4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎)(2.3%)
 5. 糖尿病(7.5%) 6. パーキンソン病(5.5%)
 7. 関節の病気(リウマチ等)(3.7%) 8. 骨折・転倒(28.6%)
 9. 視覚・聴覚障害(4.8%) 10. 認知症(アルツハイマー病等)(36.7%)
 11. 脊椎損傷(5.9%) 12. 高齢による衰弱(25.8%)
 13. その他(14.1%) 14. わからない(0.7%) 無回答(1.4%)

(問7以降は、記入日現在の状況をお答えください。)

(全員の方に) <回答者数: 1,344>

問7 お住まいは次のどれにあたりますか。(1つを選択)

- | | | |
|--------------------------------|--|-----------|
| 1. 持ち家(一戸建て)(58.8%) | | |
| 2. 持ち家(分譲マンションなどの集合住宅)(14.8%) | | |
| 3. 公営の賃貸住宅(区営・都営住宅、公社など)(6.1%) | | |
| 4. 民営の賃貸住宅(10.9%) | | |
| 5. 社宅・社員寮・公務員住宅(0.2%) | | |
| 6. その他(6.9%) | | 無回答(2.2%) |

(全員の方に) <回答者数: 1,344>

問7A お住まい(主に生活する部屋)は2階以上にありますか。(1つを選択)

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. はい(47.8%) | 2. いいえ(49.3%) | 無回答(2.9%) |
|--------------|---------------|-----------|

(問7Aで「1」と回答した方に) <回答者数: 643>

問7B お住まいの建物にエレベーターは設置されていますか。(1つを選択)

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. はい(42.0%) | 2. いいえ(56.3%) | 無回答(1.7%) |
|--------------|---------------|-----------|

(全員の方に) <回答者数: 1,344>

問8 ご本人はどこで介護を受けたいと思っていますか。(1つを選択)

- | | | |
|------------------------------------|--|-----------|
| 1. 自宅(63.2%) | | |
| 2. 自宅近くのサービス付き高齢者住宅(3.5%) | | |
| 3. 自宅近くの入所施設(13.0%) | | |
| 4. 自宅から遠くても、出身地等、好きな土地の住宅や施設(1.7%) | | |
| 5. その他(3.3%) | | |
| 6. わからない(11.4%) | | 無回答(3.9%) |

(全員の方に) <回答者数: 1,344>

問8A 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つを選択)

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

- | | | |
|-----------------------------|------------------------|-----------|
| 1. 入所・入居は検討していない(58.6%) | 2. 入所・入居を検討している(16.1%) | |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている(20.7%) | | 無回答(4.7%) |

問8Bへ

(問8Aで「2」「3」と回答した方に) <回答者数: 494>

問8B 施設等への入所・入居を検討した理由はなんですか。(複数選択可)

- | | |
|-------------------------------------|-----------|
| 1. 介護する家族の心身の負担が大きい(66.8%) | |
| 2. 介護をする家族・親族がいない(13.8%) | |
| 3. 在宅に戻るための専門的なりハビリ等が必要となっている(7.5%) | |
| 4. 現在入院している病院を退院しなければならない(4.7%) | |
| 5. 認知症の症状があり、在宅での介護が難しい(46.6%) | |
| 6. 在宅サービスの利用による経済的な負担が大きい(7.1%) | |
| 7. 現在の住まいの機能上、在宅での介護が難しい(27.3%) | |
| 8. その他(10.7%) | 無回答(1.4%) |

(全員の方に) <回答者数: 1,344>

問9 ご本人(調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(複数選択可)

- | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 脳血管疾患(脳卒中)(12.7%) | 2. 心疾患(心臓病)(16.5%) |
| 3. 悪性新生物(がん)(6.2%) | 4. 呼吸器疾患(6.1%) |
| 5. 腎疾患(透析)(3.6%) | 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)(13.9%) |
| 7. 膠原病(関節リウマチ含む)(3.2%) | 8. 変形性関節疾患(7.9%) |
| 9. 認知症(43.0%) | 10. パーキンソン病(4.5%) |
| 11. 難病(パーキンソン病を除く)(2.4%) | 12. 糖尿病(14.1%) |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)(13.3%) | |
| 14. その他(18.2%) | 15. なし(5.1%) |
| 16. わからない(2.2%) | 無回答(3.8%) |

(全員の方に) <回答者数: 1,344>

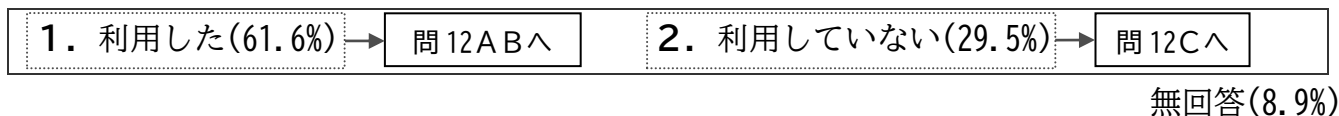
問10 以下の介護保険サービスでサービス内容を知らない又はわからないサービスはどれですか。(複数選択可)

- | | |
|---------------------------|---------------------------------|
| 1. 訪問介護(ホームヘルプサービス)(6.3%) | 2. 訪問入浴介護(5.1%) |
| 3. 訪問看護(5.7%) | 4. 訪問リハビリテーション(6.3%) |
| 5. 通所介護(デイサービス)(4.3%) | 6. 通所リハビリテーション(デイケア)(5.3%) |
| 7. 夜間対応型訪問介護※(20.4%) | 8. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護※(23.3%) |
| 9. 小規模多機能型居宅介護※(30.0%) | 10. 看護小規模多機能型居宅介護※(35.3%) |
| 11. ショートステイ(6.7%) | 12. 居宅療養管理指導※(29.2%) 無回答(46.8%) |

- ※7 夜間対応型訪問介護: 夜間にホームヘルパーが定期的に利用者の居宅を訪問して介護を行うサービス
 ※8 定期巡回・随時対応型訪問介護看護: ホームヘルパーによる訪問介護と看護師による訪問看護を、定期的又は随時に24時間365日の体制で必要なサービスを提供するサービス
 ※9 小規模多機能型居宅介護: 小規模な施設ですが、利用者のニーズに応じて訪問介護、通所介護、短期入所など多種類の居宅介護サービスを提供するサービス
 ※10 看護小規模多機能型居宅介護: 小規模多機能型居宅介護に、看護師による訪問看護を加えたサービス
 ※12 居宅療養管理指導: 医師・歯科医師・薬剤師などが居宅を訪問し、薬の飲み方、食事などの管理・指導を行うサービス

(全員の方に) <回答者数：1,344>

問 11 令和4年10月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(1つを選択)



(問 11 で「1」と回答した方に) <回答者数：828>

問 12A 以下の介護保険サービスについて、令和4年10月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない(0回、1. 利用していない、0日)」を選択してください。(それぞれ1つを選択)

	1週間あたりの利用回数 (それぞれ1つに○)						無回答
	利用して いない	週1回 程度	週2回 程度	週3回 程度	週4回 程度	週5回 以上	
(※回答例) ●●●サービス	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上	
A 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	(20.9%)	(8.2%)	(6.6%)	(3.6%)	(2.3%)	(10.5%)	(47.8%)
B 訪問入浴介護	(29.7%)	(7.4%)	(5.2%)	(1.0%)	(0.2%)	(0.2%)	(56.3%)
C 訪問看護	(21.0%)	(18.6%)	(6.4%)	(1.2%)	(1.3%)	(1.6%)	(49.9%)
D 訪問リハビリテーション	(23.4%)	(13.5%)	(8.5%)	(1.7%)	(2.1%)	(1.1%)	(49.8%)
E 通所介護 (デイサービス)	(16.3%)	(9.1%)	(15.0%)	(12.9%)	(6.6%)	(8.6%)	(31.5%)
F 通所リハビリテーション (デイケア)	(30.4%)	(6.4%)	(5.0%)	(1.6%)	(0.5%)	(0.4%)	(55.8%)
G 夜間対応型訪問介護 ※ (訪問のあった回数を回答)	(33.8%)	(1.4%)	(0.2%)	(0.2%)	(0.0%)	(0.6%)	(63.6%)

※G 夜間対応型訪問介護：夜間にホームヘルパーが定期的に利用者の居宅を訪問して介護を行うサービス

	利用の有無 (それぞれ1つに○)		無回答
H 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ※	1. 利用していない(69.6%)	2. 利用した(9.3%)	(21.1%)
I 小規模多機能型居宅介護 ※	1. 利用していない(71.1%)	2. 利用した(5.8%)	(23.1%)
J 看護小規模多機能型居宅介護 ※	1. 利用していない(72.8%)	2. 利用した(3.0%)	(24.2%)

※H 定期巡回・随時対応型訪問介護看護：ホームヘルパーによる訪問介護と看護師による訪問看護を、定期的又は随時に24時間365日の体制で必要なサービスを提供するサービス

※I 小規模多機能型居宅介護：小規模な施設ですが、利用者のニーズに応じて訪問介護、通所介護、短期入所など多種類の居宅介護サービスを提供するサービス

※J 看護小規模多機能型居宅介護：上記I. 小規模多機能型居宅介護に、看護師による訪問看護を加えたサービス

	1か月あたりの利用日数（1つに○）					無回答
	利用して いない	月1～7日 程度	月8～14日 程度	月15～21日 程度	月22日 以上	
K ショートステイ	(64.1%)	(9.9%)	(4.1%)	(1.0%)	(0.8%)	(20.0%)

	1か月あたりの利用回数（1つに○）					無回答
	利用して いない	月1回 程度	月2回 程度	月3回 程度	月4回 程度	
L 居宅療養管理指導※	(60.6%)	(6.6%)	(7.5%)	(0.8%)	(2.1%)	(22.3%)

※L 居宅療養管理指導：医師・歯科医師・薬剤師などが居宅を訪問し、薬の飲み方、食事などの管理・指導を行うサービス

(問11で「1」と回答した方に) <回答者数：828>

問12B あなたが、ケアプランについて不満と思うことを次の中から選んでください。(複数選択可)

- | | |
|--|------------|
| 1. 希望するサービスが利用できない(5.8%) | |
| 2. 希望しないサービスがケアプランに含まれている(1.4%) | |
| 3. 希望する事業者が利用できない(2.5%) | |
| 4. サービスの利用回数や時間が少ない(7.6%) | |
| 5. サービスの利用料金が低い(13.4%) | |
| 6. 要介護認定による給付の枠内では使いたいサービスが十分に受けられない(8.5%) | |
| 7. 介護保険制度の導入以前は使えていたサービスが使えなくなった(1.0%) | |
| 8. レンタル用品に利用したい物品がない(0.7%) | |
| 9. ケアマネジャーから説明がない、もしくは説明がよくわからない(3.6%) | |
| 10. その他(8.5%) | |
| 11. 不満な点はない(55.7%) | 無回答(10.7%) |

(問11で「2」と回答した方に)

問12C 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------|
| 1. まだ必要でない(21.2%) | 2. 家族の介護で間に合っている(13.4%) |
| 3. 医療サービスを受けているため(11.6%) | 4. 他人を家に入れたくない(5.3%) |
| 5. 利用したいサービスがない(2.3%) | 6. サービスの利用方法がわからない(5.3%) |
| 7. 他人に介護してもらいたくない(3.0%) | 8. 利用料の負担が大きい(4.0%) |
| 9. ケアマネジャーへの依頼方法がわからない(1.8%) | |
| 10. 利用したいサービスの日・時間帯などが合わない(1.3%) | |
| 11. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため(3.0%) | |
| 12. その他(28.2%) | |
| 13. 特別な理由はない(10.8%) | 無回答(19.6%) |

(全員の方に) <回答者数: 1,344>

問 13 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(複数選択可)

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 1. 配食(8.6%) | 2. 調理(3.9%) |
| 3. 掃除・洗濯(8.7%) | 4. 買い物(宅配は含まない)(6.4%) |
| 5. ゴミ出し(6.0%) | 6. 外出同行(通院、買い物など)(5.7%) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)(5.6%) | 8. 見守り、声かけ(4.5%) |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場(1.0%) | 10. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き(2.2%) |
| 11. その他(4.9%) | 12. 利用していない(57.4%) 無回答(16.6%) |

(全員の方に) <回答者数: 1,344>

問 14 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(複数選択可)

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| 1. 配食(12.8%) | 2. 調理(7.8%) |
| 3. 掃除・洗濯(12.4%) | 4. 買い物(宅配は含まない)(9.9%) |
| 5. ゴミ出し(9.8%) | 6. 外出同行(通院、買い物など)(17.7%) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)(19.0%) | 8. 見守り、声かけ(14.7%) |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場(5.7%) | 10. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き(6.3%) |
| 11. その他(4.2%) | 12. 特になし(37.4%) 無回答(16.1%) |

(全員の方に) <回答者数: 1,344>

問 15 ご本人(調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか。(1つを選択)

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

- | | | |
|------------------|-------------------|-----------|
| 1. 利用している(30.2%) | 2. 利用していない(65.1%) | 無回答(4.7%) |
|------------------|-------------------|-----------|

(全員の方に) <回答者数: 1,344>

問 16 ご本人(調査対象者)は、現在、その他の訪問診療を利用していますか。(1つを選択)

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 1. 訪問歯科診療を利用している(11.1%) | 2. 訪問薬剤師を利用している(3.8%) |
| 3. 「1」と「2」の両方を利用している(4.2%) | 4. 利用していない(72.8%) 無回答(8.1%) |

(全員の方に) <回答者数：1,344>

問 17 地域包括支援センターに相談したことはありますか。(1つを選択)

- | | |
|---------------------------------------|-----------|
| 1. 相談したことがある(59.2%) | |
| 2. 地域包括支援センターを知っているが、相談したことはない(26.5%) | |
| 3. 地域包括支援センターを知らなかった(7.0%) | 無回答(7.4%) |

(全員の方に) <回答者数：1,344>

問 18 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

- | | | |
|----------------------------------|---------------|---------------------------------|
| 1. ない(30.8%) | → アンケートは終了です。 | |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない(6.0%) | | B票(次のページ)にお進みください。
無回答(7.8%) |
| 3. 週に1～2日ある(7.6%) | | |
| 4. 週に3～4日ある(3.9%) | | |
| 5. ほぼ毎日ある(43.9%) | | |

(A票問18で「2～5」を回答した方に) <回答者数: 825>

B票 主な介護者の方について、お伺いします

(問1から3は、令和4年10月1日時点の状況をお答えください。)

問1 主な介護者の方は、どなたですか。(1つを選択)

- | | | |
|---------------|----------------|------------------------|
| 1. 配偶者(28.5%) | 2. 子(53.6%) | 3. 子の配偶者(6.9%) |
| 4. 孫(0.7%) | 5. 兄弟・姉妹(3.2%) | 6. その他(3.8%) 無回答(3.4%) |

問2 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(1つを選択)

- | | | |
|--------------|--------------|-----------|
| 1. 男性(27.5%) | 2. 女性(67.6%) | 無回答(4.8%) |
|--------------|--------------|-----------|

問3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

- | | | |
|----------------|-----------------|--------------------------|
| 1. 20歳未満(0.1%) | 2. 20代(0.2%) | 3. 30代(1.0%) |
| 4. 40代(5.1%) | 5. 50代(23.2%) | 6. 60代(29.5%) |
| 7. 70代(18.5%) | 8. 80歳以上(17.0%) | 9. わからない(0.1%) 無回答(5.3%) |

(問4以降は、記入日時点の状況をお答えください。)

問4 ご家族やご親族の中で、ご本人(調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)
(複数選択可)

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)(8.5%) |
| 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)(0.7%) |
| 3. 主な介護者が転職した(1.9%) |
| 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した(0.5%) |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない(70.1%) |
| 6. わからない(3.6%) 無回答(14.9%) |

問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(複数選択可)

《身体介護》	
1. 日中の排泄(27.4%)	2. 夜間の排泄(21.9%)
3. 食事の介助(食べる時)(25.1%)	4. 入浴・洗身(26.7%)
5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)(33.0%)	6. 衣服の着脱(40.8%)
7. 屋内の移乗・移動(27.5%)	8. 外出の付き添い、送迎等(68.2%)
9. 服薬(59.0%)	10. 認知症状への対応(41.0%)
11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)(11.3%)	
《生活援助》	
12. 食事の準備(調理等)(71.4%)	13. その他の家事(77.0%) (掃除、洗濯、買い物等)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き(75.6%)	
《その他》	
15. その他(5.5%)	16. わからない(1.0%) 無回答(4.8%)

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

《身体介護》	
1. 日中の排泄(28.0%)	2. 夜間の排泄(32.6%)
3. 食事の介助(食べる時)(11.5%)	4. 入浴・洗身(18.4%)
5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)(8.8%)	6. 衣服の着脱(10.4%)
7. 屋内の移乗・移動(15.6%)	8. 外出の付き添い、送迎等(25.2%)
9. 服薬(15.4%)	10. 認知症状への対応(41.6%)
11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)(8.7%)	
《生活援助》	
12. 食事の準備(調理等)(22.5%)	13. その他の家事(19.6%) (掃除、洗濯、買い物等)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き(21.2%)	
《その他》	
15. その他(10.4%)	16. 不安を感じていることは、特にない(11.6%)
17. 主な介護者に確認しないと、わからない(2.1%)	無回答(8.8%)

問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

1. フルタイムで働いている(25.1%)	2. パートタイムで働いている(16.7%)
3. 働いていない(49.3%)	4. 主な介護者に確認しないと、わからない(1.0%) 無回答(7.9%)

問8～問10へ

(B票問7で「1」「2」と回答した方に) <回答者数：345>

問8 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしてはいますか
(複数選択可)

1. 特に行っていない(27.8%)
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている(40.3%)
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている(21.7%)
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている(12.2%)
5. 介護のために、「2」～「4」以外の調整をしながら、働いている(18.6%)
6. 主な介護者に確認しないと、わからない(0.9%) 無回答(2.9%)

(B票問7で「1」「2」と回答した方に) <回答者数：345>

問9 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果がある
と思いますか。(3つまで選択可)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない(19.1%)
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実(28.7%)
3. 制度を利用しやすい職場づくり(24.6%)
4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)(26.7%)
5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)(19.4%)
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供(8.4%)
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置(7.5%)
8. 介護をしている従業員への経済的な支援(24.6%)
9. その他(2.9%)
10. 特にない(14.5%)
11. 主な介護者に確認しないと、わからない(2.9%) 無回答(6.7%)

(B票問7で「1」「2」と回答した方に) <回答者数：345>

問10 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)

1. 問題なく、続けていける(12.5%)
2. 問題はあるが、何とか続けていける(59.4%)
3. 続けていくのは、やや難しい(11.6%)
4. 続けていくのは、かなり難しい(7.8%)
5. 主な介護者に確認しないと、わからない(1.7%) 無回答(7.0%)

ご協力ありがとうございました

令和4年度（2022年度） 高齢福祉・介護保険サービス意向調査 《ケアマネジャー調査》

【調査のご記入にあたってのお願い】

1. このアンケートは匿名です。名前・住所を書いていただく必要はありません。
2. 令和4年10月1日現在の状況でお答えください。
3. ご記入は、必ず黒又は青のボールペン又は鉛筆でお願いします。
4. 質問番号に沿って、できるかぎり全部の質問にお答えください。
5. お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
6. 「その他（ ）」に○印をつけられた方は、お手数ですが具体的に記入してください。
7. 郵送で回答する場合、本調査票を三つ折りにした上で、同封した返信用封筒（切手不要）に入れて郵送して下さい。
8. インターネットで回答する場合、右のQRコードを読み取るか、URLを入力してください。回答フォームには、右のQRコードの下にある4桁の整理番号を入力して下さい。



回答用URL：<https://forms.gle/UjQsaRaximzLehgE8>

【回答期限（郵送・インターネット共通）】

令和4年12月6日（火曜日）

10. 調査報告書は、令和5年7月から図書館、すこやか福祉センター、区ホームページなどでご覧になれる予定です。
11. 調査の内容や記入の方法などについてご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

中野区地域支えあい推進部介護・高齢者支援課管理企画係

TEL. 03-3228-5629 FAX. 03-3228-8972

E-mail kaigokourei@city.tokyo-nakano.lg.jp

《基本的事項について》

(全員の方に) <回答者数: 138>

問1 あなたの所属する事業所の所在地は次のどれですか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|----------------|-----------|
| 1. 中野区(88.4%) | 2. 中野区以外(2.2%) | 無回答(9.4%) |
|---------------|----------------|-----------|

(全員の方に) <回答者数: 138>

問2 あなたの所属する事業所はどのような介護サービス等を行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

《居宅サービス》

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 訪問介護(52.9%) | 2. 訪問入浴介護(1.4%) |
| 3. 訪問看護(17.4%) | 4. 訪問リハビリテーション(5.1%) |
| 5. 居宅療養管理指導(2.9%) | 6. 福祉用具(貸与)(9.4%) |
| 7. 特定福祉用具(販売)(5.1%) | 8. 住宅改修(2.9%) |
| 9. 通所介護(小規模通所含む)(21.0%) | 10. 通所リハビリテーション(5.1%) |
| 11. 短期入所生活介護(12.3%) | 12. 短期入所療養介護(2.9%) |
| 13. 特定施設入居者生活介護(2.2%) | |

《介護予防サービス》

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 14. 予防訪問サービス(旧予防訪問介護)(24.6%) | 15. 予防訪問入浴介護(0.7%) |
| 16. 予防訪問看護(11.6%) | 17. 予防訪問リハビリテーション(5.1%) |
| 18. 予防居宅療養管理指導(1.4%) | 19. 予防福祉用具(貸与)(5.8%) |
| 20. 予防特定福祉用具(販売)(3.6%) | 21. 予防通所サービス(旧予防通所介護)(7.2%) |
| 22. 予防通所リハビリテーション(5.8%) | 23. 予防短期入所生活介護(5.8%) |
| 24. 予防短期入所療養介護(2.2%) | 25. 予防特定施設入居者生活介護(0.0%) |
| 26. 生活援助サービス(緩和基準訪問サービス)(2.9%) | |
| 27. 活動援助サービス(緩和基準通所サービス)(0.7%) | |

《施設サービス》

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 28. 介護老人福祉施設(13.0%) | 29. 介護老人保健施設(2.9%) |
| 30. 介護医療院(介護療養型医療施設)(0.0%) | |

《地域密着型サービス(小規模通所除く)》

- | | |
|-------------------------|---------------------------------|
| 31. 夜間対応型訪問介護(0.0%) | 32. 小規模多機能型居宅介護(3.6%) |
| 33. 認知症対応型通所介護(6.5%) | 34. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)(0.0%) |
| 35. 看護小規模多機能型居宅介護(0.0%) | 36. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護(1.4%) |

《介護予防地域密着型サービス》

- | | |
|-----------------------------------|------------------------|
| 37. 予防小規模多機能型居宅介護(0.0%) | 38. 予防認知症対応型通所介護(0.0%) |
| 39. 予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)(0.7%) | |

《その他のサービス》

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 40. 病院・診療所(5.1%) | 41. 薬局(0.0%) |
| 42. 都市型軽費老人ホーム(0.7%) | 43. その他のサービス(8.0%) |
| 44. 併設事業なし(4.3%) | 無回答(16.7%) |

(全員の方に) <回答者数: 138>

問3 あなたの現在の勤務体系を次の中から選んでください。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1. 常勤で専従(79.7%) | |
| 2. 常勤で兼務(14.5%) | |
| 3. 非常勤(5.1%) | 無回答(0.7%) |

(全員の方に) <回答者数: 138>

問4 あなたはケアマネジャーとして、何年間従事していますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------------|-------------------|-----------|
| 1. 1年未満(2.2%) | 2. 1年以上3年未満(5.8%) | |
| 3. 3年以上5年未満(15.2%) | 4. 5年以上(76.8%) | 無回答(0.0%) |

(全員の方に) <回答者数: 138>

問5 あなたのケアマネジャー受験資格と当該職種の従事年数を教えてください。

(1) 受験資格(○は1つ)

- | | | |
|------------------|----------------------|-----------|
| 1. 社会福祉士(5.1%) | 2. 薬剤師(0.0%) | |
| 3. 介護福祉士(77.5%) | 4. 理学療法士・作業療法士(0.0%) | |
| 5. 看護師・保健師(4.3%) | 6. ホームヘルパー(2.2%) | |
| 7. 医師・歯科医師(0.0%) | 8. その他(2.2%) | 無回答(8.7%) |

(2) 従事年数(ケアマネジャーになる前の従事年数で複数の受験資格を持つ場合は通算してください)(○は1つ)

- | | | |
|----------------------|----------------------|-----------|
| 1. 5年未満(6.5%) | 2. 5年以上10年未満(42.0%) | |
| 3. 10年以上15年未満(15.9%) | 4. 15年以上20年未満(20.3%) | |
| 5. 20年以上(15.2%) | | 無回答(0.0%) |

(全員の方に) <回答者数: 138>

問6 過去3年間で、所属事業所が変わった回数は何回ですか。(○は1つ)

- | | | | |
|--------------|--------------|---------------|-----------|
| 1. 0回(73.9%) | 2. 1回(18.8%) | 3. 2回(5.8%) | |
| 4. 3回(1.4%) | 5. 4回(0.0%) | 6. 5回以上(0.0%) | 無回答(0.0%) |

《ケアプラン・介護予防について》

(全員の方に) <回答者数: 138>

問7 あなたの給付管理件数は何件ですか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------------|-------------------|--------------------------|
| 1. 10件以下(1.4%) | 2. 11件~20件(5.8%) | 3. 21件~30件(21.0%) |
| 4. 31件~40件(50.7%) | 5. 41件~50件(15.2%) | 6. 51件以上(5.8%) 無回答(0.0%) |

(全員の方に) <回答者数: 138>

問8 作成する居宅サービス計画の件数について、次の中から選んでください。(○は1つ)

- | | | | |
|-------------------|--------------------|--------------------|-----------|
| 1. もっと増やしたい(7.2%) | 2. もっと減らしたい(27.5%) | 3. 現在の件数で十分(65.2%) | 無回答(0.0%) |
|-------------------|--------------------|--------------------|-----------|

(全員の方に) <回答者数: 138>

問9 あなたは現在、何件の介護予防サービス計画の受託または作成をしていますか。
(○は1つ)

- | | | | |
|-------------|-----------------|----------------|-----------|
| 1. 0件(3.6%) | 2. 1件~8件(55.8%) | 3. 9件以上(40.6%) | 無回答(0.0%) |
|-------------|-----------------|----------------|-----------|

(全員の方に) <回答者数: 138>

問10 受託または作成する介護予防サービス計画の件数について、次の中から選んでください。
(○は1つ)

- | | | | |
|-------------------|--------------------|--------------------|-----------|
| 1. もっと増やしたい(2.2%) | 2. もっと減らしたい(57.2%) | 3. 現在の件数で十分(39.9%) | 無回答(0.7%) |
|-------------------|--------------------|--------------------|-----------|

(全員の方に) <回答者数: 138>

問11 介護保険制度は要介護者等の自立支援を目的の一つとしていますが、現行の介護サービスはその役割を十分果たしていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 十分果たしている(2.2%) | 2. ある程度果たしている(78.3%) |
| 3. 果たしているとは言いがたい(13.0%) | |
| 4. わからない(4.3%) | |
| 5. 1~4以外の意見(1.4%) | 無回答(0.7%) |

(全員の方に) <回答者数: 138>

問12 地域の自主グループをどのくらい知っていますか。(○は1つ)

- | | | | | |
|------------|---------------|----------------|---------------|-----------|
| 1. 0(7.2%) | 2. 1~5(71.7%) | 3. 6~10(15.2%) | 4. 11以上(4.3%) | 無回答(1.4%) |
|------------|---------------|----------------|---------------|-----------|

(全員の方に) <回答者数 : 138>

問13 ケアプランに介護保険外のボランティアや地域活動等の地域資源を盛り込んでいますか。
(○は1つ)

1. はい(94.9%)

2. いいえ(4.3%)

無回答(0.7%)

(問13で「1. はい」と回答した方に)

問13A 具体的にケアプランに盛り込んでいる地域資源はなんですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. ほほえみサービス(71.8%)

2. 地域福祉権利擁護事業(51.1%)

3. シルバー人材センターのサービス(29.0%)

4. 民間の配食サービス(88.5%)

5. 民間の家事援助サービス(35.9%)

6. 高齢者会館等の事業(24.4%)

7. まちなかサロン・その他通いの場(27.5%)

8. その他(7.6%)

無回答(0.0%)

(全員の方に)

問14 ケアプランに地域資源を盛り込む上での課題は何だと思えますか。ご自由にお書きください。

(全員の方に) <回答者数: 138>

問 15 ケアプランを作成する際に、中野区内でサービス供給が不足しているため、利用者に提供できない(しにくい)サービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

《居宅サービス》

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 訪問介護(16.7%) | 2. 訪問入浴介護(7.2%) |
| 3. 訪問看護(0.7%) | 4. 訪問リハビリテーション(11.6%) |
| 5. 居宅療養管理指導(1.4%) | 6. 福祉用具(貸与)(0.7%) |
| 7. 特定福祉用具(販売)(0.7%) | 8. 住宅改修(0.7%) |
| 9. 通所介護(小規模通所含む)(11.6%) | 10. 通所リハビリテーション(42.0%) |
| 11. 短期入所生活介護(26.1%) | 12. 短期入所療養介護(27.5%) |
| 13. 特定施設入居者生活介護(3.6%) | |

《介護予防サービス》

- | | |
|---------------------------------|------------------------------|
| 14. 予防訪問サービス(旧予防訪問介護)(13.8%) | 15. 予防訪問入浴介護(2.2%) |
| 16. 予防訪問看護(0.0%) | 17. 予防訪問リハビリテーション(7.2%) |
| 18. 予防居宅療養管理指導(0.0%) | 19. 予防福祉用具(貸与)(0.0%) |
| 20. 予防特定福祉用具(販売)(0.0%) | 21. 予防通所サービス(旧予防通所介護)(14.5%) |
| 22. 予防通所リハビリテーション(12.3%) | 23. 予防短期入所生活介護(9.4%) |
| 24. 予防短期入所療養介護(4.3%) | 25. 予防特定施設入居者生活介護(2.2%) |
| 26. 生活援助サービス(緩和基準訪問サービス)(10.1%) | |
| 27. 活動援助サービス(緩和基準通所サービス)(6.5%) | |

《施設サービス》

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 28. 介護老人福祉施設(22.5%) | 29. 介護老人保健施設(42.8%) |
| 30. 介護医療院(介護療養型医療施設)(21.7%) | |

《地域密着型サービス(小規模通所除く)》

- | | |
|--------------------------|---------------------------------|
| 31. 夜間対応型訪問介護(29.7%) | 32. 小規模多機能型居宅介護(6.5%) |
| 33. 認知症対応型通所介護(12.3%) | 34. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)(8.7%) |
| 35. 看護小規模多機能型居宅介護(13.8%) | 36. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護(29.7%) |

《介護予防地域密着型サービス》

- | | |
|-----------------------------------|------------------------|
| 37. 予防小規模多機能型居宅介護(2.2%) | 38. 予防認知症対応型通所介護(3.6%) |
| 39. 予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)(7.2%) | |

《その他のサービス》

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| 40. 病院・診療所(2.9%) | 41. 薬局(0.0%) |
| 42. 都市型軽費老人ホーム(25.4%) | 43. その他のサービス(2.2%) 無回答(5.8%) |

(全員の方に) <回答者数: 138>

問 16 供給不足以外に必要なサービスが提供(調整)出来ないのはどのような場合ですか。
(○は1つ)

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 1. 心身の状況(6.5%) | 2. 経済的事情により費用負担が困難(42.0%) |
| 3. 支給限度額を超える(14.5%) | 4. 介護保険制度の給付では対応できない(8.7%) |
| 5. その他(4.3%) | 無回答(23.9%) |

(全員の方に) <回答者数: 138>

問 17 介護保険サービスは、家族の介護負担軽減につながっていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 十分につながっている(15.9%) | 2. ある程度つながっている(79.0%) |
| 3. あまりつながっていない(5.1%) | 4. 全くつながっていない(0.0%) |
| 5. わからない(0.0%) | 無回答(0.0%) |

(全員の方に) <回答者数: 138>

問 18 家庭生活を維持するために役立つと思う生活支援事業は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|------------------|----------------|----------------|--------------|
| 1. 配食サービス(71.0%) | 2. 買い物(73.9%) | 3. 通院(69.6%) | 4. 掃除(55.1%) |
| 5. 洗濯(50.7%) | 6. ゴミ出し(63.0%) | 7. 安否確認(71.0%) | 8. 入浴(47.8%) |
| 無回答(0.0%) | | | |

(全員の方に) <回答者数: 138>

問 19 生活に張りを持ってもらうために効果的なものは何だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 1. 町内会・自治会等の活動(35.5%) | 2. ボランティア活動(26.1%) |
| 3. 運動スポーツ関係の活動(29.7%) | 4. 趣味関係の活動(76.8%) |
| 5. 家族や友人とのコミュニケーション(83.3%) | 6. その他(7.2%) |
| 無回答(0.7%) | |

(全員の方に)

問 20 ケアマネジメントを行う際に工夫していることがありましたら、ご自由にお書きください。

(全員の方に) <回答者数：138>

問 21 要介護者等が住み慣れた自宅や地域で暮らし続けるため、近隣や地域の人々からどのような支援や手助けがあったらよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 話し相手(81.9%)	2. 認知症高齢者の見守り(81.2%)
3. 散歩の付き添い(50.0%)	4. 電球の交換や家具等の簡易な修理(61.6%)
5. 日常生活以外の特別な買い物(39.1%)	6. 大掃除の手伝い(23.9%)
7. ペットの世話(29.0%)	8. 緊急時の連絡(54.3%)
9. 庭の手入れや趣味の手伝い(43.5%)	10. おかずの差し入れなど(25.4%)
11. 配食サービス(33.3%)	12. その他(5.1%)
	無回答(0.0%)

《連携について》

(全員の方に) <回答者数：138>

問 22 地域包括支援センターとの連携は取れていますか。(○は1つ)

1. 十分連携が取れている(24.6%)	2. ある程度連携が取れている(66.7%)
3. うまく連携が取れていない(5.8%)	4. どちらともいえない(2.9%)
	無回答(0.0%)

(全員の方に) <回答者数：138>

問 23 信頼できる地域包括支援センターはありますか。(○は1つ)

1. ある(70.3%)	2. ない(5.1%)	3. どちらともいえない(23.2%)	4. わからない(0.7%)	無回答(0.7%)
--------------	-------------	---------------------	----------------	-----------

(全員の方に) <回答者数：138>

問 24 主治医(かかりつけ医)との連携は取れていますか。(○は1つ)

1. 十分連携が取れている(47.8%)	
2. 主治医が忙しくなかなか時間をとってもらえない(26.1%)	
3. 複数の医療機関にかかっており、主治医を特定できない(8.0%)	
4. 主治医といえるようなかかりつけの医師がいない(0.7%)	
5. その他(16.7%)	無回答(0.7%)

(全員の方に) <回答者数：138>

問 25 在宅医療を進めるうえで、不足する医療資源は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問診療する医師(19.6%)	2. 訪問看護師(8.0%)
3. 訪問歯科診療(5.1%)	4. 訪問薬剤師(5.8%)
5. 訪問リハビリ(23.9%)	6. その他(30.4%)
	無回答(24.6%)

(全員の方に) <回答者数: 138>

問 26 障害者施策を利用できる利用者について、区の障害者施策の相談窓口とのサービス調整等の連携が取れていますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| 1. 連携が取れている(8.0%) | 2. ある程度連携が取れている(26.8%) |
| 3. うまく連携が取れていない(20.3%) | 4. どちらともいえない(22.5%) |
| 5. 障害者施策を利用できる利用者はいない(16.7%) | 6. その他(2.9%) 無回答(2.9%) |

(全員の方に) <回答者数: 138>

問 27 サービス担当者会議を開催する上での問題点は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------|-----------|
| 1. 関係者が忙しくてなかなか時間がとれない(57.2%) | |
| 2. 関係機関・主治医からの情報が得られない(29.0%) | |
| 3. 関係者に理解がなく、出席が得られない(2.2%) | |
| 4. 会議をどのように運営してよいかわからない(3.6%) | |
| 5. 適当な会場がない(6.5%) | |
| 6. その他(30.4%) | 無回答(8.0%) |

《困難な事例への対応について》

(全員の方に) <回答者数: 138>

問 28 ケアマネジメントを行う際に、特に対応に苦慮するケースはどのようなケースですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------|
| 1. 身寄りがいない(72.5%) | 2. キーパーソンがいない(64.5%) |
| 3. 家族が協力的でない(63.8%) | 4. 認知症のため自分で判断できない(42.8%) |
| 5. 要介護者と家族の考えが異なる(54.3%) | |
| 6. 要介護者や家族から提案したケアプランに同意が得られない(10.1%) | |
| 7. 費用負担の面で、適切なケアプランが作成できない(42.8%) | |
| 8. 介護保険の利用限度額ではサービスが足りない(42.0%) | |
| 9. その他(10.1%) | 無回答(0.7%) |

(全員の方に) <回答者数：138>

問 29 あなたは、要介護者等や家族からの相談を十分に受け止め、対応できていますか。
(○は1つ)

1. 十分対応できている(8.0%)	2. ある程度対応できている(78.3%)
3. 十分対応できないこともある(12.3%)	無回答(1.4%)
↓	
【3に○をつけた方に】対応できない具体的な内容をあげてください。 ()	

(全員の方に) <回答者数：138>

問 30 要介護者等や家族からの相談への対応に苦慮した場合、どこへ相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 同僚や上司(78.3%)	2. 主任ケアマネジャー(23.2%)
3. 地域包括支援センター(74.6%)	4. すこやか福祉センター(保健師)(6.5%)
5. 主治医(29.0%)	6. 東京都のケアマネジャー相談窓口(0.0%)
7. 区役所(すこやか福祉センターを除く)の担当窓口(15.9%)	
8. その他(4.3%)	
9. 相談するところがない(3.6%)	無回答(0.0%)

(全員の方に) <回答者数：138>

問 31 ケアマネジャーに従事して以来、高齢者等に対する虐待が疑われるようなケースを発見したり相談を受けたりしたことがどのくらいありますか。(○は1つ)

1. 0件(11.6%)	2. 1件~9件(82.6%)	3. 10件~19件(4.3%)	4. 20件以上(1.4%)	無回答(0.0%)
--------------	-----------------	------------------	----------------	-----------

(全員の方に) <回答者数：138>

問 32 高齢者虐待対応について強化すべきと思うことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 地域包括支援センターとの連携(72.5%)	2. すこやか福祉センター(保健師)との連携(43.5%)
3. 緊急一時保護の充実(62.3%)	4. 虐待防止ネットワークの充実(29.0%)
5. 虐待対応マニュアルの周知(21.0%)	6. 具体的な対応や支援の方法等の研修(32.6%)
7. 区民・関係機関・団体等への周知・啓発(26.8%)	
8. その他(6.5%)	無回答(2.2%)

《介護予防について》

(全員の方に) <回答者数：138>

問 33 区が介護予防事業として充実すべきと思われる事業を選んでください。

(○は主なもの3つまで)

1. 転倒予防教室(64.5%)	2. 口腔ケア教室(23.2%)
3. 腰痛・膝痛予防体操教室(33.3%)	4. 骨盤底筋力向上教室(8.0%)
5. 栄養改善教室(35.5%)	
6. 高齢者会館での健康づくり・生きがいづくり事業(66.7%)	
7. 介護予防講演会(5.1%)	
8. 認知症予防教室(35.5%)	
9. その他(8.0%)	無回答(0.7%)

《成年後見制度について》

(全員の方に) <回答者数：138>

問 34 あなたの担当する認知症日常生活自立度Ⅱ以上の人で成年後見制度が必要と思われるが使っていない人は何名いますか。(○は1つ)

1. 0名(35.5%)	2. 1名(26.8%)	3. 2名(21.7%)
4. 3名(7.2%)	5. 4名(1.4%)	6. 5名以上(5.8%)
		無回答(1.4%)

(全員の方に) <回答者数：138>

問 35 成年後見制度を活用する上での課題は何だと思えますか。(○は1つ)

1. 課題はない(10.1%)	2. 制度がわかりにくい(42.0%)
3. 制度が使いにくい(31.2%)	4. その他(16.7%)
	無回答(0.0%)

《認知症に関する課題について》

(全員の方に) <回答者数：138>

問 36 区は認知症の方を抱える家族を支援するために、認知症の方の特性や具体的な介護の仕方などについて学ぶ「認知症に関する家族介護教室」を開催していますが、あなたは家族に参加をすすめたことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------------------|-----------|
| 1. すすめたことがある(68.1%) | |
| 2. すすめたことはないが、開催していることは知っている(28.3%) | |
| 3. 開催していることを知らなかった(2.2%) | 無回答(1.4%) |

↓
【3に○をつけた方に】 広く周知されるには、どのような方法が必要だと思いますか。
()

(全員の方に) <回答者数：138>

問 37 認知症高齢者に関してどのような施策が特に必要だと考えますか。
(○は主なもの3つまで)

- | | |
|--|-----------|
| 1. 地域における認知症に関する理解の促進(49.3%) | |
| 2. 地域での見守りネットワークの整備(52.2%) | |
| 3. 家族への悩みの相談等の支援(58.0%) | |
| 4. 家族会開催への支援(15.2%) | |
| 5. 認知症ケアに関する介護スタッフの研修の充実(12.3%) | |
| 6. 認知症の早期発見・診断のための相談の場の充実(33.3%) | |
| 7. 認知症に関する専門医や専門家の支援・養成(20.3%) | |
| 8. 成年後見など権利擁護事業の充実(17.4%) | |
| 9. 認知症対応型通所介護(介護予防含む)や認知症対応型共同生活介護(グループホーム)等サービス基盤の充実(15.2%) | |
| 10. その他(5.8%) | 無回答(1.4%) |

《人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）について》

※人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）とは、要介護者等の将来の変化に備えて、これまで大切にしてきたことや、これから誰とどのように過ごしたいか、希望する医療や介護のことなどについて、要介護者等および家族や大切な人、医療・介護関係者とあらかじめ考え、繰り返し話し合い、要介護者等の決定をサポートするプロセスです。平成30年度、厚生労働省はACPの愛称を「人生会議」と決め普及・啓発を行っています。

（全員の方に）＜回答者数：138＞

問 38 あなたはこれまでに見たり聞いたりして、「人生会議（ACP）」という言葉や意味を知っていましたか。（○は1つ）

- | | |
|---|-----------|
| 1. 人生会議（ACP）の意味も含めて知っていた(71.0%) | |
| 2. 人生会議（ACP）があることは知っていたが、意味は知らなかった(13.8%) | |
| 3. 知らなかった(13.8%) | 無回答(1.4%) |

（問 38 において「1」「2」に○をつけた方に）＜回答者数：117＞

問 39 人生会議（ACP）を活用した支援を行った経験がありますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------------------------|-----------|
| 1. 支援したことがある(35.9%) | |
| 2. 必要なケースがいたが、支援していない(17.1%) | |
| 3. 必要なケースがおらず、支援していない(33.3%) | |
| 4. 人生会議（ACP）について知識がなく、支援していない(9.4%) | 無回答(4.3%) |

（問 38 において「1」「2」に○をつけた方に）＜回答者数：117＞

問 40 人生会議（ACP）を実践する上で難しいと思う点は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--|-----------|
| 1. 本人や家族の人生会議（ACP）についての理解が不足している(59.0%) | |
| 2. 支援者の人生会議（ACP）についての理解が不足している(33.3%) | |
| 3. 主治医の人生会議（ACP）についての理解が不足している(13.7%) | |
| 4. 支援経過の中で人生会議（ACP）を行うタイミングをつかめない(44.4%) | |
| 5. 人生会議（ACP）を行うための本人や家族との信頼関係を作れない(13.7%) | |
| 6. 業務が多忙なため人生会議（ACP）の開催に注力できない(23.1%) | |
| 7. 人生会議（ACP）を行うための出席者（本人、家族、支援者）の調整が煩雑である(23.1%) | |
| 8. 特にない(4.3%) | |
| 9. その他(8.5%) | 無回答(7.7%) |

《その他》

(全員の方に) <回答者数：138>

問 41 要介護者等について、どのような点が充実すれば居宅や地域での生活を続けることができると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------------|-----------|
| 1. 訪問介護等介護サービスの充実(42.0%) | |
| 2. 24時間の緊急時に即応できる体制の整備(72.5%) | |
| 3. 区内での短期入所生活介護施設の充実(44.9%) | |
| 4. 高齢者見守りネットワークの整備(46.4%) | |
| 5. 住宅改修の対象拡大(2.9%) | |
| 6. 高齢者用住宅の増加(35.5%) | |
| 7. 在宅医療(往診体制)の充実(14.5%) | |
| 8. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護等の充実(39.1%) | |
| 9. 小規模多機能型居宅介護等の充実(17.4%) | |
| 10. その他(10.1%) | 無回答(0.7%) |

(全員の方に) <回答者数：138>

問 42 業務遂行上、困っていることはどのようなことですか。(○は主なもの3つまで)

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------|
| 1. 担当件数が多い(14.5%) | 2. 担当する利用者の地域範囲が広い(6.5%) |
| 3. 困難なケースへの対応(45.7%) | 4. 苦情への対応(3.6%) |
| 5. 相談相手・スーパーバイザー等、助言者がいない(4.3%) | |
| 6. 事業所内のミーティングの時間がとりにくい(3.6%) | |
| 7. サービス担当者会議がなかなか開けない(2.9%) | |
| 8. 制度が頻繁に変わり、対応に時間と労力がかかる(44.2%) | |
| 9. 地域の医療や介護サービスについての情報が得られない(2.9%) | |
| 10. ケアマネジャー業務の範囲が明確でない(40.6%) | |
| 11. 文書の作成等事務処理に追われる(72.5%) | |
| 12. 規定が細かくケアマネジャーとしての裁量の余地がない(13.8%) | |
| 13. 特に困っていることはない(3.6%) | |
| 14. その他(5.8%) | 無回答(0.7%) |

(全員の方に) <回答者数：138>

問 43 小規模多機能型居宅介護サービスの活用しづらさはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------------|-----------|
| 1. ケアマネジャーを切り替えなければならない(55.1%) | |
| 2. サービスの知名度が低い(24.6%) | |
| 3. 利用できる施設が足りない(36.2%) | |
| 4. パッケージサービスとなるため利用に不安がある(37.7%) | |
| 5. 利用を希望する方が少ない(22.5%) | |
| 6. その他(15.2%) | 無回答(1.4%) |

(全員の方に)

問 44 介護保険制度に関してご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました

令和4年度（2022年度）
高齢福祉・介護保険サービス意向調査
報告書

発行日／令和5年（2023年）3月

印刷登録番号／4中健福第3248号

発行／中野区健康福祉部 福祉推進課 健康福祉企画係

中野区地域支えあい推進部 介護・高齢者支援課 管理企画係

〒164-8501

東京都中野区中野 4-8-1

電話 03-3228-5629（直通）

編集分析／株式会社アイアールエス

〒160-0004

東京都新宿区四谷 3-1-3 第1 富澤ビル7F

電話 03-3357-7181（代表）